

第8期 朝霞市 高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定に 向けたアンケート調査集計結果報告書

第8期 朝霞市 高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定に 向けたアンケート調査集計結果報告書

発行 令和3（2021）年3月

朝霞市 福祉部 長寿はつらつ課

〒351-8501 埼玉県朝霞市本町1丁目1番1号

電話：048-463-1111（代表） FAX：048-463-1025

ホームページ：<http://www.city.asaka.lg.jp/>

令和3（2021）年3月

朝霞市

【 目 次 】

調 査 の 概 要

1	調査の概要	1
1	1 調査の目的	1
2	2 実施方法及び実施時期	1
3	3 調査方法及び回収状況	1
2	2 報告書を見る際の注意事項	2

結 果 の 概 要

1	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3
2	2 在宅介護実態調査	23
3	3 第2号被保険者に関するアンケート調査	38
4	4 在宅生活改善調査	52
5	5 居所変更実態調査	61
6	6 介護人材実態調査	68
7	7 課題の整理	76
1	1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果から得られた課題	76
2	2 在宅介護実態調査結果から得られた課題	77
3	3 第2号被保険者に関するアンケート調査結果から得られた課題	79
4	4 在宅生活改善調査結果から得られた課題	80
5	5 居所変更実態調査結果から得られた課題	81
6	6 介護人材実態調査結果から得られた課題	81
7	7 高齢者実態調査結果から得られた課題（平成30年度冬期及び令和元年度冬期に実施）	82

調 査 結 果 一 覧

1	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	83
2	2 在宅介護実態調査	167
3	3 第2号被保険者に関するアンケート調査	197
4	4 在宅生活改善調査	235
5	5 居所変更実態調査	247
6	6 介護人材実態調査	257

調査の概要

1 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和3年度を初年度とする「第8期朝霞市 高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定するにあたり、市内に居住する高齢者・被保険者に対して、高齢者福祉サービス等に対するご意見・ニーズ等を把握することを目的としたアンケート調査を実施したものです。

2 実施方法及び実施時期

実施方法 : 返信用封筒を同封したアンケート調査票の郵送配布・郵送回収

実施時期 : (1)～(3) 令和2(2020)年2月4日(火)～2月19日(水)

(4)～(5) 令和2(2020)年3月18日(水)～3月31日(火)

3 調査方法及び回収状況

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

本調査は、市内在住の満65歳以上の方(要介護1～5の方を除く)の中から、無作為で抽出した5,000名を対象として、高齢者の生活状況や生活支援のニーズなどを把握し、今後の高齢者等支援施策の検討に向けた基本資料を得ることを目的に実施したものです。

対 象	配布数	回収数	回収率	有 効 回答数	有 効 回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	5,000	3,566	71.3%	3,566	71.3%

(2) 在宅介護実態調査

本調査は、市内在住の主に在宅で要支援・要介護認定を受けている方946名を対象に、「高齢者の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続の実現」に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的に実施したものです。

対 象	配布数	回収数	回収率	有 効 回答数	有 効 回収率
在宅介護実態調査	946	744	78.6%	731	77.3%

(3) 第2号被保険者に関するアンケート調査

本調査は、市内在住の40歳～64歳の方の中から、無作為で抽出した1,000名を対象として、生活状況や生活支援のニーズなどを把握し、今後の高齢者等支援施策の検討に向けた基本資料を得ることを目的に実施したものです。

対 象	配布数	回収数	回収率	有 効 回答数	有 効 回収率
第2号被保険者に関するアンケート調査	1,000	502	50.2%	502	50.2%

調査の概要

(4) 在宅生活改善調査

本調査は、居宅介護支援事業者、小規模多機能型居宅介護（ケアマネジャー）35事業者を対象に、「（自宅等にお住まいの方）現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」の実態を把握し、地域に不足する介護サービス等を検討するために実施したものです。

対 象	配布数	回収数	回収率	有 効 回答数	有 効 回収率
在宅生活改善調査	35	27	77.1%	27	77.1%

(5) 居所変更実態調査

本調査は、介護施設等（サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム含む）25事業者を対象に、過去1年間の新規入居・退去の流れや、退去の理由を把握することで、住み慣れた住まい等で暮らし続けるために必要な機能等を検討するために実施したものです。

対 象	配布数	回収数	回収率	有 効 回答数	有 効 回収率
居所変更実態調査	25	14	56.0%	14	56.0%

(6) 介護人材実態調査

本調査は、介護事業所、介護施設等（サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム含む）63事業者を対象に、介護人材の実態を個票で把握することにより、性別・年齢別・資格の有無別などの詳細な実態を把握し、介護人材の確保に向けて必要な取組等を検討するために実施したものです。

対 象	配布数	回収数	回収率	有 効 回答数	有 効 回収率
介護人材実態調査	63	35	55.6%	35	55.6%

2 報告書を見る際の注意事項

- 基数となる実数は、「n」として掲載し、各グラフの比率は「n」を母数とした割合を表しています。なお、性別・年齢・圏域などの属性データの回答状況によって、全体集計と、年齢、性別、圏域ごとの集計における基数が異なる場合があります。
- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点第1位までを表示しています。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。また、複数回答（MA）形式の設問については、すべての比率が100%を超えることがあります。（※単一回答形式：SA、複数回答形式：MA）
- 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いている場合があります。

結果の概要

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1 調査の項目

設問	小問	設問内容
あなたのご家族や生活状況について		
問 1	(1)	調査票の記入者
	(2)	性別
	(3)	要支援認定を受けているか
	(4)	年齢
	(5)	住まい
	(6)	家族構成 市内または住まいの近くに家族はいるか、いる場合家族はどこに住んでいるか
	(7)	普段の生活で介護・介助が必要か
		介護・介助が必要になった主な原因
		主に誰の介護・介助を受けているか
	(8)	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているか
	(9)	住宅形態
	(10)	朝霞市に住んで何年になるか
(11)	この先も朝霞市に住み続けたいか	
(12)	自分や家族が介護を必要とする状態になった場合に、どのような生活を希望するか	
からだを動かすことについて		
問 2	(1)	階段を手すりや壁を伝わらずに昇っているか
	(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか
	(3)	15分位続けて歩いているか
	(4)	過去1年間に転んだ経験があるか
	(5)	転倒に対する不安はあるか
	(6)	週に1回以上外出しているか
	(7)	昨年と比べて外出の回数が減っているか
	(8)	外出を控えているか
		外出を控えている理由
	(9)	外出するにあたり、今後、活用したいと考える移動手段
(10)	運転免許証について、自主返納の意向があるか	
食べることについて		
問 3	(1)	身長
		体重
	(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなったか
	(3)	お茶や汁物などでむせることがあるか
	(4)	口の渇きが気になるか
	(5)	歯磨き（人に行ってもら場合も含む）を毎日しているか
	(6)	歯の数と入れ歯の利用状況
		噛み合わせは良いか
		毎日入れ歯の手入れをしているか
(7)	ここ半年間で2～3kg以上の体重減少があったか	
(8)	自分の食事をどのように準備しているか	
(9)	だれかと食事をともにする機会はあるか	
毎日の生活について		
問 4	(1)	物忘れが多いと感じるか
	(2)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか
	(3)	今日が何月何日か、わからない時があるか

結果の概要			
設問	小問	設問内容	
毎日の生活について（続き）			
問 4	(4)	バスや電車を使って、1人で外出しているか	
	(5)	自分で食品・日用品の買い物をしているか	
	(6)	自分で食事の用意をしているか	
	(7)	自分で請求書の支払いをしているか	
	(8)	自分で預貯金の出し入れをしているか	
	(9)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）を自分で書けるか	
	(10)	本や雑誌を読んでいるか	
	(11)	健康についての記事やテレビ・ラジオ番組に関心があるか	
	(12)	友人の家を訪ねているか	
	(13)	家族や友人の相談にのっているか	
	(14)	病人を見舞うことができるか	
	(15)	若い人に自分から話しかけることがあるか	
	(16)	携帯電話やスマートフォン、パソコンを日常的に使用するかどうかのようなことに活用しているか	
	(17)	趣味はあるか	
	(18)	生きがいはあるか	
	(19)	日常生活で困っていること	
	(20)	将来の生活で心配や不安なこと	
	災害について		
	問 5	(1)	避難準備情報などの防災情報の把握方法
		(2)	台風による水害などで避難が必要になったとき、どのような支援があれば避難ができるか
地域の活動について			
問 6	(1)	日頃どのような場所で、友人・知人などの他者と交流しているか	
	(2)	参加頻度（ア）ボランティアのグループ	
		参加頻度（イ）スポーツ関係のグループやクラブ	
		参加頻度（ウ）趣味関係のグループ	
		参加頻度（エ）学習・教養サークル	
		参加頻度（オ）介護予防のための通いの場	
		参加頻度（カ）老人クラブ	
		参加頻度（キ）自治会・町内会	
		参加頻度（ク）収入のある仕事	
	会やグループなどの地域での活動への参加が少ない（していない）理由		
	(3)	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、その活動に参加者として参加してみたいか	
(4)	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、その活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいか		
(5)	今後、参加したい地域活動		
(6)	地域で手助けなどを必要としている人に対して、なにか支援をしているか そのような活動をはじめたきっかけ		
たすけあいについて			
問 7	(1)	心配事や愚痴を聞いてくれる人	
	(2)	心配事や愚痴を聞いてあげる人	
	(3)	看病や世話をしてくれる人	
	(4)	看病や世話をしてあげる人	
	(5)	何かあったときに相談する相手（機関）	
	(6)	友人・知人と会う頻度	

設問	小問	設問内容
たすけあいについて（続き）		
問7 （続き）	（7）	この1か月間、何人の友人・知人と会ったか
	（8）	よく会う友人・知人との関係
健康について		
問8	（1）	現在の健康状態
	（2）	現在どの程度幸せか
	（3）	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることがあったか
	（4）	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったか
	（5）	この1年間に健康診断（人間ドックを含む）を受けたか
		健康診断を受けなかった主な理由
	（6）	お酒を飲むか
	（7）	タバコを吸うか
	（8）	現在治療中、または後遺症のある病気
	（9）	かかりつけの医師・歯科医師、かかりつけ薬局はあるか
	（10）	お薬手帳は1冊にまとめているか
（11）	人生最期の時をどこで過ごしたいと思うか	
	自宅で過ごすことについて、なにか不安はあるか	
認知症について		
問9	（1）	認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいるか
	（2）	家族以外の人で認知症の方と接したことはあるか
	（3）	認知症に関する相談窓口
	（4）	認知症に対する取組として必要だと考えること
	（5）	市の認知症に対する取組の認知度
介護について		
問10	（1）	介護について困っている（困ると想定される）こと
	（2）	介護について相談できる人はいるか
	（3）	介護について不安に感じている（感じると想定される）こと
地域包括支援センターについて		
問11	（1）	地域包括支援センターの認知度
成年後見制度について		
問12	（1）	成年後見制度について知っている内容
介護保険や高齢者福祉の支援について		
問13	（1）	介護保険制度について知っている内容
	（2）	市のイベントや取組（高齢者福祉、介護保険）などの情報の入手先
	（3）	生活支援コーディネーターの認知度
	（4）	協議体の主な取組
	（5）	介護の状態になることの予防の推進について、今後、最も必要と思われること
	（6）	住みやすい生活環境を整備するために必要な支援

結果の概要

2 調査結果の概要

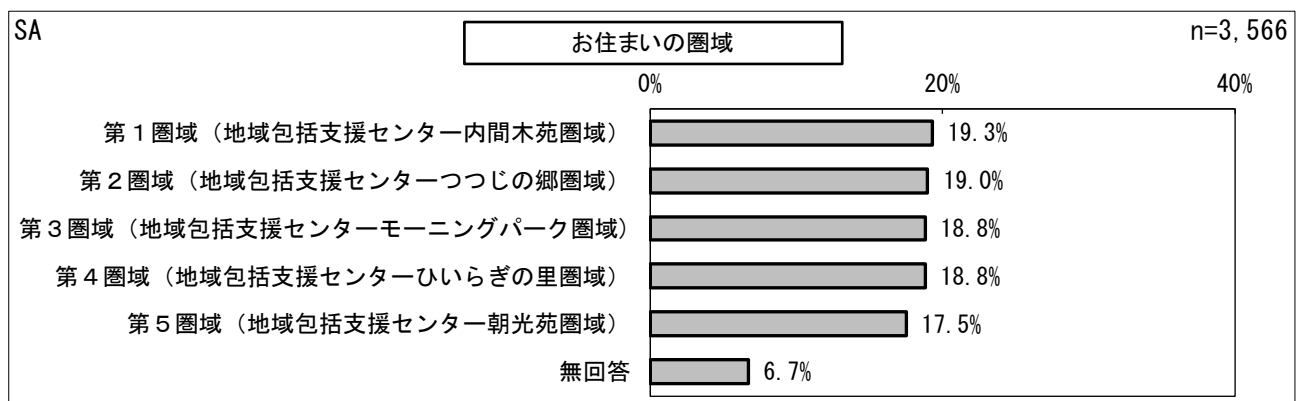
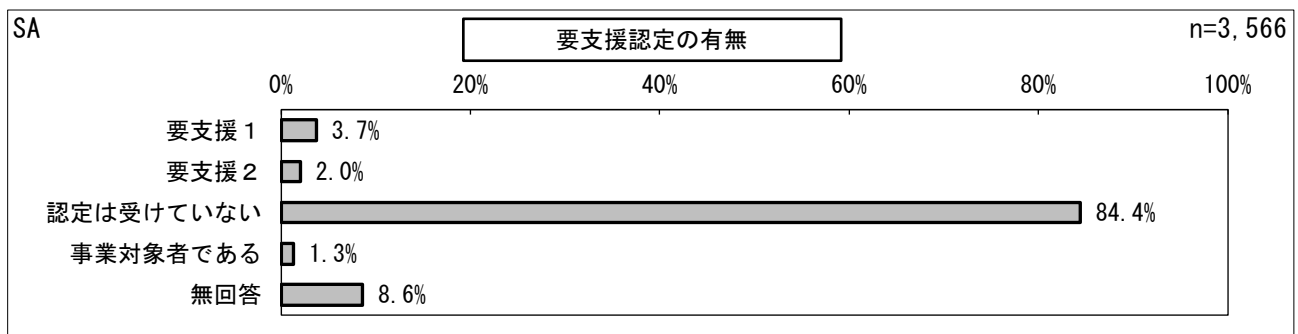
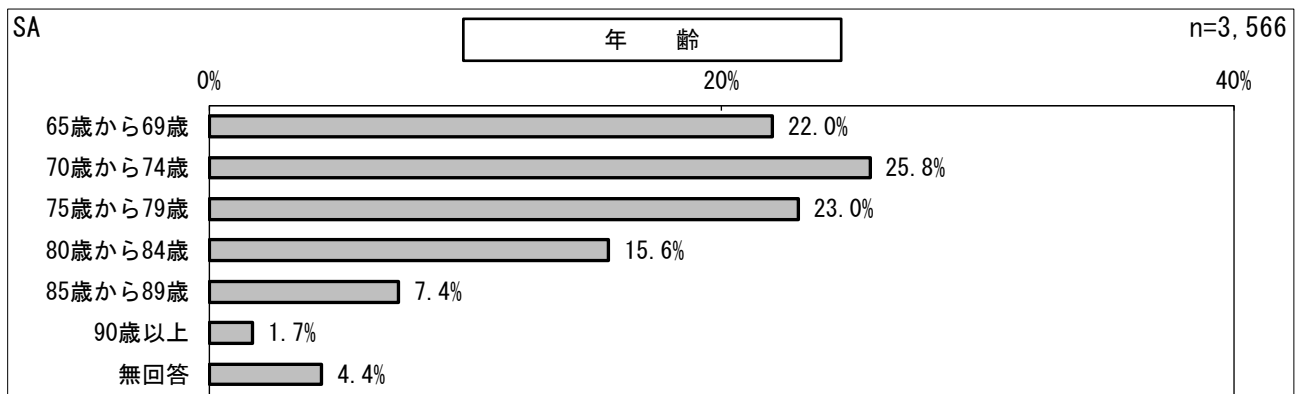
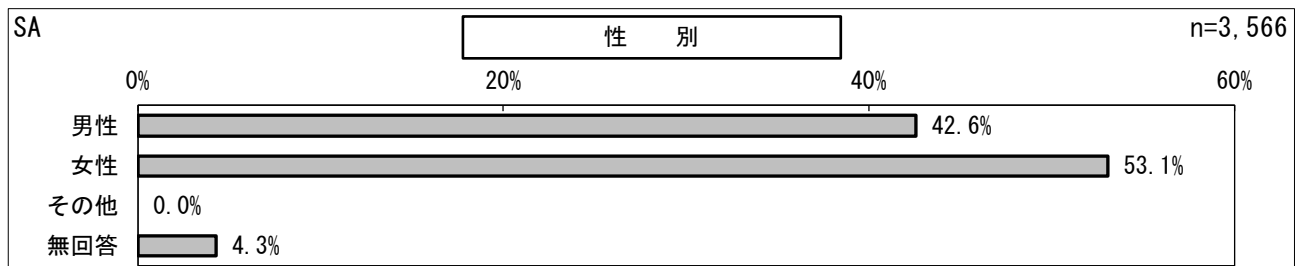
(1) 回答者の属性

性別では「男性」よりも「女性」が多くなっています。

年齢では“前期高齢者”が47.8%、“後期高齢者”が47.7%と同程度の割合となっています。

要支援認定の有無では、「認定は受けていない」が84.4%となっています。

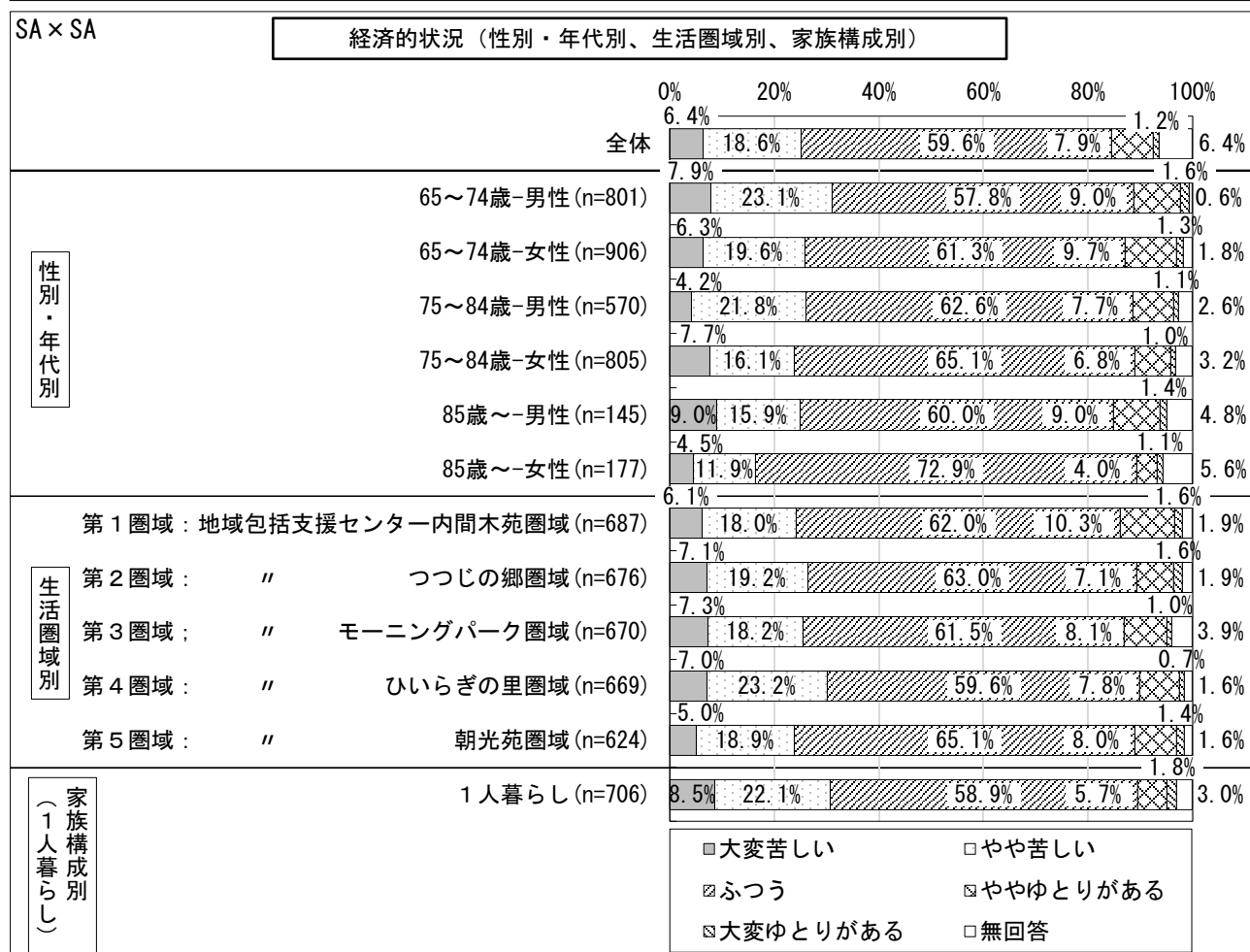
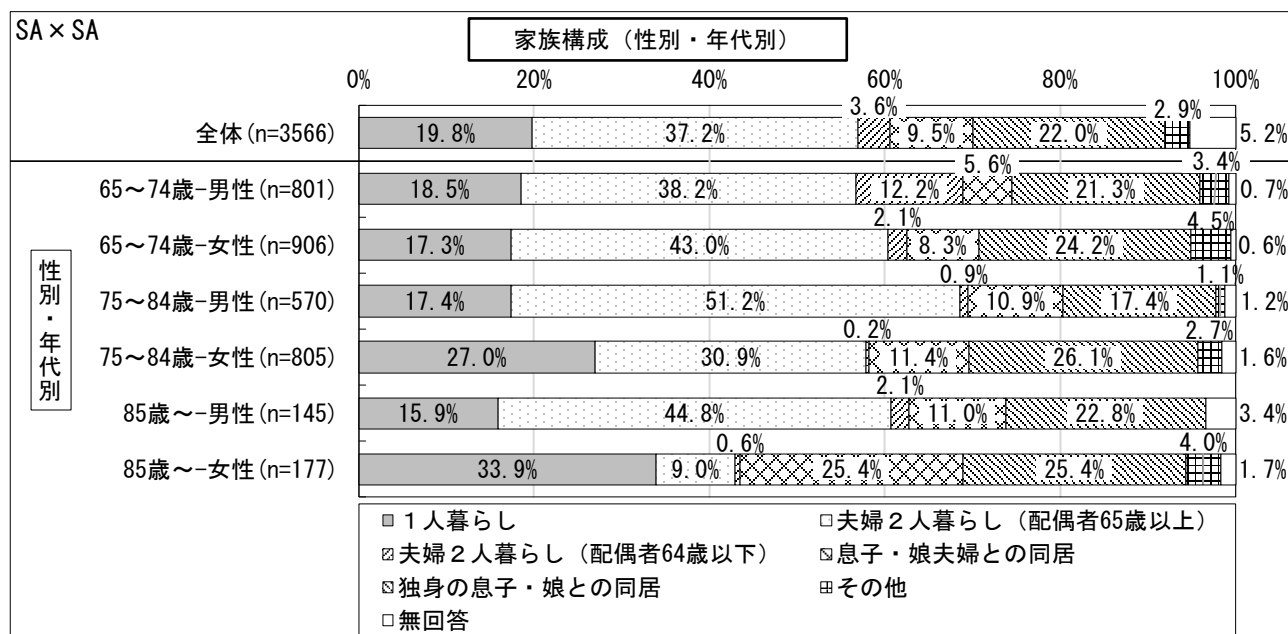
お住まいの圏域では、「第1圏域」から「第5圏域」までほぼ同程度の割合となっています。



(2) 生活の状況について

家族構成では、「1人暮らし」が約2割、「夫婦2人暮らし（配偶者の年齢問わず）」が約4割となっています。「1人暮らし」は75～84歳-女性で27.0%、85歳以上-女性で33.9%と高くなっています。

経済的状況では、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた“苦しい”は25.0%、「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある”は9.1%です。性別・年代別でみると、年代が上がるほど“苦しい”の割合が低下する傾向にあります。また、1人暮らしは“苦しい”が30.6%です。

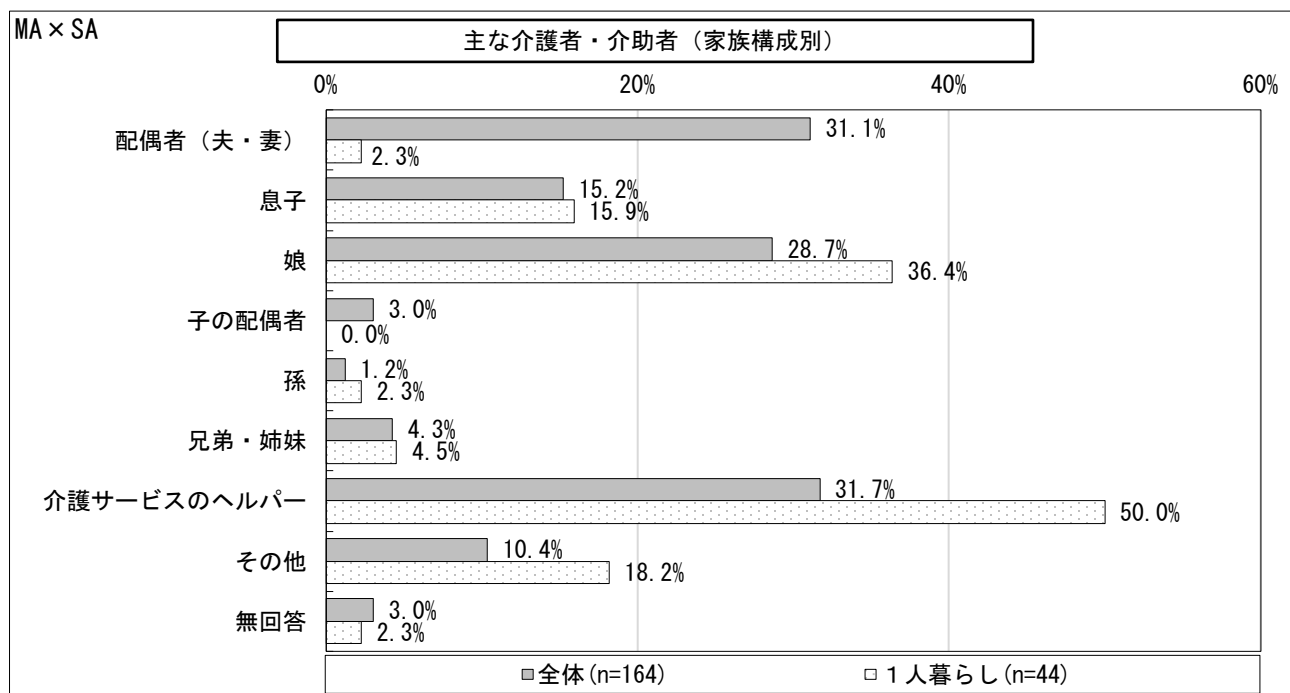
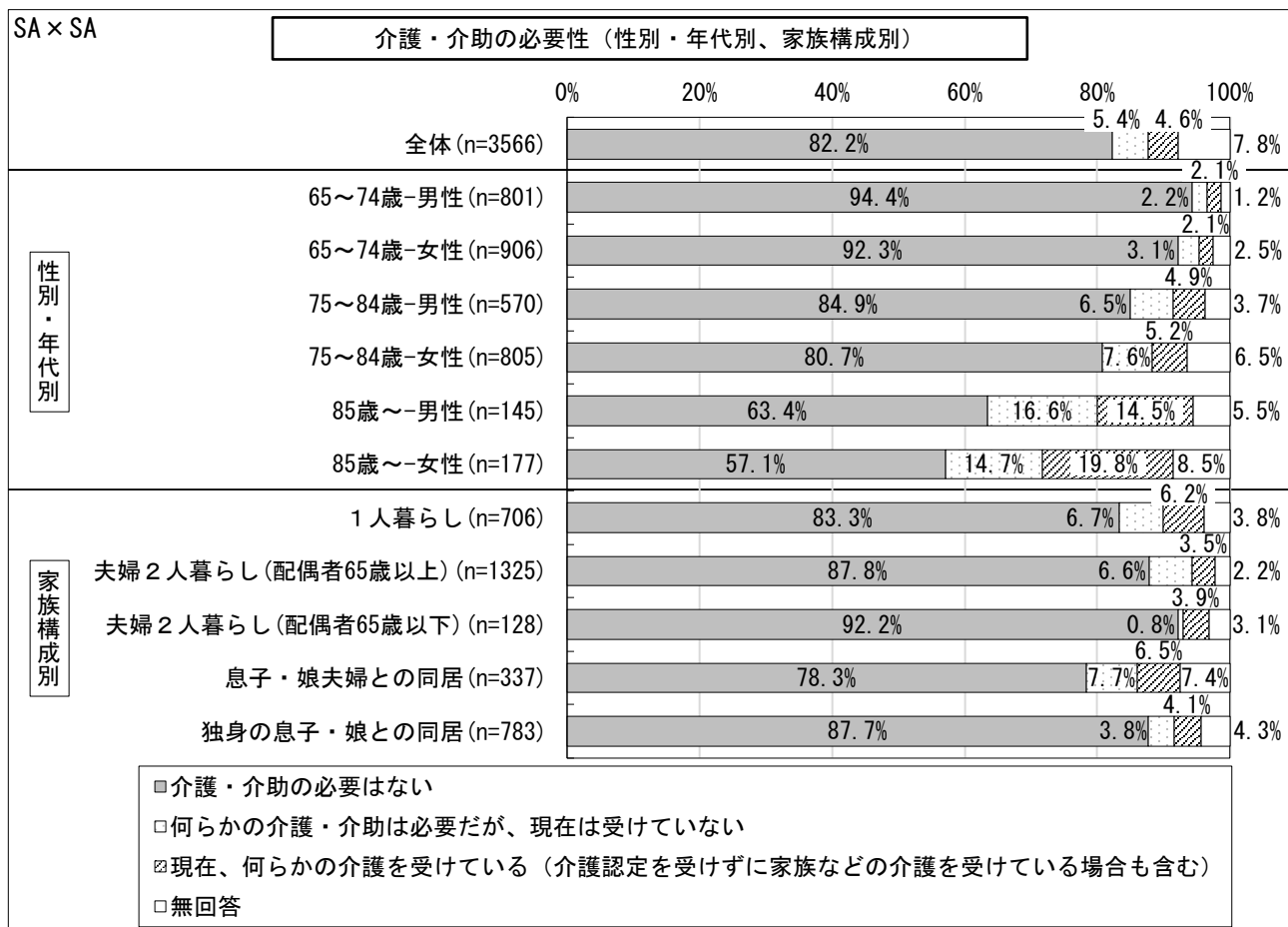


結果の概要

(3) 介護・介助の状況について

介護・介助の必要性では、約8割(82.2%)が「介護・介助の必要はない」と回答しています。ただし、この割合は年代が上がるほど低下し、85歳以上-男性は63.4%、85歳以上-女性は57.1%となります。

主な介護者・介助者では、「配偶者(夫・妻)」、「娘」、「介護サービスのヘルパー」がそれぞれ約3割となっています。なお、1人暮らしでは「介護サービスのヘルパー」(50.0%)や「娘」(36.4%)が高くなっています。

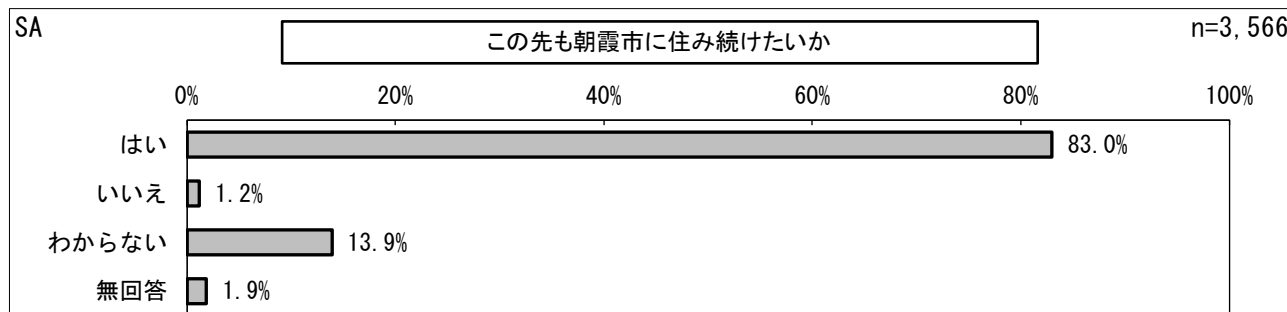


(4) 高齢者のニーズについて

① 高齢者の意向

この先も朝霞市に住みたいかでは、約8割が住みたいとしています。

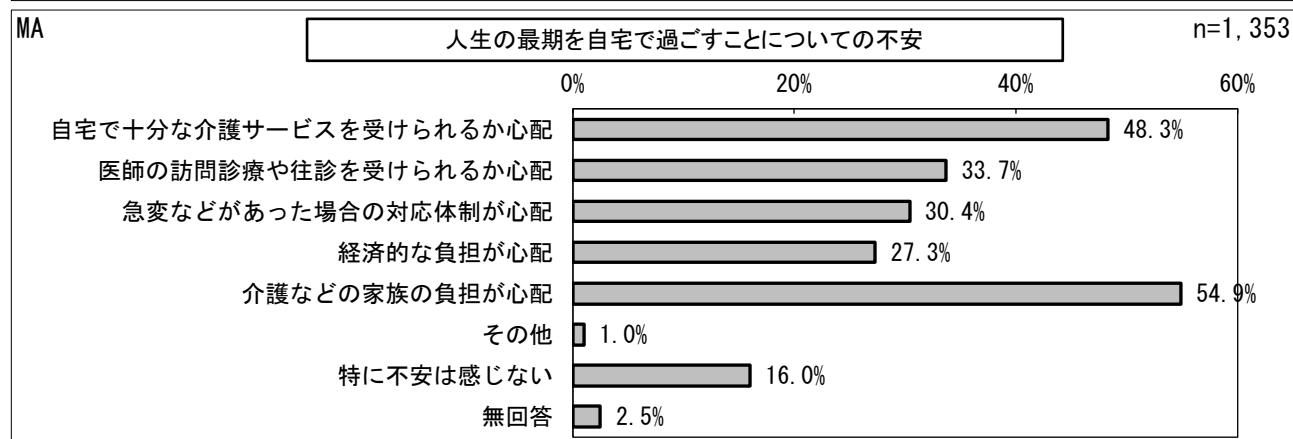
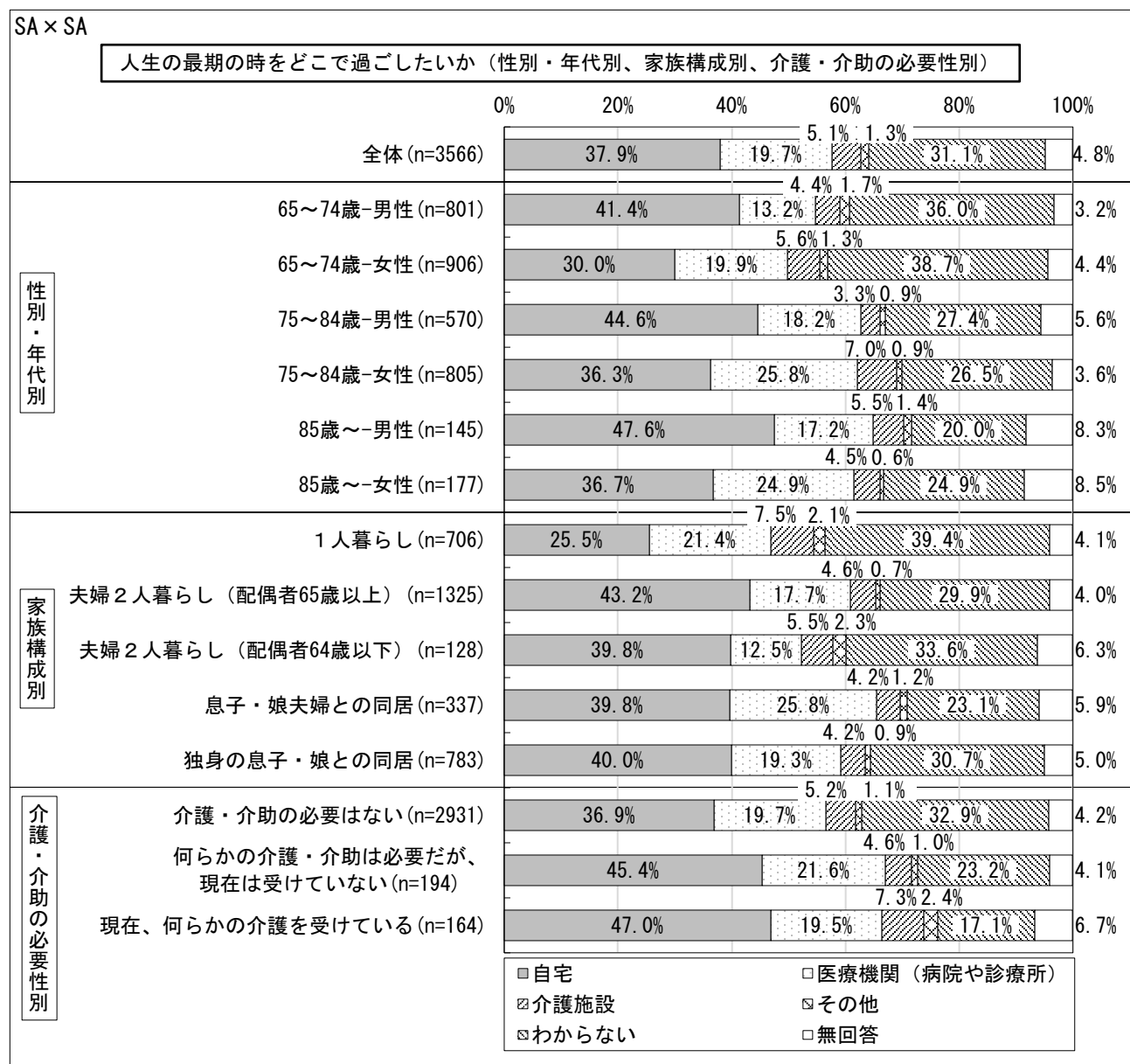
介護を要する状態となった場合どのような生活を希望するかの調査では、自宅で介護を受けたい方が5割超となっています。なお、1人暮らしをみると、自宅で介護を受けたい方は約4割に留まります。



結果の概要

人生の最期の時をどこで過ごしたいかでは、自宅が約4割と最も高くなっています。特に、男性でこの傾向が顕著です。

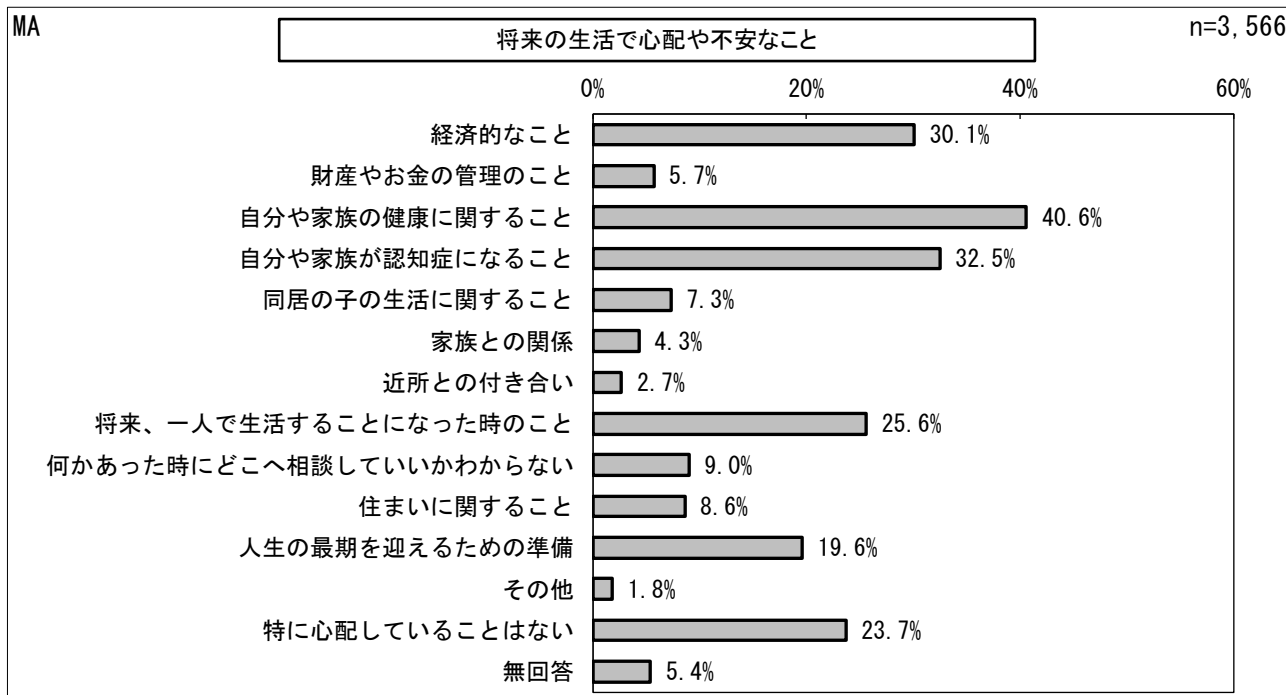
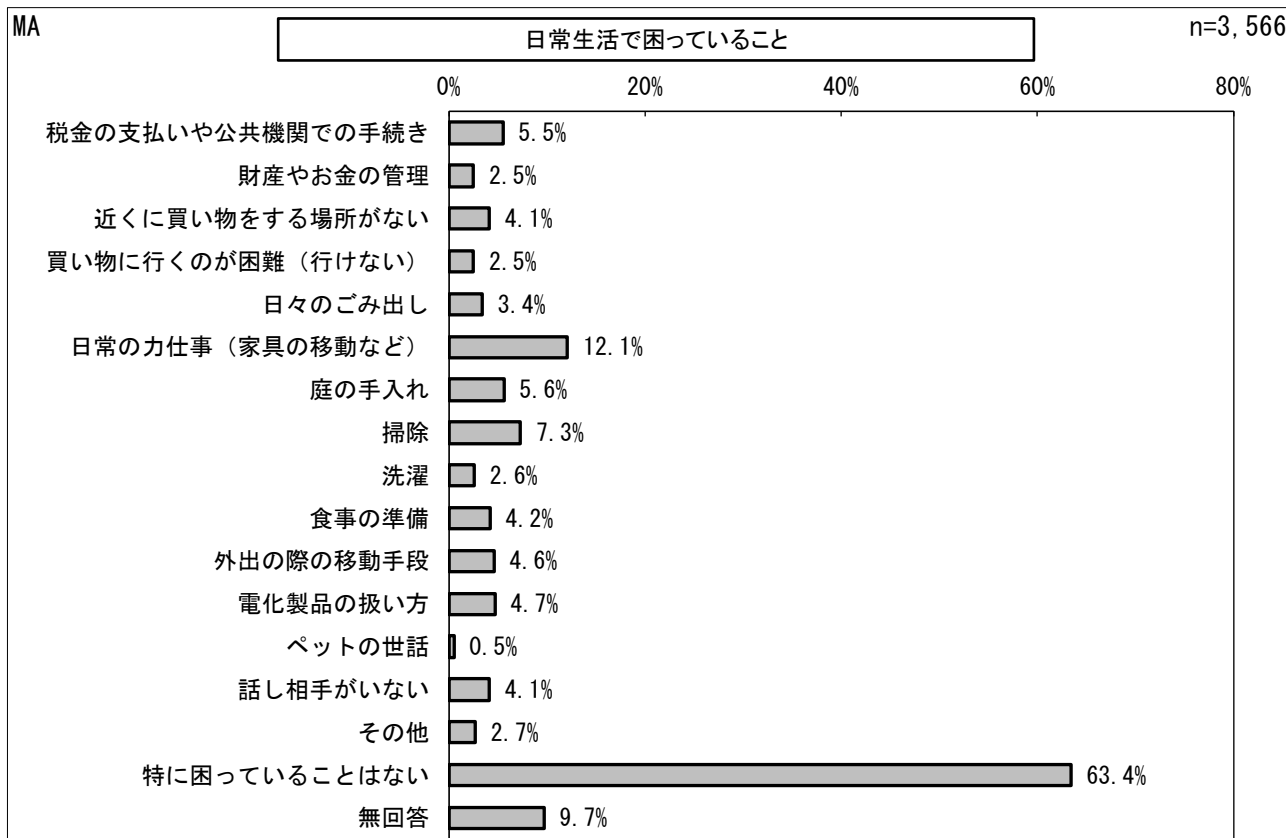
人生の最期の時を自宅で過ごすことでの不安では、「介護などの家族の負担が心配」が54.9%で最も高く、「自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配」が48.3%と続いています。



②日常生活についての高齢者のニーズ

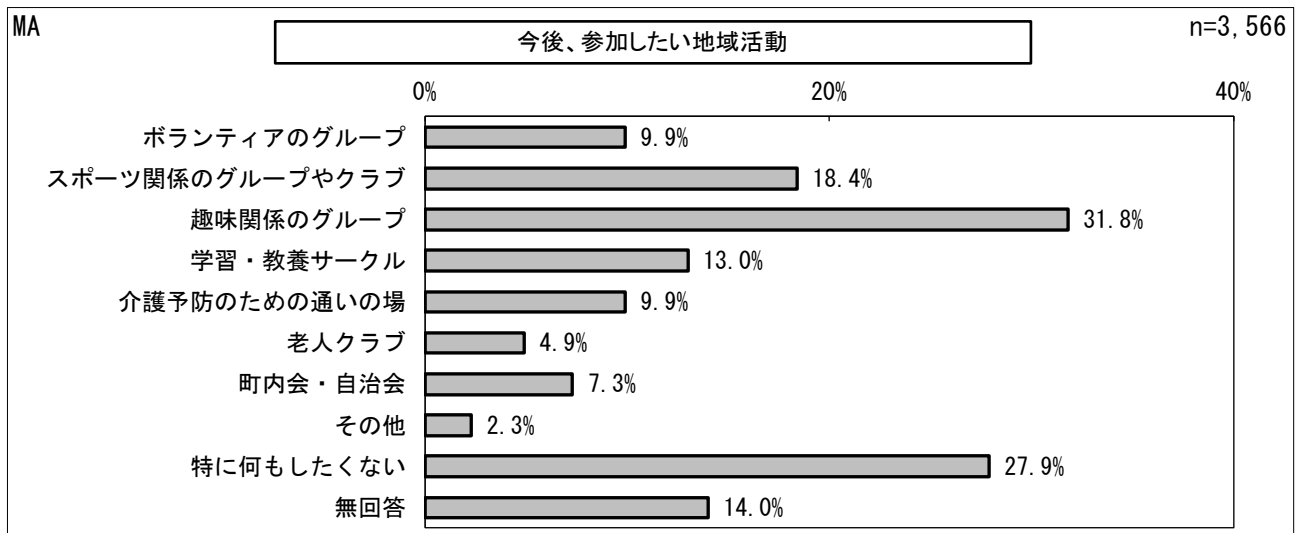
日常生活で困っていることでは、「特に困っていることはない」が6割超となっています。具体的に困っていることでは、「日常の力仕事（家具の移動など）」が12.1%と最も高く、「掃除」が7.3%、「庭の手入れ」が5.6%と続いています。

将来の生活で心配や不安なことでは、「自分や家族の健康に関すること」が40.6%と最も高く、「自分や家族が認知症になること」が32.5%、「経済的なこと」が30.1%と続いています。

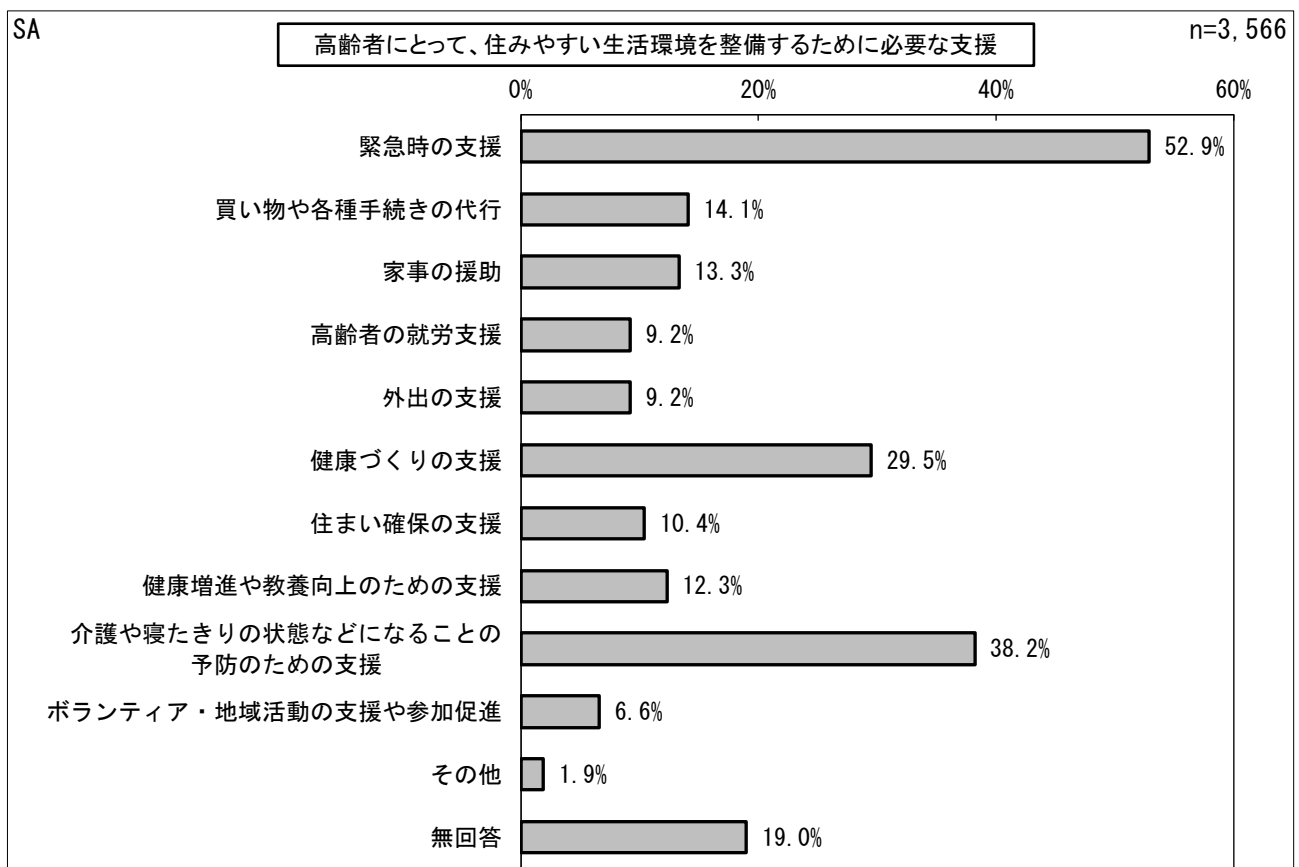


結果の概要

今後、参加したい地域活動では、「趣味関係のグループ」が 31.8%と最も高く、「スポーツ関係のグループやクラブ」が 18.4%、「学習・教養サークル」が 13.0%と続いています。

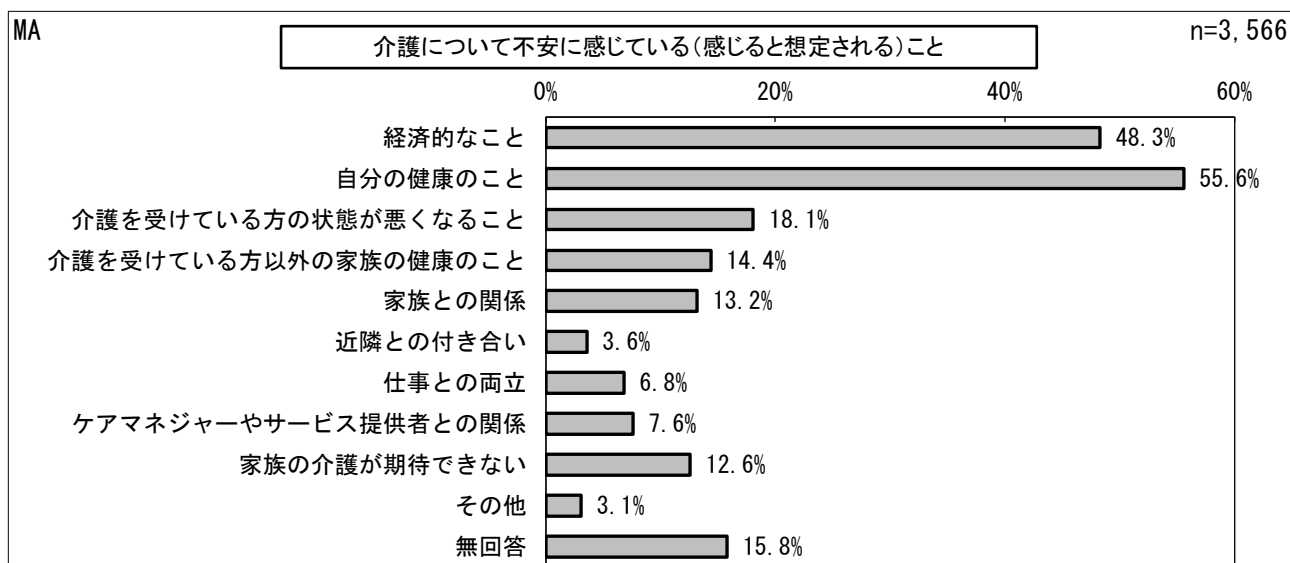
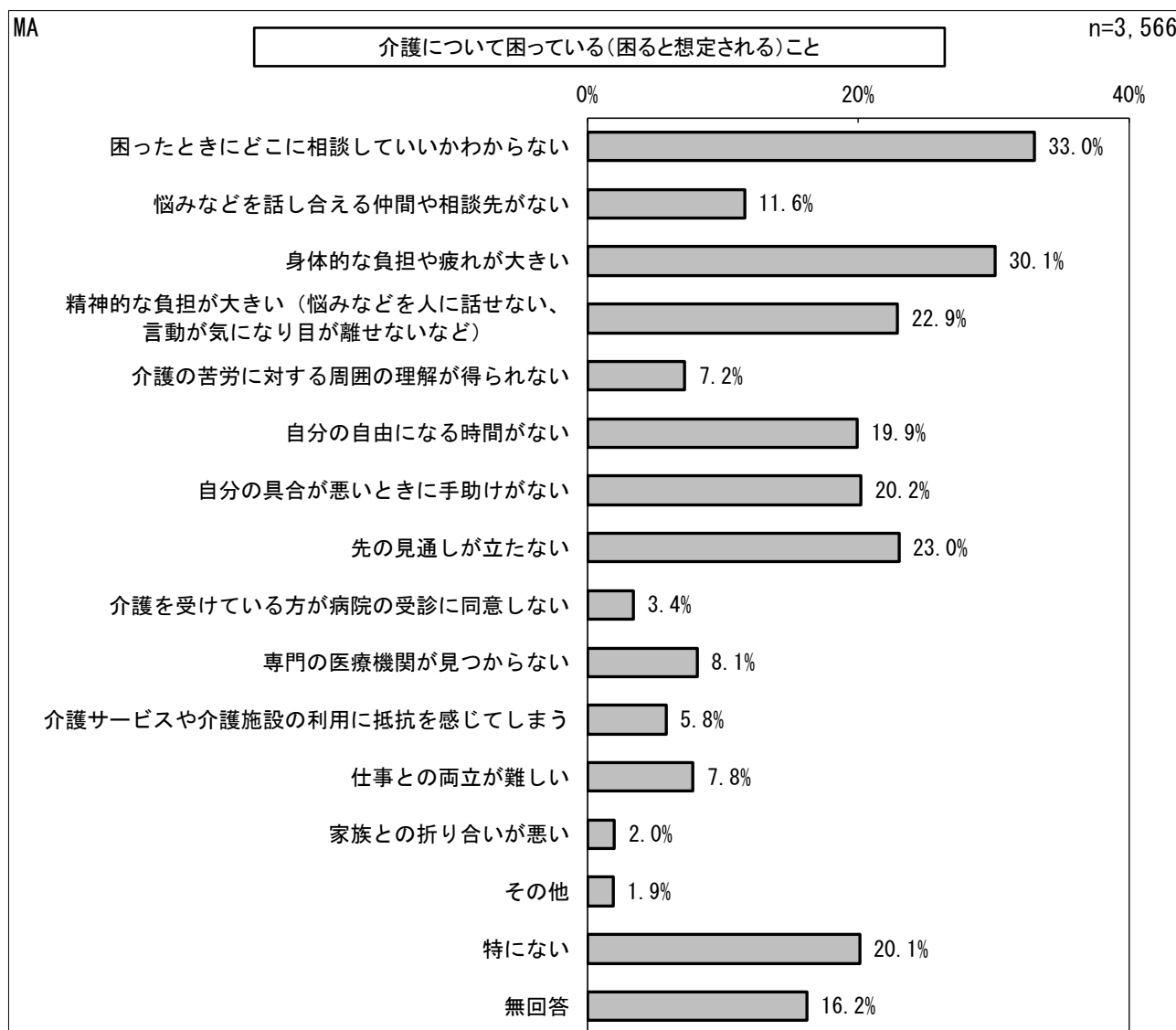


高齢者にとって、住みやすい生活環境を整備するために必要な支援では、「緊急時の支援」が 52.9%と最も高く、「介護や寝たきりの状態などになることの予防のための支援」が 38.2%、「健康づくりの支援」が 29.5%と続いています。



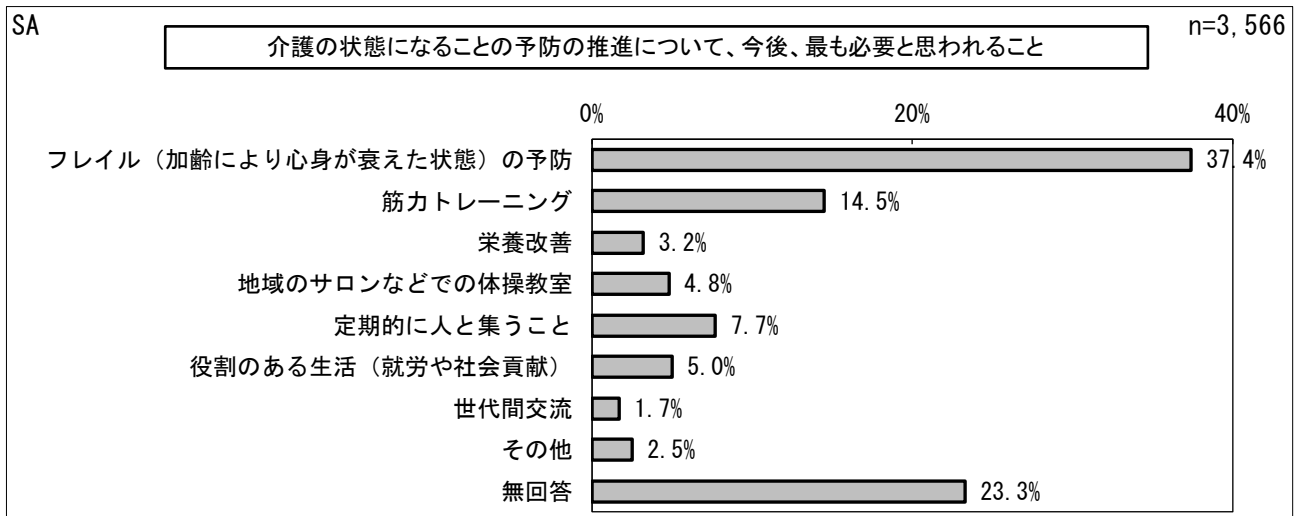
③介護についての高齢者のニーズ

介護について困っていること（困ると想定される）ことでは、「困ったときにどこに相談していいかわからない」が 33.0%と最も高くなっています。介護について不安に感じている（感じると想定される）ことでは、「自分の健康のこと」（55.6%）や「経済的なこと」（48.3%）に回答が集中しています。



結果の概要

介護の状態になることの予防の推進について、今後、最も必要と思われることでは、「フレイル（加齢により心身が衰えた状態）の予防」が 37.4%と最も高く、「筋力トレーニング」が 14.5%と続いています。



(5) 主観的幸福度について

高齢者の主観的幸福度を把握することが、本調査の目的のひとつです。そこで、現在の主観的幸福度および、どのような行動（施策）が幸福度を上げることに繋がるかを分析します。

①性別・年代別

まずは、幸福度の基本的な傾向について確認します。

性別・年代別にみると、男女とも年代が上がるほど、平均（以下、幸福度）は上がる傾向にあります。また、いずれの年代でも男性より女性の幸福度が高くなっています。

(%)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均
65～74歳-男性(801人)	0.7	0.5	1.5	2.5	3.9	19.0	11.4	17.4	20.3	7.1	11.9	6.83点
65～74歳-女性(906人)	0.0	0.8	0.6	1.7	1.9	15.1	7.1	17.9	26.5	9.2	16.4	7.38点
75～84歳-男性(570人)	0.5	0.5	0.7	3.2	2.3	20.4	13.0	15.6	16.8	6.8	13.9	6.88点
75～84歳-女性(805人)	0.2	0.4	0.2	1.7	2.1	17.4	8.3	12.9	20.7	10.6	20.0	7.43点
85歳～-男性(145人)	0.0	1.4	0.0	4.8	1.4	20.0	9.0	13.8	21.4	7.6	13.1	6.95点
85歳～-女性(177人)	0.0	0.6	0.6	1.7	2.8	16.9	4.0	10.7	19.8	7.9	27.1	7.63点

②家族構成別

家族構成別では、1人暮らしの幸福度が6.68点と低くなっています。

一方、息子・娘夫婦と同居している方の幸福度は、7.61点と高くなっています。

(%)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均
1人暮らし(706人)	0.7	0.8	0.6	4.4	4.2	22.5	10.8	16.4	15.3	7.1	12.9	6.68点
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)(1325人)	0.2	0.7	0.6	1.7	1.7	15.8	8.9	15.3	24.0	9.5	16.7	7.33点
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)(128人)	0.8	0.0	1.6	3.9	0.8	14.1	7.0	22.7	23.4	9.4	14.8	7.21点
息子・娘夫婦との同居(337人)	0.3	0.3	0.6	1.2	1.5	16.3	7.1	12.2	22.8	8.9	24.3	7.61点
独身の息子・娘との同居(783人)	0.1	0.4	0.9	1.5	2.6	17.9	9.5	15.8	22.9	8.0	15.5	7.20点

③現在の健康状態別

現在の健康状態別では、健康状態がとてもよい方の幸福度が8.50点と非常に高くなっています。一方健康状態がよくない方の幸福度は5.12点と低くなっています。

幸福度には、健康状態との強い相関がみられることが読み取れます。

(%)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均
とてもよい(488人)	0.0	0.0	0.0	0.8	0.4	7.6	5.3	8.6	21.7	11.5	42.6	8.50点
まあよい(2283人)	0.2	0.4	0.5	1.1	2.2	17.3	10.2	17.6	24.7	9.1	14.0	7.23点
あまりよくない(581人)	0.5	0.9	1.9	6.2	5.5	27.4	10.5	17.0	13.9	5.7	7.4	6.20点
よくない(97人)	4.1	6.2	2.1	13.4	3.1	32.0	6.2	6.2	10.3	3.1	6.2	5.12点

結果の概要

④ 普段の生活での介護・介助の必要性別

普段の生活での介護・介助の必要性別では、介護・介助の必要がない方の幸福度が7.30点と高くなっています。介護・介助が必要な方をみると、何らかの介護を受けている方より、介護が必要だが現在は受けていない方の幸福度が相対的に低くなっています。

適切な介護・介助を提供することが幸福度の向上に寄与すると推測できます。

(%)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均
介護・介助の必要はない (2931人)	0.2	0.4	0.6	1.6	2.2	16.6	9.3	16.3	23.0	8.9	16.9	7.30点
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない (194人)	1.5	3.1	1.0	7.2	3.6	27.8	7.7	12.9	10.8	7.2	9.3	6.08点
現在、何らかの介護を受けている (164人)	0.0	1.2	1.8	5.5	5.5	25.6	6.7	10.4	15.2	4.3	13.4	6.46点

⑤ 趣味・生きがいの有無別

趣味や生きがいの有無別では、趣味や生きがいがある方の幸福度が高い傾向にあります。とりわけ、生きがいがある方の幸福度は7.69点と高くなっています。

趣味の有無別

(%)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均
趣味あり (2520人)	0.3	0.4	0.4	1.3	1.8	14.9	9.3	16.3	23.9	9.6	17.9	7.42点
思いつかない (803人)	0.5	1.0	1.7	4.4	4.4	25.2	9.8	13.7	16.3	5.5	12.0	6.52点

生きがいの有無別

(%)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均
生きがいあり (2026人)	0.1	0.2	0.2	0.8	1.3	11.6	8.6	16.5	25.3	10.9	20.7	7.69点
思いつかない (1227人)	0.7	1.0	1.5	4.5	4.4	27.7	11.1	14.8	16.1	4.5	8.5	6.31点

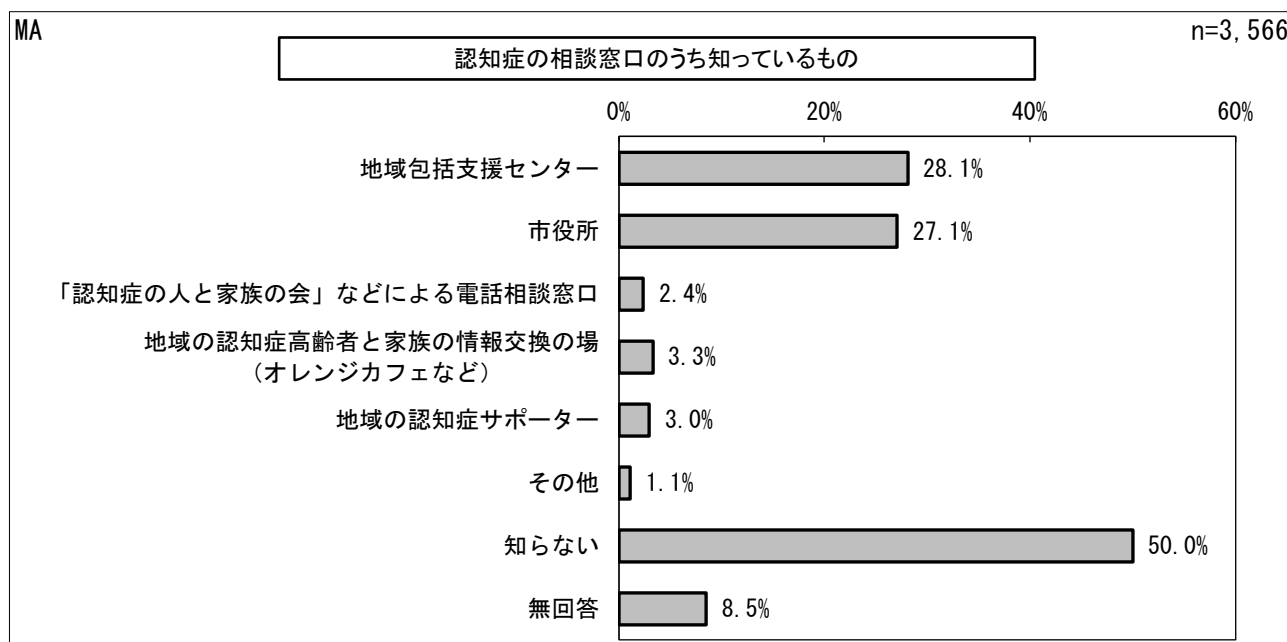
(6) 市の施策等について

① 認知症

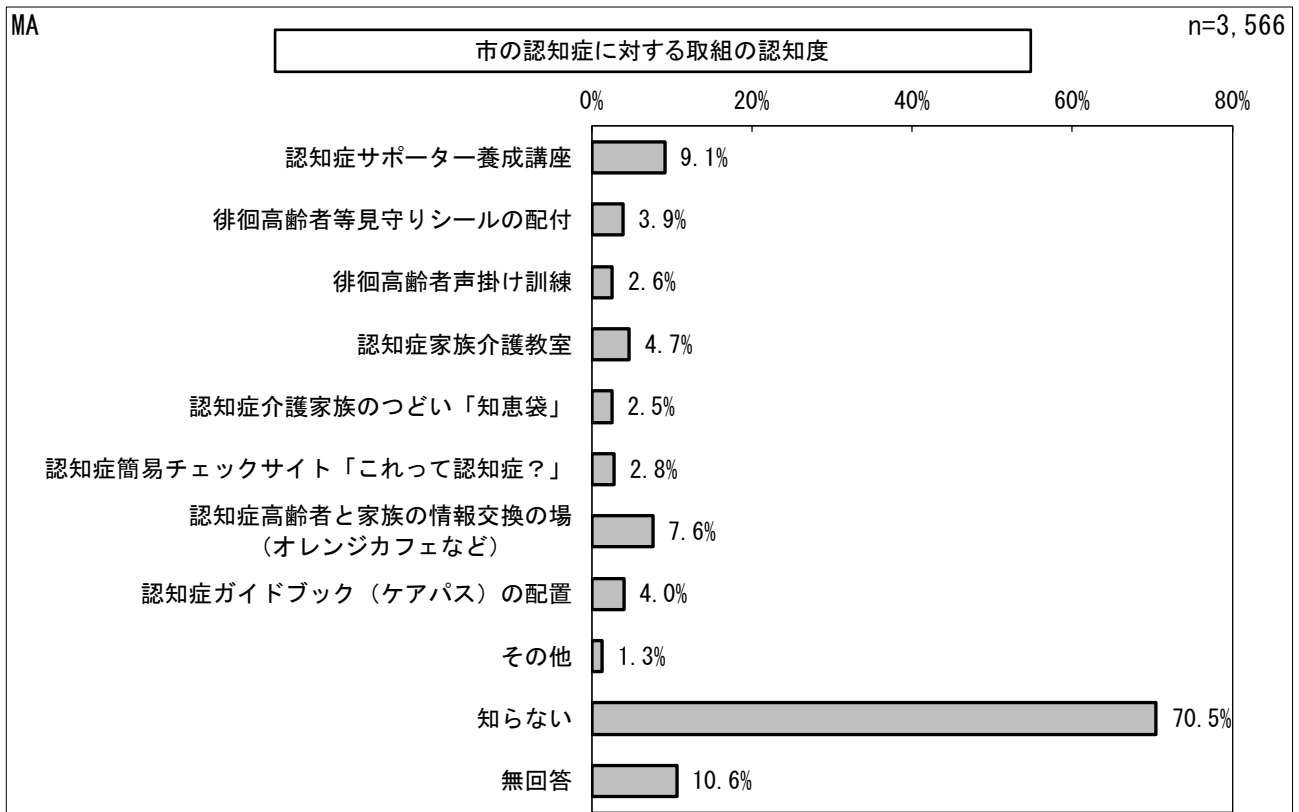
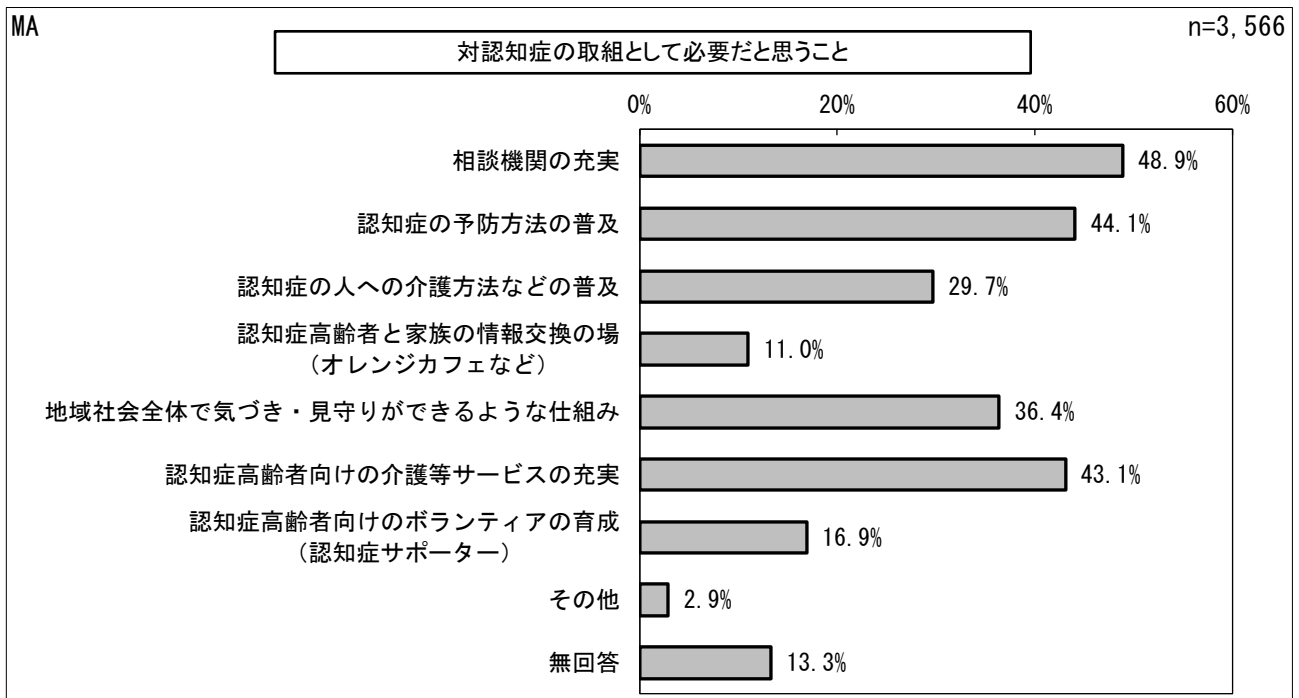
認知症の相談窓口のうち知っているものでは、「知らない」が50.0%と最も高くなっています。具体的な相談窓口のうち知っているものでは、「地域包括支援センター」が28.1%、「市役所」が27.1%となっています。

対認知症の取組として必要だと思うことでは、「相談機関の充実」が48.9%と最も高く、「認知症の予防方法の普及」が44.1%、「認知症高齢者向けの介護等サービスの充実」が43.1%と続いています。

市の認知症に対する取組の認知度では、「知らない」が70.5%となっています。

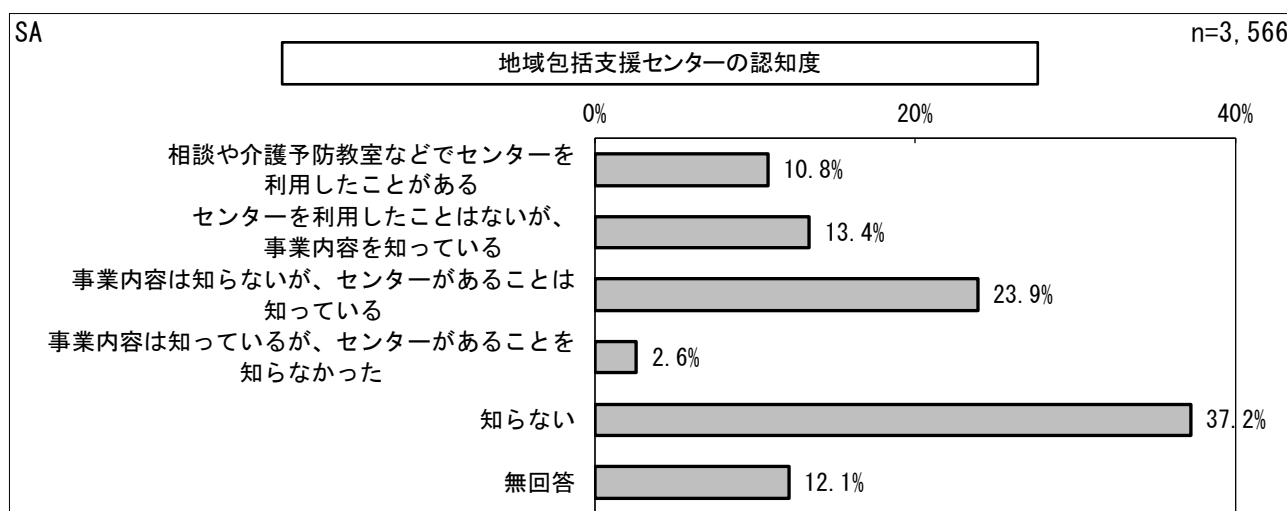


結果の概要



②地域包括支援センター

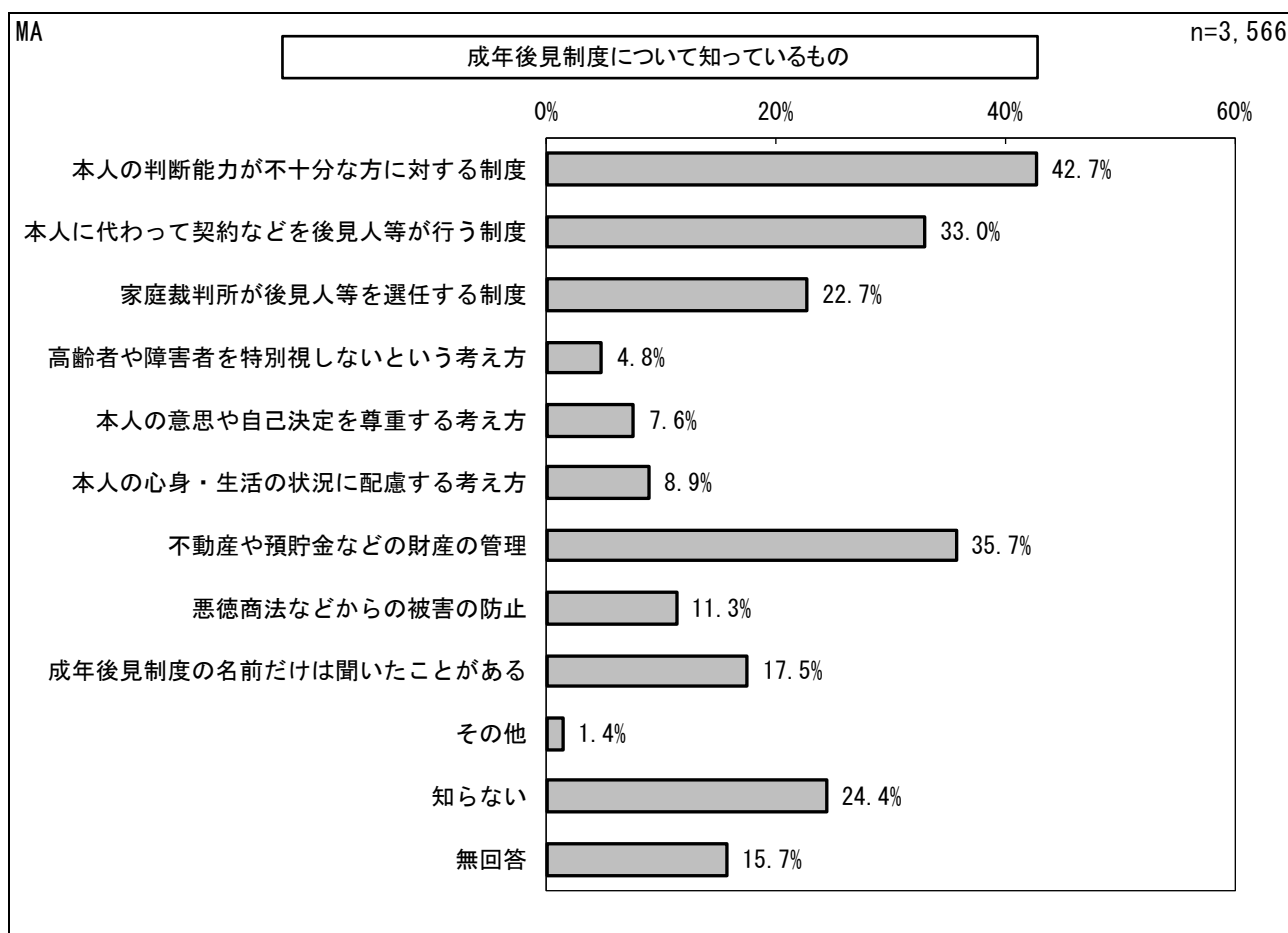
地域包括支援センターの認知度では、「知らない」が37.2%と最も高くなっています。



③成年後見制度

成年後見制度について知っているものでは、「本人の判断能力が不十分な方に対する制度」が42.7%と最も高く、「不動産や預貯金などの財産の管理」が35.7%、「本人に代わって、医療や介護などの手配や契約手続きなどを後見人等が行う制度」が33.0%と続いています。

また、「知らない」も24.4%みられ、4人に1人は成年後見制度を知らないことがわかります。

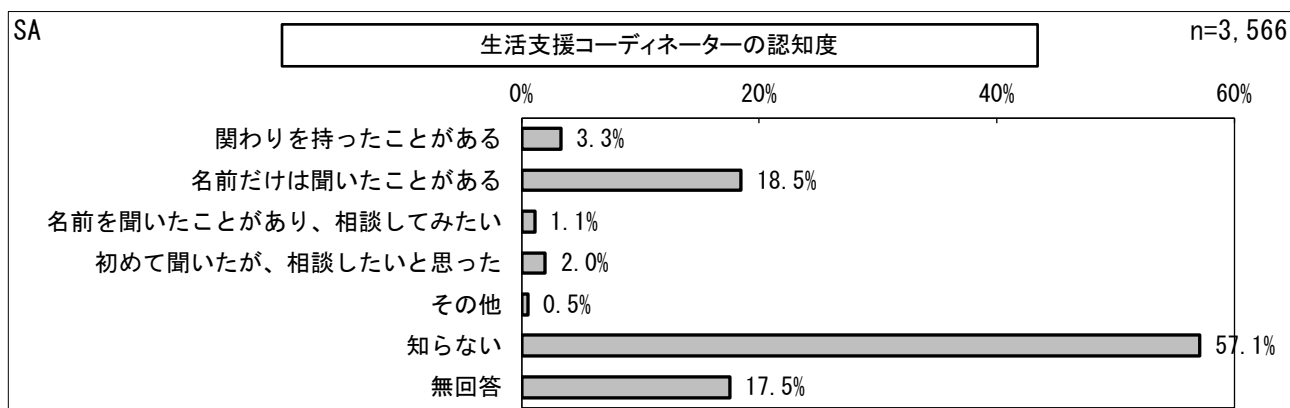


※設問名を一部略して記載している

結果の概要

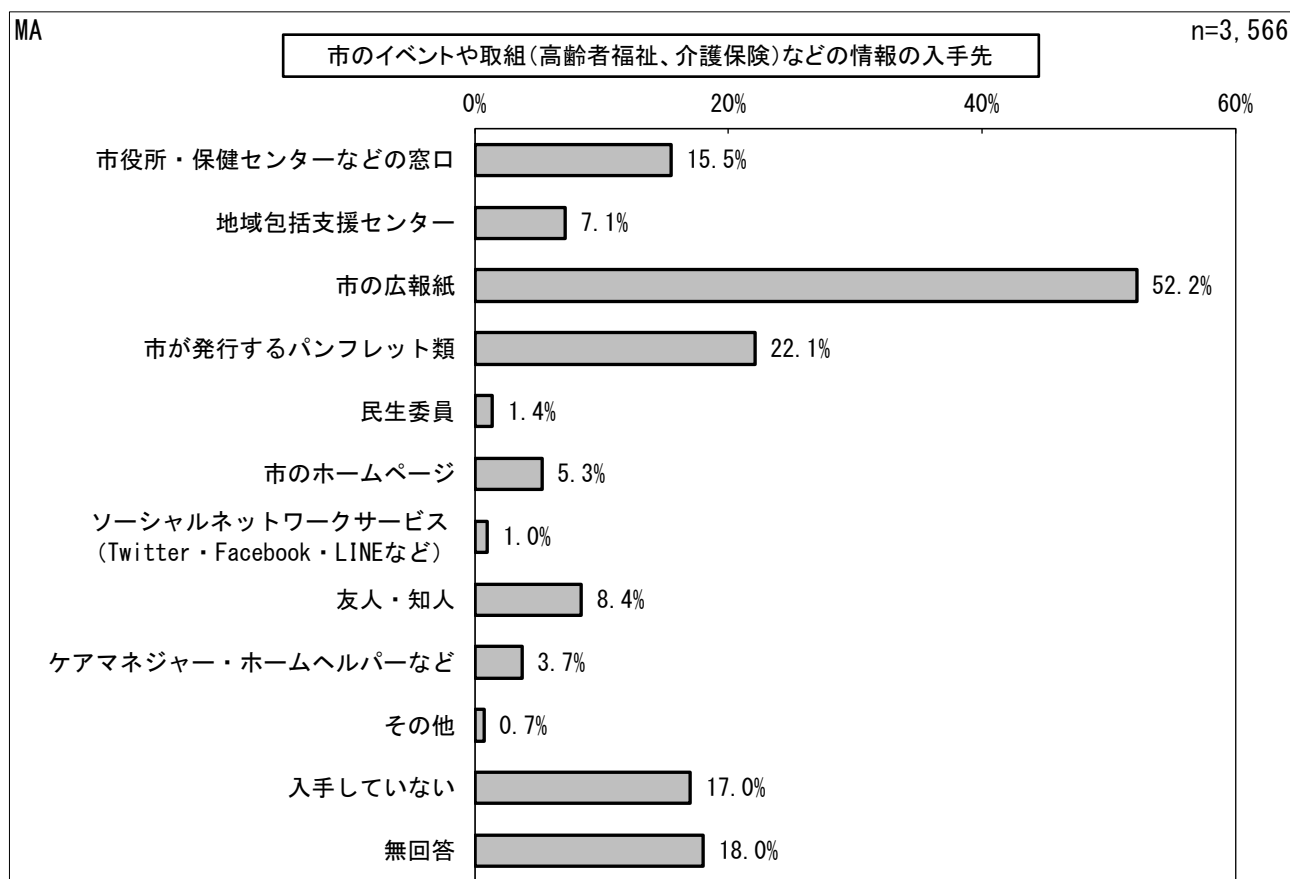
④生活支援コーディネーター

生活支援コーディネーターの認知度では、「知らない」が約6割（57.1%）となっています。



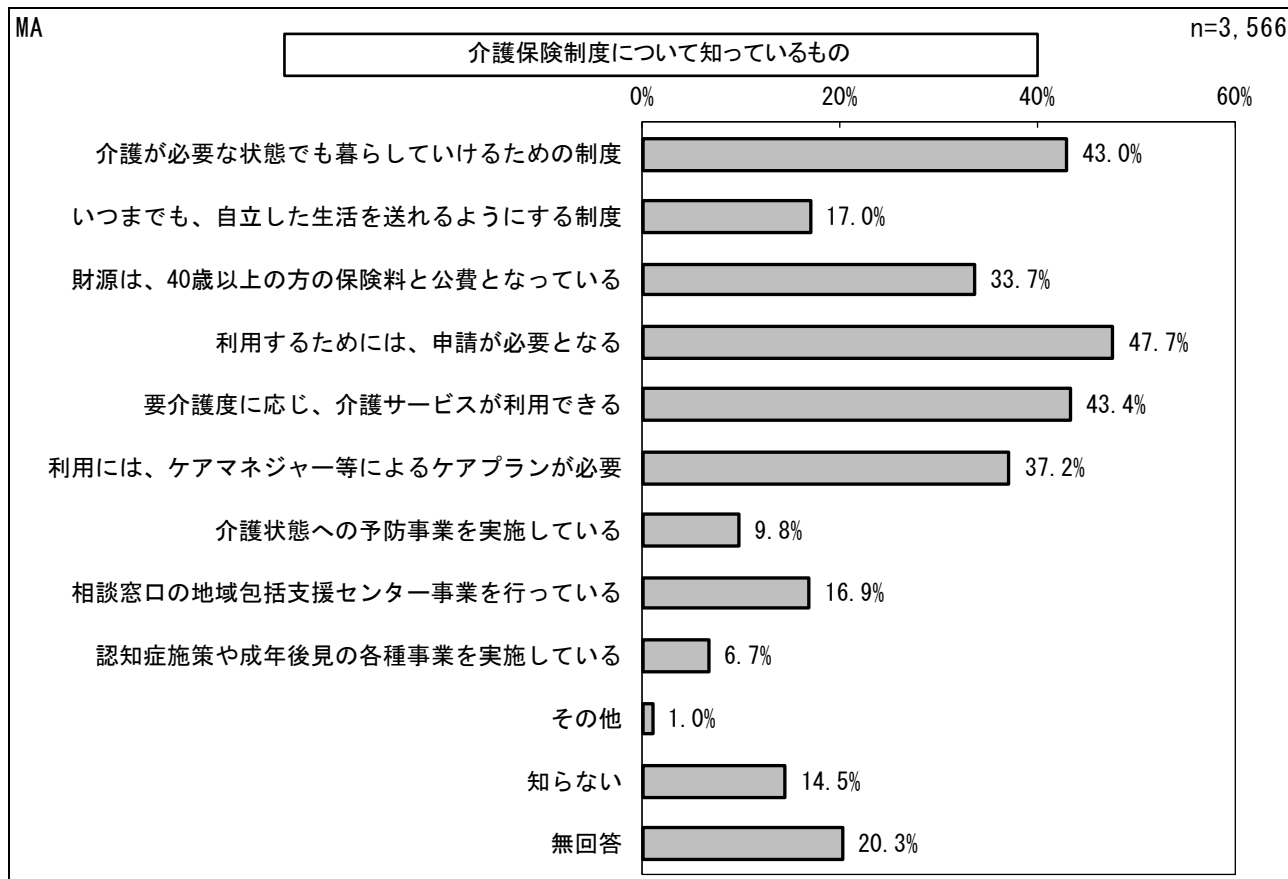
⑤市のイベントや取組（高齢者福祉、介護保険）などの情報の入手先

市のイベントや取組（高齢者福祉、介護保険）などの情報の入手先では、「市の広報紙」が52.2%と最も高く、「市が発行するパンフレット類」が22.1%、「市役所・保健センターなどの窓口」が15.5%と続いています。市の情報発信から、情報を入手する方が多いことがうかがえます。



⑥介護保険制度

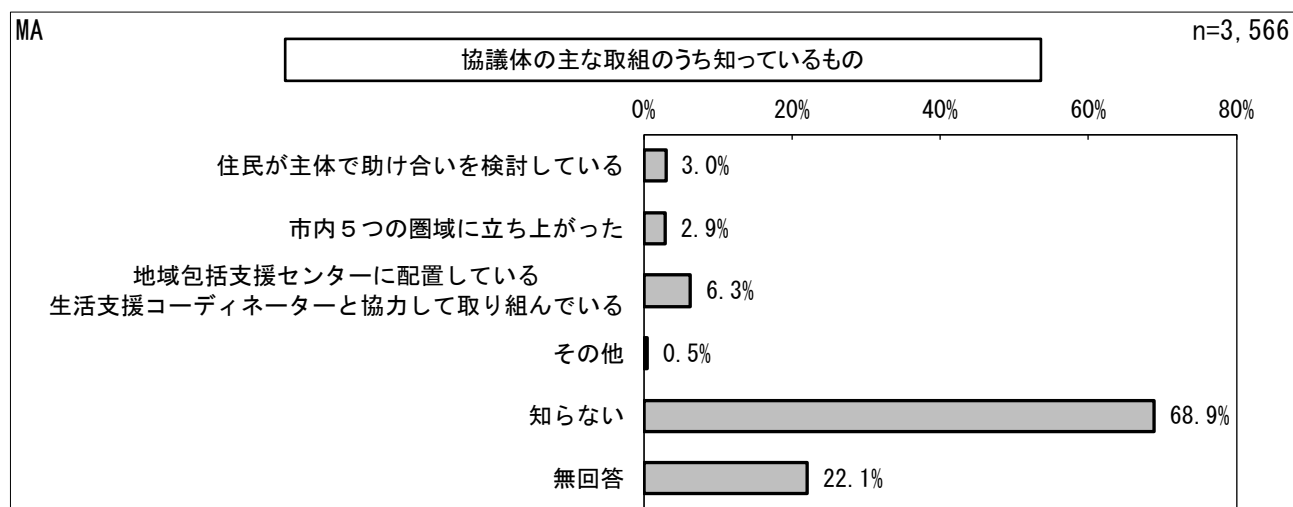
介護保険制度について知っているものでは、「介護サービスを利用するためには、申請が必要となる」が47.7%と最も高く、「介護認定審査により要介護度が決定されて、介護度に応じ、介護サービスが利用できる」が43.4%、「介護が必要な状態になっても高齢者が地域で安心して暮らしていただけるための制度」が43.0%と続いています。なお、「知らない」は14.5%に留まっています。



※設問名を一部略して記載している

⑦協議体

協議体の主な取組のうち知っているものでは、「知らない」が約7割（68.9%）となっています。

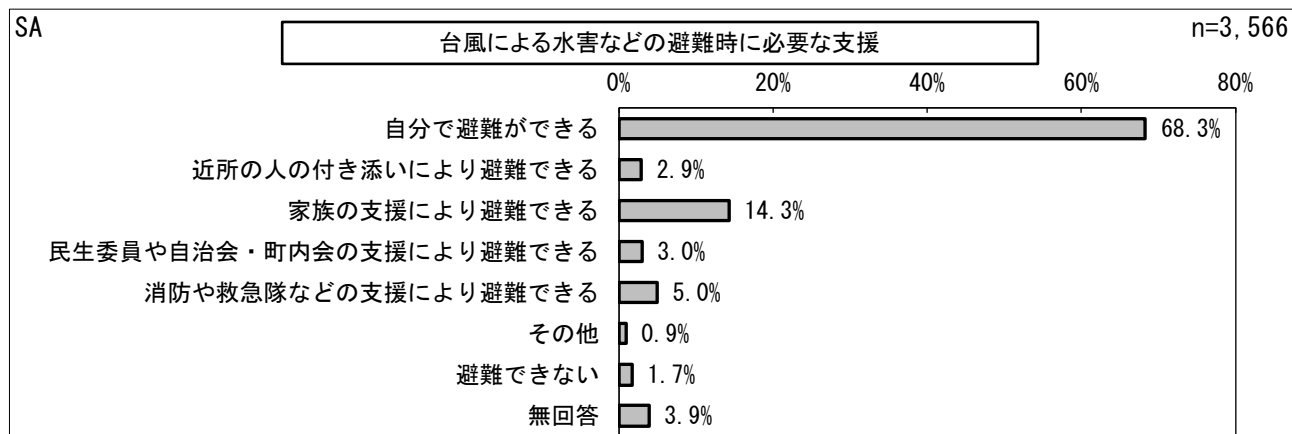
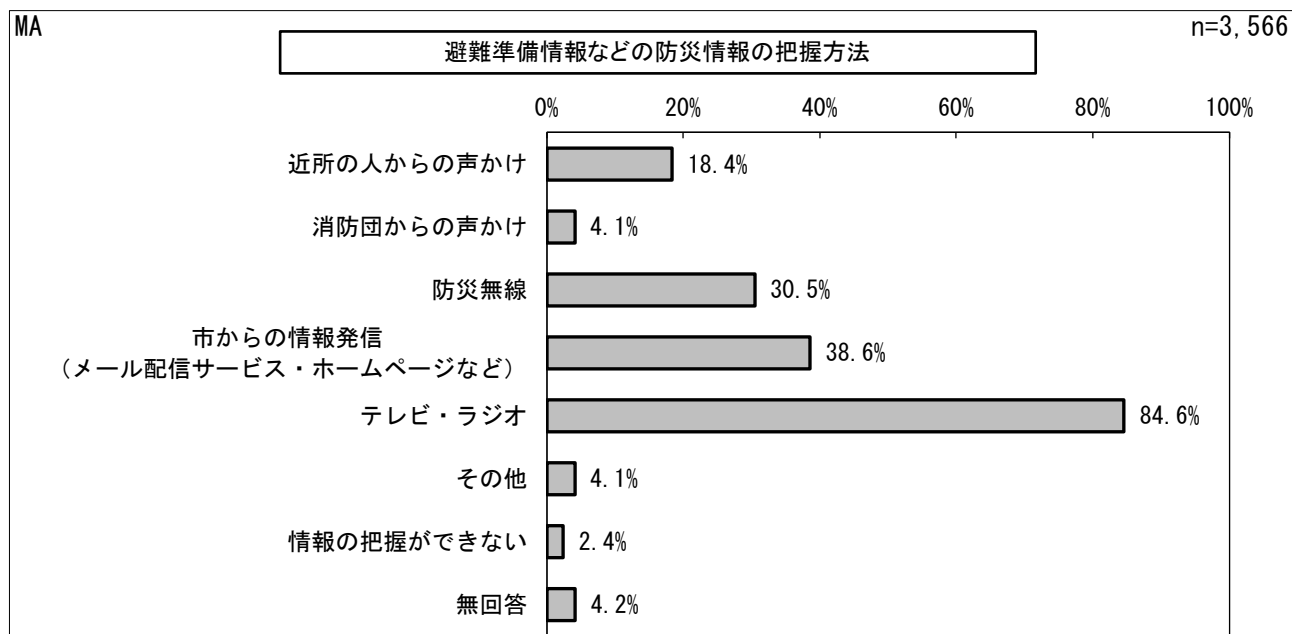


結果の概要

⑧災害

避難準備情報などの防災情報の把握方法では、「テレビやラジオ」が84.6%と最も高く、「市からの情報発信」が38.6%と続いています。なお、「情報の把握ができない」は2.4%に留まっており、ほとんどの方は、何かしらの方法で防災情報を把握できているといえます。

台風による水害などの避難時に必要な支援では、「自分で避難ができる」が68.3%となっています。



2 在宅介護実態調査

1 調査の項目

小問	設問内容
回答者の属性（要介護認定データより）	
－	性別
－	年齢
－	要介護度
－	日常生活自立度
－	介護保険サービス利用の組み合わせ
－	訪問系サービスの利用回数
－	通所系サービスの利用回数
－	短期系サービスの利用回数
A票	
－	聞き取りの対象
問 1	世帯類型
問 2	家族や親族からの介護は、週にどのくらいあるか （同居していない子どもや親族等からの介護を含む）
問 3	主な介護者はだれか
問 4	主な介護者の性別
問 5	主な介護者の年齢
問 6	現在、主な介護者が行っている介護の内容
問 7	家族や親族の中で、調査対象者の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた人がいるか
問 8	現在利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービス
問 9	今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス
問 10	現時点での施設等への入所・入居の検討状況
問 11	調査対象者が現在抱えている傷病
問 12	調査対象者は現在、訪問診療を利用しているか
問 13	現在（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しているか
問 14	介護保険サービスを利用していない理由
B票	
問 1	主な介護者の現在の勤務形態
問 2	主な介護者は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしているか
問 3	主な介護者は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うか
問 4	主な介護者は、今後も働きながら介護を続けていけそうか
問 5	現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等 （現状で行っているか否かは問わない）

結果の概要

2 調査結果の概要

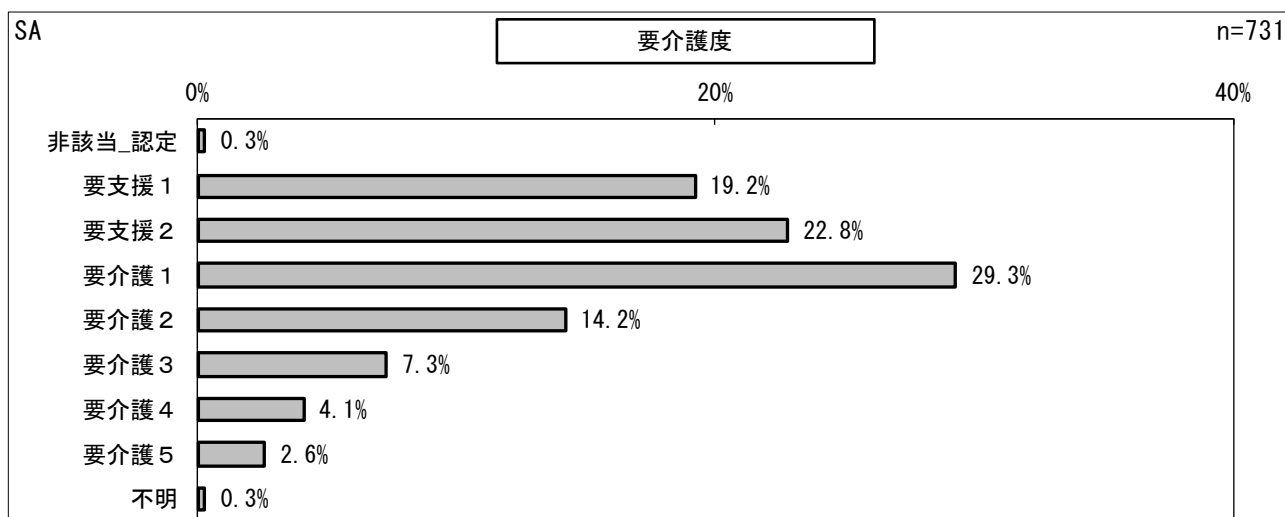
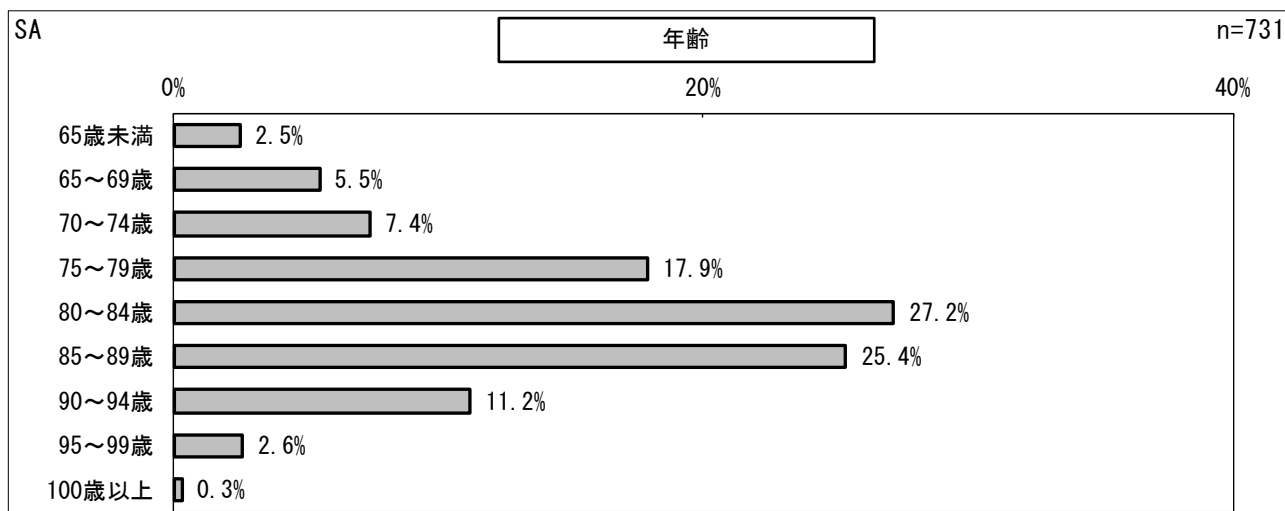
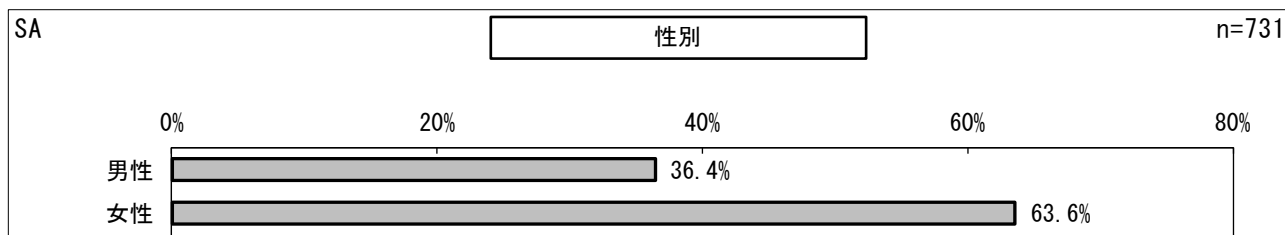
(1) 回答者の属性

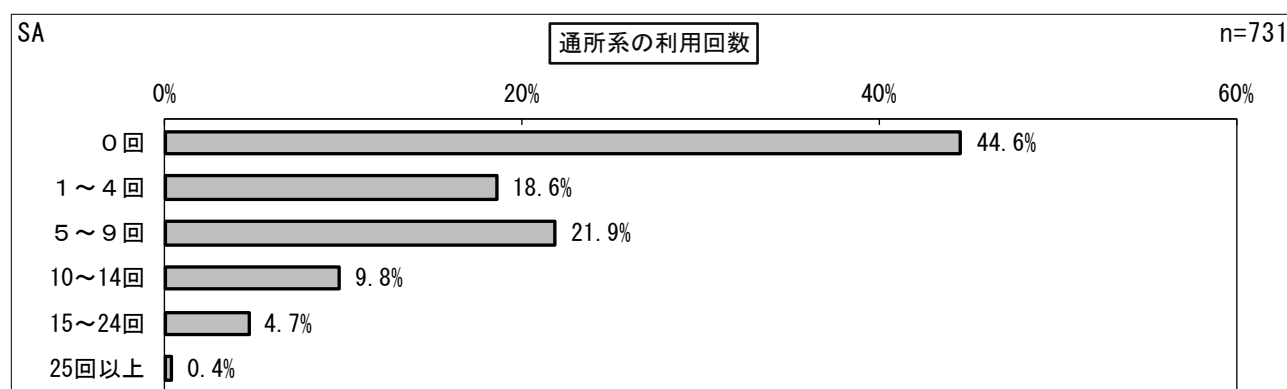
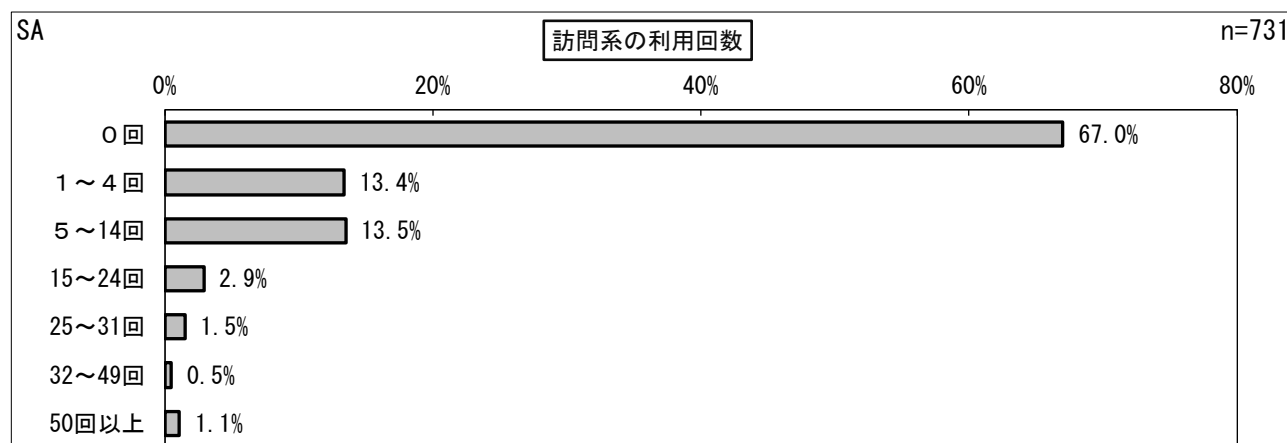
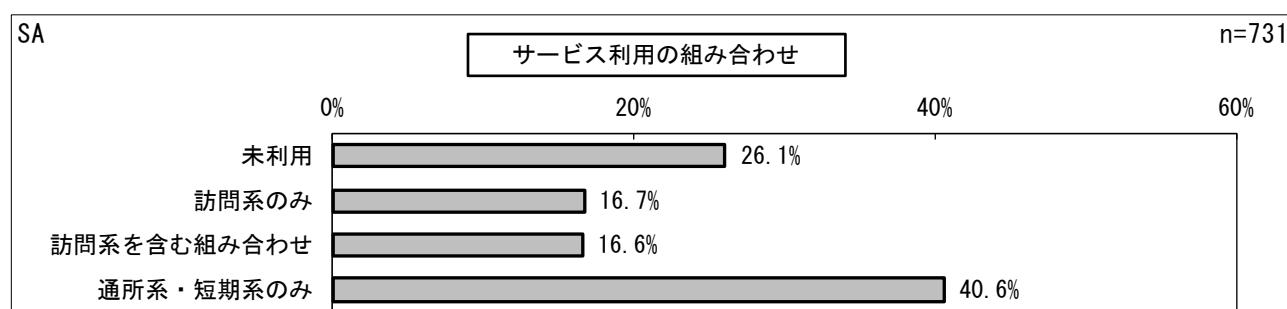
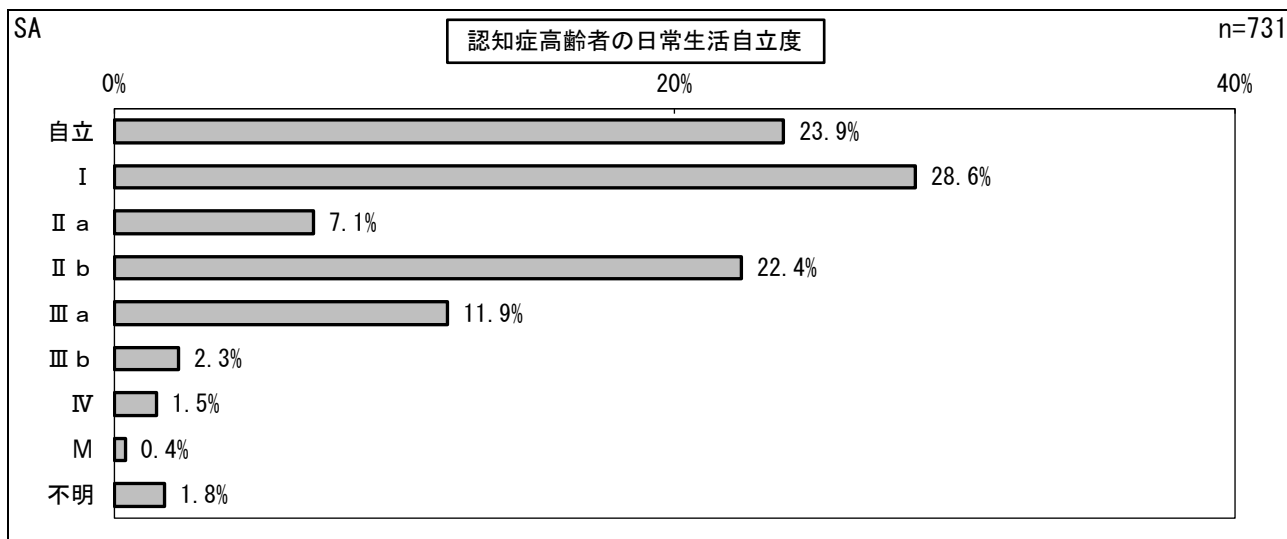
性別では「男性」よりも「女性」が多くなっています。

年齢では“前期高齢者”（12.9%）よりも“後期高齢者”（84.6%）が多くなっています。

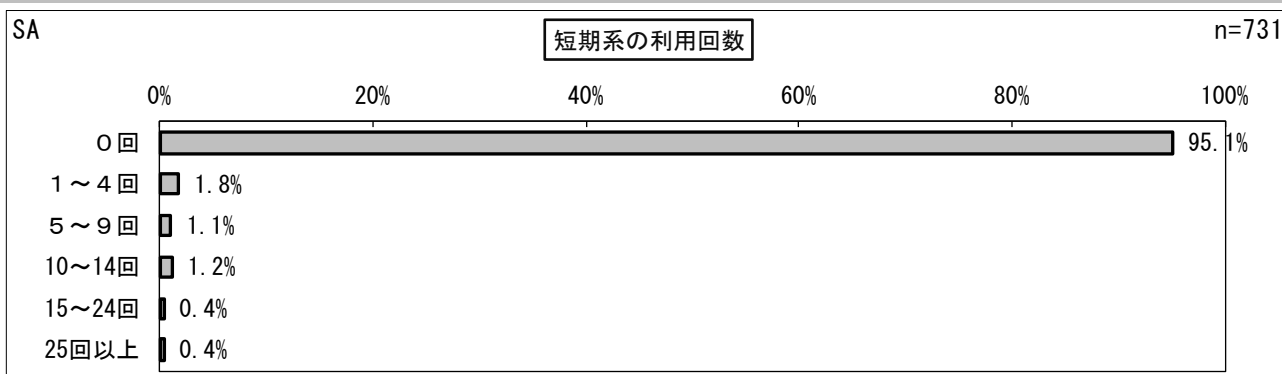
要介護度では、“要支援1・2”が42.0%、“要介護1・2”が43.5%、要介護3以上が14.0%となっています。

サービス利用の組み合わせでは、訪問系のみが16.7%、訪問系を含む組み合わせが16.6%、通所系・短期系のみが40.6%となっています。





結果の概要

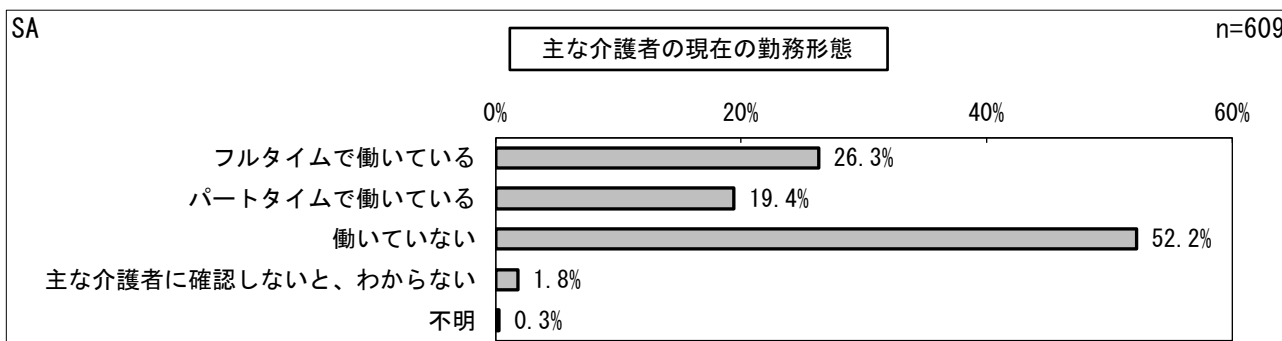
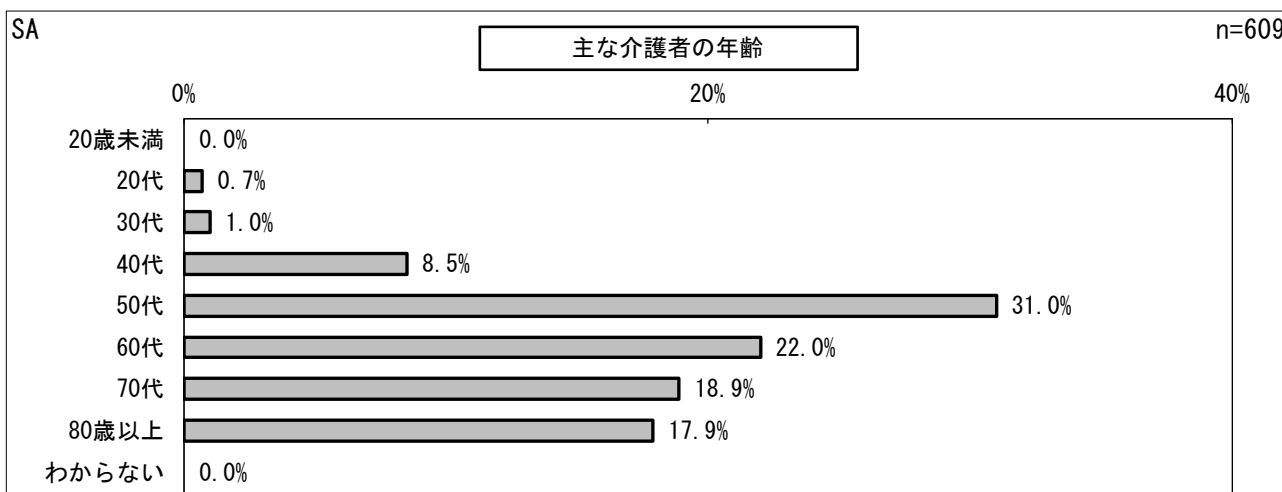
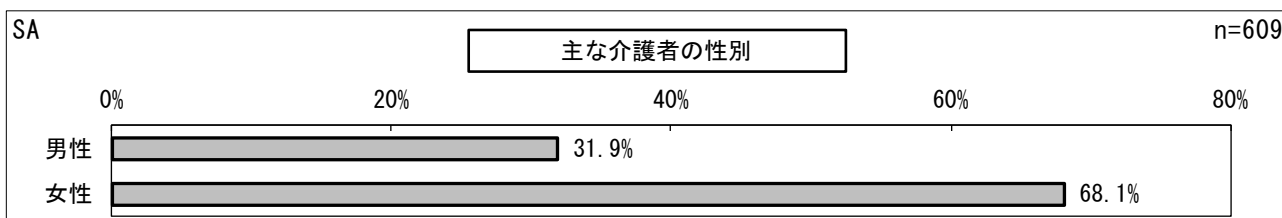


(2) 介護者の属性

性別では「男性」よりも「女性」が多くなっています。

年齢では、50代が31.0%と最も高く、60代が22.0%、70代が18.9%と続いています。70～80代が全体の約4割（36.8%）となっており、介護者の高齢化が進行している状況が読み取れます。

主な介護者の現在の勤務形態では、「フルタイムで働いている」が26.3%、「パートタイムで働いている」が19.4%、「働いていない」が52.2%となっています。

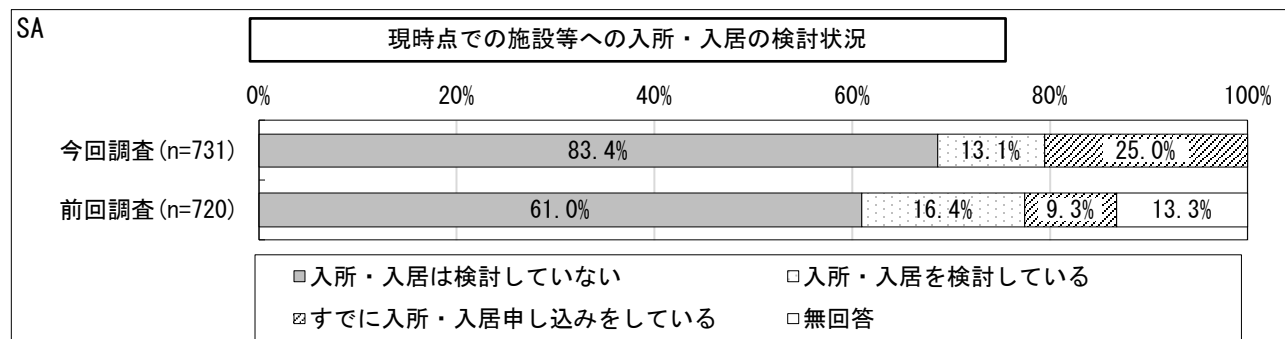


(3) 要介護者の在宅生活の継続/介護者の就労継続に向けて

①在宅生活を継続するための支援・サービスの提供体制の検討

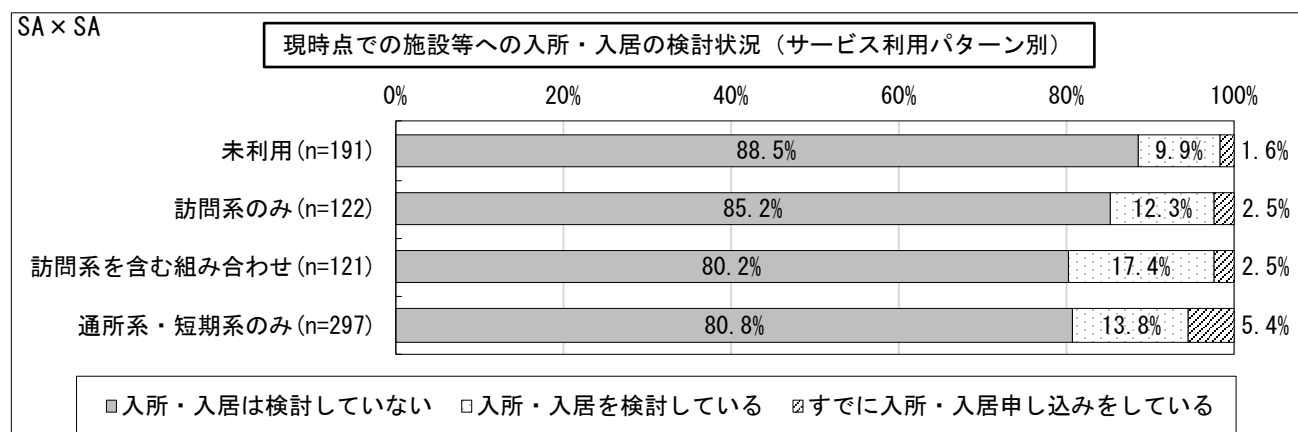
ア) 現状把握

施設への入所・入居の検討状況について、前回調査と比べると「入所・入居は検討していない」の割合が高くなっています。つまり、在宅生活を継続できる割合が増加している傾向と考えられます。

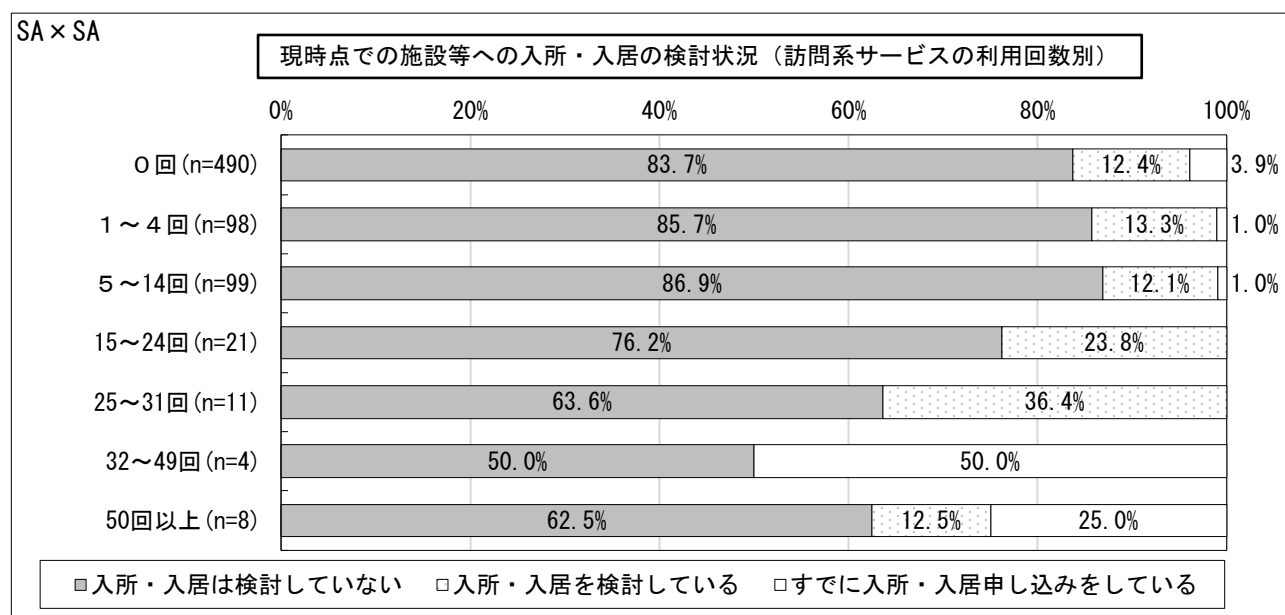


イ) 課題の抽出

<施設等検討の状況>と<サービスの利用パターン>の関係をみると、訪問系サービスのみを利用する方は、「入所・入居は検討していない」の割合が高くなっていることが読み取れます。

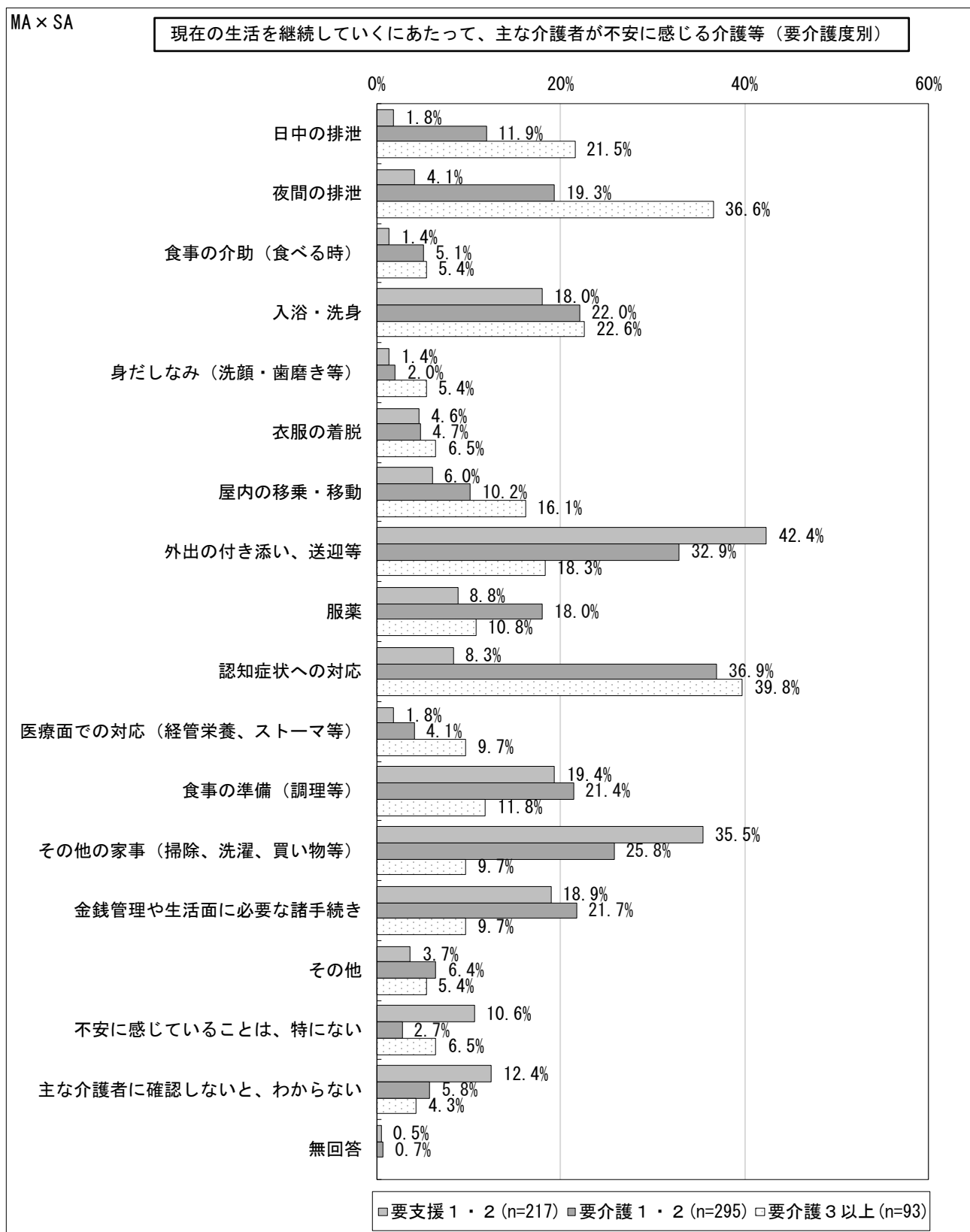


<施設等検討の状況>と<訪問系サービスの利用回数>の関係をみると、利用回数が 14 回以下では「入所・入居は検討していない」の割合が 8 割以上となっています。



結果の概要

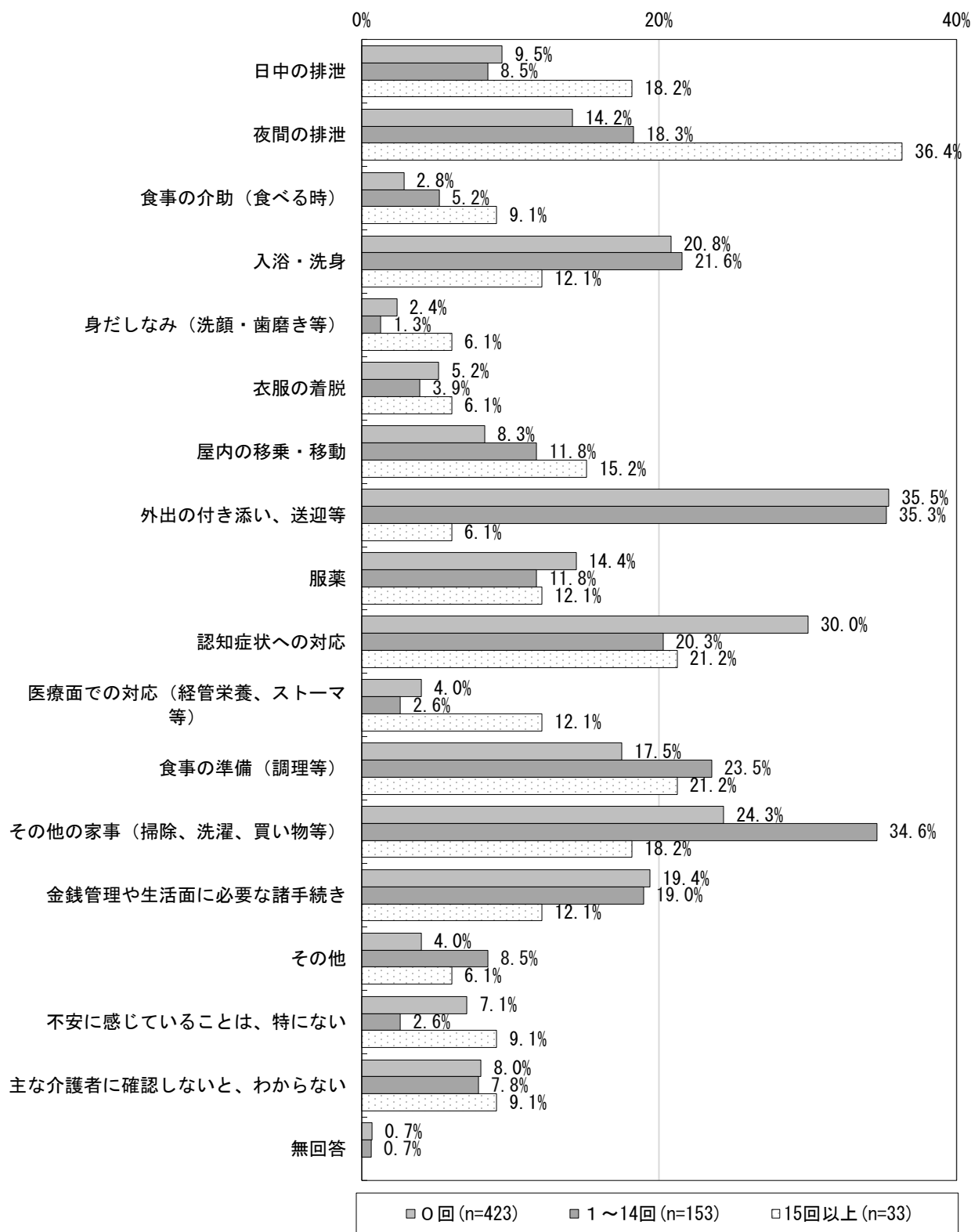
＜現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等＞と＜要介護度＞の関係をみると、要介護3以上では、「認知症状への対応」（39.8％）と「夜間の排泄」（36.6％）の割合が高くなっています。在宅生活の継続が困難と判断する重要なポイントとして、認知症と排泄の2点が挙げられると考えられます。



<現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等>と<訪問系サービスの利用回数>の関係をみると、訪問系サービスの利用回数の増加とともに、「夜間の排泄」の割合が増加する傾向にあります。

MA × SA

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等（訪問系サービスの利用回数別）



結果の概要

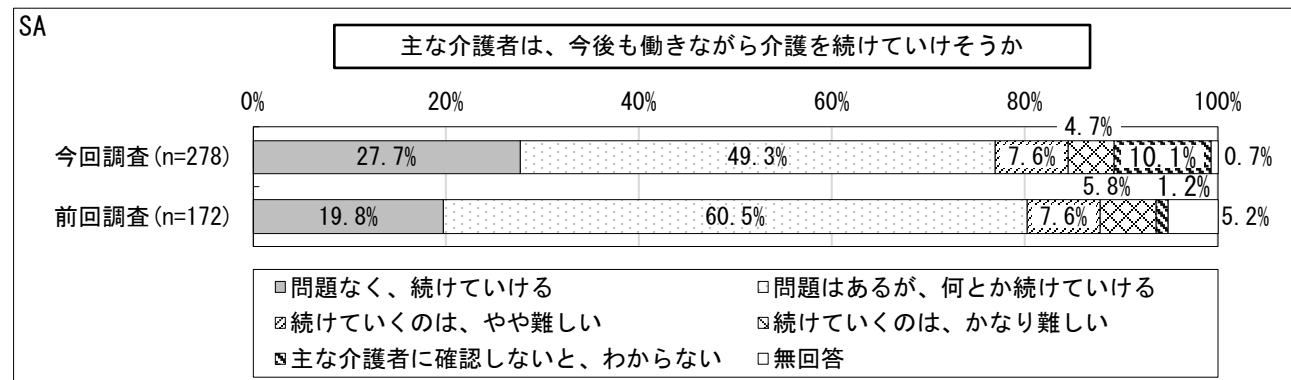
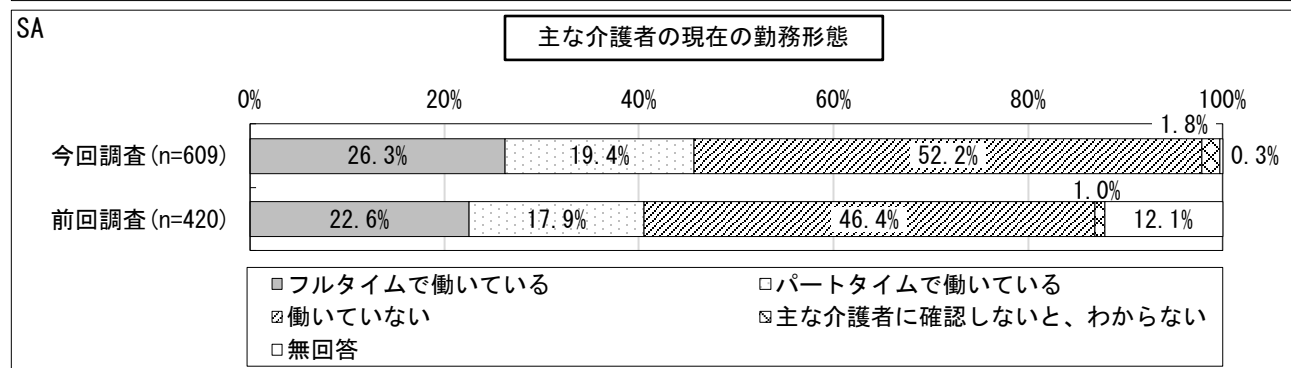
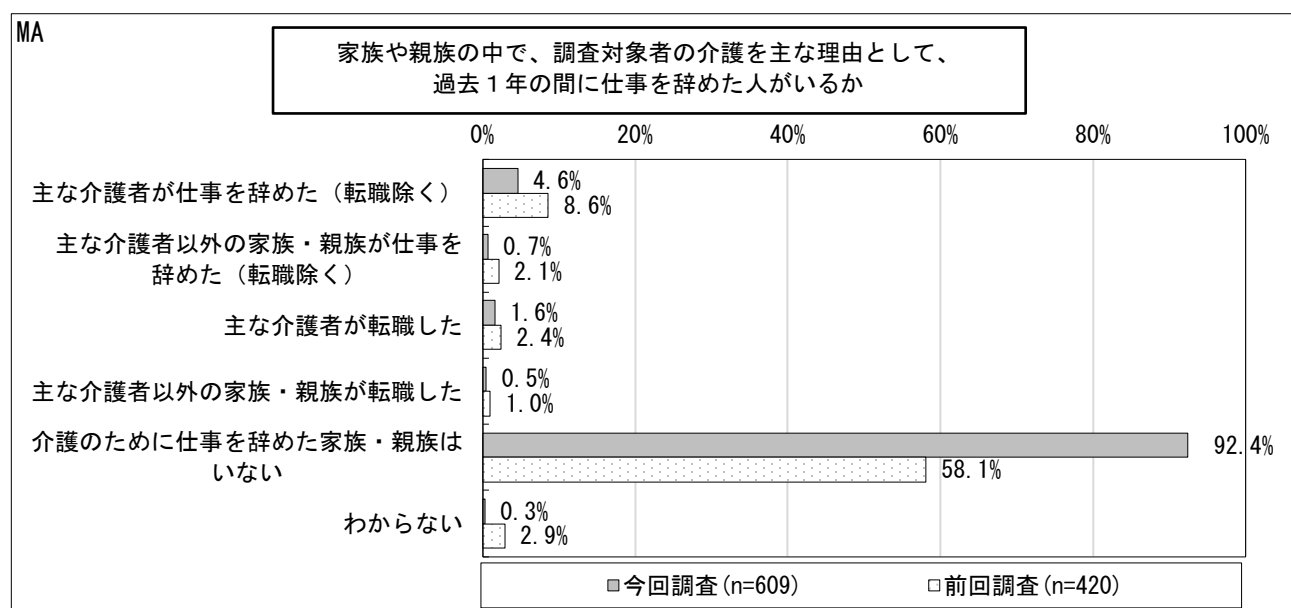
②仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

ア) 現状把握

介護を理由に仕事を辞めた人の割合をみると、今回調査では「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が92.4%と、前回調査より34.3ポイント上回っています。

主な介護者の現在の勤務形態をみると、今回調査では「フルタイムで働いている」(26.3%)と「パートタイムで働いている」(19.4%)が、ともに前回調査を上回っています。

介護者の就労継続の可否について、今回調査では「問題なく、続けていける」が27.7%と、前回調査を7.9ポイント上回っています。ただし、「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合わせた“続けていける”をみると、前回調査が80.3%、今回調査が77.0%と若干下がっています。

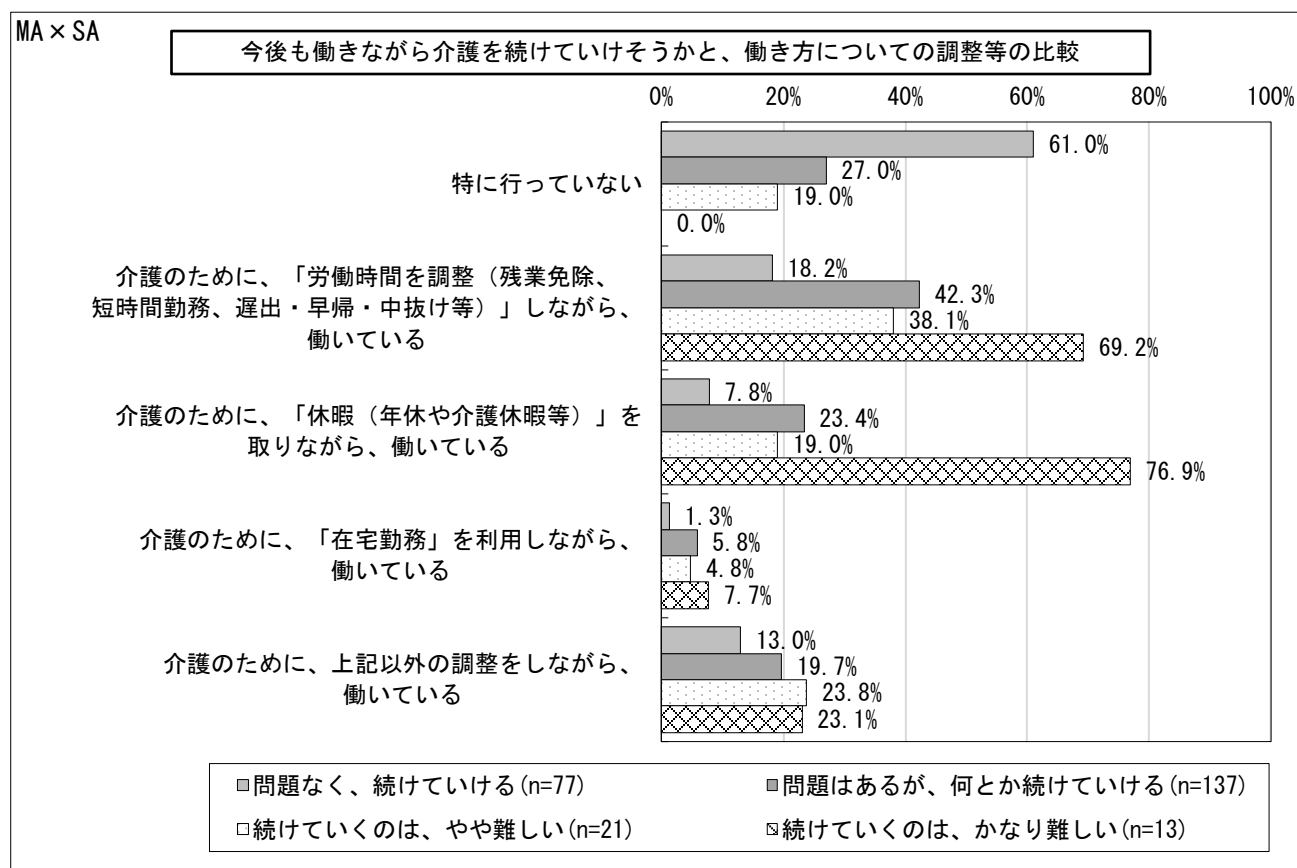
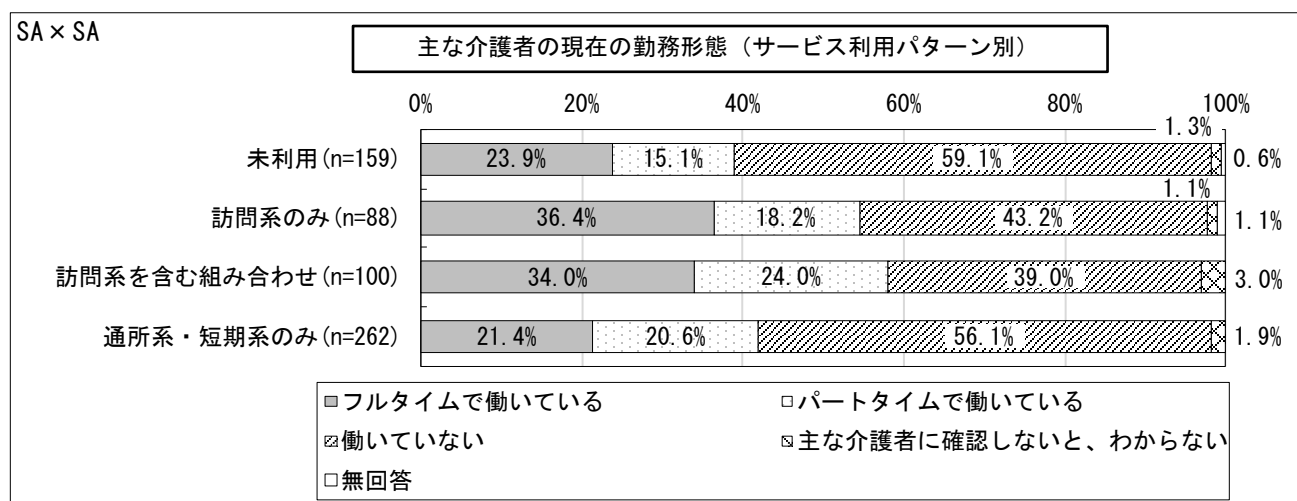


イ) 課題の抽出

＜主な介護者の現在の勤務形態＞と＜サービスの利用パターン＞の関係をみると、フルタイム勤務では、「訪問系のみ」(36.4%)、「訪問系を含む組み合わせ」(34.0%)、「未利用」(23.9%)、「通所系・短期系のみ」(21.4%) となっています。

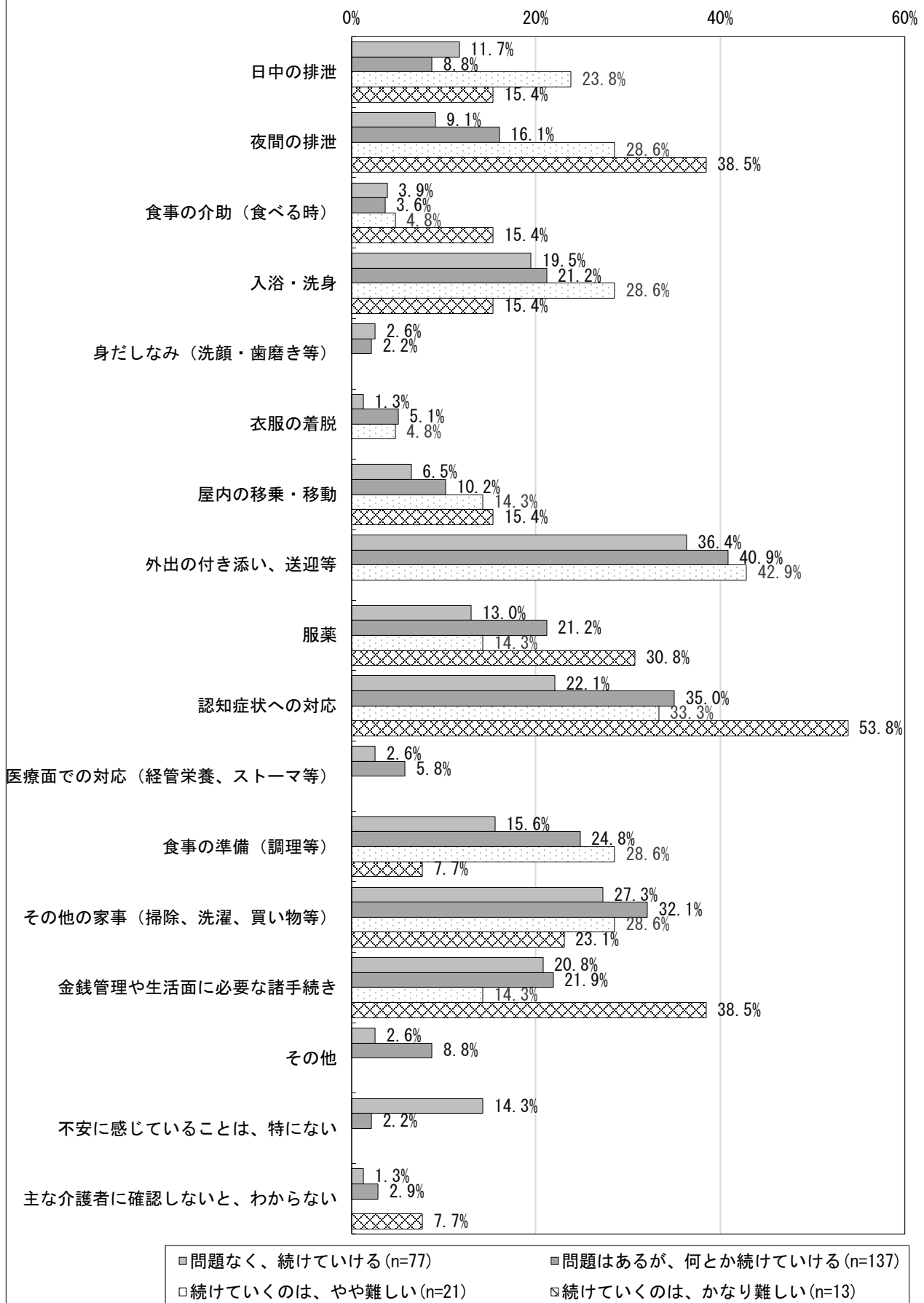
＜今後も働きながら介護を続けていけそうか＞と＜働き方についての調整等＞の関係をみると、「続けていくのは、かなり難しい」や「続けていくのは、やや難しい」と回答した方は、「特に行っていない」の割合が低く、何かしらの調整を行っていることが読み取れます。

＜現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等＞と＜就労継続意向＞の関係をみると、就労継続が難しいと感じる方ほど「夜間の排泄」や「屋内の移乗・移動」、「認知症状への対応」等について、不安に感じる割合が高くなる傾向がみられます。これらの介護が、介護者が就労継続の可否を判断するポイントであると考えられます。



MA × SA

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等（就業継続意欲別）



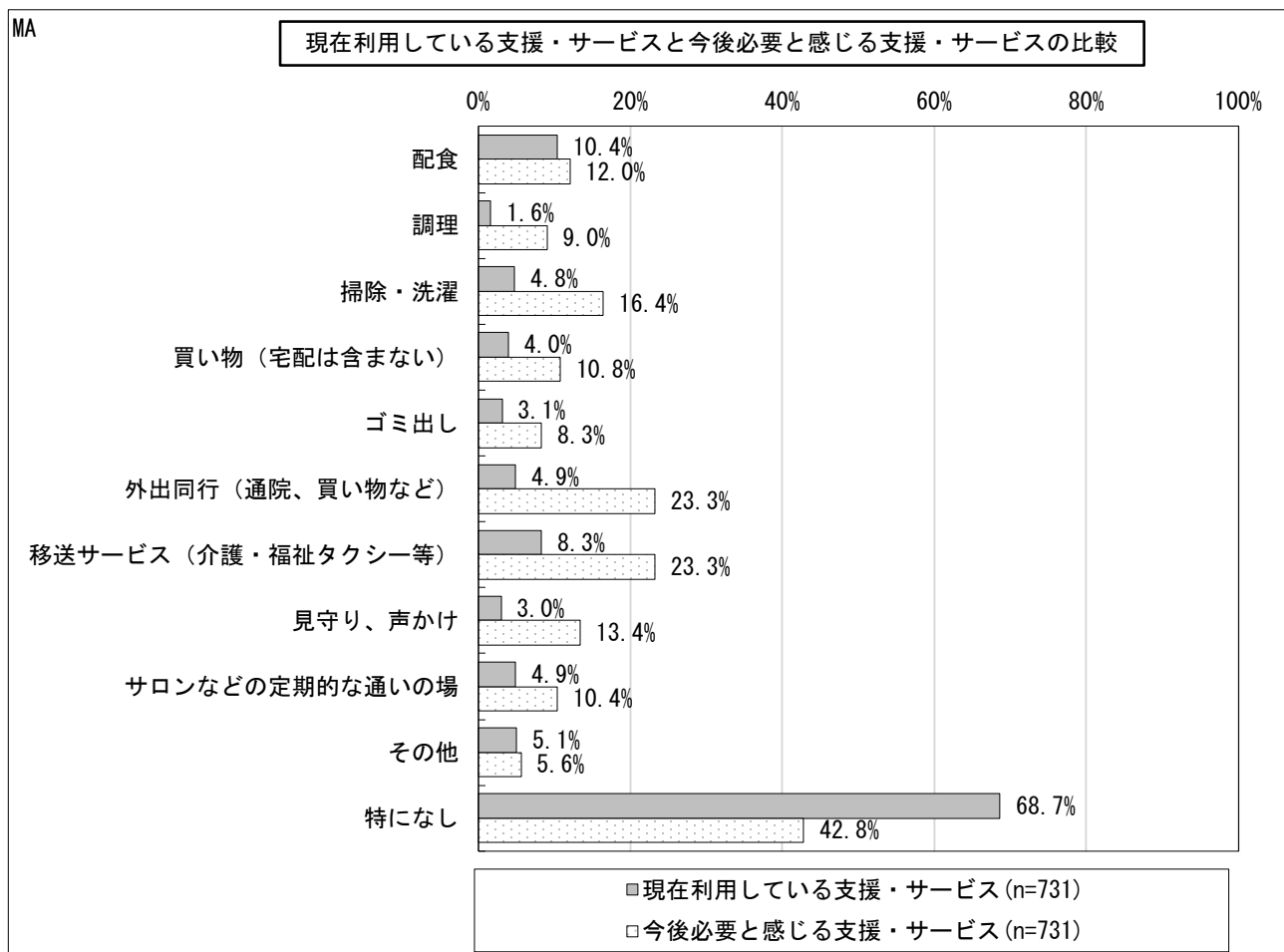
(4) 支援・サービスの提供体制の検討

①保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

＜現在利用している支援・サービス＞と＜今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス＞の関係をみると、すべての項目で＜今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス＞の方の割合が高くなっています。特に、「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「掃除・洗濯」は割合の差が大きく、現在利用はしていないが今後必要とされているサービスといえます。

＜今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス＞と＜要介護度＞の関係をみると、要介護度が上がるほど移送（「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」）に関するニーズが高まる傾向にあります。

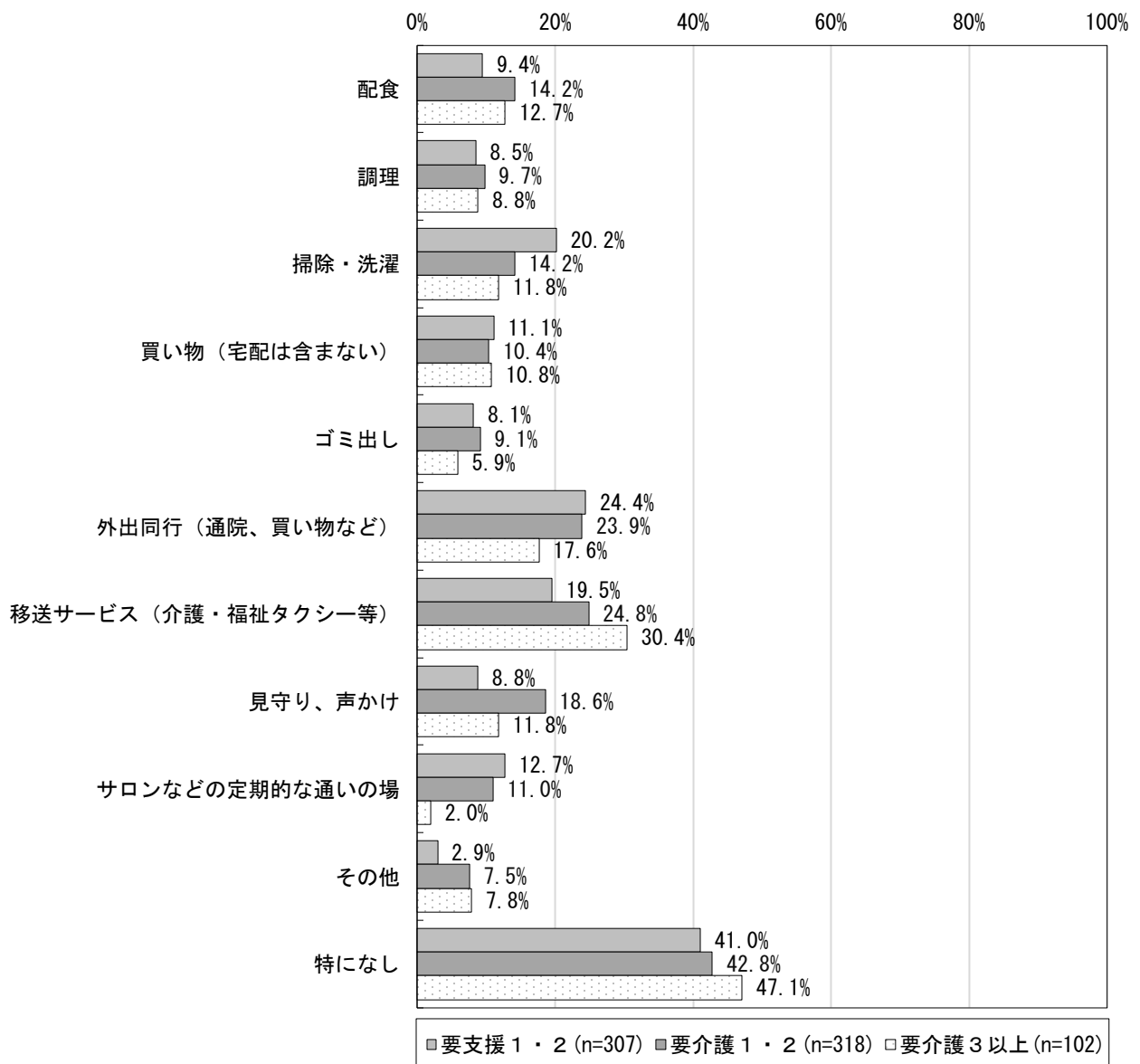
＜今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス＞と＜世帯類型＞の関係をみると、単身世帯では、「外出同行（通院、買い物など）」が25.9%と最も高く、「掃除・洗濯」が23.9%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が20.0%と続いています。



結果の概要

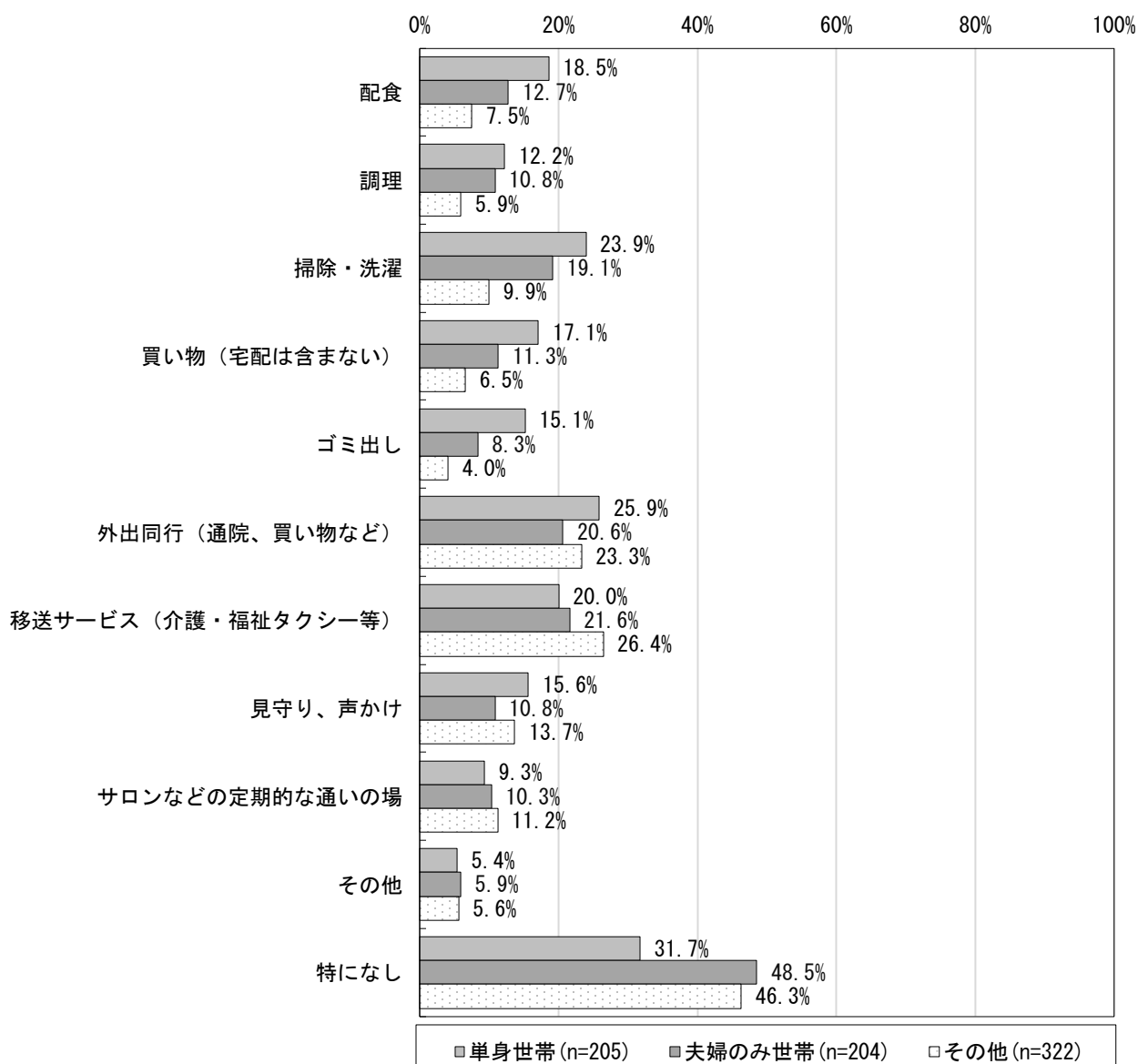
MA × SA

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（要介護度別）



MA × SA

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（世帯類型別）



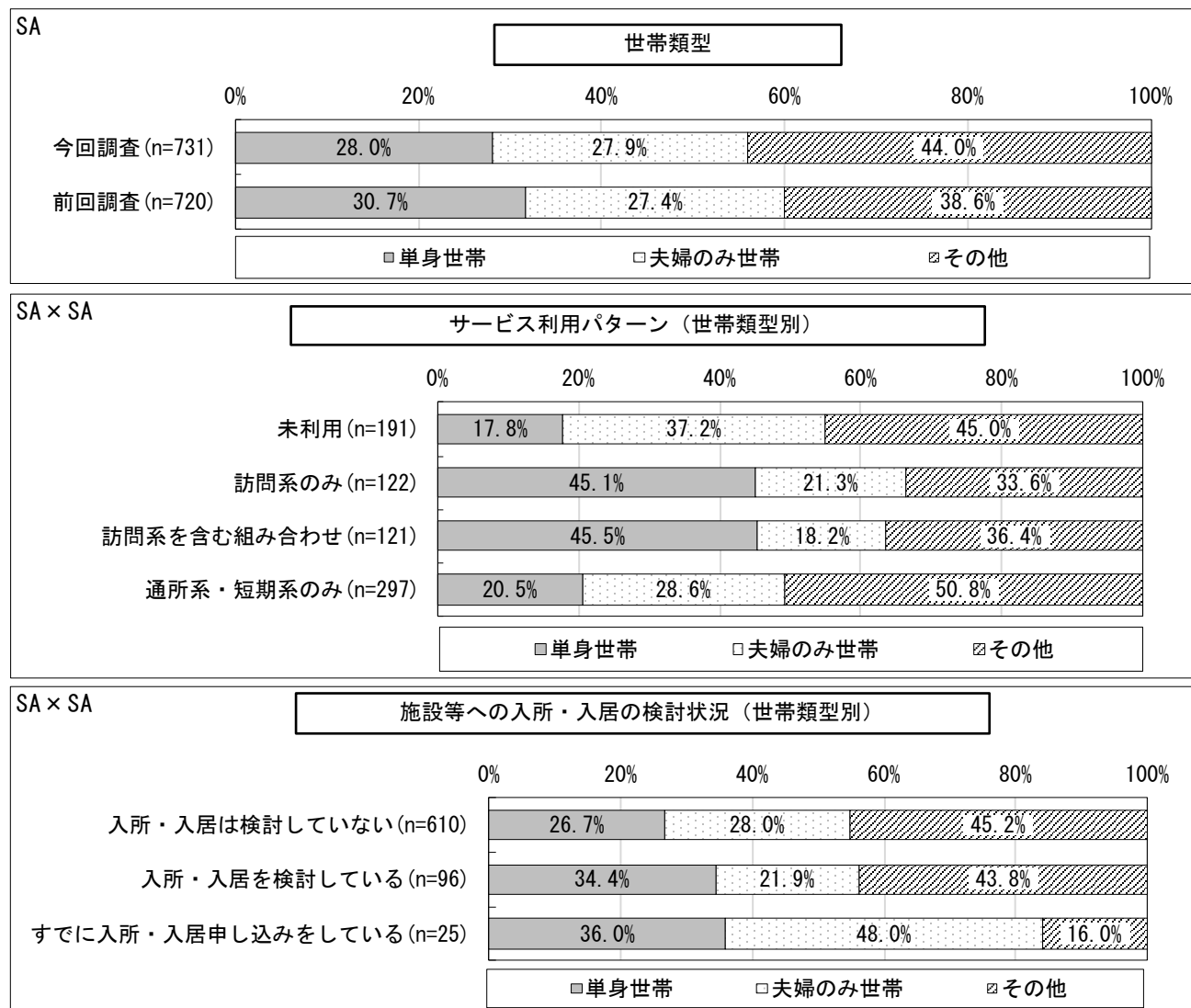
結果の概要

②将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

世帯類型について、今回調査では「単身世帯」(28.0%)が、前回調査と比べて1.3ポイント低くなっています。

<サービスの利用パターン>と<世帯類型>の関係をみると、「訪問系のみ」と「訪問系を含む組み合わせ」では「単身世帯」の割合が高くなっています。つまり、単身世帯では訪問系のサービスのニーズが高い傾向にあると考えられます。

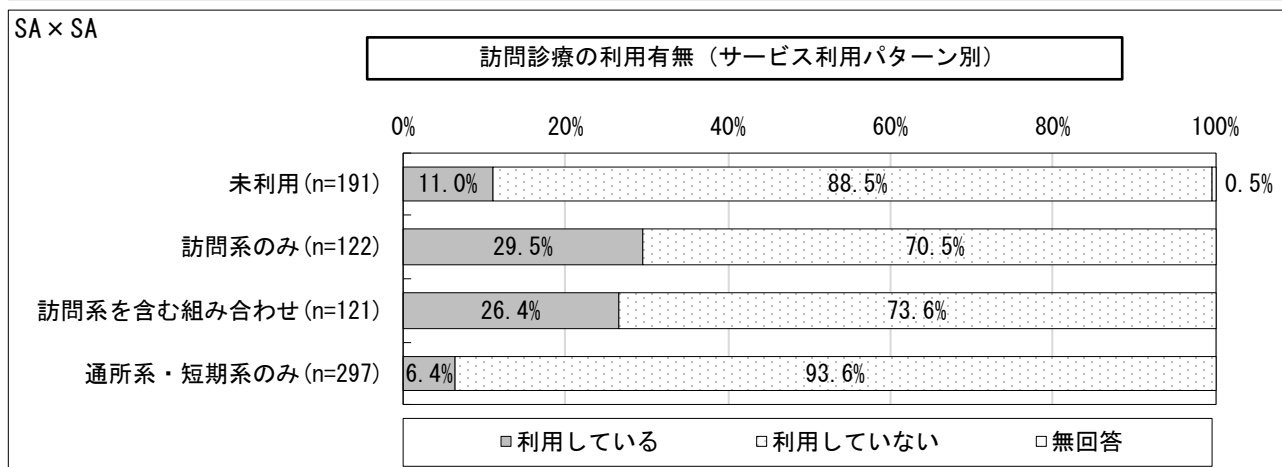
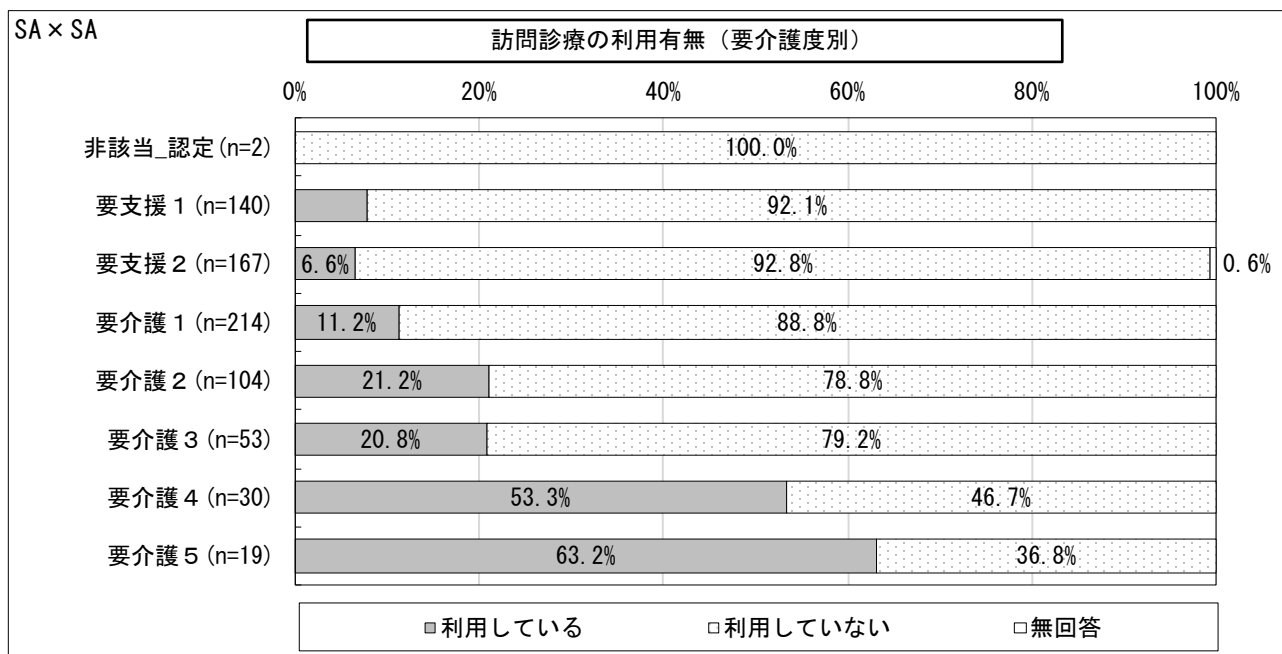
<施設等への入所・入居の検討状況>と<世帯類型>の関係をみると、「入所・入居を検討している」では「単身世帯」の割合が高くなっています。



③医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

＜訪問診療の利用有無＞と＜要介護度＞の関係をみると、「(訪問診療を) 利用している」は要介護度が上がるほど、割合が高まる傾向（一部を除く）にあり、要介護度5で63.2%となっています。

＜訪問診療の利用有無＞と＜サービス利用パターン＞の関係をみると、訪問系のサービス利用者は、訪問診療も活用していることが読み取れます。



3 第2号被保険者に関するアンケート調査

1 調査の項目

設問	小問	設問内容
あなたについて		
問1	(1)	性別
	(2)	年齢
	(3)	家族構成 同居している未婚の子どもの年代
あなたの生活状況について		
問2	(1)	住まい
	(2)	住宅形態
	(3)	仕事
	(4)	月1回以上、定期的に地域の人との交流はあるか 地域の人と交流をするために、あなたにとって必要なこと
	(5)	生きがい
	(6)	健康診断
	(7)	かかりつけの医師・歯科医師、かかりつけ薬局はあるか
	(8)	お薬手帳は1冊にまとめているか
あなたが介護や介助（サポート）をする場合について		
問3	(1)	現在、誰かの介護や介助をしているか
		介護や介助をしている相手
		介護や介助をしている相手は介護保険サービスを利用しているか
		介護や介助をしている相手はどこに住んでいるか
		今後の介護や介助の相談相手
		介護や介助をしているなかで、負担や心配に感じていること 介護や介助をするにあたって、働き方についての調整
将来、あなたが介護をする立場になった場合について		
問4	(1)	この先の介護について不安に思うこと
	(2)	仕事と介護の両立をするために効果的な支援
将来、あなたに介護が必要になった場合について		
問5	(1)	どのような介護を希望するか
		自宅で介護を受けたい理由
		施設を利用したい理由
(2)	介護が必要になった場合の心配事	
たすけあいについて		
問6	(1)	心配事や愚痴を聞いてくれる人
	(2)	心配事や愚痴を聞いてあげる人
	(3)	看病や世話をしてくれる人
	(4)	看病や世話をしてあげる人
	(5)	何かあったときに相談する相手（機関）
	(6)	仕事以外で友人・知人と会う頻度
認知症について		
問7	(1)	認知症の方と接したこと
	(2)	認知症に関する相談窓口
	(3)	認知症に対する取組として必要だと思うもの
	(4)	市の認知症に対する取組の認知度
地域包括支援センターについて		
問8	(1)	地域包括支援センターの認知度

設問	小問	設問内容
成年後見制度について		
問 9	(1)	成年後見制度について知っている内容
	(2)	将来、成年後見制度を利用したいか
防災について		
問 10	(1)	避難準備情報などの防災情報の把握方法
介護保険や高齢者福祉の支援について		
問 11	(1)	介護保険制度について知っている内容
	(2)	携帯電話やスマートフォン、パソコンを日常的に使用するか
		どのようなことに活用しているか
	(3)	市のイベントや取組（高齢者福祉、介護保険）などの情報の入手先
	(4)	生活支援コーディネーターの認知度
	(5)	協議体の主な取組
(6)	住みやすい生活環境を整備するために必要な支援	

結果の概要

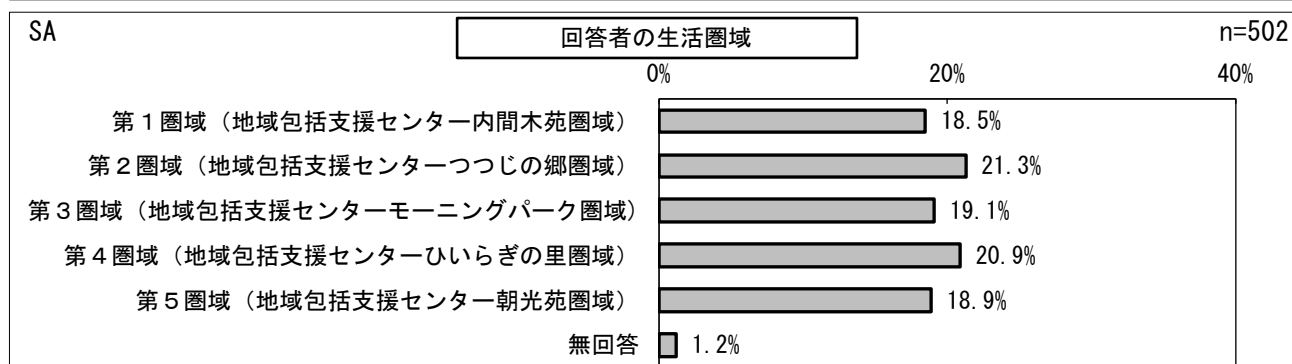
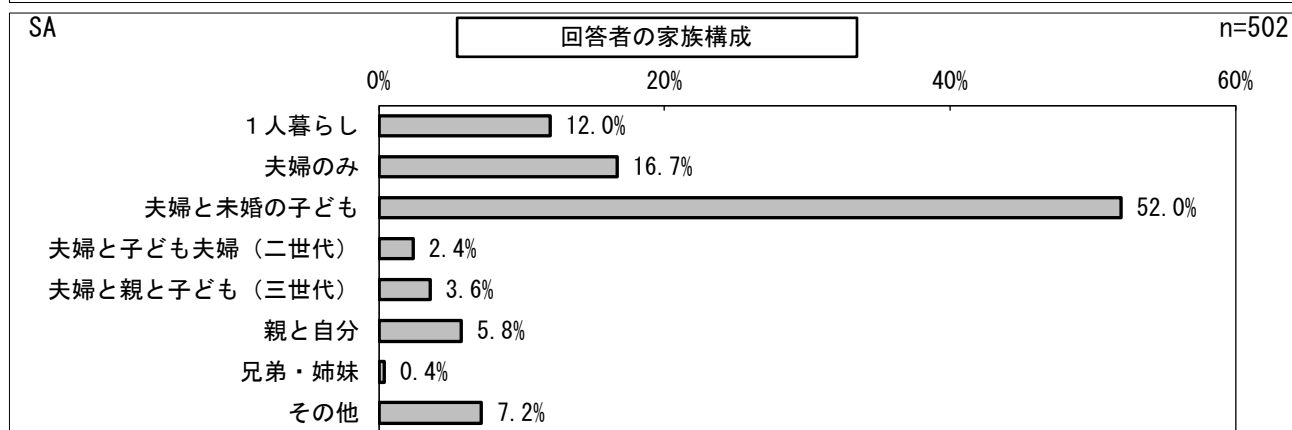
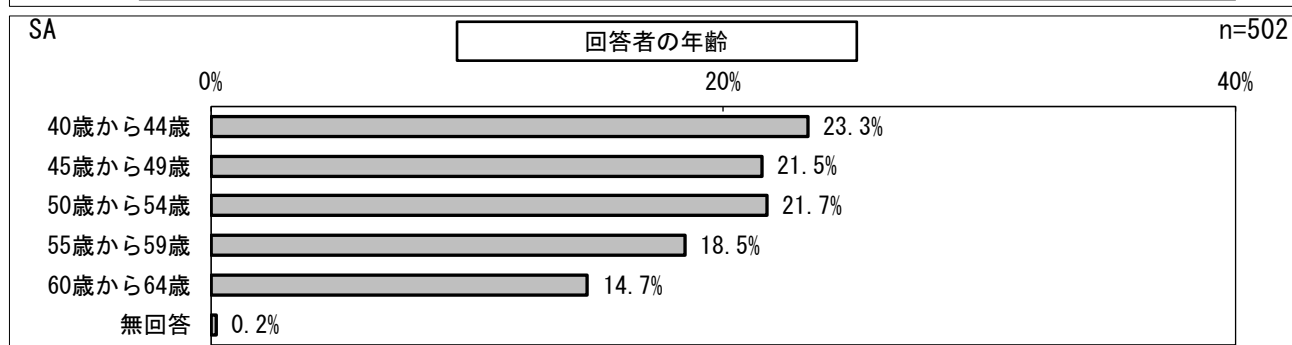
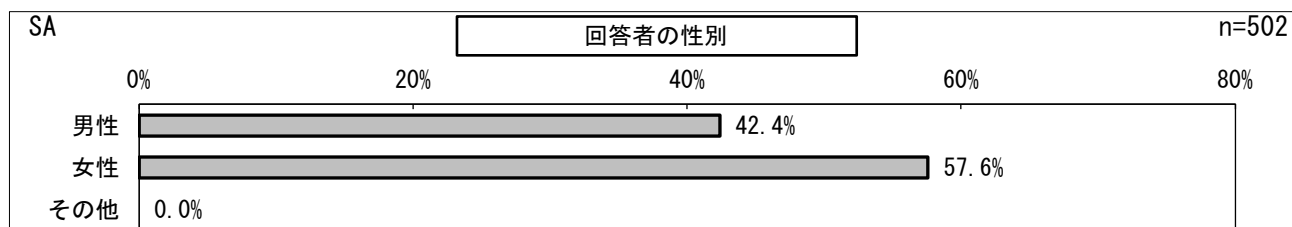
2 調査結果の概要

(1) 回答者の属性

性別では「男性」よりも「女性」、年齢では「40歳代～50歳代前半」の方が多くなっています。

家族構成では、「夫婦と未婚の子ども」が約半数（52.0%）となっています。また、「1人暮らし」も約1割（12.0%）みられます。

生活圏域では、「第1圏域」から「第5圏域」までほぼ同程度の割合となっています。



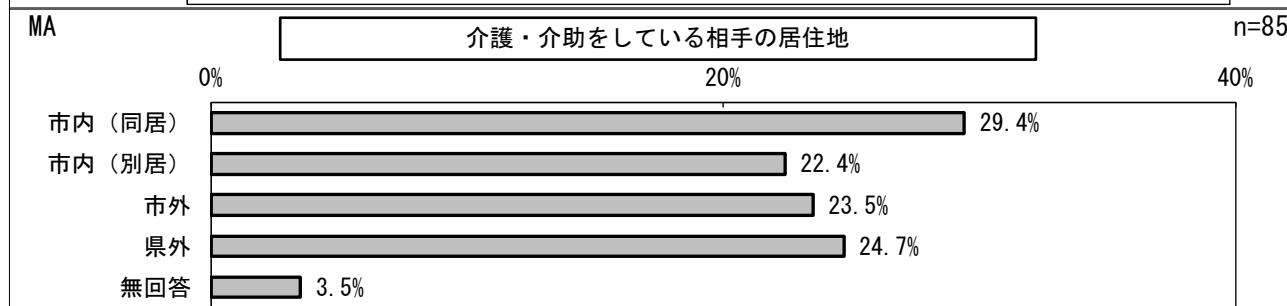
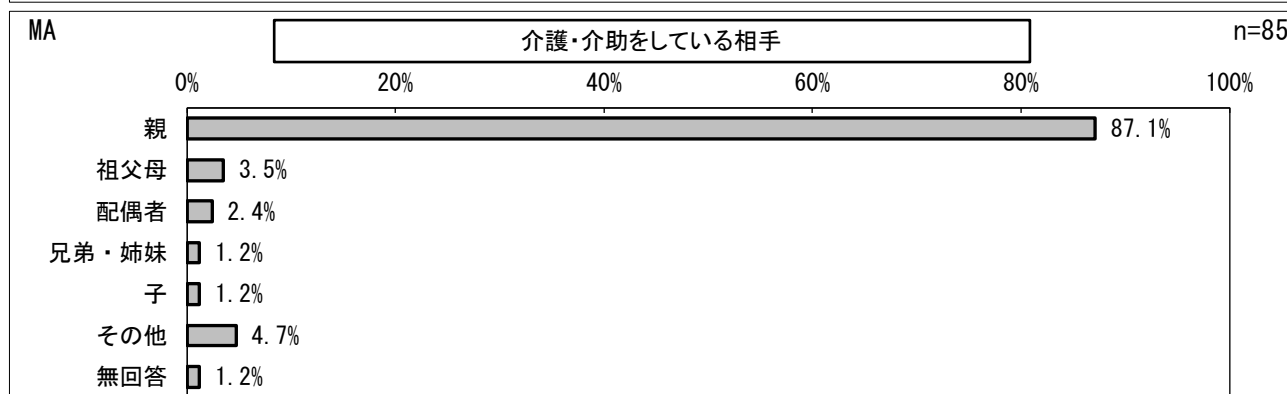
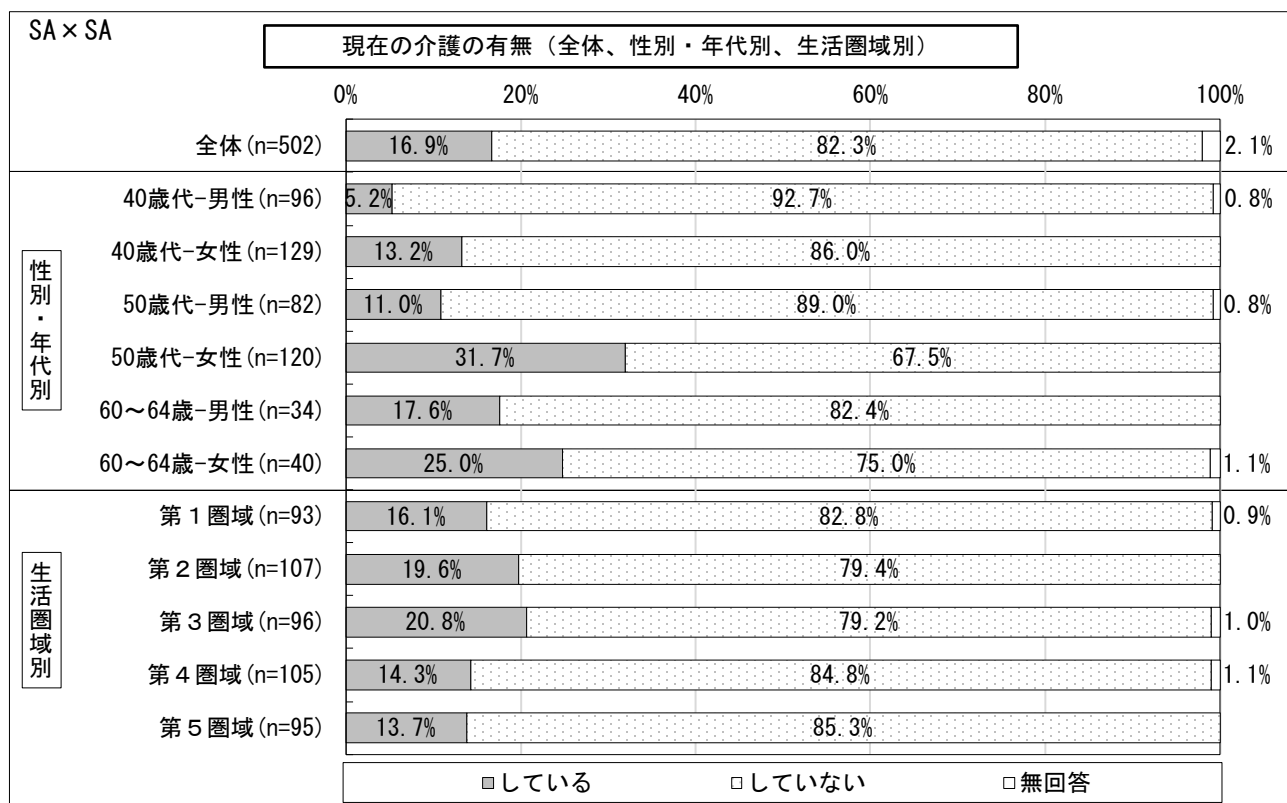
(2) 在宅介護の実態・ニーズについて

①介護や介助の有無

現在、だれかの介護や介助をしているかでは、「(介護を) している」が 16.9%、「(介護を) していない」が 82.3%となっています。性別・年代別にみると、50歳代-女性で介護をしている割合が高くなっています。

介護をしている相手では、「親」が 87.1%となっています。

介護をしている相手の居住地では、「市内（同居）」が 29.4%でもっとも多くなっていますが、「市外」や「県外」などの回答もそれぞれ 2割超みられます。

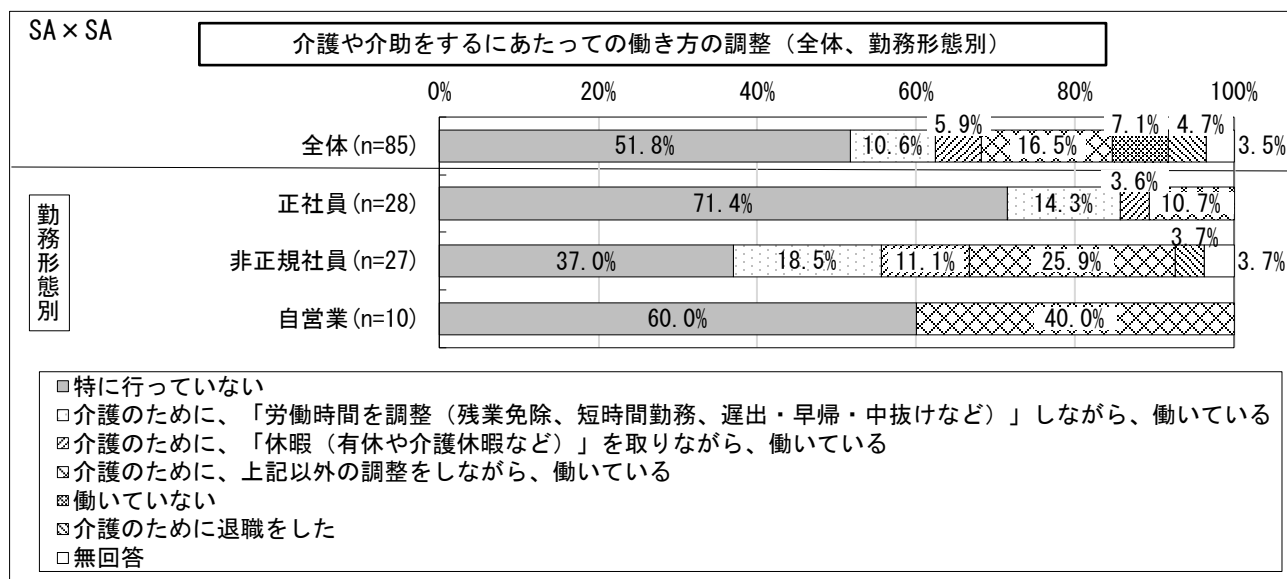
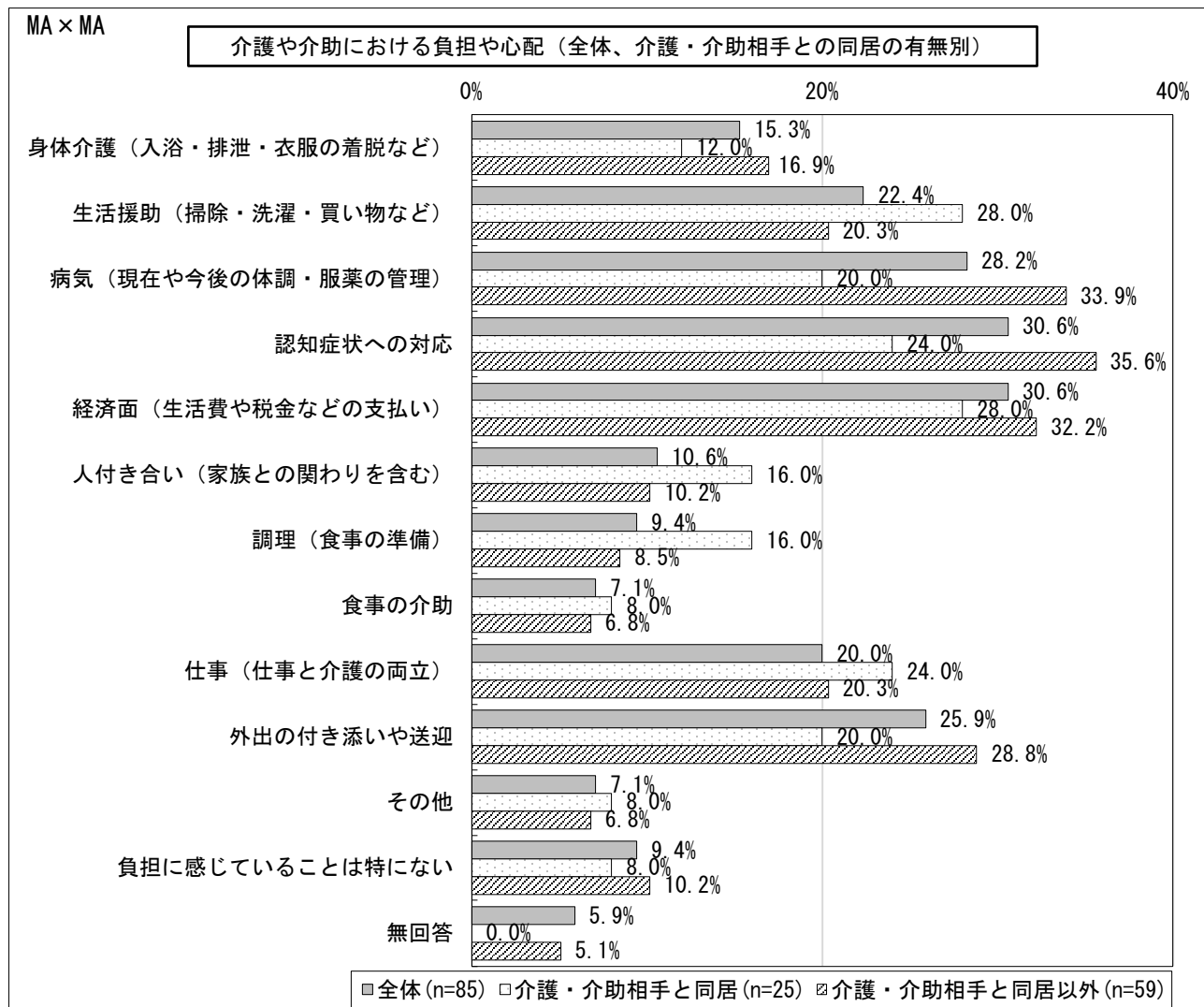


結果の概要

②介護や介助におけるニーズ

＜介護や介助における負担や心配＞と＜介護・介助相手との同居の有無＞の関係では、同居の方では「生活援助」と「経済面」（28.0%）、別居の方では「認知症状への対応」（35.6%）が最も高いです。

介護や介助をするにあたっての働き方の調整では、非正規社員で「特に行っていない」が37.0%と低く、正社員と比べて何らかの調整をしながら働いている割合が高いことが読み取れます。

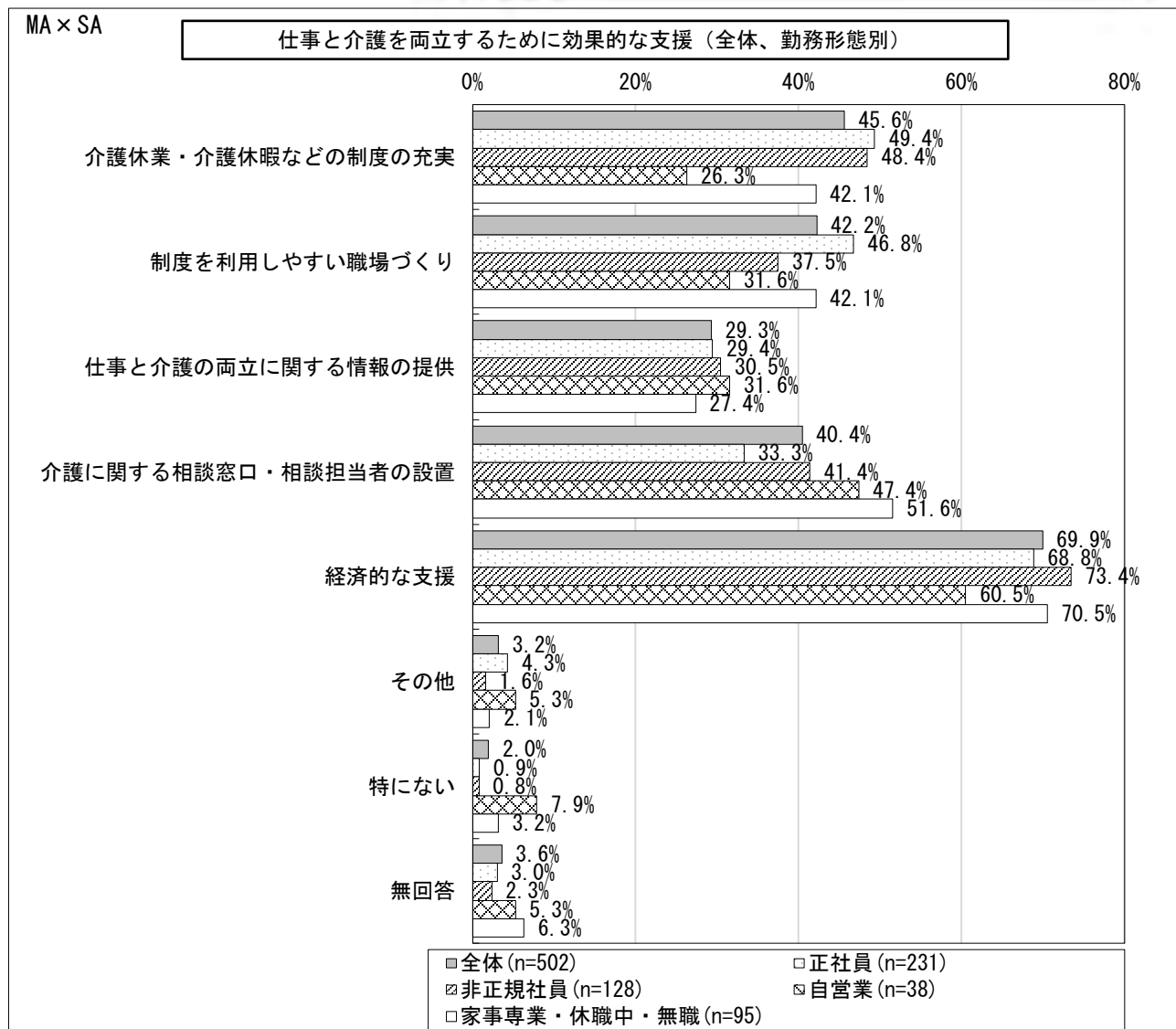
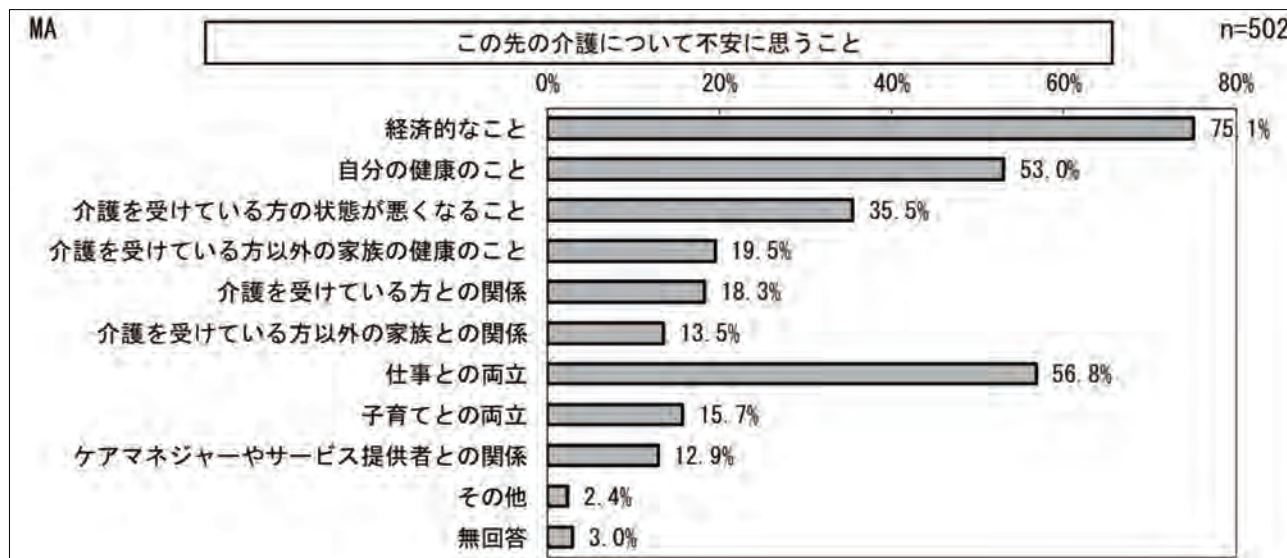


(3) 将来、あなたが介護をする立場になった場合について

この先の介護について不安に思うことでは、「経済的なこと」が75.1%と最も高くなっています。

仕事と介護を両立するために効果的な支援では、「経済的な支援」が69.9%と最も高くなっています。

また、正社員と非正規社員を比較すると、正社員で「制度を利用しやすい職場づくり」の回答割合が相対的に高く、非正規社員で「介護に関する相談窓口・相談担当者の設置」の割合が高くなっています。



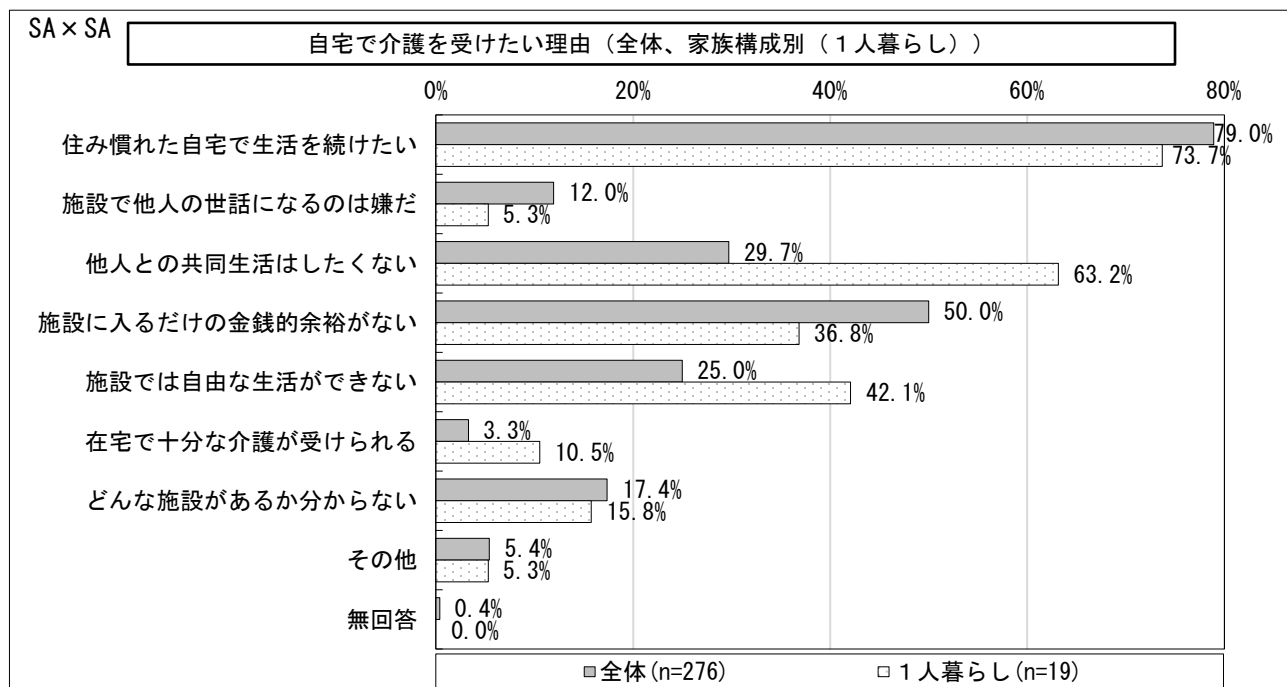
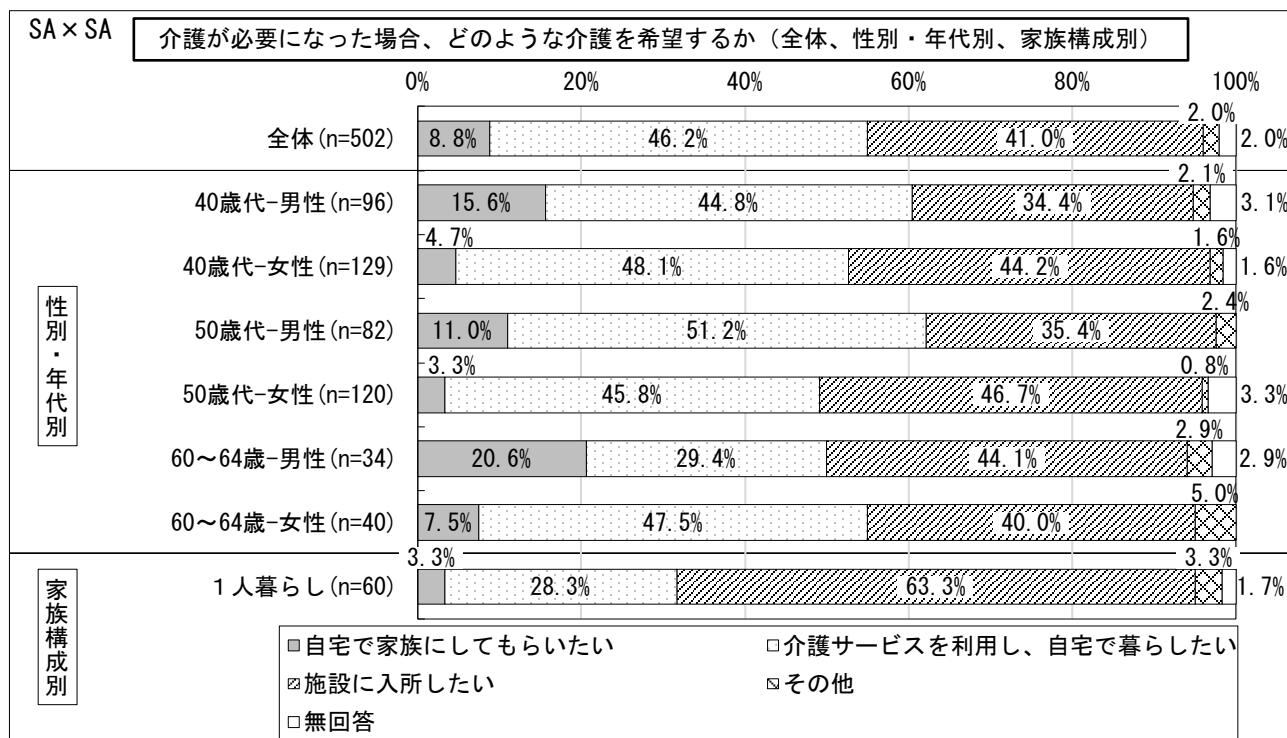
結果の概要

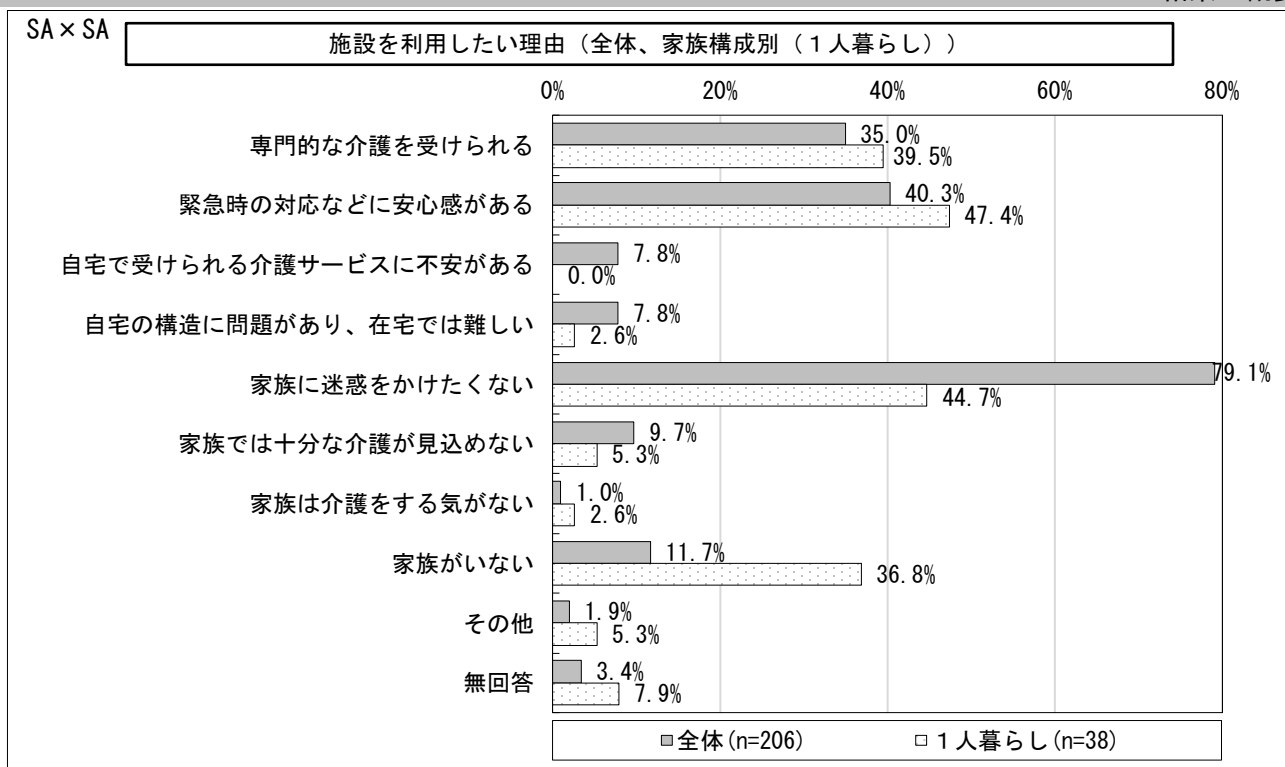
(4) 将来、あなたに介護が必要となった場合について

① 将来の介護の希望およびその理由

自分の介護が必要になった場合、どのような介護を希望するかでは、「介護サービスを利用し、自宅で暮らしたい」が46.2%と最も高く、「自宅で家族にしてもらいたい」(8.8%)と合わせた“自宅で介護を受けたい”は5割超(55.0%)となっています。なお、1人暮らしでは“自宅で介護を受けたい”は約3割(31.6%)に留まります。

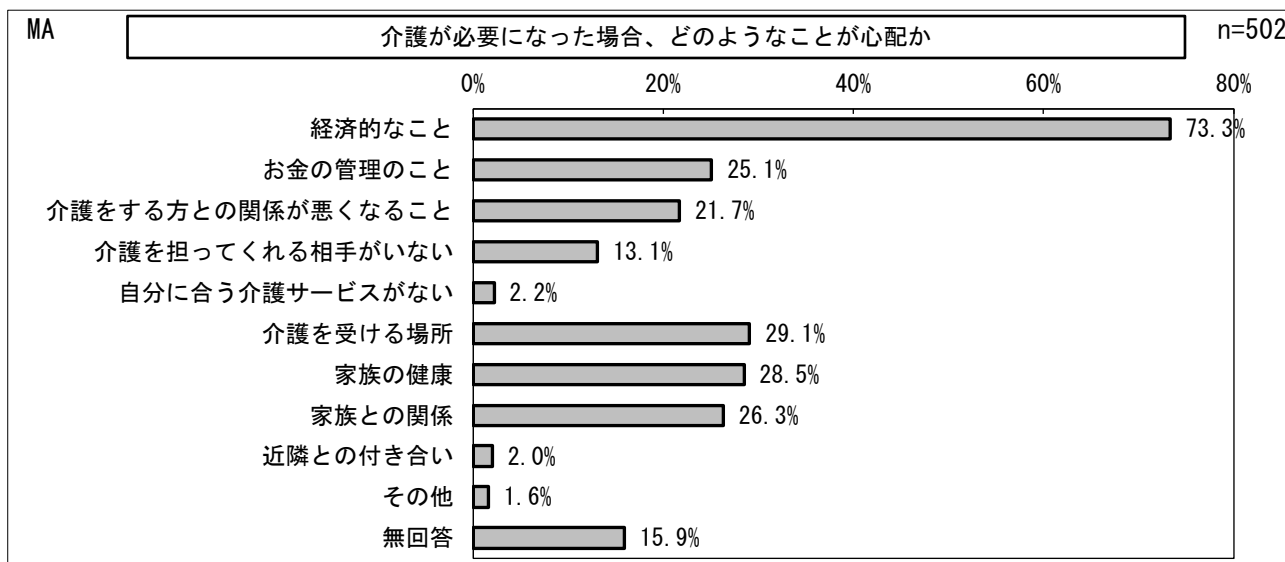
自宅で介護を受けたい理由では、「住み慣れた自宅で生活を続けたい」が79.0%と最も高くなります。施設を利用したい理由では、「家族に迷惑を掛けたくない」が79.1%と最も高くなっています。なお、1人暮らしをみると、「緊急時の対応などに安心感がある」が47.4%と最も高くなっています。





②将来、介護が必要になった場合の心配事

介護が必要になった場合、どのようなことが心配かでは、「経済的なこと」が73.3%と最も高くなっています。また、「家族の健康」（28.5%）や「家族との関係」（26.3%）など、介護や介助を行う家族を心配している方もみられます。



結果の概要

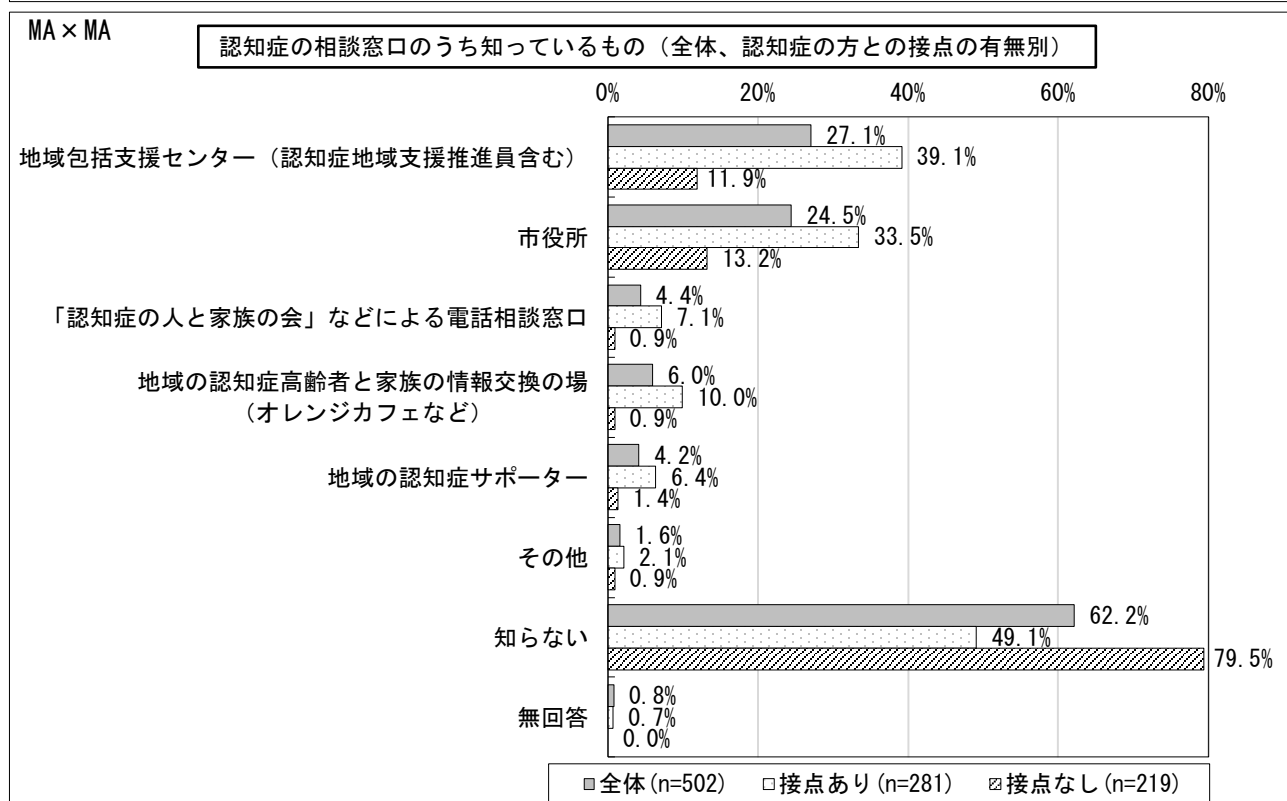
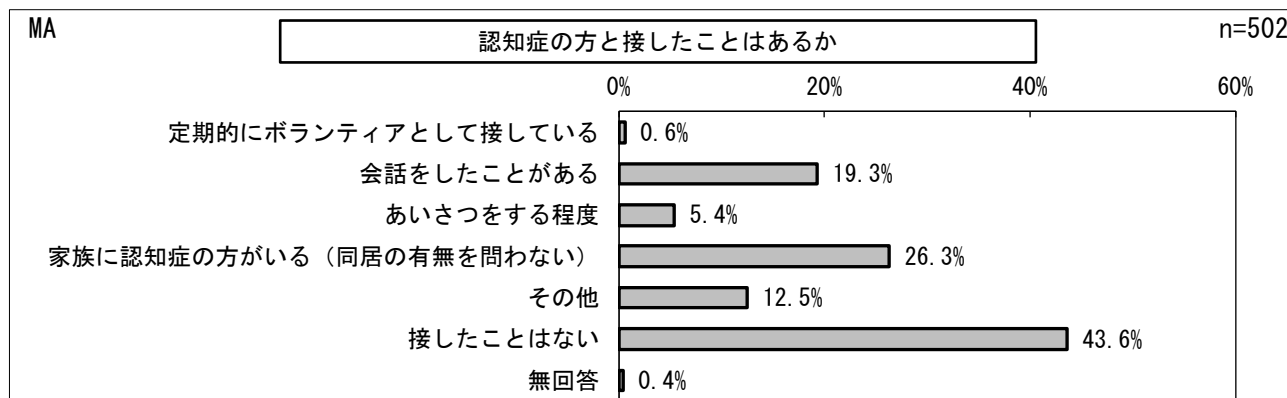
(5) 市の施策等について

①認知症

認知症の方と接したことはあるかでは、「接したことはない」が43.6%となっています。つまり、約6割が何らかの形で認知症の方と接点があることが読み取れます。

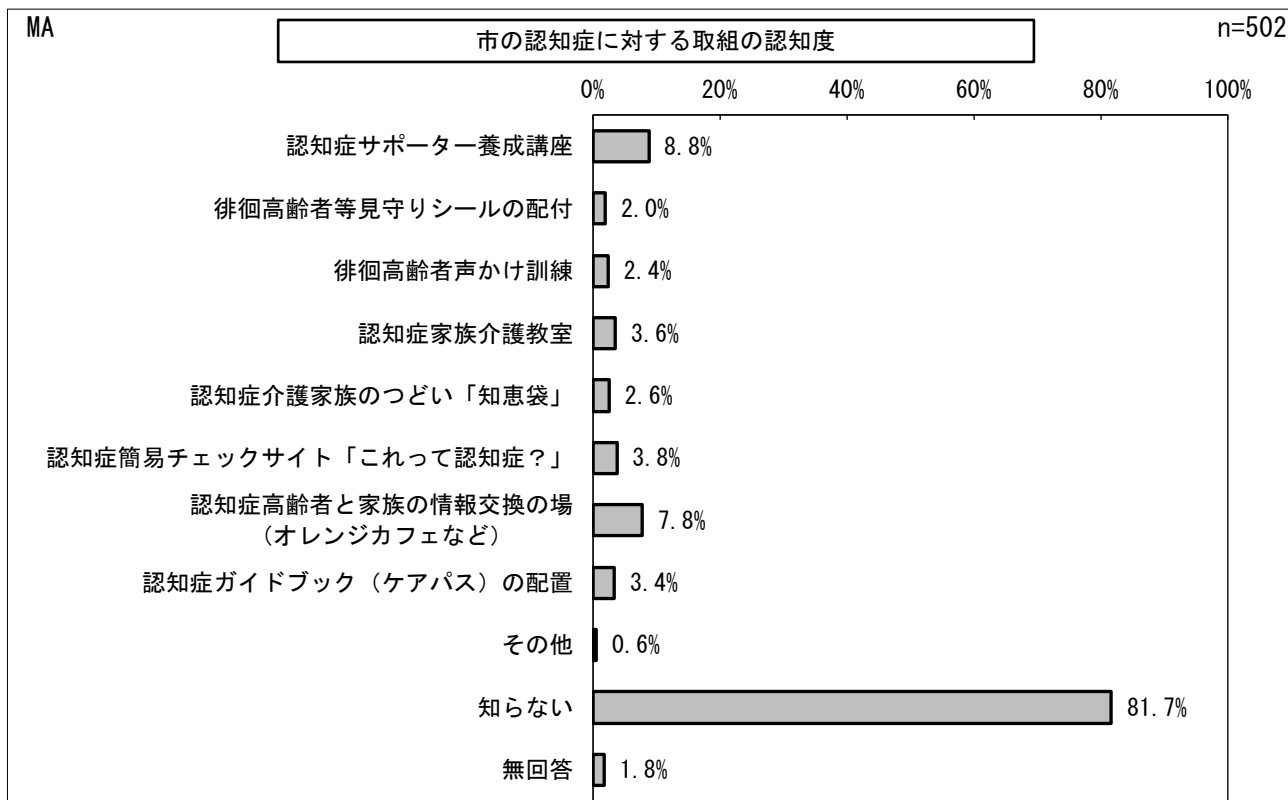
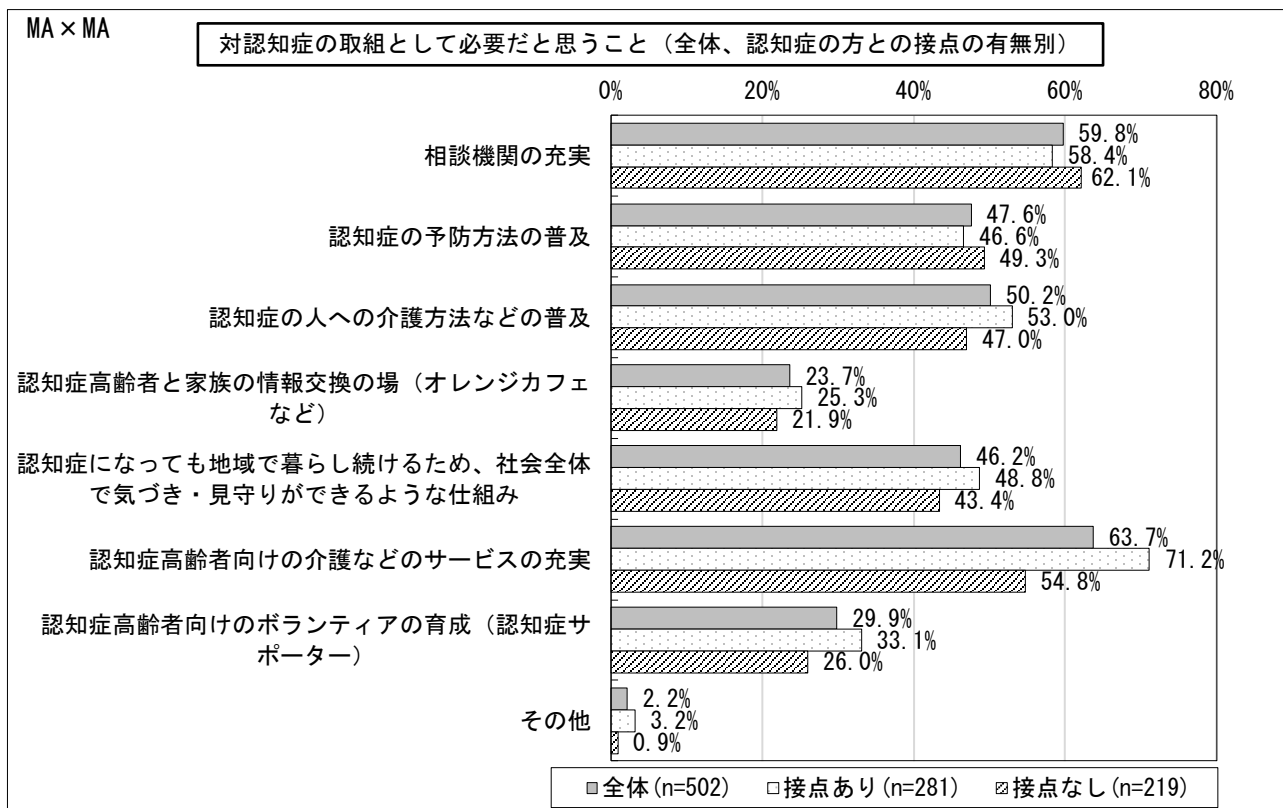
認知症の相談窓口のうち知っているものでは、「知らない」が62.2%と最も高くなっています。具体的な相談窓口のうち知っているものでは、「地域包括支援センター（認知症地域支援推進員含む）」が27.1%、「市役所」が24.5%となっています。

なお、認知症の方との接点の有無別にみると、接点がない方は、約8割（79.5%）が「知らない」と回答しています。



対認知症の取組として必要だと思うことでは、「認知症高齢者向けの介護などのサービスの充実」が63.7%で最も高くなっています。なお、認知症の方との接点の有無別にみると、接点がない方では「相談機関の充実」(62.1%)の要望が高くなっています。

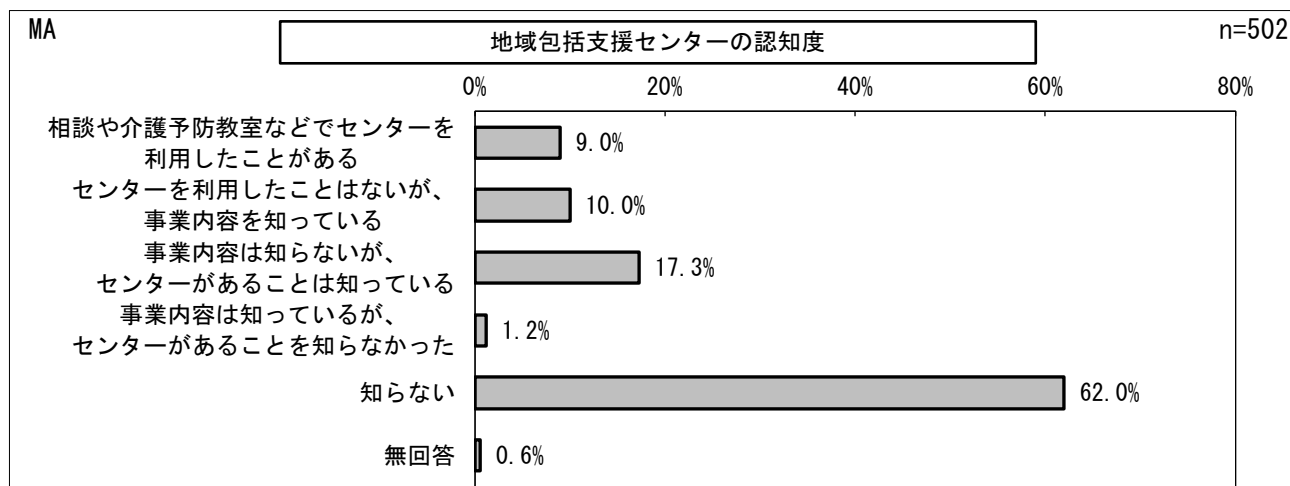
市の認知症に対する取組の認知度では、「知らない」が81.7%となっています。



結果の概要

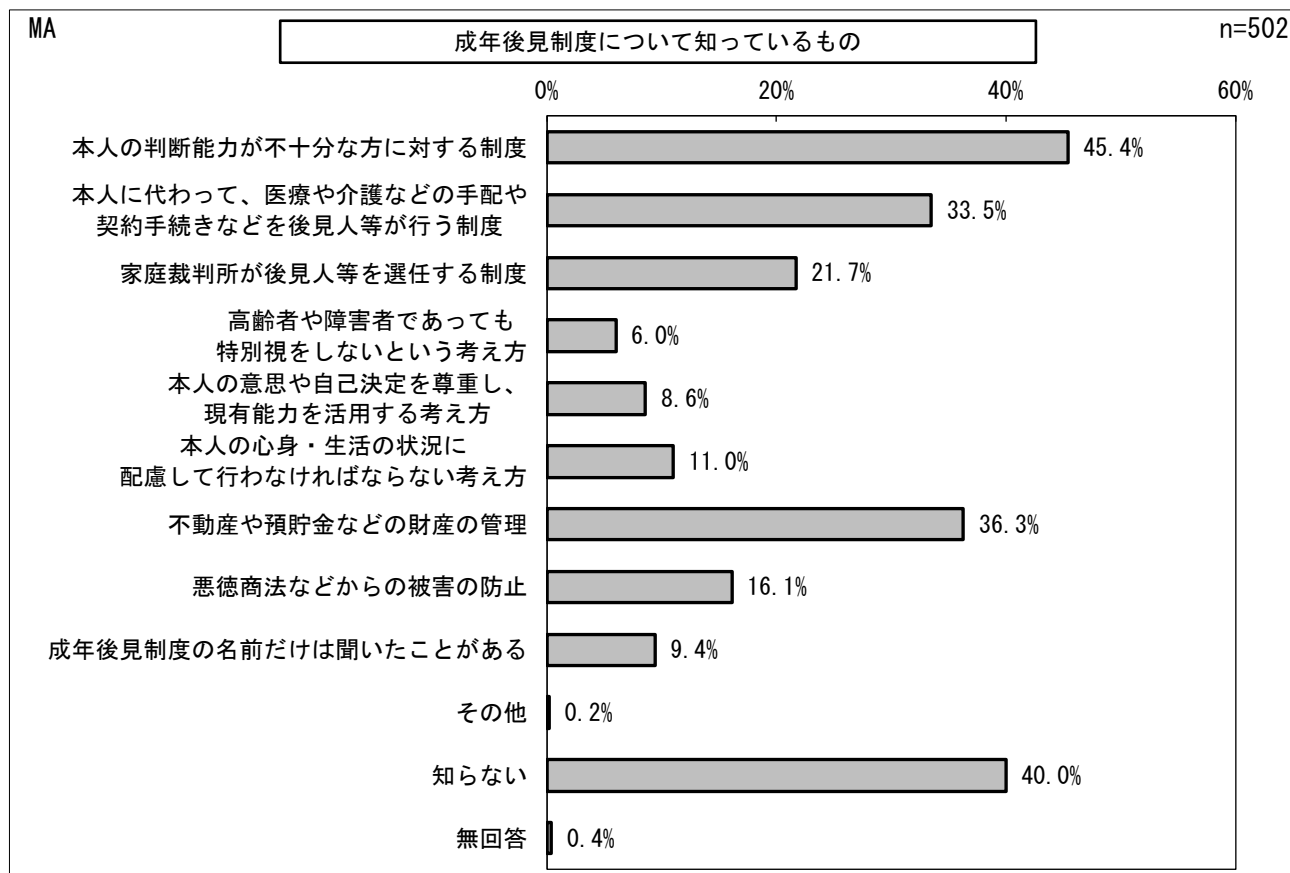
②地域包括支援センター

地域包括支援センターの認知度では、「知らない」が62.0%と最も高くなっています。



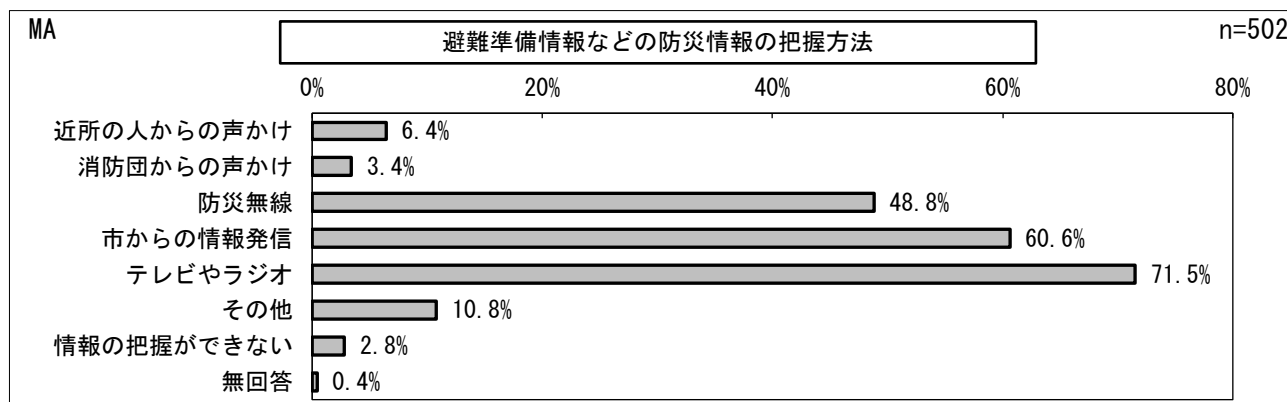
③成年後見制度

成年後見制度について知っているものでは、「知らない」が40.0%に留まっており、約6割は何かしらの知識を有していることが読み取れます。具体的に知っているものでは、「本人の判断能力が不十分な方に対する制度」が45.4%と最も高く、「不動産や預貯金などの財産の管理」が36.3%、「本人に代わって、医療や介護などの手配や契約手続きなどを後見人等が行う制度」が33.5%と続いています。



④防災情報

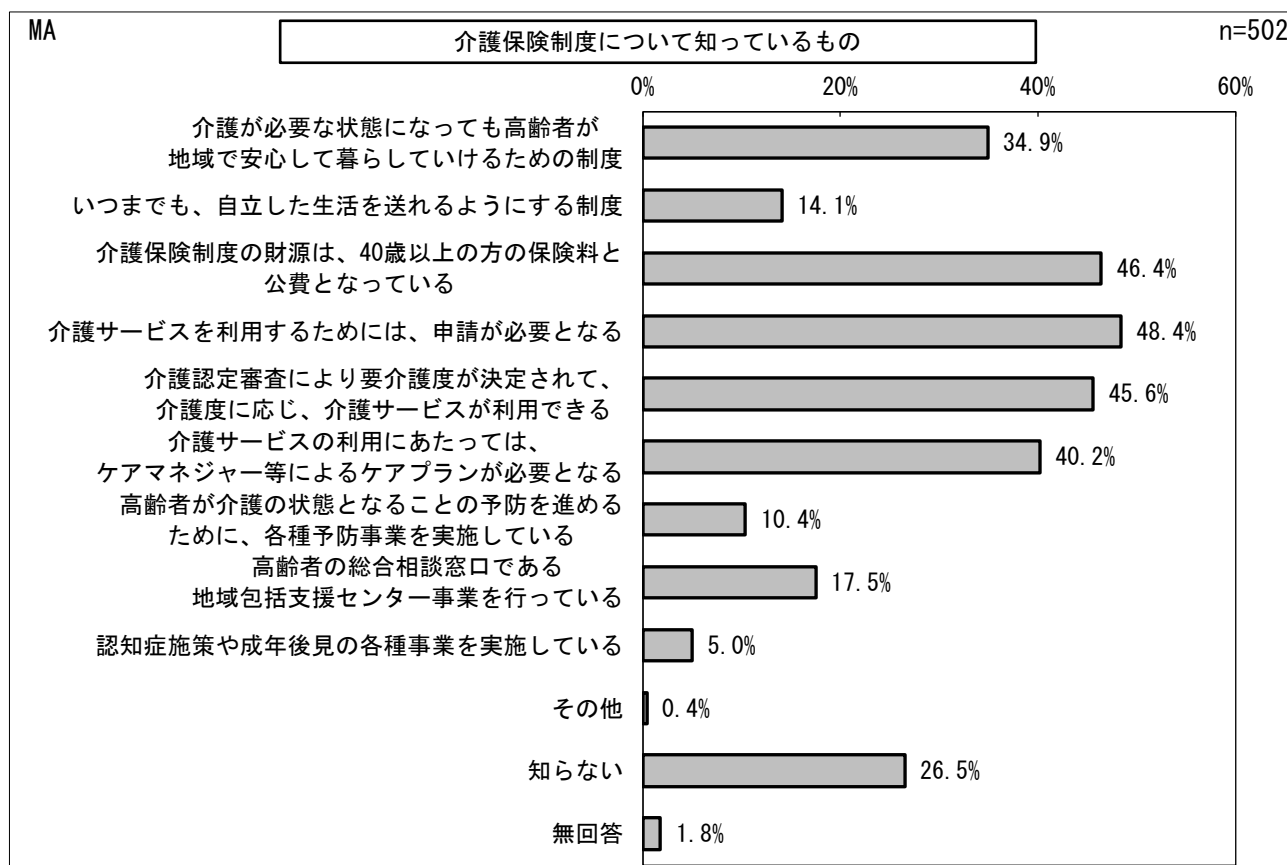
避難準備情報などの防災情報の把握方法では、「テレビやラジオ」が71.5%と最も高く、「市からの情報発信」が60.6%と続いています。なお、「情報の把握ができない」は2.8%に留まっており、ほとんどの方は、何かしらの方法で防災情報を把握できているといえます。



※「市からの情報発信」は、「市からの情報発信（メール配信サービス、ホームページなど）」の略

⑤介護保険制度

介護保険制度について知っているものでは、「知らない」が26.5%に留まっており、約7割は何かしらの知識を有していることが読み取れます。具体的に知っているものでは、「介護サービスを利用するためには、申請が必要となる」が48.4%と最も高く、「介護保険制度の財源は、40歳以上の方の保険料と公費となっている」が46.4%、「介護認定審査により要介護度が決定されて、介護度に応じ、介護サービスが利用できる」が45.6%と続いています。

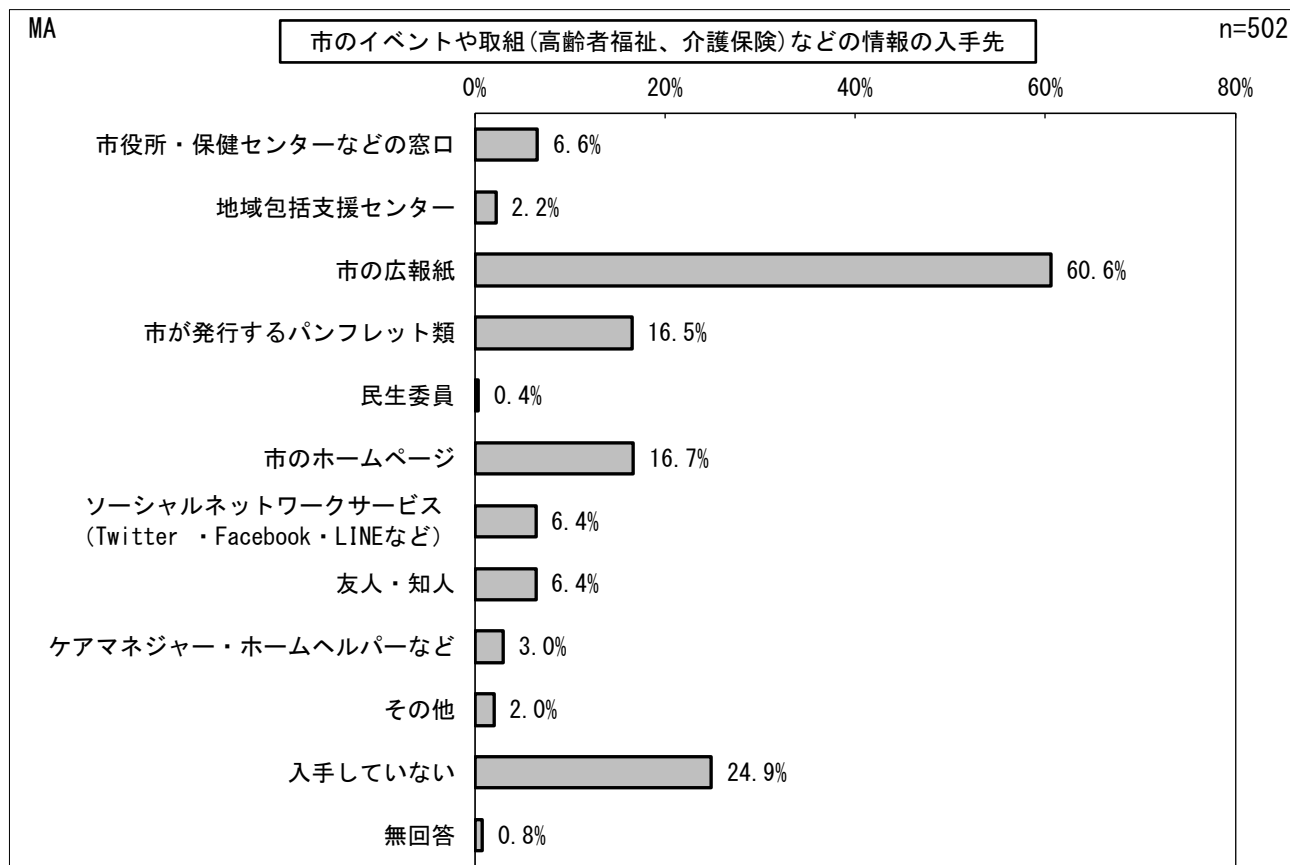


結果の概要

⑥市のイベントや取組（高齢者福祉、介護保険）などの情報の入手先

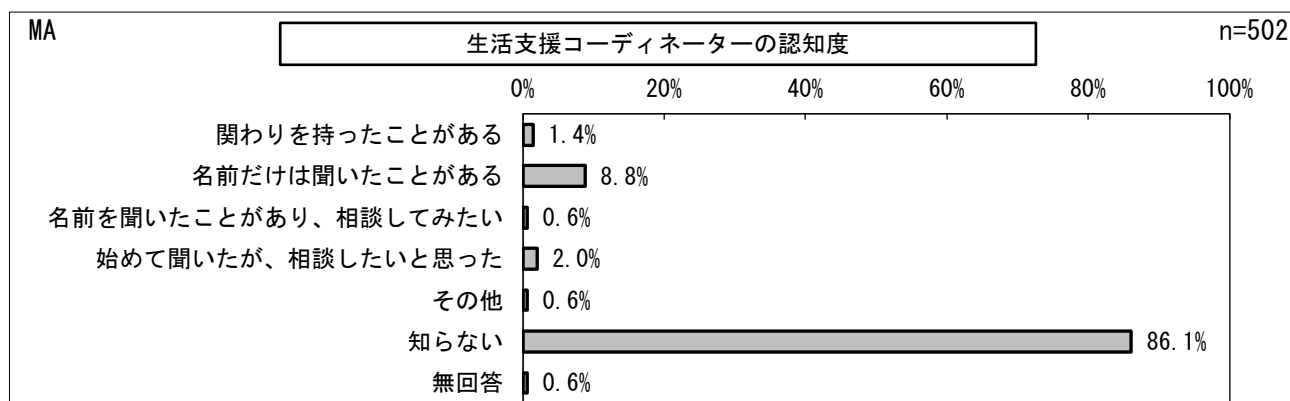
市のイベントや取組（高齢者福祉、介護保険）などの情報の入手先では、「市の広報紙」が60.6%と最も高く、「市のホームページ」が16.7%、「市が発行するパンフレット類」が16.5%と続いています。市の情報媒体から、情報を入手する方が多いことがうかがえます。

なお、4人に1人（24.9%）は「入手していない」と回答しています。



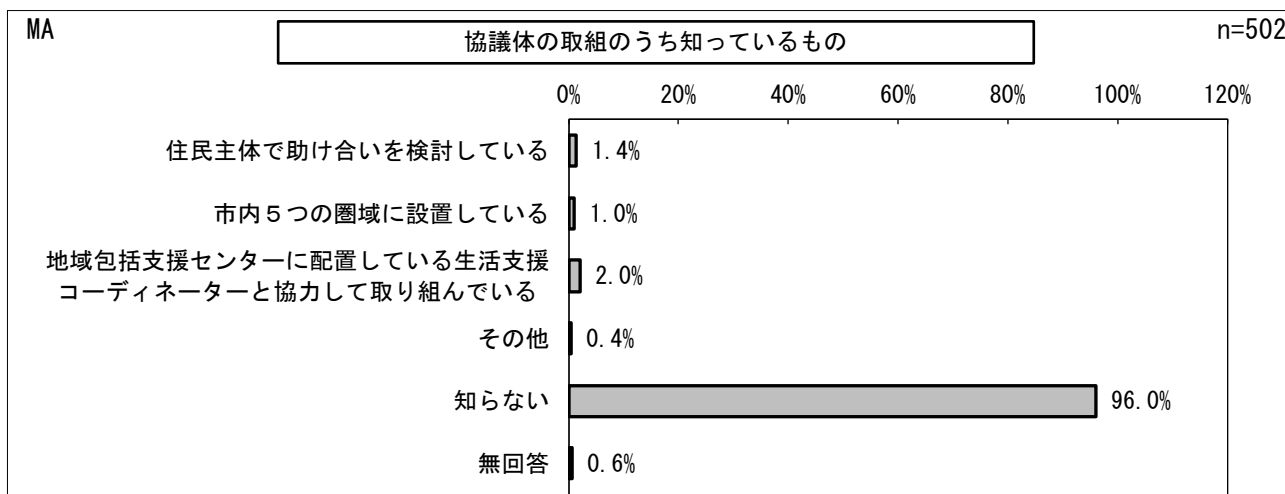
⑦生活支援コーディネーター

生活支援コーディネーターの認知度では、「知らない」が86.1%と最も高くなっています。



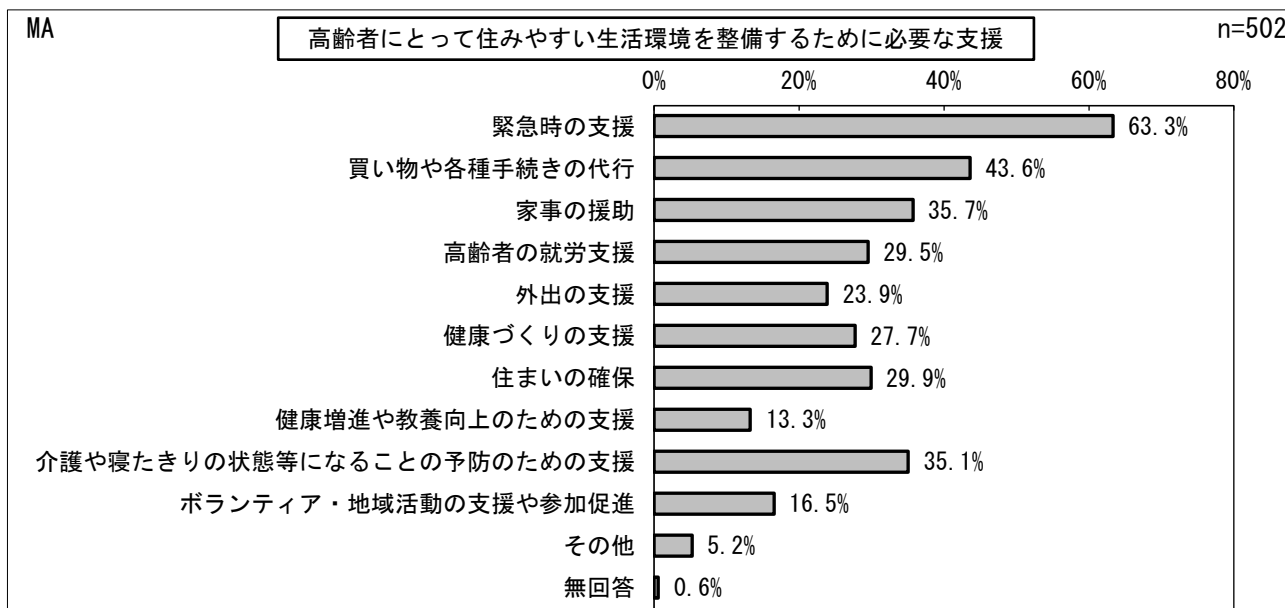
⑧協議体

協議体の取組のうち知っているものでは、「知らない」が96.0%と最も高くなっています。



⑨高齢者にとって、住みやすい生活環境を整備するために必要な支援

高齢者にとって住みやすい生活環境を整備するために必要な支援では、「緊急時の支援」が63.3%と最も高く、「買い物や各種手続きの代行」が43.6%、「家事の援助」が35.7%と続いています。緊急時以外では、買い物や家事などの日常生活に関する支援のニーズが高いことが読み取れます。



4 在宅生活改善調査

1 調査の項目

設問	小問	設問内容
事業所票		
問 1	(1)	所属するケアマネジャーの人数
	(2)	「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）」にお住まいの利用者数
	(3)	「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数
問 2		過去 1 年の間に自宅から居場所を変更した利用者数（要介護度別）
問 3		過去 1 年の間に自宅から居場所を変更した利用者数（行き先別）
利用者票		
問 1	(1)	世帯類型
	(2)	現在の居所
	(3)	要支援・要介護度
問 2	(1)	在宅生活の維持が難しくなっている理由 本人の状態等に属する理由
	(2)	在宅生活の維持が難しくなっている理由 主に本人の意向等に属する理由
	(3)	在宅生活の維持が難しくなっている理由 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由
	(4)	理由となる、具体的な「身体介護」
	(5)	理由となる、具体的な「認知症の症状」
	(6)	理由となる、具体的な「医療的ケア」、「医療処置」
問 3	(1)	生活改善に必要と考えられるサービスの種類
	(2)	生活改善に必要と考えられる具体的サービス
	(3)	利用者の入所・入居の緊急度
	(4)	入所・入居できていない理由
	(5)	特養に入所できていない理由

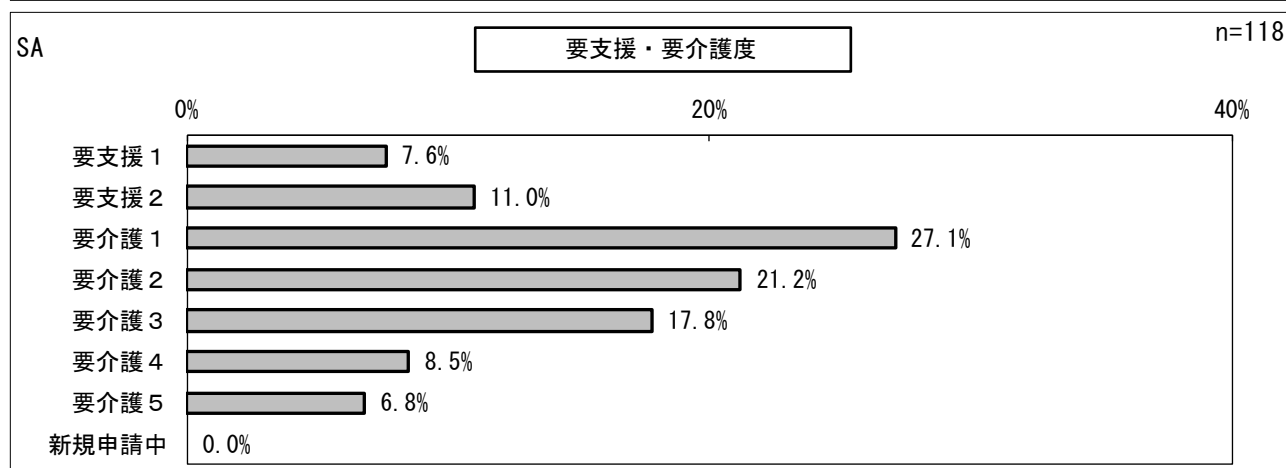
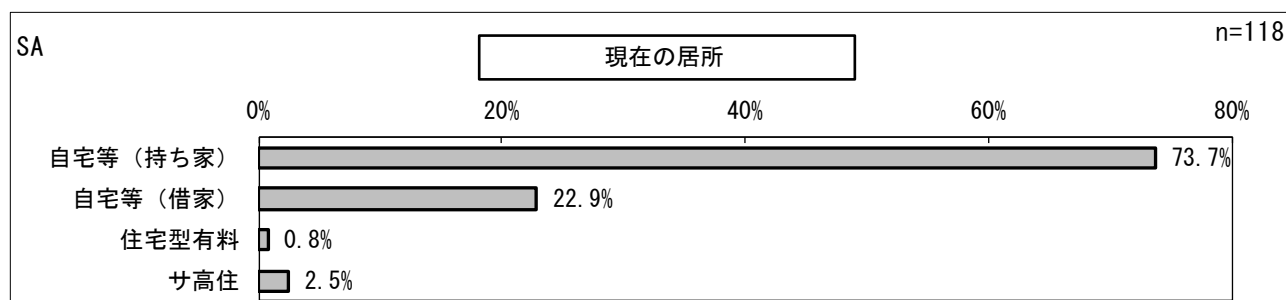
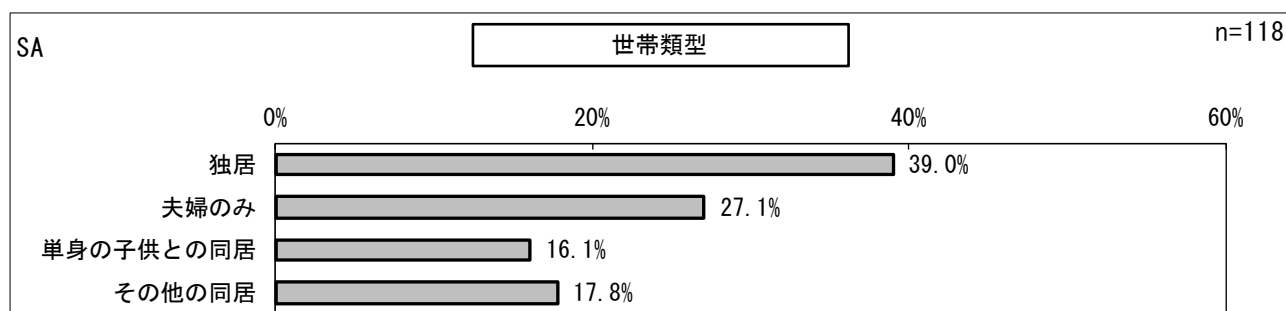
2 調査結果の概要

(1) 回答者の属性

世帯類型では「独居」が約4割（39.0%）と最も高く、「夫婦のみ」が27.1%、「単身の子供との同居」が16.1%と続いています。

現在の居所では「自宅等（持ち家）」が73.7%、「自宅等（借家）」が22.9%、「住宅型有料老人ホーム」が0.8%、「サービス付き高齢者向け住宅」が2.5%となっています。

要介護度では、「要介護1」が27.1%と最も高く、「要介護2」が21.2%、「要介護3」が17.8%と続いています。

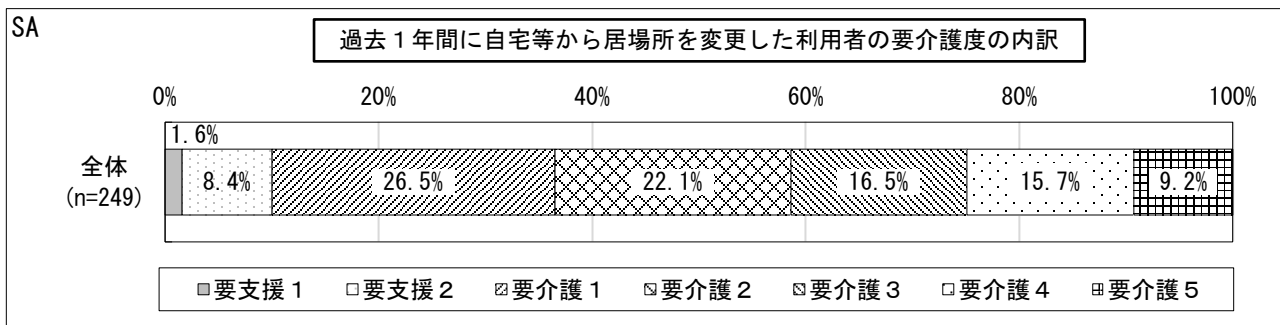


結果の概要

(2) 過去1年の間に自宅から居場所を変更した利用者

＜過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者＞と＜要介護度＞の関係では、「要介護1」が26.5%と最も高く、「要介護2」が22.1%、「要介護3」が16.5%と続いています。上位3位は、回答者の属性の順位と同様の結果となっています。

行先では、「介護老人保健施設」が12.0%（うち市内は8.0%）と最も高く、「特定施設」が9.6%（うち市外は7.6%）、「住宅型有料老人ホーム」が5.6%と続いています。



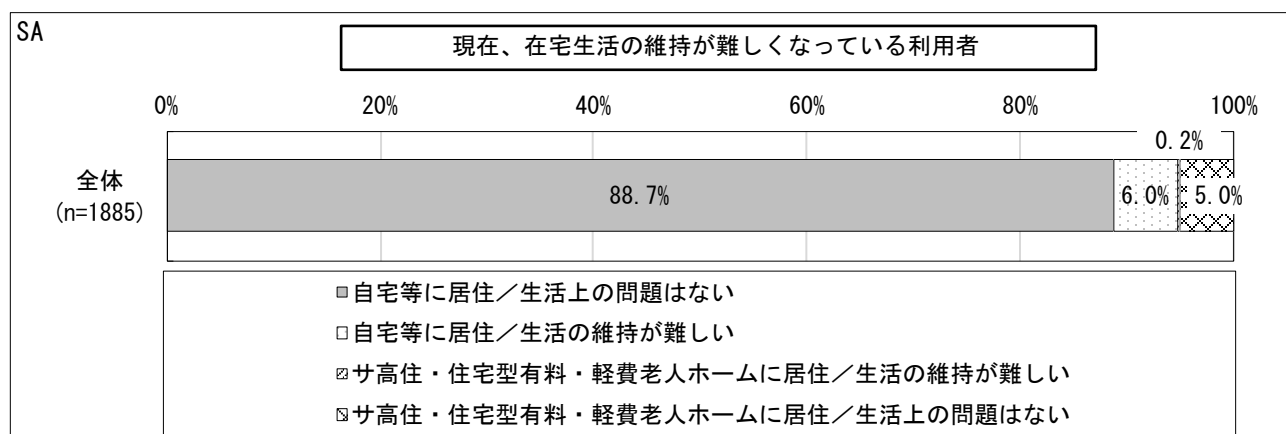
過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の行先別の人数

行先	市区町村内	市区町村外	合計
兄弟・子ども・親戚等の家	1人 0.4%	10人 4.0%	11人 4.4%
住宅型有料老人ホーム	4人 1.6%	10人 4.0%	14人 5.6%
軽費老人ホーム（特定施設除く）	1人 0.4%	1人 0.4%	2人 0.8%
サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	3人 1.2%	7人 2.8%	10人 4.0%
グループホーム	5人 2.0%	4人 1.6%	9人 3.6%
特定施設	5人 2.0%	19人 7.6%	24人 9.6%
地域密着型特定施設	0人 0.0%	1人 0.4%	1人 0.4%
介護老人保健施設	20人 8.0%	10人 4.0%	30人 12.0%
療養型・介護医療院	0人 0.0%	3人 1.2%	3人 1.2%
特別養護老人ホーム	8人 3.2%	5人 2.0%	13人 5.2%
地域密着型特別養護老人ホーム	7人 2.8%	1人 0.4%	8人 3.2%
その他	8人 3.2%	1人 0.4%	9人 3.6%
行先を把握していない			115人 46.2%
合計	62人 24.9%	72人 28.9%	249人 100.0%

(3) 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者

在宅での生活の維持が難しい利用者の割合は、「自宅等に居住/生活の維持が難しい」が 6.0%、「サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームに居住/生活の維持が難しい」が 0.2% となっています。

属性別では、“独居で、自宅等（持ち家）に住む、要介護2以下の方”が 19.5%と最も高くなっています。また、上位4パターンが半数以上（51.8%）を占めています。



現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者の属性

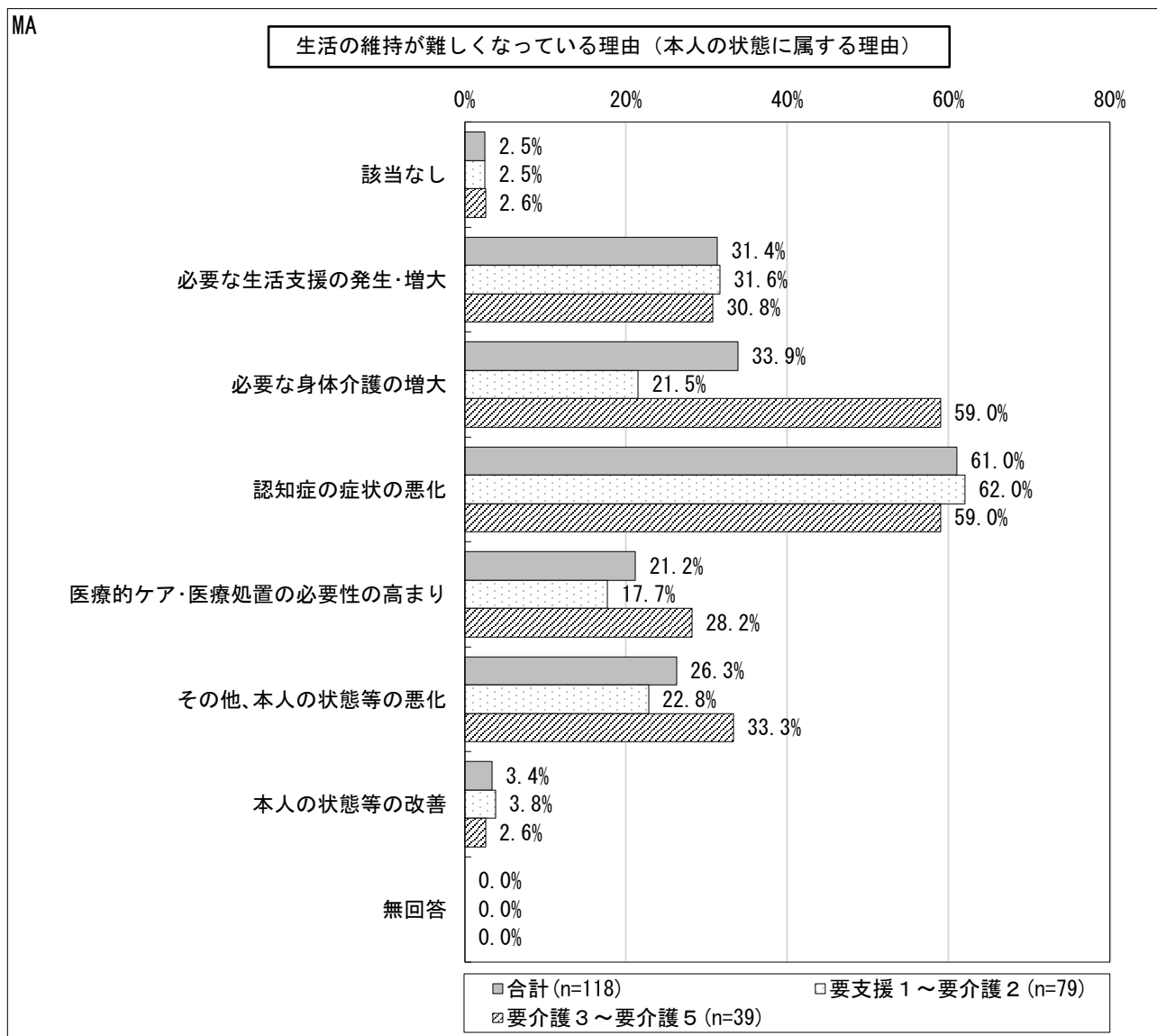
類型（上位10類型）	回答数	粗推計	割合	世帯類型				居所			要介護度	
				独居	夫婦のみ世帯	単身の子どもの同居	その他世帯	自宅等（持ち家）	自宅等（借家）	サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料・軽費	要介護2以下	要介護3以上
1	23人	30人	19.5%	★				★			★	
2	14人	18人	11.9%		★			★				★
3	12人	16人	10.2%		★			★			★	
4	12人	16人	10.2%				★	★			★	
5	11人	14人	9.3%	★					★		★	
6	10人	13人	8.5%			★		★			★	
7	6人	8人	5.1%	★				★				★
8	5人	6人	4.2%			★		★				★
9	5人	6人	4.2%				★	★				★
10	4人	5人	3.4%		★				★		★	
上記以外	16人	21人	13.5%									
合計	118人	153人	100.0%									

※「粗推計」は、回答数に回収率の逆数を乗じて算出している

結果の概要

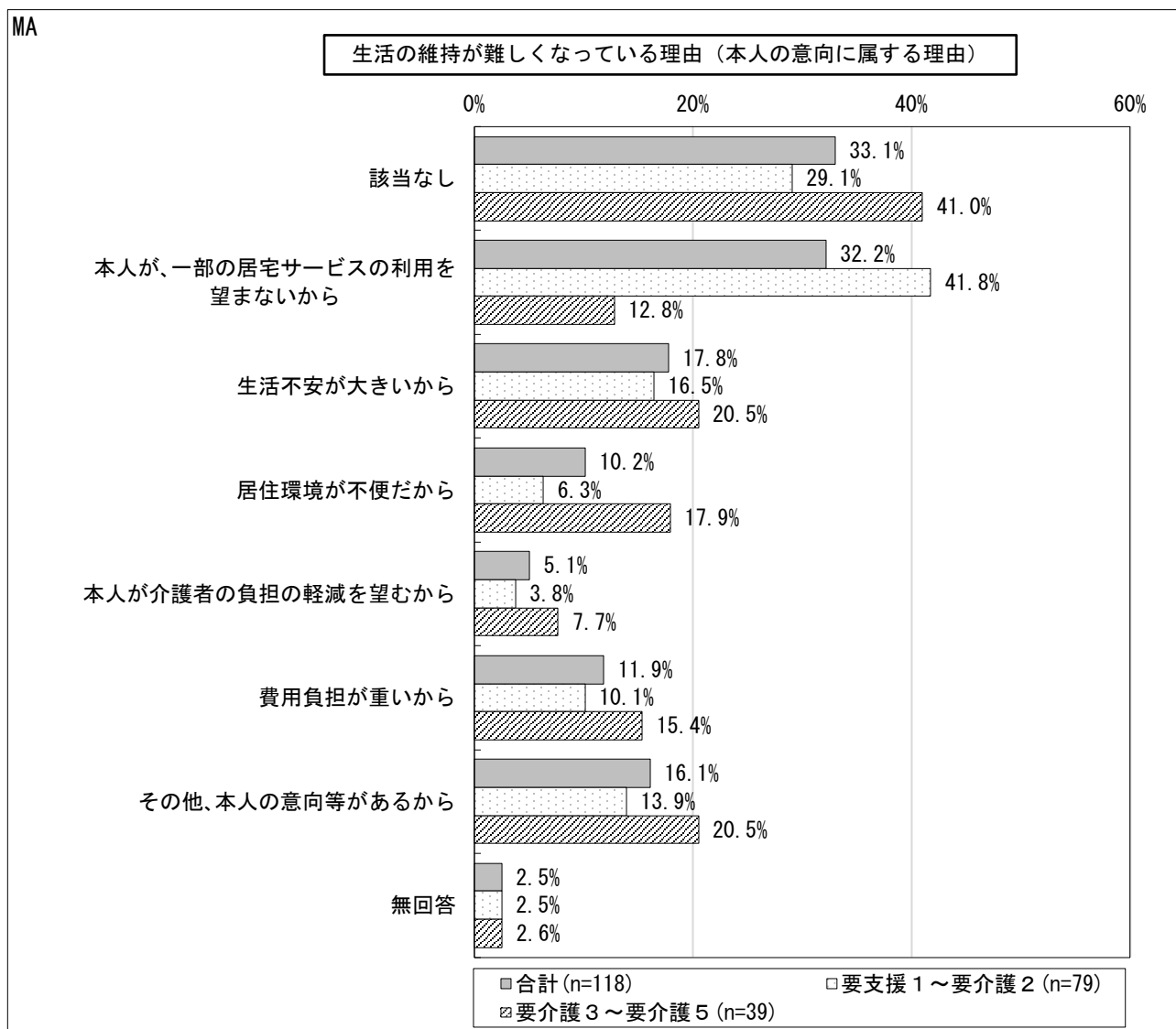
(4) 在宅生活の維持が難しくなっている理由 本人の状態等に属する理由

在宅生活の維持が難しくなっている理由（本人の状態等）では、要支援1～要介護2で「認知症の症状の悪化」が62.0%、要介護3～要介護5で「必要な身体介護の増大」と「認知症の症状の悪化」がそれぞれ59.0%と最も高くなっています。



(5) 在宅生活の維持が難しくなっている理由 主に本人の意向等に属する理由

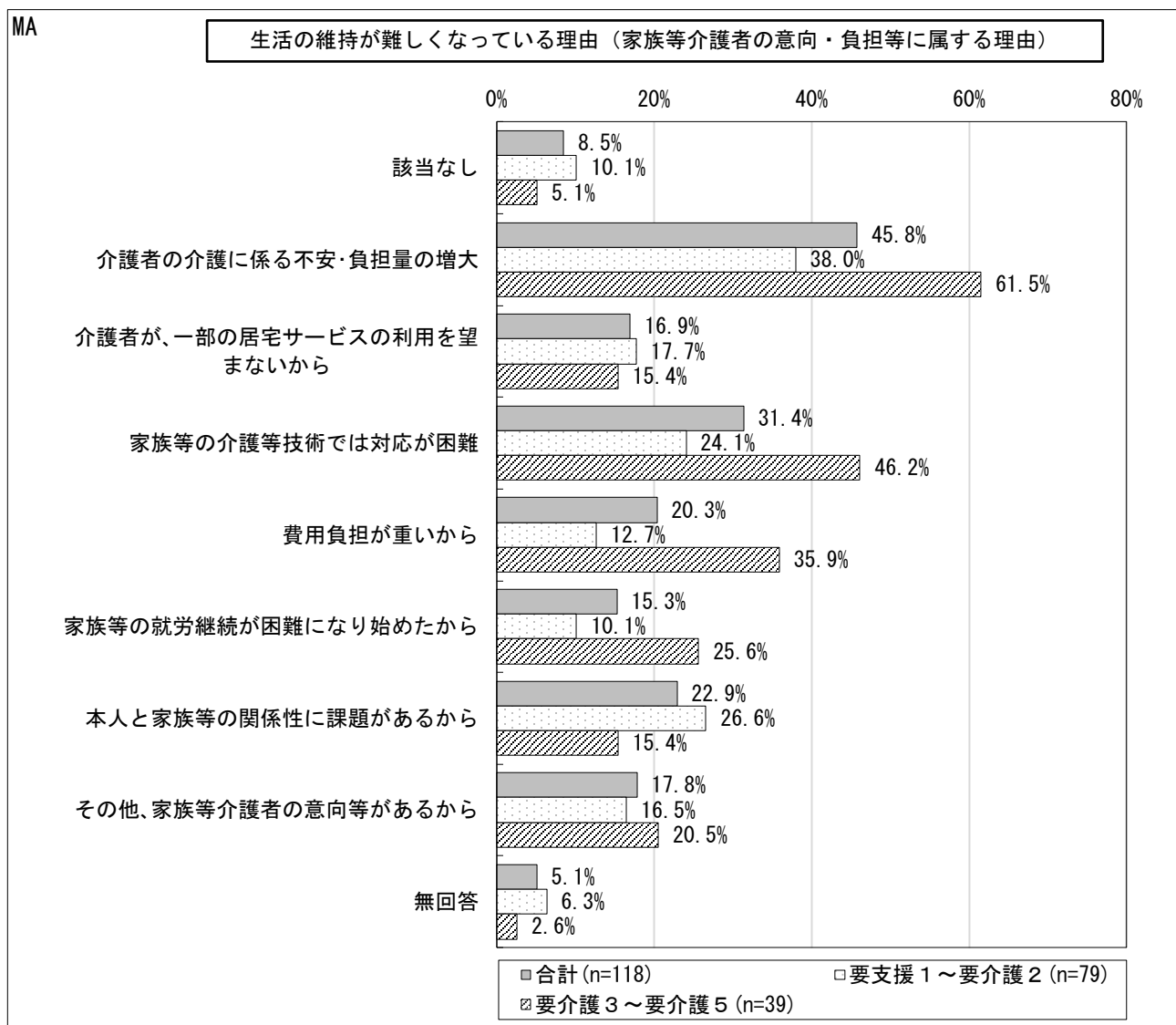
在宅生活の維持が難しくなっている理由（本人の意向等）では、要支援1～要介護2で「本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから」が41.8%、要介護3～要介護5で「生活の不安が大きいから」や「その他、本人の意向等があるから」がそれぞれ20.5%と最も高くなっています。



結果の概要

(6) 在宅生活の維持が難しくなっている理由 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由

在宅生活の維持が難しくなっている理由（家族等介護者の意向・負担等）では、「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」が要支援1～要介護2で38.0%、要介護3～要介護5で61.5%と最も高くなっています。

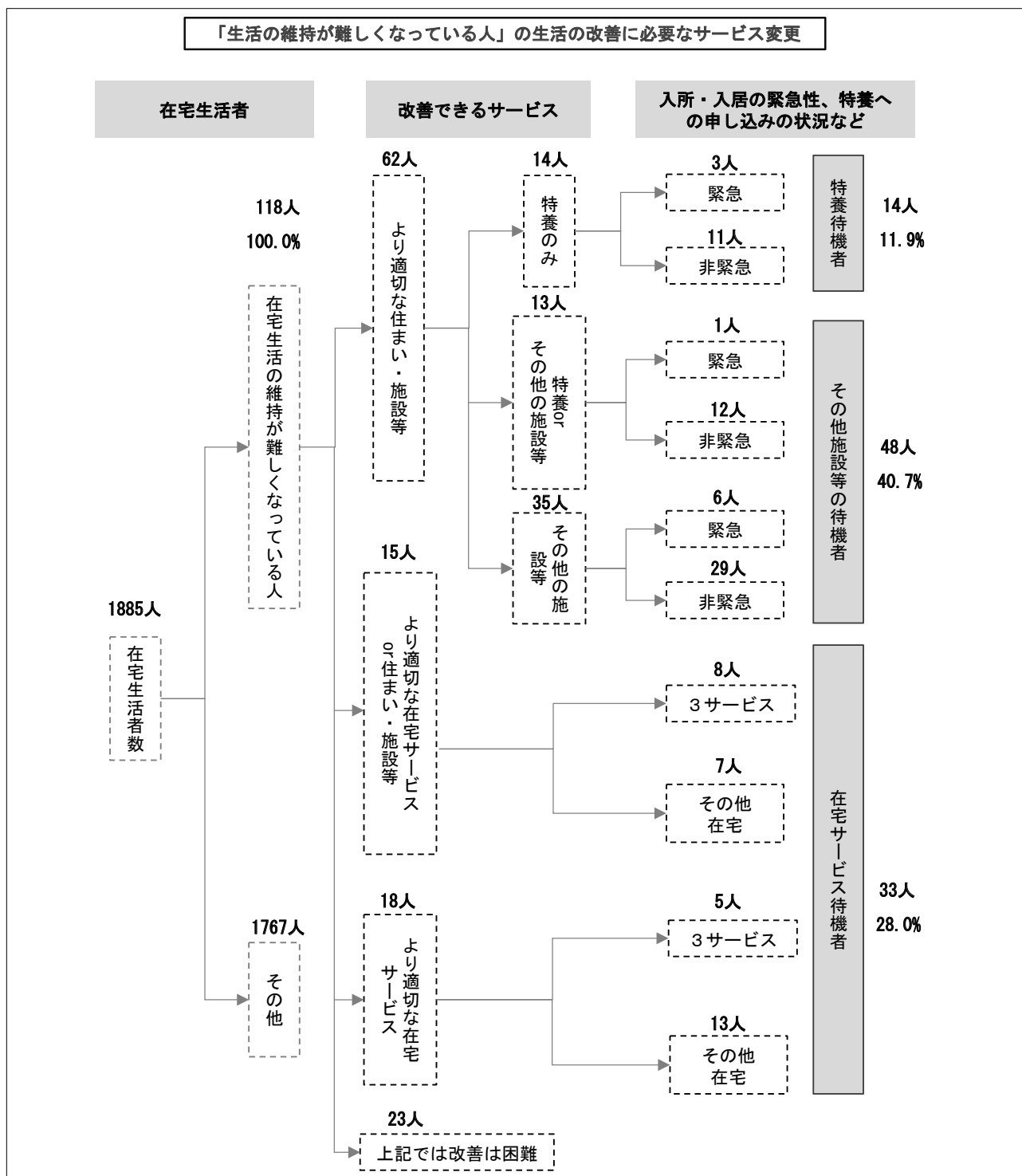


(7) 生活改善に必要と考えられるサービスの種類

在宅生活の維持が難しくなっている方のうち、約3割(28.0%)は“在宅サービス待機者”となっており、在宅サービスの改善によって生活の維持が可能と考えられます。

“特別養護老人ホーム待機者”は11.9%で、そのうち“緊急で特別養護老人ホームへの入所が必要”な方は3名と極めて少数となっています。

“その他施設等の待機者”は、約4割(40.7%)となっています。自宅での生活が難しくなっている利用者において、次の選択肢となる生活の場は、特別養護老人ホームのみではなく、多様であるといえます。

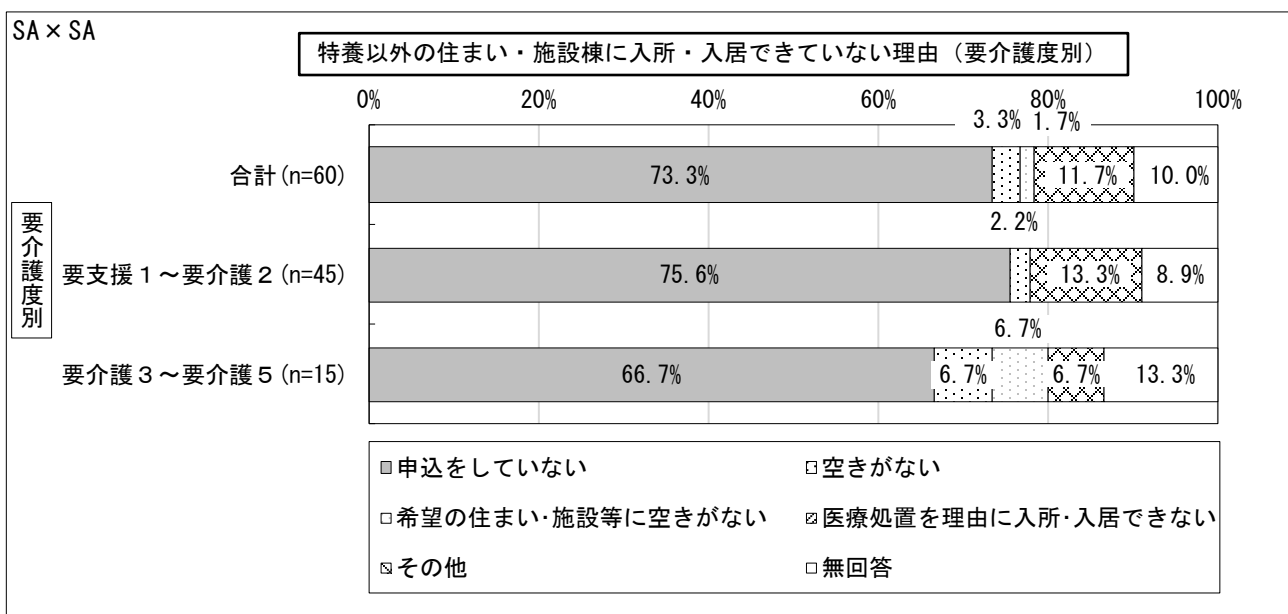
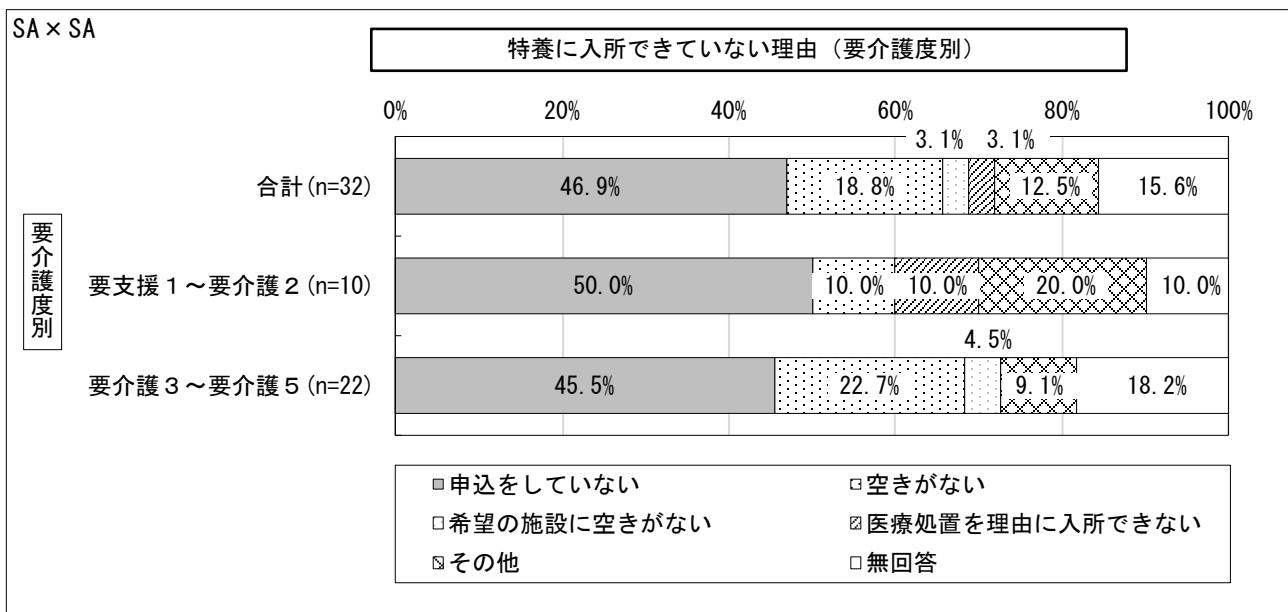


結果の概要

(8) 特別養護老人ホームやその他施設等に入所できていない理由

特別養護老人ホームに入所できていない理由は、「申込をしていない」が、要支援1～要介護2で50.0%、要介護3～要介護5で45.5%と最も高くなっています。次いで、要支援1～要介護2では「空きがない」と「医療処置を理由に入所できない」が10.0%、要介護3～要介護5では「空きがない」が22.7%となっています。

特別養護老人ホーム以外の住まい・施設等に入所・入居できていない理由は、「申込をしていない」が、要支援1～要介護2で75.6%、要介護3～要介護5で66.7%と最も高くなっています。



5 居所変更実態調査

1 調査の項目

設問	小問	設問内容
問 1	(1)	該当するサービス種別
問 2	(1)	施設等の名称
	(2)	定員数など
	(3)	入所・入居者数
	(4)	待機者数
	(5)	特別養護老人ホームの待機者数（申込者数）
問 3		現在の入所・入居者の要支援・要介護度
問 4		医療処置を受けている人数
問 5		過去 1 年間に、新規で入所・入居した人の人数
問 6		入所・入居する前の居場所別の人数
問 7		入居・入所者が、入居・入所した理由
問 8		過去 1 年間に、退去した人数
問 9		過去 1 年間に、退去した人数（要介護度別）
問 10		退去先別の人数
問 11		入居・入所者が、退去する理由

結果の概要

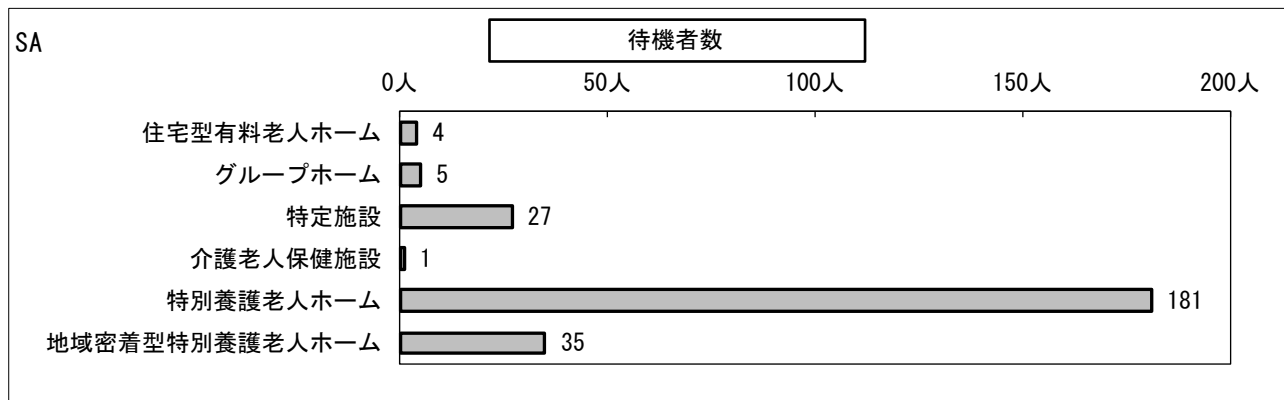
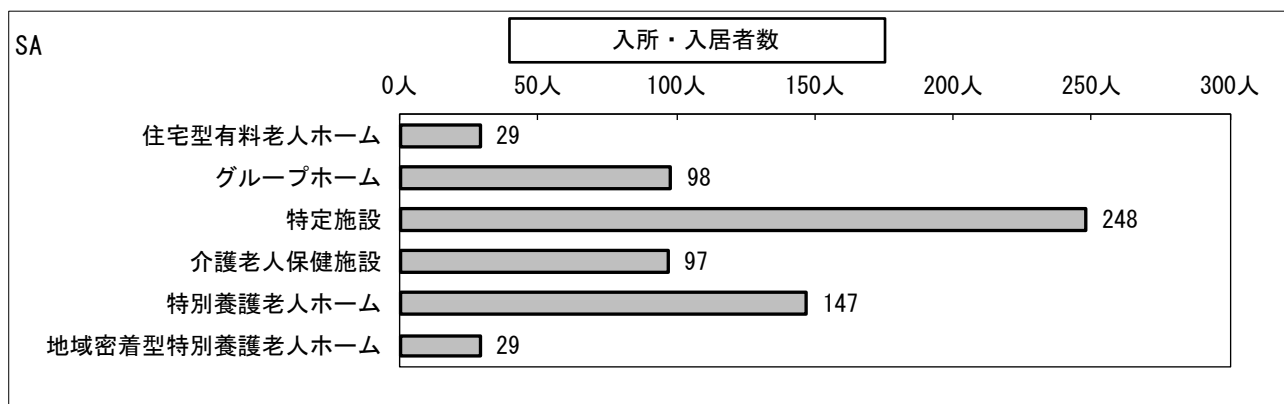
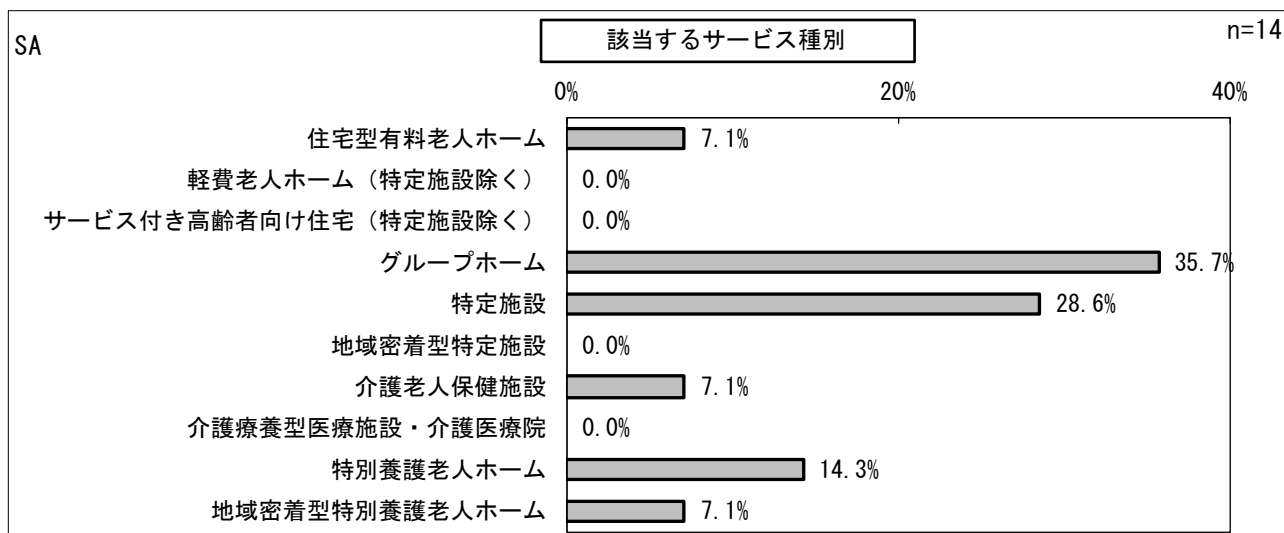
2 調査結果の概要

(1) サービス種別施設の概要

事業所のサービス種別は、「グループホーム」が35.7%と最も高く、「特定施設」が28.6%、「特別養護老人ホーム」が14.3%と続いています。

入所・入居者数は、「特定施設」が248人と最も多く、「特別養護老人ホーム」が147人、「グループホーム」が98人と続いています。

待機者数は、「特別養護老人ホーム」が181人と最も多く、「地域密着型特別養護老人ホーム」が35人、「特定施設」が27人と続いています。



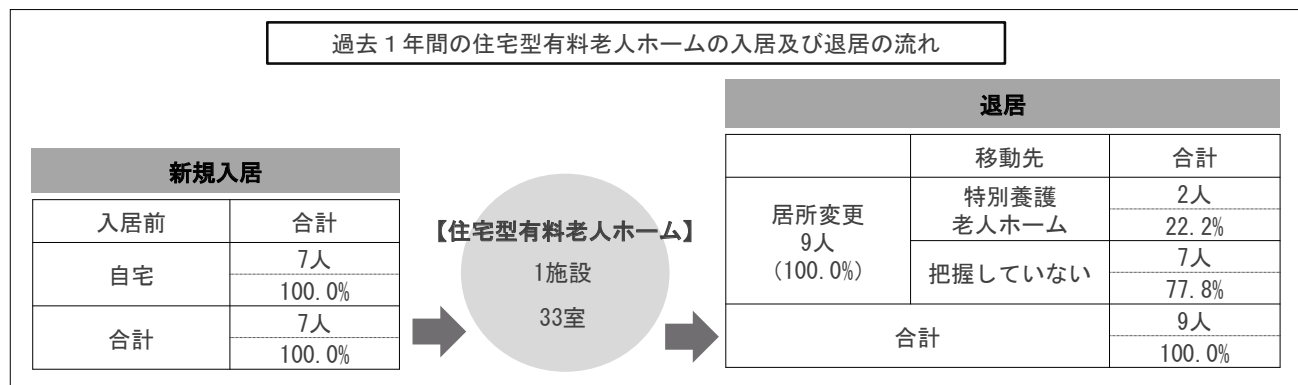
(2) 過去1年間の入居及び退居の流れ

①住宅型有料老人ホーム

入居前の居場所は、すべて「自宅」となっています。

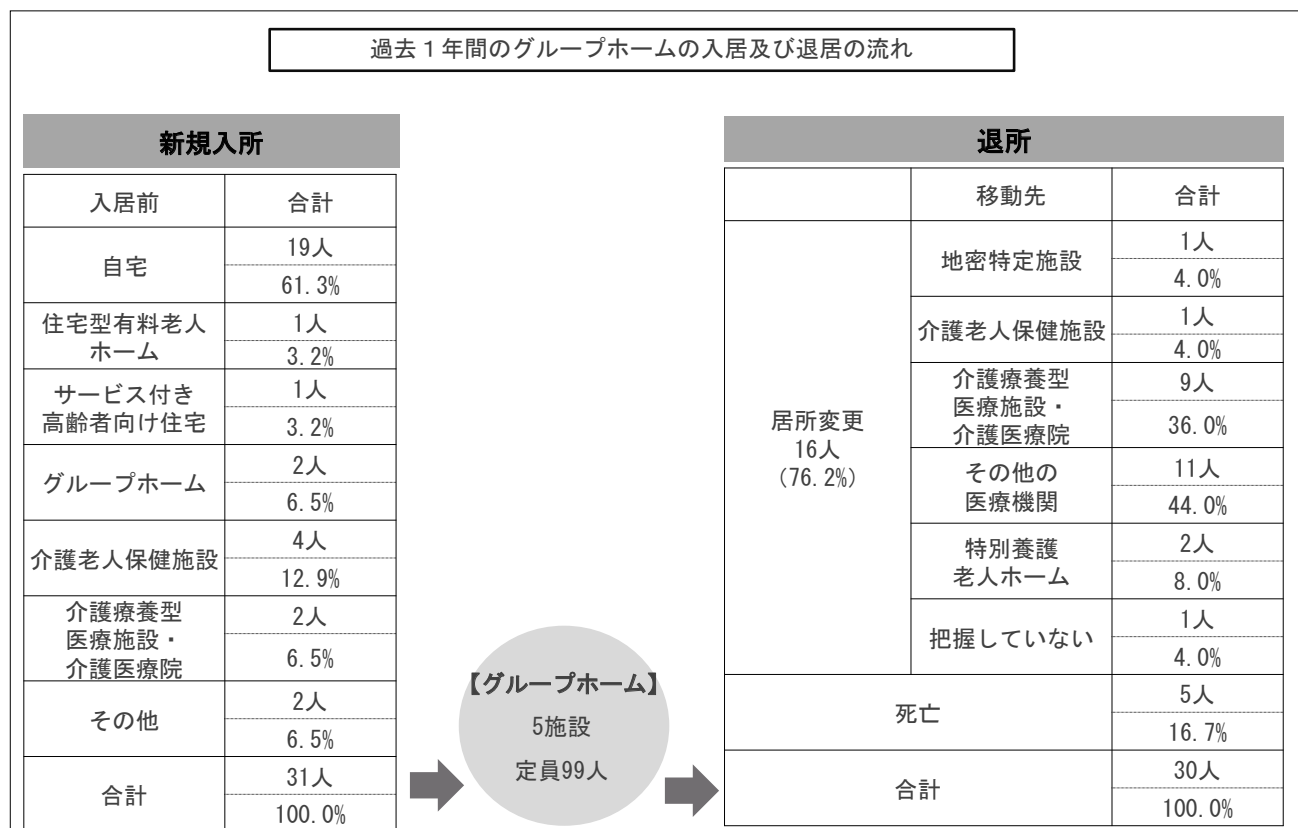
退去した方の移動先は、「特別養護老人ホーム」が22.2%と最も高くなっています。

退去した方に「死亡」はみられません。



②グループホーム

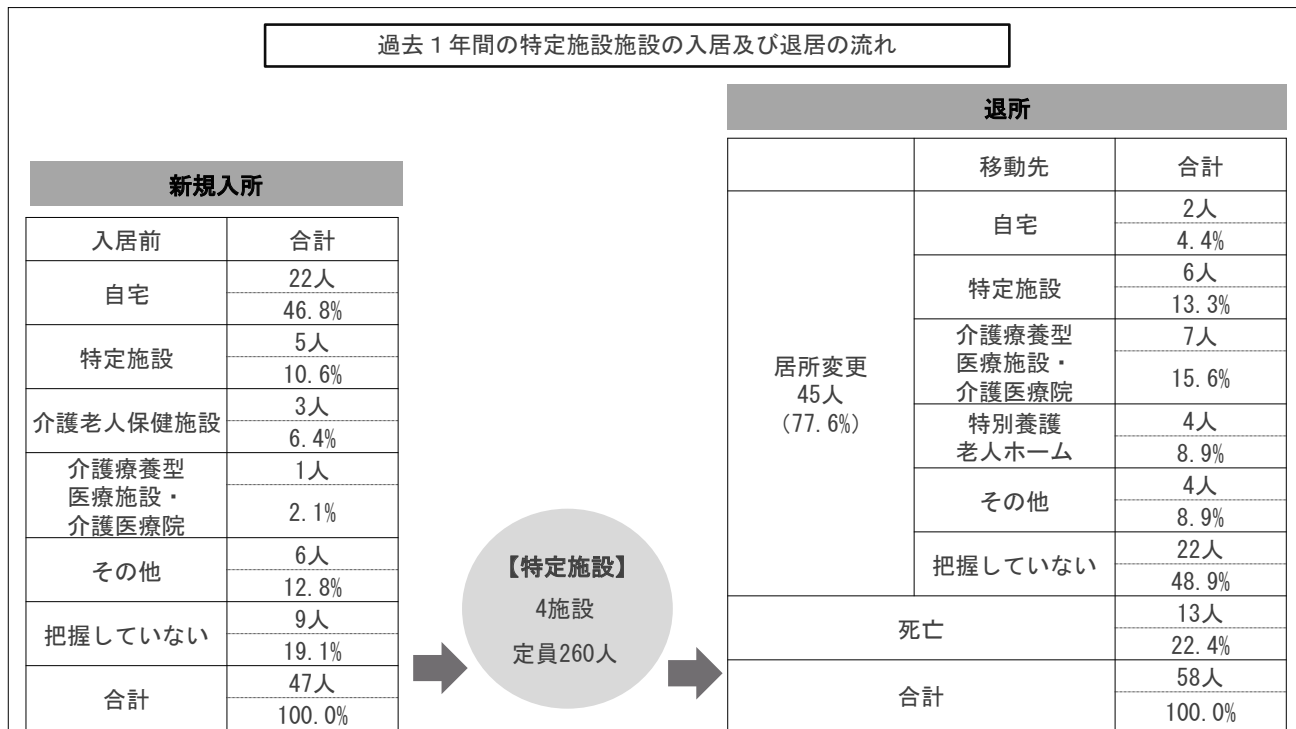
入所前の居場所は、「自宅」が61.3%と最も高く、「介護老人保健施設」が12.9%、「グループホーム」と「介護療養型医療施設・介護医療院」が6.5%と続いています。退所した方の移動先は、「その他の医療機関」が44.0%と最も高く、「介護療養型医療施設・介護医療院」が36.0%、「特別養護老人ホーム」が8.0%と続いています。退所した方の「死亡」割合は、16.7%となっています。



結果の概要

③特定施設

入所前の居場所は、「自宅」が46.8%と最も高く、「特定施設」が10.6%、「介護老人保健施設」が6.4%と続いています。退所した方の移動先は、「介護療養型医療施設・介護医療院」が15.6%と最も高く、「特定施設」が13.3%、「特別養護老人ホーム」が8.9%と続いています。退所した方の「死亡」割合は、2割超（22.4%）となっており、他の施設と比べて多くの看取りに対応しているといえます。

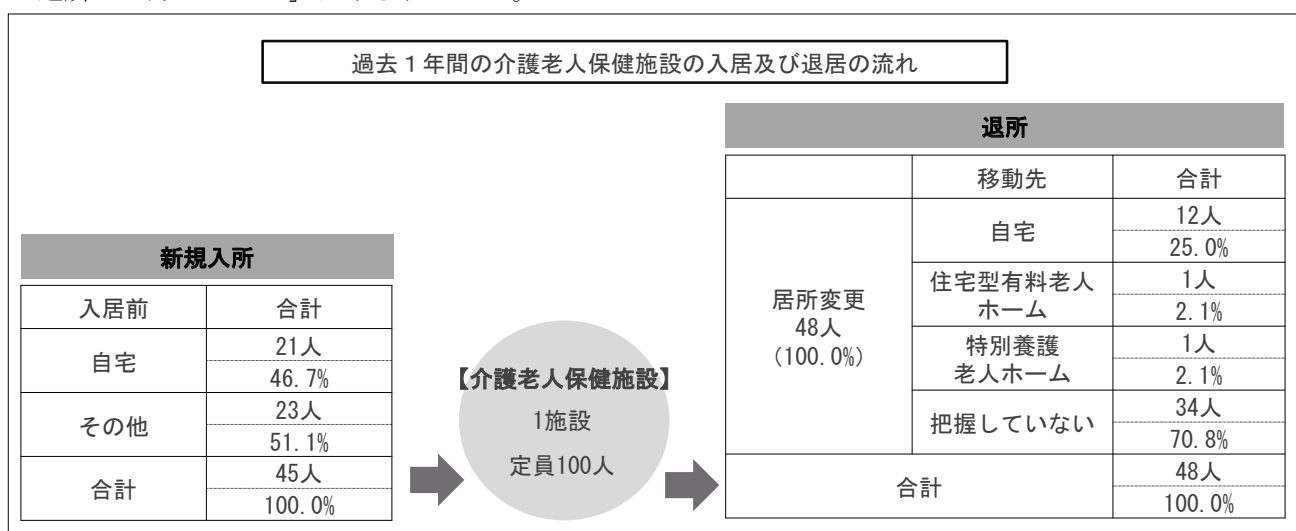


④介護老人保健施設

入所前の居場所は、「自宅」が46.7%と最も高くなっています。

退所した方の移動先は、「自宅」が25.0%と最も高くなっています。

退所した方に「死亡」はみられません。

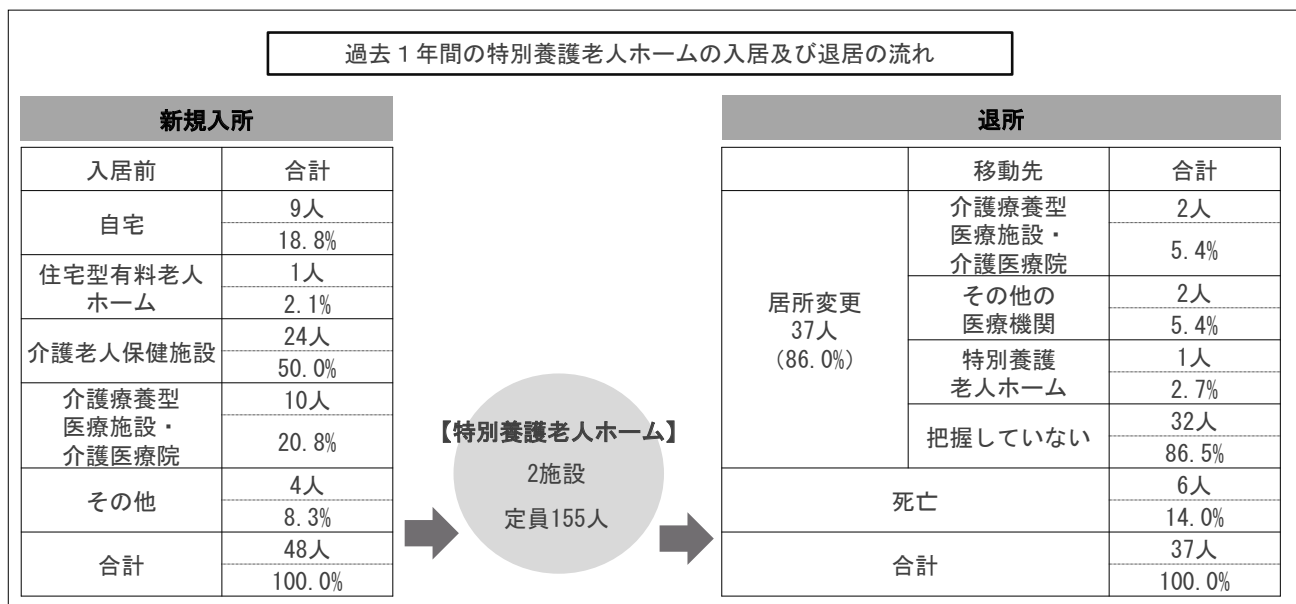


⑤特別養護老人ホーム

入所前の居場所は、「介護老人保健施設」が50.0%と最も高く、「介護療養型医療施設・介護医療院」が20.8%、「自宅」が18.8%と続いています。

退所した方の移動先は、「介護療養型医療施設・介護医療院」と「その他の医療機関」がそれぞれ5.4%となっています。

退所した方の「死亡」割合は、14.0%となっています。

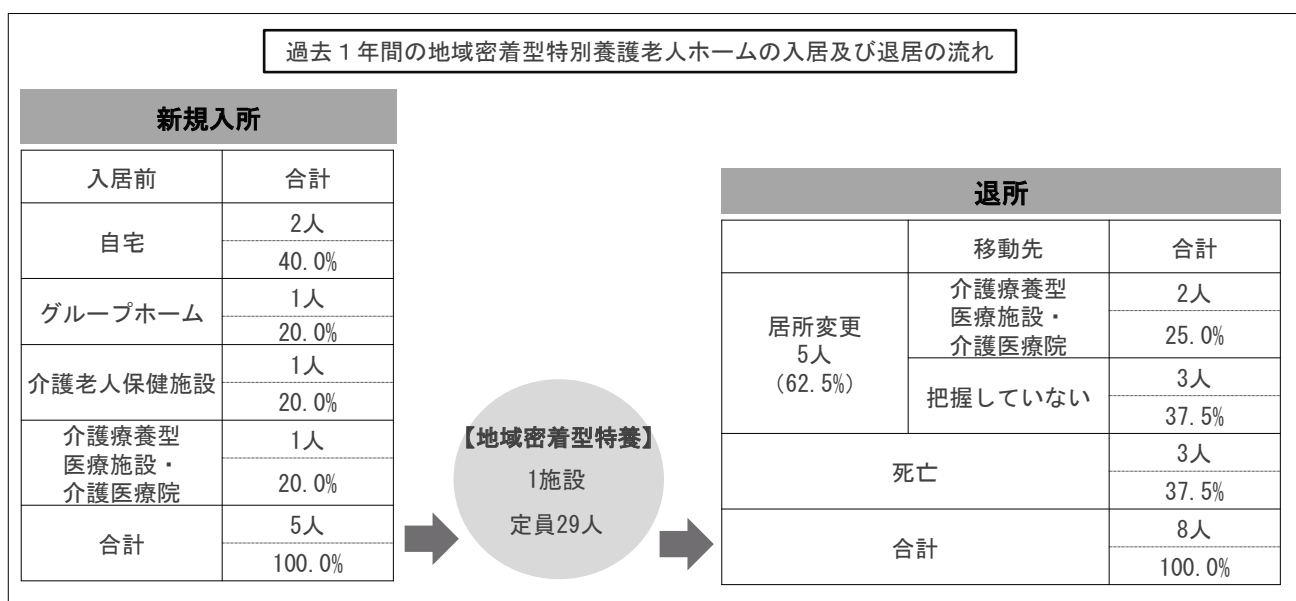


⑥地域密着型特別養護老人ホーム

入所前の居場所は、「自宅」が40.0%と最も高くなっています。

退所した方の移動先は、「介護療養型医療施設・介護医療院」が25.0%となっています。

退所した方の「死亡」割合は、約4割(37.5%)となっており、他の施設と比べて多くの看取りに対応しているといえます。



結果の概要

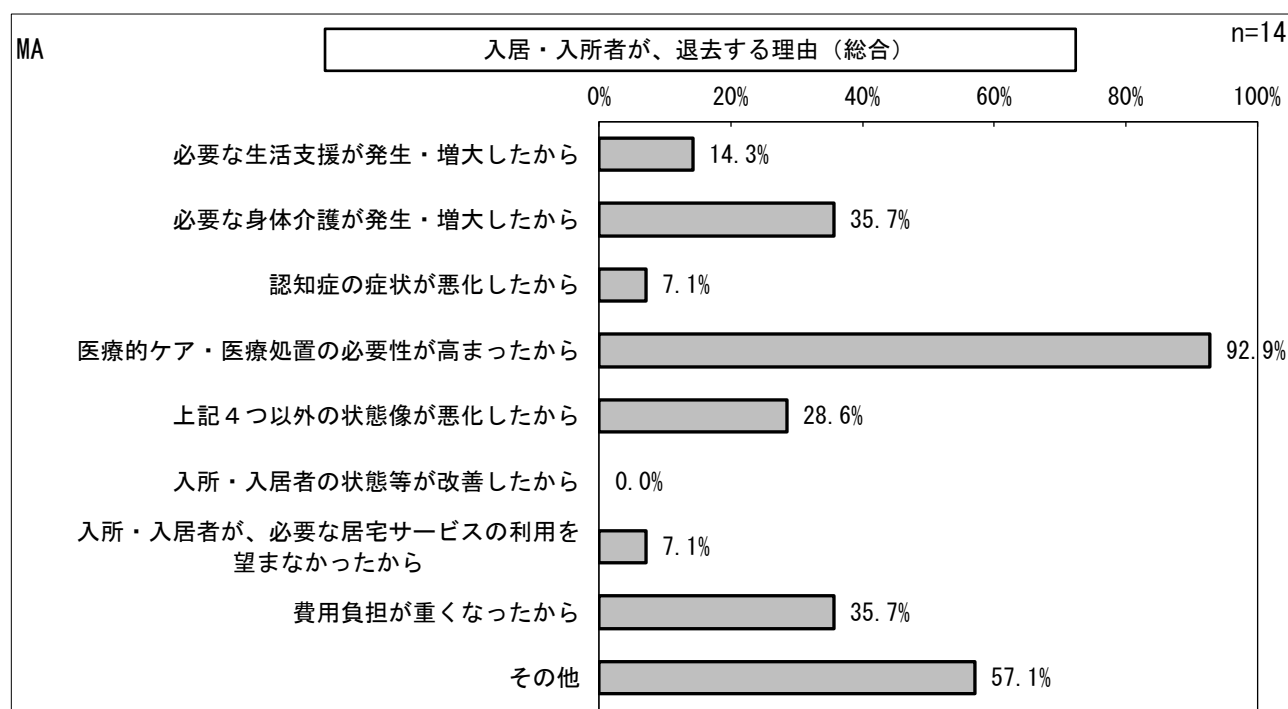
(3) 居所変更した人の要支援・要介護度

「住宅型有料老人ホーム」では要介護4、「グループホーム」では要介護2、その他の施設では要介護5で退所する方が最も多くなっています。ほとんどの施設で、要介護4～5まで居住することができることが読み取れます。

過去一年間に退去した人数（要介護度別）										
サービス種別	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	合計
住宅型有料老人ホーム (n=1)						1人 11.10%	6人 66.70%	2人 22.20%		9人 100.00%
グループホーム (n=5)				2人 8.0%	8人 32.0%	4人 16.0%	4人 16.0%	7人 28.0%		25人 100.00%
特定施設 (n=4)		2人 4.40%	2人 4.40%	9人 20.00%	5人 11.10%	6人 13.30%	6人 13.30%	15人 33.30%		45人 100.00%
介護老人保健施設 (n=1)				9人 18.80%	5人 10.40%	8人 16.70%	12人 25.00%	14人 29.20%		48人 100.00%
特別養護老人ホーム (n=2)					1人 2.70%	3人 8.10%	13人 35.10%	20人 54.10%		37人 100.00%
地域密着型特養 (n=1)						1人 20.00%	1人 20.00%	3人 60.00%		5人 100.00%
合計 (n=14)		2人 1.20%	2人 1.20%	20人 11.80%	19人 11.20%	23人 13.60%	42人 24.90%	61人 36.10%		169人 100.00%

(4) 居所変更した理由

退去した理由は、「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」が9割以上（92.9%）と最も高く、各施設において医療機能に対する検討が求められていると考えられます。次いで、「必要な身体介護が発生・増大したから」と「費用負担が重くなったから」がそれぞれ35.7%となっています。



(5) 受けている医療処置別の入所・入居者数

全体では、「経管栄養」と「喀痰吸引」がそれぞれ2.5%と最も高くなっています。次いで「疼痛の看護」や「褥瘡の処置」、「インスリン注射」がそれぞれ1.5%となっています。

最も医療処置の数が多い施設は「特定施設」で、「介護老人保健施設」が続いています。また、「グループホーム」では医療処置を受けている方はみられませんでした。

受けている医療処置別の入所・入居者数														
	点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストーマの処置	酸素療法	レスピレーター	気管切開の処置	疼痛の看護	経管栄養	モニター測定	褥瘡の処置	カテーテル	喀痰吸引	インスリン注射
住宅型有料老人ホーム (n=1)				1人 3.4%							1人 3.4%			
グループホーム (n=5)														
特定施設 (n=4)			2人 0.8%		1人 0.4%			10人 4.0%	3人 1.2%		5人 2.0%	2人 0.8%	1人 0.4%	5人 2.0%
介護老人保健施設 (n=1)	2人 2.1%		2人 2.1%	1人 1.0%					6人 6.2%		3人 3.1%		6人 6.2%	4人 4.1%
特別養護老人ホーム (n=2)				1人 0.7%					4人 2.7%		1人 0.7%	3人 2.0%	3人 2.0%	1人 0.7%
地域密着型特養 (n=1)									3人 10.3%				6人 20.7%	
合計 (n=14)	2人 0.3%		4人 0.6%	3人 0.5%	1人 0.2%			10人 1.5%	16人 2.5%		10人 1.5%	5人 0.8%	16人 2.5%	10人 1.5%

6 介護人材実態調査

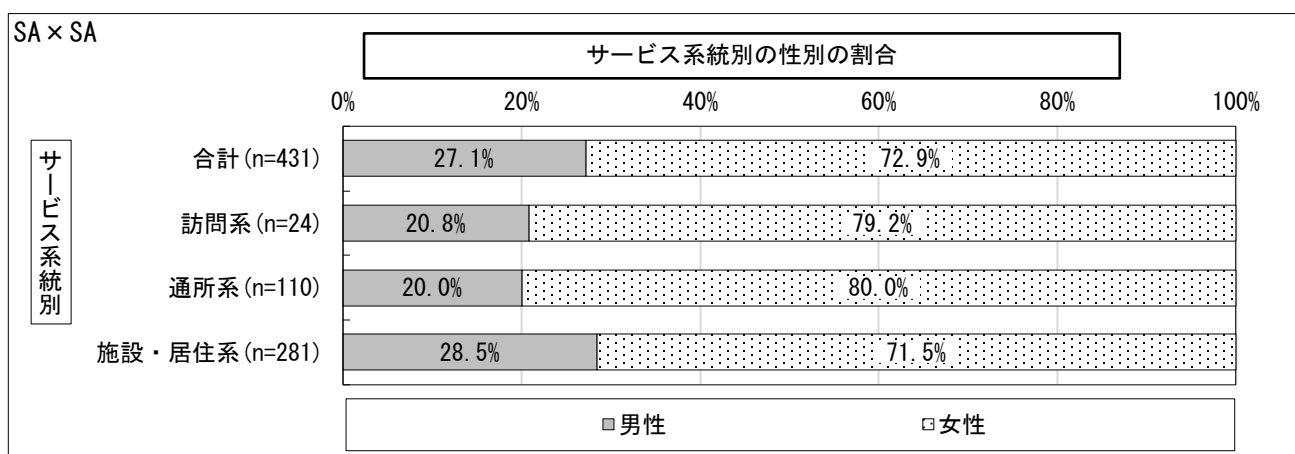
1 調査の項目

設問	小問	設問内容
事業所票（施設系・通所系サービス）		
問1	(1)	該当するサービス種別
問2	(1)	介護職員の総数
	(2)	事業所の開設時期
	(3)	過去1年間の介護職員の採用者数と離職者数
	(4)	採用者・離職者の正規・非正規の別、年齢別
問3	(1)	資格の取得、研修の修了の状況
	(2)	雇用形態
	(3)	性別
	(4)	年齢
	(5)	過去1週間の勤務時間
	(6)	現在の施設等での勤務年数
	(7)	現在の施設等に勤務する直前の職場
	(8)	直前の職場について ①場所 直前の職場について ②法人
事業所票（訪問系サービス）		
問1	(1)	該当するサービス種別
問2	(1)	介護職員の総数
	(2)	事業所の開設時期
	(3)	過去1年間の介護職員の採用者数と離職者数
	(4)	採用者・離職者の正規・非正規の別、年齢別
職員票（訪問系サービス）		
問1		本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別（介護予防を含む）
問2		資格の取得、研修の修了の状況について
問3	(1)	雇用形態
	(2)	性別
	(3)	年齢
	(4)	過去1週間の勤務時間
	(5)	現在の事業所での勤務年数
問4		現在の事業所に勤務する直前の職場について
問5	(1)	直前の職場について ①場所
	(2)	直前の職場について ②法人
介護給付による訪問について		
介護予防給付・総合事業による訪問について		

2 調査結果の概要

(1) 事業所の概要

性別では、すべてのサービス系統で女性の方が多く、訪問系と通所系で約8割、施設・居住系で約7割となっています。



(2) 資格の取得、研修の修了の状況について

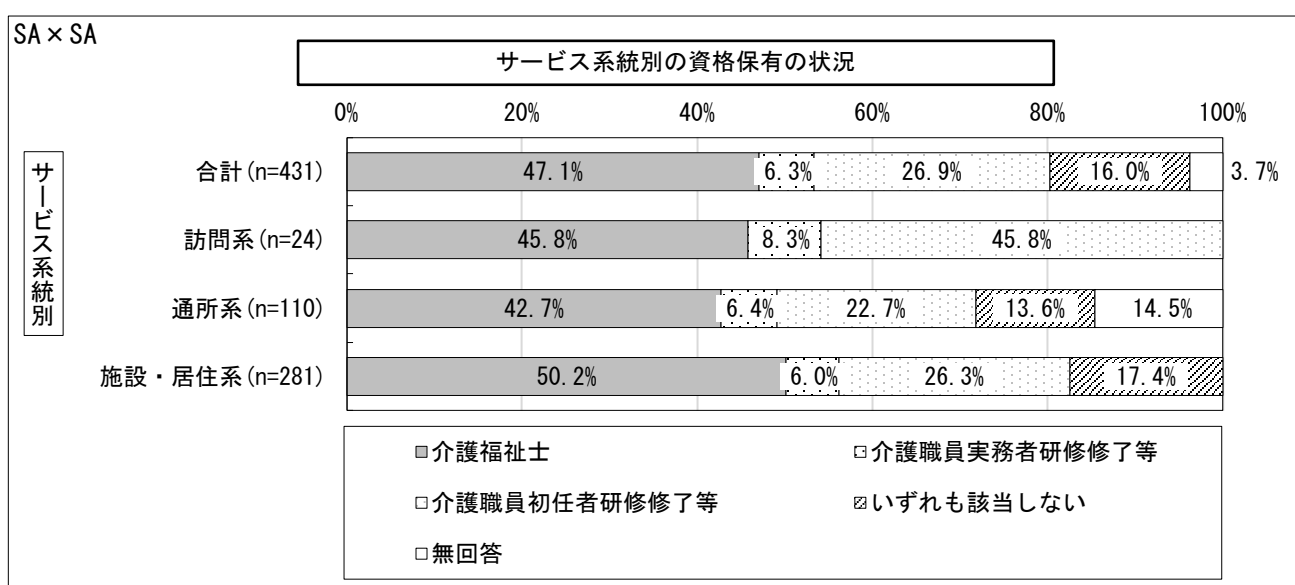
全体では、「介護福祉士」が47.1%、「いずれも該当しない」が16.0%となっています。

サービス系統別では「介護福祉士」は、施設・居住系で約半数（50.2%）と最も高くなっています。

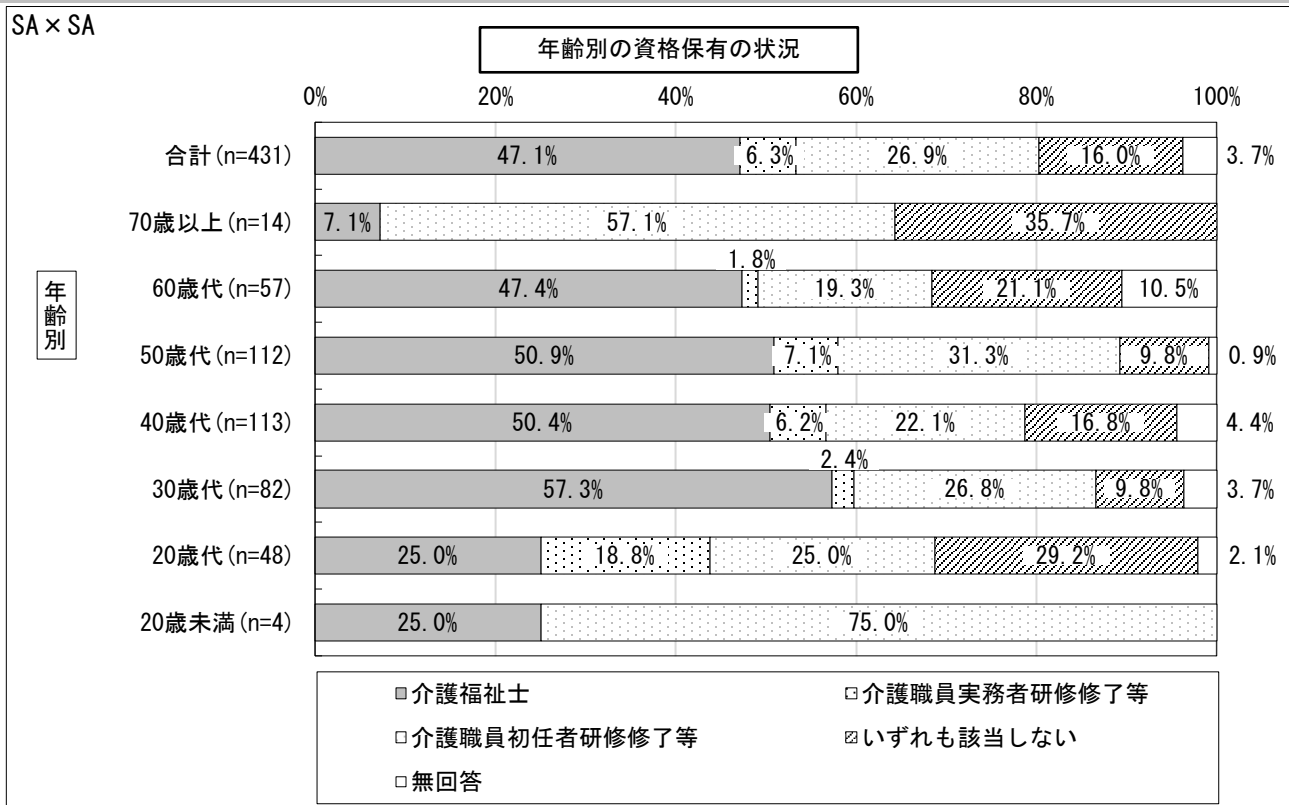
また「介護福祉士」、「介護職員実務者研修終了等」、「介護職員初任者研修修了等」を合わせた“有資格者”は、訪問系ですべての職員（100.0%）、通所系で約7割（71.8%）、施設・居住系で約8割（82.5%）となっています。

年齢別では「介護福祉士」は、30歳代が約6割、40～60歳代が約半数となっています。

20歳代では、「介護福祉士」が4分の1（25.0%）、「いずれも該当しない」が約3割（29.2%）となっています。20歳代以下において介護福祉士等の有資格者を増やしていくことが、各施設の機能を強化する上で重要であると考えられます。



結果の概要

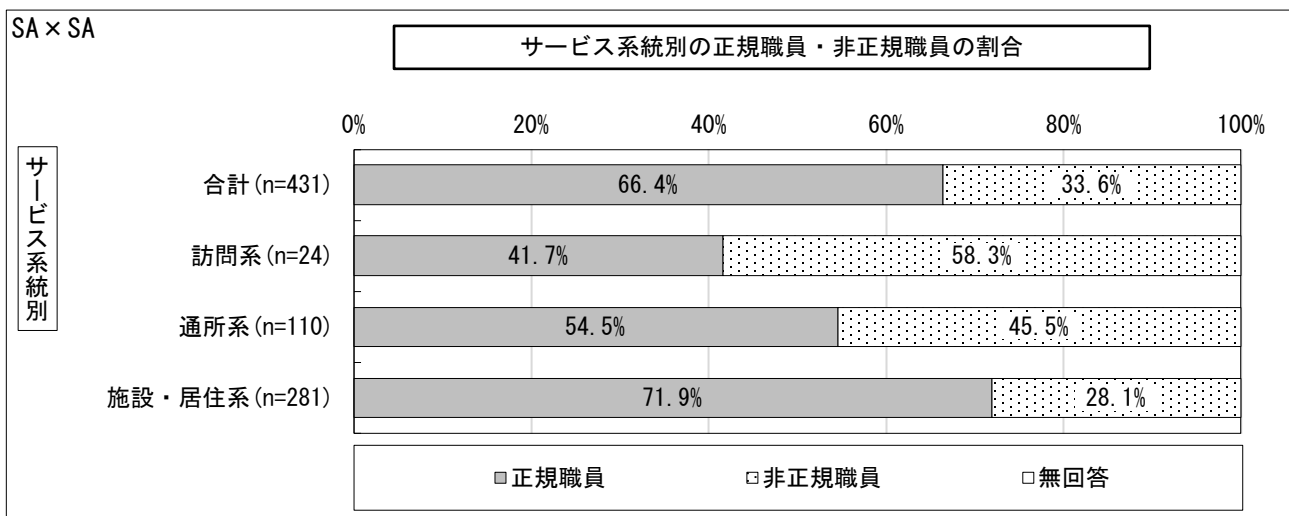


(3) 介護職員の雇用契約

全体では、「正規職員」が66.4%となっています。

サービス系統別では、「正規職員」は施設・居住系で71.9%と最も高く、通所系で54.5%となっています。また、訪問系では「非正規職員」(58.3%)の割合が「正規職員」(41.7%)よりも高くなっています。

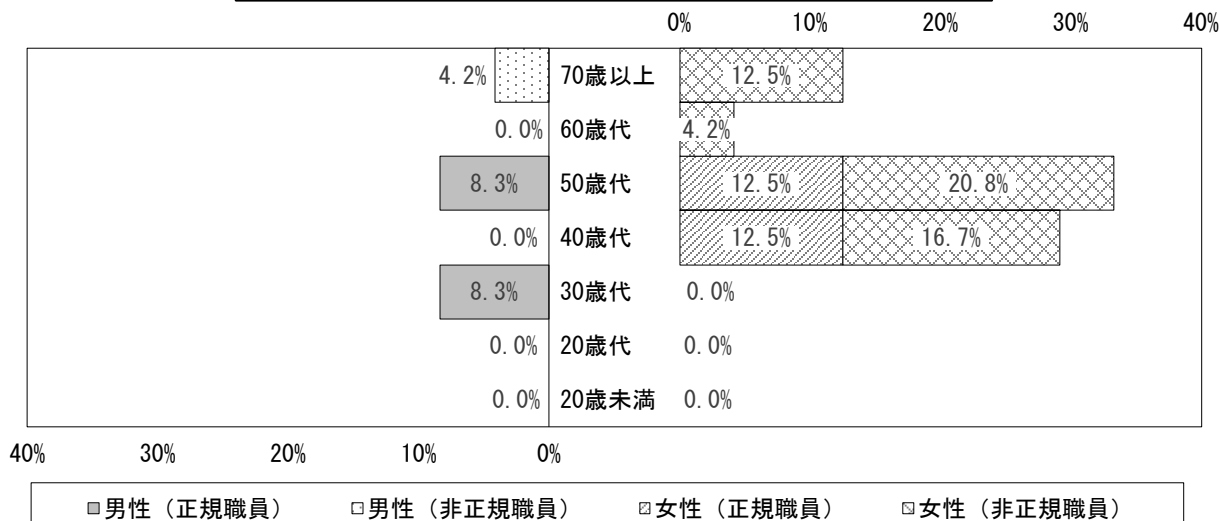
サービス系統別に年齢・性別をみると、訪問系では50歳代の女性で「非正規職員」が約2割(20.8%)と高くなっています。また、30歳代以下の職員は男女合わせて全体の1割以下となっています。通所系では、40歳代・女性の「正規職員」が15.5%と最も高くなっています。30歳代以下の職員は男女合わせて全体の約2割です。施設・居住系では、40歳代・女性の「正規職員」が12.5%と最も高くなっています。30歳代以下の職員は男女合わせて全体の3割以上です。



SA × SA

性別・年齢別の正規職員・非正規職員の構成比（訪問系）

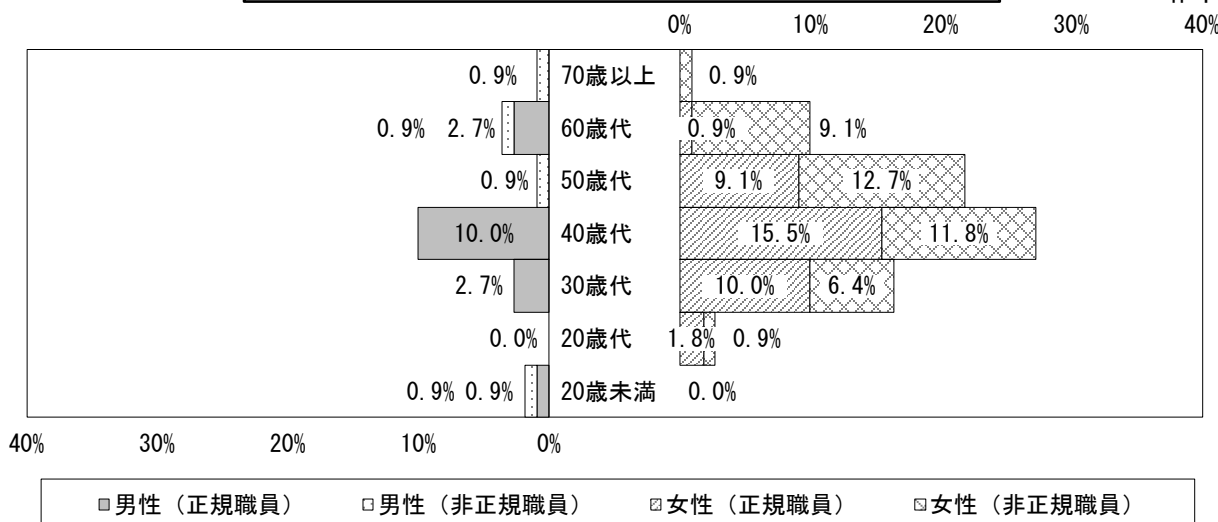
n=24



SA × SA

性別・年齢別の正規職員・非正規職員の構成比（通所系）

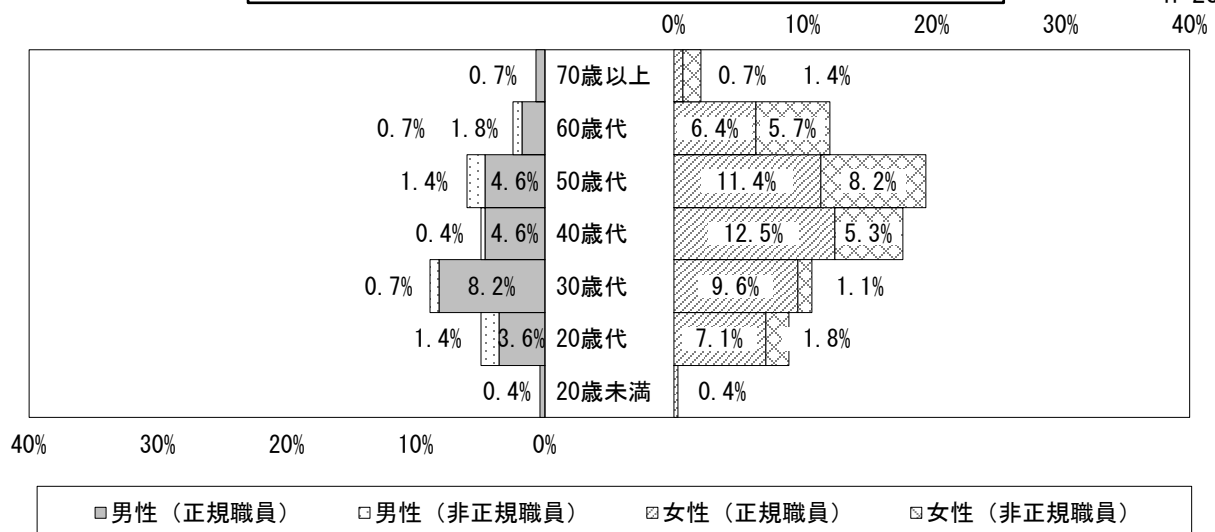
n=110



SA × SA

性別・年齢別の正規職員・非正規職員の構成比（施設・居住系）

n=281



結果の概要

(4) 過去1年間の介護職員の採用者数と離職者数

昨年比では、すべてのサービス系統で増加傾向にあり、訪問系で11.9%、通所系と施設・居住系で5.9%の増加となっています。その中で最も増加割合が高いのは、訪問系の「正規職員」(16.7%)となっています。

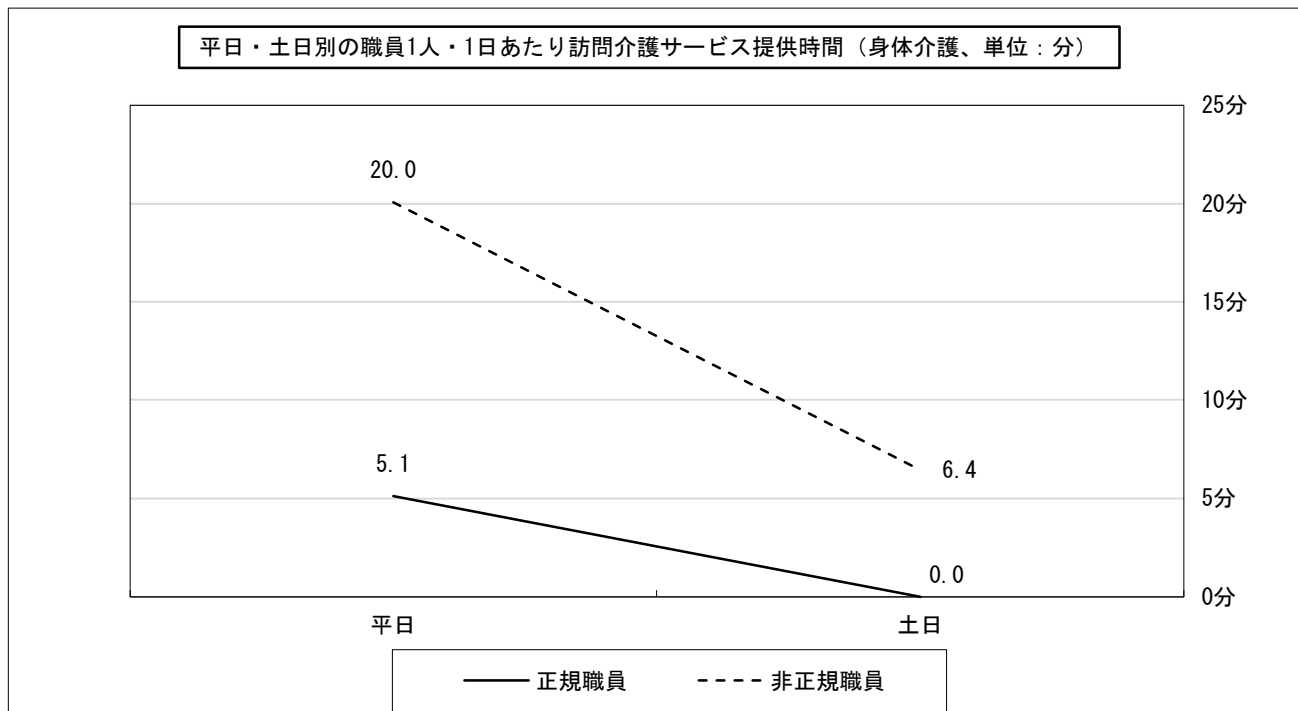
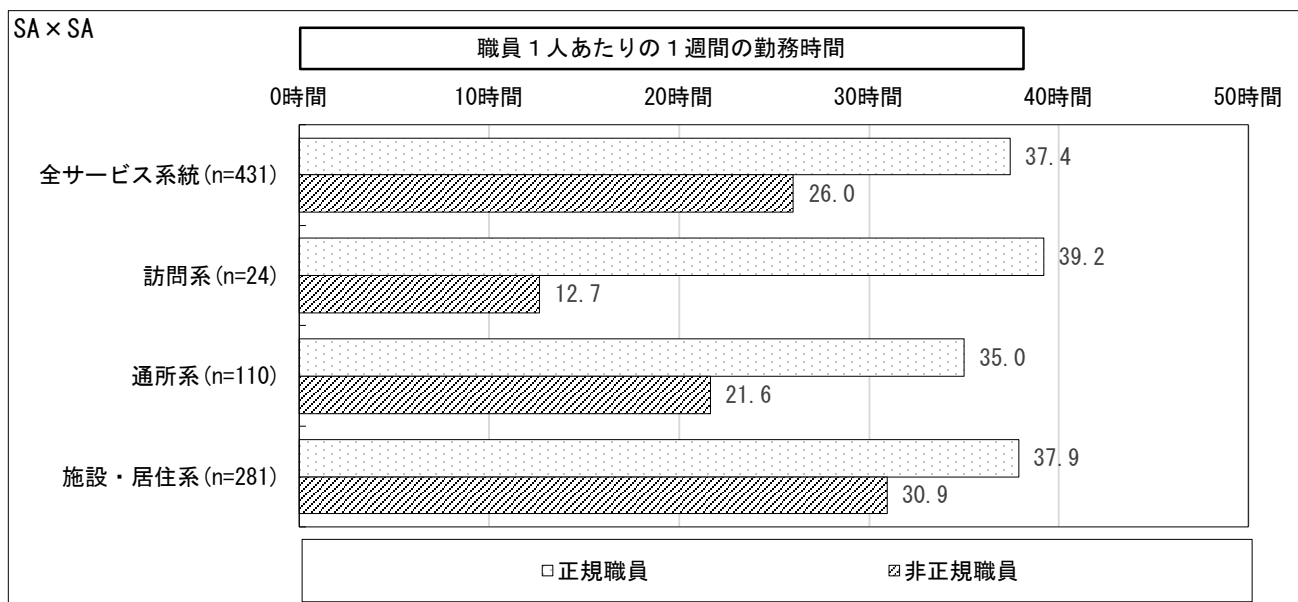
介護職員数の変化												
サービス系統 (該当事業所数)	職員総数			採用者数			離職者数			昨年比		
	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計
全サービス系統 (n=35)	305人	198人	503人	64人	53人	117人	40人	45人	85人	108.5%	104.2%	106.8%
訪問系 (n=8)	28人	66人	94人	7人	23人	30人	3人	17人	20人	116.7%	110.0%	111.9%
通所系 (n=12)	61人	46人	107人	10人	14人	24人	6人	12人	18人	107.0%	104.5%	105.9%
施設・居住系 (n=13)	202人	84人	286人	46人	16人	62人	30人	16人	46人	108.6%	100.0%	105.9%

(5) 過去1週間の平均勤務時間

全体では、「正規職員」が37.4時間、「非正規職員」が26.0時間となっています。

サービス系統別では「非正規職員」は、訪問系で12.7時間、通所系で21.6時間、施設・居住系で30.9時間と、大きく違いがみられます。

「訪問系」の訪問介護サービスの平日と土日の比較では、正規職員・非正規職員ともに土日でサービス提供時間が大きく低下しています。



結果の概要

(6) 現在の事業所に勤務する直前の職場について

勤務する直前の職場については、「以前は介護以外の職場で働いていた、または働いていなかった」が多くなっています。介護サービス関連の経験がない方の多くは、「施設・居住系」を最初の職場として選択する傾向がみられます。

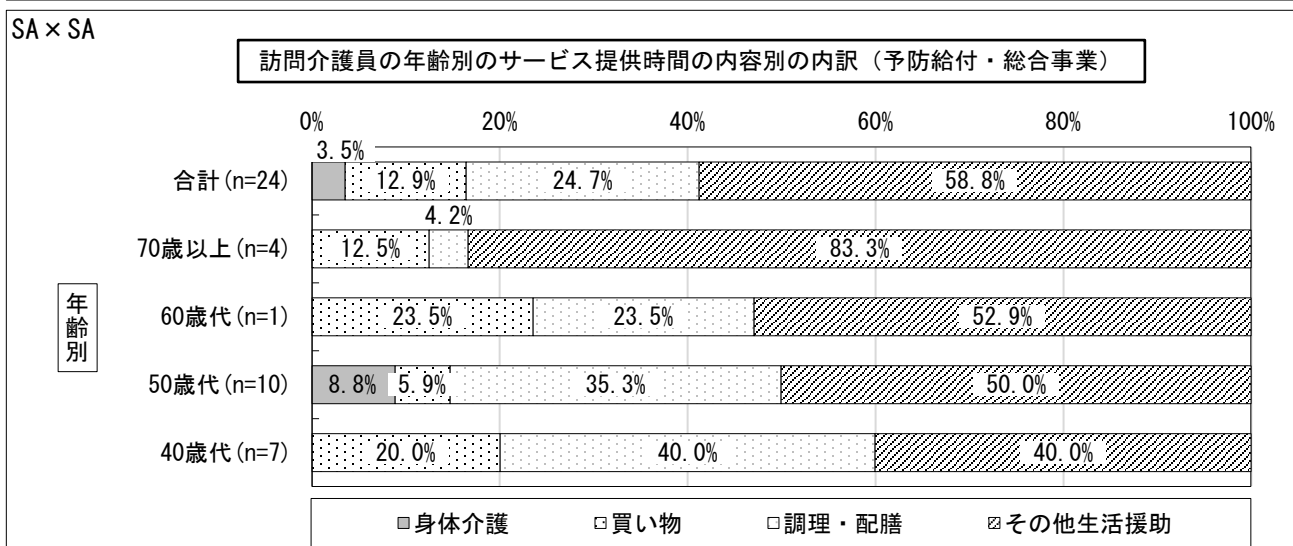
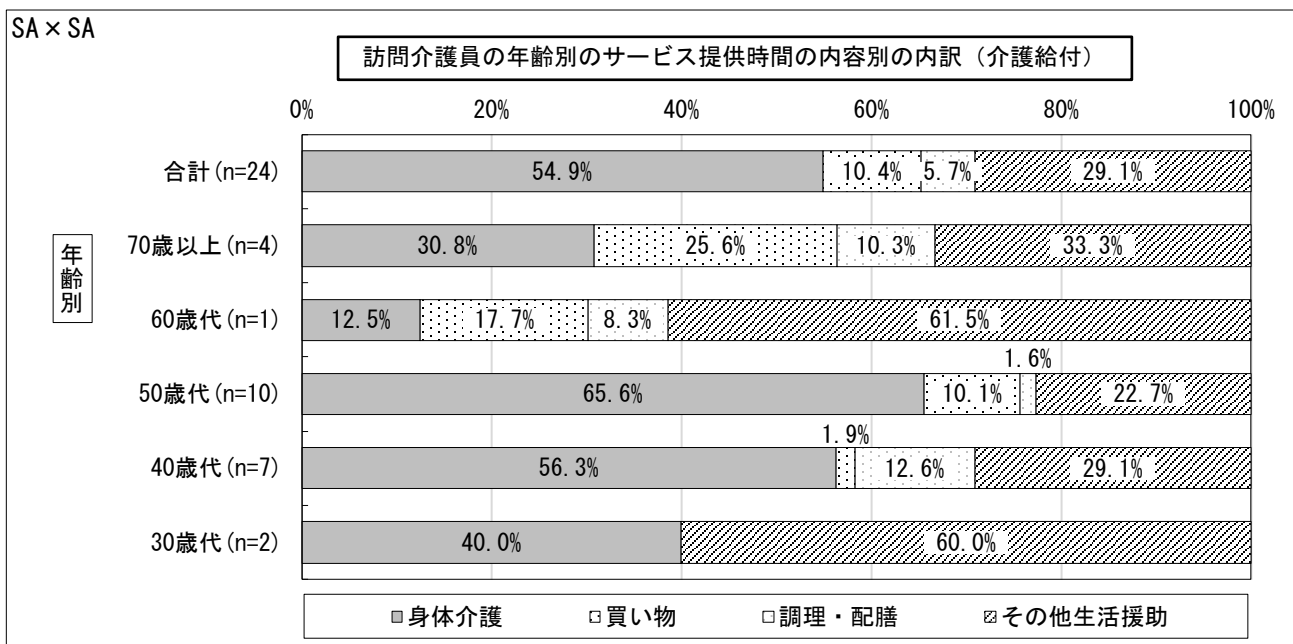
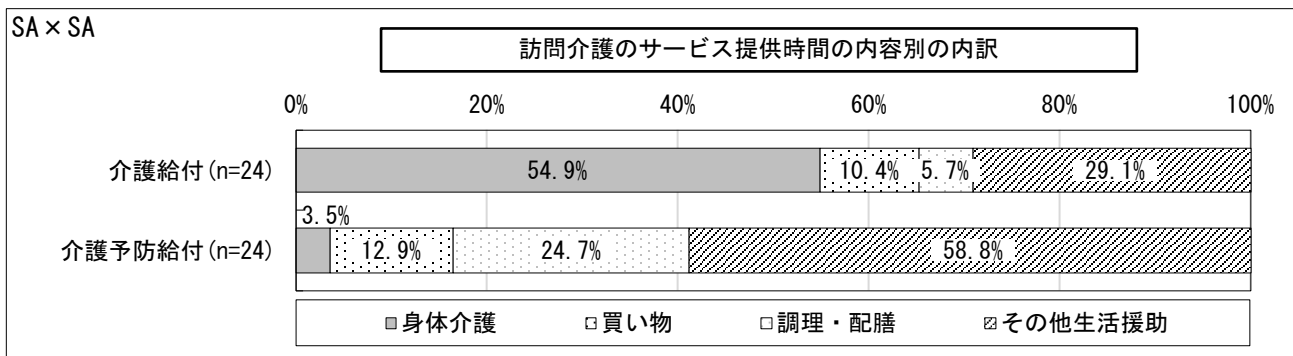
過去1年間の介護職員の職場の変化（同一法人・グループ内での異動は除く）			
前の職場	今の職場	人数	割合
施設・居住系	施設・居住系	17人	30.4%
	訪問系	0人	0.0%
	通所系	4人	7.1%
訪問系	施設・居住系	0人	0.0%
	訪問系	0人	0.0%
	通所系	1人	1.8%
通所系	施設・居住系	2人	3.6%
	訪問系	0人	0.0%
	通所系	4人	7.1%
その他	施設・居住系	4人	7.1%
	訪問系	0人	0.0%
	通所系	0人	0.0%
小計		32人	57.1%
介護以外または働いていない	施設・居住系	17人	30.4%
	訪問系	1人	1.8%
	通所系	6人	10.7%
小計		24人	42.9%
合計		56人	100.0%

※「介護以外または働いていない」は「以前は介護以外の職場で働いていた、または働いていなかった」の略

(7) 訪問介護のサービス提供時間の内容

保険給付別のサービス提供時間は、「身体介護」が介護給付（対象者：要介護1～要介護5）で54.9%、介護予防給付（対象者：要支援1・要支援2）で3.5%と50%以上の差となっています。要介護度が上がるほど「身体介護」の必要性が高まると考えられます。

年代別でみると、介護給付では年代が上がるほど、「買い物」「調理・配膳」の割合が高くなる傾向にあります。また、介護予防給付では年代が上がるほど、「調理・配膳」の割合が低くなる傾向にあります。



7 課題の整理

これまでの調査結果から、今後、高齢者福祉施策を推進していくうえで、課題として考えられる事項について、以下に整理します。

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果から得られた課題

(1) 高齢者のニーズについて

介護を要する状態となった場合どのような生活を希望するかの調査では、自宅で介護を受けたい方が5割超となっています。

また、人生の最期をどこで過ごしたいかでは、「自宅」が最も高くなっています。在宅介護支援の重要性が読みとれます。

日常の生活での高齢者のニーズをみると、日常生活で困っていることでは、約6割が「特に困っていることはない」としています。一方、将来の生活で心配や不安なことでは、「自分や家族の健康に関すること」が最も高くなっています。現在は元気で日常生活に関することは自身でできるが、将来は健康面で不安という高齢者が多いことがうかがえます。

高齢者にとって、住みやすい生活環境を整備するために必要な支援では、「緊急時の支援」、「介護や寝たきりの状態などになることの予防のための支援」、「健康づくりの支援」などのニーズが高くなっています。

介護の状態になることの予防の推進について、今後、最も必要と思われることでは、「フレイル（加齢により心身が衰えた状態）の予防」が最も高くなっています。

(2) 主観的幸福感について

高齢者の主観的幸福度を向上させるための要因を分析することが本調査の目的のひとつです。

主観的幸福度をみると、健康状態がよい人は幸福度も高いという相関がみられます。健康増進・維持のための取り組みを実施することで、幸福度を高めることが期待できます。

(3) 市の施策等について

認知症の相談窓口の認知度では5割、市の認知症に対する取組の認知度では約7割が「知らない」と回答しています。また、地域包括支援センターの認知度では約4割、生活支援コーディネーターの認知度では約6割、協議体の認知度では約7割が「知らない」と回答しています。

まずは、認知度向上が求められていると考えられます。

対認知症の取組として必要だと思うことでは、「相談機関の充実」、「認知症の予防方法の普及」、「認知症高齢者向けの介護等サービスの充実」がそれぞれ4割以上と高くなっています。

なお、市のイベントや取組（高齢者福祉、介護保険）などの情報の入手先では「市の広報紙」が半数超と高くなっています。前述した認知度を高めるために、各種施策を紹介するページの紙面の改善なども必要だと考えられます。

近年は、大規模災害などの頻度が高くなっており、高齢者の避難も社会問題の1つとなっています。避難準備情報などの防災情報の把握方法では、「テレビやラジオ」が最も高く、「市からの情報発信」が続いています。また、台風による水害などの避難時に必要な支援では「自分で避難ができる」が約7割と最も高くなっています。

2 在宅介護実態調査結果から得られた課題

(1) 在宅生活を継続するための支援・サービスの提供体制について

訪問系サービスを利用する方は、施設等への入居・入所を検討する割合が低い傾向がみられます。

今後、訪問系のサービス提供をさらに充実することが効果的であるといえます。

介護者不安の側面から見た場合の、在宅生活の継続に影響を与える要素として、「認知症状への対応」と「夜間の排泄」が重要なポイントとして考えられます。そのため、「認知症状への対応」と「夜間の排泄」に関わる介護者の不安を軽減する在宅支援サービスの拡充が課題といえます。

(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制について

介護者の就労継続の可否では、「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合わせた“続けていける”の割合が、前回調査から若干下がっています。この割合を高めることが課題であるといえます。

訪問系サービスを利用する方の介護者は、フルタイム勤務の割合が高い傾向がみられます。訪問系の在宅支援サービスの割合を増加させることで、介護者の仕事と介護の両立を実現できる可能性が高まると推測できます。

働き方についての調整をみると、「続けていくのは、かなり難しい」や「続けていくのは、やや難しい」と回答した方は、「特に行っていない」の割合が低く、何かしらの調整を行っていることが読み取れます。

就労の継続について困難と感じる方は、「夜間の排泄」と「屋内の移乗・移動」、「認知症状への対応」等について、不安を感じる割合が高くなる傾向がみられます。(1)と同様に、これらの介護に関わる介護者の不安を軽減する在宅支援サービスの拡充が課題といえます。

(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備について

〈現在利用している支援・サービス〉と〈今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス〉の関係を見ると、特に単身世帯では、「外出同行（通院、買い物など）」、「掃除・洗濯」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」のニーズが高くなっています。また、要介護度が上がるほど「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」のニーズが高まる傾向がみられます。このことから、外出同行や移送サービスなど、高齢者の外出に係る支援の充実は非常に大きな課題であると考えられます。

(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制について

「単身世帯」では、訪問系サービスの利用割合が他の世帯類型と比べて高くなっています。「単身世帯」では訪問系サービスのニーズが高い傾向にあると考えられます。将来的に「夫婦のみ世帯」が「単身世帯」となると仮定した場合、現状よりもさらに訪問系サービスのニーズが高まることが予想されます。

そのため、訪問系の在宅支援サービスの整備を進めることが課題であるといえます。

また、「夫婦のみ世帯」と「その他の世帯」では、「単身世帯」と比べて、通所系や短期系のみの割合が高くなっています。

「単身世帯」のニーズに対して訪問系の在宅支援サービスを強化する一方で、「夫婦のみ世帯」と「その他の世帯」の在宅介護生活を支える、通所系サービスの利用も推進していくことが課題であるといえます。

結果の概要

(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制

＜訪問診療の利用＞と＜要介護度＞の関係をみると、要介護度が上がるほど、訪問診療の利用割合が増加する傾向にあります。今後は、在宅医療サービスの提供体制を確保し、介護と医療の両方のサービスの連携を図ることが課題といえます。また、高齢者の健康寿命の継続を推進し、要介護予備軍を減少させるなどの介護予防対策の推進も必要と考えられます。

3 第2号被保険者に関するアンケート調査結果から得られた課題

(1) 在宅介護の実態・ニーズについて

介護や介助におけるニーズは、介護・介助相手と同居している方で「生活援助」、別居している方で「認知症状への対応」の割合が最も高くなっています。

また、介護や介助をするにあたっての働き方の調整では、非正規社員で何らかの調整をしながら働く割合が高くなっています。

世帯類型ごとに、必要とされる支援・サービスは異なりますが、在宅支援サービスの拡大及び周知により、介護者の仕事と介護の両立支援を推進していくことが必要であると考えられます。

(2) 将来の介護に対する考え方について

将来の介護についての不安では、「経済的なこと」が最も高くなっています。また、正社員と非正規社員を比較すると、正社員で「制度を利用しやすい職場づくり」の回答割合が相対的に高く、非正規社員で「介護に関する相談窓口・相談担当者の設置」の割合が高くなっています。介護保険制度での質の高いサービス提供を推進していくとともに、気軽な相談先の拡充及び相談窓口の更なる周知を図っていくことが課題といえます。

将来の介護の希望では「介護サービスを利用し、自宅で暮らしたい」が、自宅で介護を受けたい理由では「住み慣れた自宅で生活を続けたい」が、最も高くなっています。在宅支援サービスの提供を強化することで、これらのニーズに応えることが求められています。

(3) 市の施策等について

認知症の方と接点がある人が多数を占めている一方で、認知症の相談窓口を知らない人も多くなっています。また、認知症の取組としてのニーズは、「認知症高齢者向けの介護などのサービスの充実」が最も高くなっています。なお、認知症の方との接点がない方では「相談機関の充実」の要望が高くなっています。認知症対策における普及・推進を強化し、市の認知症対策及び地域包括支援センターの認知度を高めることで、介護者、高齢者等の孤立を防止していくことが重要と考えられます。

4 在宅生活改善調査結果から得られた課題

(1) 過去1年の間に自宅を離れた利用者について

過去1年の間に自宅を離れた利用者を行先別にみると、「介護老人保健施設」が最も高くなっています。居所変更の目的として、介護サービスや医療ケアが大きな要因となっていることが考えられます。

要介護度別では、「要介護1」が最も高く、要介護1～5までで9割を占めています。このことから、要介護度からみた自宅での居住限界が、「要介護1」以降であると考えられます。

住み慣れた住まいで暮らすことができなくなった人に対して、支援・サービスの在り方を検討することが課題といえます。

(2) 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者について

在宅での生活の維持が難しい利用者の割合は、全体の約1割となっています。また、在宅での生活の維持が難しい利用者の属性別では、「独居」が約3割となっています。

在宅生活の維持が難しくなっている理由は、要介護3以上で「必要な身体介護の増大」、「認知症の症状の悪化」、「生活の不安が大きいため」、「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」の割合が高くなっています。

在宅生活維持に対する困難を軽減できる在宅支援サービスの提供体制を検討することが課題であるといえます。

(3) 生活改善に必要と考えられるサービスの種類について

在宅生活の維持が難しくなっている方のうち、約3割は“在宅サービス待機者”となっており、在宅サービスの改善によって生活の維持が可能と考えられます。(2)の在宅生活の維持が難しくなっている理由と合わせて、現在の住宅サービスに不足している機能や求められる機能に関して検討を行う必要があると考えられます。

特別養護老人ホーム以外のその他施設等の待機者は約4割となっています。自宅での生活が難しくなっている利用者において、次の選択肢となる生活の場は、特別養護老人ホーム以外にも多数あるといえます。

また、在宅生活の維持に資するサービスの整備も視野に、年代・世帯類型・要介護度別の特性等を踏まえた、多様な供給体制を検討する必要があると考えられます。

5 居所変更実態調査結果から得られた課題

(1) 過去1年間の退居者について

過去1年間の退居者のうち、死亡割合は約1割で、死亡割合が2割を超える施設は、「特定施設」、「地域密着型特別養護老人ホーム」となっています。これらの施設では、2割以上の方が最期までその施設で暮らし続けたことがわかります。居住系のサービスにおいて、看取りに対応することは困難という実態がある一方で、高齢者の増加に伴い、今後はより多くの看取りを担う役割が求められると考えられます。

(2) 退去した理由について

退去した理由では、「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」が最も高く、必要な医療環境の有無が判断の基準になっていることがわかります。

(3) 受けている医療処置別の入所・入居者数について

受けている医療処置は、「経管栄養」と「喀痰吸引」が最も高くなっています。最も医療処置の数が多い施設は「特定施設」で、「介護老人保健施設」が続いています。地域の施設・居住系サービスで最期まで暮らし続けるためには、医療ケアや介護サービスといった医療環境の整備（医療機関との連携等）や、人材の確保が課題といえます。

6 介護人材実態調査結果から得られた課題

(1) 資格の取得、研修の修了の状況について

サービス系統別では「介護福祉士」の割合に大きな違いはみられません。

年齢別では「介護福祉士」は、20歳代以下で低くなっており、若年層において介護福祉士等の有資格者を増やしていくことが、各施設の機能を強化する上で重要であると考えられます。

(2) 介護職員の雇用契約

サービス系統別では、「正規職員」は施設・居住系で約7割となっている一方、訪問系では約4割と「非正規職員」の割合の方が高くなっています。

性別・年齢別をサービス系統別にみると、施設・居住系では、40歳以下の「正規職員」の割合が高くなっています。一方、訪問系では40歳以上の「非正規職員」の女性が半数以上を占めており、サービス系統によって、大きな偏りがみられます。在宅における支援・サービス提供の機能強化を図るためには、訪問系で若年層の「正規職員」を確保することが重要な課題であるといえます。

(3) 過去1年間の介護職員の採用者数と離職者数

介護職員数は、昨年と比べるとすべてのサービス系統で増加傾向にあり、その中で最も増加割合が高いのは、訪問系となっています。一方、(2)で述べたように現状の訪問系の「正規職員」割合は相対的に低くなっています。要介護認定者数の伸び以上に、正規職員数の増加を継続することが、介護人材確保においては特に重要であるといえます。

7 高齢者実態調査結果から得られた課題（平成30年度冬期及び令和元年度冬期に実施）

（1）健康について

生活機能全般の傾向では、生活機能の低下がみられる人の割合は3.5%となっています。また、この割合は年齢が上がるほど高くなる傾向がみられます。

一般高齢者については、現在の健康状態を可能な限り維持することが重要であり、高齢者自身の健康づくりに対する意識醸成が重要といえます。

（2）一人暮らしの高齢者について

家族構成をみると、一人暮らしが約3割みられます。なお、女性の方が平均的に長寿であるため、年齢が高くなるほど女性の一人暮らしの割合が高まっています。

一人暮らしの人は、同居家族がいないために、友人や地域の人との付き合いがなければ孤立してしまいます。現在、一人暮らしの男性において、「週に1回以上気にかけてくれる方が特にいない」の割合が高く、社会的孤立のリスクが高まっています。

今後、一人暮らしの高齢者の心身の状態が悪化することも十分想定されるため、地域で高齢者を見守る体制を充実していくことが必要となっています。これらの高齢者に対し、クラブ・集いの場等の地域活動への参加を呼びかける、また、新たな仲間づくりの拠点として「通いの場」を有効活用する仕組みづくりが重要といえます。

（3）閉じこもり予防について

生活機能判定の中で、「物忘れ」や「うつ傾向」に加え「閉じこもり」の割合が全年齢で高くなっています。また、運動器の機能低下者の「閉じこもりリスク」が高くなっています。

一般高齢者も含め、地域活動等への参加を促し、閉じこもりの予防などを実施することが重要です。閉じこもり予防は、外出頻度を増やし、生活全般を活性化させることにつながります。

（4）毎日の生活の充実感について

毎日の生活の充実感をみると、充実感がある方が約9割、ない方が約1割となっています。

また、趣味・楽しみ・好きでやっていることがある人や、スマートフォンやパソコンを日常的に使う人の方が、充実感を得られる傾向にあります。

一般的に毎日の生活の充実感を向上させるための施策では、他者との関わりの創出があげられます。具体的な取り組みでは、グループ活動の活性化が考えられます。

地域における各種活動（サロン、健康づくり、介護予防教室等）のPRを重点的に行うことで、より多くの参加を促し、高齢者の趣味づくり、生きがいに繋げることが可能です。

また、地域における高齢者間の交流や、世代間の交流の促進を図ることも重要です。

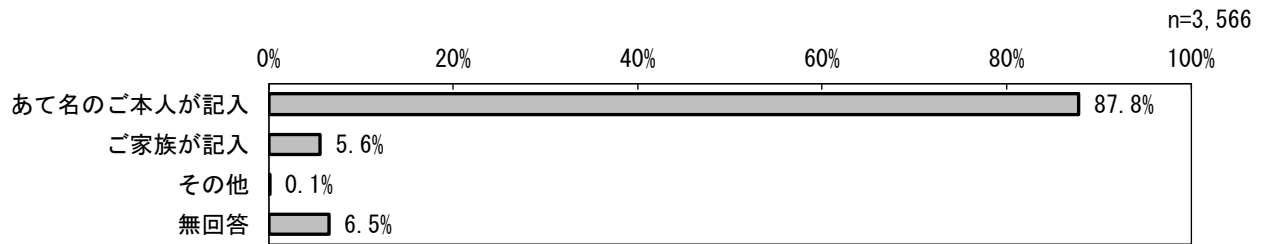
加えて、今回の調査では、スマートフォンやパソコンの利用促進も、生活を充実させるための、効果的な一案となることがわかりました。

調查結果一覽

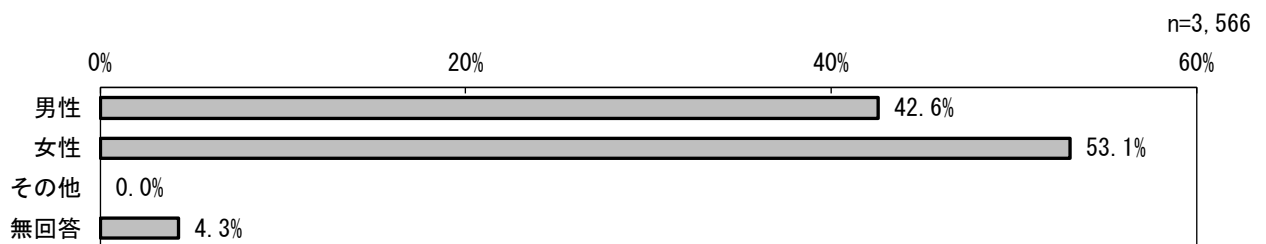
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【問1 あなたのご家族や生活状況について】

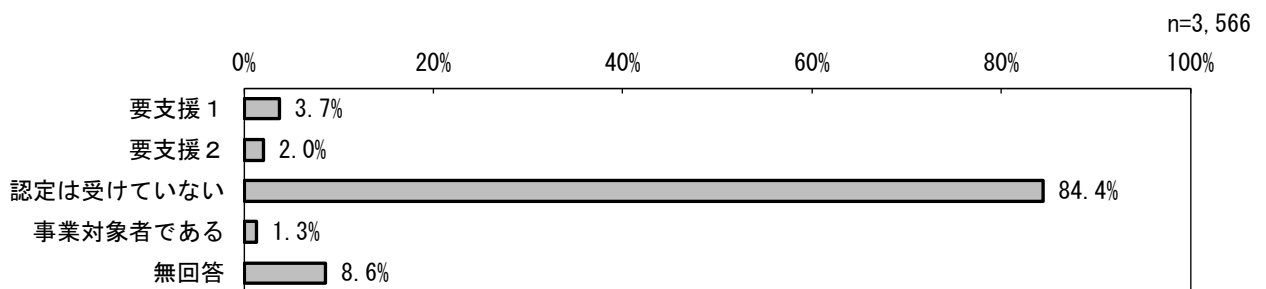
(1) 調査票を記入される方はどなたですか。(〇は1つ)



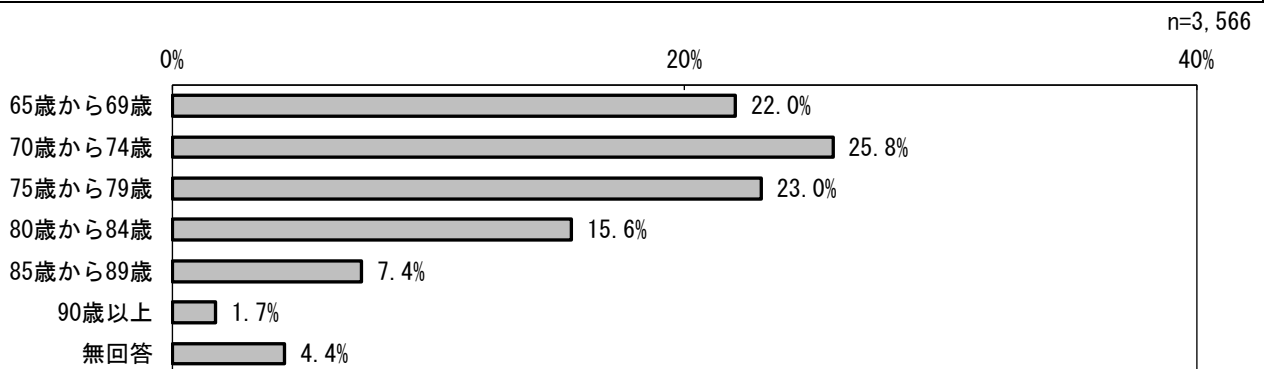
(2) あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)



(3) あなたは、要支援認定を受けていますか。(〇は1つ)

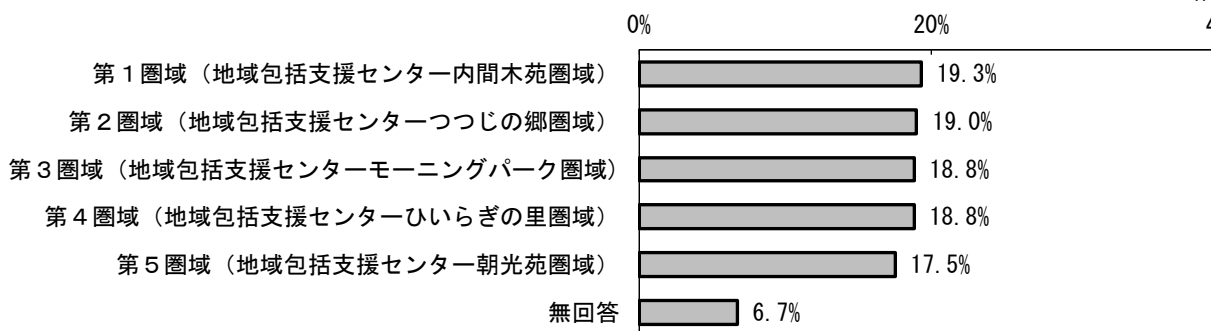


(4) 令和2年1月1日現在のあなたの年齢をお答えください。(〇は1つ)



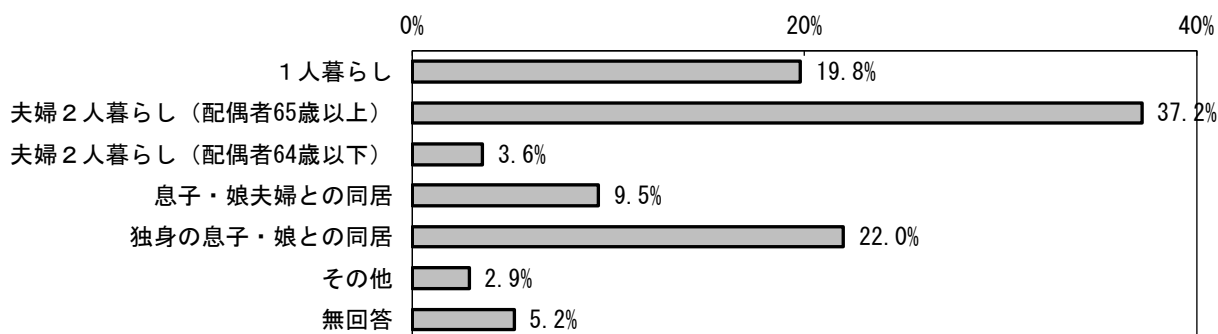
(5) あなたのお住まいはどの圏域ですか。(〇は1つ)

n=3,566

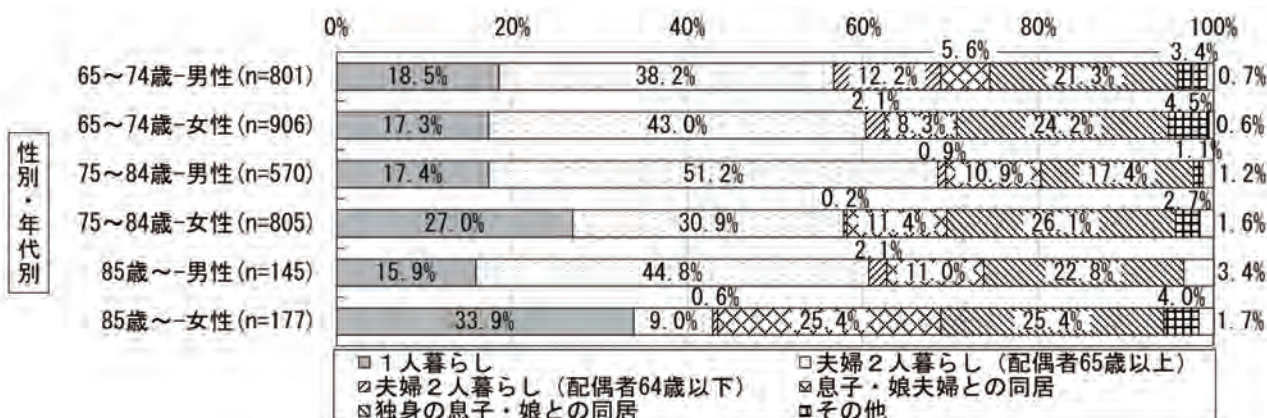


(6) 家族構成を教えてください。(〇は1つ)

n=3,566



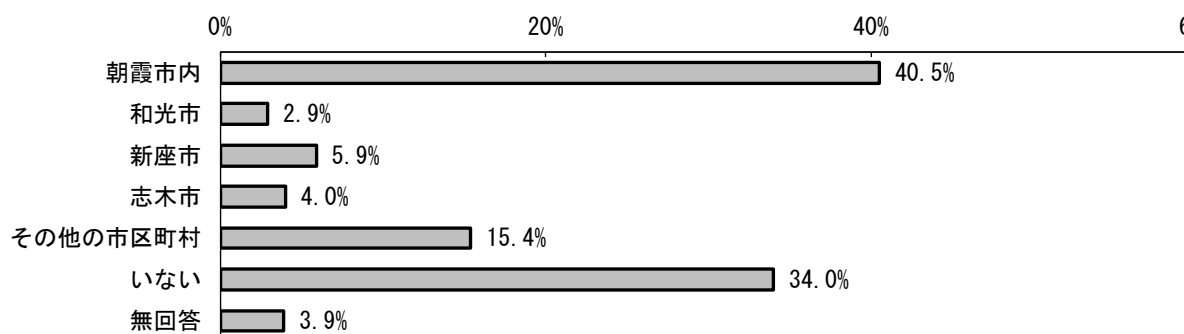
■性別・年代別



《(6) において「1人暮らし」、「夫婦2人暮らし (配偶者 65 歳以上)」と回答した方のみ》

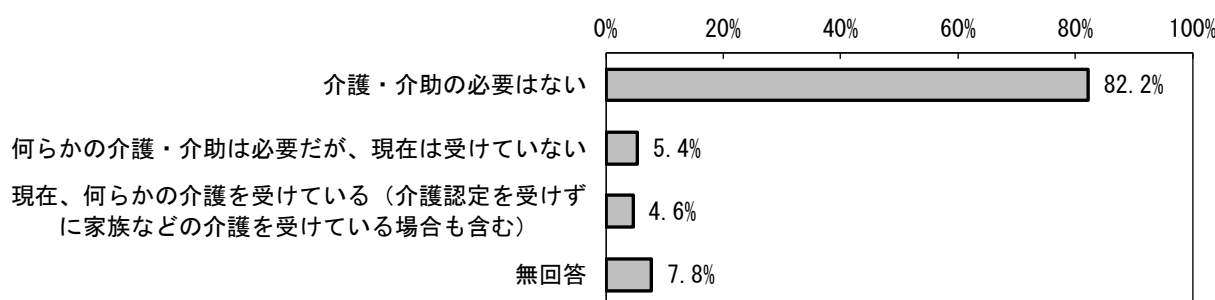
(6) ①市内またはお住いの近く (公共交通機関で 30 分以内程度) に、ご家族はいますか、いる場合家族はどちらにお住まいですか。(いくつでも)

n=2,031

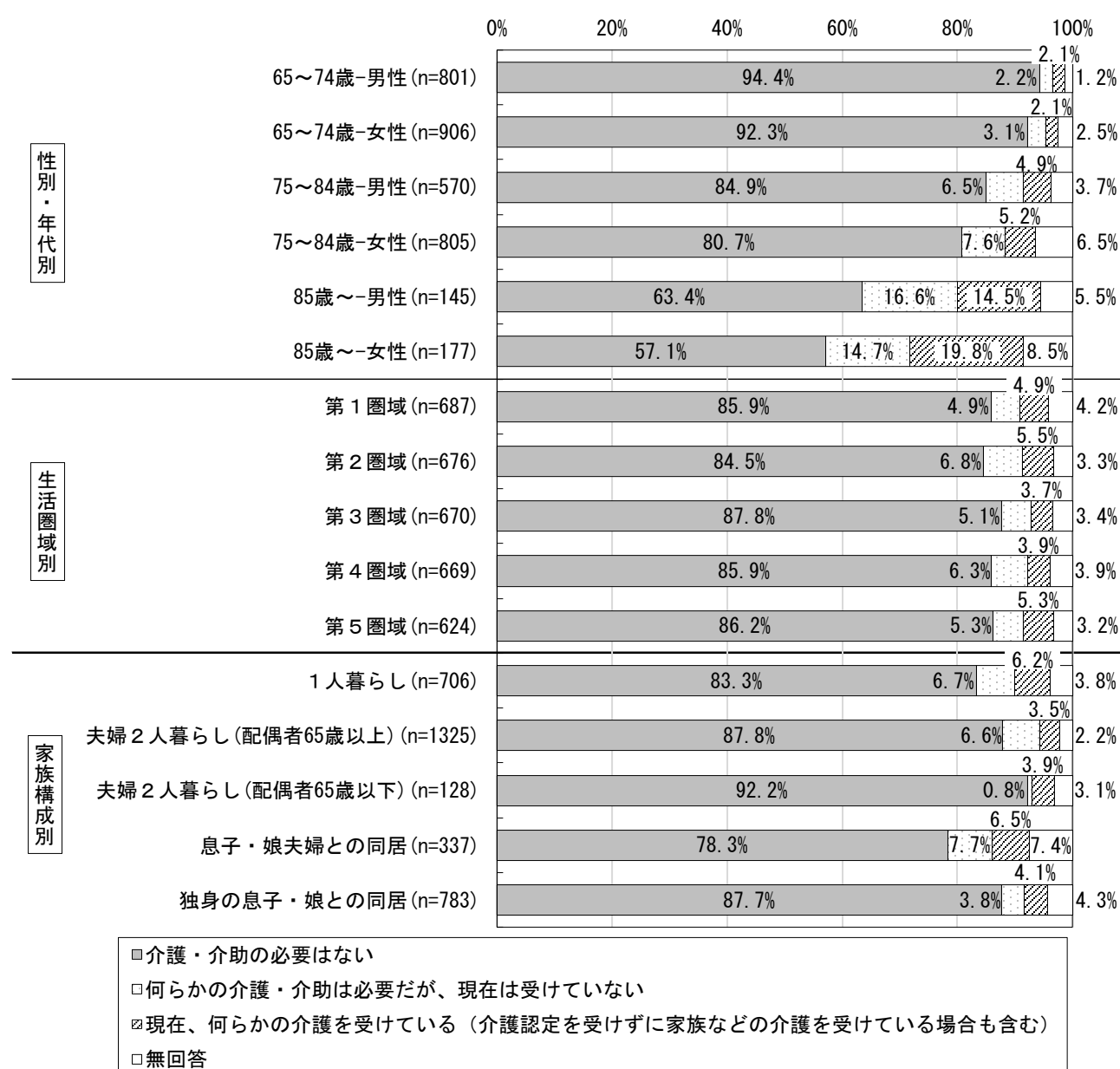


(7) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(〇は1つ)

n=3,566



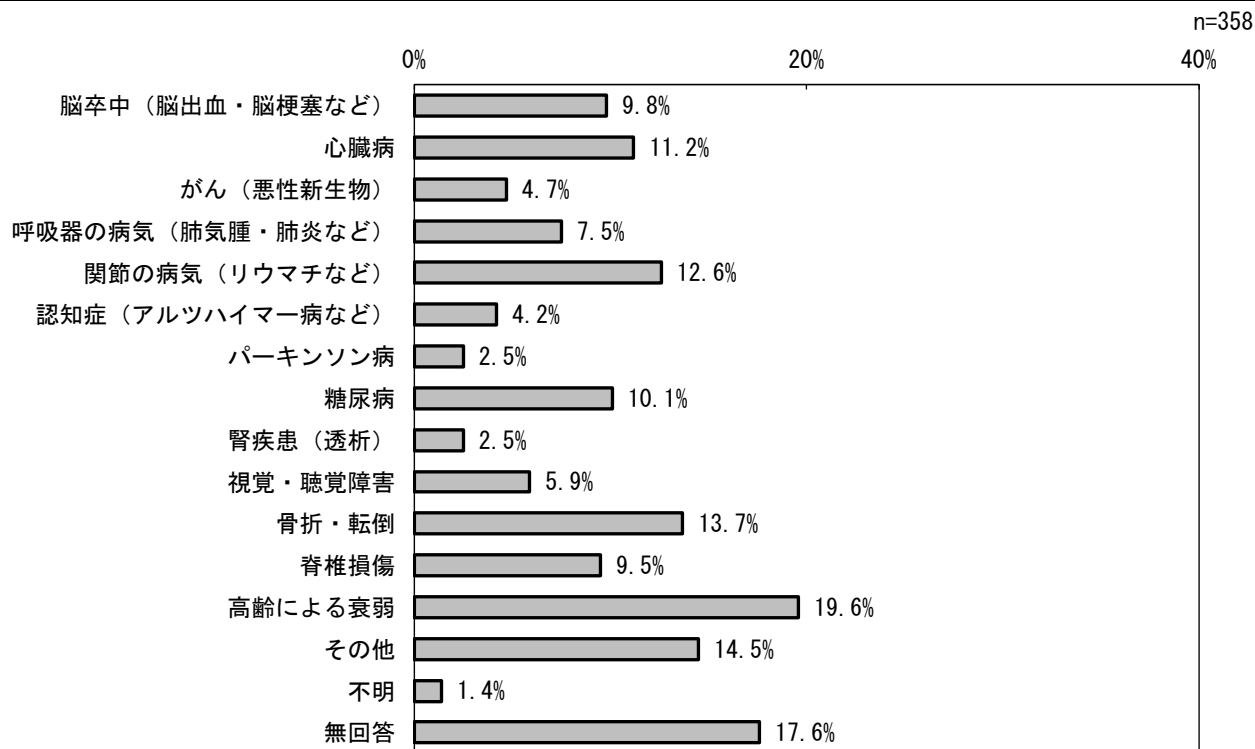
■性別・年代別、生活圏域別、家族構成別



介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

《(7) において「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方のみ》

(7) ①介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(いくつでも)

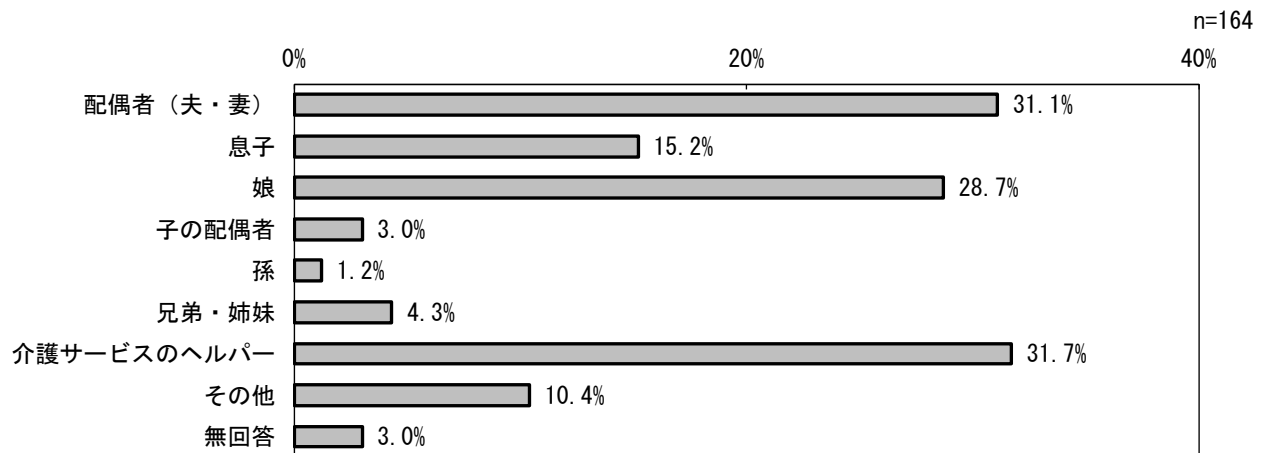


■性別・年代別 上位3位

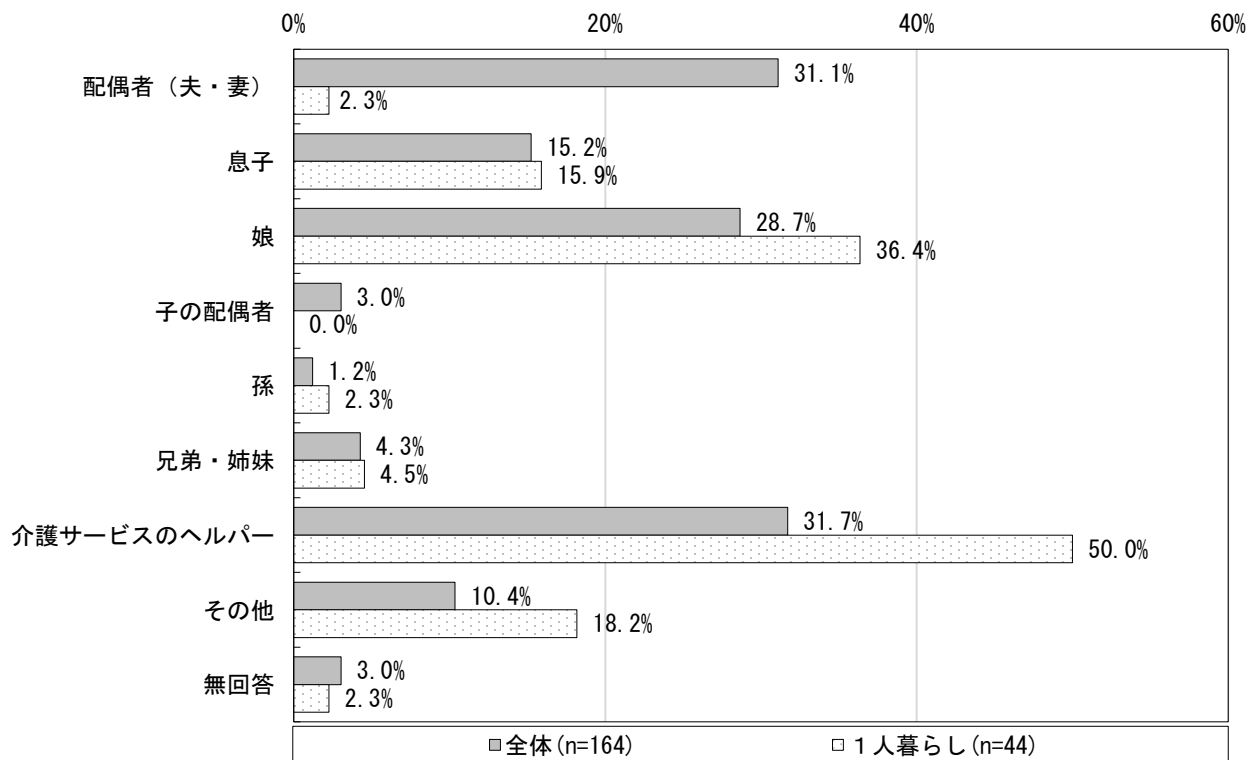
順位	65～74歳 -男性(35人)	65～74歳 -女性(47人)	75～84歳 -男性(65人)	75～84歳 -女性(103人)	85歳～ -男性(45人)	85歳～ -女性(61人)
第1位	脳卒中（脳出血・脳梗塞など）(25.7%)	関節の病気（リウマチなど）(19.1%)	呼吸器の病気（肺気腫・肺炎など）(21.5%)	高齢による衰弱(21.4%)		高齢による衰弱(37.7%)
第2位	糖尿病/ 高齢による衰弱(14.3%)	脳卒中（脳出血・脳梗塞など）(14.9%)	高齢による衰弱(15.4%)	関節の病気（リウマチなど）(20.4%)	心臓病/ 骨折・転倒/ 高齢による衰弱(15.6%)	骨折・転倒(16.4%)
第3位		心臓病(10.6%)	心臓病/ 糖尿病(13.8%)	骨折・転倒(18.4%)		脊椎損傷(13.1%)

《(7) において「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方のみ》

(7) ②主にどなたの介護、介助を受けていますか。(いくつでも)

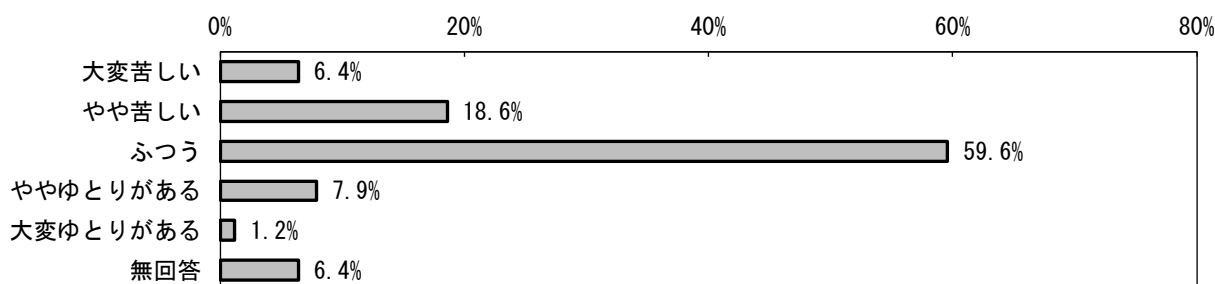


■家族構成別 (全体と一人暮らしの比較)

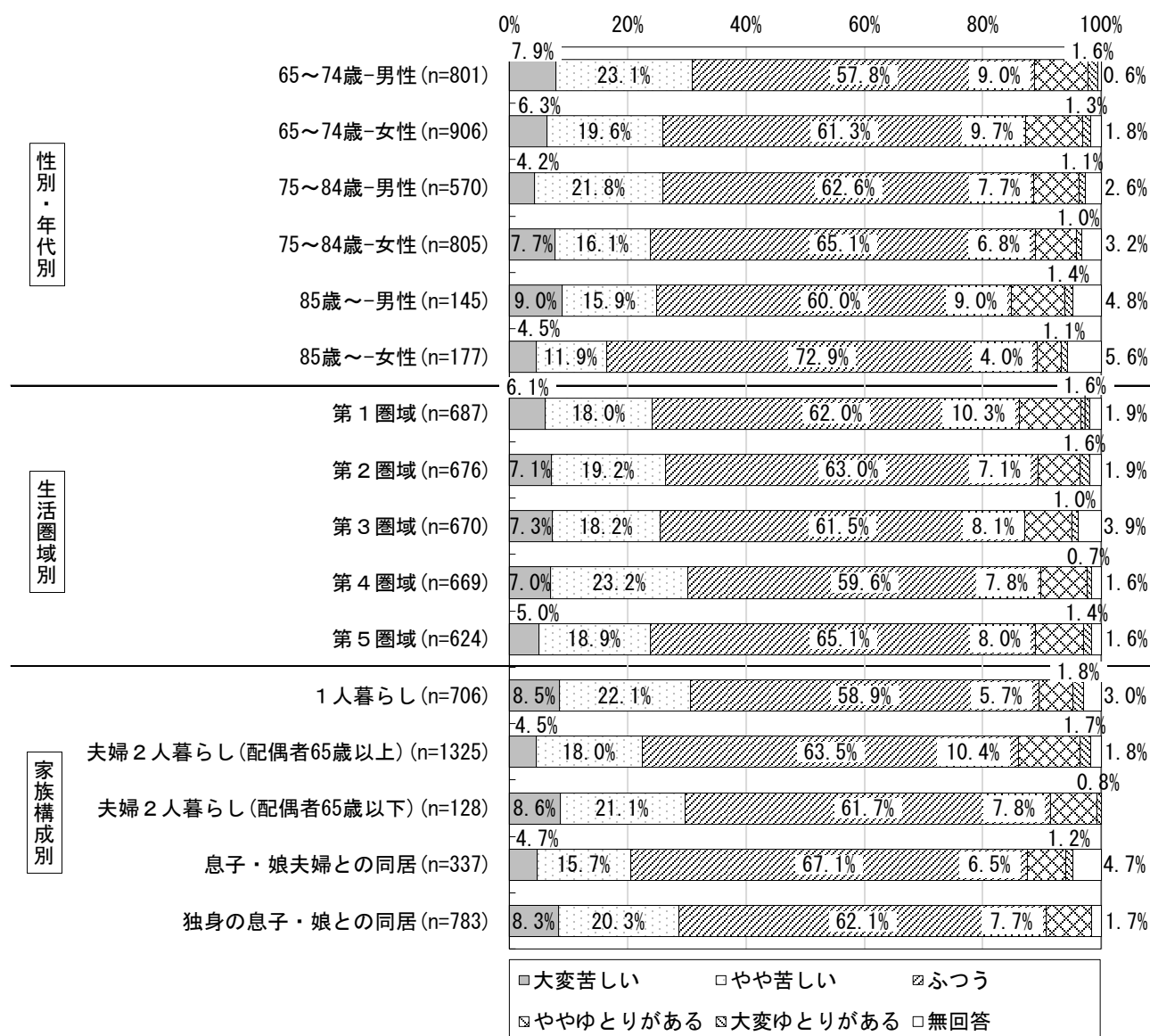


(8) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

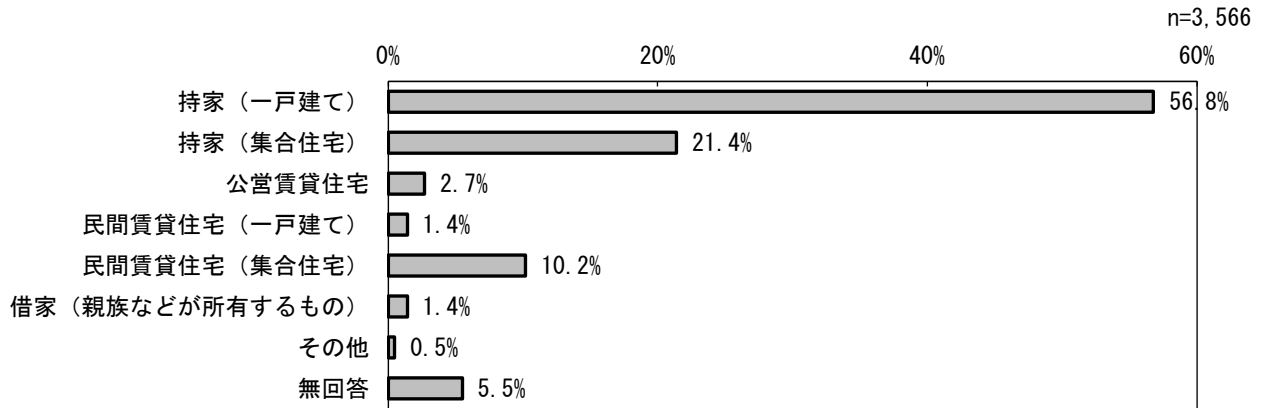
n=3,566



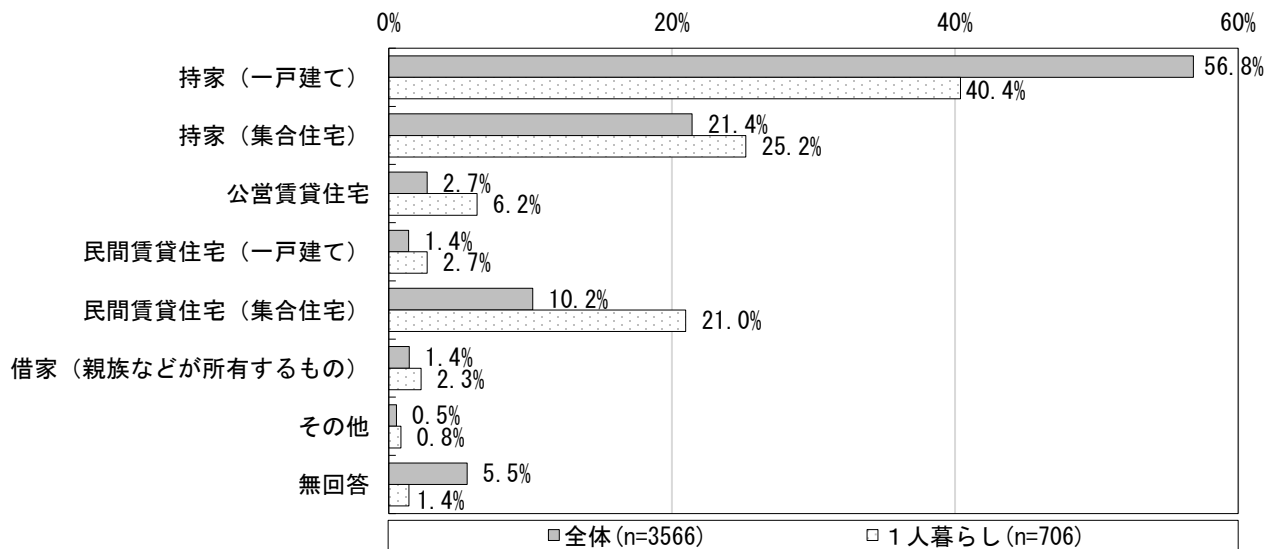
■性別・年代別、生活圏域別、家族構成別



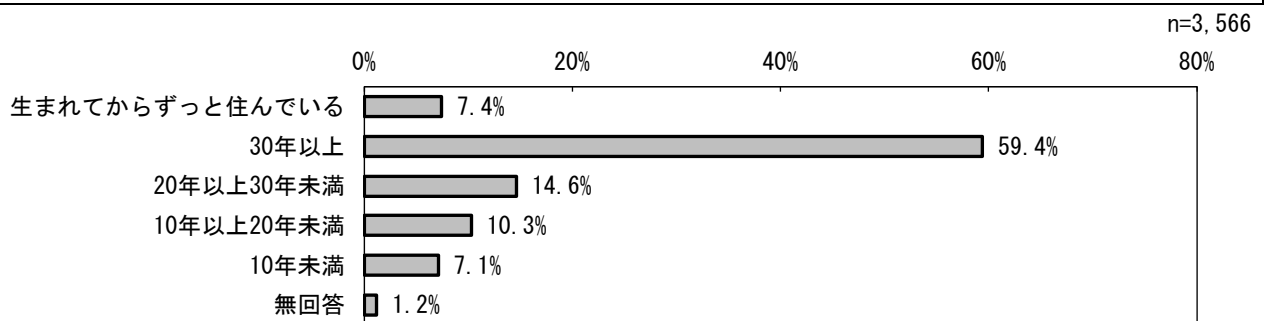
(9) あなたのお住まいは、次のうちどれですか。(〇は1つ)



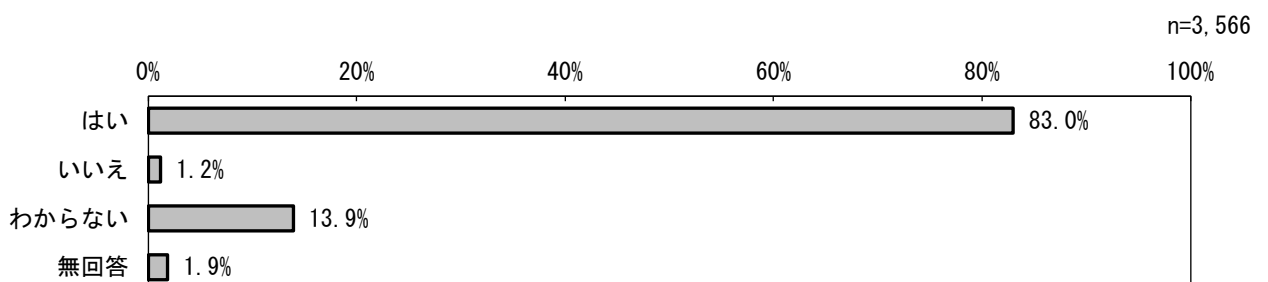
■家族構成別（全体と一人暮らしの比較）



(10) あなたは朝霞市に住んで何年になりますか。(〇は1つ)

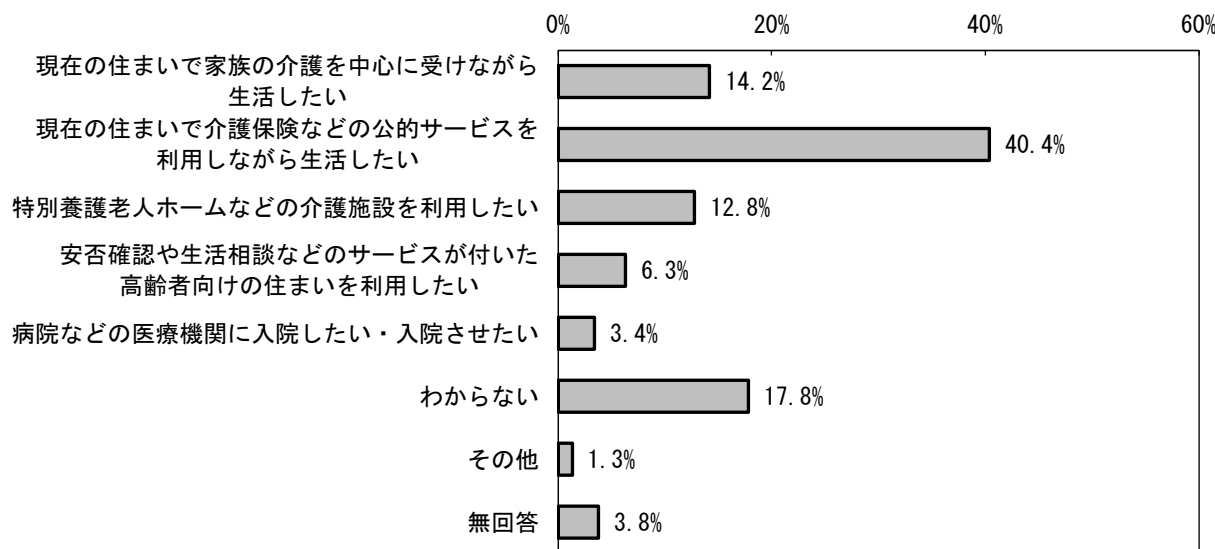


(11) この先も朝霞市に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

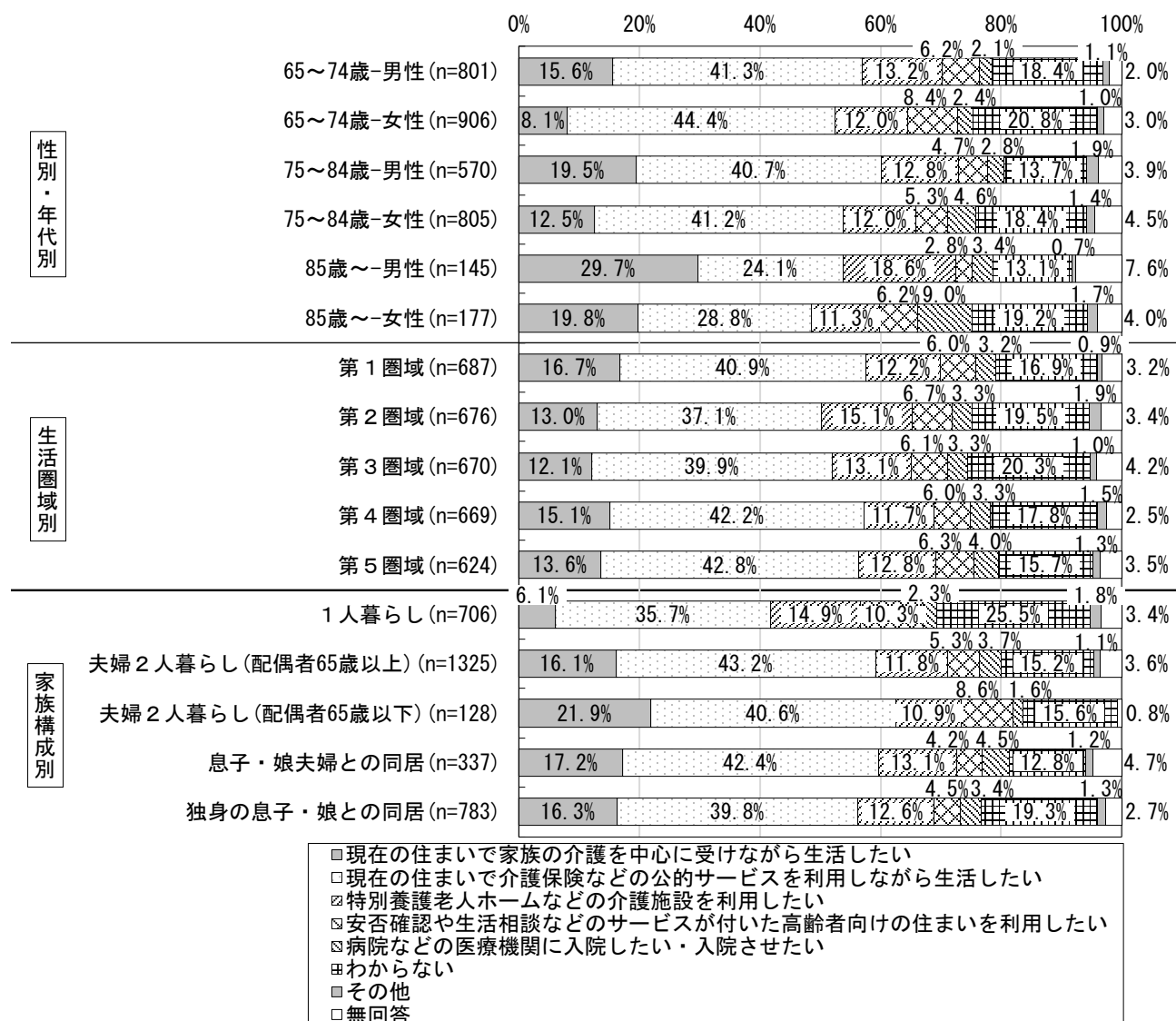


(12) あなたや家族が介護を必要とする状態となった場合に、どのような生活を希望しますか。(〇は1つ)

n=3,566

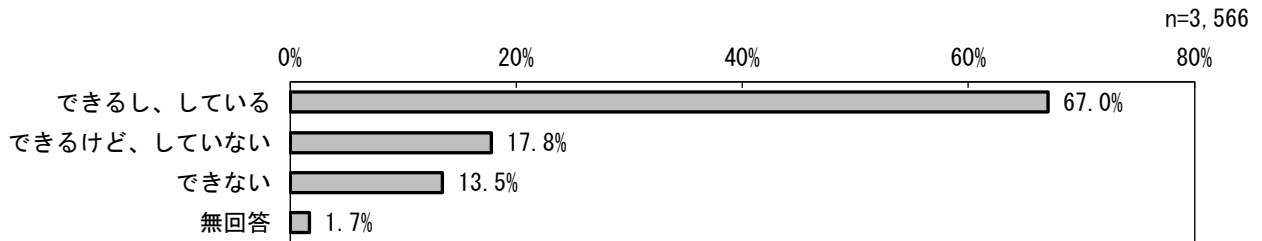


■性別・年代別、生活圏域別、家族構成別

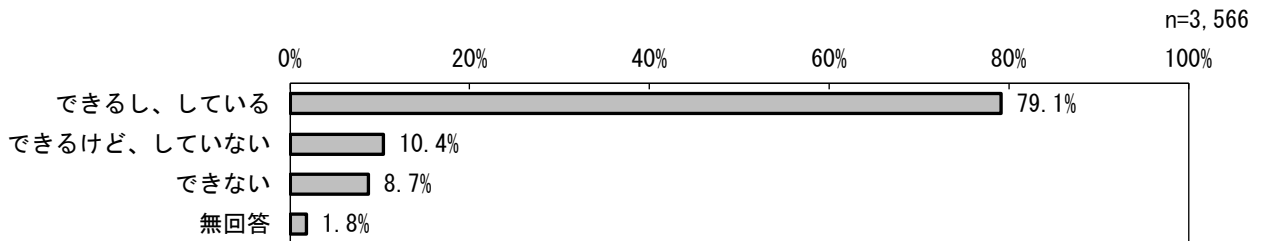


【問2 からだを動かすことについて】

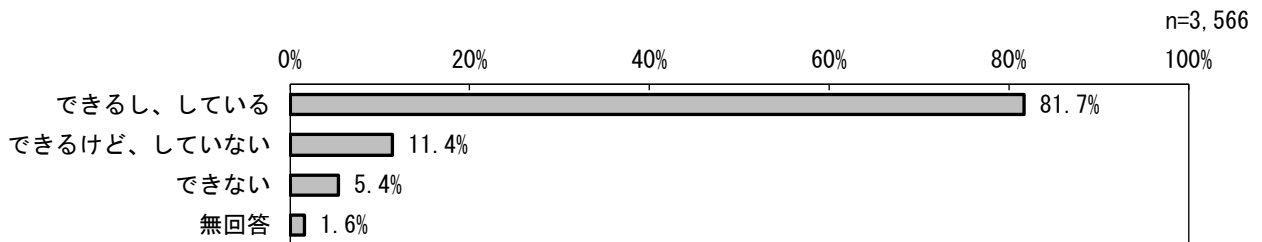
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)



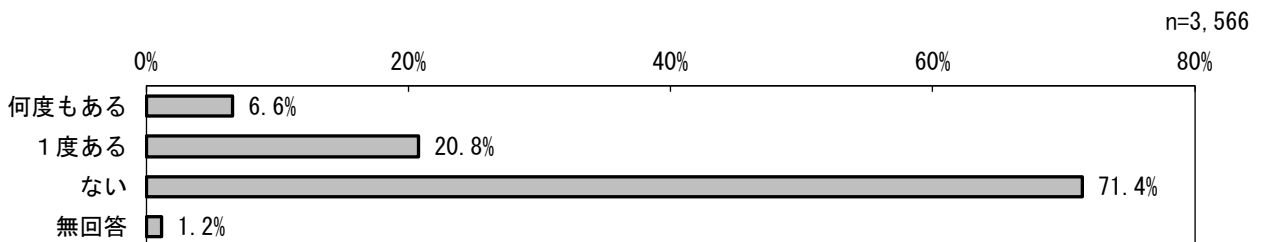
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)



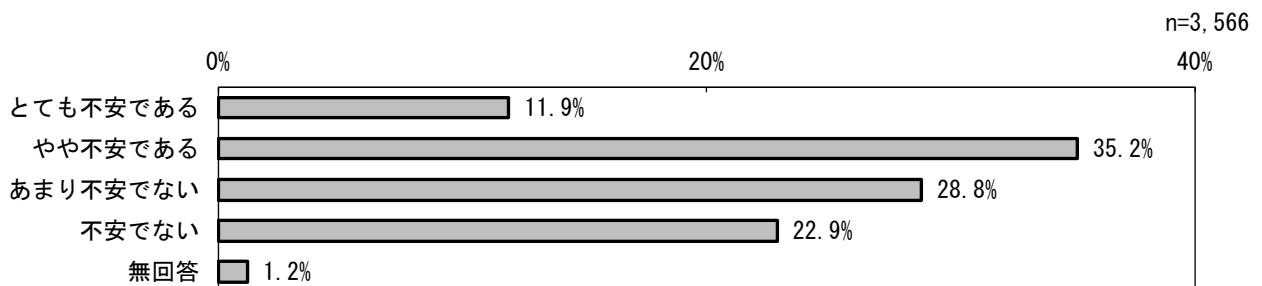
(3) 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)



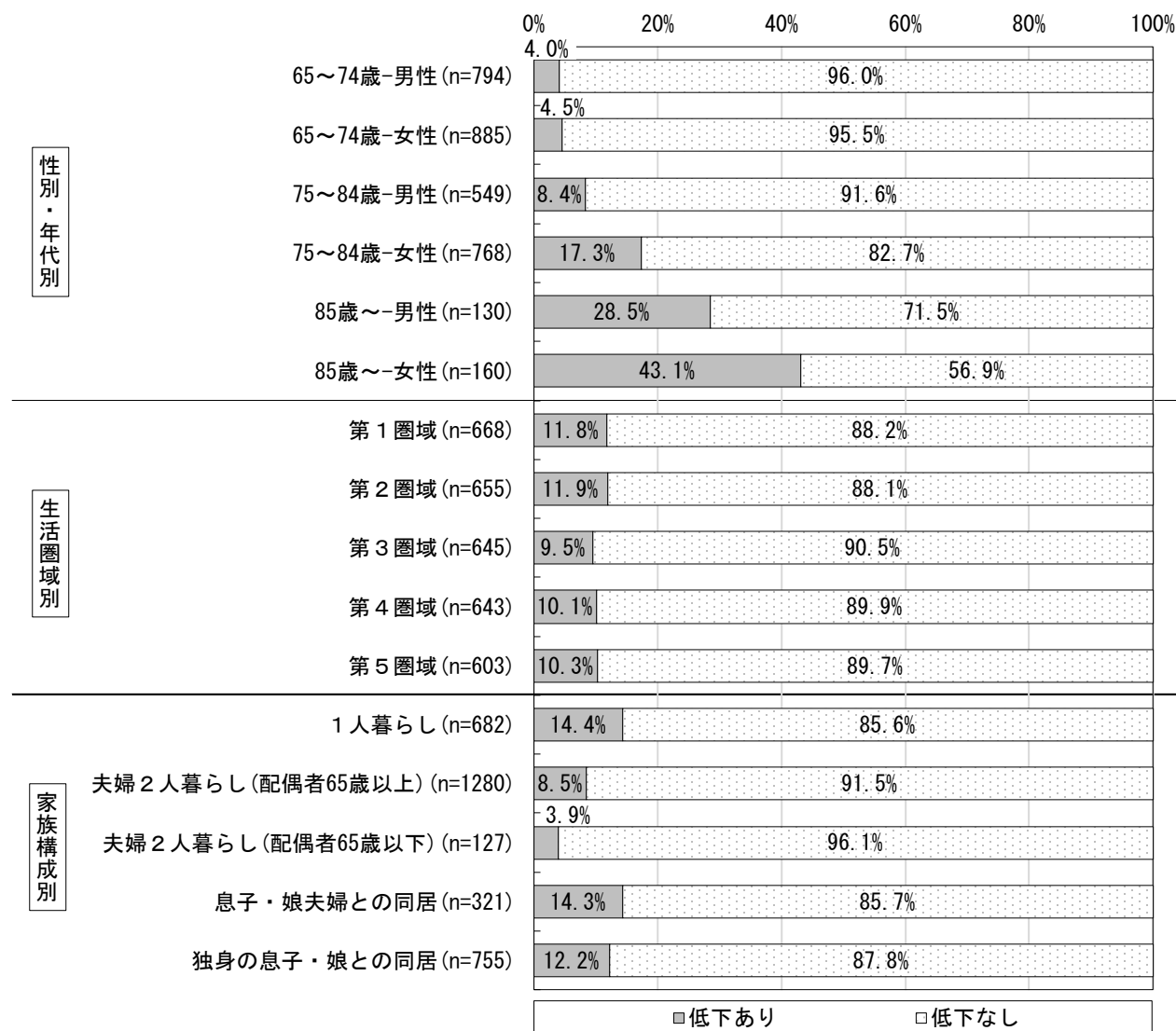
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)



(5) 転倒に対する不安はありますか。(○は1つ)



運動機能のリスク判定



【参考1】運動機能のリスク判定について

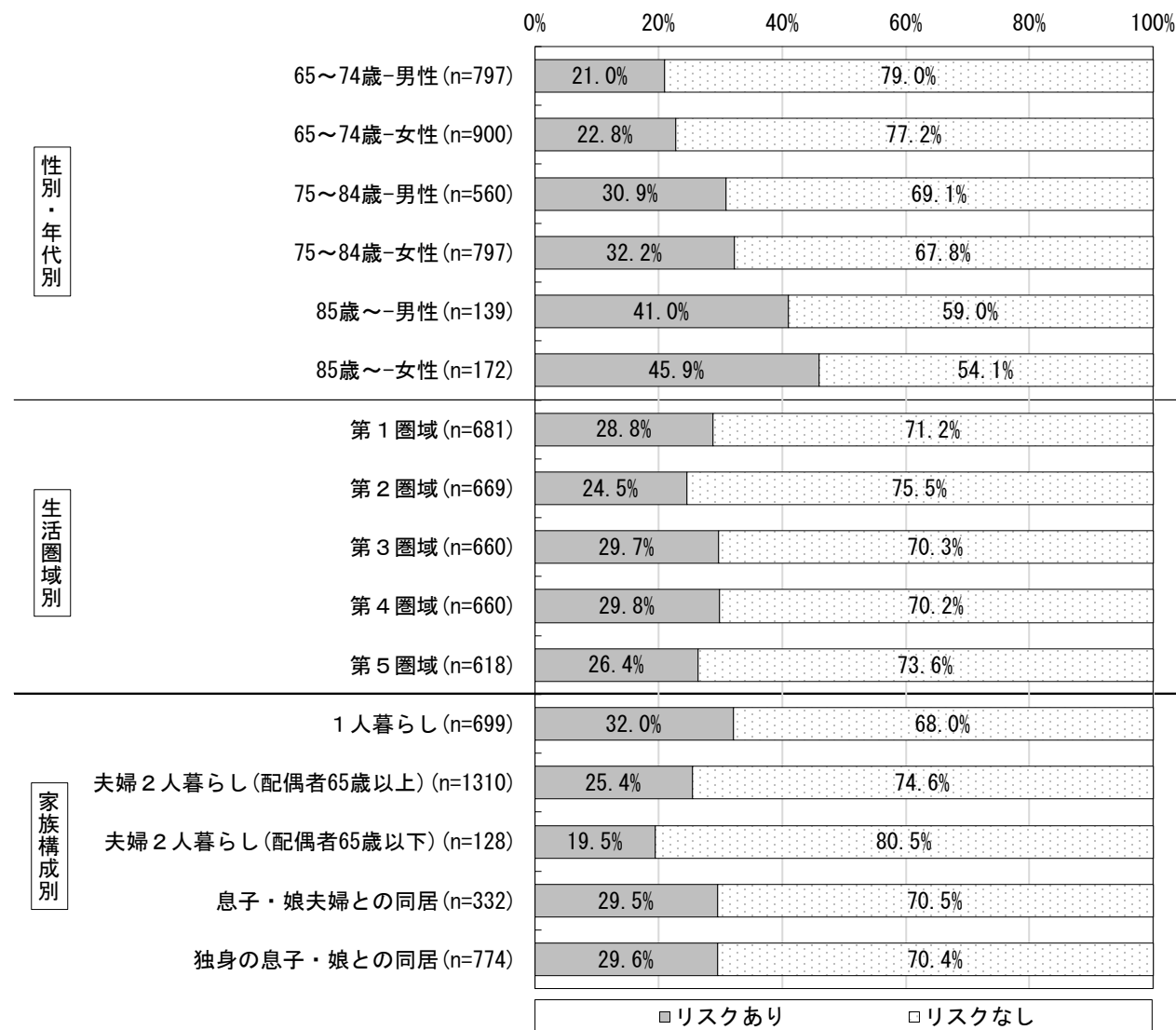
次の5つの設問で3問以上、該当する選択肢（枠囲みの箇所）が回答された場合は「運動機能の低下あり」と判定

設問内容	選択肢
問2（1）階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない
問2（2）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない
問2（3）15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない
問2（4）過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

問2 (5) 転倒に対する不安はありますか	1. とても不安である
	2. やや不安である
	3. あまり不安でない
	4. 不安でない

資料：厚生労働省「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」

転倒のリスク判定



【参考2】転倒のリスク判定について

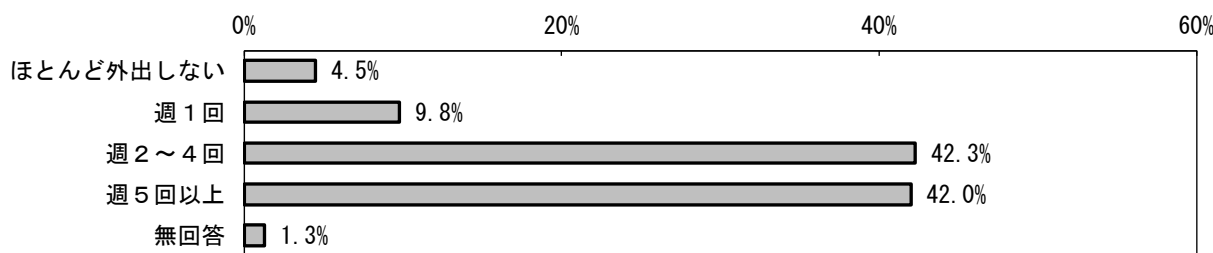
次の設問で該当する選択肢（枠囲みの箇所）が回答された場合は「転倒リスクあり」と判定

設問内容	選択肢
問2 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある
	2. 1度ある
	3. ない

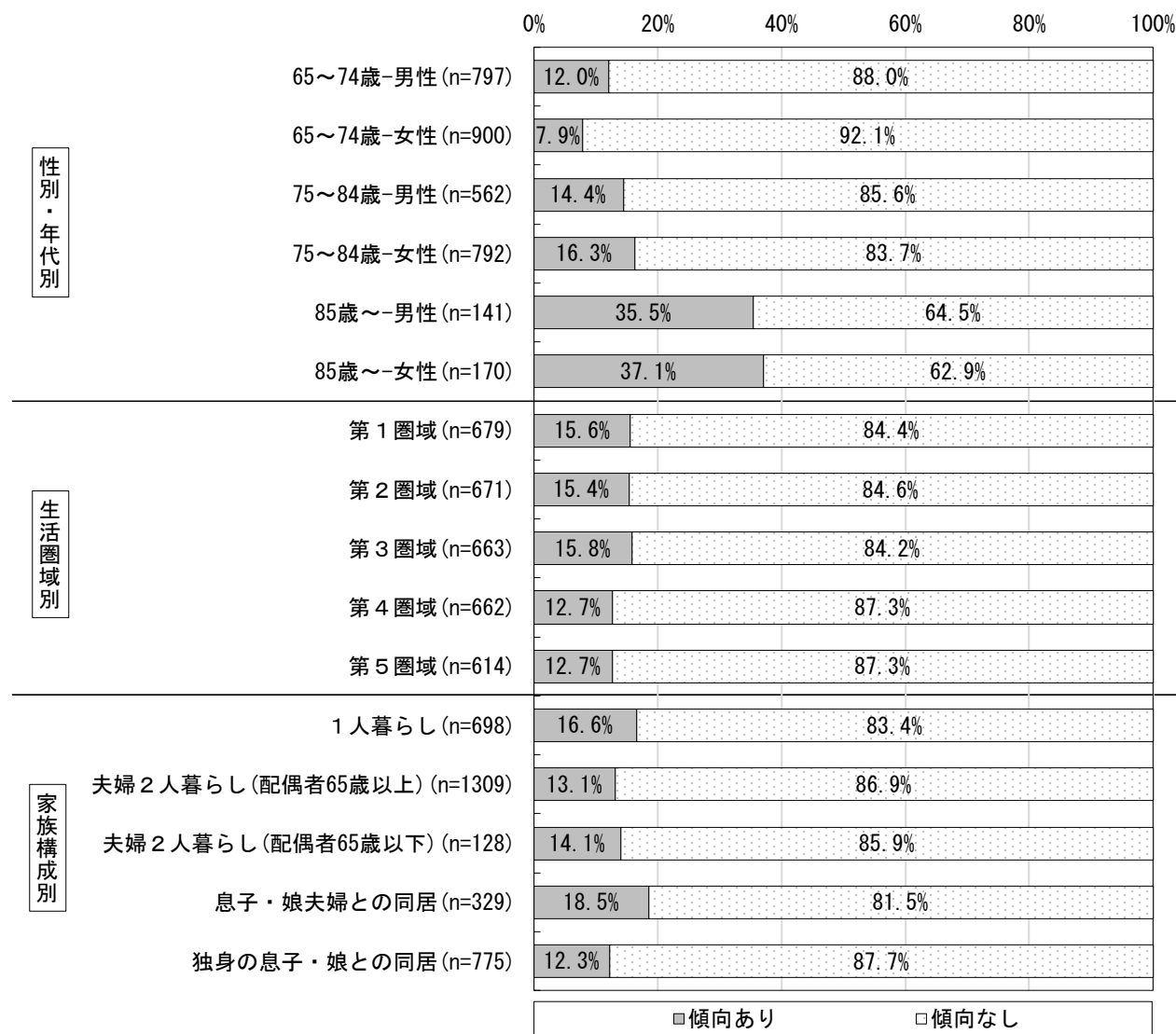
資料：厚生労働省「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」

(6) 週に1回以上は外出していますか。(〇は1つ)

n=3,566



閉じこもり傾向



【参考3】 閉じこもり傾向について

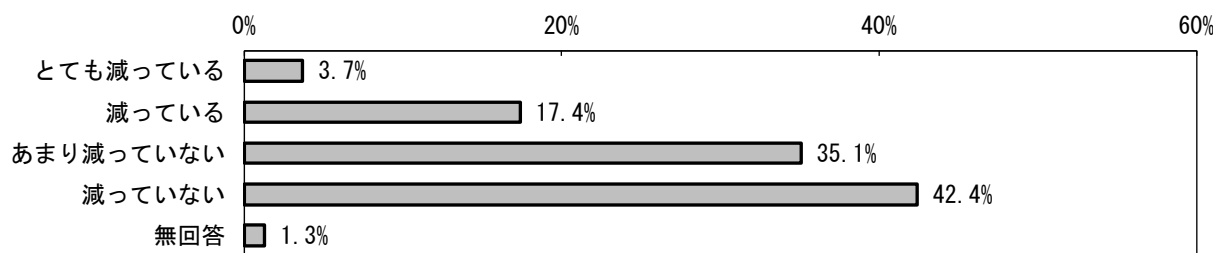
次の設問で該当する選択肢 (枠囲みの箇所) が回答された場合は「閉じこもり傾向あり」と判定

設問内容	選択肢
問2 (6) 週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上

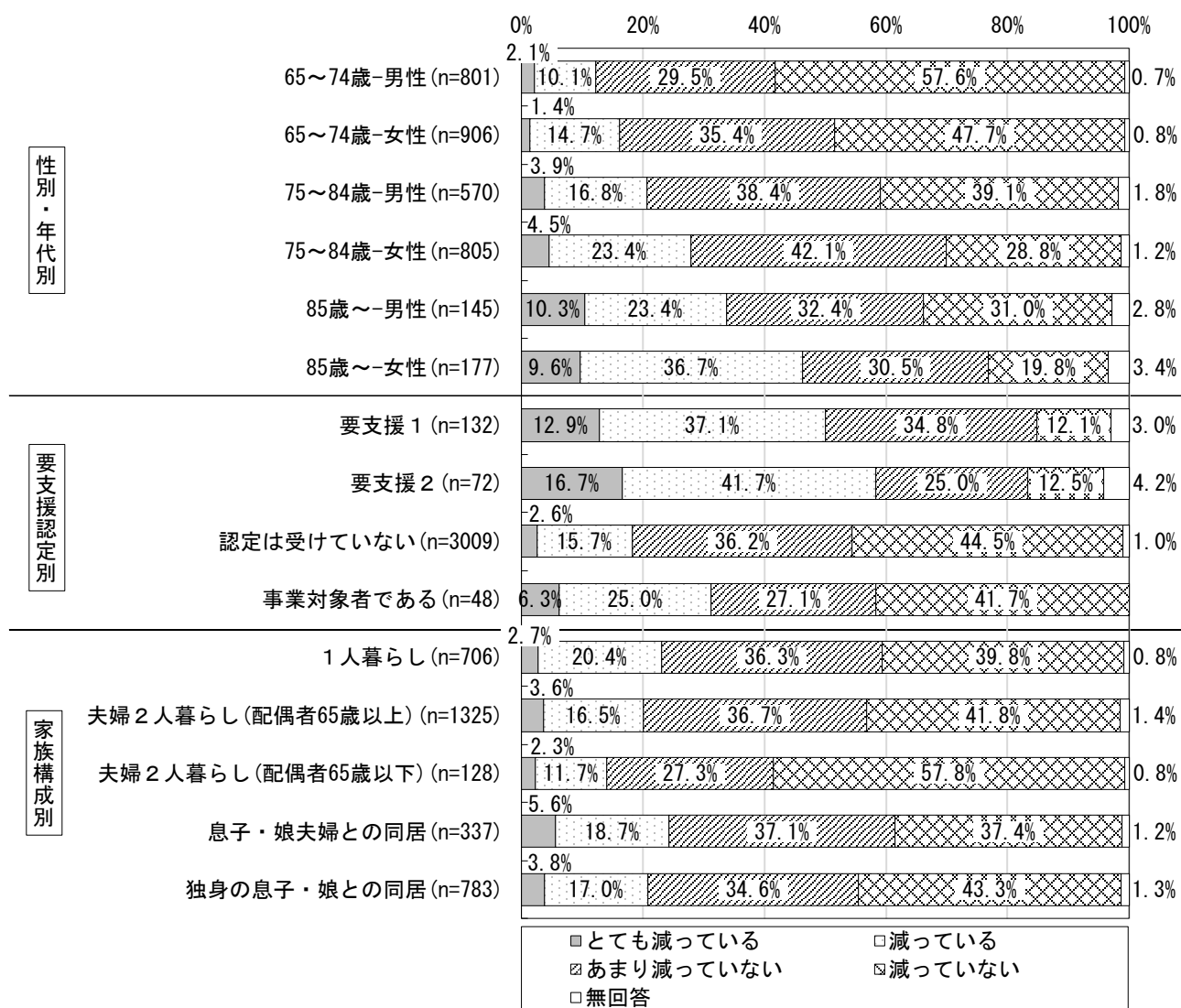
資料：厚生労働省「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

n=3,566

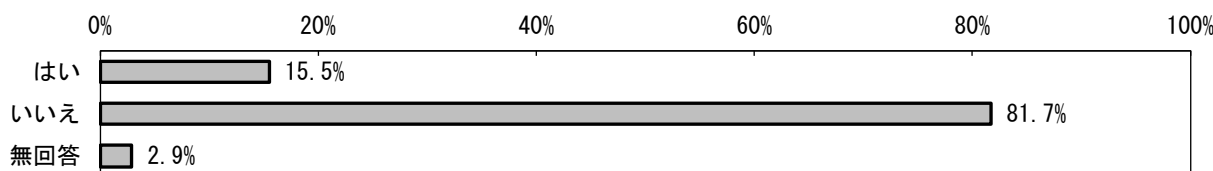


■性別・年代別、要支援認定別、家族構成別



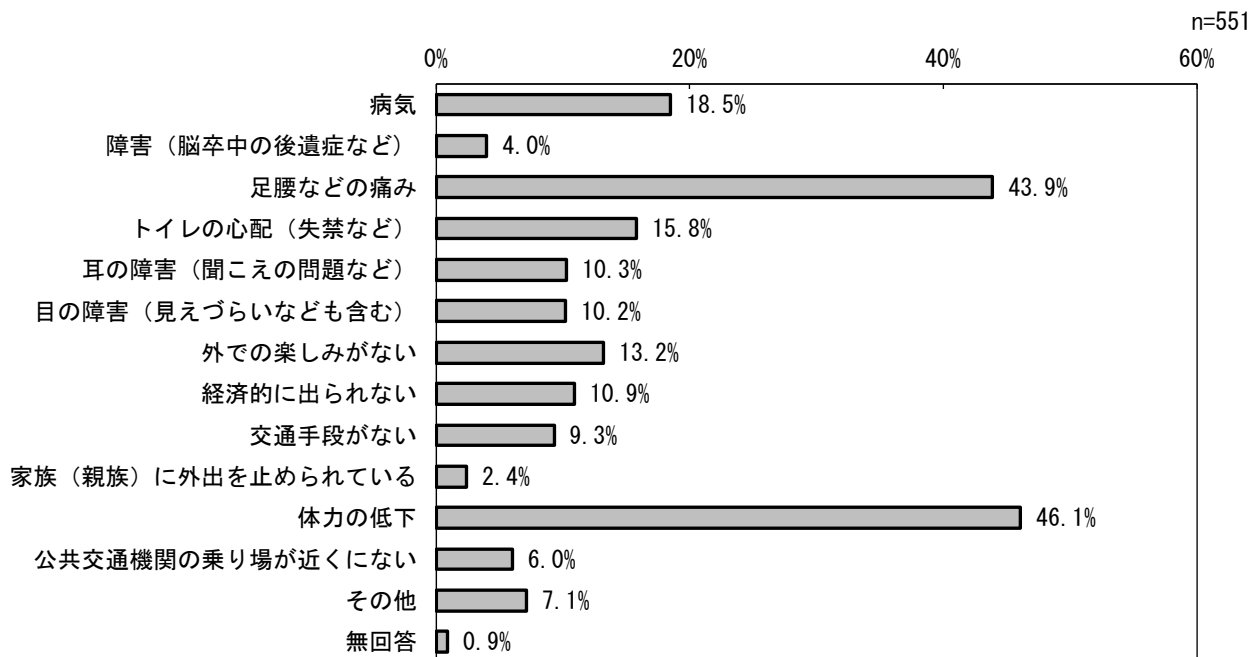
(8) 外出を控えていますか。(○は1つ)

n=3,566



《(8)で「はい」と回答した方のみ》

(8)① 外出をしていない、あるいは回数が減ったなど、外出を控えている理由は、次のどれですか。
(いくつでも)



■性別・年代別 上位3位

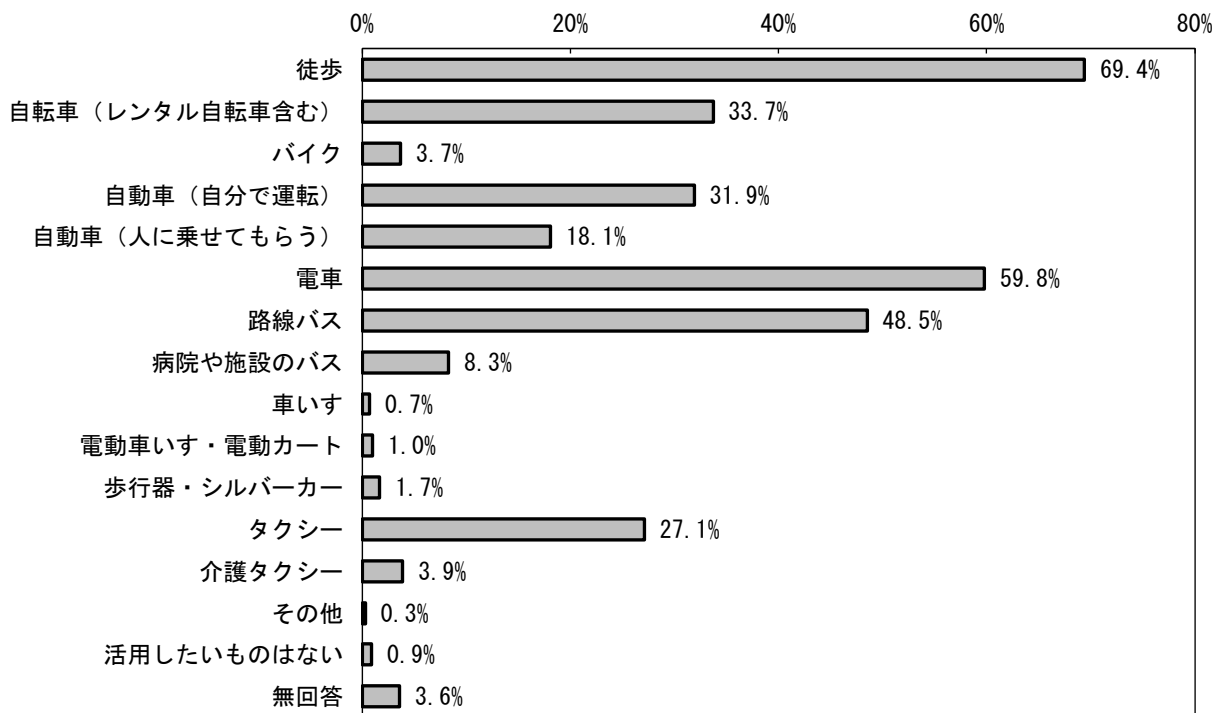
順位	65～74歳 -男性(64人)	65～74歳 -女性(78人)	75～84歳 -男性(81人)	75～84歳 -女性(180人)	85歳～ -男性(50人)	85歳～ -女性(71人)
第1位	体力の低下 (34.4%)	足腰などの痛み (41.0%)	体力の低下 (48.1%)	足腰などの痛み (52.2%)	体力の低下 (62.0%)	体力の低下 (69.0%)
第2位	足腰などの痛み (31.3%)	体力の低下 (35.9%)	足腰などの痛み (39.5%)	体力の低下 (41.7%)	足腰などの痛み (38.0%)	足腰などの痛み (52.1%)
第3位	病气(26.6%)	外での楽しみ がない (19.2%)	病气(23.5%)	トイレの心配 (失禁など) (18.3%)	耳の障害（聞 こえの問題な ど）(24.0%)	トイレの心配 (失禁など) (19.7%)

■要支援認定別 上位3位

順位	要支援1 (60人)	要支援2 (43人)	認定は受けて いない(373人)	事業対象者で ある(9人)
第1位	足腰などの痛み (56.7%)	足腰などの痛み (60.5%)	体力の低下 (44.5%)	体力の低下 (44.4%)
第2位	体力の低下 (53.3%)	体力の低下 (55.8%)	足腰などの痛み (40.2%)	外での楽しみが ない(33.3%)
第3位	トイレの心配 (失禁など) (20.0%)	トイレの心配 (失禁など) (23.3%)	病气(18.8%)	足腰などの痛み (22.2%)

(9) 外出するにあたり、今後、活用したいと考える移動手段はなんですか。(いくつでも)

n=3,566



■性別・年代別 上位3位

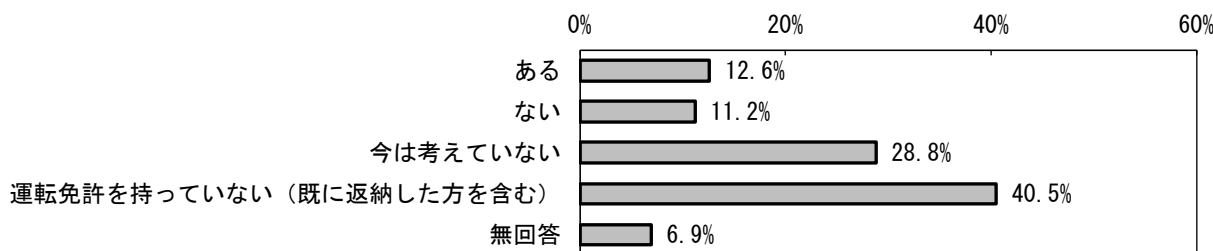
順位	65～74歳 -男性(801人)	65～74歳 -女性(906人)	75～84歳 -男性(570人)	75～84歳 -女性(805人)	85歳～ -男性(145人)	85歳～ -女性(177人)
第1位	徒歩(72.7%)	徒歩(76.4%)	徒歩(66.7%)	徒歩(67.2%)	徒歩(57.2%)	徒歩(50.3%)
第2位	電車(63.7%)	電車(66.9%)	電車(58.8%)	電車(59.0%)	電車(40.7%)	タクシー(43.5%)
第3位	自動車（自分で運転）(60.4%)	路線バス(55.1%)	自動車（自分で運転）(46.1%)	路線バス(56.1%)	タクシー(36.6%)	路線バス(41.2%)

■生活圏域別 上位3位

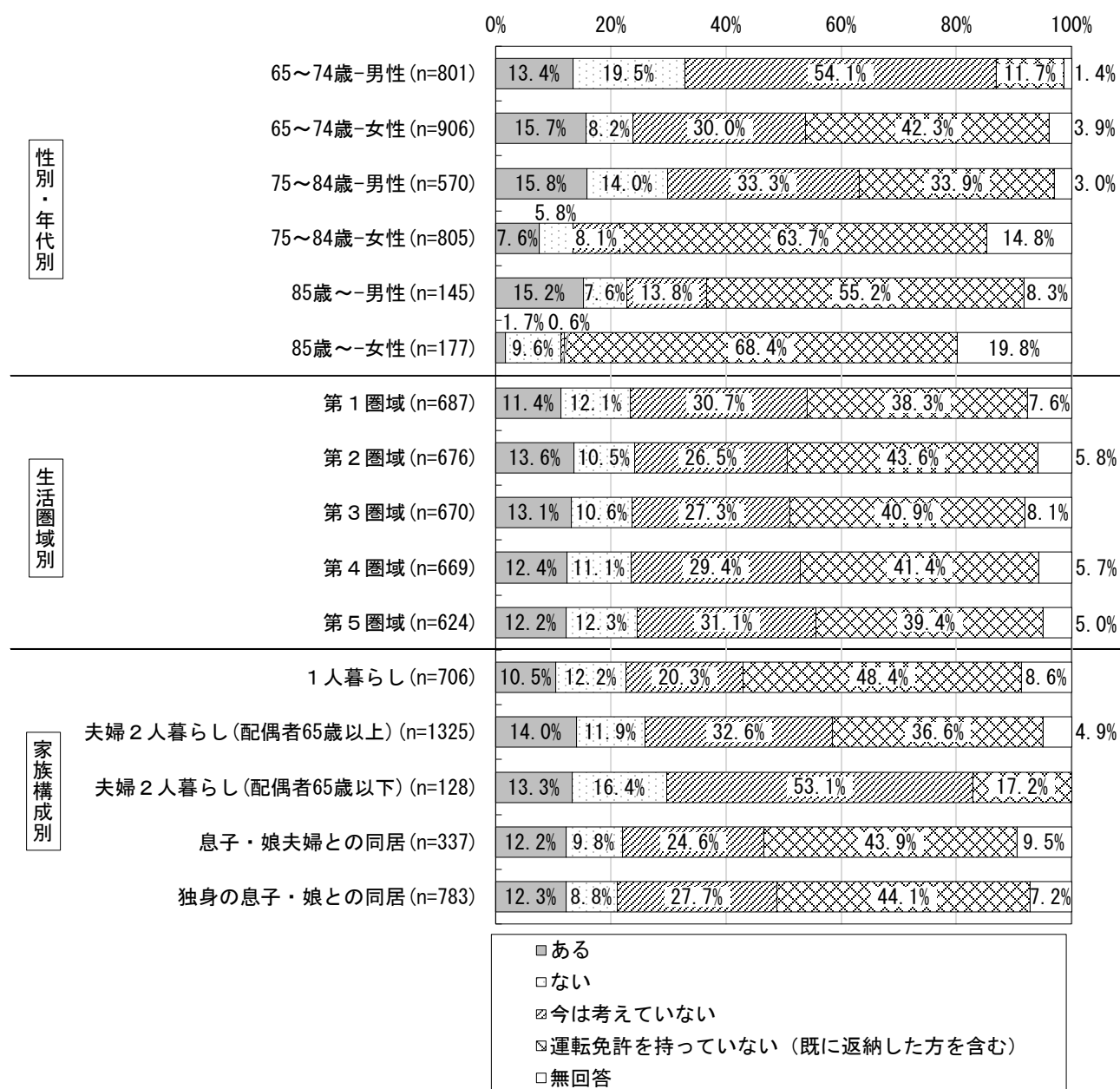
順位	第1圏域 (687人)	第2圏域 (676人)	第3圏域 (670人)	第4圏域 (669人)	第5圏域 (624人)
第1位	徒歩(69.7%)	徒歩(71.7%)	徒歩(70.0%)	徒歩(68.6%)	徒歩(69.7%)
第2位	電車(60.0%)	電車(60.8%)	電車(62.7%)	電車(59.8%)	電車(58.8%)
第3位	路線バス(44.1%)	路線バス(47.2%)	路線バス(48.7%)	路線バス(48.1%)	路線バス(55.4%)

(10) 高齢ドライバーの交通事故が社会問題となっていますが、ご自身の運転免許証について、自主返納の意向がありますか。(〇は1つ)

n=3,566



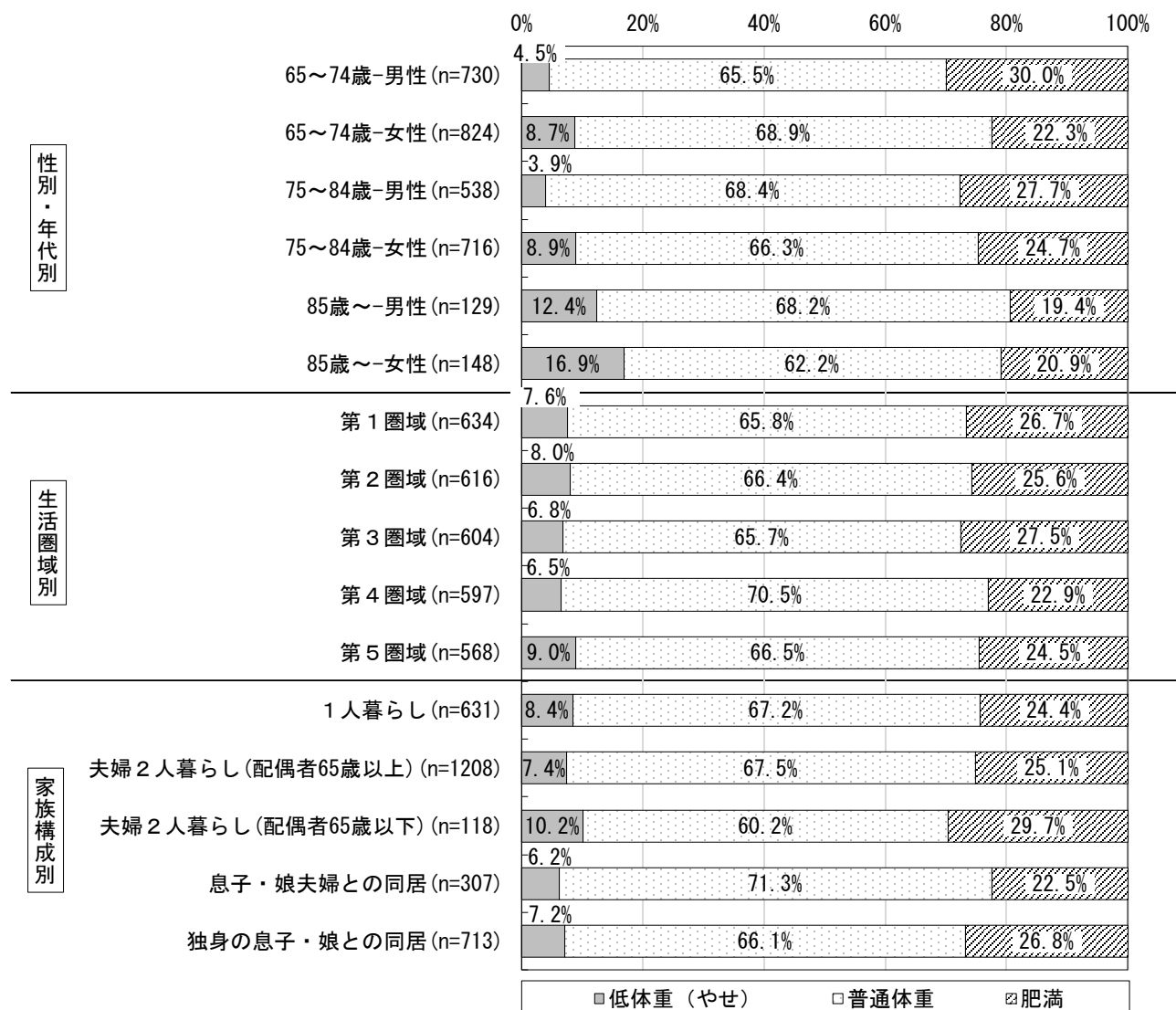
■性別・年代別、生活圏域別、家族構成別



【問3 食べることについて】

(1) 現在のあなたの身長・体重を教えてください。

BMI

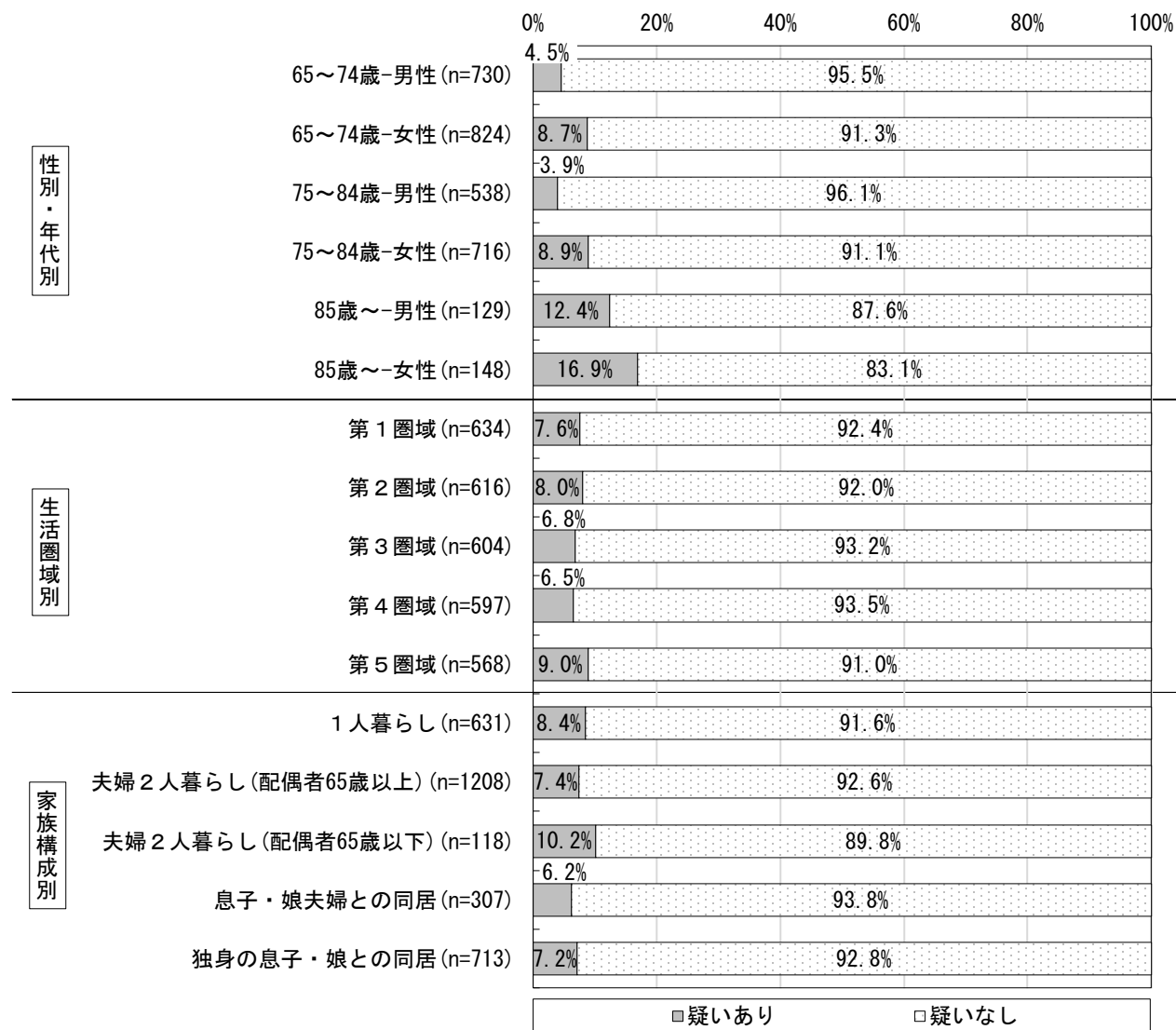


【参考4】BMIについて

BMI (Body Mass Index) は、肥満度を表す体格指数で、次の算出方法と基準に基づき、問3(1)にて回答された身長・体重から肥満度を判定します。

設問内容	BMI (Body Mass Index) の算出方法と判定基準
問3(1) 身長・体重	<p>[算出方法]</p> $BMI = \text{体重 (kg)} \div \{\text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)}\}$ <p>[判定基準]</p> <p>やせ: BMI が 18.5 未満</p> <p>普通: BMI が 18.5～25 未満</p> <p>肥満: BMI が 25 以上</p>

低栄養が疑われる高齢者



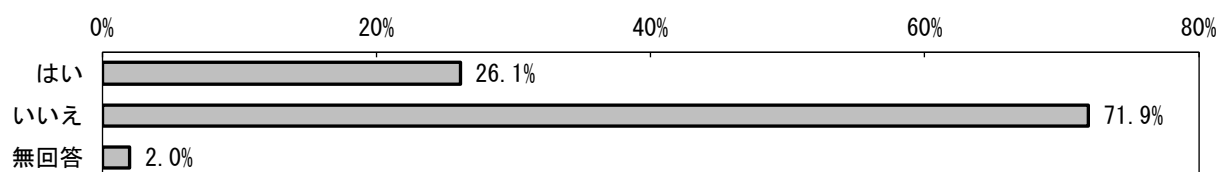
【参考5】低栄養が疑われる高齢者について

上記のBMIによる判定の結果、「やせ：BMIが18.5未満」に該当した場合を低栄養が疑われる高齢者と判定

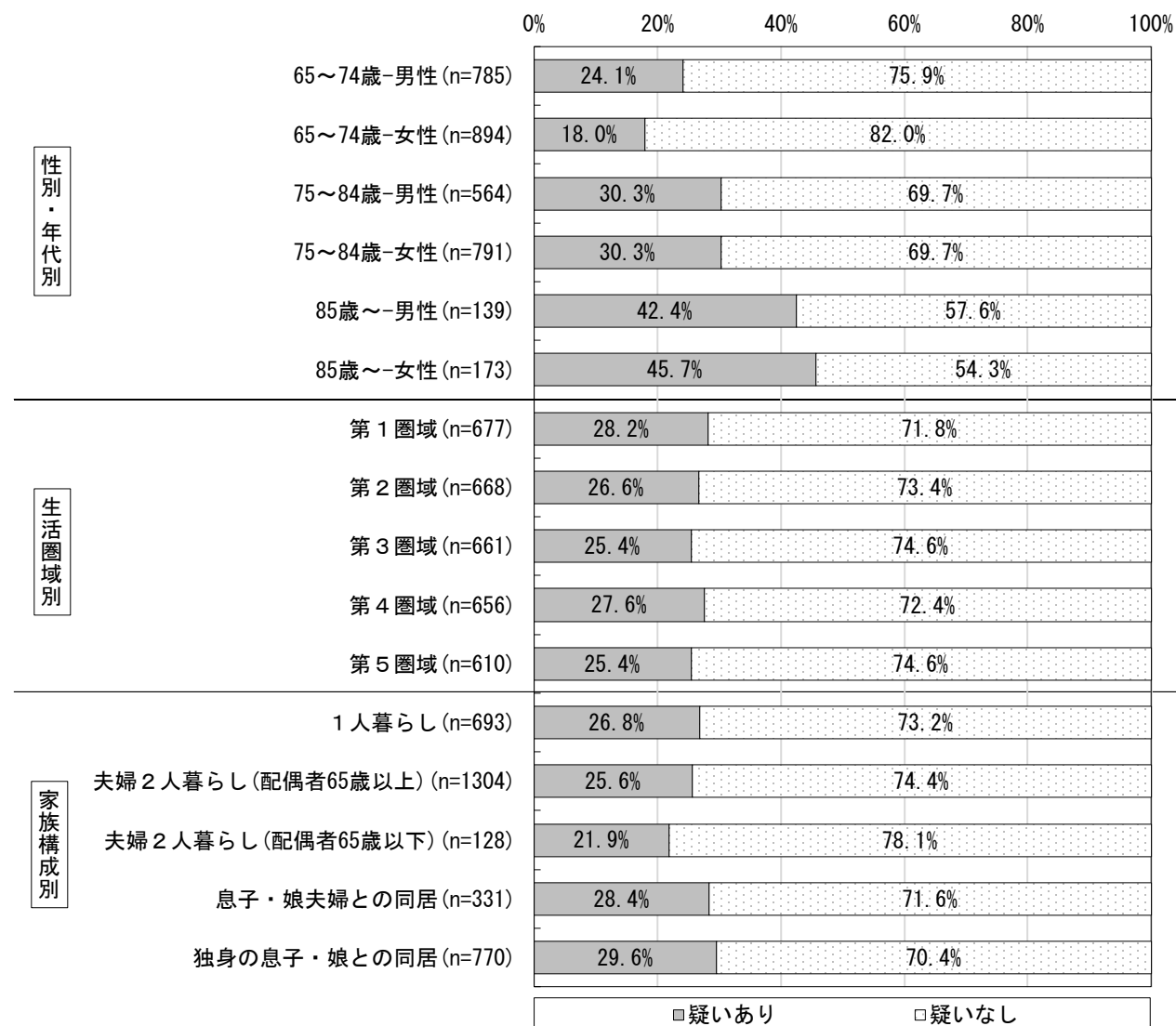
資料：厚生労働省「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(〇は1つ)

n=3,566



咀嚼機能の低下が疑われる高齢者



【参考6】咀嚼機能の低下が疑われる高齢者について

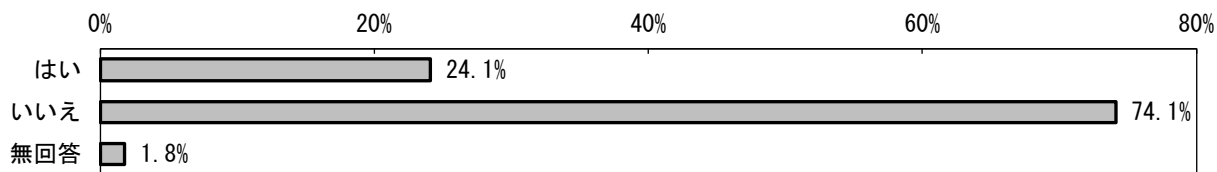
次の設問で該当する選択肢(枠囲みの箇所)が回答された場合は「咀嚼機能の低下の疑いあり」と判定

設問内容	選択肢
問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ

資料：厚生労働省「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」

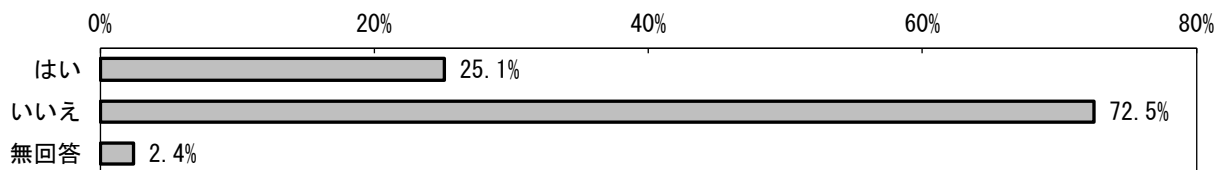
(3) お茶や汁物などでむせることがありますか。(○は1つ)

n=3,566

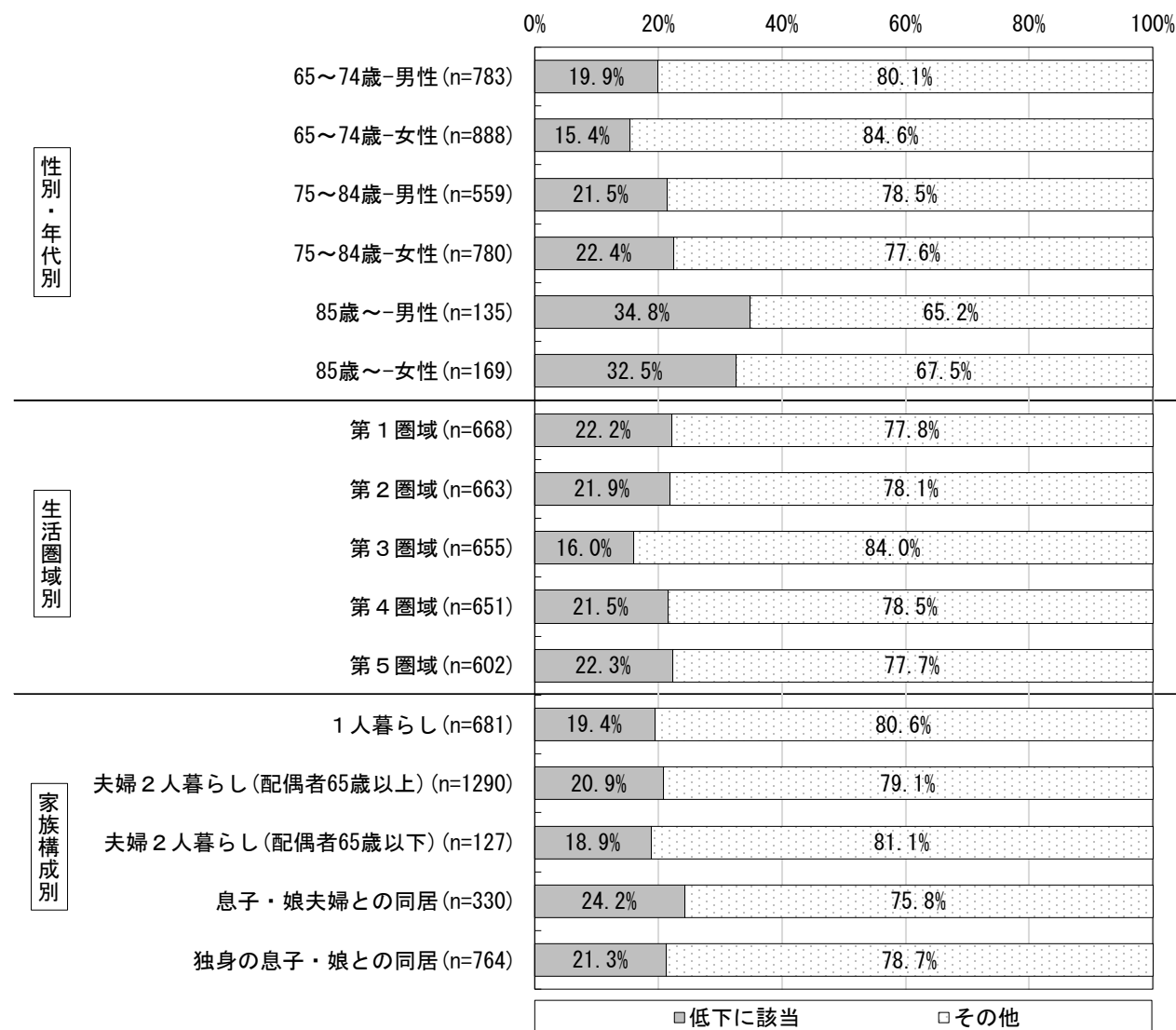


(4) 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

n=3,566



口腔機能が低下している高齢者



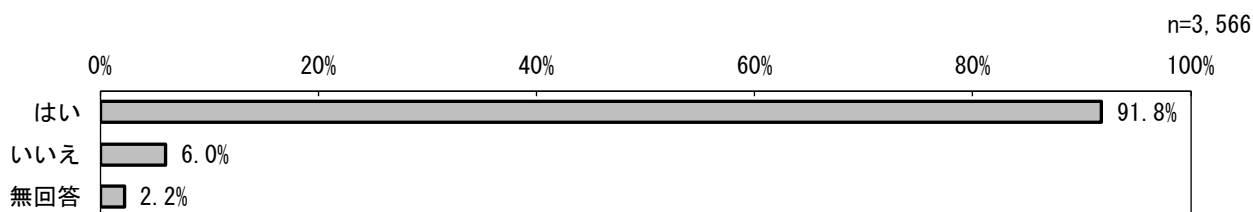
【参考7】口腔機能が低下している高齢者について

次の3つの設問で2問以上、該当する選択肢（枠囲みの箇所）が回答された場合は「口腔機能の低下に該当」と判定

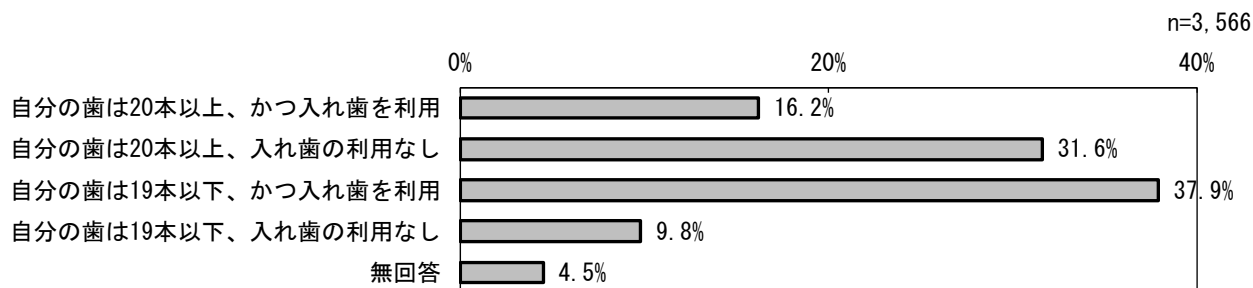
設問内容	選択肢
問3（2）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ
問3（3）お茶や汁物などでむせることがありますか	1. はい 2. いいえ
問3（4）口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ

資料：厚生労働省「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」

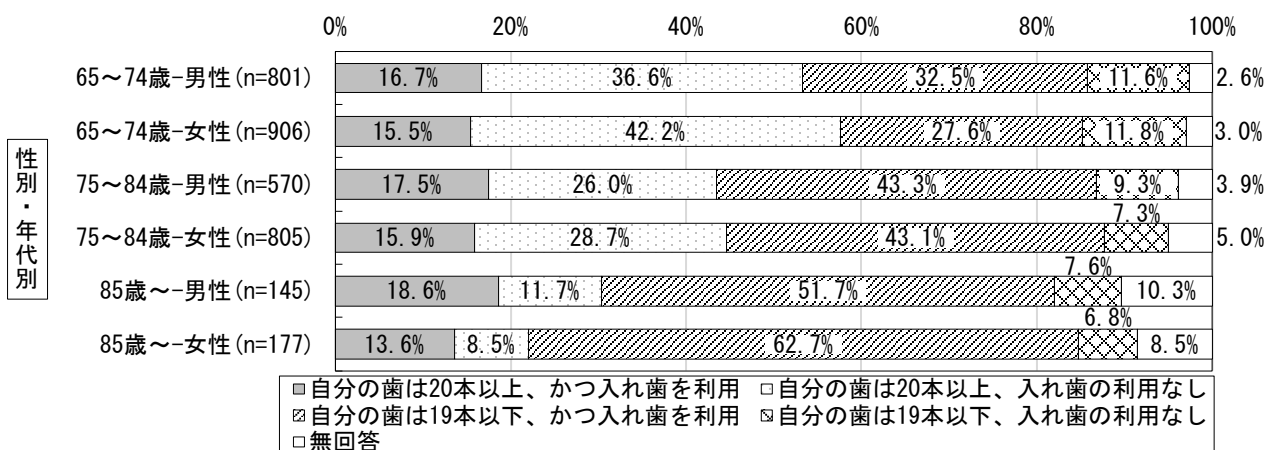
（5）歯磨き（人に行ってもらう場合も含む）を毎日していますか。（○は1つ）



（6）歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。（○は1つ）（成人の歯の総本数は、28本です）



■性別・年代別

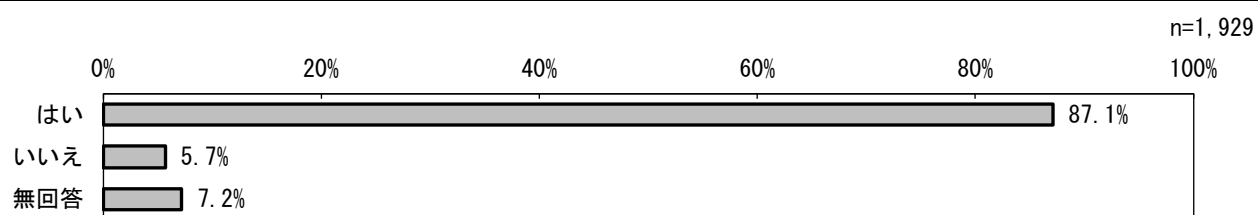


(6) ①噛み合わせはいいですか。(〇は1つ)



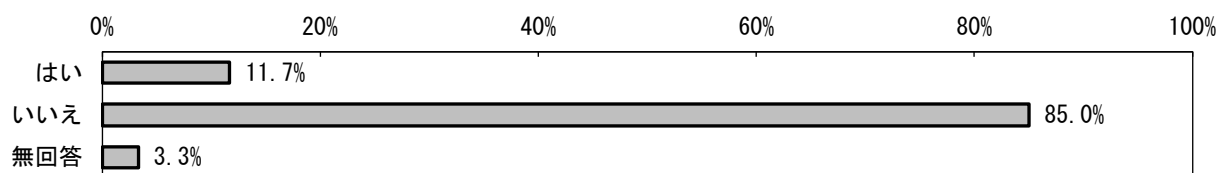
《(6)で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方のみ》

(6) ②毎日入れ歯の手入れをしていますか。(〇は1つ)

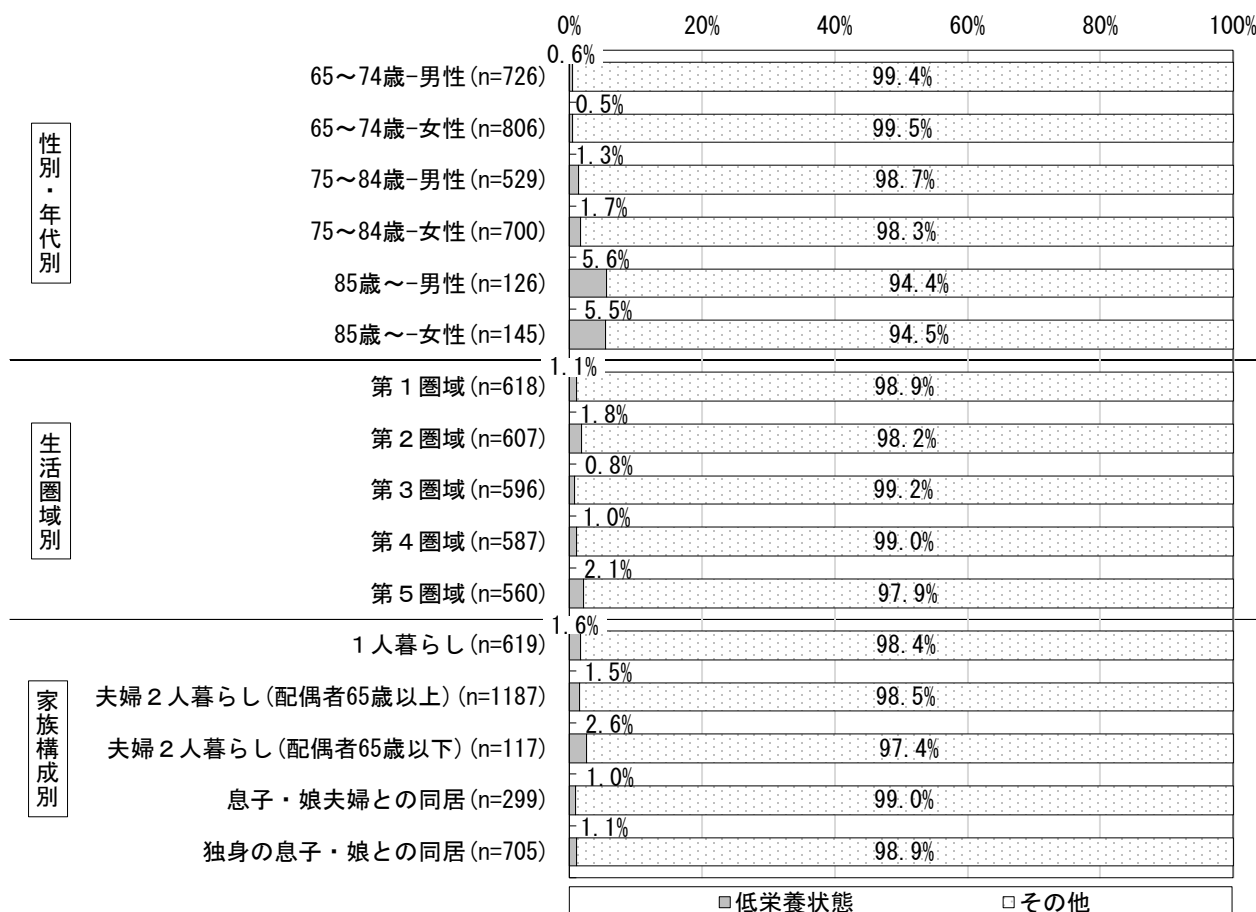


(7) ここ半年間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

n=3,566



低栄養状態にある高齢者



【参考8】低栄養状態にある高齢者について

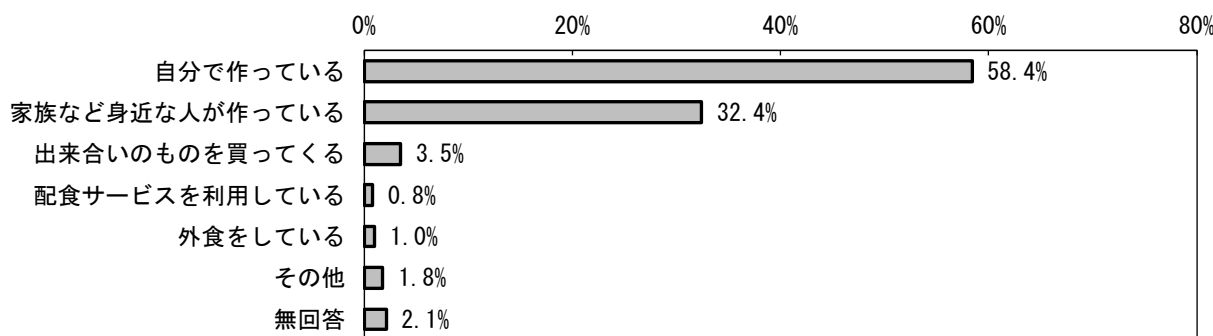
次の2つの設問で、2問ともに該当する選択肢（枠囲みの箇所）が回答された場合は「低栄養状態」と判定

設問内容	選択肢等
問3(1) 身長・体重	[判定基準] <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">やせ：BMIが18.5未満</div> 普通：BMIが18.5～25未満 肥満：BMIが25以上
問3(7)ここ半年間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1. はい</div> 2. いいえ

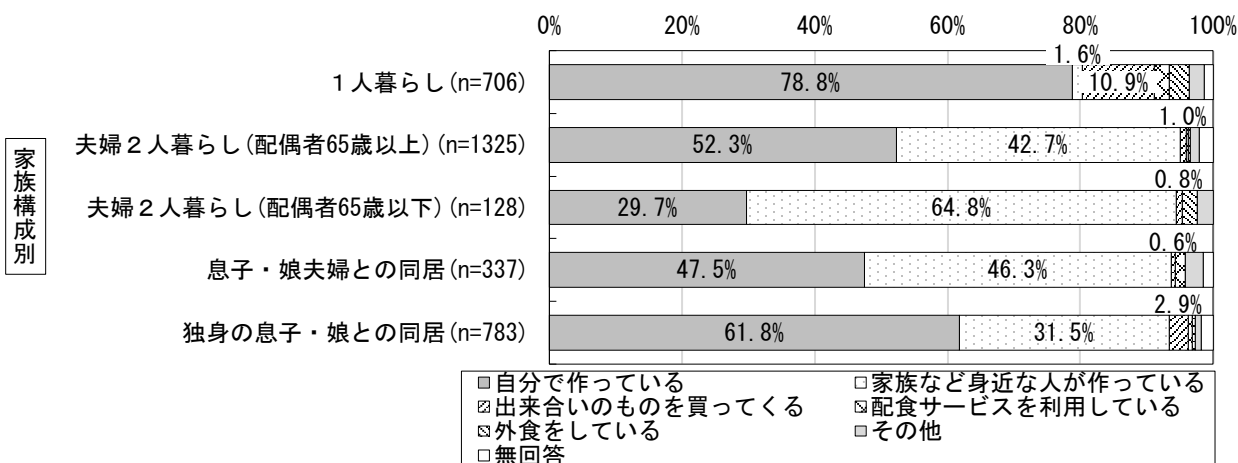
資料：厚生労働省「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」

(8) あなたは、自分の食事をどのように準備されていますか。(○は1つ)

n=3,566



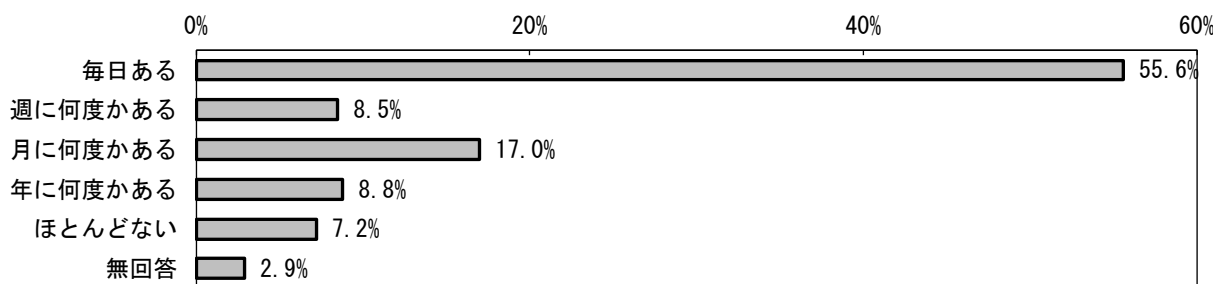
■家族構成別



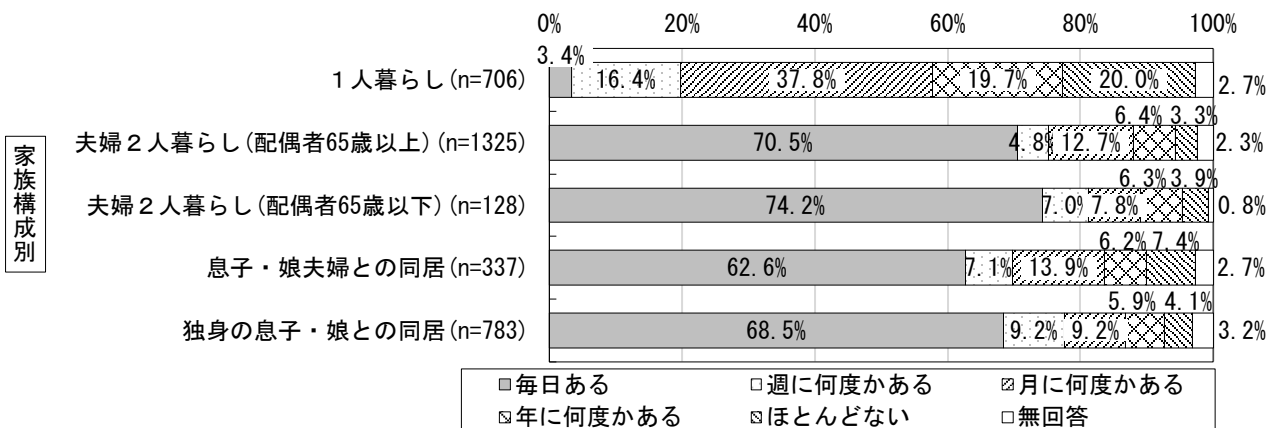
※数値ラベルは「自分で作っている」「家族など身近な人が作っている」「出来合いのものを買ってくる」のみ付している。

(9) どなたかと食事をとる機会がありますか。(○は1つ)

n=3,566



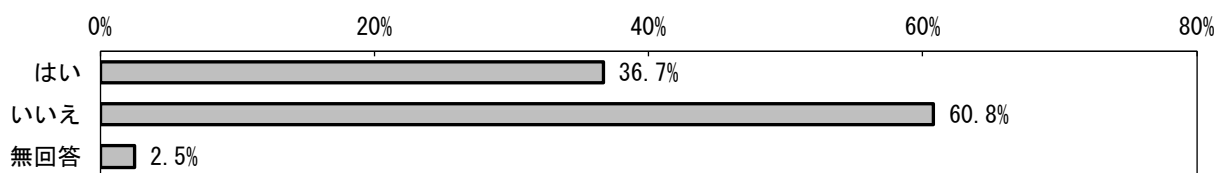
■家族構成別



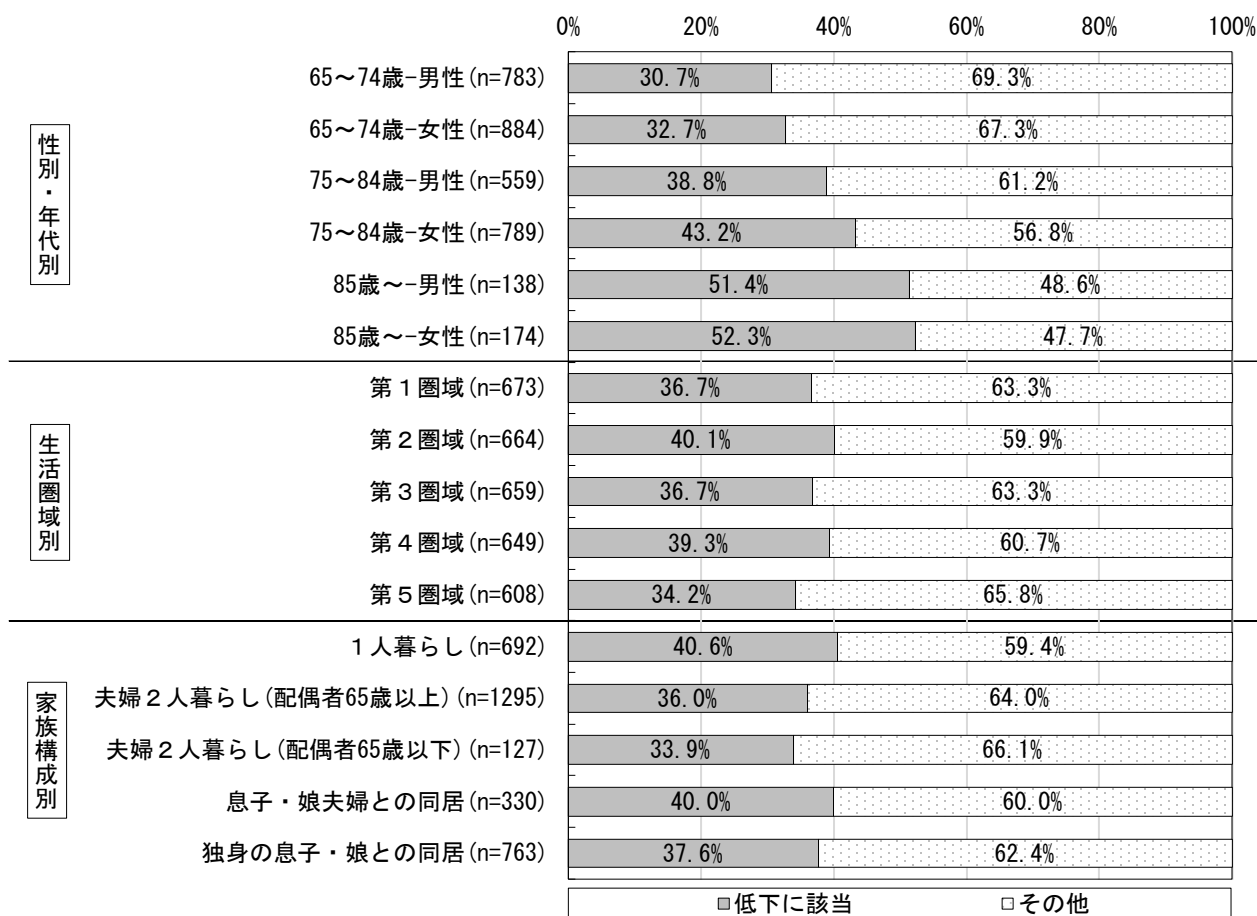
【問4 毎日の生活について】

(1) 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

n=3,566



認知機能が低下している高齢者



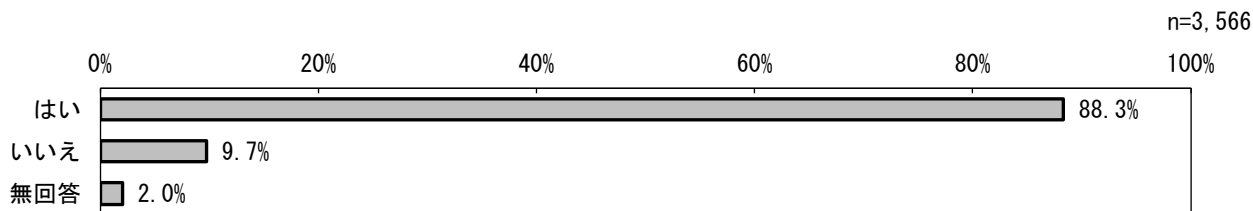
【参考9】認知機能が低下している高齢者について

次の設問で該当する選択肢（枠囲みの箇所）が回答された場合は「認知機能の低下に該当」と判定

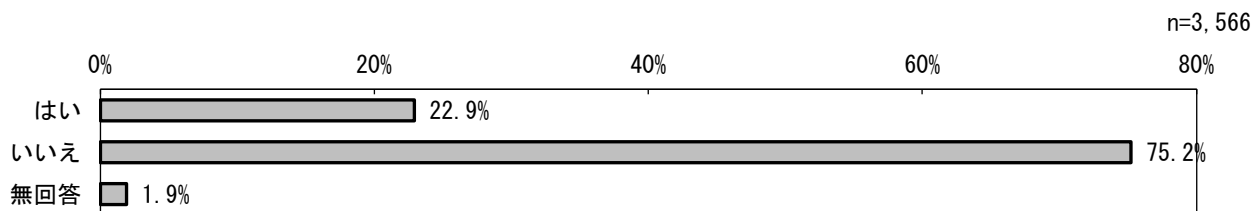
設問内容	選択肢
問4 (1) 物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ

資料：厚生労働省「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」

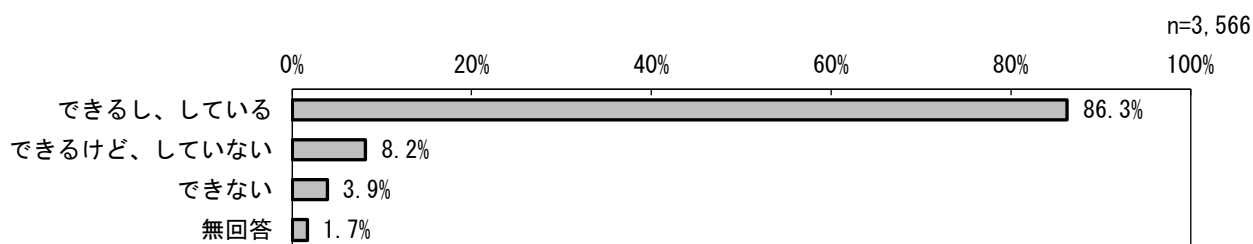
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)



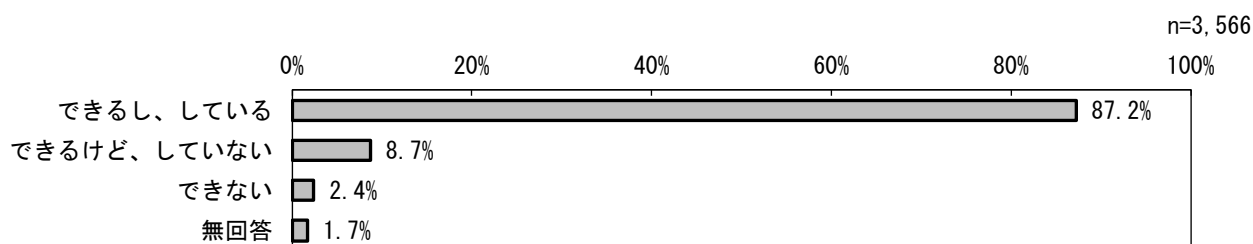
(3) 今日が何月何日か、わからない時がありますか。(○は1つ)



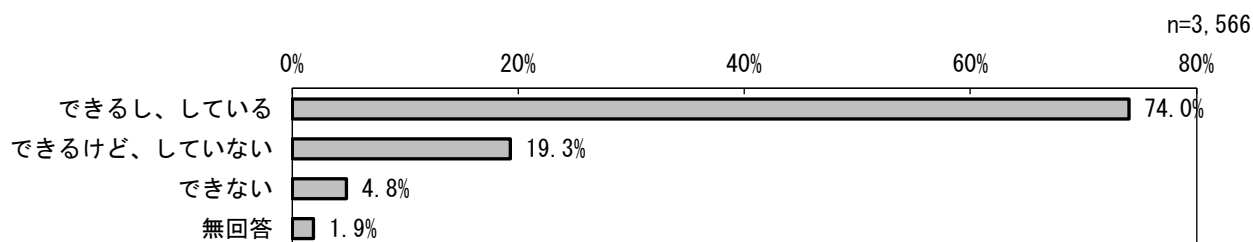
(4) バスや電車を使って、1人で外出していますか。(自家用車でも可)(○は1つ)



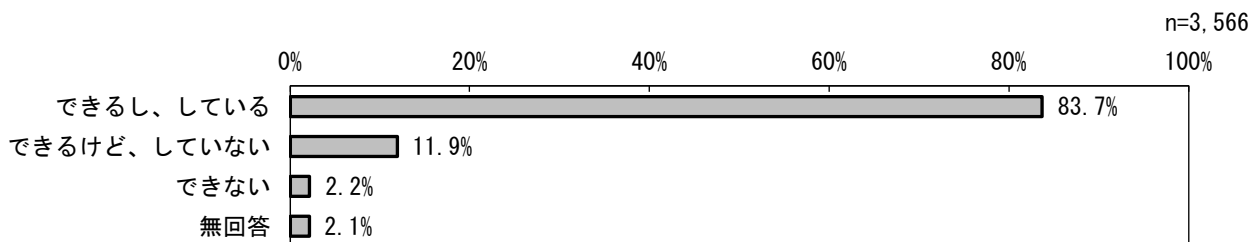
(5) 自分で食費・日用品の買い物をしていますか。(○は1つ)



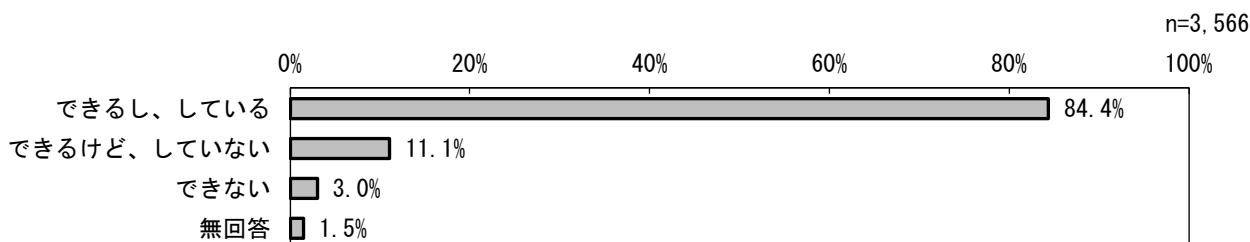
(6) 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)



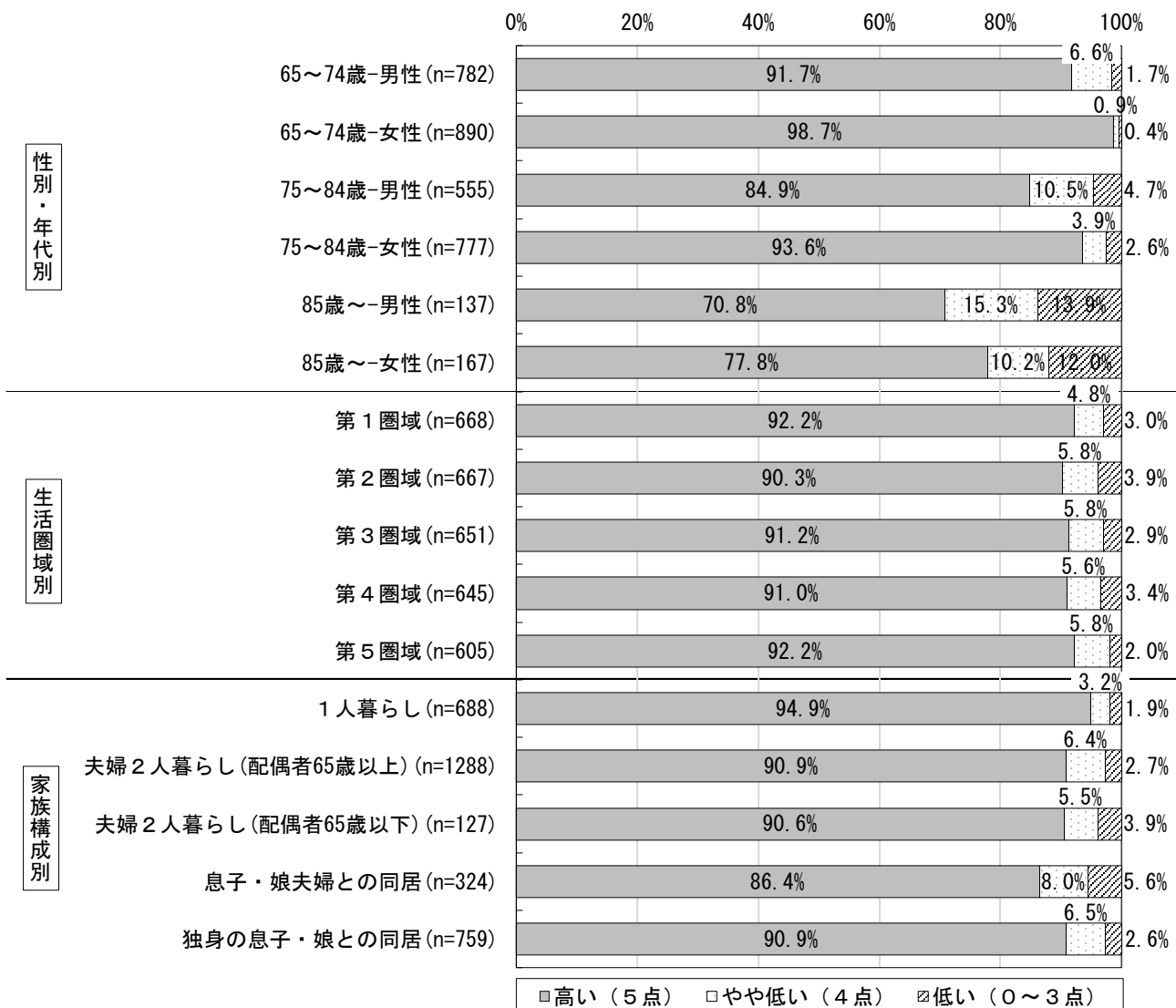
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)



(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)



IADLが低下している高齢者

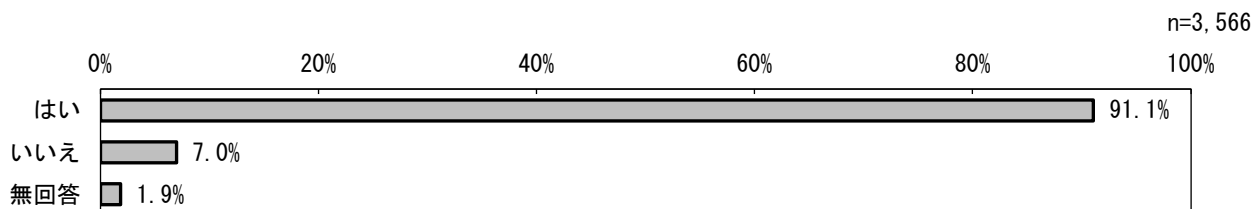


【参考10】 IADLが低下している高齢者について

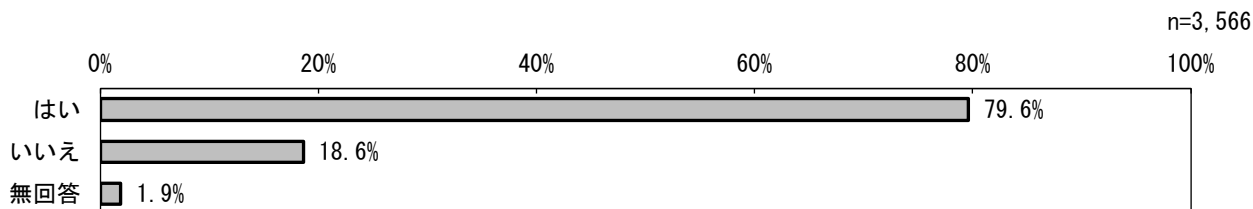
次の5つの設問で、該当する選択肢（枠囲みの箇所）が回答された場合は1点とし、5つの設問の合計点で、「高い（5点）」、「やや低い（4点）」、「低い（0～3点）」と判定

設問内容	選択肢
問4（4）バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない
問4（5）自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない
問4（6）自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない
問4（7）自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない
問4（8）自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない

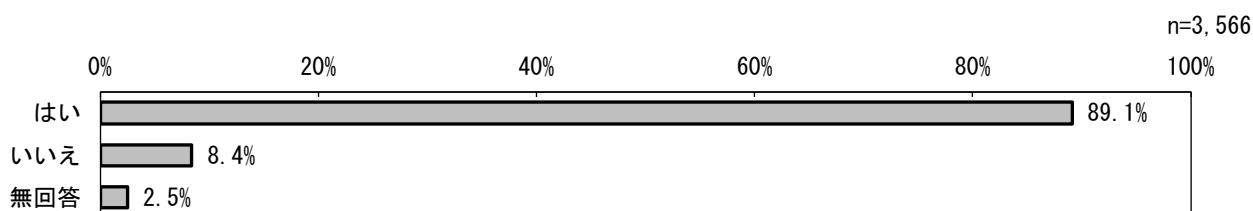
（9）年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が自分で書けますか。（○は1つ）



（10）本や雑誌を読んでいますか。（○は1つ）

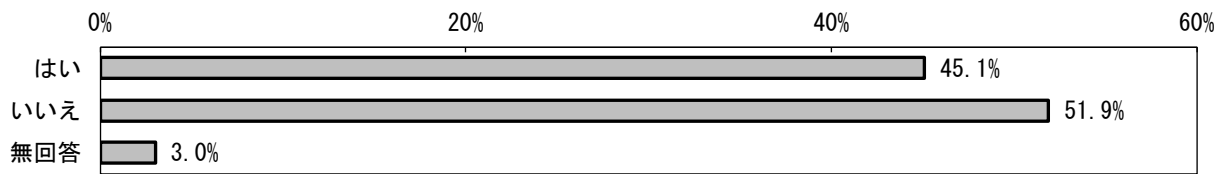


（11）健康についての記事やテレビ・ラジオ番組に関心がありますか。（○は1つ）



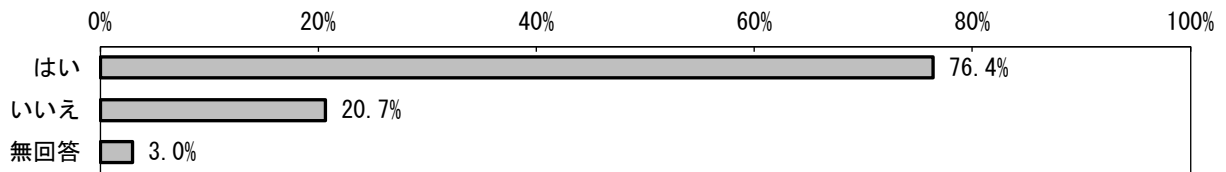
(12) 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)

n=3,566



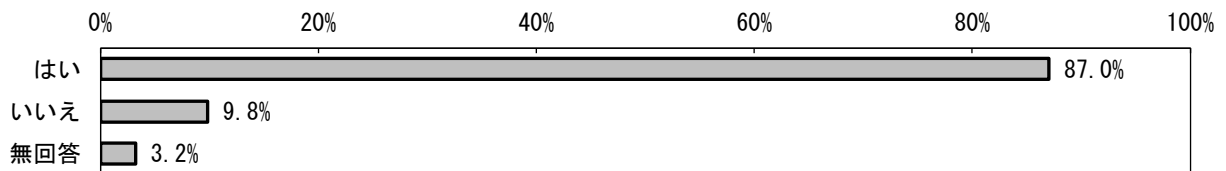
(13) 家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ)

n=3,566



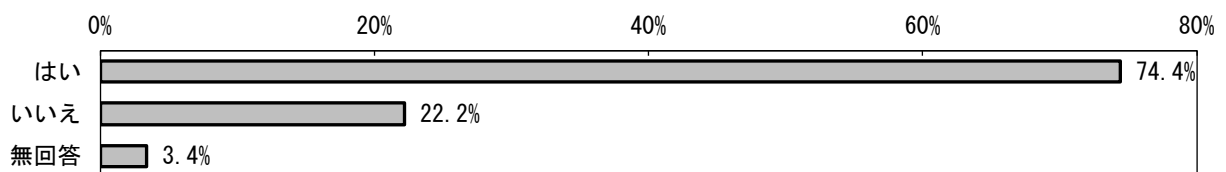
(14) 病人を見舞うことができますか。(○は1つ)

n=3,566



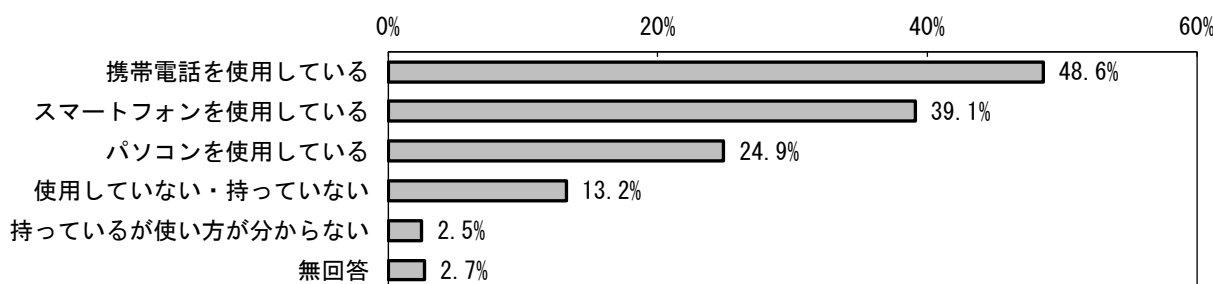
(15) 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つ)

n=3,566

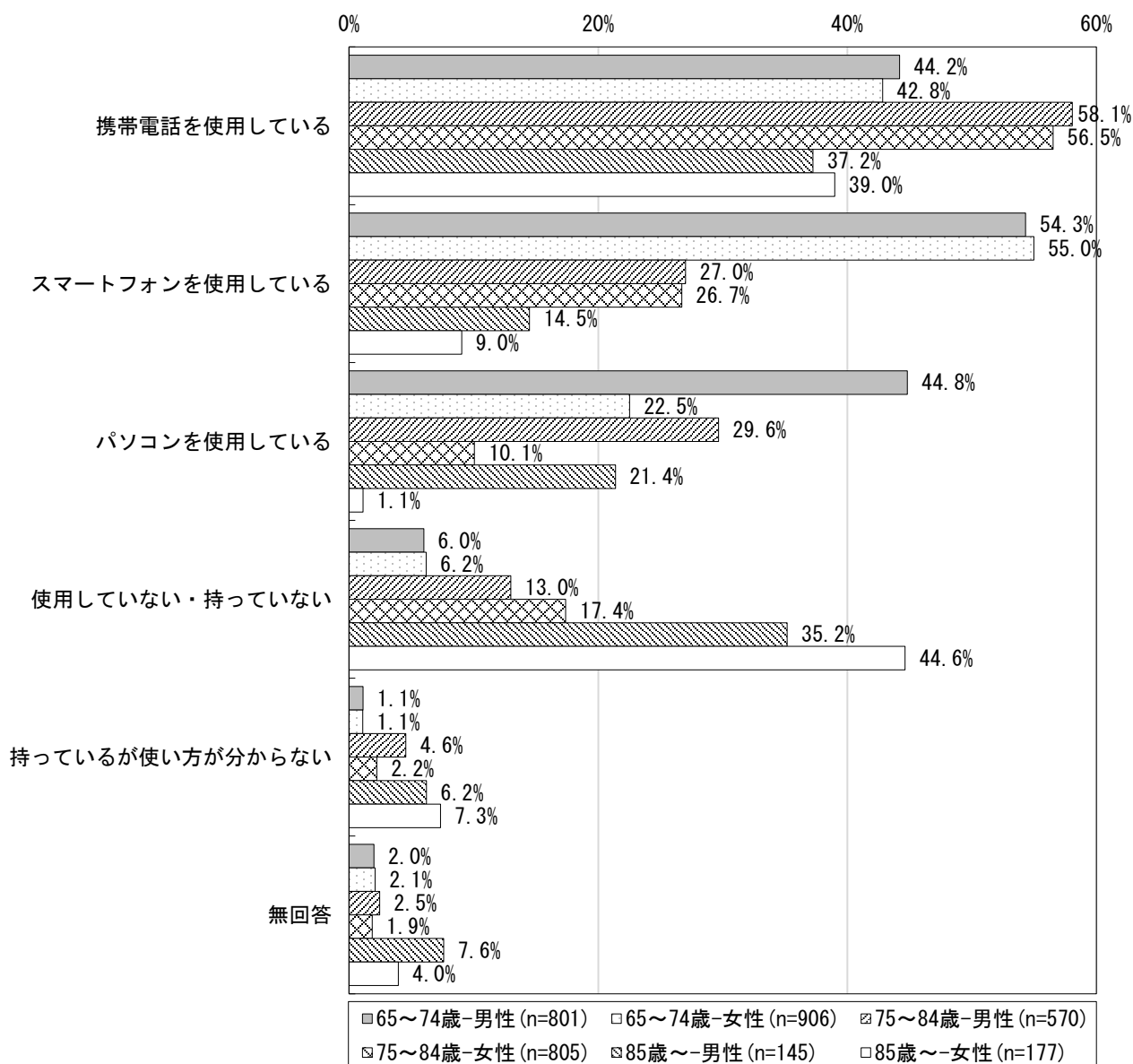


(16) 携帯電話やスマートフォン、パソコンを日常的に使用していますか。(いくつでも)

n=3,566



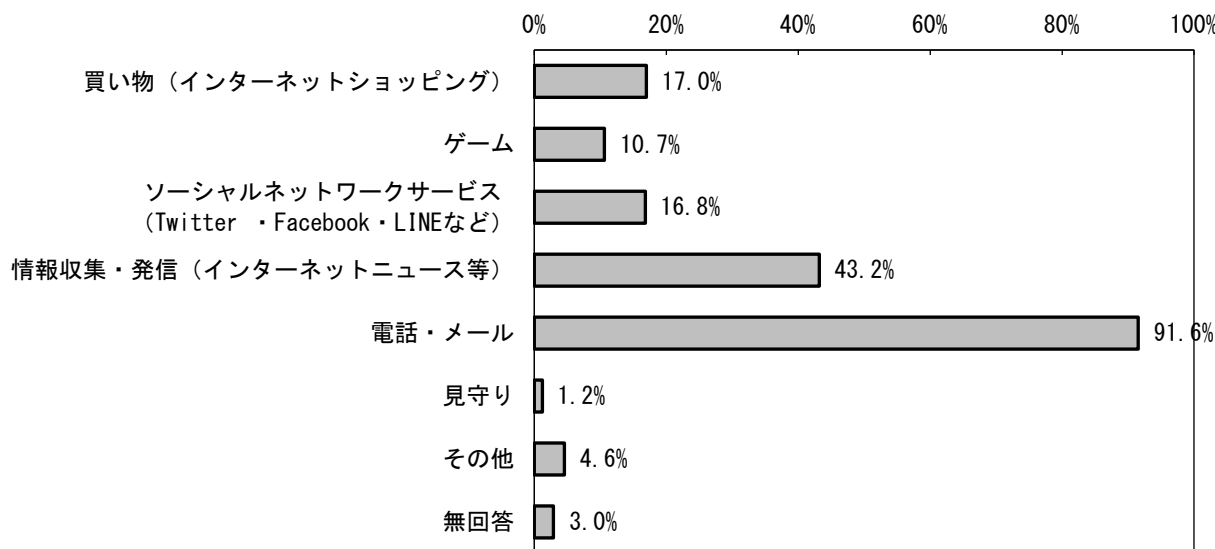
■性別・年代別



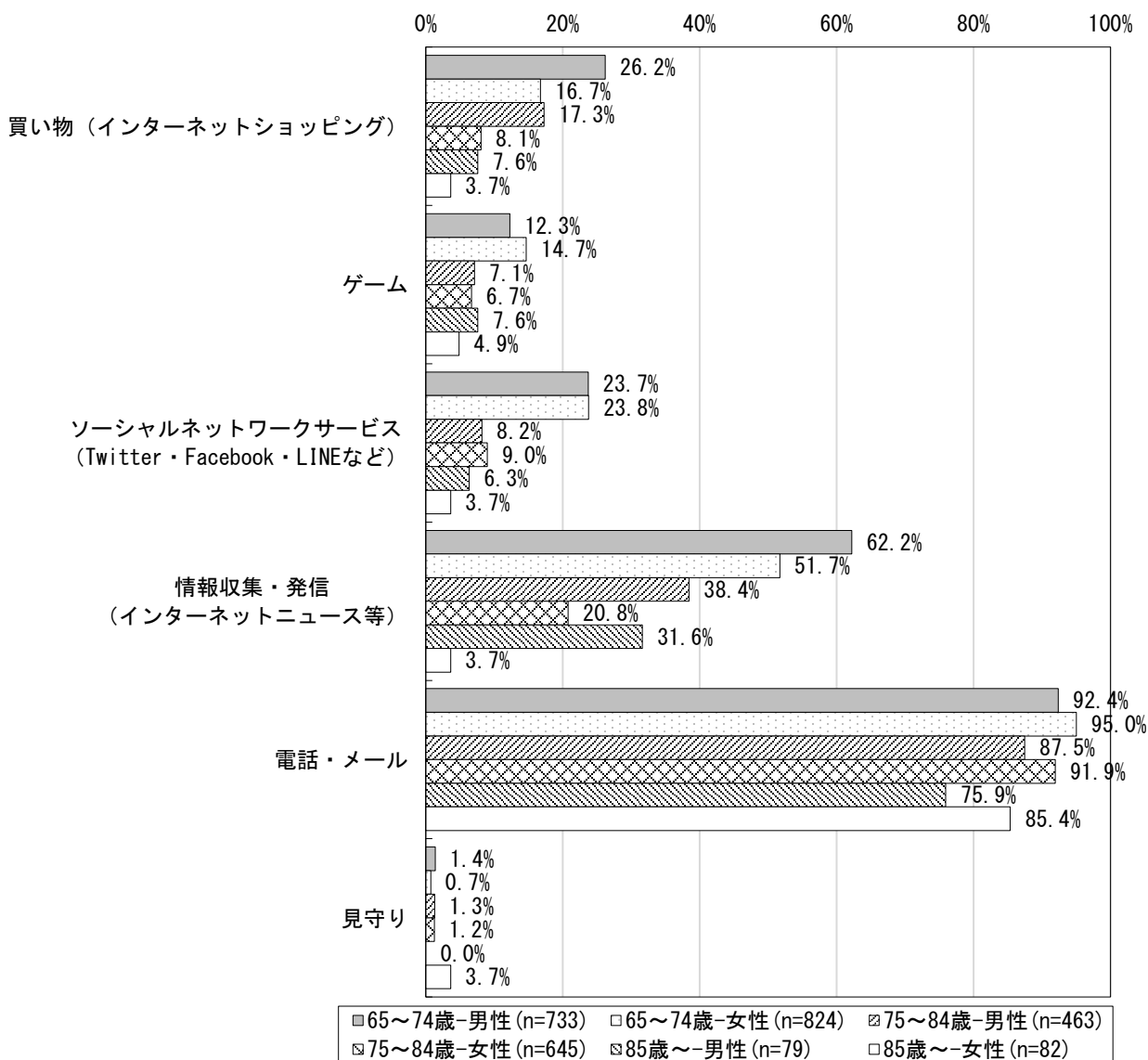
《(16) において「使用している」と回答した方のみ》

(16) ①どのようなことに活用していますか。(いくつでも)

n=2,951

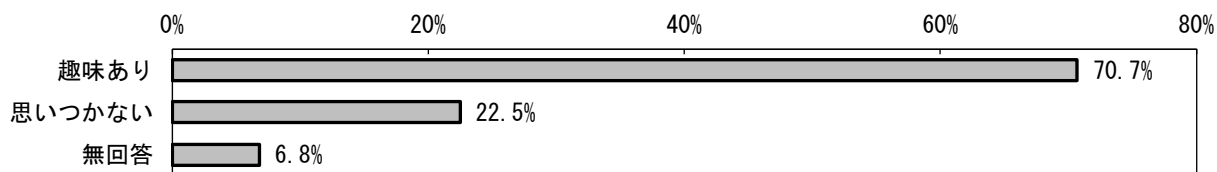


■性別・年代別



(17) 趣味はありますか。(〇は1つ)

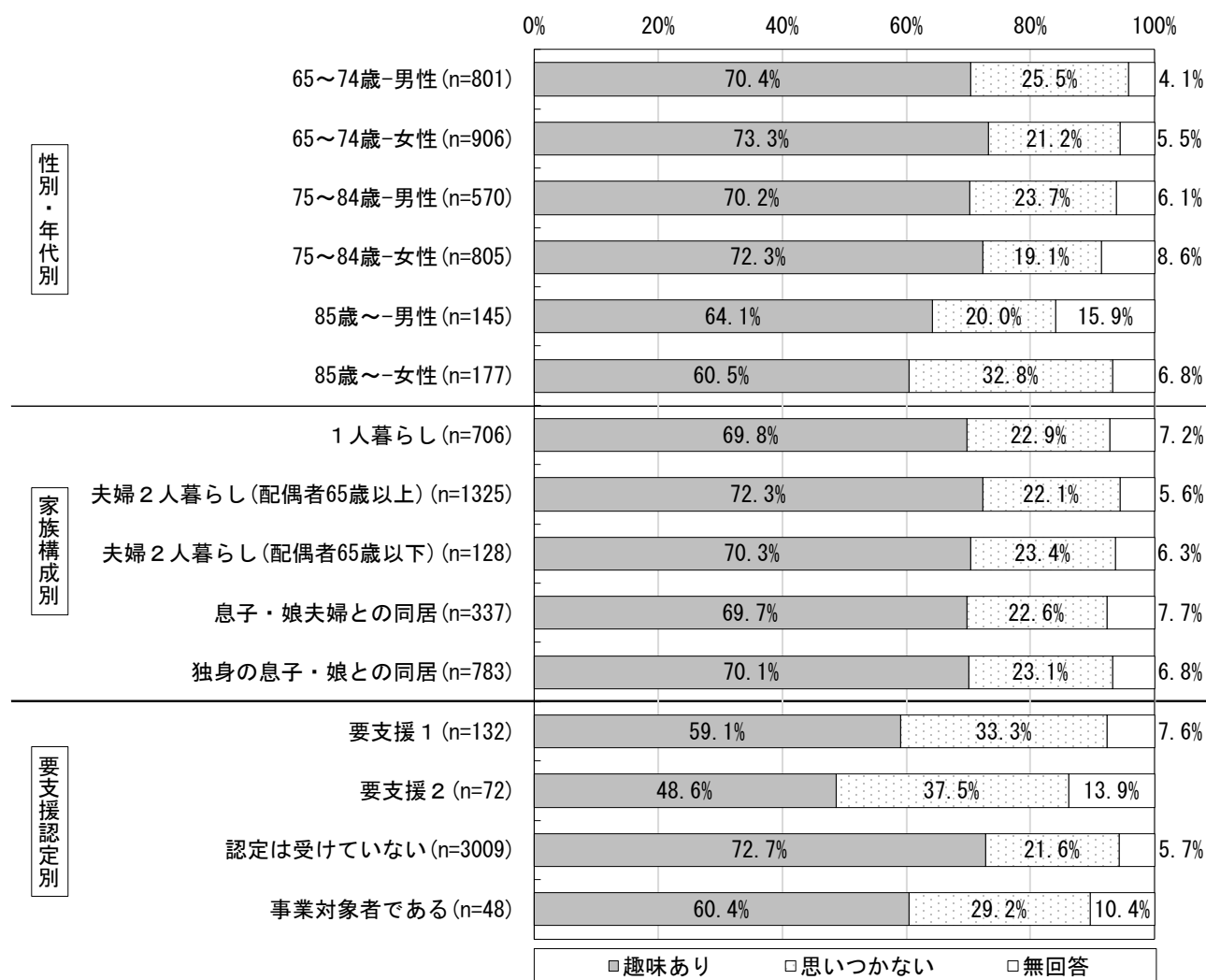
n=3,566



■趣味の内容 上位 10 位

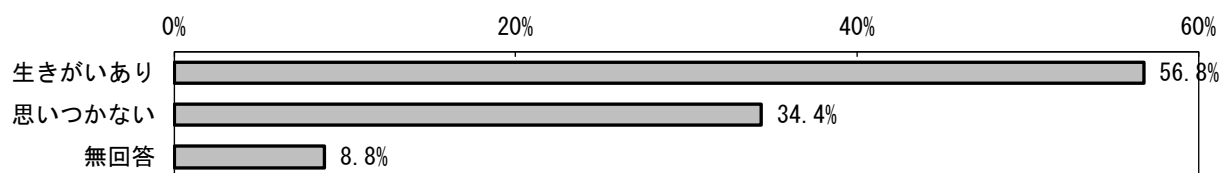
1	読書	270 件	6	カラオケ	113 件
2	手芸・編み物	147 件	7	ウォーキング	100 件
3	ゴルフ・グラウンドゴルフ	146 件	8	釣り	67 件
4	旅行	144 件	9	野菜づくり・畑仕事・家庭菜園	58 件
5	ガーデニング・園芸・花	124 件	10	囲碁・将棋	56 件

■性別・年代別、生活圏域別、要支援認定別



(18) 生きがいはありますか。(○は1つ)

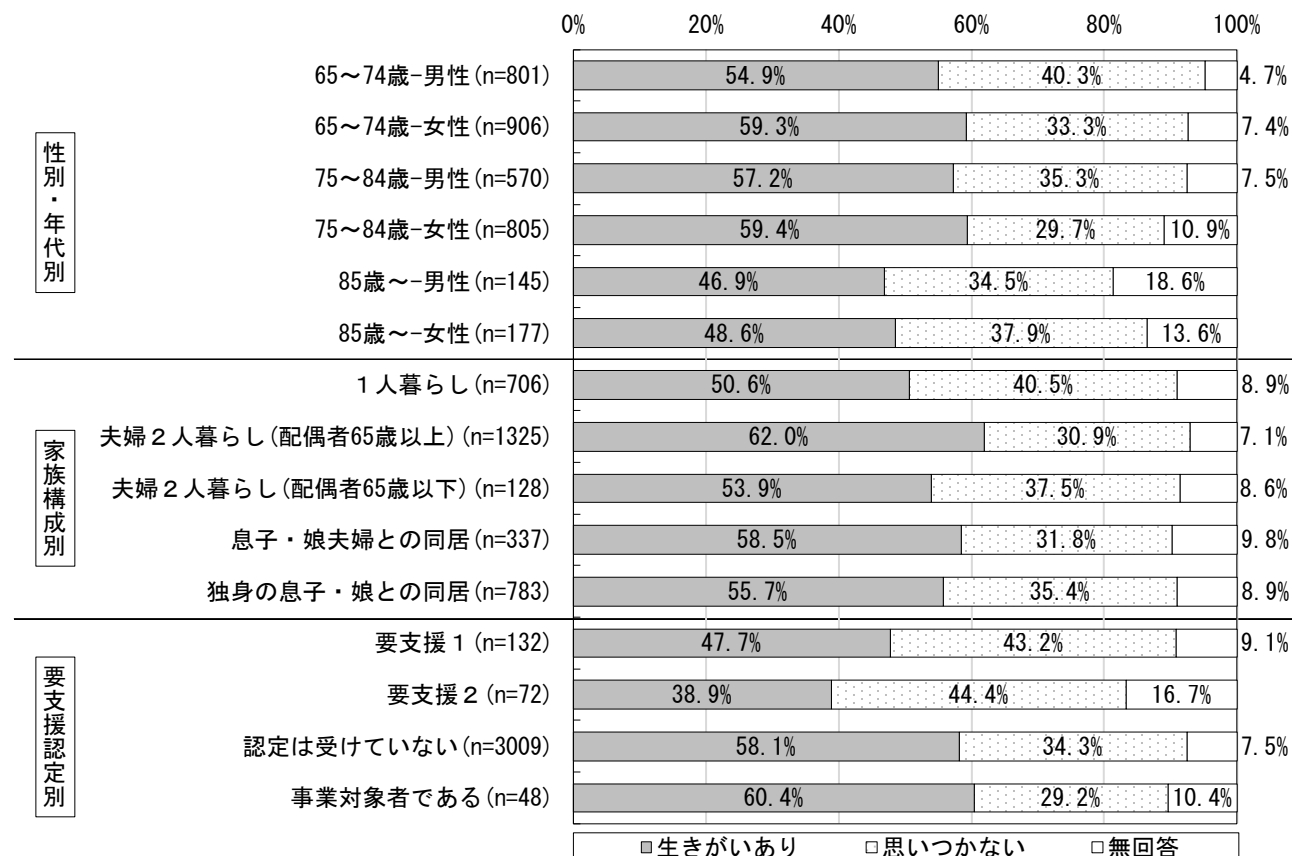
n=3,566



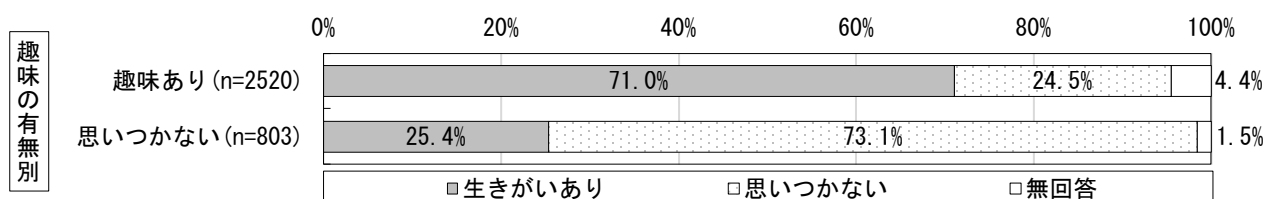
■生きがいの内容 上位 10 位

1	子・孫	275 件	6	友人との交遊	83 件
2	旅行	111 件	7	趣味	74 件
3	仕事	96 件	8	日々の生活	66 件
4	健康・長生き	95 件	9	ガーデニング・園芸・花	37 件
5	家族	87 件	10	パートナー（妻・夫）の面倒	35 件

■性別・年代別、生活圏域別、要支援認定別

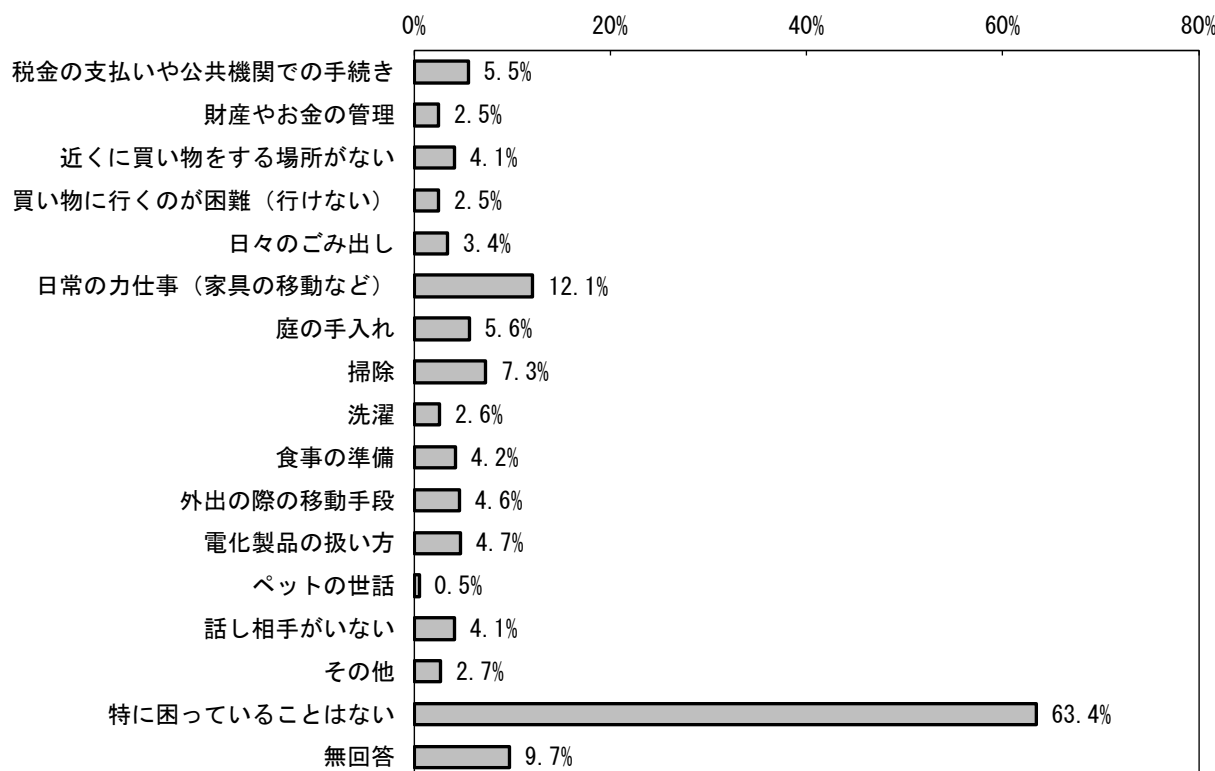


■趣味の有無別（問4（17）によるクロス集計）



(19) あなた自身の日常生活で困っていることはありますか。(いくつでも)

n=3,566



■性別・年代別 上位3位

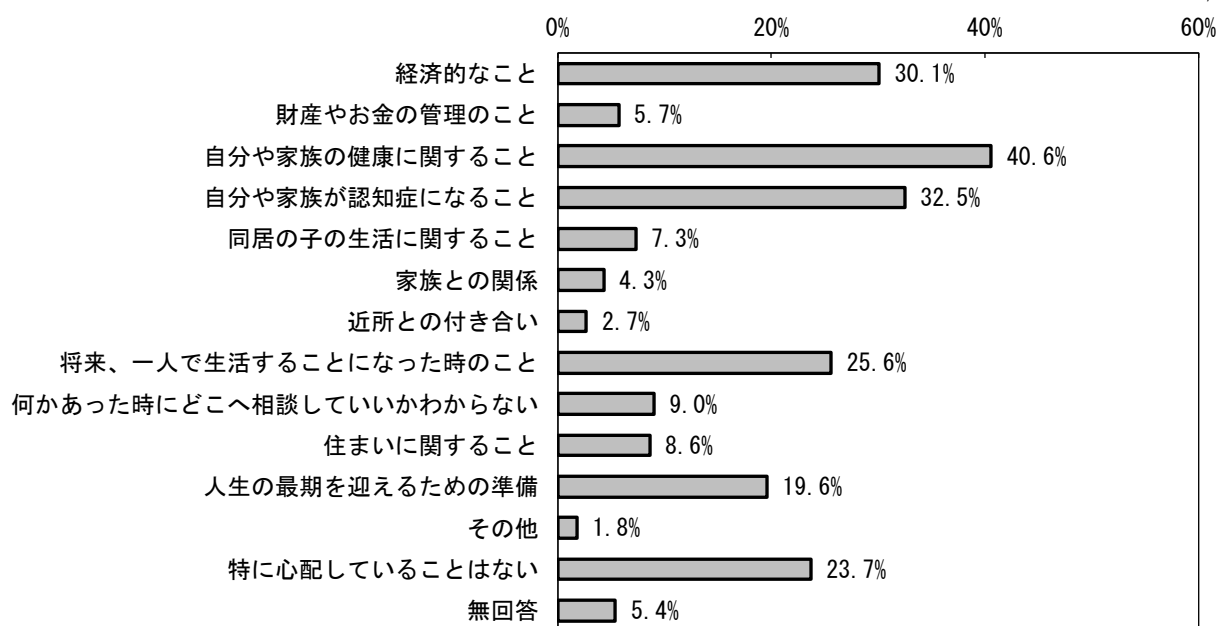
順位	65~74歳 -男性(801人)	65~74歳 -女性(906人)	75~84歳 -男性(570人)	75~84歳 -女性(805人)	85歳~ -男性(145人)	85歳~ -女性(177人)
第1位	特に困っていることはない(74.4%)	特に困っていることはない(68.3%)	特に困っていることはない(64.9%)	特に困っていることはない(54.2%)	特に困っていることはない(44.1%)	特に困っていることはない(42.4%)
第2位	税金の支払いや公共機関での手続き(5.0%)	日常の力仕事(家具の移動など)(11.9%)	掃除(9.1%)	日常の力仕事(家具の移動など)(18.3%)	日常の力仕事(家具の移動など)(20.0%)	日常の力仕事(家具の移動など)(23.7%)
第3位	日常の力仕事(家具の移動など)(4.5%)	庭の手入れ(4.2%)	日常の力仕事(家具の移動など)/食事の準備(8.4%)	掃除(9.3%)	外出の際の移動手段(15.9%)	掃除(15.8%)

■要支援認定別上位3位

順位	要支援1 (132人)	要支援2 (72人)	認定は受けていない(3009人)	事業対象者である(48人)
第1位	特に困っていることはない(31.8%)	日常の力仕事(家具の移動など)(30.6%)	特に困っていることはない(66.7%)	特に困っていることはない(60.4%)
第2位	日常の力仕事(家具の移動など)(28.8%)	掃除(27.8%)	日常の力仕事(家具の移動など)(11.1%)	日常の力仕事(家具の移動など)(12.5%)
第3位	掃除(19.7%)	外出の際の移動手段 他(25.0%)	掃除(5.9%)	掃除(10.4%)

(20) 将来の生活で心配や不安なことはありますか。(いくつでも)

n=3,566



■性別・年代別 上位3位

順位	65～74歳 -男性(801人)	65～74歳 -女性(906人)	75～84歳 -男性(570人)	75～84歳 -女性(805人)	85歳～ -男性(145人)	85歳～ -女性(177人)
第1位	自分や家族の健康に関する こと(42.4%)	自分や家族の健康に関する こと(40.0%)	自分や家族の健康に関する こと(43.2%)	自分や家族の健康に関する こと(38.6%)	自分や家族の健康に関する こと(47.6%)	自分や家族の健康に関する こと(34.5%)
第2位	経済的なこと (38.0%)	自分や家族が認知症になる こと(37.3%)	自分や家族が認知症になる こと(32.5%)	自分や家族が認知症になる こと(35.5%)	将来、一人で生活すること になった時のこと(35.2%)	自分や家族が認知症になる こと/ 特に心配していることはない
第3位	特に心配していることはない (25.1%)	経済的なこと (33.1%)	将来、一人で生活すること になった時のこと(30.4%)	経済的なこと (25.5%)	自分や家族が認知症になる こと(33.8%)	特に心配していることはない (29.9%)

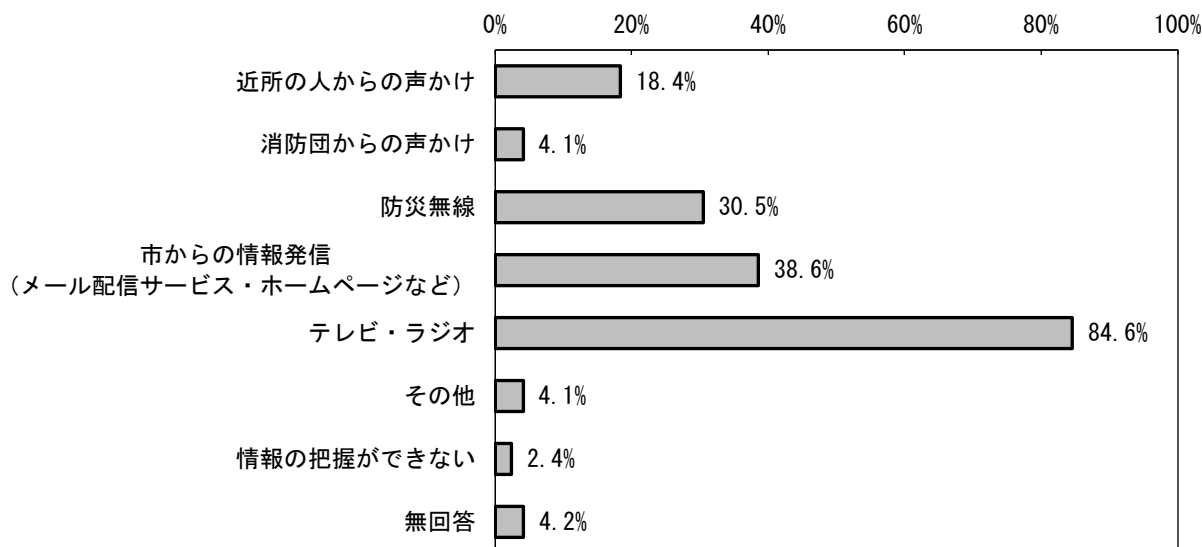
■要支援認定別 上位3位

順位	要支援1 (132人)	要支援2 (72人)	認定は受けていない (3009人)	事業対象者である (48人)
第1位	自分や家族の健康に関する こと(40.9%)	自分や家族の健康に関する こと(48.6%)	自分や家族の健康に関する こと(41.2%)	自分や家族の健康に関する こと(39.6%)
第2位	自分や家族が認知症になる こと(34.1%)	自分や家族が認知症になる こと(37.5%)	自分や家族が認知症になる こと(32.9%)	経済的なこと (37.5%)
第3位	経済的なこと (33.3%)	将来、一人で生活すること になった時のこと(29.2%)	経済的なこと (30.1%)	自分や家族が認知症になる こと(29.2%)

【問5 災害について】

(1) 避難準備情報などの防災情報をどのような方法で把握していますか。(いくつでも)

n=3,566



■性別・年代別 上位3位

順位	65~74歳 -男性(801人)	65~74歳 -女性(906人)	75~84歳 -男性(570人)	75~84歳 -女性(805人)	85歳~ -男性(145人)	85歳~ -女性(177人)
第1位	テレビ・ラジオ (86.1%)	テレビ・ラジオ (85.9%)	テレビ・ラジオ (86.8%)	テレビ・ラジオ (83.4%)	テレビ・ラジオ (76.6%)	テレビ・ラジオ (79.1%)
第2位	市からの情報発信 (40.9%)	市からの情報発信 (47.8%)	市からの情報発信 (32.8%)	市からの情報発信 (36.1%)	近所の人からの声かけ (28.3%)	近所の人からの声かけ (29.4%)
第3位	防災無線 (34.6%)	防災無線 (34.1%)	防災無線 (28.9%)	防災無線 (27.3%)	防災無線 (26.9%)	市からの情報発信 (23.2%)

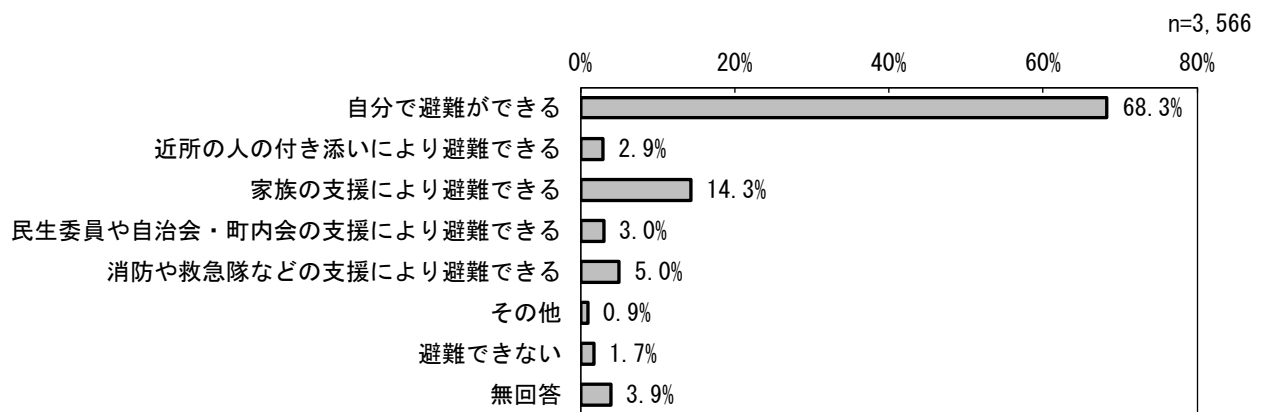
■家族構成別 上位3位

順位	1人暮らし (706人)	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (1325人)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (128人)	息子・娘夫婦との同居 (337人)	独身の息子・娘との同居 (783人)
第1位	テレビ・ラジオ (84.4%)	テレビ・ラジオ (85.1%)	テレビ・ラジオ (82.0%)	テレビ・ラジオ (84.6%)	テレビ・ラジオ (85.7%)
第2位	市からの情報発信 (34.8%)	市からの情報発信 (41.6%)	市からの情報発信 (43.8%)	市からの情報発信 (37.7%)	市からの情報発信 (37.4%)
第3位	防災無線 (23.5%)	防災無線 (32.1%)	防災無線 (36.7%)	防災無線 (29.1%)	防災無線 (32.8%)

■生活圏域別 上位3位

順位	第1圏域 (687人)	第2圏域 (676人)	第3圏域 (670人)	第4圏域 (669人)	第5圏域 (624人)
第1位	テレビ・ラジオ (82.5%)	テレビ・ラジオ (86.2%)	テレビ・ラジオ (84.2%)	テレビ・ラジオ (85.1%)	テレビ・ラジオ (86.5%)
第2位	市からの情報発信 (39.7%)	市からの情報発信 (40.8%)	市からの情報発信 (40.9%)	市からの情報発信 (39.5%)	市からの情報発信 (33.2%)
第3位	防災無線 (33.0%)	防災無線 (25.0%)	防災無線 (29.1%)	防災無線 (33.9%)	防災無線 (32.5%)

(2) 台風による水害などで避難が必要になったとき、あなたはどのような支援があれば避難ができますか (○は1つ)



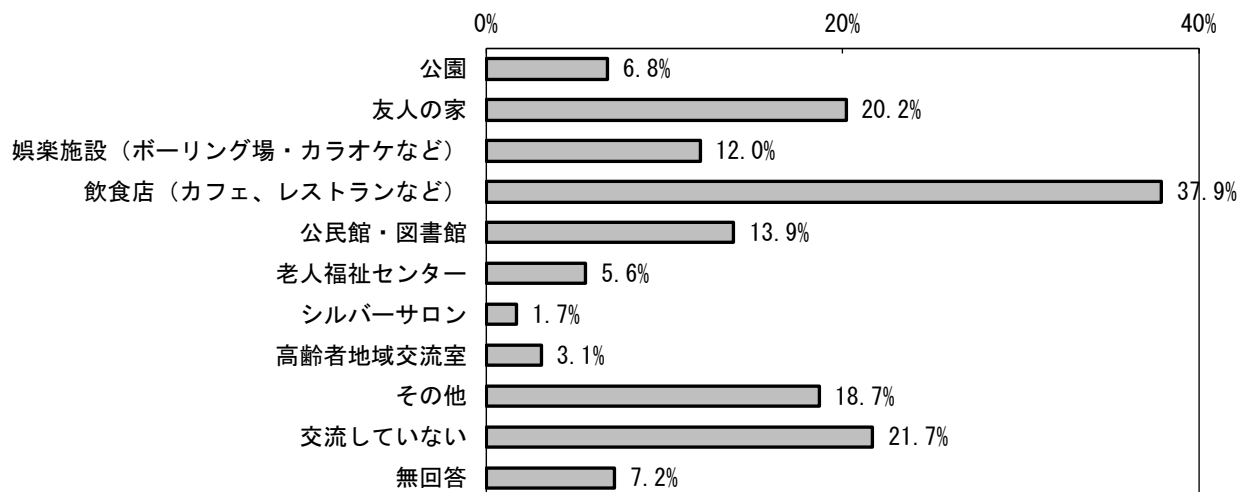
■「避難できない」の回答の理由

No.	カテゴリー名	n	%
1	歩行が困難	9	18.0%
2	介護・介助が必要な家族がいる	8	16.0%
3	ペットがいる	7	14.0%
4	自宅が十分に安全である	7	14.0%
5	病気	4	8.0%
6	避難場所を知らない	2	4.0%
7	交通手段がない	2	4.0%
8	落ち着いて対応する自信がない	2	4.0%
9	その他	9	18.0%
	回答者数	50	100.0%

【問6 地域の活動について】

(1) あなたは、日頃どのような場所で、友人・知人などの他者と交流していますか。(いくつでも)

n=3,566



■性別・年代別 上位3位

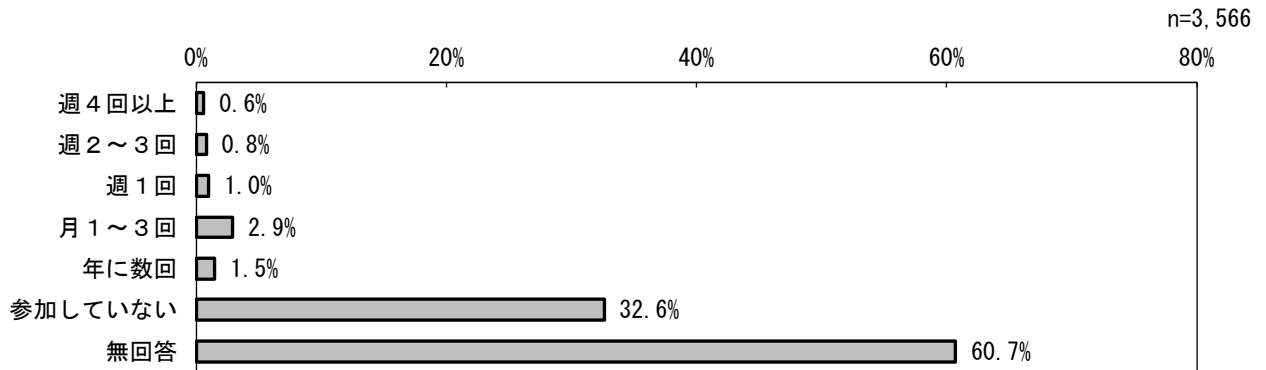
順位	65~74歳 -男性(801人)	65~74歳 -女性(906人)	75~84歳 -男性(570人)	75~84歳 -女性(805人)	85歳~ -男性(145人)	85歳~ -女性(177人)
第1位	交流していない(31.1%)	飲食店(カフェ、レストランなど)(54.4%)	飲食店(カフェ、レストランなど) / 交流していない(28.4%)	飲食店(カフェ、レストランなど)(42.1%)	交流していない(37.9%)	友人の家(25.4%)
第2位	飲食店(カフェ、レストランなど)(30.6%)	友人の家(25.7%)		友人の家(29.6%)	公民館・図書館(13.8%)	交流していない(19.2%)
第3位	娯楽施設(ボーリング場・カラオケなど)(12.2%)	公民館・図書館(16.0%)	娯楽施設(ボーリング場・カラオケなど)(16.0%)	公民館・図書館(19.6%)	老人福祉センター(11.7%)	飲食店(カフェ、レストランなど)(17.5%)

■生活圏域別 上位3位

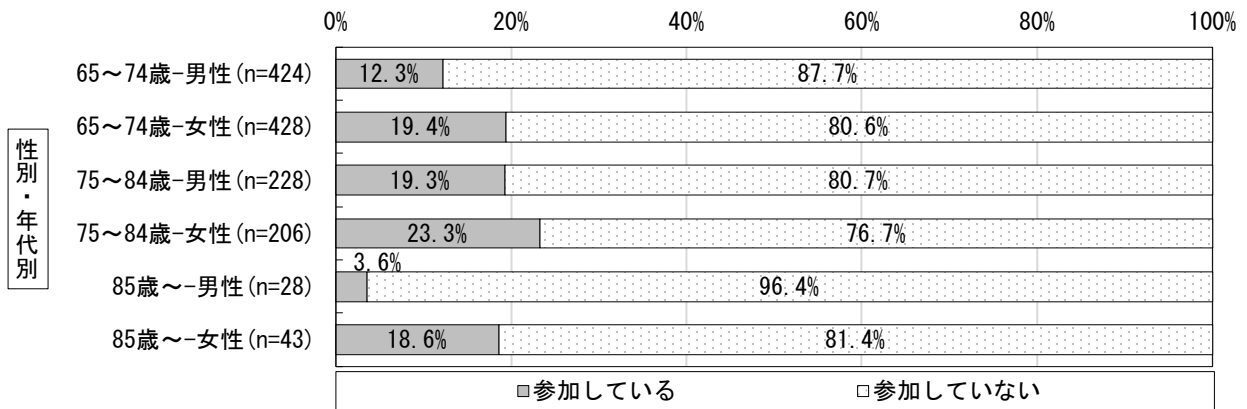
順位	第1圏域 (687人)	第2圏域 (676人)	第3圏域 (670人)	第4圏域 (669人)	第5圏域 (624人)
第1位	飲食店(カフェ、レストランなど)(36.2%)	飲食店(カフェ、レストランなど)(42.8%)	飲食店(カフェ、レストランなど)(40.0%)	飲食店(カフェ、レストランなど)(34.8%)	飲食店(カフェ、レストランなど)(35.7%)
第2位	交流していない(22.0%)	交流していない(21.6%)	友人の家(20.7%)	交流していない(21.8%)	交流していない(25.8%)
第3位	友人の家(21.1%)	友人の家(17.8%)	交流していない(19.7%)	友人の家(21.5%)	友人の家(19.9%)

(2) 以下のような会・グループなどにどのくらいの頻度で参加していますか。※①～⑧それぞれに回答してください。(1～6の該当する回数に○をしてください)

①ボランティアのグループ

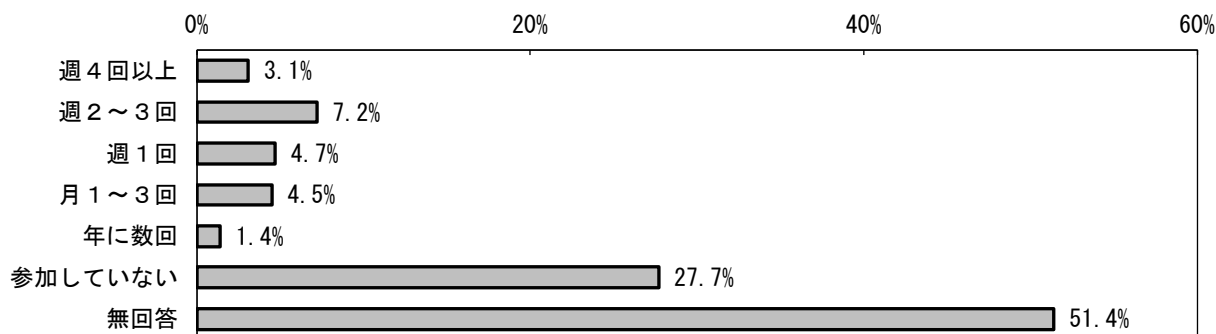


■生活圏域別 (“参加している” “参加していない” で区分、「無回答」を除いた回答で割合を算出)

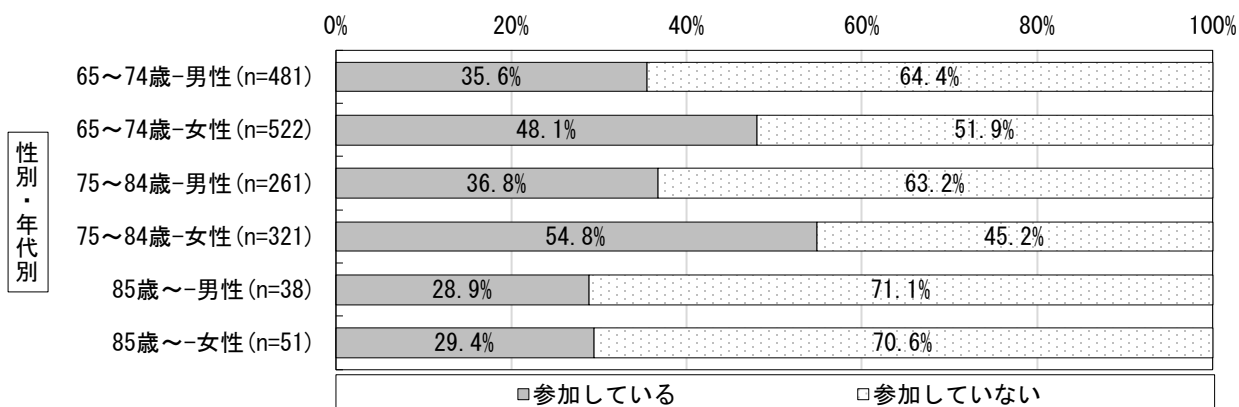


②スポーツ関係のグループやクラブ

n=3,566

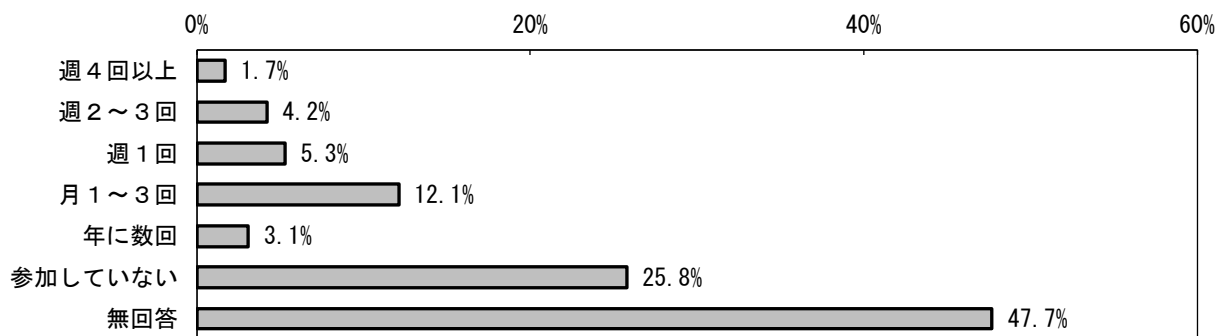


■生活圏域別 (“参加している” “参加していない” で区分、「無回答」を除いた回答で割合を算出)

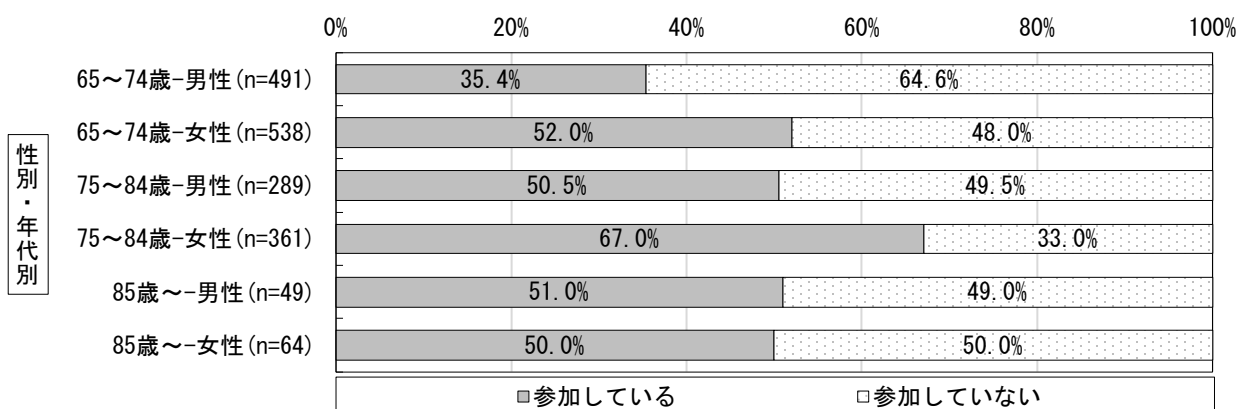


③趣味関係のグループ

n=3,566

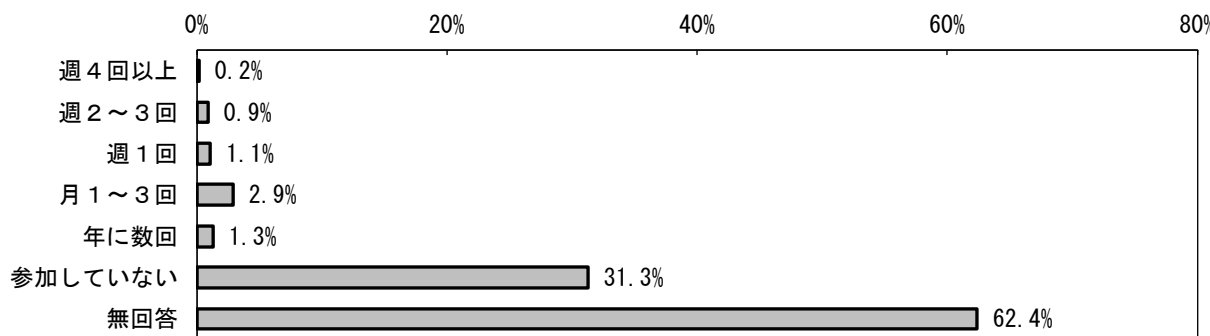


■生活圏域別 (“参加している” “参加していない” で区分、「無回答」を除いた回答で割合を算出)

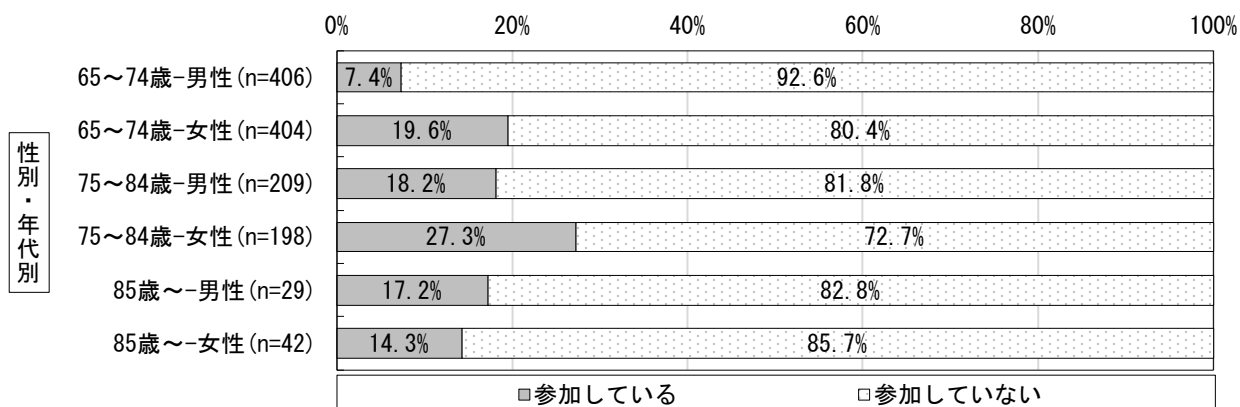


④ 学習・教養サークル

n=3,566

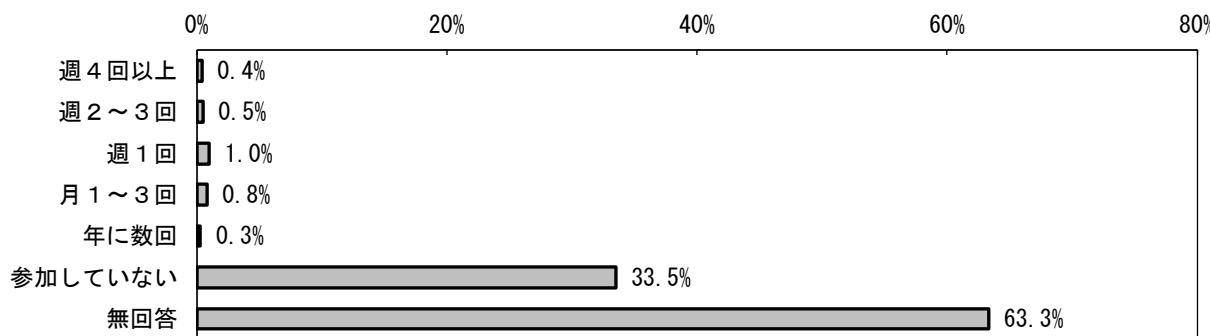


■ 生活圏域別 (“参加している” “参加していない” で区分、「無回答」を除いた回答で割合を算出)

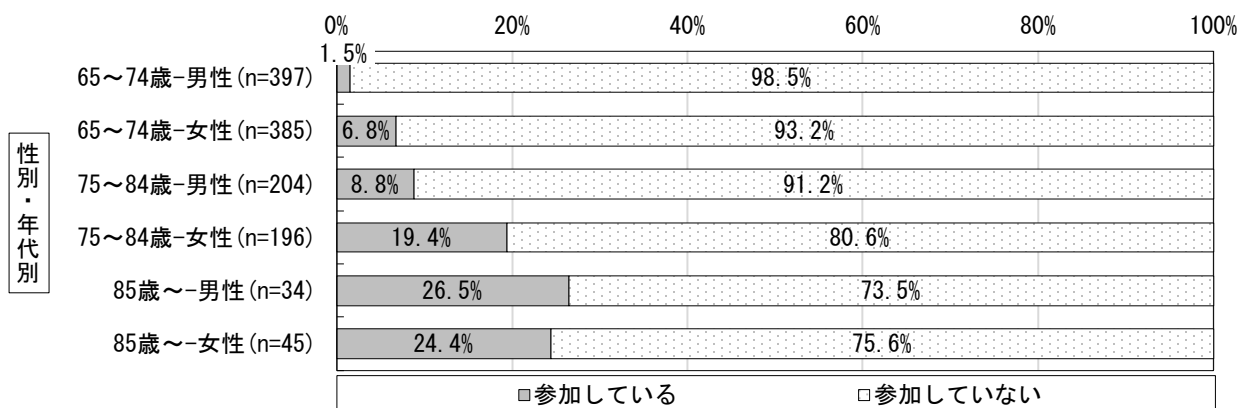


⑤ 介護予防のための通いの場

n=3,566

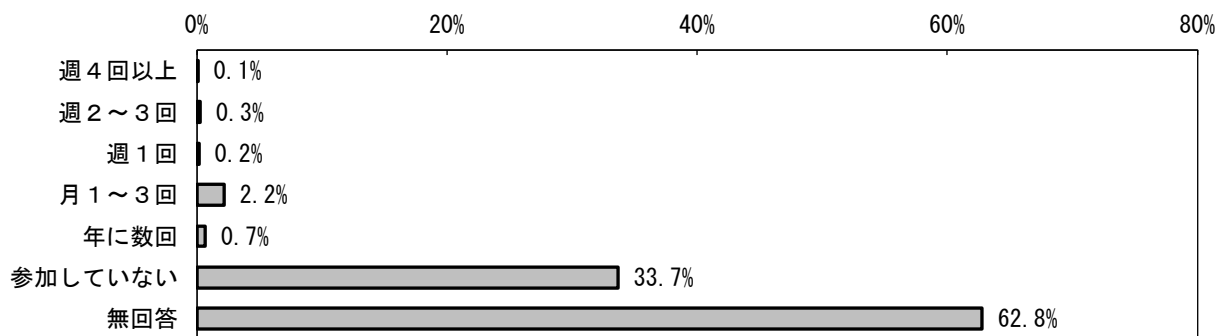


■ 生活圏域別 (“参加している” “参加していない” で区分、「無回答」を除いた回答で割合を算出)

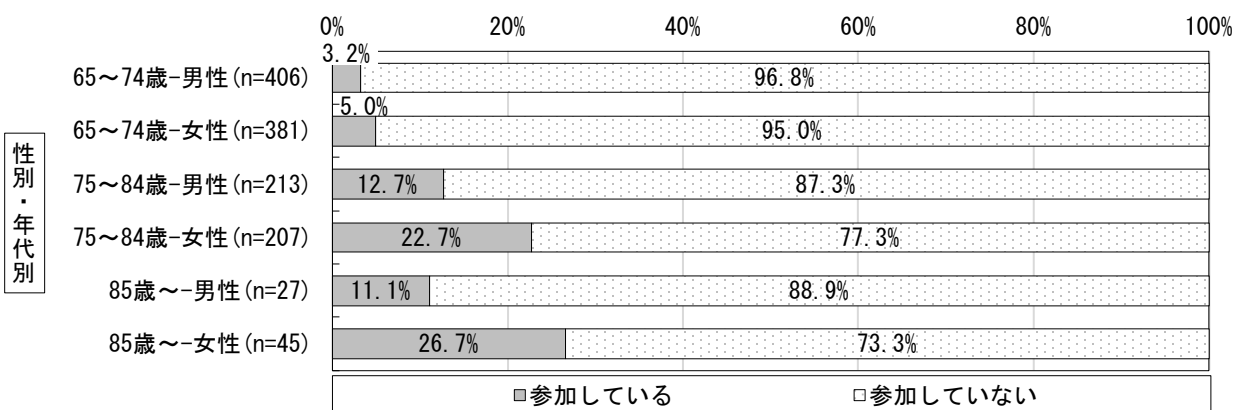


⑥老人クラブ

n=3,566

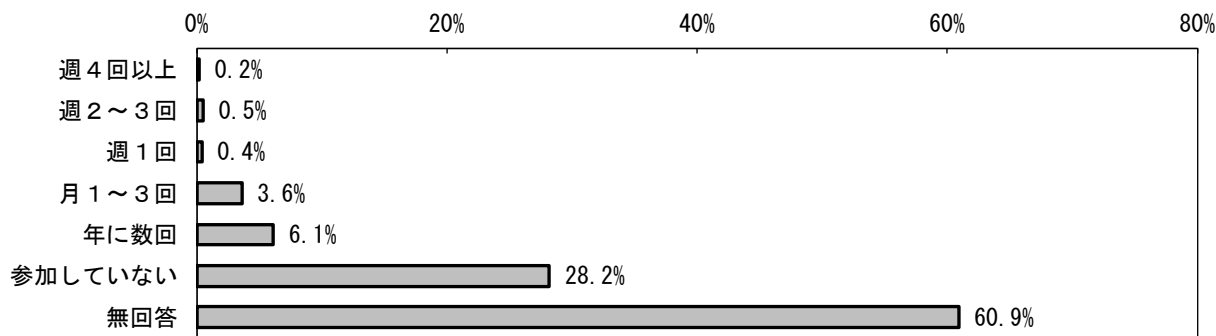


■生活圏域別（“参加している”“参加していない”で区分、「無回答」を除いた回答で割合を算出）

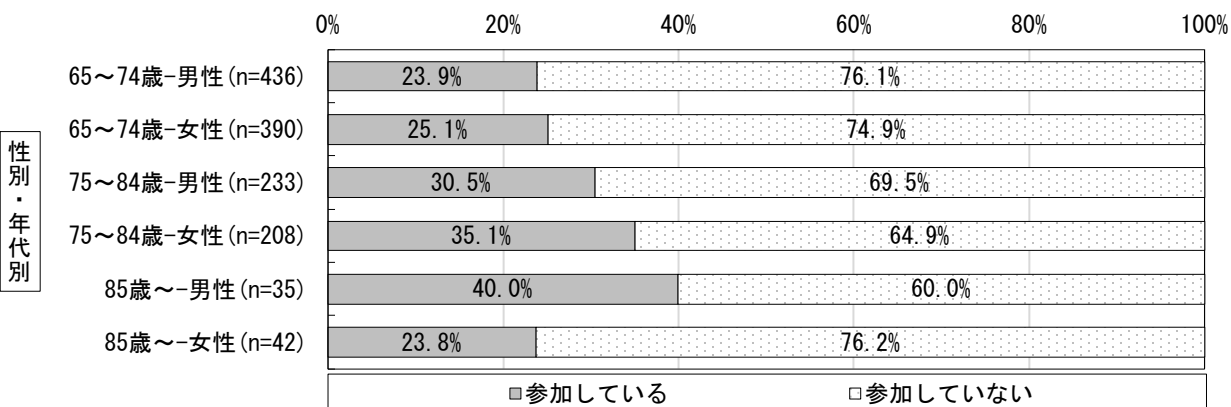


⑦自治会・町内会

n=3,566

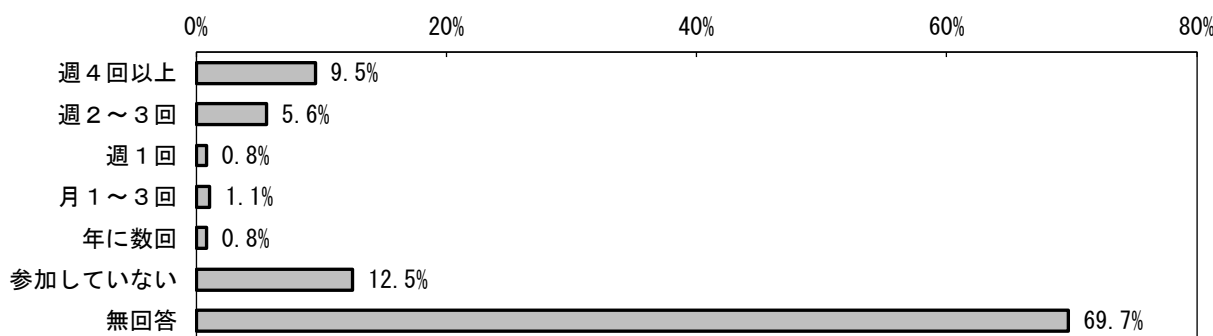


■生活圏域別（“参加している”“参加していない”で区分、「無回答」を除いた回答で割合を算出）

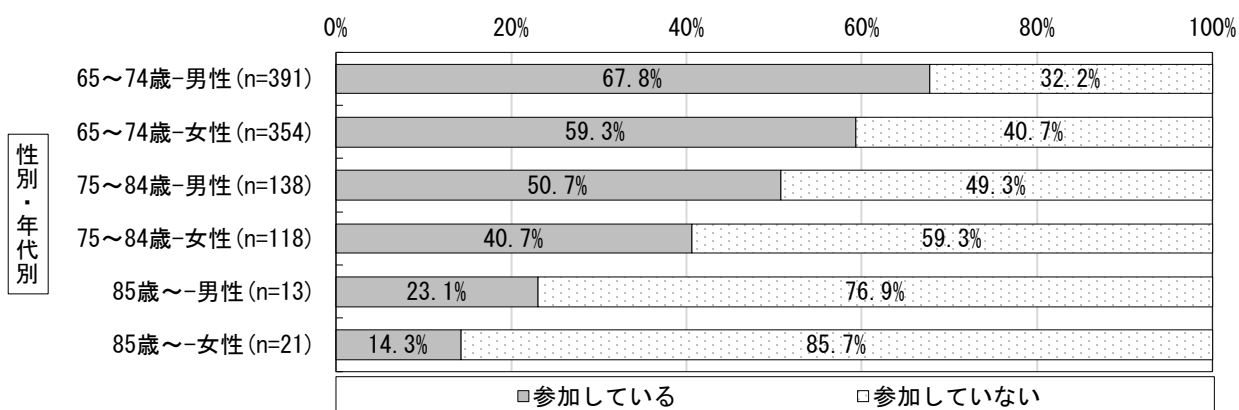


⑧収入のある仕事

n=3,566

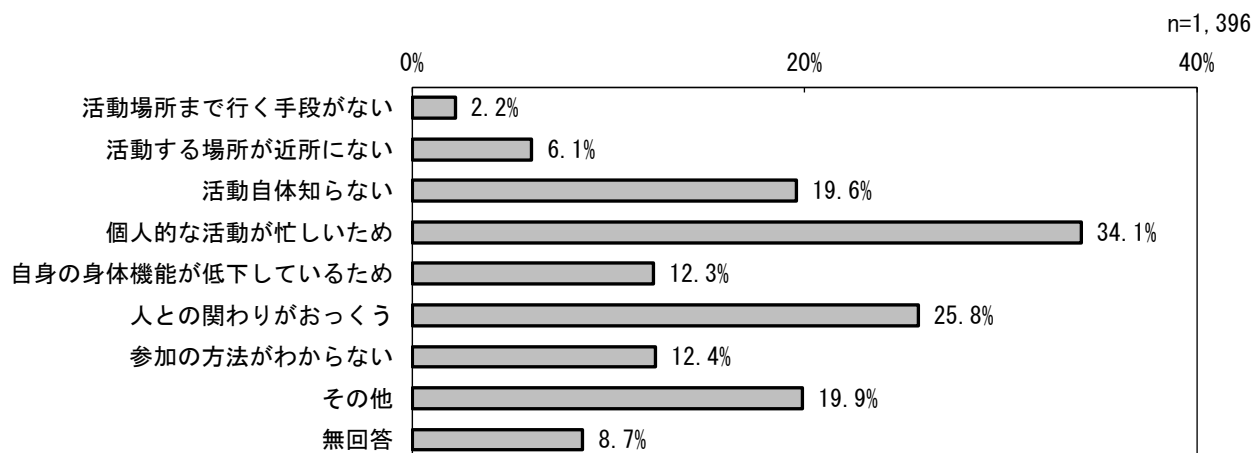


■生活圏域別（“参加している”“参加していない”で区分、「無回答」を除いた回答で割合を算出）



《(2) ①～⑦に掲げる地域での活動への参加が、「年に数回」、「参加していない」と答えた方のみ》

(2) ①会やグループなどの地域での活動への参加が少ない(していない)のはなぜですか。(いくつかでも)



■性別・年代別 上位3位

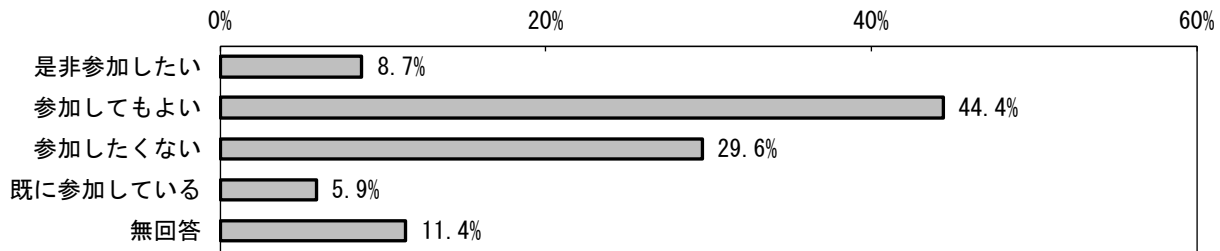
順位	65～74歳 -男性(430人)	65～74歳 -女性(407人)	75～84歳 -男性(229人)	75～84歳 -女性(202人)	85歳～ -男性(39人)	85歳～ -女性(41人)
第1位	個人的な活動が忙しいため (41.9%)	個人的な活動が忙しいため (37.6%)	人との関わりがおっくう (31.0%)	人との関わりがおっくう (26.7%)	自身の身体機能が低下しているため (41.0%)	自身の身体機能が低下しているため (51.2%)
第2位	人との関わりがおっくう (27.4%)	人との関わりがおっくう (21.1%)	個人的な活動が忙しいため (27.5%)	個人的な活動が忙しいため / 自身の身体機能が低下しているため (21.8%)	人との関わりがおっくう (30.8%)	人との関わりがおっくう (24.4%)
第3位	活動自体知らない (20.2%)	活動自体知らない (19.4%)	活動自体知らない (20.1%)		活動自体知らない (25.6%)	参加の方法がわからない (22.0%)

■生活圏域別 上位3位

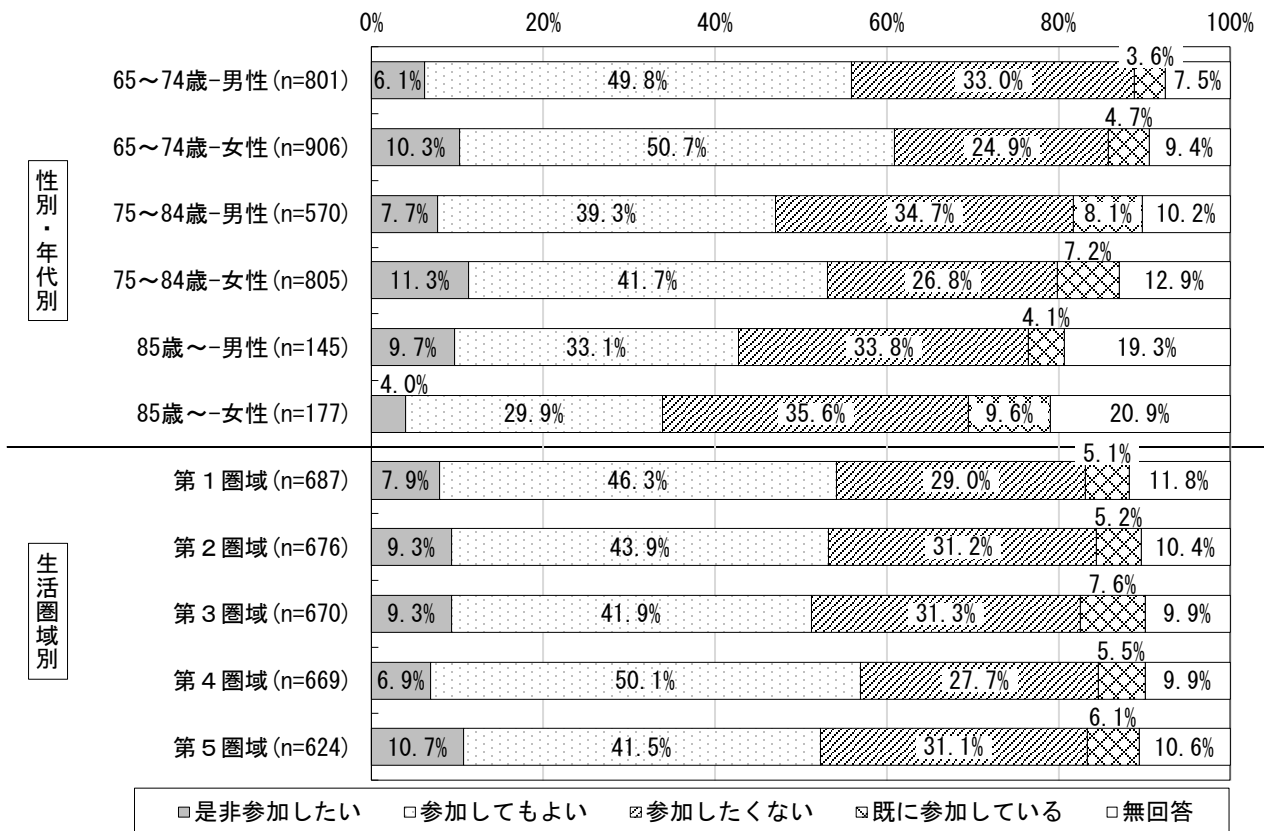
順位	第1圏域 (280人)	第2圏域 (285人)	第3圏域 (257人)	第4圏域 (272人)	第5圏域 (234人)
第1位	個人的な活動が忙しいため (32.5%)	個人的な活動が忙しいため (33.7%)	個人的な活動が忙しいため (35.8%)	個人的な活動が忙しいため (30.9%)	個人的な活動が忙しいため (34.6%)
第2位	人との関わりがおっくう (25.4%)	人との関わりがおっくう (27.4%)	人との関わりがおっくう (24.5%)	人との関わりがおっくう (25.7%)	人との関わりがおっくう (26.9%)
第3位	活動自体知らない (17.5%)	活動自体知らない (20.7%)	活動自体知らない (20.2%)	活動自体知らない (19.9%)	活動自体知らない (20.1%)

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

n=3,566

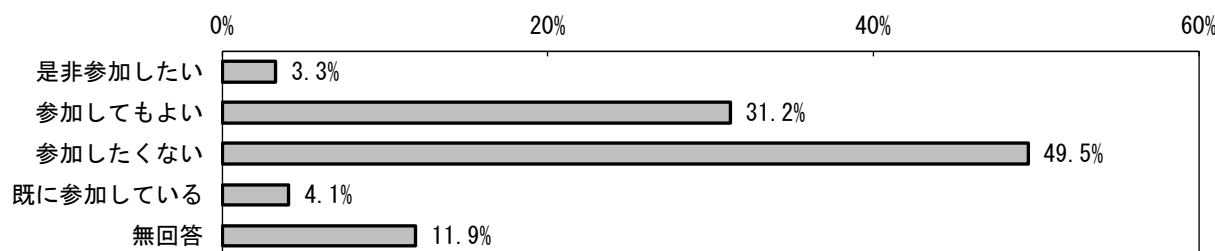


■性別・年代別、生活圏域別

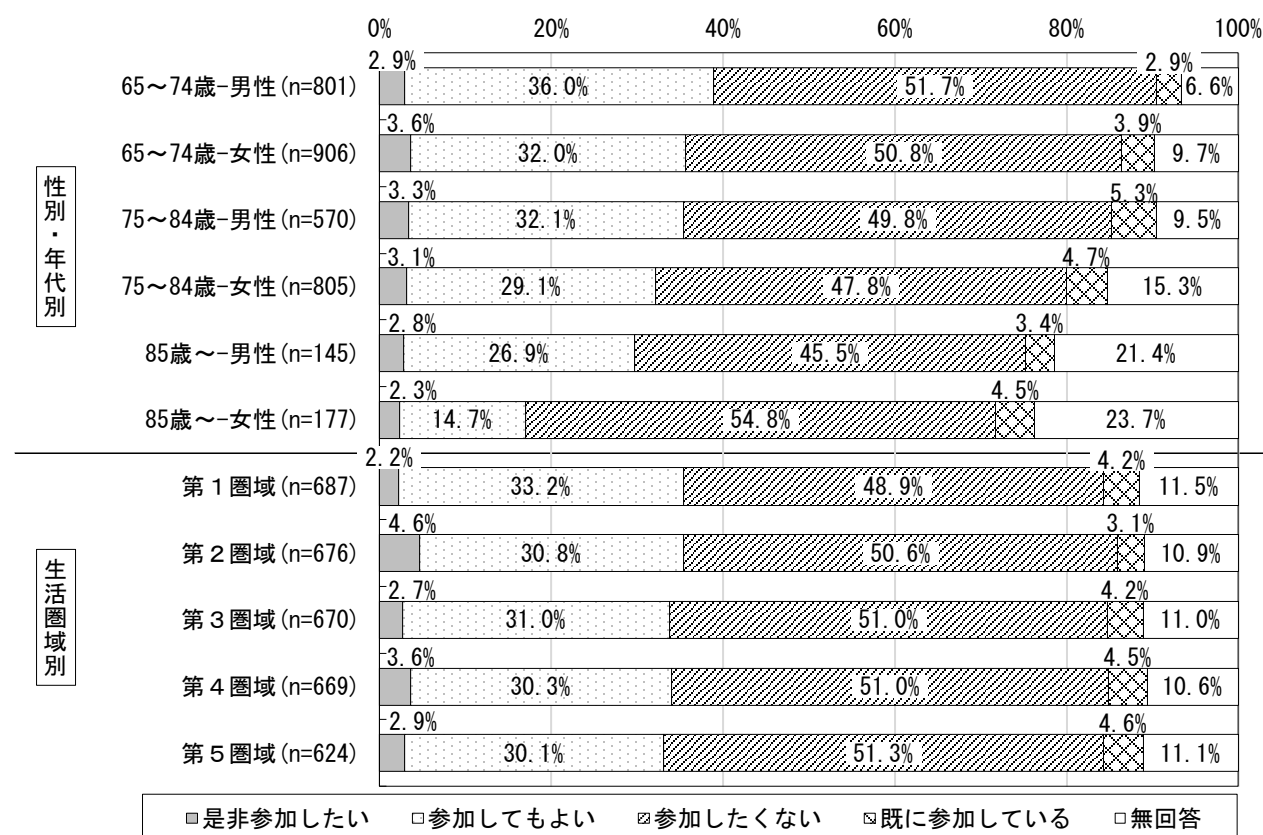


(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○は1つ）

n=3,566

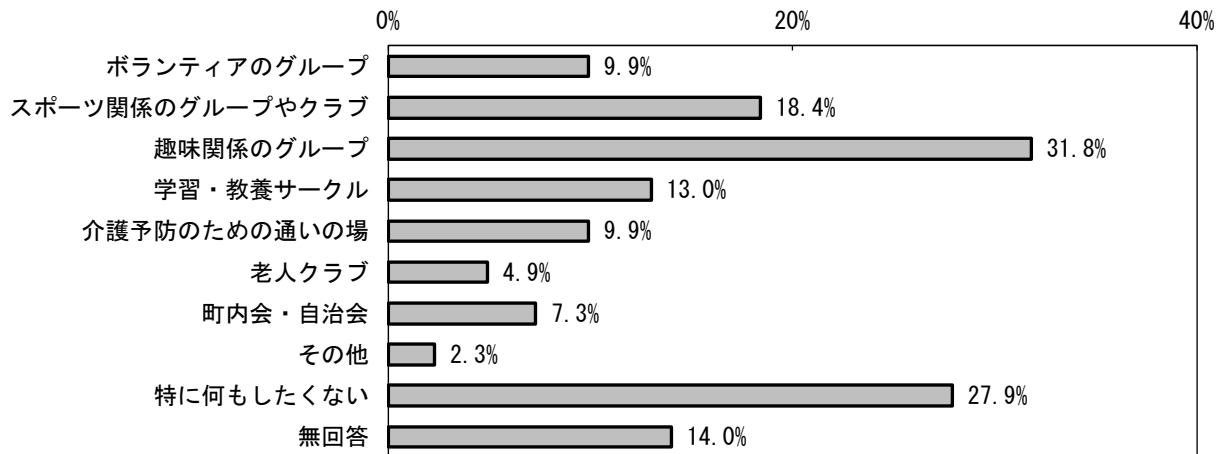


■性別・年代別、生活圏域別



(5) あなたが、今後、参加したい地域活動をお答えください。(いくつでも)

n=3,566



■性別・年代別 上位3位

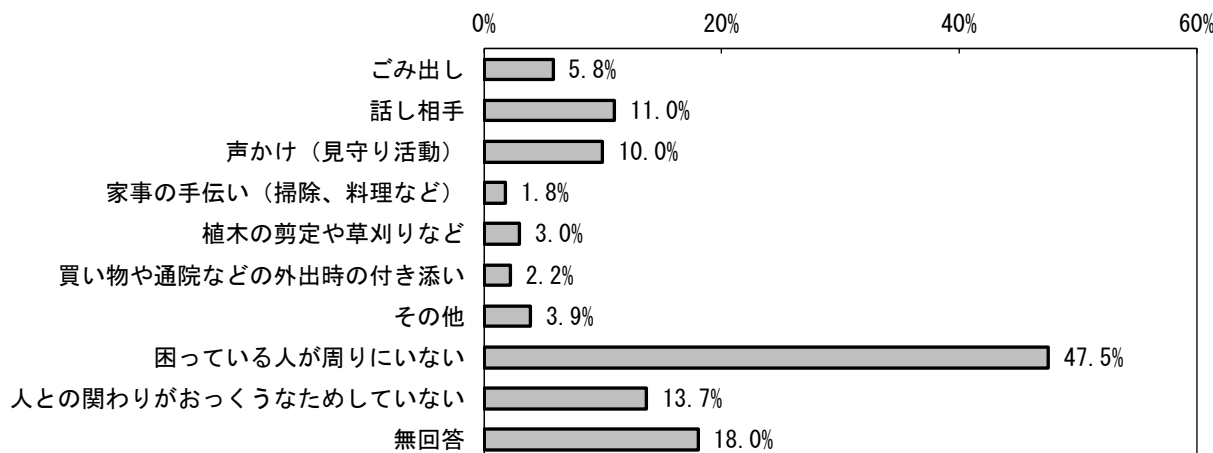
順位	65~74歳 -男性(801人)	65~74歳 -女性(906人)	75~84歳 -男性(570人)	75~84歳 -女性(805人)	85歳~ -男性(145人)	85歳~ -女性(177人)
第1位	趣味関係のグループ (33.5%)	趣味関係のグループ (37.3%)	特に何もしたくない (32.5%)	趣味関係のグループ (28.9%)	趣味関係のグループ (30.3%)	特に何もしたくない (32.8%)
第2位	特に何もしたくない (33.2%)	スポーツ関係のグループやクラブ (23.2%)	趣味関係のグループ (30.7%)	特に何もしたくない (25.2%)	特に何もしたくない (29.7%)	趣味関係のグループ (16.4%)
第3位	スポーツ関係のグループやクラブ (23.5%)	特に何もしたくない (23.1%)	スポーツ関係のグループやクラブ (16.8%)	介護予防のための通いの場 (15.3%)	介護予防のための通いの場 (10.3%)	介護予防のための通いの場 (11.9%)

■生活圏域別 上位3位

順位	第1圏域 (687人)	第2圏域 (676人)	第3圏域 (670人)	第4圏域 (669人)	第5圏域 (624人)
第1位	趣味関係のグループ (32.8%)	趣味関係のグループ (33.3%)	特に何もしたくない (31.3%)	趣味関係のグループ (32.7%)	趣味関係のグループ (30.9%)
第2位	特に何もしたくない (28.8%)	特に何もしたくない (27.7%)	趣味関係のグループ (29.9%)	特に何もしたくない (26.0%)	特に何もしたくない (28.7%)
第3位	スポーツ関係のグループやクラブ (18.9%)	スポーツ関係のグループやクラブ (22.0%)	スポーツ関係のグループやクラブ (17.0%)	スポーツ関係のグループやクラブ (17.0%)	スポーツ関係のグループやクラブ (17.5%)

(6) あなたは、お住いの地域で手助けなどを必要としている方に対して、なにか支援をしていますか。(いくつでも)

n=3,566



■性別・年代別 上位3位

順位	65~74歳 -男性(801人)	65~74歳 -女性(906人)	75~84歳 -男性(570人)	75~84歳 -女性(805人)	85歳~ -男性(145人)	85歳~ -女性(177人)
第1位	困っている人が周りにいない(54.4%)	困っている人が周りにいない(54.9%)	困っている人が周りにいない(38.1%)	困っている人が周りにいない(45.0%)	困っている人が周りにいない(30.3%)	困っている人が周りにいない(36.2%)
第2位	人との関わりがおっくうなためしていない(20.2%)	話し相手(13.0%)	人との関わりがおっくうなためしていない(18.1%)	話し相手(14.7%)	人との関わりがおっくうなためしていない(21.4%)	人との関わりがおっくうなためしていない(11.9%)
第3位	声かけ(見守り活動)(8.6%)	声かけ(見守り活動)(11.6%)	声かけ(見守り活動)(10.4%)	声かけ(見守り活動)(10.8%)	声かけ(見守り活動)(7.6%)	話し相手(7.3%)

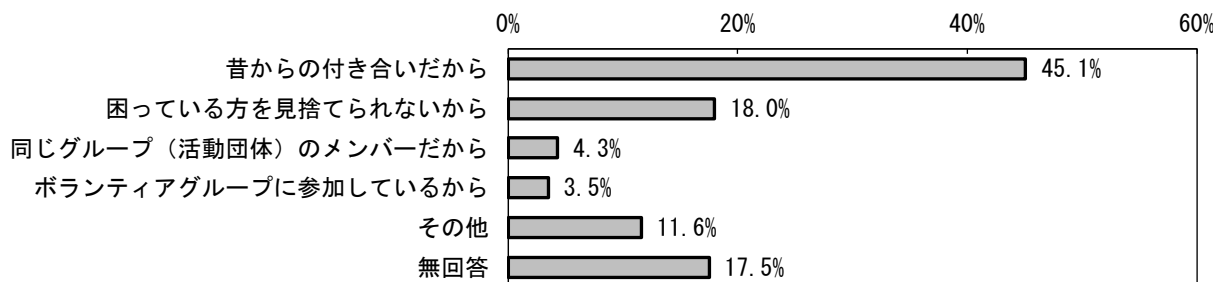
■生活圏域別 上位3位

順位	第1圏域 (687人)	第2圏域 (676人)	第3圏域 (670人)	第4圏域 (669人)	第5圏域 (624人)
第1位	困っている人が周りにいない(47.2%)	困っている人が周りにいない(47.2%)	困っている人が周りにいない(50.7%)	困っている人が周りにいない(47.1%)	困っている人が周りにいない(47.9%)
第2位	人との関わりがおっくうなためしていない(15.6%)	人との関わりがおっくうなためしていない(14.8%)	人との関わりがおっくうなためしていない(10.9%)	人との関わりがおっくうなためしていない(13.5%)	人との関わりがおっくうなためしていない(15.7%)
第3位	話し相手(12.2%)	話し相手(10.1%)	話し相手、声かけ(見守り活動)(10.4%)	話し相手(11.5%)	話し相手(10.6%)

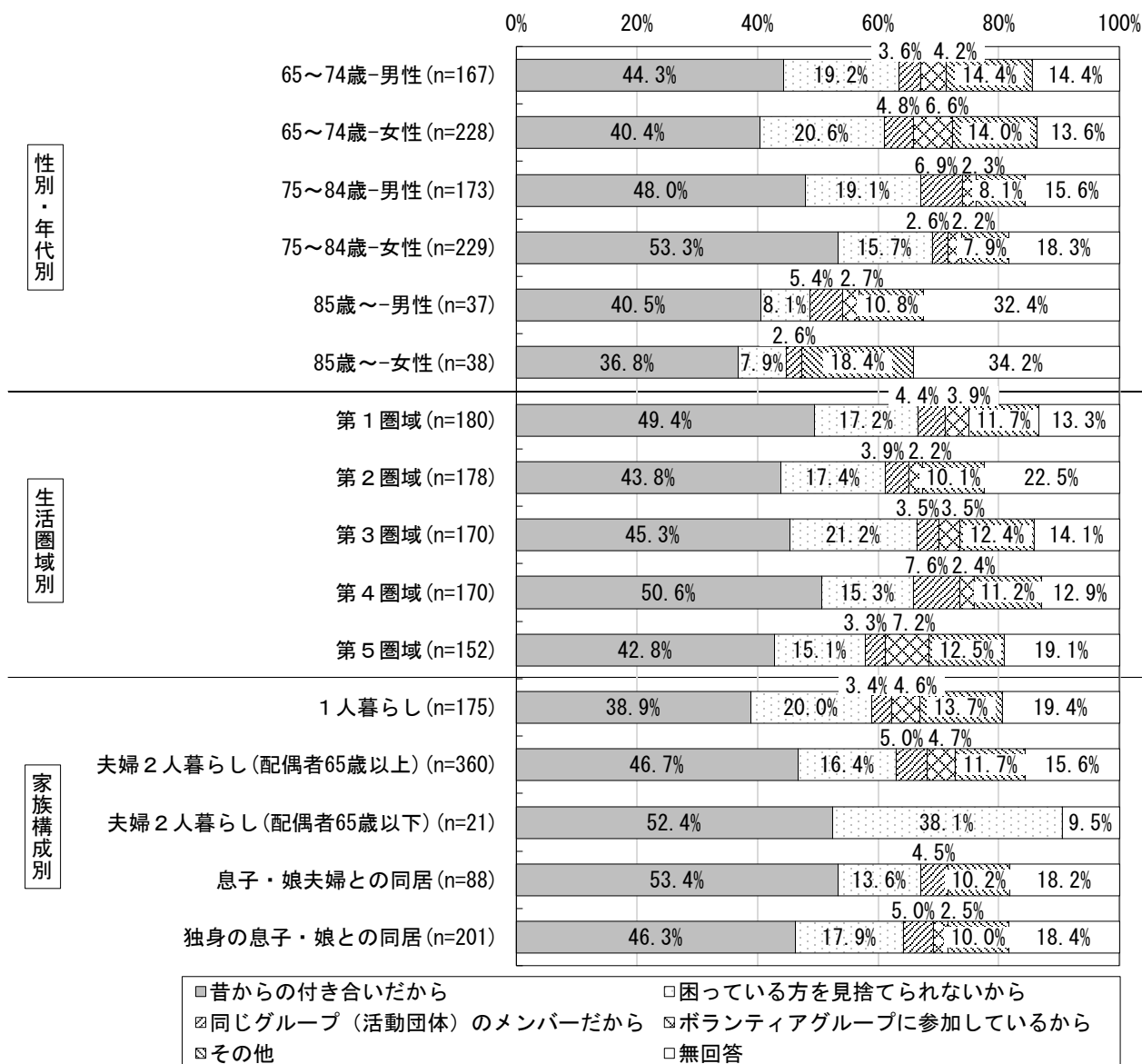
《(6) においていずれかの支援をしていると回答した方のみ》

(6) ①どのようなきっかけでそのような活動をはじめましたか。(〇は1つ)

n=921

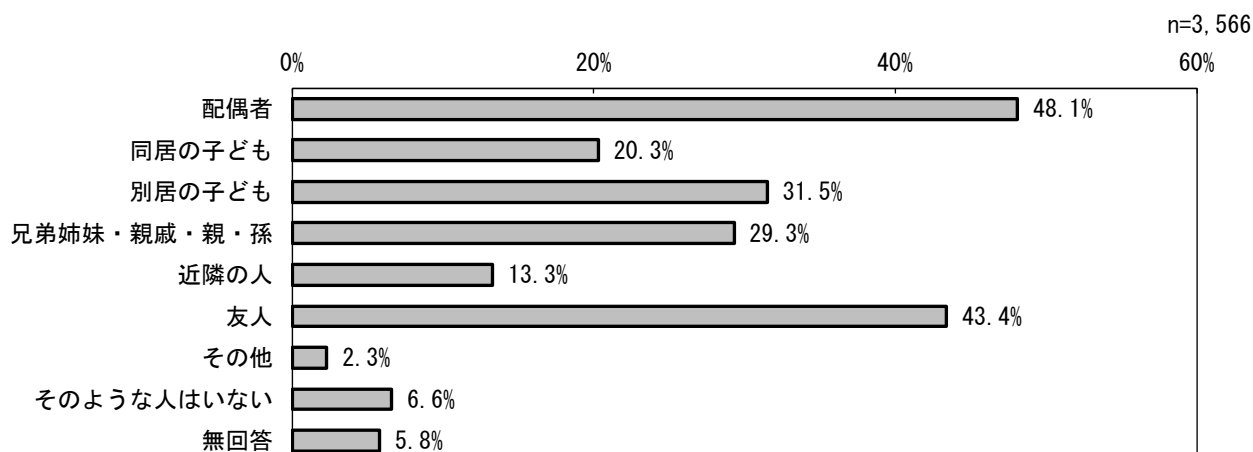


■性別・年代別、生活圏域別、家族構成別

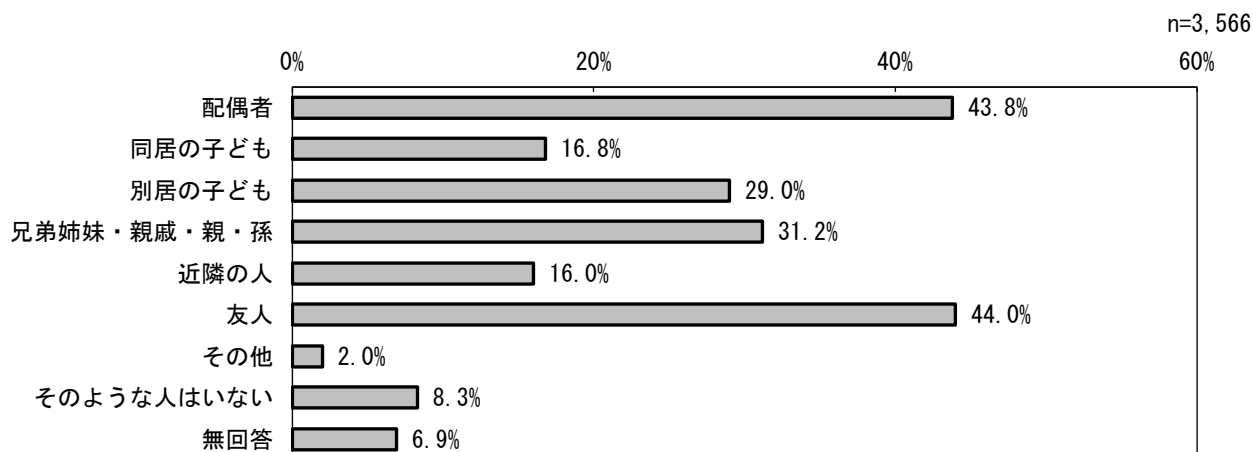


【問7 たすけあいについて】

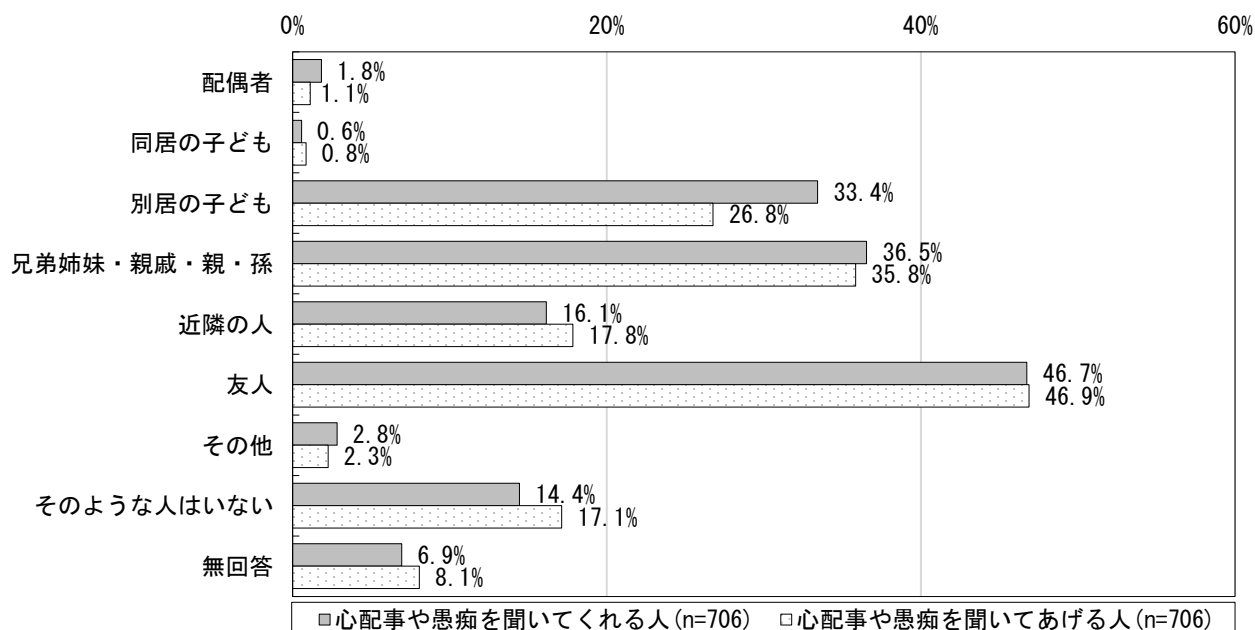
(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。（いくつでも）



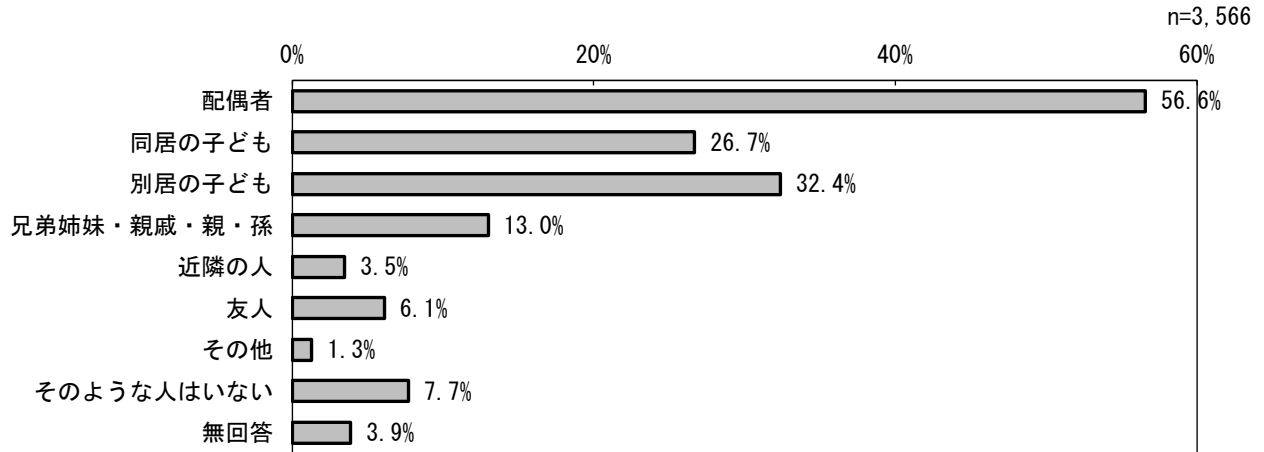
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか。（いくつでも）



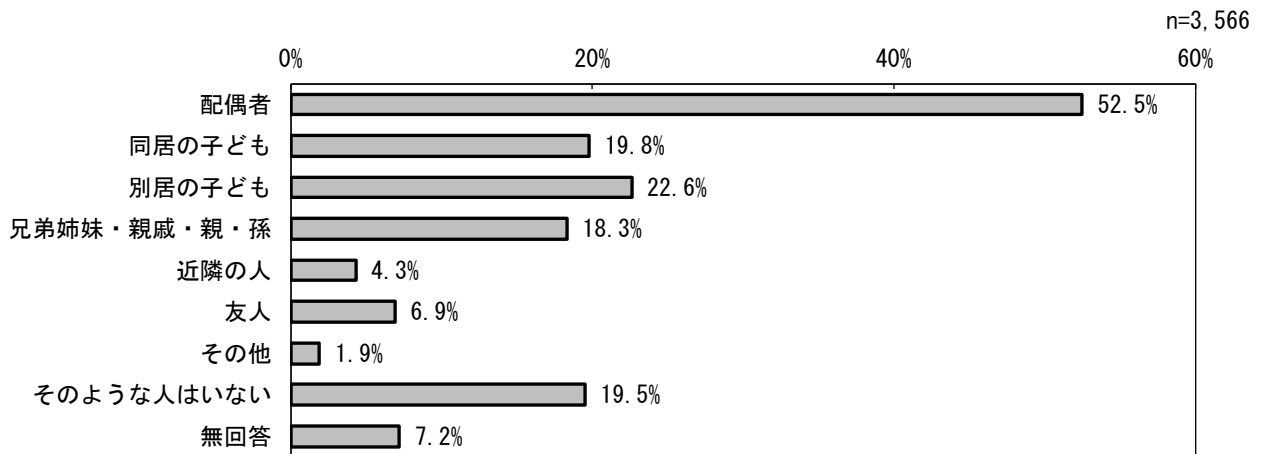
■家族構成別（1人暮らし）（＜聞いてくれる人＞＜聞いてあげる人＞で区分）



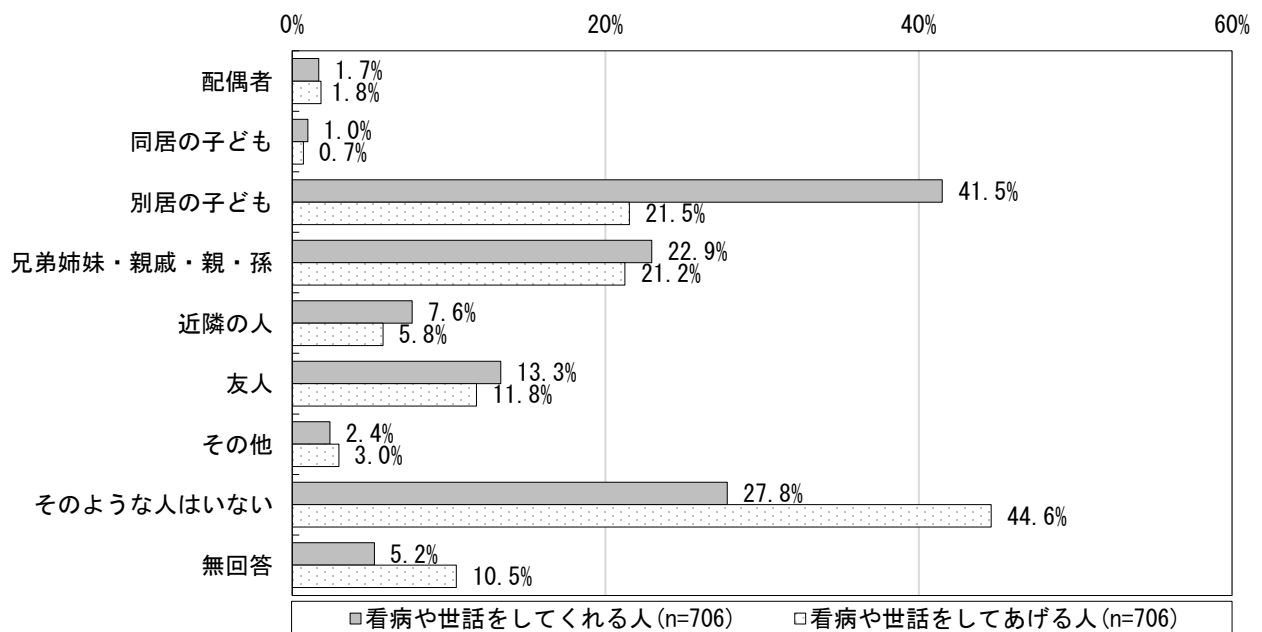
(3) あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人はいますか。(いくつでも)



(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。(いくつでも)

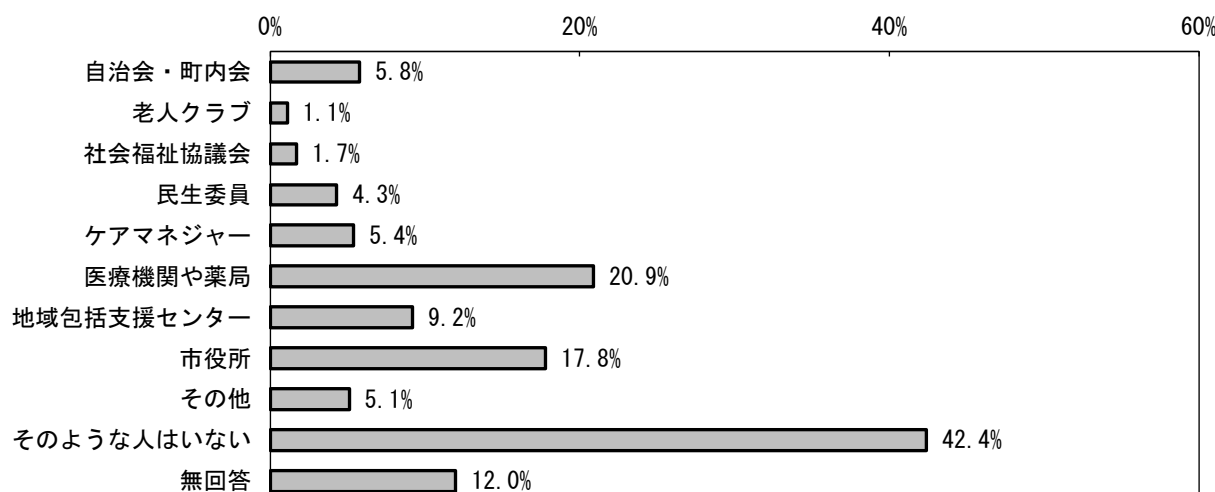


■家族構成別（1人暮らし）（<してくれる人><してあげる人>で区分）



(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手（機関）はありますか。（いくつでも）

n=3,566



■性別・年代別 上位3位

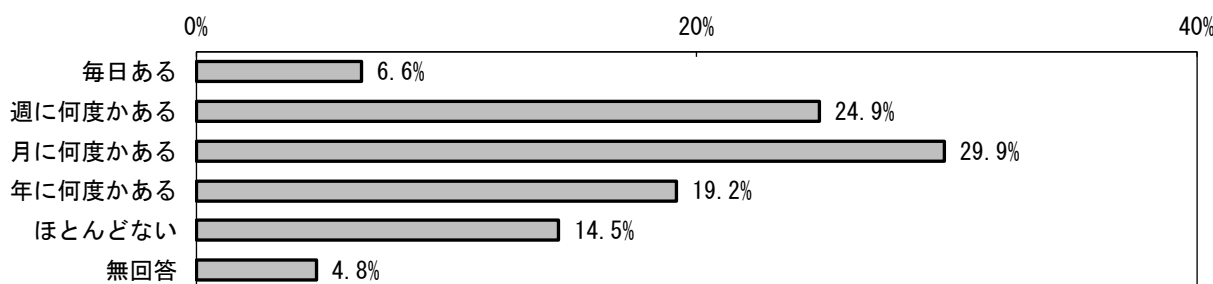
順位	65～74歳 -男性(801人)	65～74歳 -女性(906人)	75～84歳 -男性(570人)	75～84歳 -女性(805人)	85歳～ -男性(145人)	85歳～ -女性(177人)
第1位	そのような人 はいない (55.6%)	そのような人 はいない (48.3%)	そのような人 はいない (37.7%)	そのような人 はいない (34.5%)	そのような人 はいない (26.9%)	そのような人 はいない (26.0%)
第2位	医療機関や薬局 (17.1%)	医療機関や薬局 (22.4%)	医療機関や薬局 (24.4%)	医療機関や薬局 (20.7%)	市役所 (24.8%)	医療機関や薬局 (22.0%)
第3位	市役所 (16.4%)	市役所 (18.3%)	市役所 (19.1%)	市役所 (17.3%)	医療機関や薬局 (20.0%)	ケアマネジャー (14.7%)

■生活圏域別 上位3位

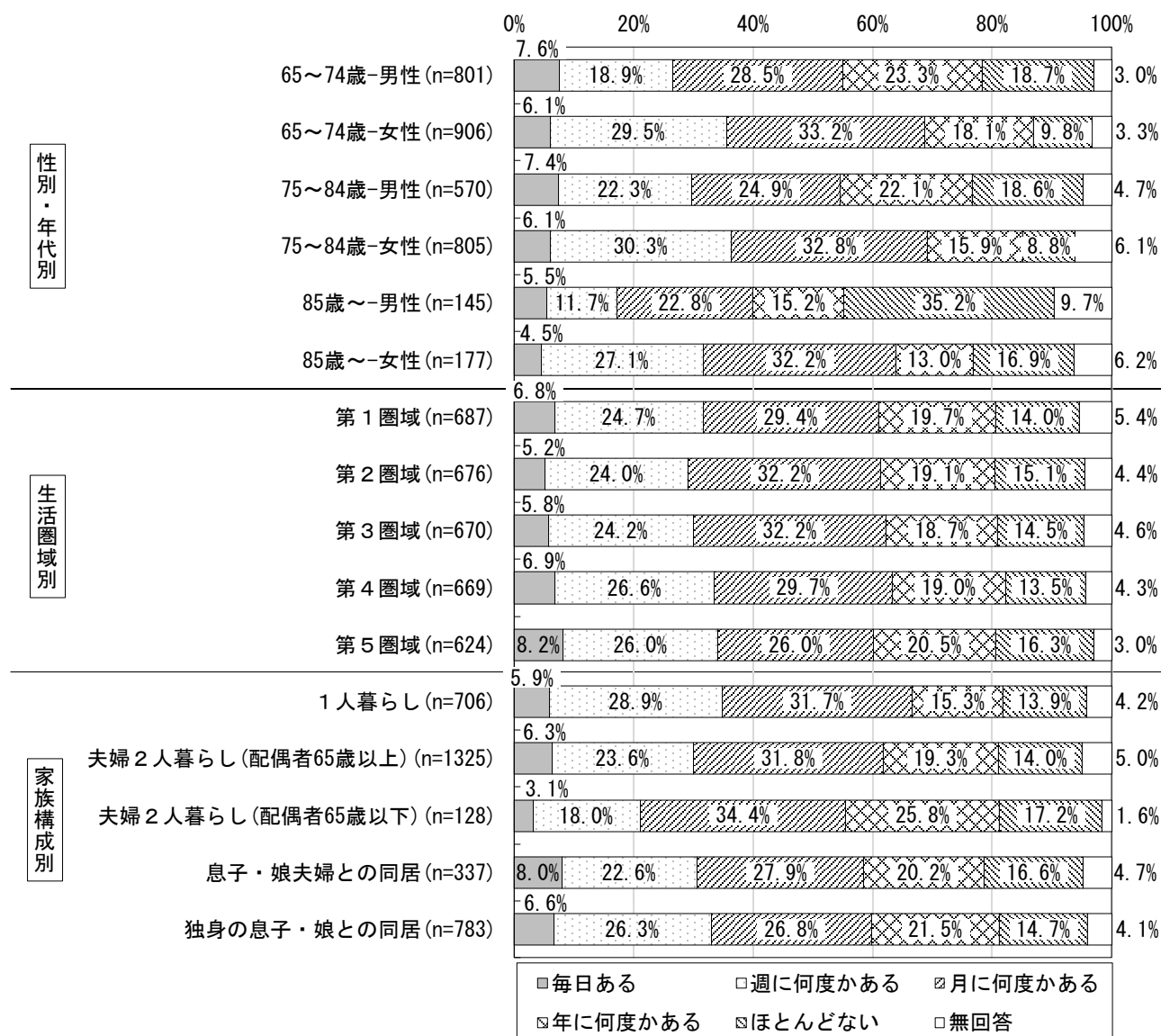
順位	第1圏域 (687人)	第2圏域 (676人)	第3圏域 (670人)	第4圏域 (669人)	第5圏域 (624人)
第1位	そのような人 はいない (41.3%)	そのような人 はいない (45.0%)	そのような人 はいない (45.1%)	そのような人 はいない (41.9%)	そのような人 はいない (42.5%)
第2位	医療機関や薬局 (21.4%)	医療機関や薬局 (24.0%)	市役所 (19.0%)	医療機関や薬局 (22.9%)	市役所 (19.4%)
第3位	市役所 (15.9%)	市役所 (16.4%)	医療機関や薬局 (18.7%)	市役所 (18.4%)	医療機関や薬局 (19.2%)

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

n=3,566



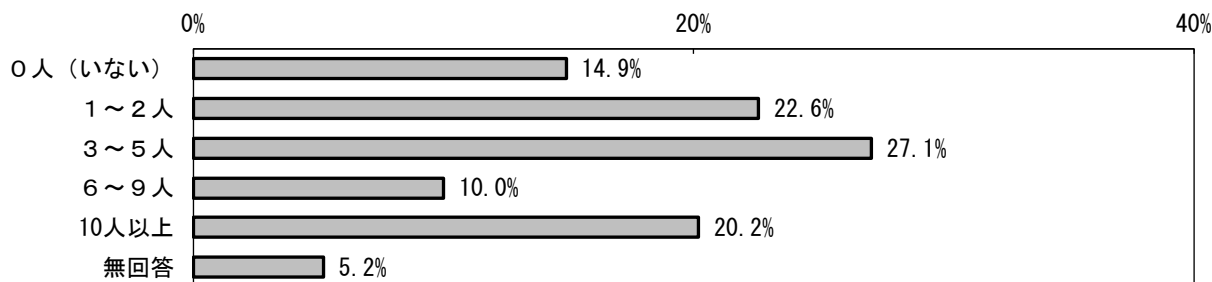
■性別・年代別、家族構成別



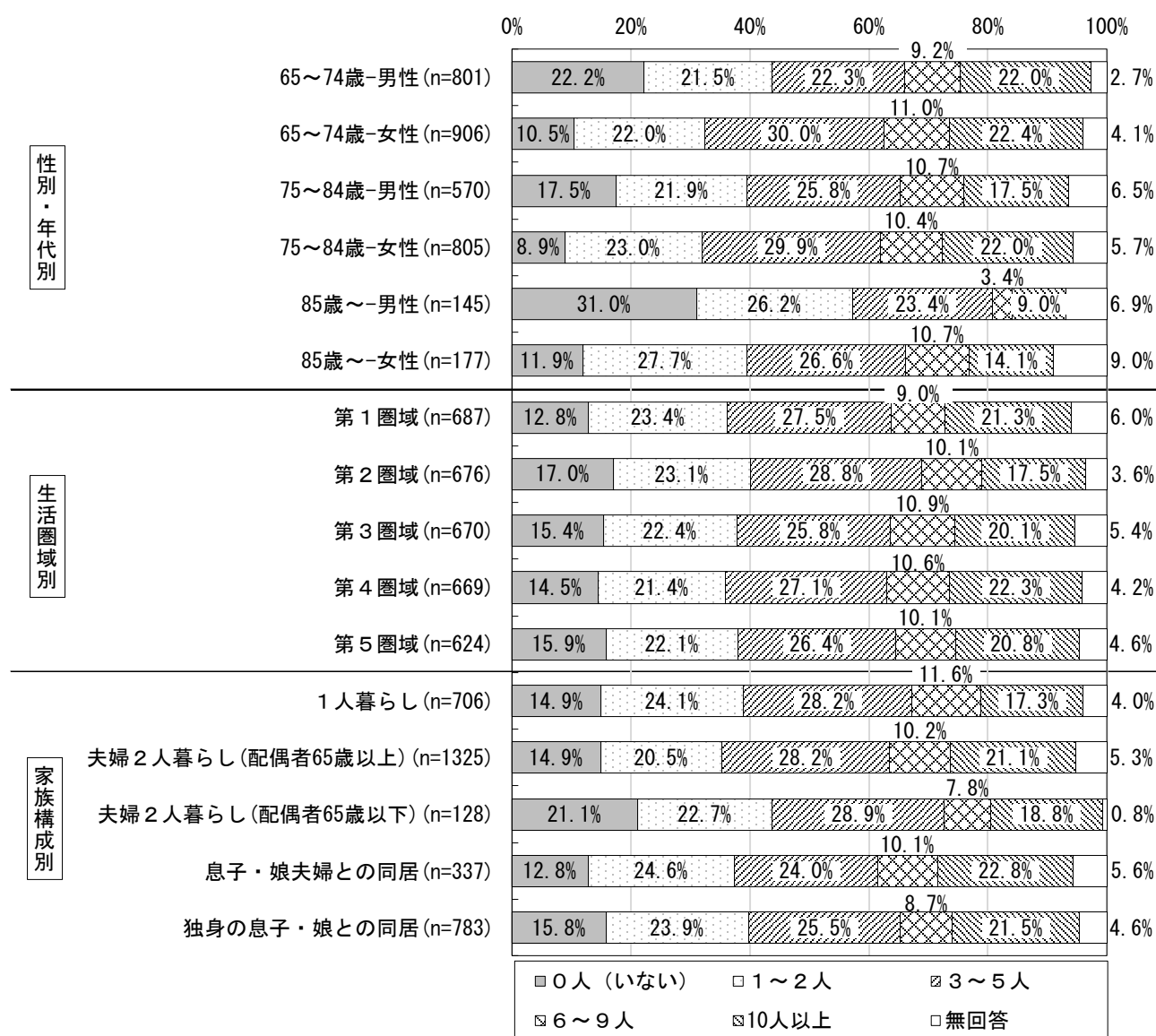
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(〇は1つ)

※同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

n=3,566

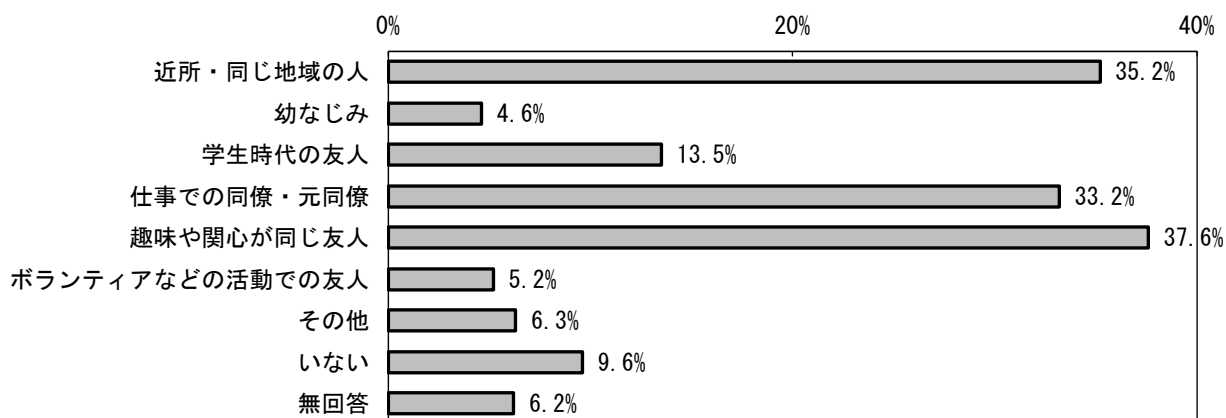


■性別・年代別、家族構成別

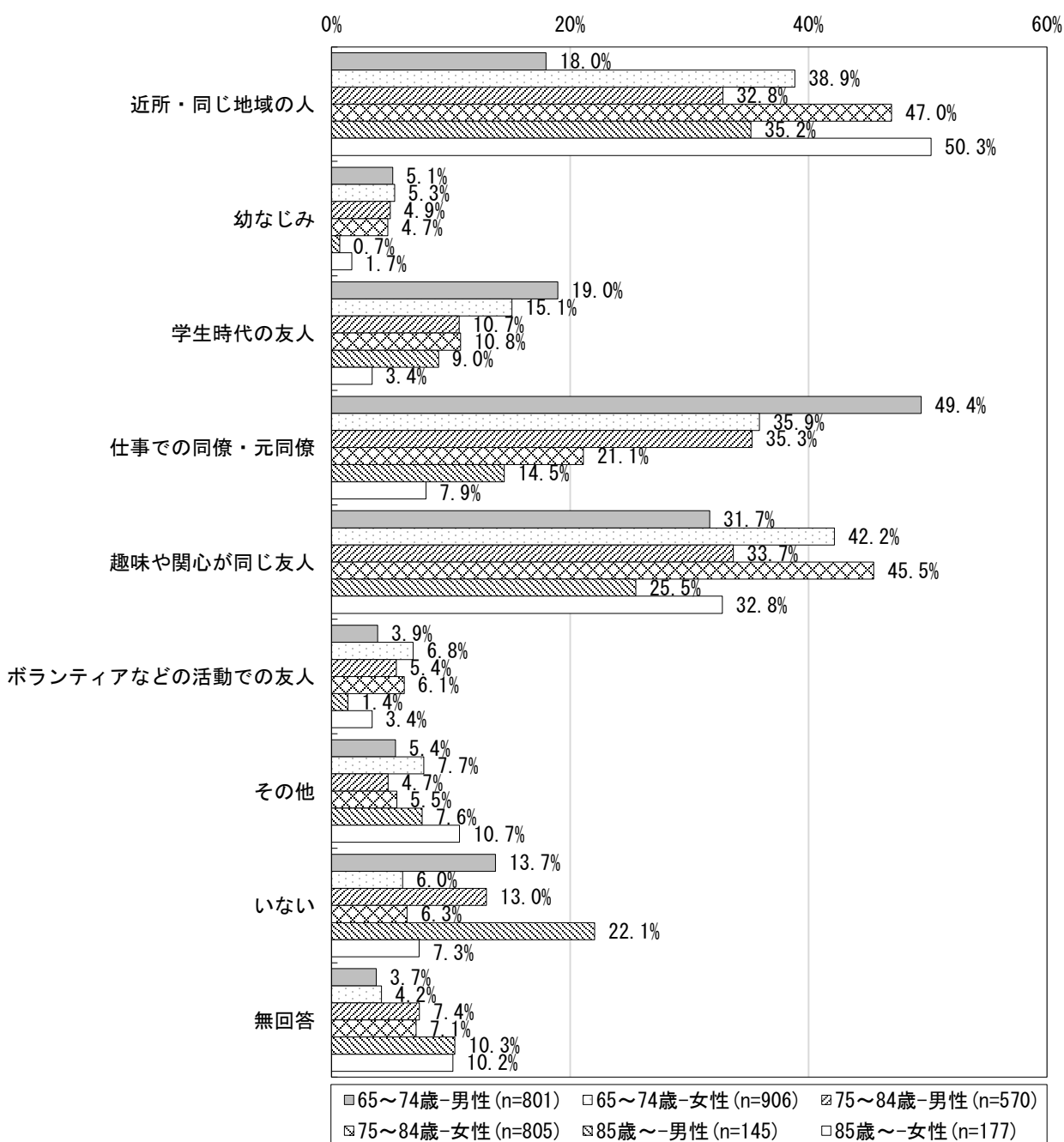


(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

n=3,566



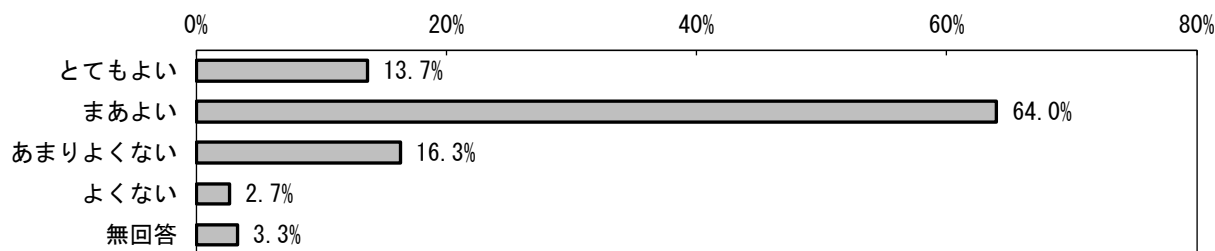
■性別・年代別



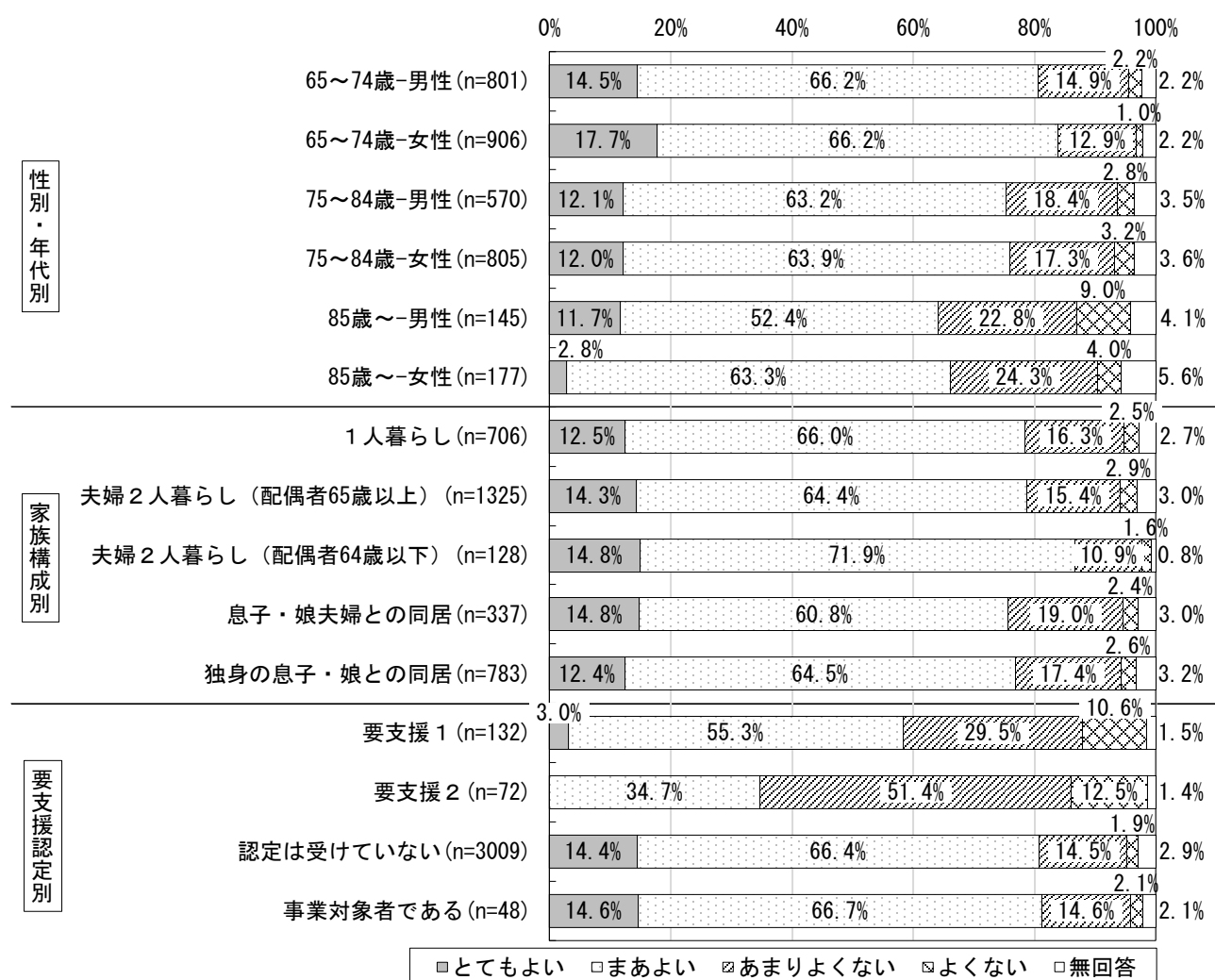
【問8 健康について】

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(〇は1つ)

n=3,566

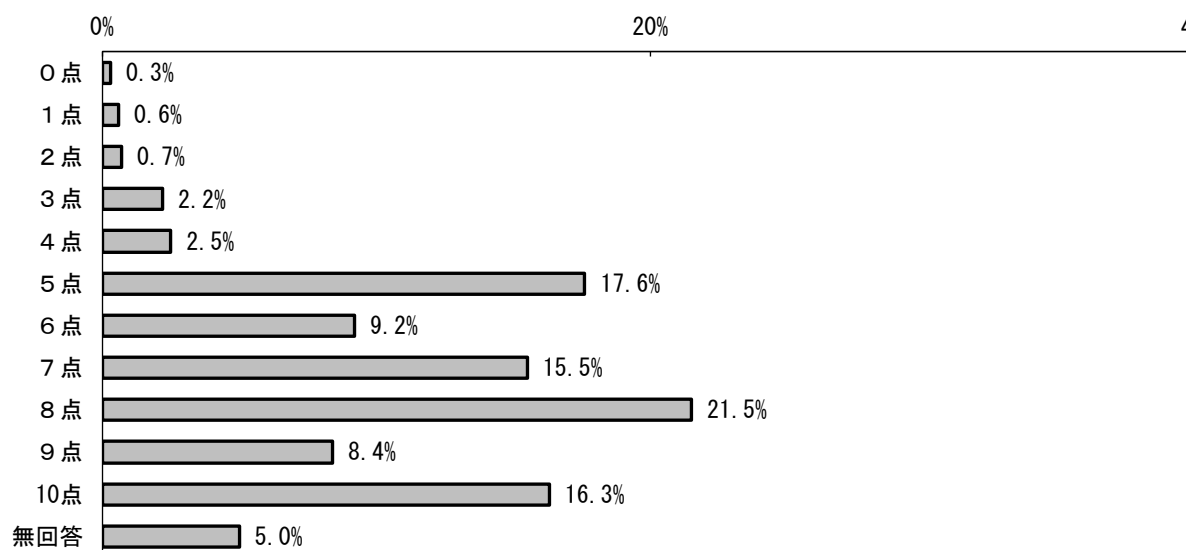


■性別・年代別、家族構成別、要支援認定別



(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、「〇」をしてください)

n=3,566



■性別・年代別

(%)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均
65～74歳-男性 (801人)	0.7	0.5	1.5	2.5	3.9	19.0	11.4	17.4	20.3	7.1	11.9	6.83点
65～74歳-女性 (906人)	0.0	0.8	0.6	1.7	1.9	15.1	7.1	17.9	26.5	9.2	16.4	7.38点
75～84歳-男性 (570人)	0.5	0.5	0.7	3.2	2.3	20.4	13.0	15.6	16.8	6.8	13.9	6.88点
75～84歳-女性 (805人)	0.2	0.4	0.2	1.7	2.1	17.4	8.3	12.9	20.7	10.6	20.0	7.43点
85歳～-男性 (145人)	0.0	1.4	0.0	4.8	1.4	20.0	9.0	13.8	21.4	7.6	13.1	6.95点
85歳～-女性 (177人)	0.0	0.6	0.6	1.7	2.8	16.9	4.0	10.7	19.8	7.9	27.1	7.63点

■家族構成別

(%)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均
1人暮らし (706人)	0.7	0.8	0.6	4.4	4.2	22.5	10.8	16.4	15.3	7.1	12.9	6.68点
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (1325人)	0.2	0.7	0.6	1.7	1.7	15.8	8.9	15.3	24.0	9.5	16.7	7.33点
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (128人)	0.8	0.0	1.6	3.9	0.8	14.1	7.0	22.7	23.4	9.4	14.8	7.21点
息子・娘夫婦との同居 (337人)	0.3	0.3	0.6	1.2	1.5	16.3	7.1	12.2	22.8	8.9	24.3	7.61点
独身の息子・娘との同居 (783人)	0.1	0.4	0.9	1.5	2.6	17.9	9.5	15.8	22.9	8.0	15.5	7.20点

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

■現在の健康状態別（問8（1）とのクロス集計）

(%)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均
とてもよい (488人)	0.0	0.0	0.0	0.8	0.4	7.6	5.3	8.6	21.7	11.5	42.6	8.50点
まあよい (2283人)	0.2	0.4	0.5	1.1	2.2	17.3	10.2	17.6	24.7	9.1	14.0	7.23点
あまりよくない (581人)	0.5	0.9	1.9	6.2	5.5	27.4	10.5	17.0	13.9	5.7	7.4	6.20点
よくない (97人)	4.1	6.2	2.1	13.4	3.1	32.0	6.2	6.2	10.3	3.1	6.2	5.12点

■普段の生活での介助・介護の必要性別（問1（7）とのクロス集計）

(%)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均
介護・介助の必要はない (2931人)	0.2	0.4	0.6	1.6	2.2	16.6	9.3	16.3	23.0	8.9	16.9	7.30点
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない (194人)	1.5	3.1	1.0	7.2	3.6	27.8	7.7	12.9	10.8	7.2	9.3	6.08点
現在、何らかの介護を受けている (164人)	0.0	1.2	1.8	5.5	5.5	25.6	6.7	10.4	15.2	4.3	13.4	6.46点

■趣味の有無別（問4（17）とのクロス集計）

(%)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均
趣味あり (2520人)	0.3	0.4	0.4	1.3	1.8	14.9	9.3	16.3	23.9	9.6	17.9	7.42点
思いつかない (803人)	0.5	1.0	1.7	4.4	4.4	25.2	9.8	13.7	16.3	5.5	12.0	6.52点

■生きがいの有無別（問4（18）とのクロス集計）

(%)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均
生きがいあり (2026人)	0.1	0.2	0.2	0.8	1.3	11.6	8.6	16.5	25.3	10.9	20.7	7.69点
思いつかない (1227人)	0.7	1.0	1.5	4.5	4.4	27.7	11.1	14.8	16.1	4.5	8.5	6.31点

■地域での活動への参加の有無別（問6（2）とのクロス集計）

①ボランティアのグループ

(%)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均
週4回以上（20人）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	20.0	35.0	10.0	15.0	7.70点
週2～3回（28人）	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	17.9	3.6	14.3	21.4	21.4	17.9	7.61点
週1回（37人）	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	16.2	8.1	18.9	27.0	8.1	18.9	7.49点
月1～3回（103人）	0.0	1.0	0.0	1.0	1.0	7.8	7.8	14.6	24.3	9.7	31.1	8.03点
年に数回（54人）	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	9.3	18.5	20.4	22.2	7.4	16.7	7.40点
参加していない（1161人）	0.5	0.5	0.9	2.4	3.3	18.2	10.2	17.5	22.6	7.5	13.0	7.00点

②スポーツ関係のグループやクラブ

(%)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均
週4回以上（111人）	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	8.1	12.6	18.0	22.5	9.0	23.4	7.83点
週2～3回（258人）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	12.0	8.1	15.5	28.3	12.4	19.0	7.79点
週1回（168人）	0.0	0.6	0.0	1.2	1.2	14.3	6.5	22.0	28.6	12.5	11.3	7.41点
月1～3回（162人）	0.0	0.6	0.0	0.6	1.9	8.6	8.6	19.1	28.4	13.6	17.3	7.71点
年に数回（49人）	0.0	0.0	0.0	2.0	4.1	10.2	10.2	20.4	18.4	14.3	16.3	7.47点
参加していない（986人）	0.6	0.6	1.0	2.6	3.5	18.9	10.2	16.8	22.0	6.5	13.6	6.93点

③趣味関係のグループ

(%)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均
週4回以上（59人）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.3	6.8	10.2	30.5	6.8	20.3	7.75点
週2～3回（151人）	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	13.2	11.9	19.2	23.2	11.9	17.2	7.59点
週1回（188人）	0.0	0.0	0.5	1.1	1.6	13.8	9.0	21.3	24.5	12.2	15.4	7.47点
月1～3回（433人）	0.0	0.2	0.0	1.8	1.6	10.2	9.7	14.1	27.3	14.5	16.6	7.65点
年に数回（112人）	0.0	0.0	0.0	1.8	0.9	14.3	6.3	24.1	19.6	9.8	17.9	7.51点
参加していない（921人）	0.7	0.7	1.1	2.7	3.8	19.3	11.1	17.0	21.1	6.6	12.9	6.87点

④学習・教養サークル

(%)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均
週4回以上（6人）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7	7.75点
週2～3回（32人）	0.0	0.0	3.1	3.1	0.0	9.4	9.4	18.8	6.3	21.9	25.0	7.71点
週1回（39人）	0.0	0.0	0.0	0.0	5.1	10.3	2.6	10.3	33.3	23.1	15.4	7.87点
月1～3回（102人）	0.0	1.0	0.0	1.0	1.0	5.9	7.8	9.8	29.4	19.6	19.6	8.00点
年に数回（46人）	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	8.7	10.9	28.3	21.7	6.5	15.2	7.41点
参加していない（1115人）	0.5	0.5	0.9	2.5	3.3	18.8	10.1	17.6	22.0	7.5	12.8	6.96点

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

⑤介護予防のための通いの場

(%)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均
週4回以上 (16人)	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	12.5	6.3	43.8	6.3	6.3	12.5	6.87点
週2～3回 (17人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	29.4	11.8	5.9	23.5	11.8	0.0	6.71点
週1回 (36人)	0.0	0.0	2.8	2.8	2.8	11.1	13.9	16.7	16.7	2.8	30.6	7.44点
月1～3回 (30人)	0.0	3.3	0.0	3.3	3.3	13.3	10.0	20.0	16.7	10.0	13.3	6.96点
年に数回 (12人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	16.7	16.7	0.0	41.7	7.92点
参加していない (1196人)	0.5	0.5	0.8	2.3	3.3	17.4	10.2	17.2	22.7	8.2	13.2	7.04点

⑥老人クラブ

(%)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均
週4回以上 (5人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0	7.60点
週2～3回 (12人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	33.3	0.0	16.7	16.7	7.36点
週1回 (7人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	14.3	14.3	0.0	28.6	7.43点
月1～3回 (78人)	0.0	0.0	1.3	3.8	0.0	12.8	7.7	12.8	16.7	16.7	24.4	7.71点
年に数回 (24人)	0.0	4.2	0.0	0.0	4.2	8.3	12.5	25.0	25.0	8.3	12.5	7.13点
参加していない (1201人)	0.5	0.5	0.8	2.2	3.2	17.7	10.2	17.6	22.6	8.0	13.2	7.04点

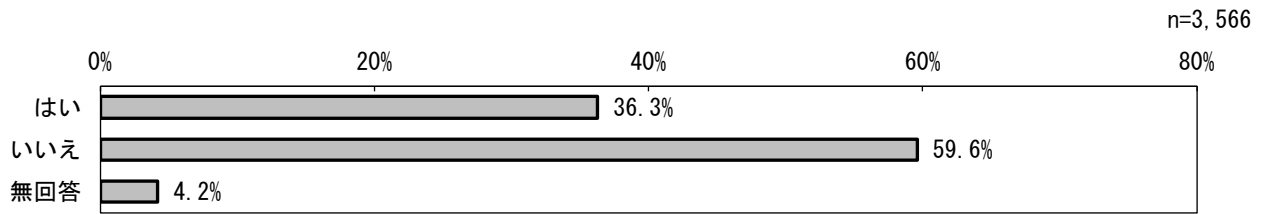
⑦自治会・町内会

(%)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均
週4回以上 (7人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6	0.0	14.3	14.3	0.0	6.50点
週2～3回 (19人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.6	5.3	10.5	21.1	15.8	5.3	7.00点
週1回 (15人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	13.3	6.7	26.7	0.0	13.3	6.86点
月1～3回 (130人)	0.0	0.0	0.0	0.8	1.5	10.0	10.8	22.3	19.2	10.0	23.8	7.73点
年に数回 (218人)	0.0	0.5	0.5	2.3	2.3	11.5	11.5	19.3	26.1	7.8	14.2	7.30点
参加していない (1006人)	0.6	0.4	0.9	2.5	3.4	18.7	9.8	17.2	21.8	7.9	13.6	7.00点

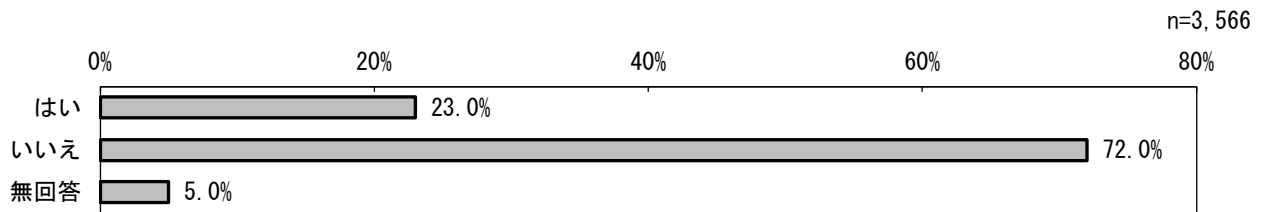
⑧収入のある仕事

(%)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均
週4回以上 (339人)	0.6	0.6	0.0	1.2	2.7	17.4	10.6	17.7	23.3	9.7	12.1	7.14点
週2～3回 (201人)	0.0	1.5	0.5	0.5	3.5	14.4	10.0	14.9	24.9	7.0	17.9	7.31点
週1回 (29人)	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	10.3	6.9	3.4	34.5	13.8	24.1	7.89点
月1～3回 (38人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	18.4	26.3	26.3	7.9	10.5	7.34点
年に数回 (28人)	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	7.1	21.4	25.0	21.4	0.0	17.9	7.30点
参加していない (446人)	0.7	0.0	1.1	2.0	3.8	15.7	9.6	19.3	22.2	10.3	12.3	7.09点

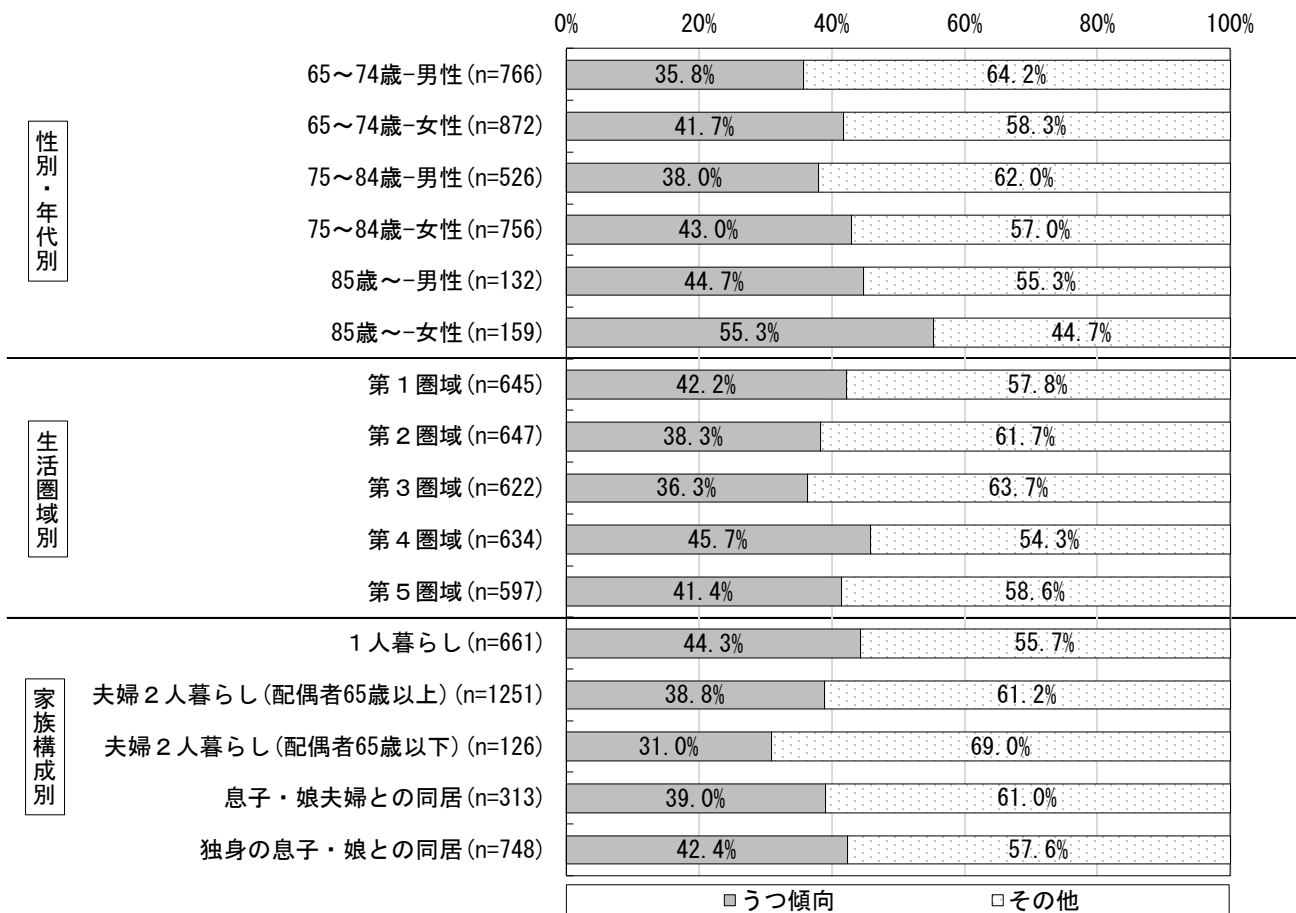
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(〇は1つ)



(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(〇は1つ)



うつ傾向の高齢者



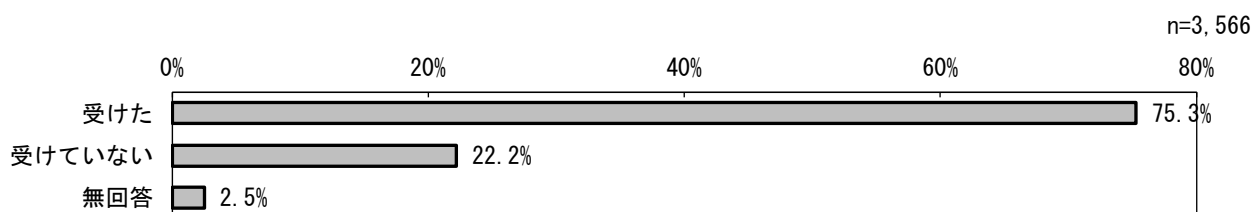
【参考 11】うつ傾向の高齢者について

次の2つの設問のいずれかで該当する選択肢（枠囲みの箇所）が回答された場合は「うつ傾向」と判定

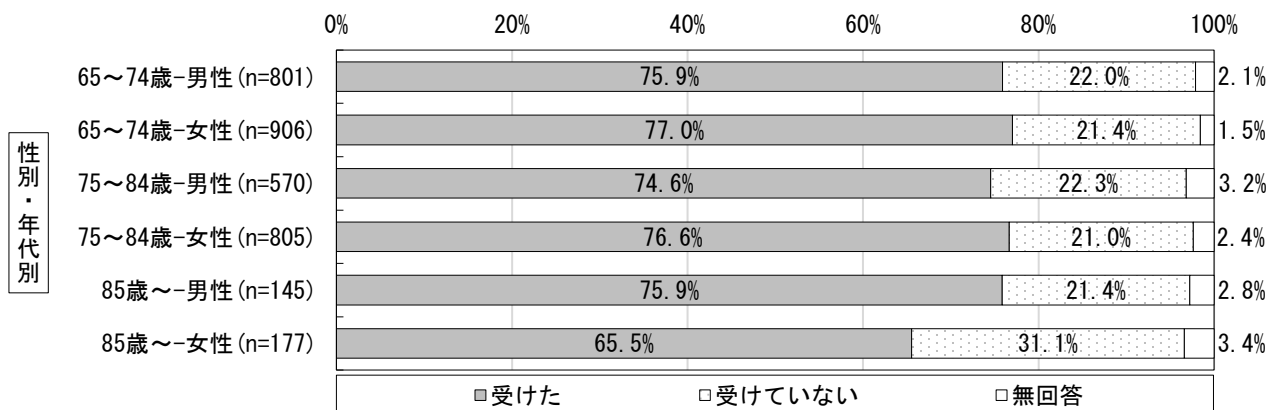
設問内容	選択肢
問8（3）この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
問8（4）この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

資料：厚生労働省「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」

（5）あなたはこの1年間に健康診断（人間ドックを含む）を受けたことがありますか。（○は1つ）



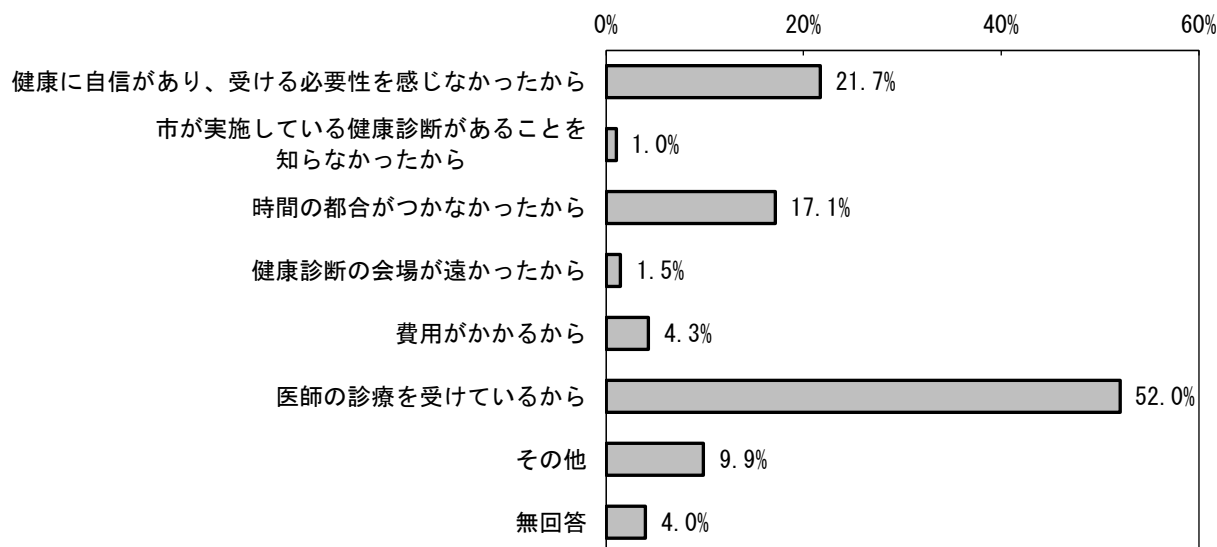
■性別・年代別



《(5) において「受けていない」と回答した方のみ》

(5) ①健康診断を受けなかった主な理由は何ですか。(いくつでも)

n=791

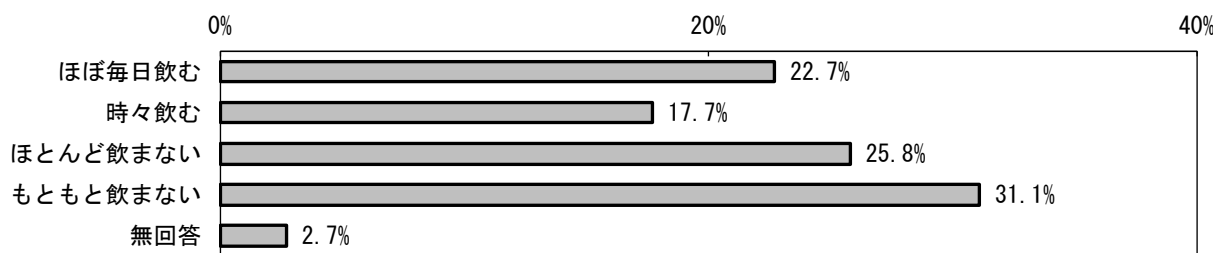


■性別・年代別 上位3位

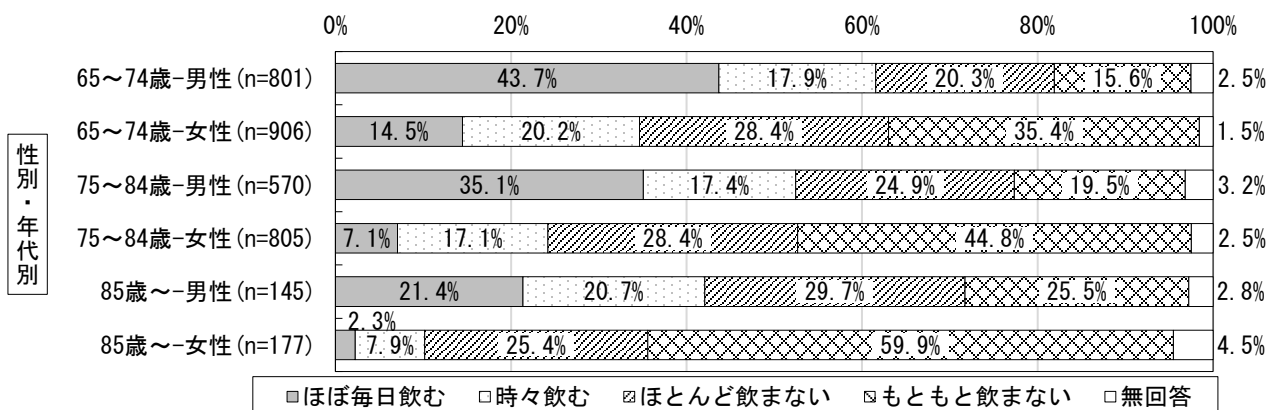
順位	65～74歳 -男性(176人)	65～74歳 -女性(194人)	75～84歳 -男性(127人)	75～84歳 -女性(169人)	85歳～ -男性(31人)	85歳～ -女性(55人)
第1位	医師の診療を受けているから(44.3%)	医師の診療を受けているから(43.3%)	医師の診療を受けているから(62.2%)	医師の診療を受けているから(58.6%)	医師の診療を受けているから(48.4%)	医師の診療を受けているから(70.9%)
第2位	健康に自信があり、受ける必要性を感じなかったから(23.9%)	時間の都合がつかなかったから(24.7%)	健康に自信があり、受ける必要性を感じなかったから(21.3%)	健康に自信があり、受ける必要性を感じなかったから(21.9%)	健康に自信があり、受ける必要性を感じなかったから(32.3%)	健康に自信があり、受ける必要性を感じなかったから(14.5%)
第3位	時間の都合がつかなかったから(23.3%)	健康に自信があり、受ける必要性を感じなかったから(20.6%)	時間の都合がつかなかったから(10.2%)	時間の都合がつかなかったから(13.6%)	時間の都合がつかなかったから/ 健康診断の会場が遠かったから(6.5%)	時間の都合がつかなかったから/ 費用がかかるから(3.6%)

(6) お酒は飲みますか。(○は1つ)

n=3,566

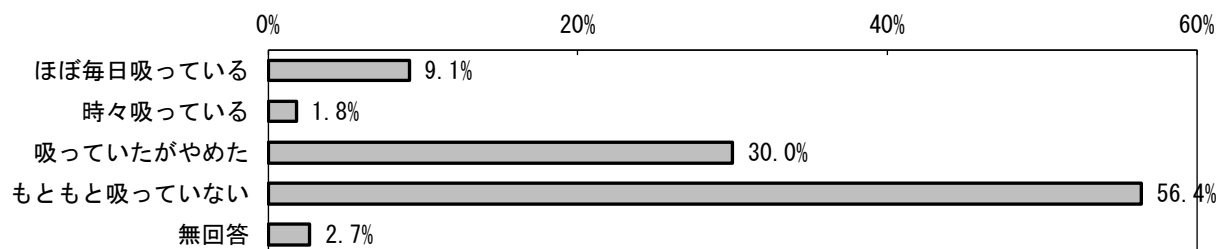


■性別・年代別

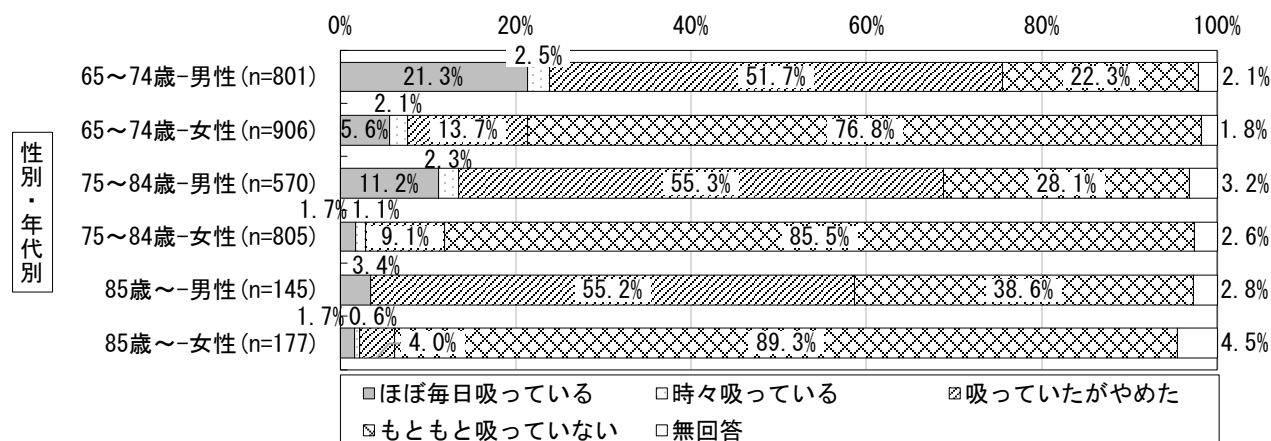


(7) タバコは吸っていますか。(○は1つ)

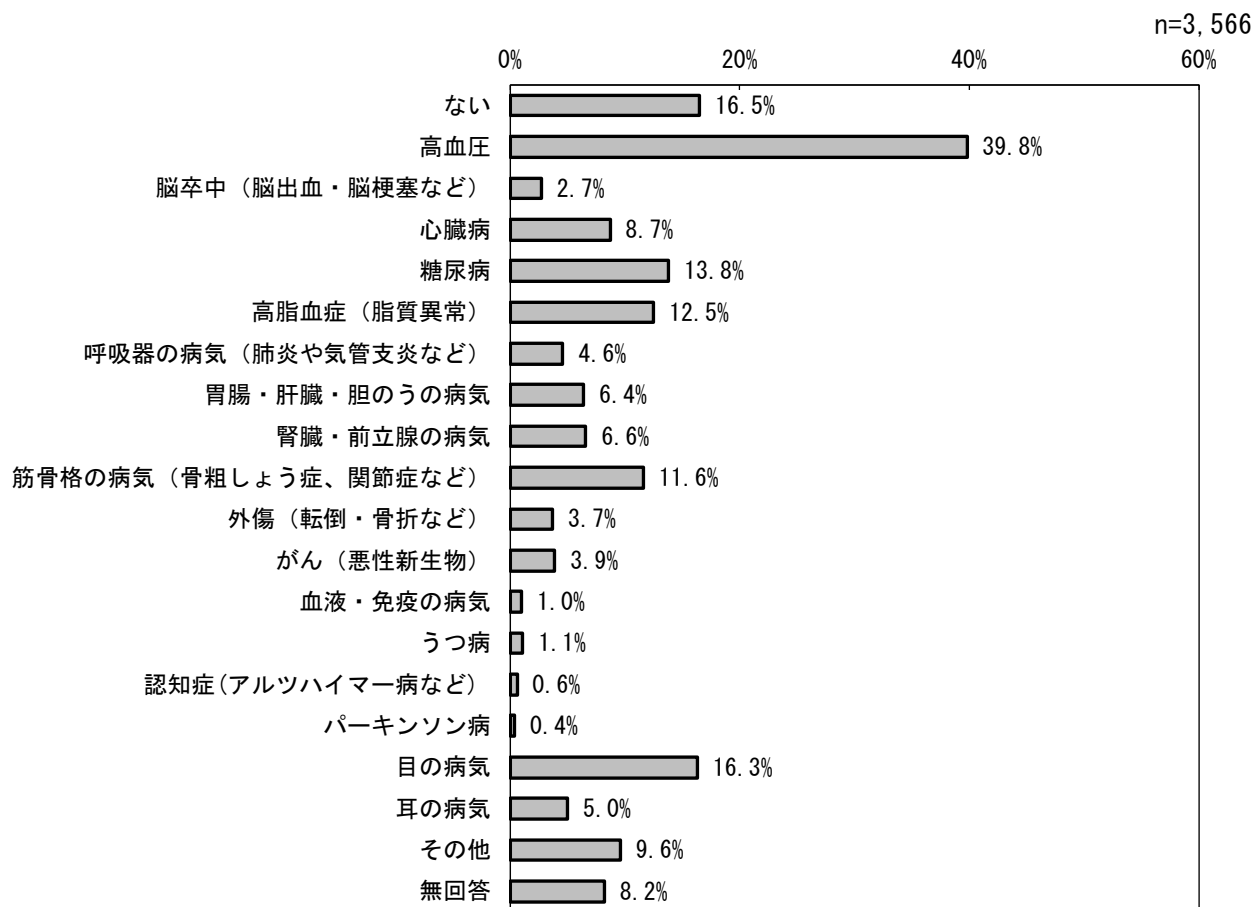
n=3,566



■性別・年代別



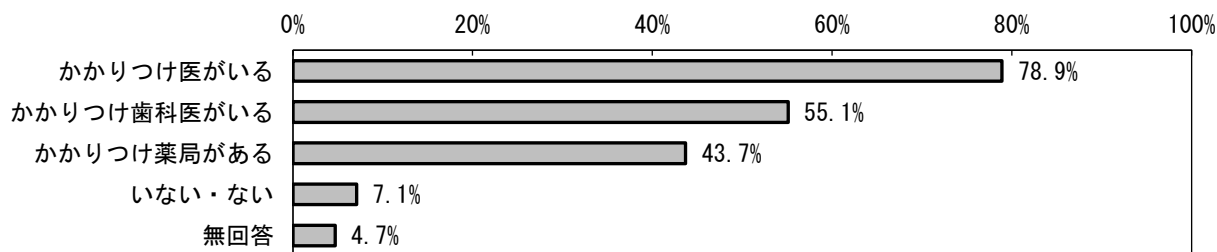
(8) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)



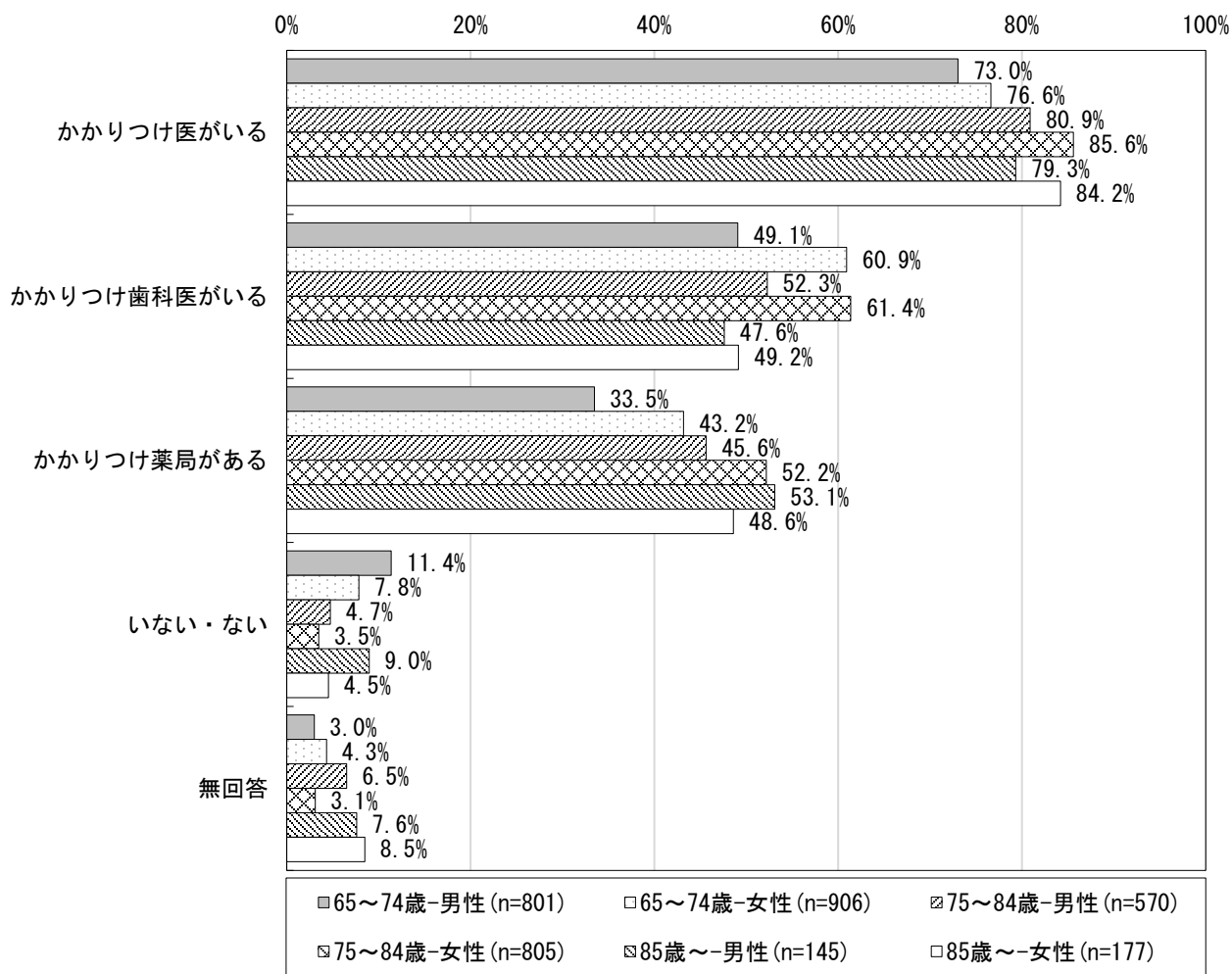
■性別・年代別 上位3位

順位	65~74歳 -男性(801人)	65~74歳 -女性(906人)	75~84歳 -男性(570人)	75~84歳 -女性(805人)	85歳~ -男性(145人)	85歳~ -女性(177人)
第1位	高血圧 (38.7%)	高血圧 (30.6%)	高血圧 (43.3%)	高血圧 (47.0%)	高血圧 (40.0%)	高血圧 (49.7%)
第2位	ない(21.2%)	ない(22.2%)	糖尿病 (18.2%)	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症など) (21.6%)	腎臓・前立腺 の病気 (22.1%)	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症など) (23.2%)
第3位	糖尿病 (18.0%)	高脂血症 (脂 質異常) (18.8%)	目の病気 (17.5%)	目の病気 (20.5%)	目の病気 (20.0%)	目の病気 (22.6%)

(9) かかりつけ医・かかりつけ歯科医はいますか。また、かかりつけ薬局はありますか。
 (該当する項目すべてに○をつけてください)

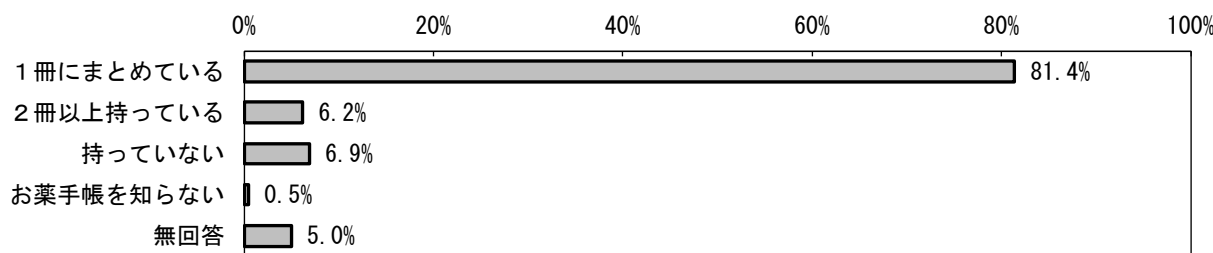


■性別・年代別

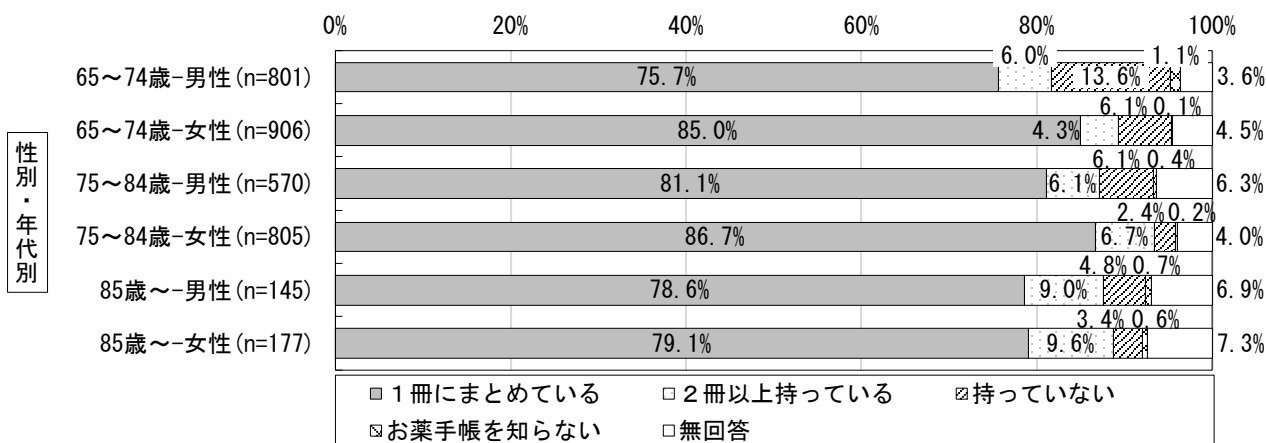


(10) お薬手帳は1冊にまとめていますか。(丸は1つ)

n=3,566

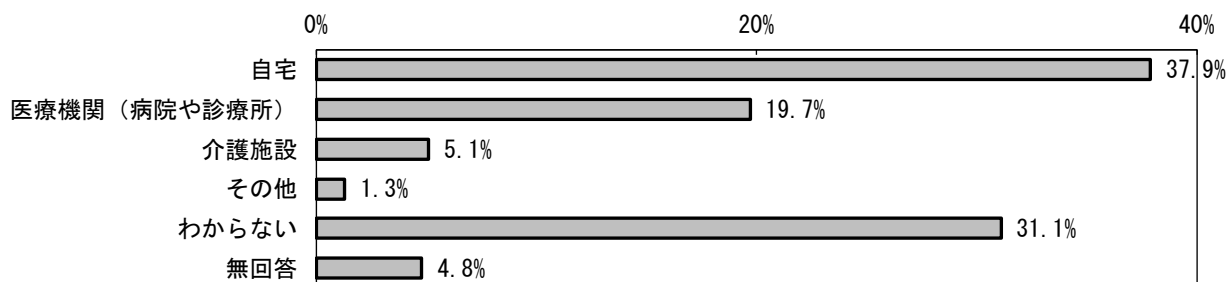


■性別・年代別

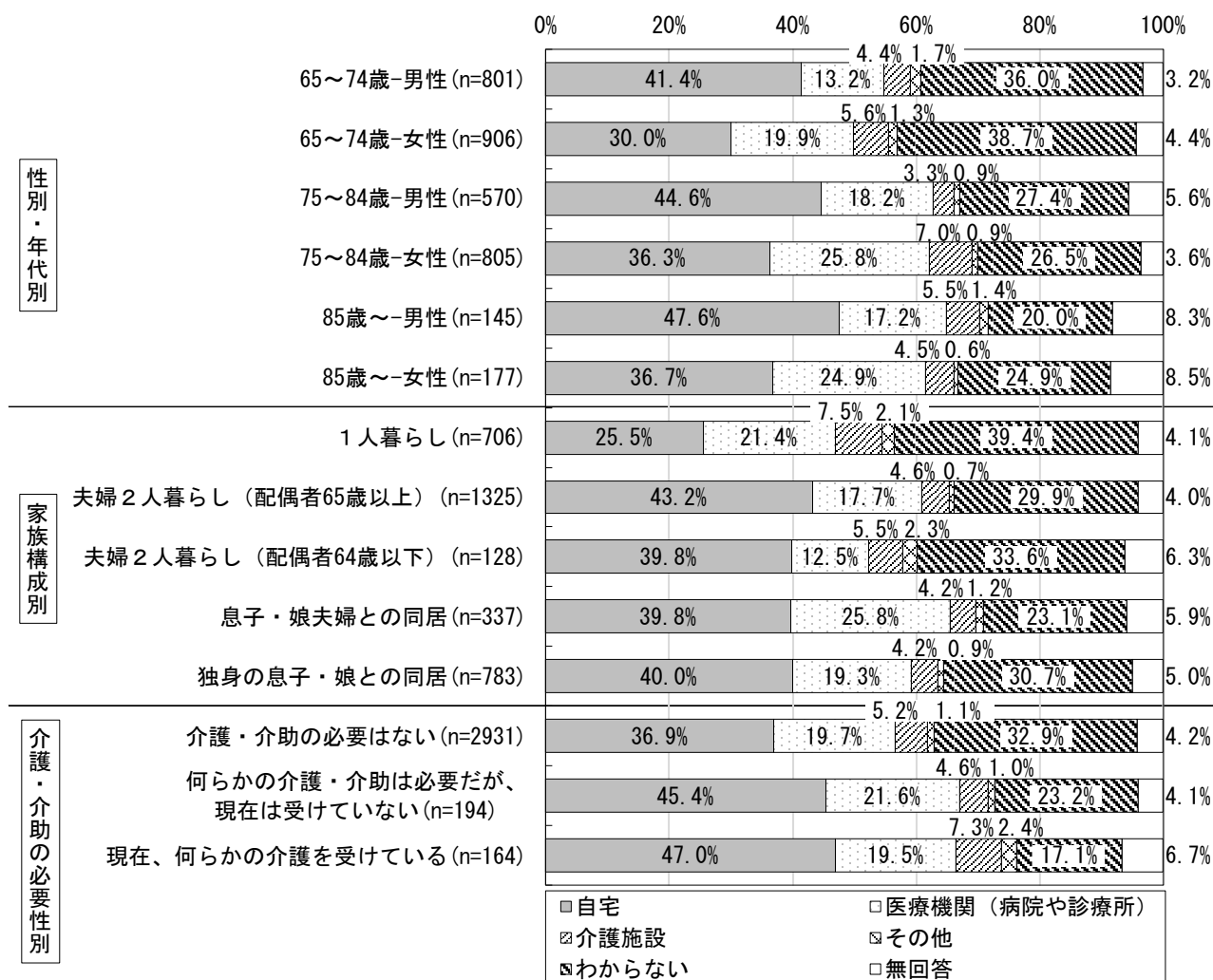


(11) あなたは、人生の最期の時をどこで過ごしたいと思いますか。(○は1つ)

n=3,566



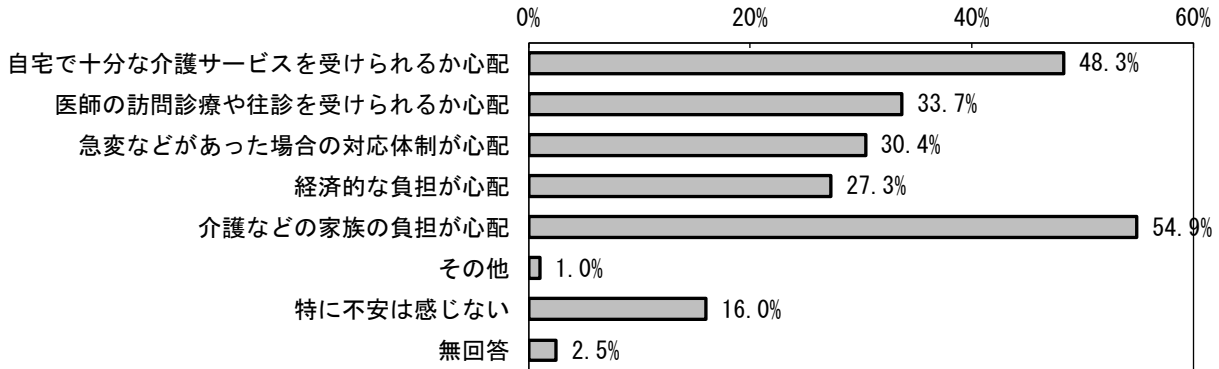
■性別・年代別、家族構成別、普段の生活での介護・介助の必要性別



《(11) において「自宅」と回答した方のみ》

(11) ① 自宅で過ごすことについて、なにか不安はありますか。(いくつでも)

n=1,353



■性別・年代別 上位3位

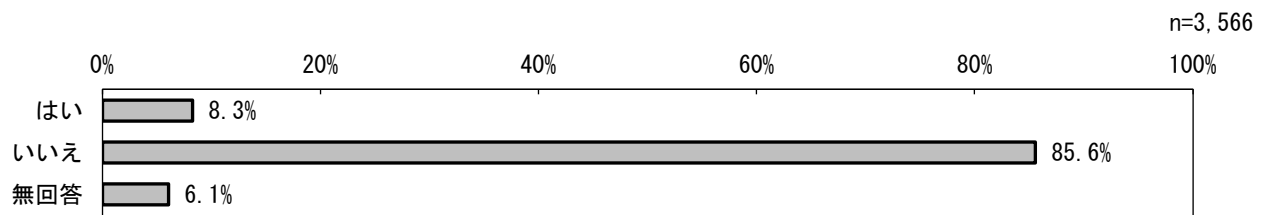
順位	65～74歳 -男性(332人)	65～74歳 -女性(272人)	75～84歳 -男性(254人)	75～84歳 -女性(292人)	85歳～ -男性(69人)	85歳～ -女性(65人)
第1位	介護などの家族の負担が心配(50.3%)	介護などの家族の負担が心配(55.9%)	介護などの家族の負担が心配(58.3%)	介護などの家族の負担が心配(57.9%)	介護などの家族の負担が心配(55.1%)	介護などの家族の負担が心配(50.8%)
第2位	自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配(41.9%)	自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配(49.6%)	自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配(48.8%)	自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配(53.8%)	自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配(44.9%)	自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配(41.5%)
第3位	経済的な負担が心配(25.6%)	医師の訪問診療や往診を受けられるか心配(34.6%)	医師の訪問診療や往診を受けられるか心配(38.2%)	医師の訪問診療や往診を受けられるか心配(37.0%)	医師の訪問診療や往診を受けられるか心配(31.9%)	急変などがあった場合の対応体制が心配(38.5%)

■普段の生活での介護・介助の必要性別、家族構成別（1人暮らし） 上位3位

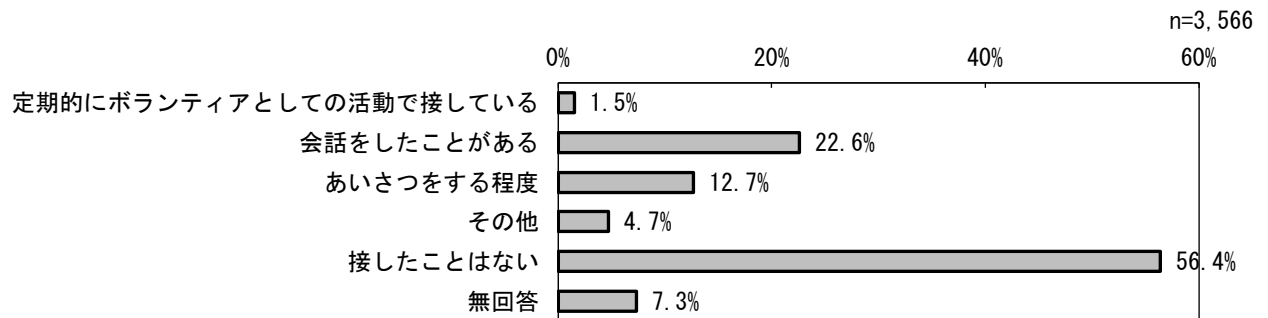
順位	介護・介助の必要はない(1082人)	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない(88人)	現在、何らかの介護を受けている(77人)	順位	1人暮らし(180人)
第1位	介護などの家族の負担が心配(55.2%)	自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配/ 介護などの家族の負担が心配(58.0%)	介護などの家族の負担が心配(63.6%)	第1位	自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配/ 急変などがあった場合の対応体制が心配(45.0%)
第2位	自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配(48.4%)		自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配(37.7%)	第2位	介護などの家族の負担が心配(32.8%)
第3位	医師の訪問診療や往診を受けられるか心配(32.9%)	医師の訪問診療や往診を受けられるか心配/急変などがあった場合の対応体制が心配(42.0%)	医師の訪問診療や往診を受けられるか心配(33.8%)	第3位	介護などの家族の負担が心配(32.8%)

【問9 認知症について】

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

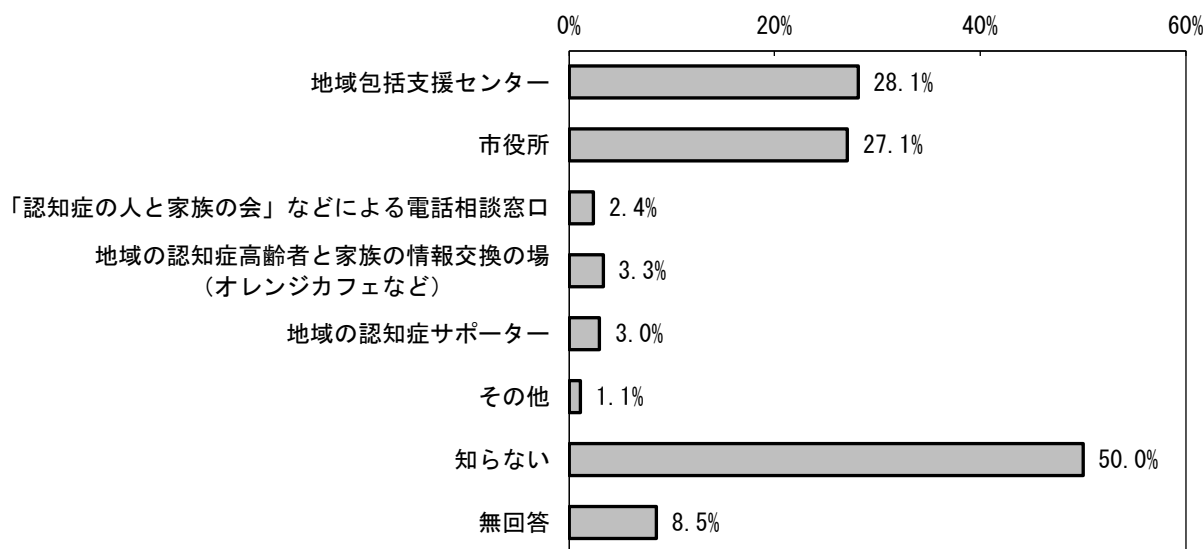


(2) あなたは、家族以外の人で認知症の方と接したことはありますか。(いくつでも)

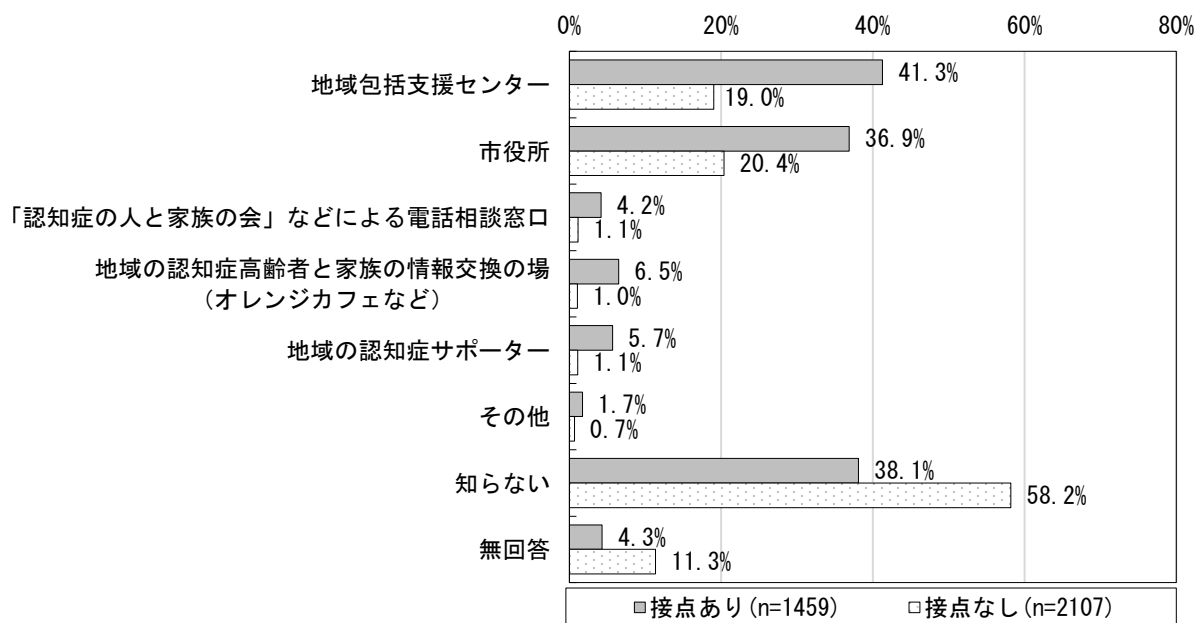


(3) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(いくつでも)

n=3,566

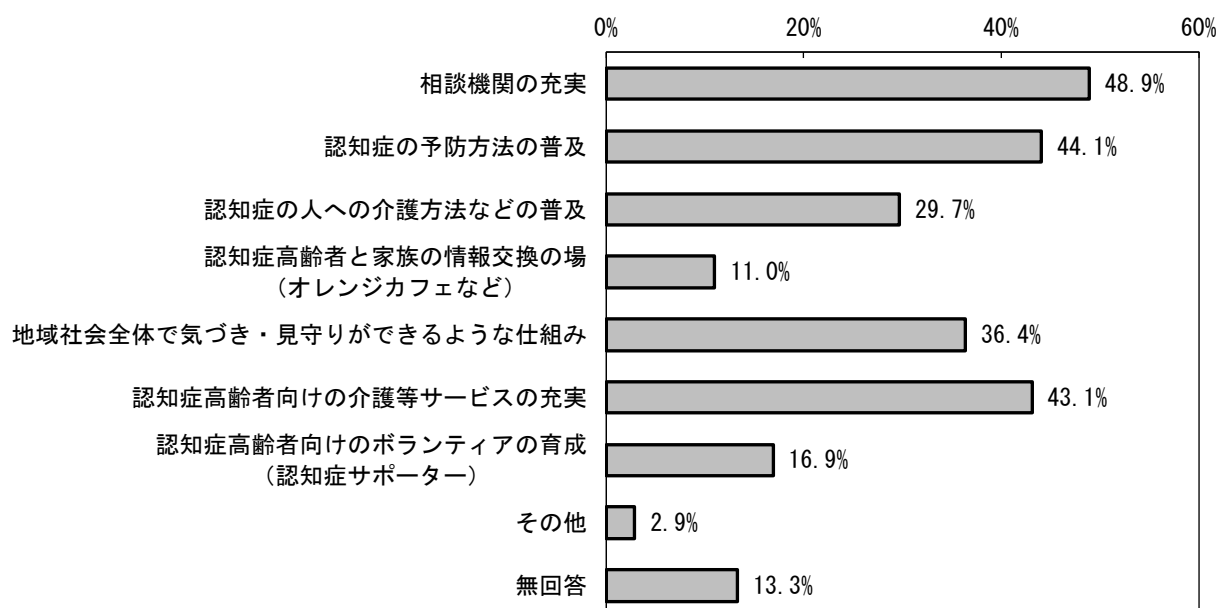


■ 認知症の方（家族・家族以外）との接点の有無別（問9（1）、問9（2）によるクロス集計）



(4) 75歳以上の4人に1人が認知症となる時代が訪れつつあるなか、認知症に対する取組として必要だと考えることはありますか。(いくつでも)

n=3,566



■性別・年代別 上位3位

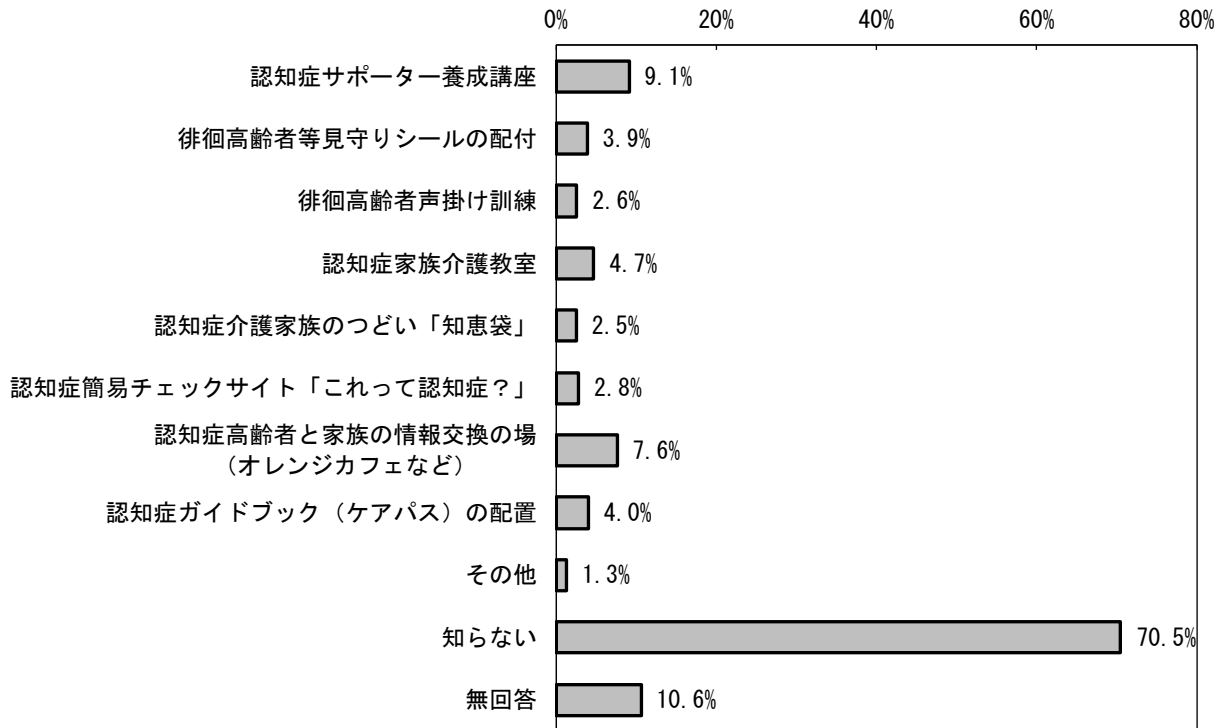
順位	65～74歳 -男性(801人)	65～74歳 -女性(906人)	75～84歳 -男性(570人)	75～84歳 -女性(805人)	85歳～ -男性(145人)	85歳～ -女性(177人)
第1位	相談機関の充実(52.1%)	相談機関の充実(52.5%)	相談機関の充実(49.3%)	相談機関の充実(46.1%)	相談機関の充実(44.8%)	認知症の予防方法の普及(36.2%)
第2位	認知症の予防方法の普及(49.1%)	認知症高齢者向けの介護等サービスの充実(50.4%)	認知症の予防方法の普及(43.5%)	認知症高齢者向けの介護等サービスの充実(42.7%)	認知症の予防方法の普及(40.7%)	相談機関の充実(35.0%)
第3位	認知症高齢者向けの介護等サービスの充実(42.2%)	認知症の予防方法の普及(45.0%)	認知症高齢者向けの介護等サービスの充実(37.5%)	認知症の予防方法の普及(41.7%)	認知症高齢者向けの介護等サービスの充実(37.2%)	認知症高齢者向けの介護等サービスの充実(34.5%)

■認知症の方(家族・家族以外)との接点の有無別(問9(1)、問9(2)によるクロス集計) 上位3位

順位	接点あり (1459人)	接点なし (2107人)
第1位	相談機関の充実(51.9%)	相談機関の充実(46.9%)
第2位	認知症の予防方法の普及(48.8%)	認知症の予防方法の普及(40.9%)
第3位	認知症高齢者向けの介護等サービスの充実(48.2%)	認知症高齢者向けの介護等サービスの充実(39.6%)

(5) 市の認知症に対する取組を知っていますか。(いくつでも)

n=3,566



■性別・年代別 上位3位

順位	65～74歳 -男性(801人)	65～74歳 -女性(906人)	75～84歳 -男性(570人)	75～84歳 -女性(805人)	85歳～ -男性(145人)	85歳～ -女性(177人)
第1位	知らない (82.9%)	知らない (69.5%)	知らない (71.6%)	知らない (63.6%)	知らない (60.7%)	知らない (62.1%)
第2位	認知症サポーター養成講座 (6.2%)	認知症サポーター養成講座 (12.1%)	認知症サポーター養成講座 (8.2%)	認知症サポーター養成講座 (10.8%)	認知症高齢者と家族の情報交換の場/ 認知症ガイドブックの配置 (4.8%)	認知症サポーター養成講座/ 認知症高齢者と家族の情報交換の場/ 認知症ガイドブックの配置 (5.6%)
第3位	認知症高齢者と家族の情報交換の場 (4.0%)	認知症高齢者と家族の情報交換の場 (10.4%)	認知症高齢者と家族の情報交換の場 (5.6%)	認知症高齢者と家族の情報交換の場 (10.7%)		認知症ガイドブックの配置 (5.6%)

■認知症の方(家族・家族以外)との接点の有無別(問9(1)、問9(2)によるクロス集計) 上位3位

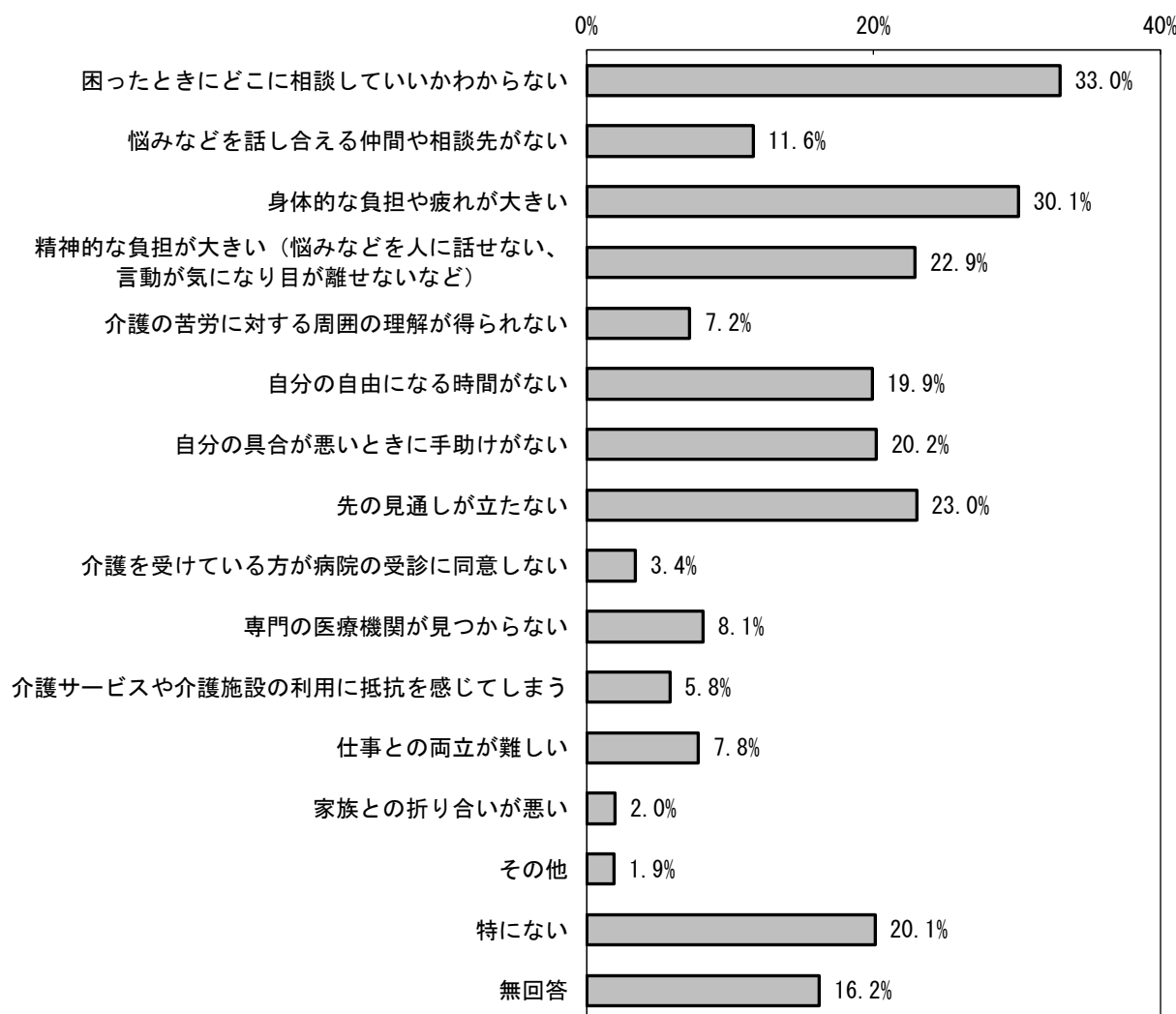
順位	接点あり (1459人)	接点なし (2107人)
第1位	知らない(63.7%)	知らない(75.2%)
第2位	認知症サポーター養成講座(14.9%)	認知症サポーター養成講座(5.0%)
第3位	認知症高齢者と家族の情報交換の場 (13.5%)	認知症高齢者と家族の情報交換の場 (3.5%)

【問10 介護について】

※介護をしている、していないに関わらずご回答ください。

(1) あなたが介護について困っている（困ると想定される）ことはありますか。（いくつでも）

n=3,566

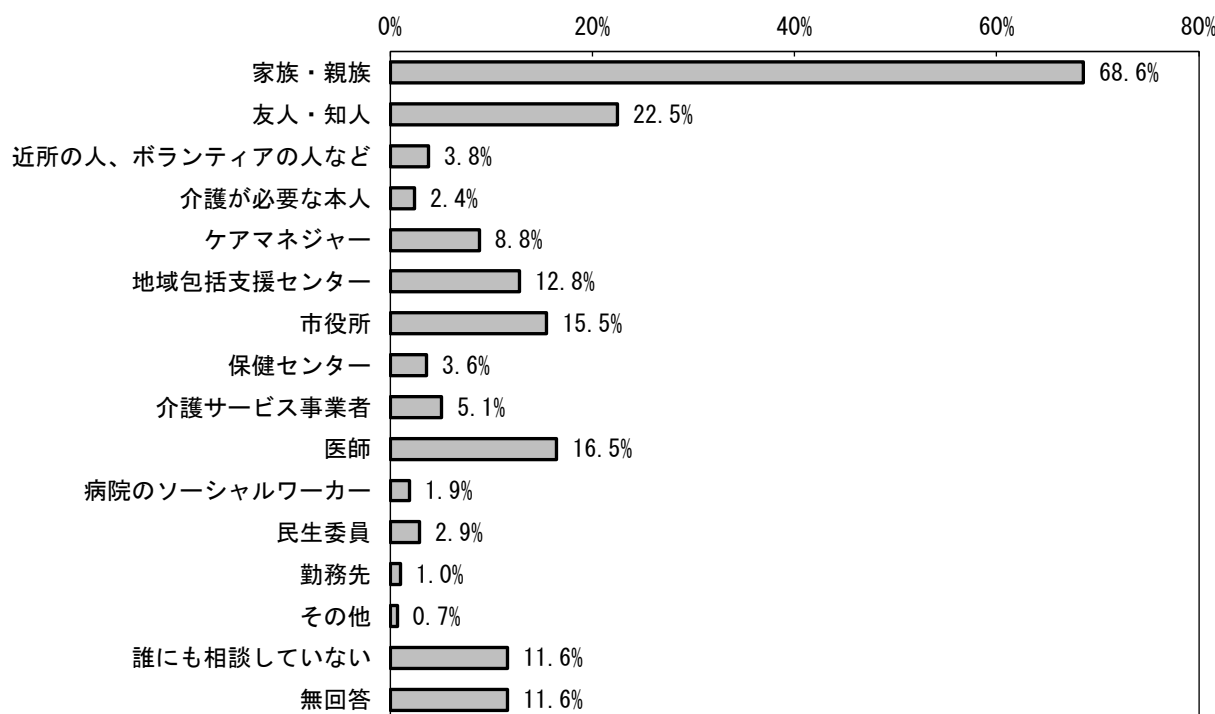


■性別・年代別 上位3位

順位	65～74歳 -男性(801人)	65～74歳 -女性(906人)	75～84歳 -男性(570人)	75～84歳 -女性(805人)	85歳～ -男性(145人)	85歳～ -女性(177人)
第1位	困ったときにどこに相談していいかわからない(35.5%)	身体的な負担や疲れが大きい(37.7%)	困ったときにどこに相談していいかわからない(35.1%)	困ったときにどこに相談していいかわからない(33.7%)	困ったときにどこに相談していいかわからない(33.1%)	困ったときにどこに相談していいかわからない(29.9%)
第2位	身体的な負担や疲れが大きい(29.5%)	困ったときにどこに相談していいかわからない(30.6%)	身体的な負担や疲れが大きい(22.6%)	身体的な負担や疲れが大きい(30.6%)	身体的な負担や疲れが大きい(25.5%)	特にない(22.0%)
第3位	特にない(24.8%)	自分の自由になる時間がない(29.9%)	特にない(22.3%)	自分の具合が悪いときに手助けがない(22.1%)	先の見通しが立たない(22.1%)	身体的な負担や疲れが大きい(20.9%)

(2) あなたは、介護について相談できる人はいますか。(いくつでも)

n=3,566



■性別・年代別 上位3位

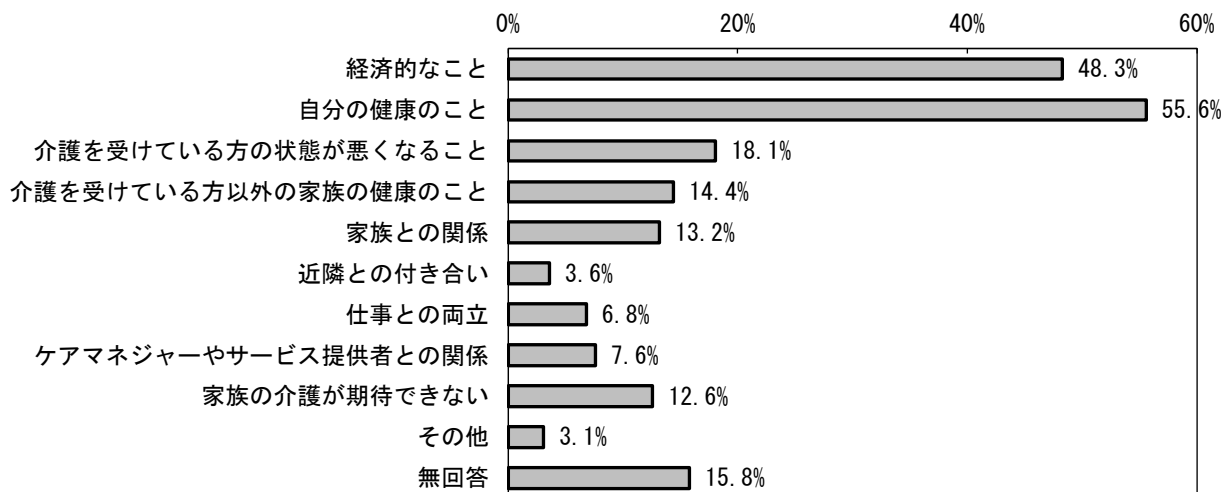
順位	65~74歳 -男性(801人)	65~74歳 -女性(906人)	75~84歳 -男性(570人)	75~84歳 -女性(805人)	85歳~ -男性(145人)	85歳~ -女性(177人)
第1位	家族・親族 (67.7%)	家族・親族 (70.2%)	家族・親族 (69.3%)	家族・親族 (67.2%)	家族・親族 (69.0%)	家族・親族 (66.1%)
第2位	誰にも相談し ていない (18.0%)	友人・知人 (34.1%)	医師(19.3%)	友人・知人 (24.8%)	医師(24.1%)	医師(24.3%)
第3位	友人・知人 (16.0%)	市役所 (15.3%)	市役所 (17.0%)	医師(22.6%)	市役所 (22.1%)	市役所 (15.3%)

■生活圏域別 上位3位

順位	第1圏域 (687人)	第2圏域 (676人)	第3圏域 (670人)	第4圏域 (669人)	第5圏域 (624人)
第1位	家族・親族 (66.7%)	家族・親族 (68.3%)	家族・親族 (70.3%)	家族・親族 (67.0%)	家族・親族 (71.0%)
第2位	友人・知人 (22.3%)	友人・知人 (24.6%)	友人・知人 (22.4%)	友人・知人 (21.8%)	友人・知人 (22.3%)
第3位	医師(18.2%)	医師(14.8%)	医師(19.1%)	市役所 (17.3%)	市役所、 医師(14.9%)

(3) あなたは、介護について不安に感じている（感じると想定される）ことはありますか。（いくつでも）

n=3,566



■性別・年代別 上位3位

順位	65～74歳 -男性(801人)	65～74歳 -女性(906人)	75～84歳 -男性(570人)	75～84歳 -女性(805人)	85歳～ -男性(145人)	85歳～ -女性(177人)
第1位	経済的なこと (56.3%)	自分の健康のこと (58.7%)	自分の健康のこと (57.0%)	自分の健康のこと (59.4%)	自分の健康のこと (55.2%)	自分の健康のこと (47.5%)
第2位	自分の健康のこと (50.6%)	経済的なこと (51.5%)	経済的なこと (48.6%)	経済的なこと (42.9%)	経済的なこと (41.4%)	経済的なこと (30.5%)
第3位	家族との関係 (16.2%)	介護を受けている方の状態が悪くなること (22.8%)	家族との関係 (17.2%)	介護を受けている方の状態が悪くなること (18.8%)	介護を受けている方の状態が悪くなること (18.6%)	介護を受けている方以外の家族の健康のこと (14.7%)

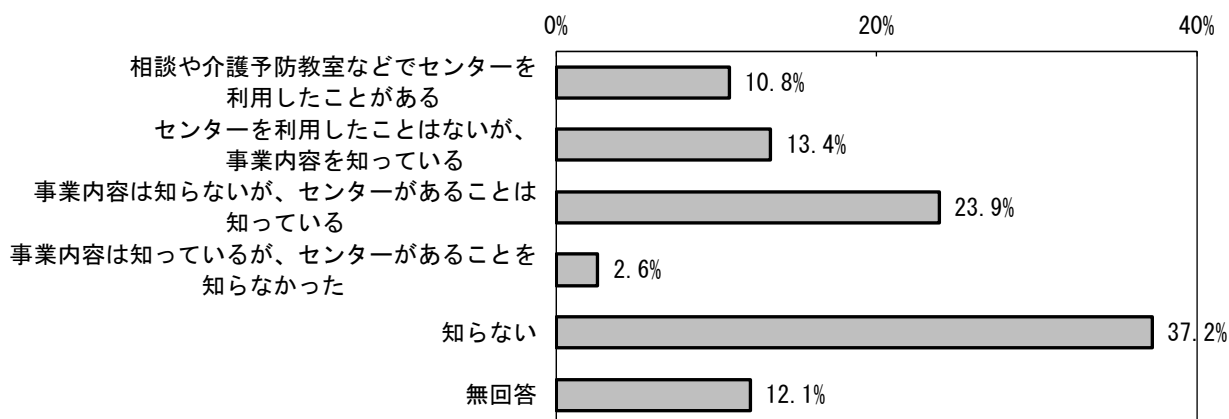
■家族構成別 上位3位

順位	1人暮らし (706人)	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (1325人)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (128人)	息子・娘夫婦との同居 (337人)	独身の息子・娘との同居 (783人)
第1位	自分の健康のこと (52.4%)	自分の健康のこと (59.5%)	経済的なこと (60.2%)	自分の健康のこと (51.9%)	自分の健康のこと (56.6%)
第2位	経済的なこと (42.8%)	経済的なこと (49.4%)	自分の健康のこと (55.5%)	経済的なこと (44.5%)	経済的なこと (53.6%)
第3位	家族の介護が期待できない (16.0%)	介護を受けている方の状態が悪くなること (23.4%)	介護を受けている方の状態が悪くなること (24.2%)	介護を受けている方以外の家族の健康のこと (19.6%)	介護を受けている方の状態が悪くなること/ 介護を受けている方以外の家族の健康のこと (17.2%)

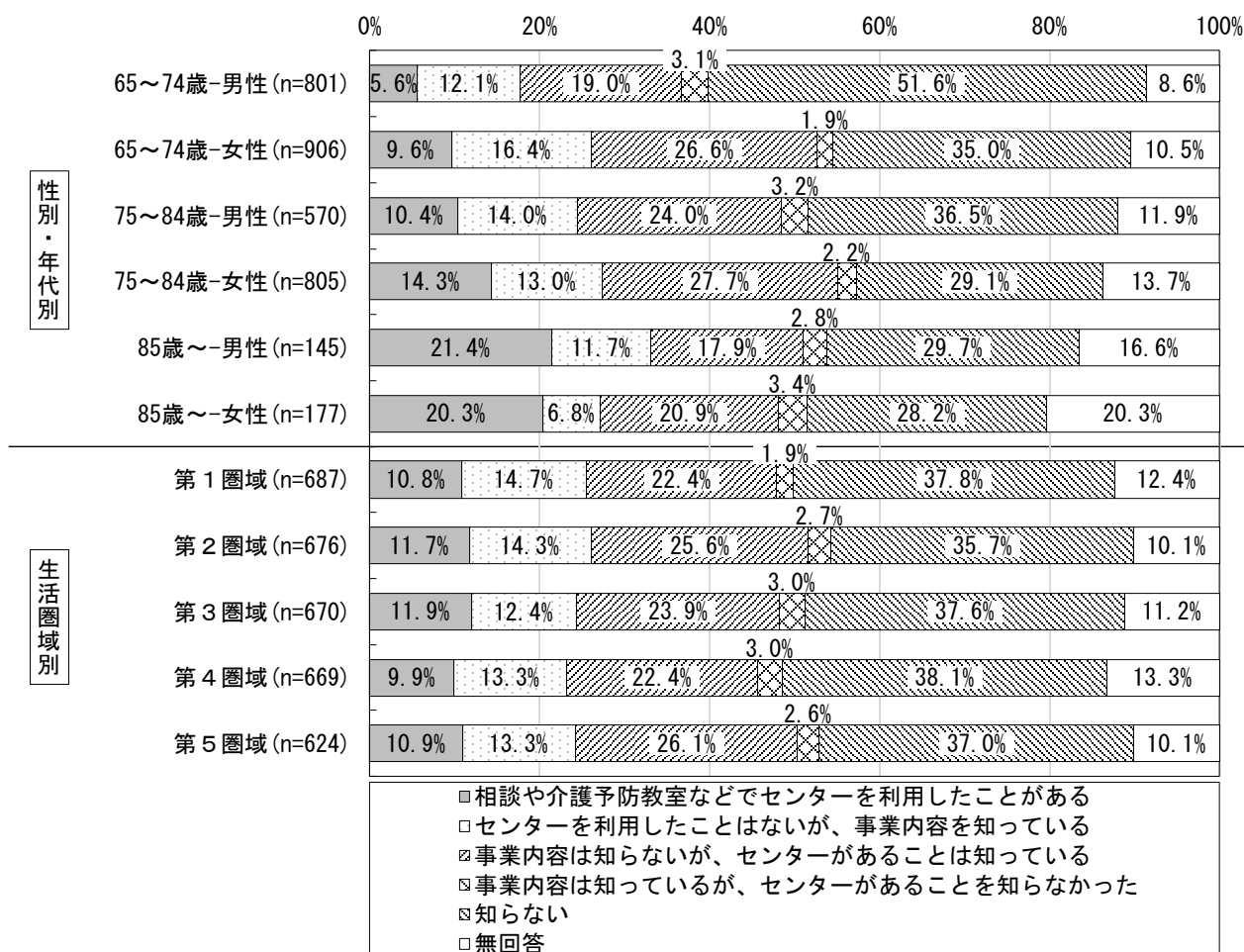
【問 1 1 地域包括支援センターについて】

(1) 地域包括支援センターを知っていますか。(〇は1つ)

n=3,566



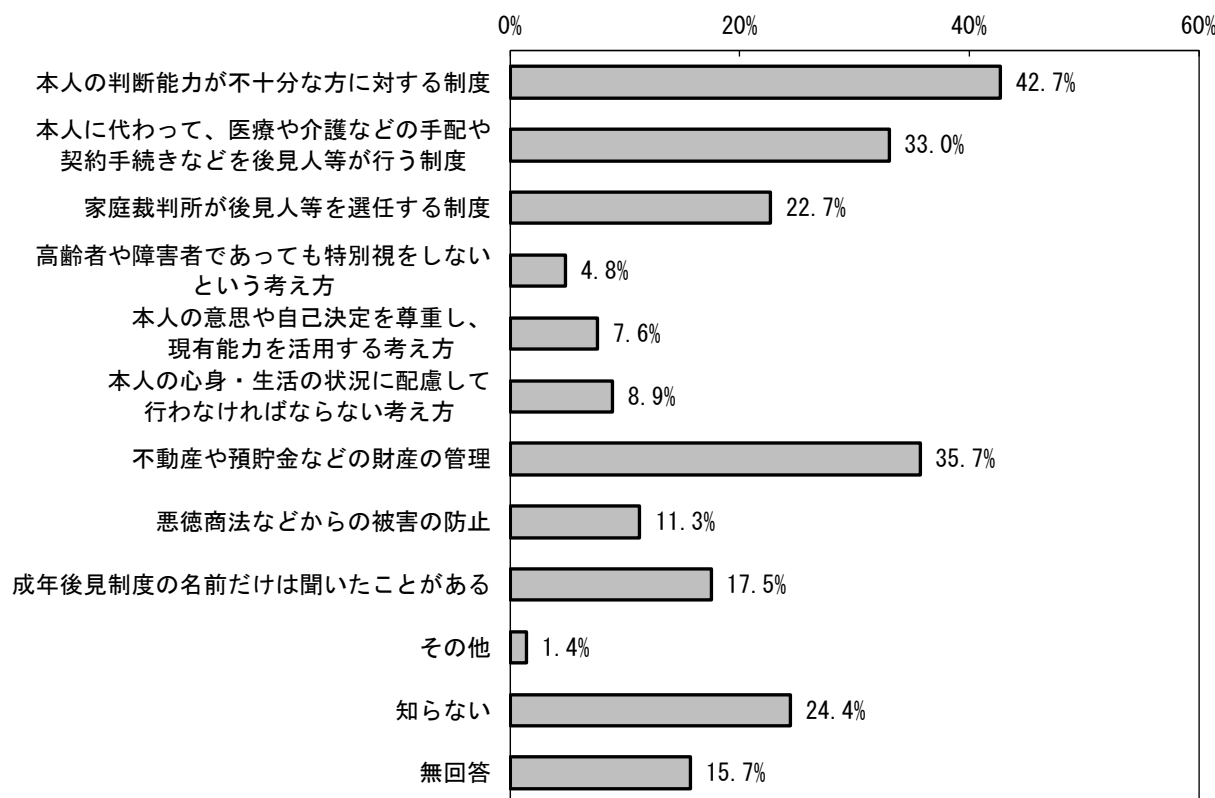
■性別・年代別、生活圏域別



【問 1 2 成年後見制度について】

(1) 成年後見制度について、知っている内容があれば教えてください。(いくつでも)

n=3,566



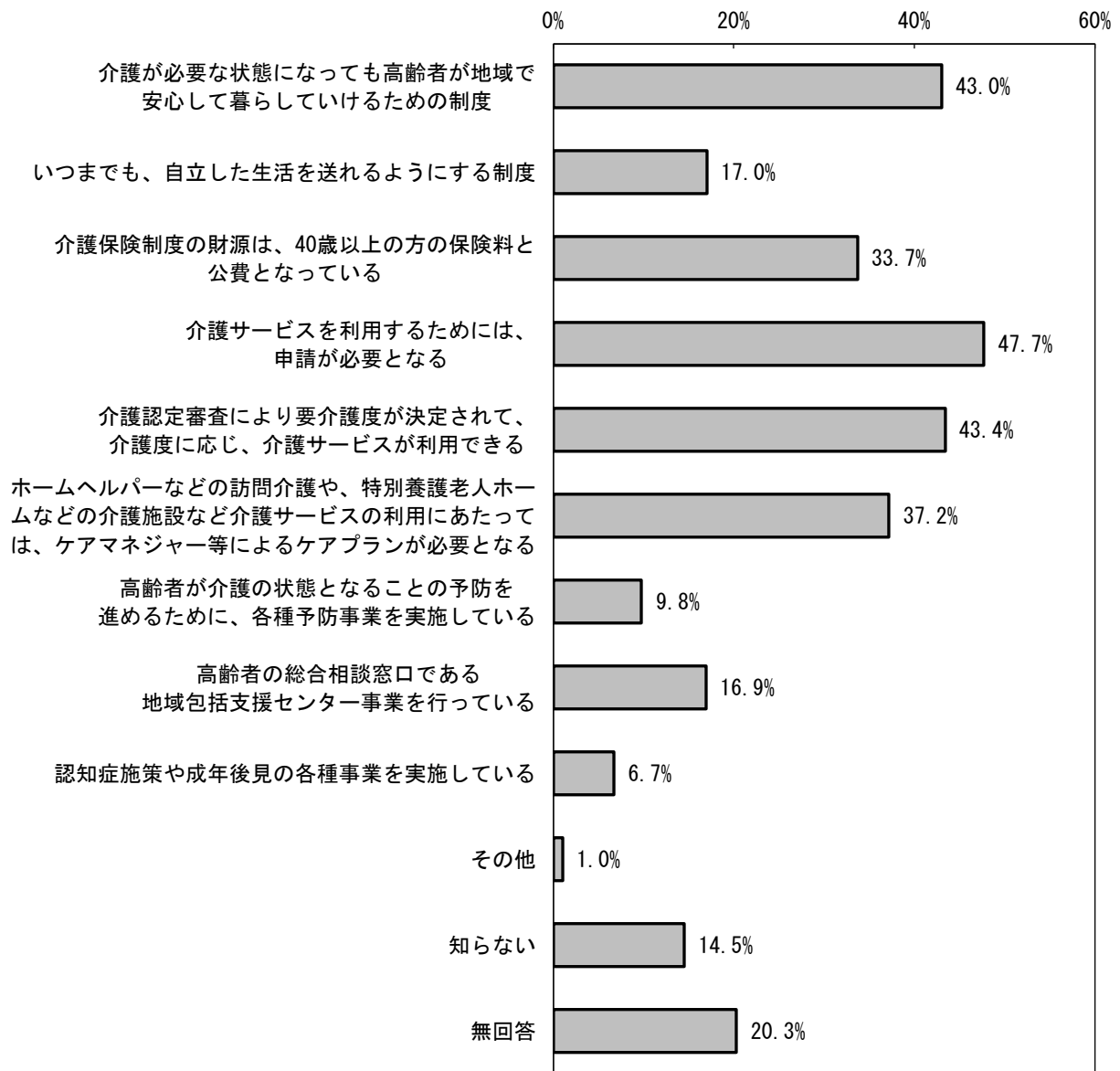
■性別・年代別 上位3位

順位	65~74歳 -男性(801人)	65~74歳 -女性(906人)	75~84歳 -男性(570人)	75~84歳 -女性(805人)	85歳~ -男性(145人)	85歳~ -女性(177人)
第1位	本人の判断能力が不十分な方に対する制度(46.8%)	本人の判断能力が不十分な方に対する制度(51.9%)	本人の判断能力が不十分な方に対する制度(39.5%)	本人の判断能力が不十分な方に対する制度(36.5%)	本人の判断能力が不十分な方に対する制度(35.9%)	本人の判断能力が不十分な方に対する制度(27.1%)
第2位	不動産や預貯金などの財産の管理(37.3%)	不動産や預貯金などの財産の管理(46.4%)	本人に代わって、医療や介護などの手配や契約手続きなどを後見人等が行う制度(31.2%)	不動産や預貯金などの財産の管理(31.3%)	本人に代わって、医療や介護などの手配や契約手続きなどを後見人等が行う制度(29.0%)	知らない(26.0%)
第3位	本人に代わって、医療や介護などの手配や契約手続きなどを後見人等が行う制度(32.1%)	本人に代わって、医療や介護などの手配や契約手続きなどを後見人等が行う制度(40.7%)	不動産や預貯金などの財産の管理(30.9%)	本人に代わって、医療や介護などの手配や契約手続きなどを後見人等が行う制度(29.9%)	不動産や預貯金などの財産の管理(24.1%)	本人に代わって、医療や介護などの手配や契約手続きなどを後見人等が行う制度/不動産や預貯金などの財産の管理(22.0%)

【問 1 3 介護保険や高齢者福祉の支援について】

(1) 介護保険制度について、知っている内容があれば教えてください。(いくつでも)

n=3,566

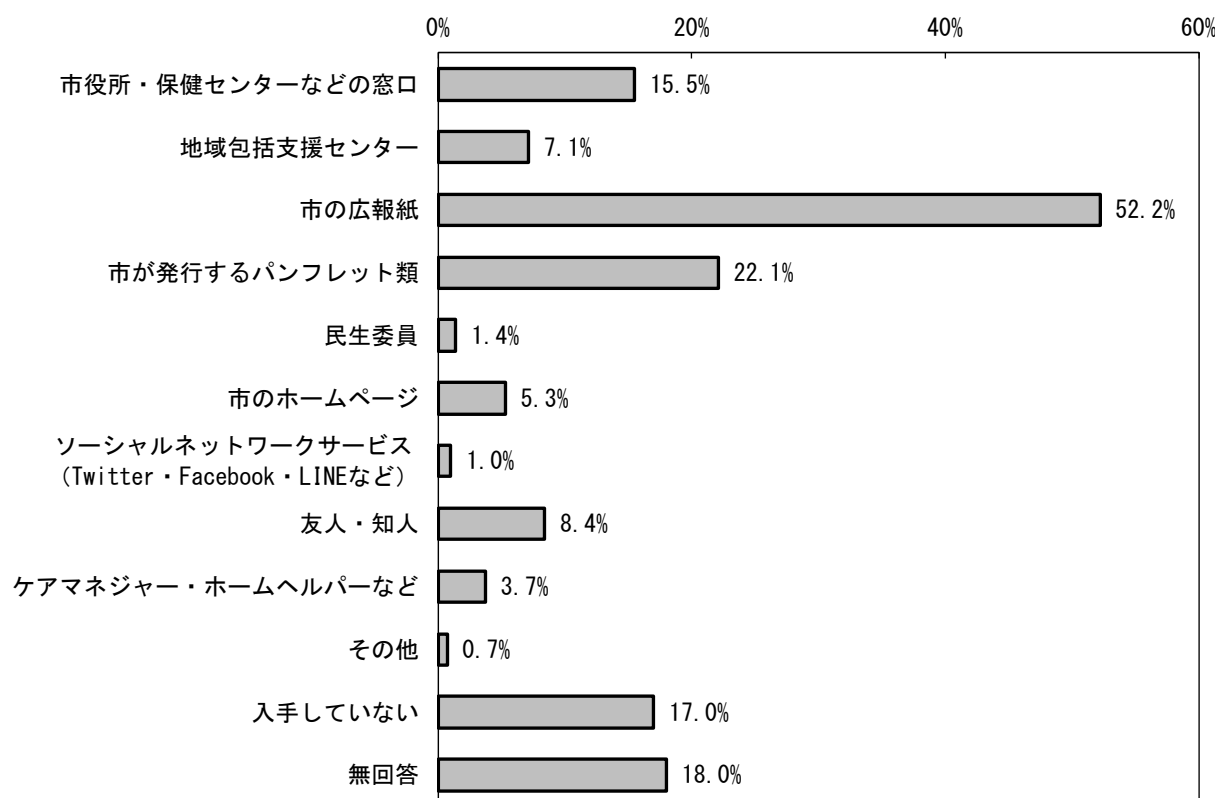


■性別・年代別 上位3位

順位	65～74歳 -男性(801人)	65～74歳 -女性(906人)	75～84歳 -男性(570人)	75～84歳 -女性(805人)	85歳～ -男性(145人)	85歳～ -女性(177人)
第1位	介護サービスを利用するためには、申請が必要となる (46.2%)	介護サービスを利用するためには、申請が必要となる (59.3%)	介護が必要な状態になっても高齢者が地域で安心して暮らしていけるための制度 (46.1%)	介護サービスを利用するためには、申請が必要となる (48.6%)	介護が必要な状態になっても高齢者が地域で安心して暮らしていけるための制度 (43.4%)	介護が必要な状態になっても高齢者が地域で安心して暮らしていけるための制度 (33.3%)
第2位	介護が必要な状態になっても高齢者が地域で安心して暮らしていけるための制度 (45.4%)	介護認定審査により要介護度が決定されて、介護度に応じ、介護サービスが利用できる (54.6%)	介護サービスを利用するためには、申請が必要となる (40.9%)	介護認定審査により要介護度が決定されて、介護度に応じ、介護サービスが利用できる (42.2%)	介護サービスを利用するためには、申請が必要となる (37.9%)	介護サービスを利用するためには、申請が必要となる (32.2%)
第3位	介護認定審査により要介護度が決定されて、介護度に応じ、介護サービスが利用できる (44.6%)	ホームヘルパーなどの訪問介護や、特別養護老人ホームなどの介護施設など介護サービスの利用にあたっては、ケアマネジャー等によるケアプランが必要となる (50.1%)	介護認定審査により要介護度が決定されて、介護度に応じ、介護サービスが利用できる (35.3%)	介護が必要な状態になっても高齢者が地域で安心して暮らしていけるための制度 (41.4%)	介護認定審査により要介護度が決定されて、介護度に応じ、介護サービスが利用できる (35.9%)	介護認定審査により要介護度が決定されて、介護度に応じ、介護サービスが利用できる (26.6%)

(2) 市のイベントや取組（高齢者福祉、介護保険）などの情報は主にどこから入手していますか。
（いくつでも）

n=3,566



■性別・年代別 上位3位

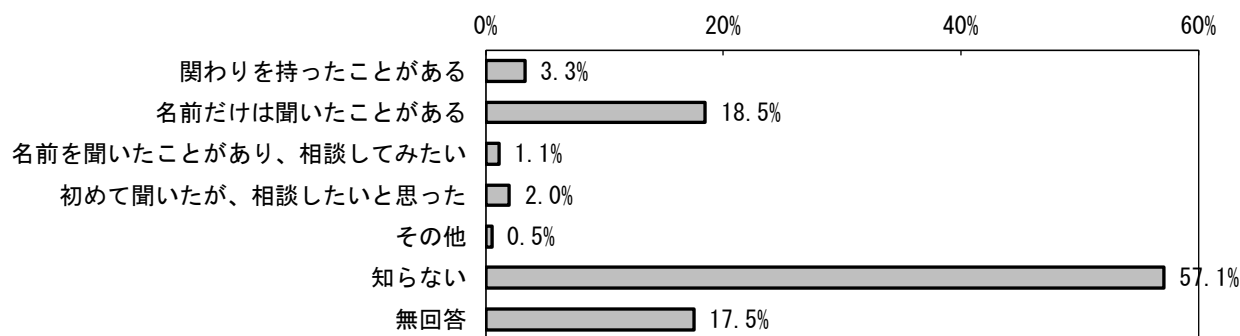
順位	65～74歳 -男性(801人)	65～74歳 -女性(906人)	75～84歳 -男性(570人)	75～84歳 -女性(805人)	85歳～ -男性(145人)	85歳～ -女性(177人)
第1位	市の広報紙 (53.1%)	市の広報紙 (56.3%)	市の広報紙 (51.2%)	市の広報紙 (52.9%)	市の広報紙 (49.7%)	市の広報紙 (41.2%)
第2位	入手していない (22.7%)	市が発行する パンフレット 類(23.0%)	市が発行する パンフレット 類(26.5%)	市が発行する パンフレット 類(20.7%)	市が発行する パンフレット 類(22.8%)	市役所・保健 センターなど の窓口(19.2%)
第3位	市が発行する パンフレット 類(22.3%)	入手していな い(15.5%)	市役所・保健 センターなど の窓口 (21.2%)	入手していな い(16.1%)	市役所・保健 センターなど の窓口 (21.4%)	入手していな い(16.4%)

■生活圏域別 上位3位

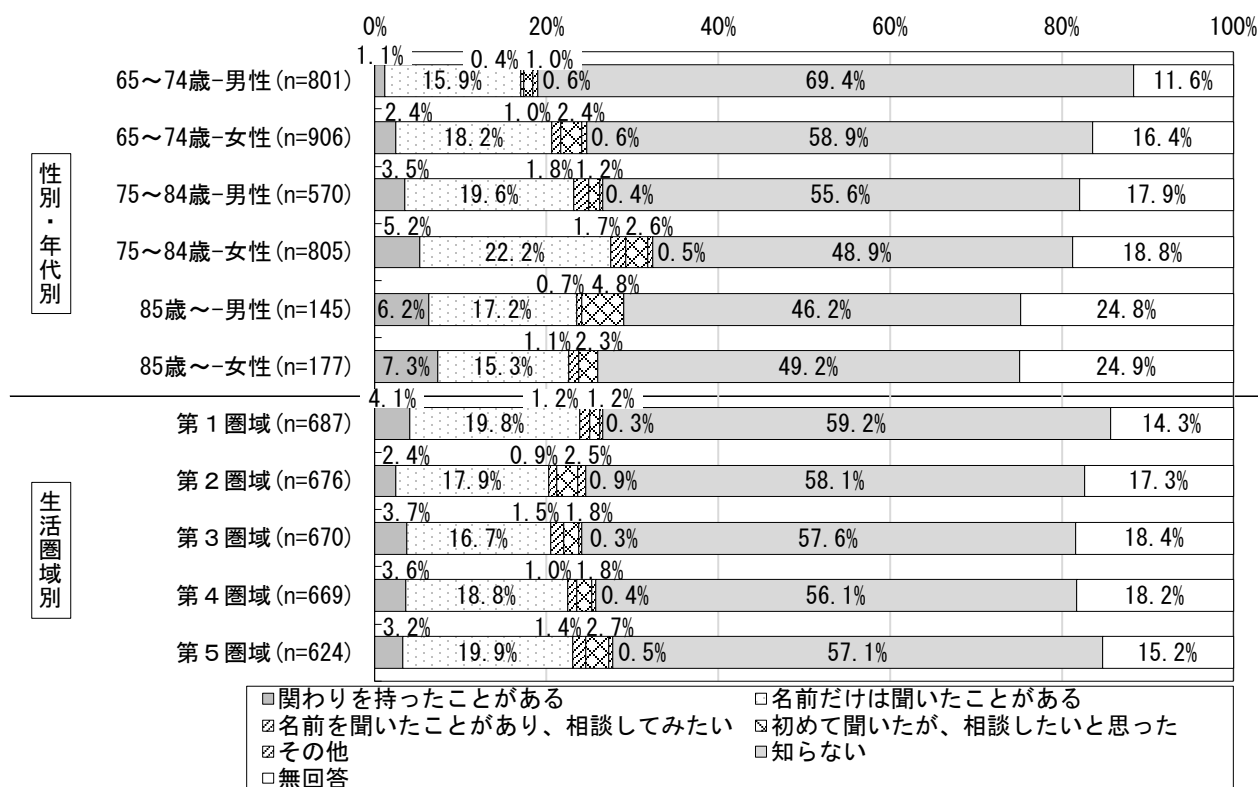
順位	第1圏域 (687人)	第2圏域 (676人)	第3圏域 (670人)	第4圏域 (669人)	第5圏域 (624人)
第1位	市の広報紙 (55.3%)	市の広報紙 (52.1%)	市の広報紙 (52.2%)	市の広報紙 (52.0%)	市の広報紙 (53.8%)
第2位	市が発行する パンフレット 類(23.3%)	市が発行する パンフレット 類(21.9%)	市が発行する パンフレット 類(22.8%)	市が発行する パンフレット 類(22.4%)	市が発行する パンフレット 類(22.9%)
第3位	入手していな い(16.4%)	入手していな い(18.3%)	入手していな い(17.6%)	市役所・保健 センターなど の窓口 (15.4%)	市役所・保健 センターなど の窓口 (20.0%)

(3) 生活支援コーディネーターを知っていますか。(〇は1つ)

n=3,566



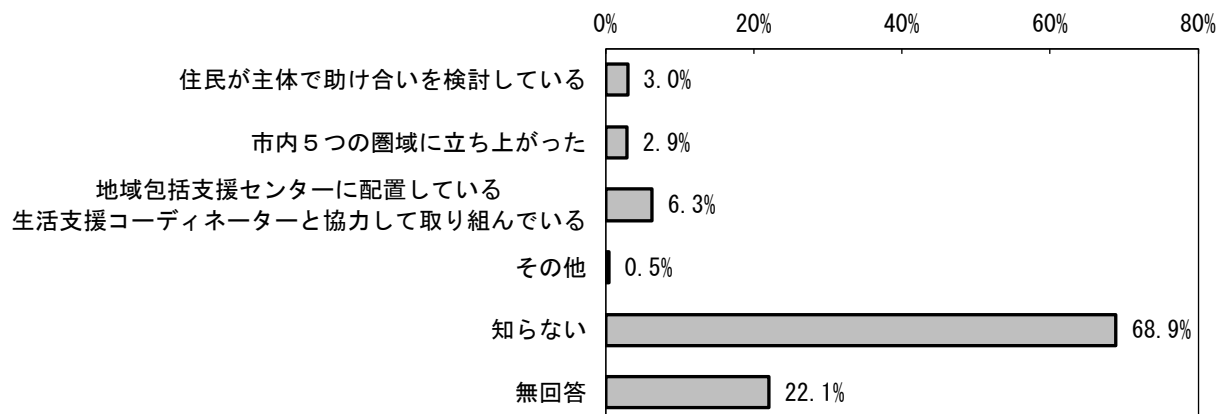
■性別・年代別、生活圏域別



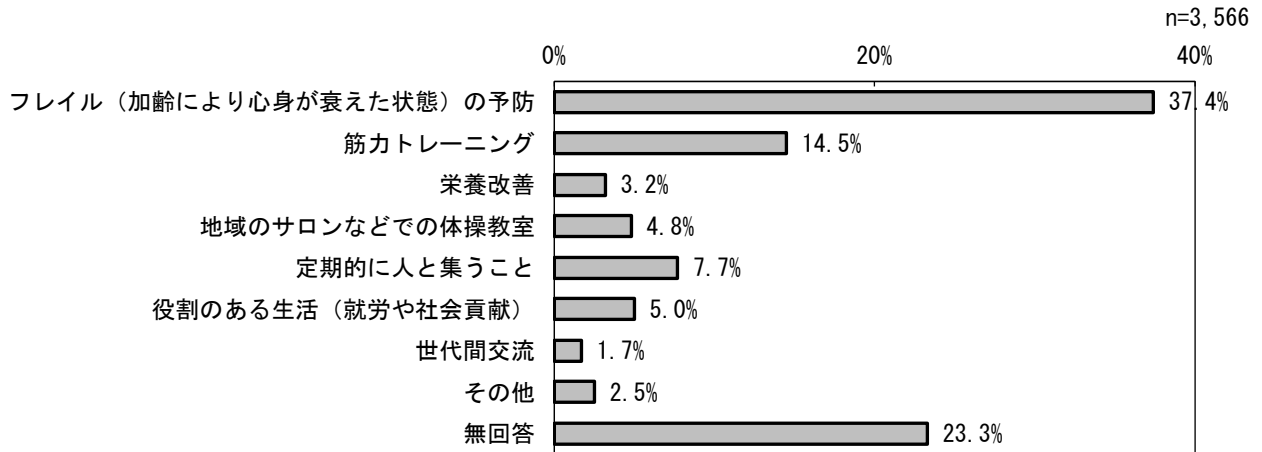
(4) この協議体※の主な取組を知っていますか。(いくつでも)

※市では地域のつながりや助け合い活動を普及するために、協議体を開催しています。

n=3,566



(5) 市では、介護の状態になることの予防を推進しています。このことについて、今後、あなたにとって、最も必要と思われることを選んでください。(〇は1つ)



■性別・年代別 上位3位

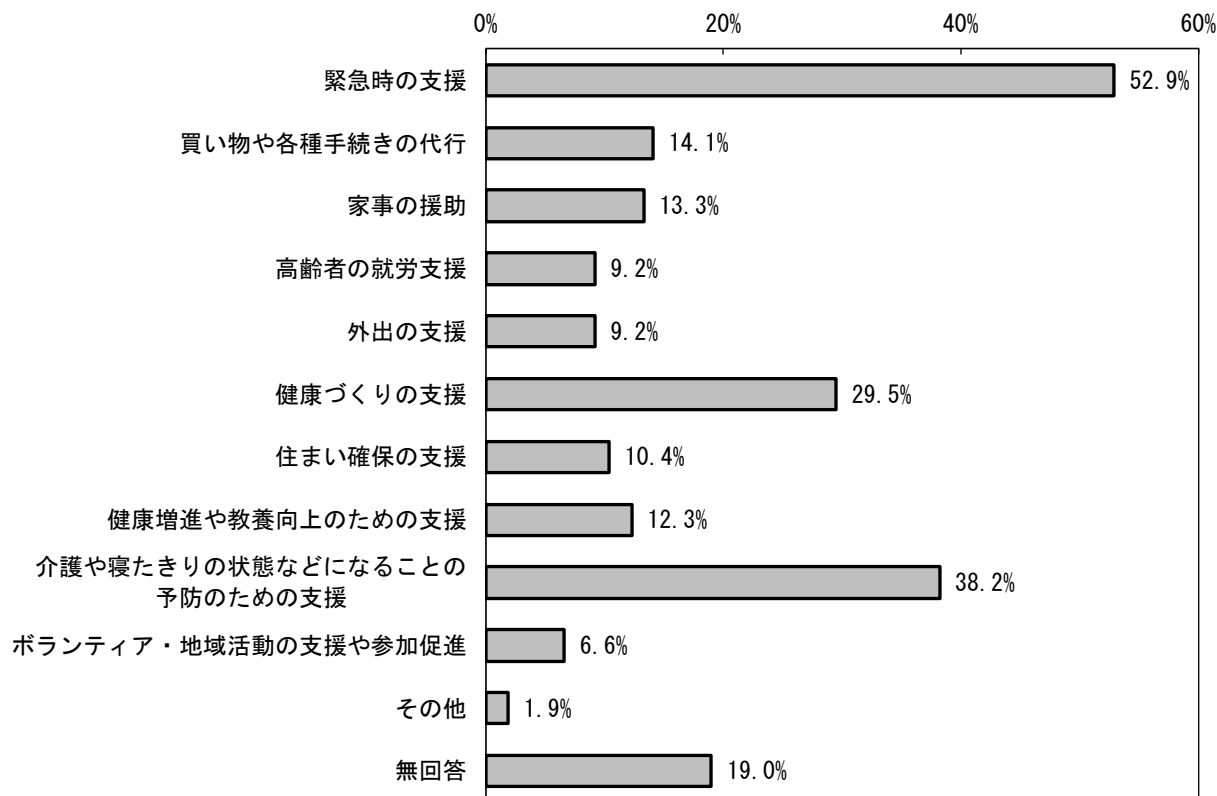
順位	65～74歳 -男性(801人)	65～74歳 -女性(906人)	75～84歳 -男性(570人)	75～84歳 -女性(805人)	85歳～ -男性(145人)	85歳～ -女性(177人)
第1位	フレイル（加齢により心身が衰えた状態）の予防 (40.9%)	フレイル（加齢により心身が衰えた状態）の予防 (34.1%)	フレイル（加齢により心身が衰えた状態）の予防 (42.1%)	フレイル（加齢により心身が衰えた状態）の予防 (35.5%)	フレイル（加齢により心身が衰えた状態）の予防 (33.8%)	フレイル（加齢により心身が衰えた状態）の予防 (35.0%)
第2位	筋力トレーニング (17.2%)	筋力トレーニング (17.7%)	筋力トレーニング (11.1%)	筋力トレーニング (12.9%)	定期的にと人と集うこと (9.7%)	筋力トレーニング (12.4%)
第3位	役割のある生活（就労や社会貢献） (8.9%)	定期的にと人と集うこと (8.6%)	定期的にと人と集うこと (7.4%)	定期的にと人と集うこと (8.3%)	筋力トレーニング (9.0%)	定期的にと人と集うこと (9.0%)

■生活圏域別 上位3位

順位	第1圏域 (687人)	第2圏域 (676人)	第3圏域 (670人)	第4圏域 (669人)	第5圏域 (624人)
第1位	フレイル（加齢により心身が衰えた状態）の予防 (40.0%)	フレイル（加齢により心身が衰えた状態）の予防 (37.9%)	フレイル（加齢により心身が衰えた状態）の予防 (34.3%)	フレイル（加齢により心身が衰えた状態）の予防 (38.0%)	フレイル（加齢により心身が衰えた状態）の予防 (39.9%)
第2位	筋力トレーニング (14.8%)	筋力トレーニング (13.8%)	筋力トレーニング (15.5%)	筋力トレーニング (13.2%)	筋力トレーニング (16.3%)
第3位	定期的にと人と集うこと (7.4%)	定期的にと人と集うこと (7.5%)	定期的にと人と集うこと (7.8%)	定期的にと人と集うこと (8.1%)	定期的にと人と集うこと (7.4%)

(6) 高齢者にとって、住みやすい生活環境を整備するためには、どのような支援が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

n=3,566



■性別・年代別 上位3位

順位	65～74歳 -男性(801人)	65～74歳 -女性(906人)	75～84歳 -男性(570人)	75～84歳 -女性(805人)	85歳～ -男性(145人)	85歳～ -女性(177人)
第1位	緊急時の支援 (53.8%)	緊急時の支援 (53.8%)	緊急時の支援 (53.9%)	緊急時の支援 (55.0%)	緊急時の支援 (53.1%)	緊急時の支援 (45.8%)
第2位	介護や寝たきりの状態などになることの予防のための支援 (35.6%)	介護や寝たきりの状態などになることの予防のための支援 (38.4%)	介護や寝たきりの状態などになることの予防のための支援 (36.5%)	介護や寝たきりの状態などになることの予防のための支援 (42.1%)	介護や寝たきりの状態などになることの予防のための支援 (39.3%)	介護や寝たきりの状態などになることの予防のための支援 (40.7%)
第3位	健康づくりの支援 (34.5%)	健康づくりの支援 (30.2%)	健康づくりの支援 (28.8%)	健康づくりの支援 (27.5%)	健康づくりの支援 (22.1%)	健康づくりの支援 (24.9%)

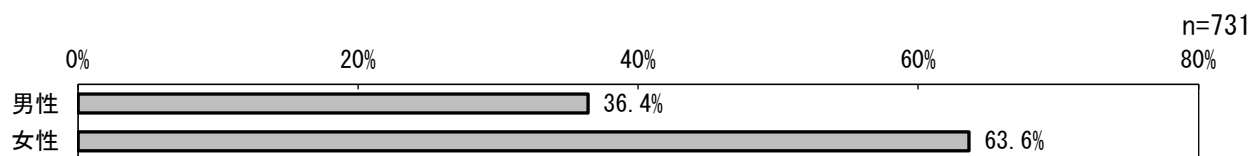
■生活圏域別 上位3位

順位	第1圏域(687人)	第2圏域(676人)	第3圏域(670人)	第4圏域(669人)	第5圏域(624人)
第1位	緊急時の支援 (53.7%)	緊急時の支援 (52.2%)	緊急時の支援 (52.7%)	緊急時の支援 (54.3%)	緊急時の支援 (56.7%)
第2位	介護や寝たきりの状態などになることの予防のための支援 (40.2%)	介護や寝たきりの状態などになることの予防のための支援 (40.2%)	介護や寝たきりの状態などになることの予防のための支援 (37.8%)	介護や寝たきりの状態などになることの予防のための支援 (36.3%)	介護や寝たきりの状態などになることの予防のための支援 (39.3%)
第3位	健康づくりの支援 (31.9%)	健康づくりの支援 (31.2%)	健康づくりの支援 (27.5%)	健康づくりの支援 (28.0%)	健康づくりの支援 (29.8%)

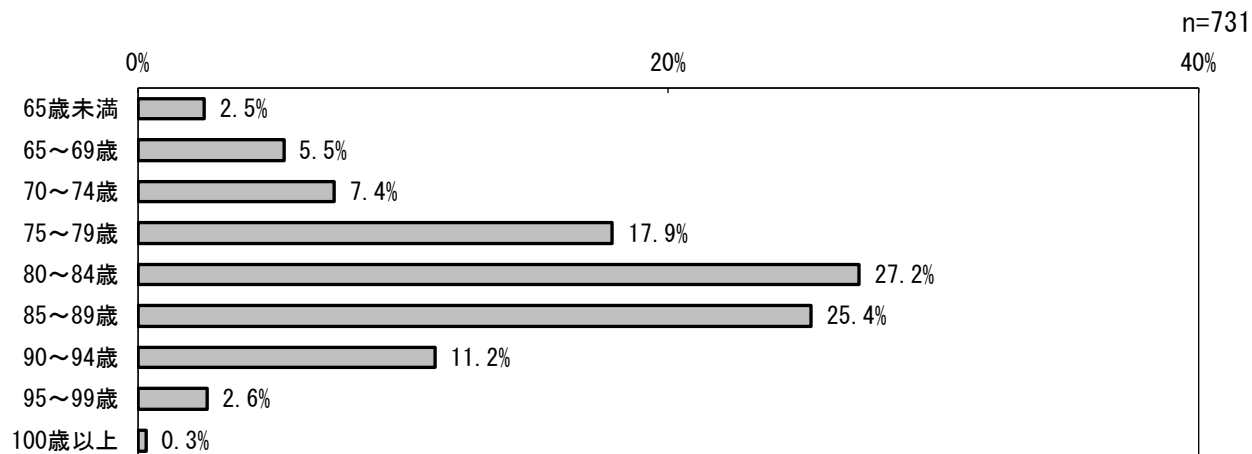
2 在宅介護実態調査

回答者の属性（要介護認定データより）

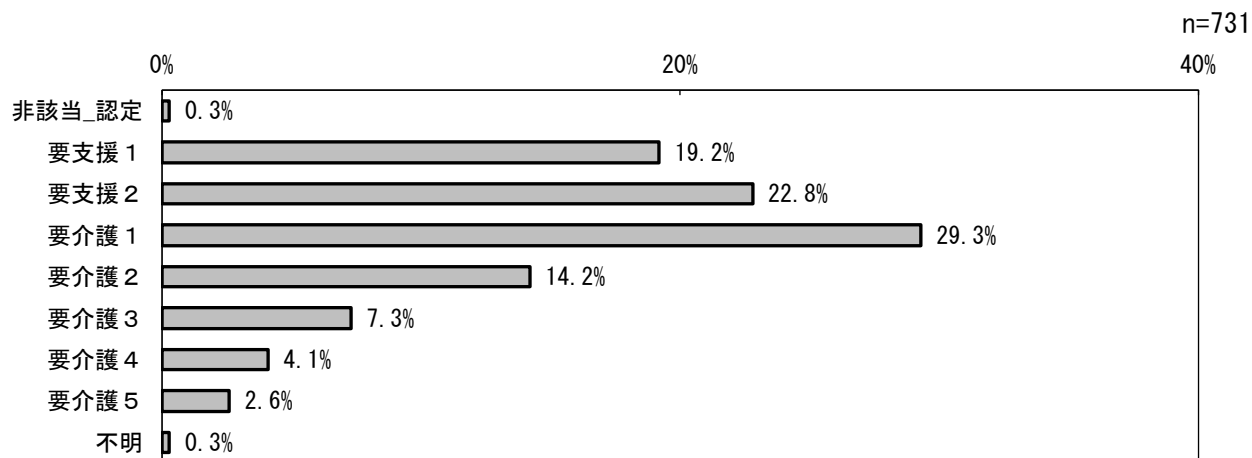
性別



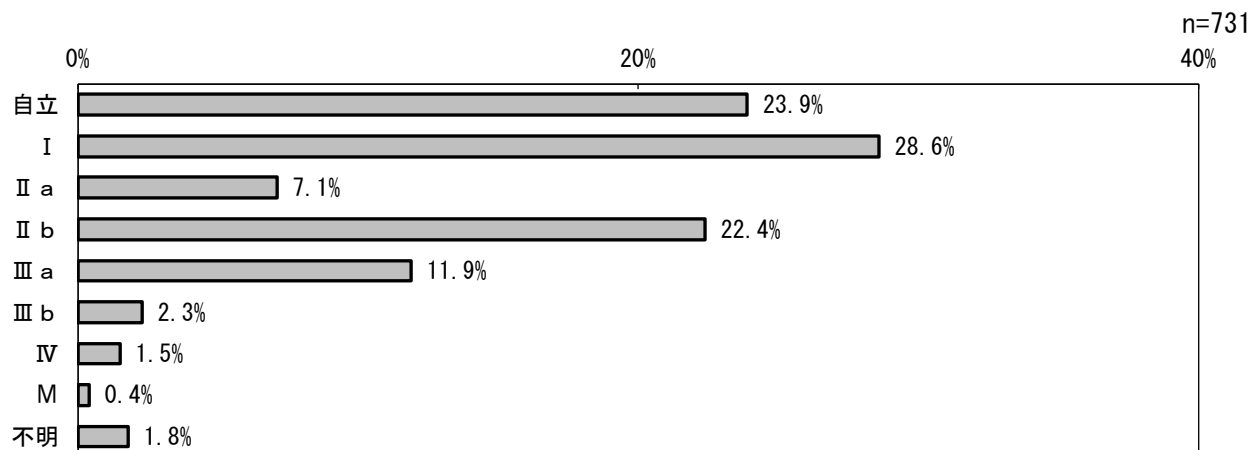
年齢



要介護度

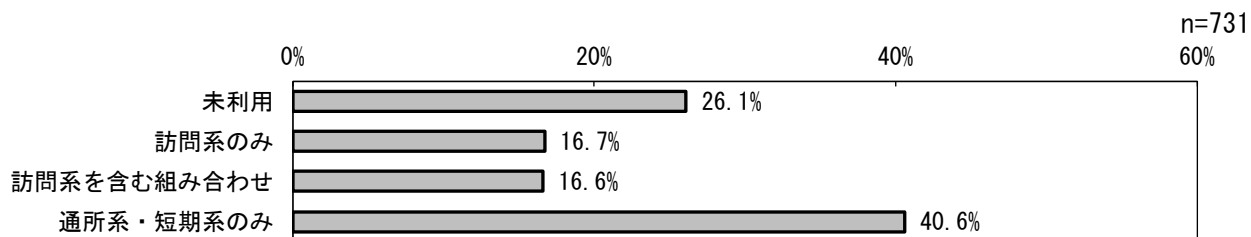


日常生活自立度



在宅介護実態調査結果

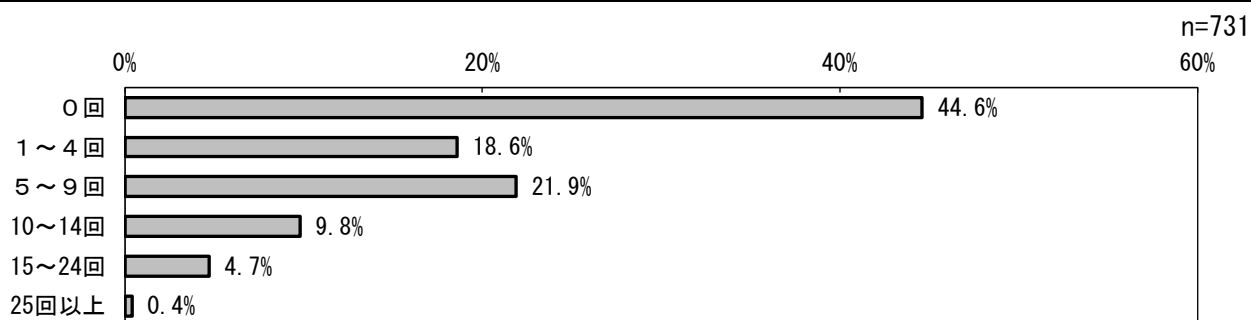
介護保険サービス利用パターン



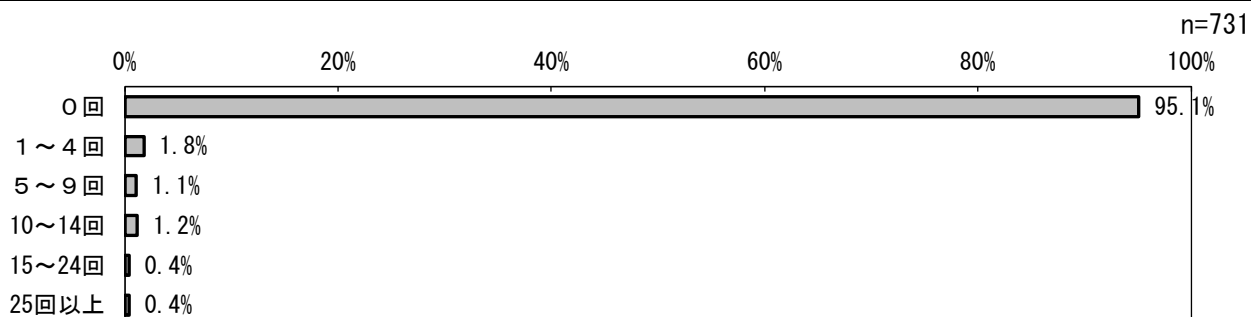
訪問系サービスの利用回数



通所系サービスの利用回数



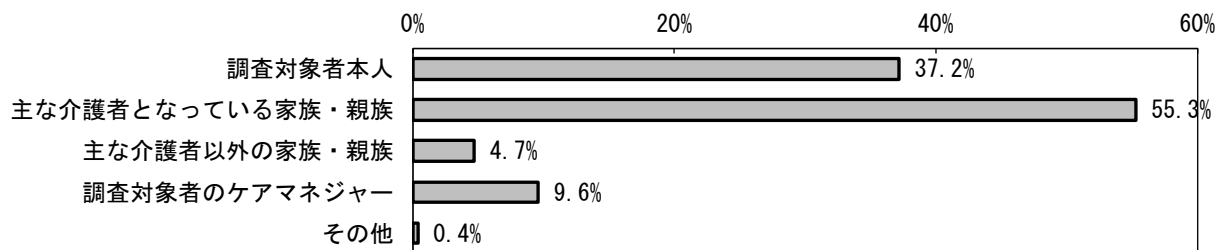
短期系サービスの利用回数



A票

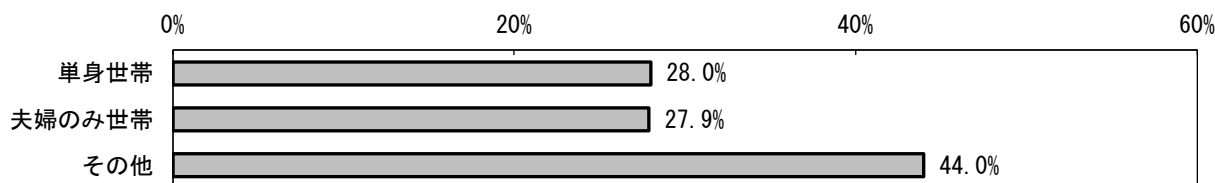
A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか【複数選択可】

n=731

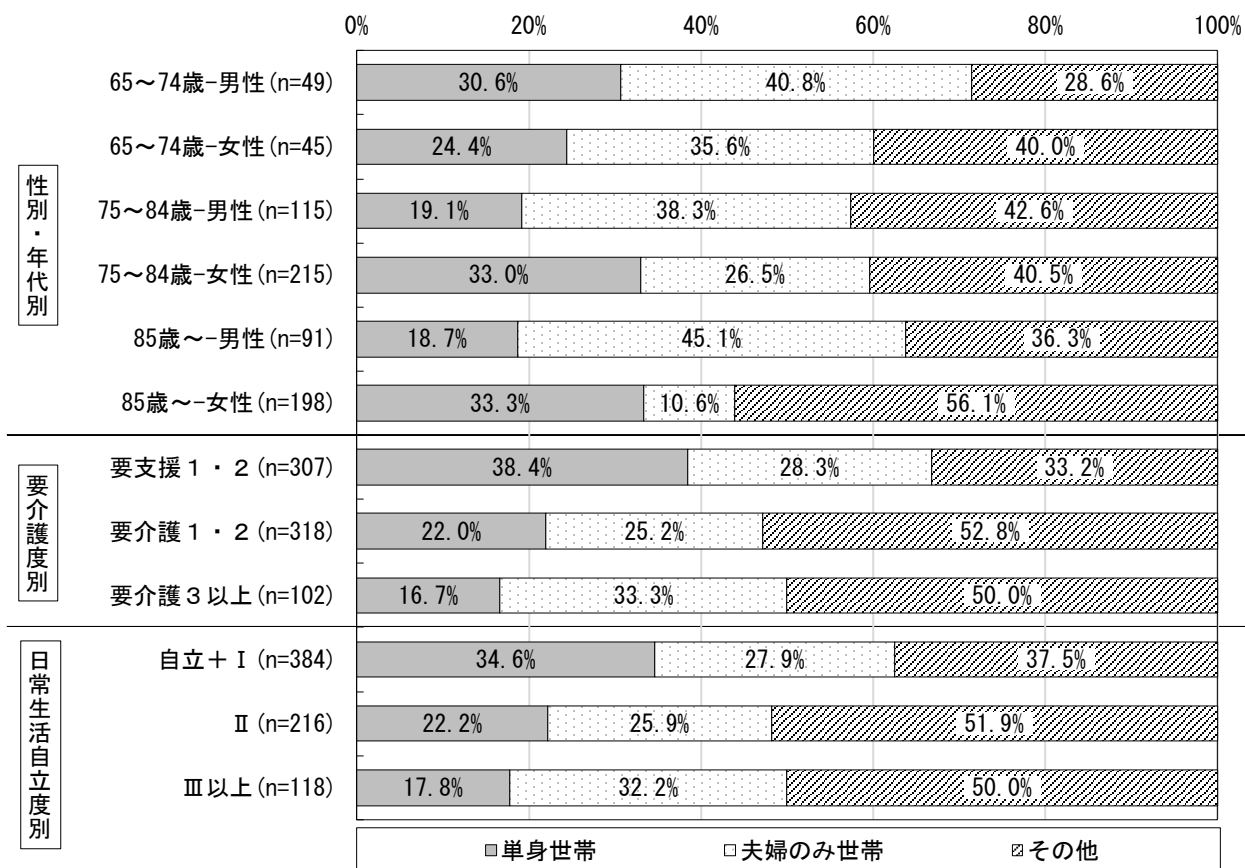


問1 世帯類型について、ご回答ください【1つを選択】

n=731

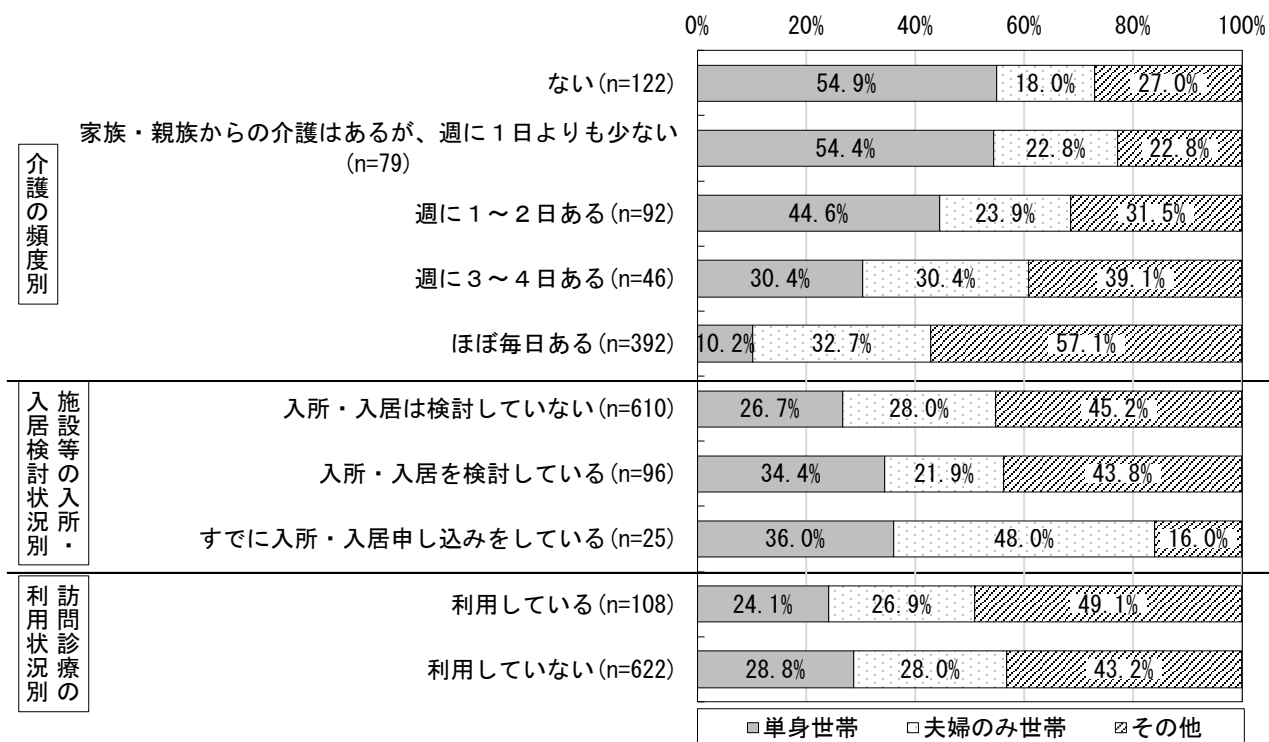


■性別・年代別、要介護度別、日常生活自立度別



在宅介護実態調査結果

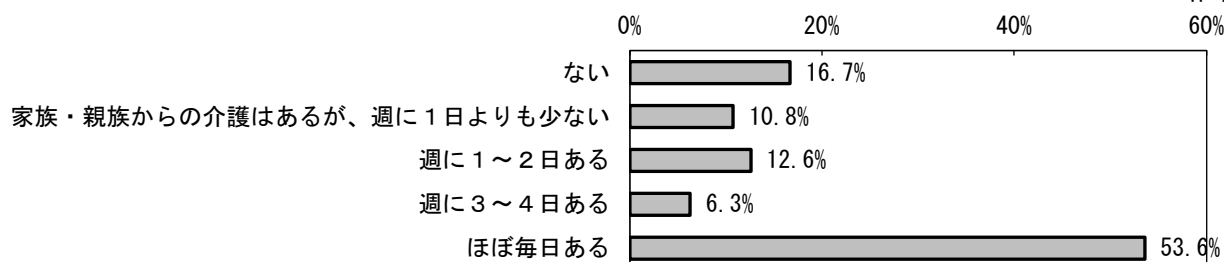
■介護の頻度別、施設等への入所・入居検討状況別、訪問診療の利用状況別



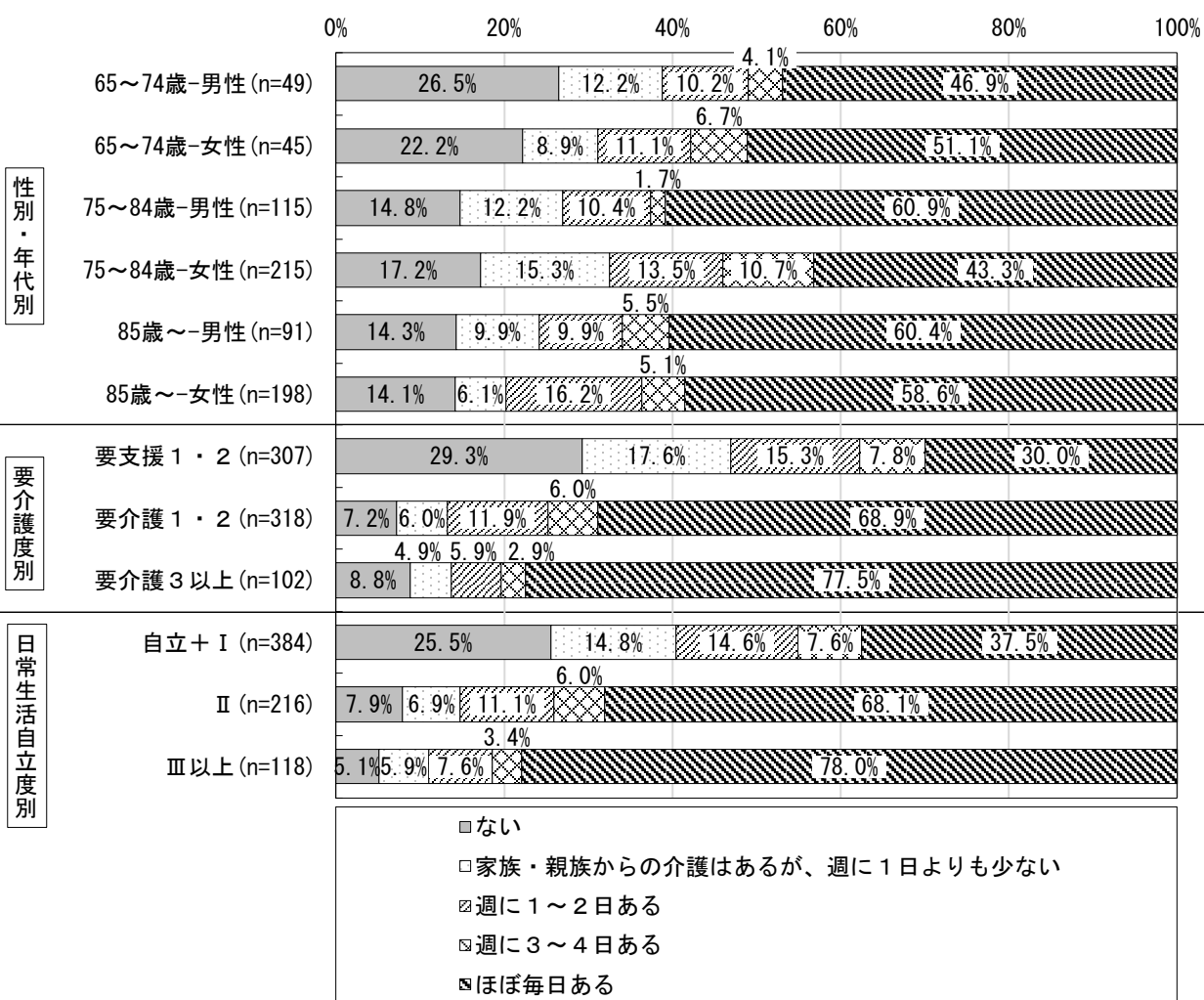
※介護の頻度別：問2とのクロス集計、施設等への入所・入居の検討状況別：問10とのクロス集計
 訪問診療の利用状況別：問12とのクロス集計

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）【1つを選択】

n=731



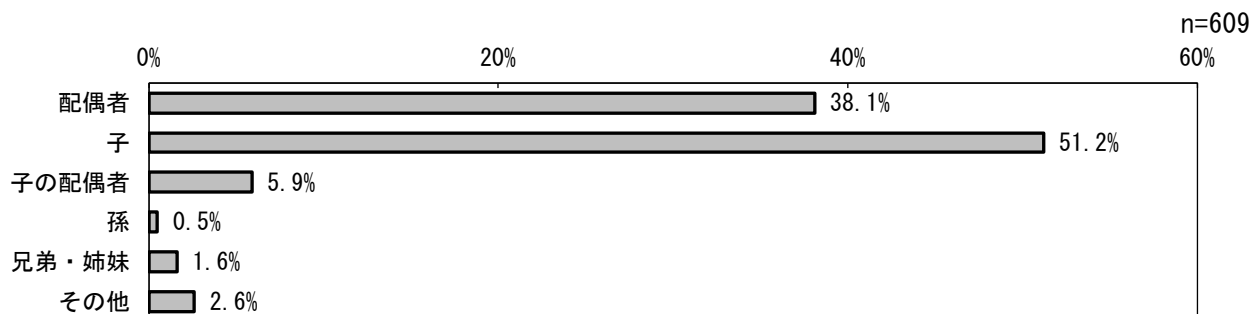
■性別・年代別、要介護度別、日常生活自立度別



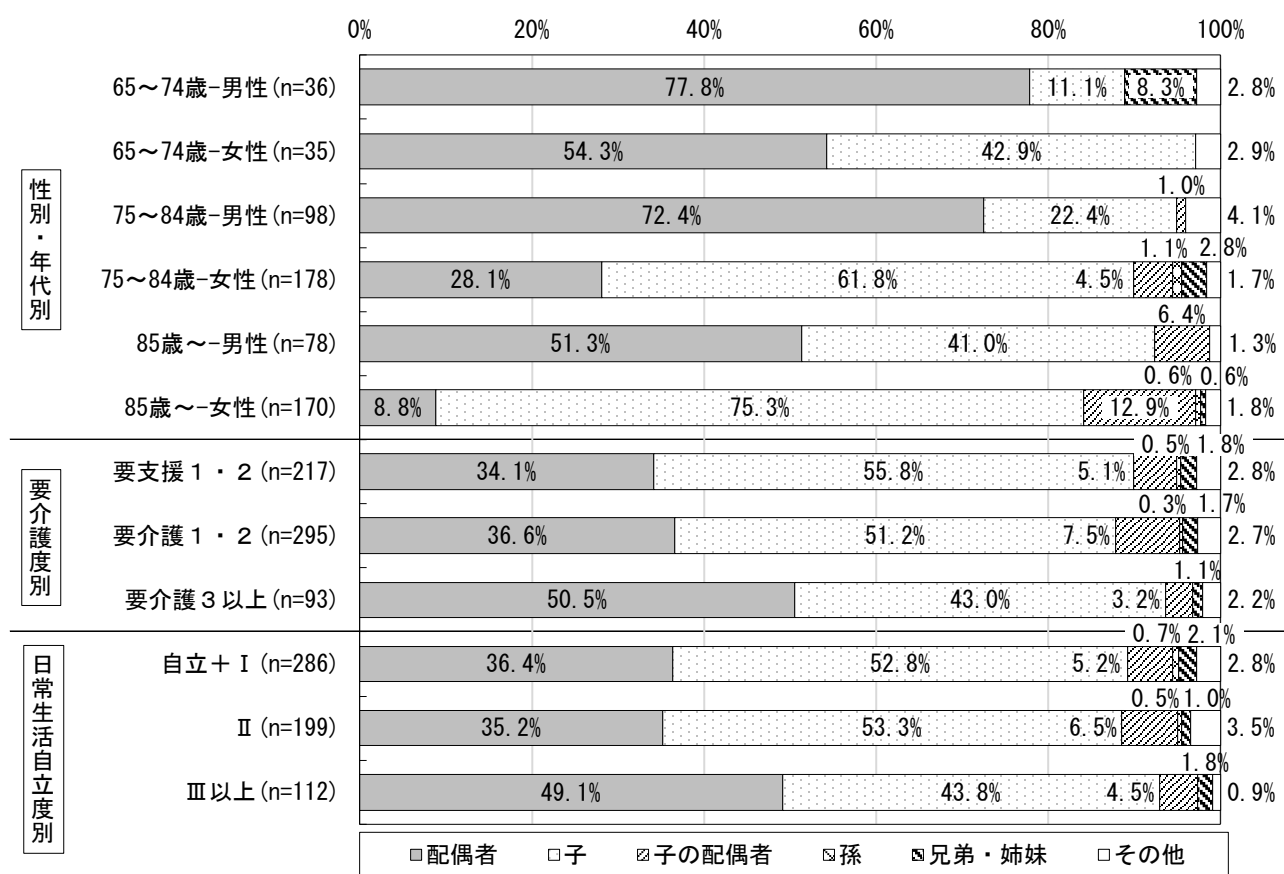
在宅介護実態調査結果

《問3～問7は、問2において「2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」「3. 週に1～2日ある」「4. 週に3～4日ある」「ほぼ毎日ある」と回答した方のみ》

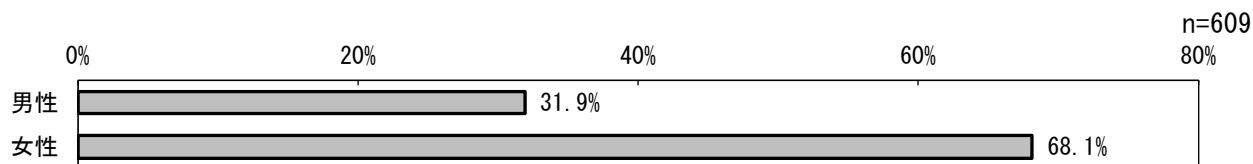
問3 主な介護者の方は、どなたですか【1つを選択】



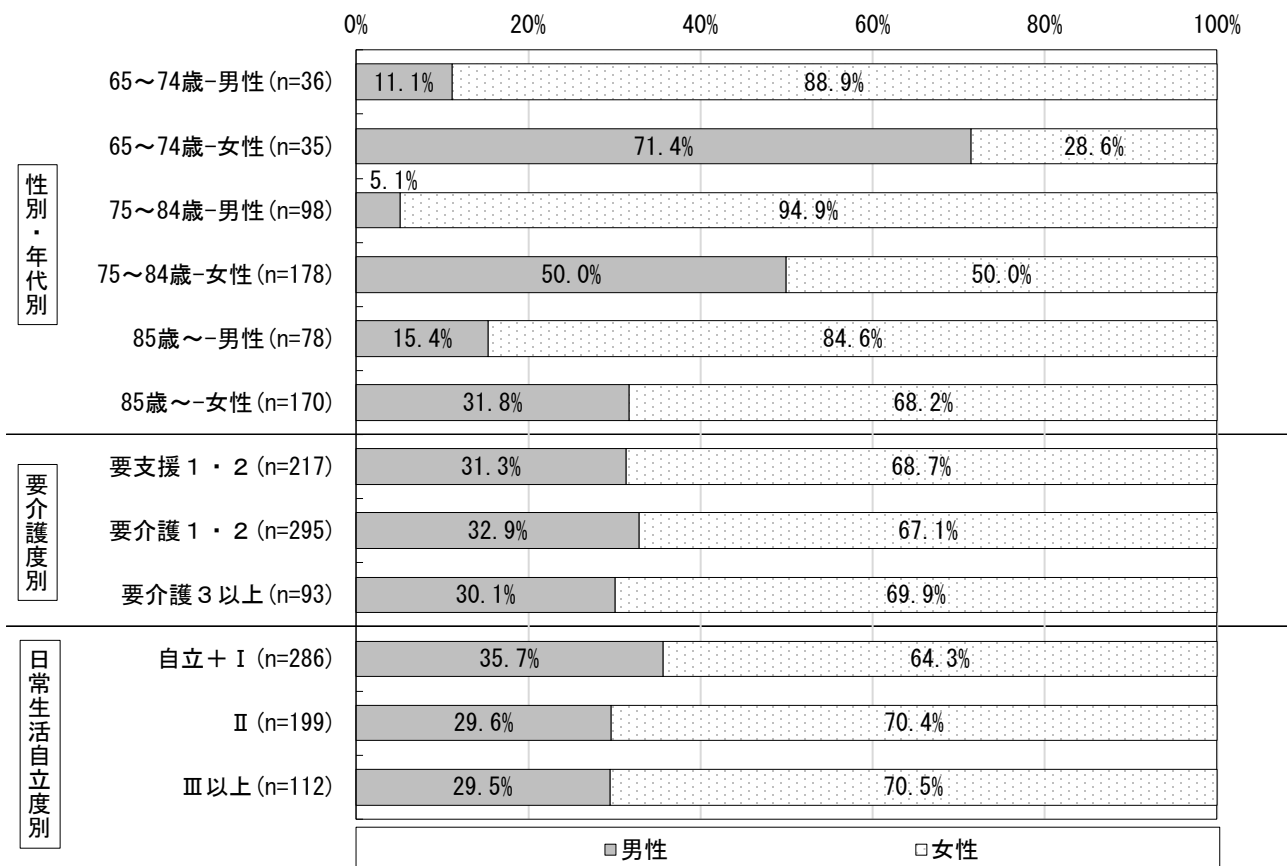
■性別・年代別、要介護度別、日常生活自立度別



問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください【1つを選択】

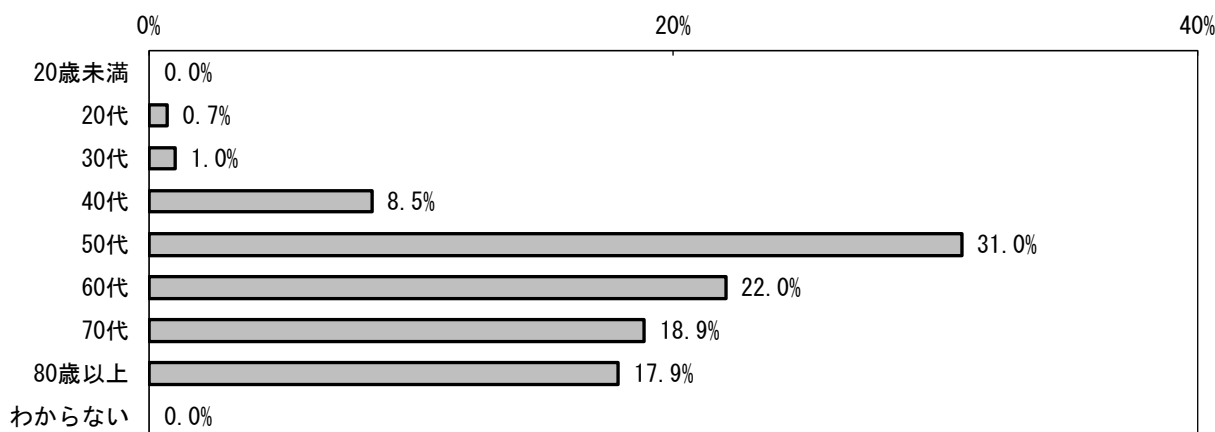


■性別・年代別、要介護度別、日常生活自立度別

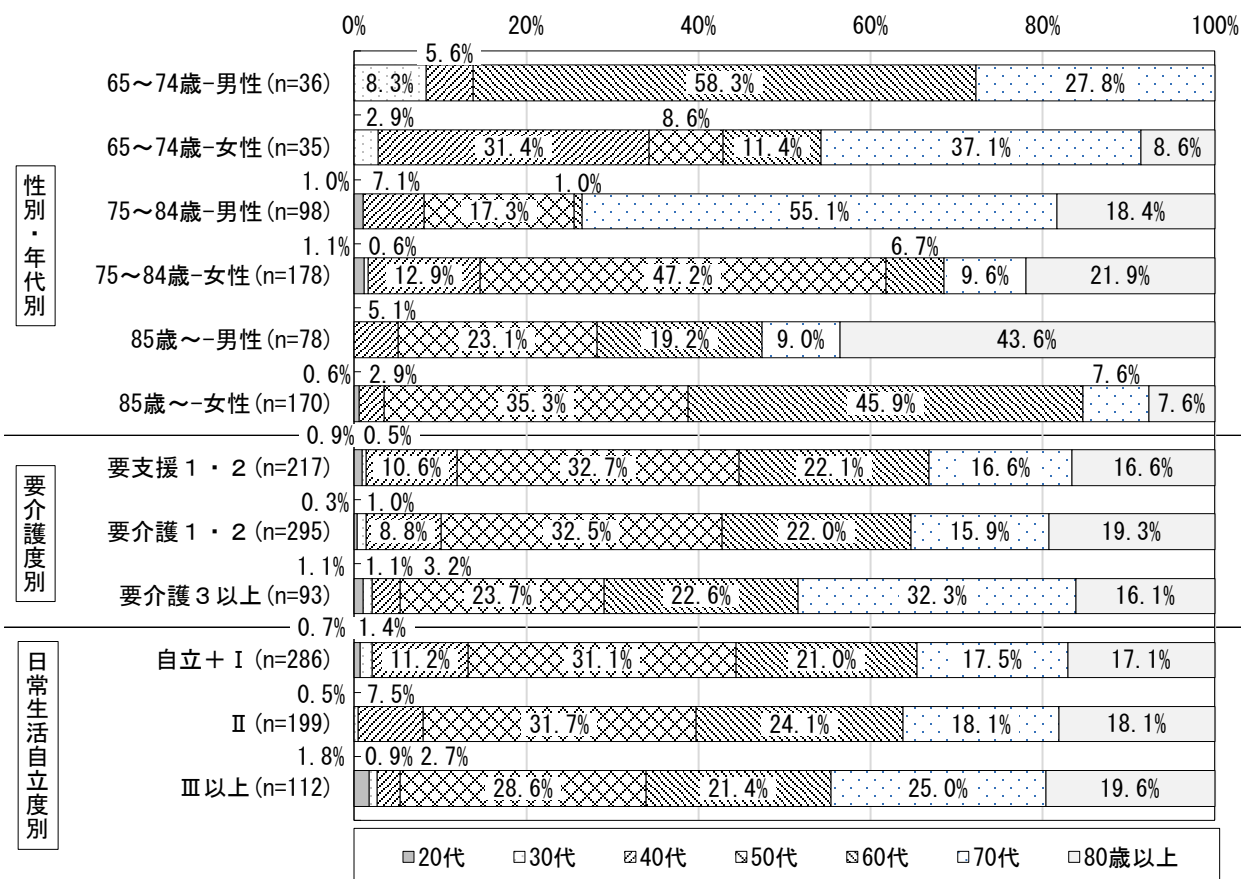


問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください【1つを選択】

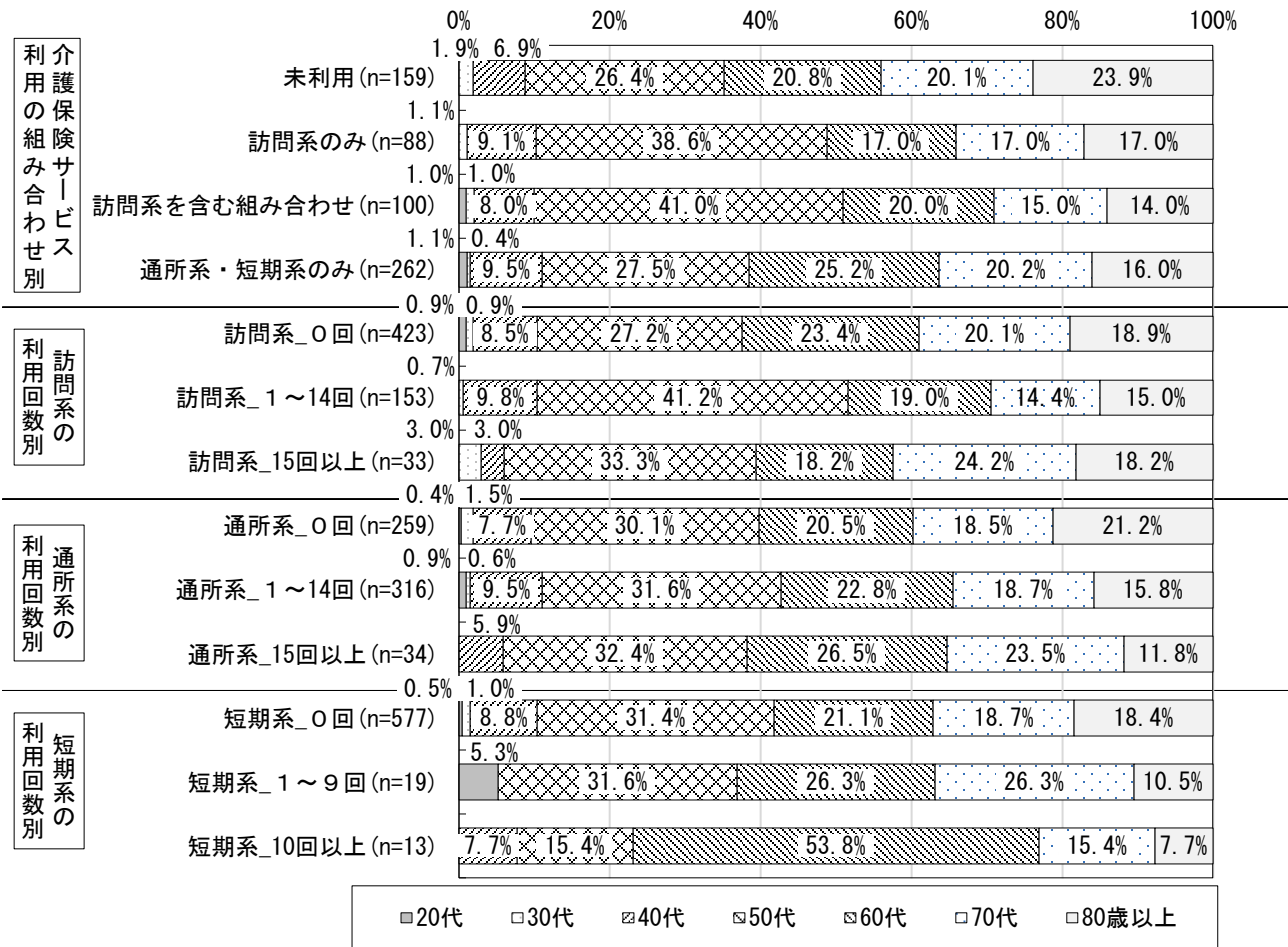
n=609



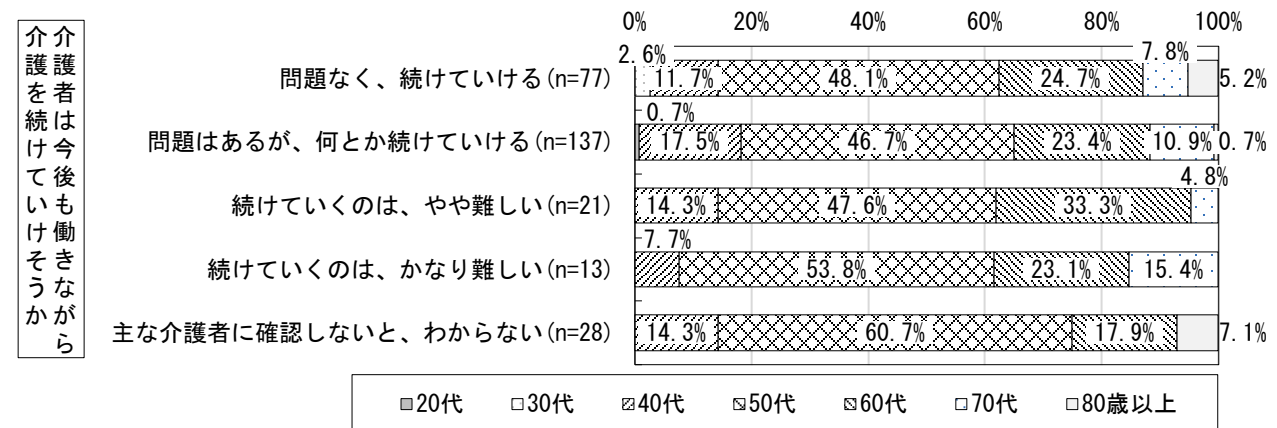
■性別・年代別、要介護度別、日常生活自立度別



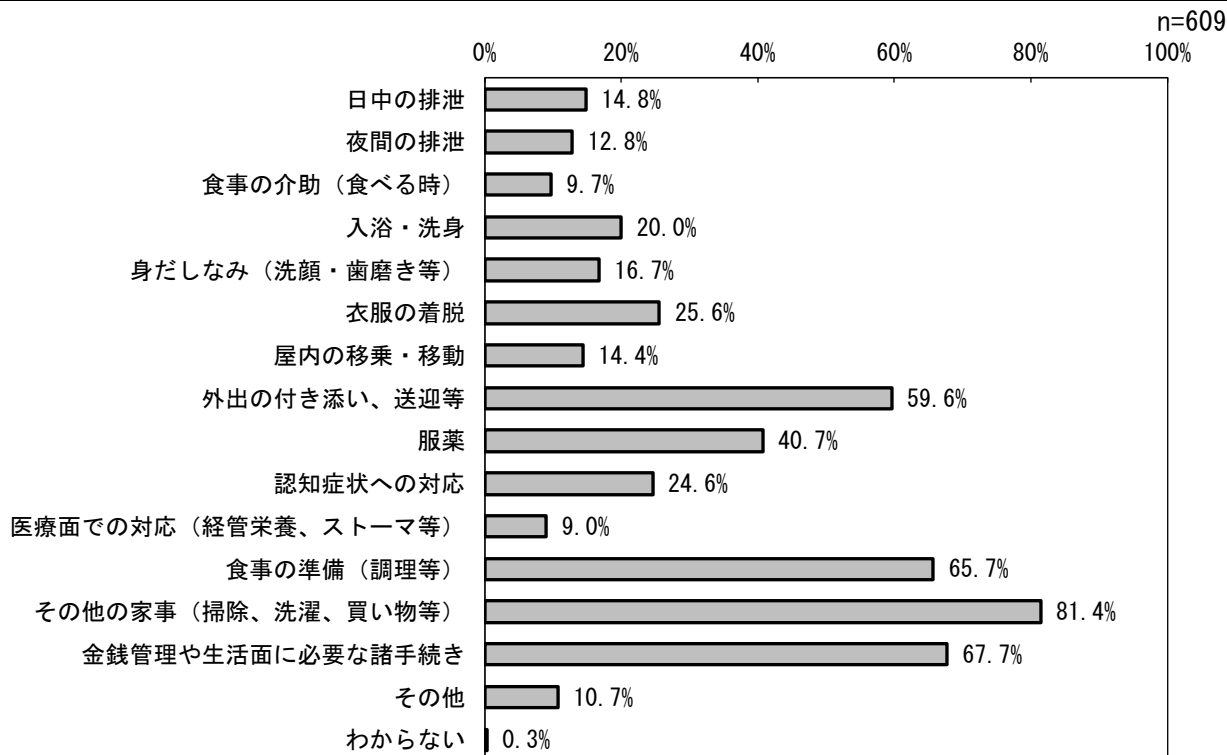
■介護保険サービス利用の組み合わせ別、訪問系・通所系・短期系の利用回数別



■介護者は今後も働きながら介護を続けていけそうか（B票 問4とのクロス集計）



問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください【複数選択可】



■性別・年代別 上位3位

順位	65～74歳 -男性(36人)	65～74歳 -女性(35人)	75～84歳 -男性(98人)	75～84歳 -女性(178人)	85歳～ -男性(78人)	85歳～ -女性(170人)
第1位	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) (88.9%)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) (94.3%)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) (82.7%)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) (76.4%)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) (84.6%)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) (80.0%)
第2位	食事の準備 (調理等) (75.0%)	金銭管理や生活面に必要な 諸手続き (68.6%)	食事の準備 (調理等) (79.6%)	金銭管理や生活面に必要な 諸手続き (57.9%)	食事の準備 (調理等) (75.6%)	金銭管理や生活面に必要な 諸手続き (74.1%)
第3位	外出の付き添い、送迎等 (66.7%)	食事の準備 (調理等) (65.7%)	金銭管理や生活面に必要な 諸手続き (71.4%)	外出の付き添い、送迎等 (57.3%)	金銭管理や生活面に必要な 諸手続き (73.1%)	食事の準備 (調理等) (70.0%)

■要介護度別 上位3位

順位	要支援1・2 (217人)	要介護1・2 (295人)	要介護3以上 (93人)
第1位	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) (76.0%)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) (83.7%)	金銭管理や生活面に必要な 諸手続き (88.2%)
第2位	外出の付き添い、送迎等 (50.7%)	金銭管理や生活面に必要な 諸手続き (78.0%)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) (86.0%)
第3位	食事の準備 (調理等) (47.5%)	食事の準備 (調理等) (73.2%)	食事の準備 (調理等) (82.8%)

■世帯類型別（問1とのクロス集計） 上位3位

順位	単身世帯 (138人)	夫婦のみ世帯 (182人)	その他 (289人)
第1位	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) (70.3%)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) (83.5%)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) (85.5%)
第2位	金銭管理や生活面に必要な諸手続き (58.7%)	食事の準備 (調理等) (70.3%)	食事の準備 (調理等) (77.5%)
第3位	外出の付き添い、送迎等 (52.2%)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き (65.9%)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き (73.0%)

■主な介護者の勤務形態別（B票 問1とのクロス集計） 上位3位

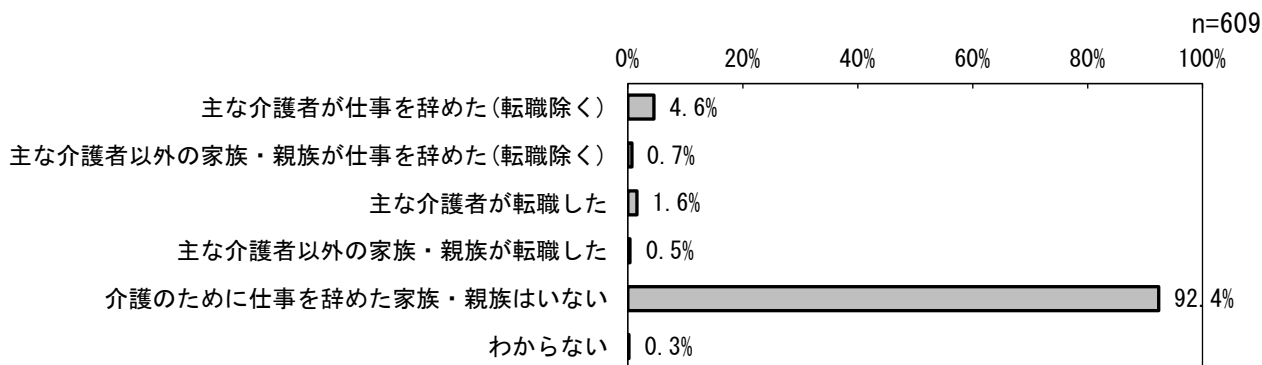
順位	フルタイムで (160人)	パートタイム (118人)	働いていない (318人)	わからない (11人)
第1位	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) (75.6%)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) (78.0%)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) (86.2%)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) (63.6%)
第2位	金銭管理や生活面に必要な諸手続き (71.2%)	食事の準備 (調理等) (65.3%)	食事の準備 (調理等) (73.3%)	外出の付き添い、送迎等 (45.5%)
第3位	外出の付き添い、送迎等 (57.5%)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き (63.6%)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き (68.6%)	食事の準備 (調理等)/ 金銭管理や生活面に必要な諸手続き (36.4%)

■介護者は今後も働きながら介護を続けていけそうか（B票 問4とのクロス集計） 上位3位

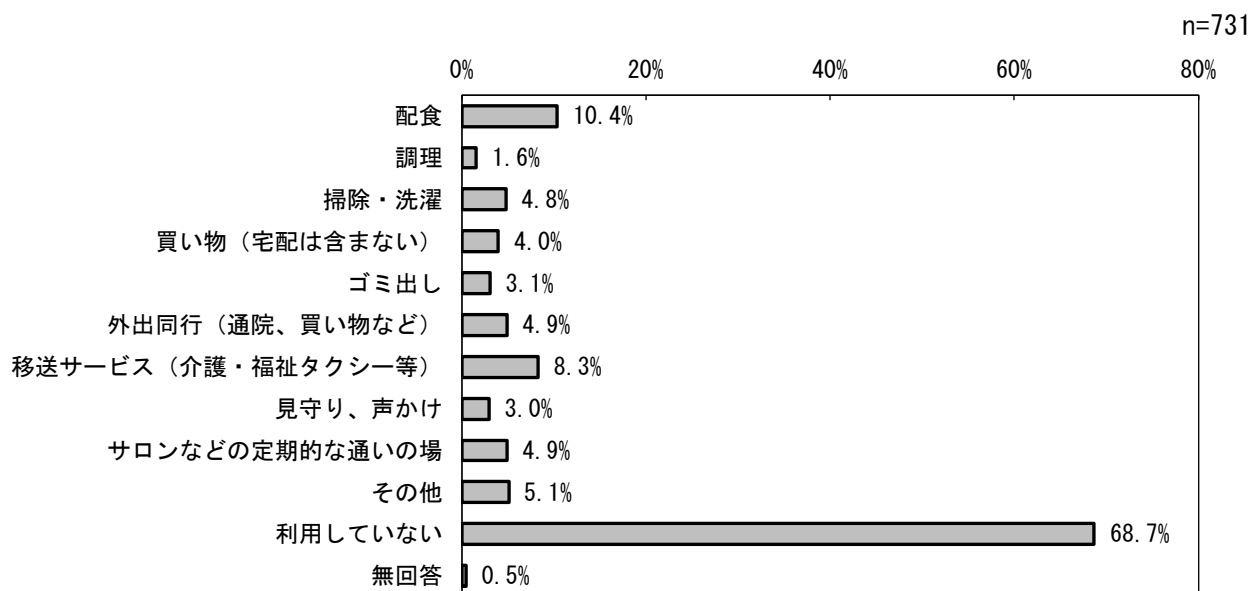
順位	問題なく、 続けていける (77人)	問題はあるが 何とか続けて いける (137人)	続けるのは やや難しい (21人)	続けるのは かなり難しい (13人)	わからない (28人)
第1位	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) (75.3%)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) (77.4%)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き (85.7%)	服薬/ その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)/ 金銭管理や生活面に必要な諸手続き (84.6%)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) (67.9%)
第2位	金銭管理や生活面に必要な諸手続き (61.0%)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き (73.0%)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) (81.0%)		金銭管理や生活面に必要な諸手続き (42.9%)
第3位	外出の付き添い、送迎等 (57.1%)	外出の付き添い、送迎等 (67.9%)	食事の準備 (調理等) (71.4%)		外出の付き添い、送迎等 (25.0%)

在宅介護実態調査結果

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）【複数選択可】



問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください【複数選択可】



■性別・年代別 上位3位

順位	65～74歳 -男性(49人)	65～74歳 -女性(45人)	75～84歳 -男性(115人)	75～84歳 -女性(215人)	85歳～ -男性(91人)	85歳～ -女性(198人)
第1位	移送サービス (介護・福祉 タクシー等) (14.3%)	配食 (11.1%)	移送サービス (介護・福祉 タクシー等) (7.8%)	配食 (10.7%)	配食 (13.2%)	配食 (12.6%)
第2位	配食 (8.2%)	移送サービス (介護・福祉 タクシー等) (8.9%)	配食/ サロンなどの 定期的な通い の場 (5.2%)	移送サービス (介護・福祉 タクシー等) (7.9%)	外出同行(通 院、買い物な ど)/ 移送サービス (介護・福祉 タクシー等) (6.6%)	移送サービス (介護・福祉 タクシー等) (9.1%)
第3位	買い物(宅配 は含まない) (4.1%)	掃除・洗濯/ ゴミ出し (4.4%)		外出同行(通 院、買い物な ど) (6.0%)		掃除・洗濯 (7.6%)

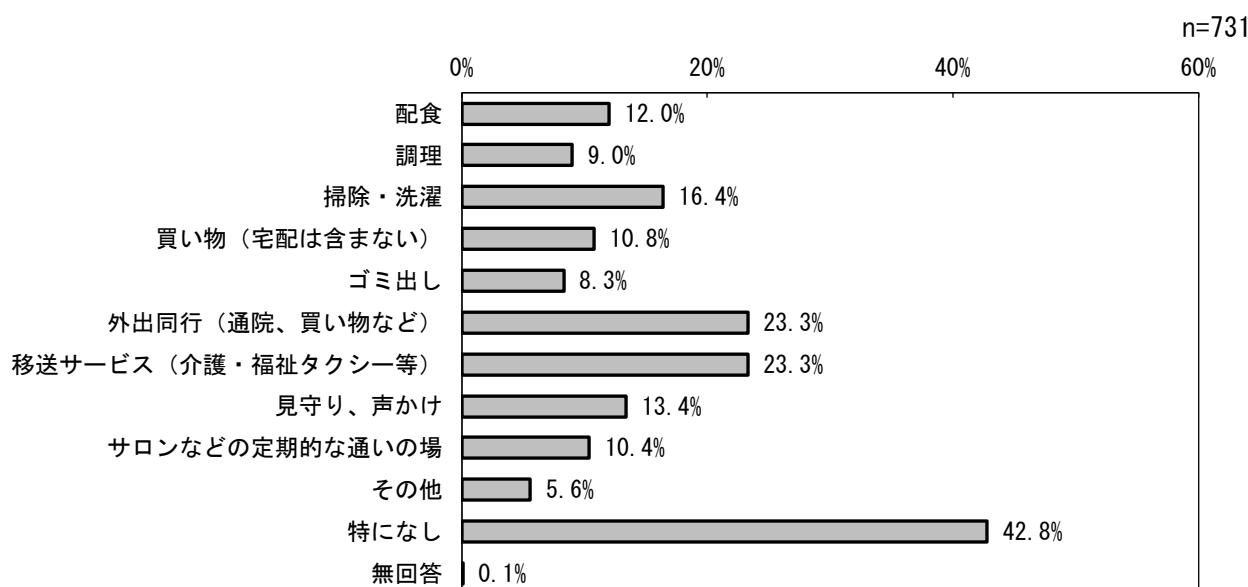
■要介護度別 上位3位

順位	要支援1・2 (307人)	要介護1・2 (318人)	要介護3以上 (102人)
第1位	配食 (9.8%)	配食 (11.3%)	移送サービス(介護・福祉タクシー等) (18.6%)
第2位	サロンなどの定期的な通いの場 (6.5%)	移送サービス(介護・福祉タクシー等) (8.5%)	配食 (9.8%)
第3位	外出同行(通院、買い物など) (6.2%)	掃除・洗濯、サロンなどの定期的な通いの場 (4.7%)	掃除・洗濯 (5.9%)

■世帯類型別 (問1とのクロス集計) 上位3位

順位	単身世帯 (205人)	夫婦のみ世帯 (204人)	その他 (322人)
第1位	配食 (20.5%)	移送サービス(介護・福祉タクシー等) (7.4%)	移送サービス(介護・福祉タクシー等) (9.6%)
第2位	掃除・洗濯 (8.3%)	配食/ 掃除・洗濯 (4.9%)	配食 (7.5%)
第3位	外出同行(通院、買い物など)/ 移送サービス(介護・福祉タクシー等) (7.3%)		サロンなどの定期的な通いの場 (6.5%)

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください【複数選択可】



在宅介護実態調査結果

■性別・年代別 上位3位

順位	65～74歳 -男性(49人)	65～74歳 -女性(45人)	75～84歳 -男性(115人)	75～84歳 -女性(215人)	85歳～ -男性(91人)	85歳～ -女性(198人)
第1位	移送サービス (介護・福祉 タクシー等) (28.6%)	移送サービス (介護・福祉 タクシー等) (24.4%)	移送サービス (介護・福祉 タクシー等) (22.6%)	外出同行(通 院、買い物な ど) (28.8%)	外出同行(通 院、買い物な ど) (26.4%)	移送サービス (介護・福祉 タクシー等) (26.8%)
第2位	外出同行(通 院、買い物な ど)/ サロンなどの 定期的な通い の場 (12.2%)	掃除・洗濯/ 外出同行(通 院、買い物な ど) (22.2%)	掃除・洗濯/ 外出同行(通 院、買い物な ど) (13.9%)	移送サービス (介護・福祉 タクシー等) (20.5%)	掃除・洗濯 (24.2%)	外出同行(通 院、買い物な ど) (24.7%)
第3位				掃除・洗濯 (15.8%)	移送サービス (介護・福祉 タクシー等) (23.1%)	掃除・洗濯、 見守り、声か け (16.7%)

■要介護度別 上位3位

順位	要支援1・2 (307人)	要介護1・2 (318人)	要介護3以上 (102人)
第1位	外出同行(通院、買い物 など)(24.4%)	移送サービス(介護・福 祉タクシー等)(24.8%)	移送サービス(介護・福 祉タクシー等)(30.4%)
第2位	掃除・洗濯 (20.2%)	外出同行(通院、買い物 など)(23.9%)	外出同行(通院、買い物 など)(17.6%)
第3位	移送サービス(介護・福 祉タクシー等)(19.5%)	見守り、声かけ (18.6%)	配食 (12.7%)

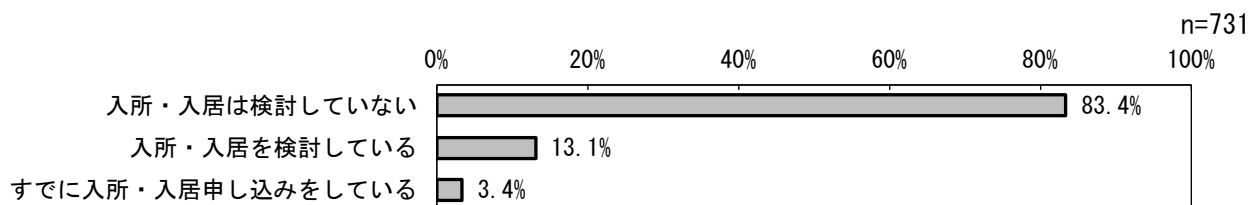
■日常生活自立度 上位3位

順位	自立+I (384人)	II (216人)	III以上 (118人)
第1位	外出同行(通院、買い物 など)(24.5%)	移送サービス(介護・福 祉タクシー等)(25.0%)	移送サービス(介護・福 祉タクシー等)(26.3%)
第2位	移送サービス(介護・福 祉タクシー等)(21.1%)	外出同行(通院、買い物 など)(19.9%)	外出同行(通院、買い物 など)(24.6%)
第3位	掃除・洗濯 (18.0%)	見守り、声かけ、 配食(16.2%)	見守り、声かけ (16.9%)

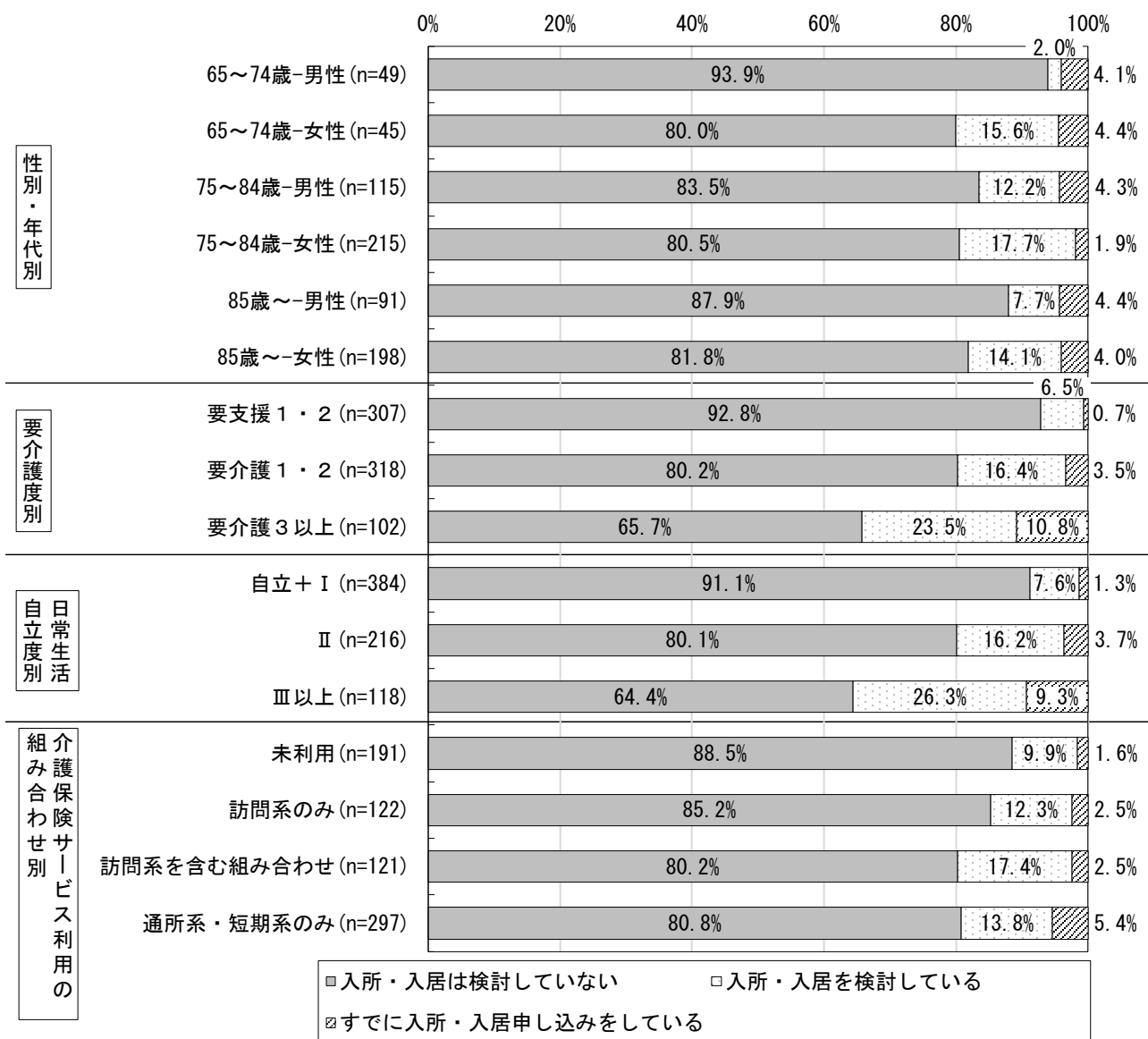
■世帯類型別(問1とのクロス集計) 上位3位

順位	単身世帯 (205人)	夫婦のみ世帯 (204人)	その他 (322人)
第1位	外出同行(通院、買い物 など)(25.9%)	移送サービス(介護・福 祉タクシー等)(21.6%)	移送サービス(介護・福 祉タクシー等)(26.4%)
第2位	掃除・洗濯 (23.9%)	外出同行(通院、買い物 など)(20.6%)	外出同行(通院、買い物 など)(23.3%)
第3位	移送サービス(介護・福 祉タクシー等)(20.0%)	掃除・洗濯 (19.1%)	見守り、声かけ (13.7%)

問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください【1つを選択】

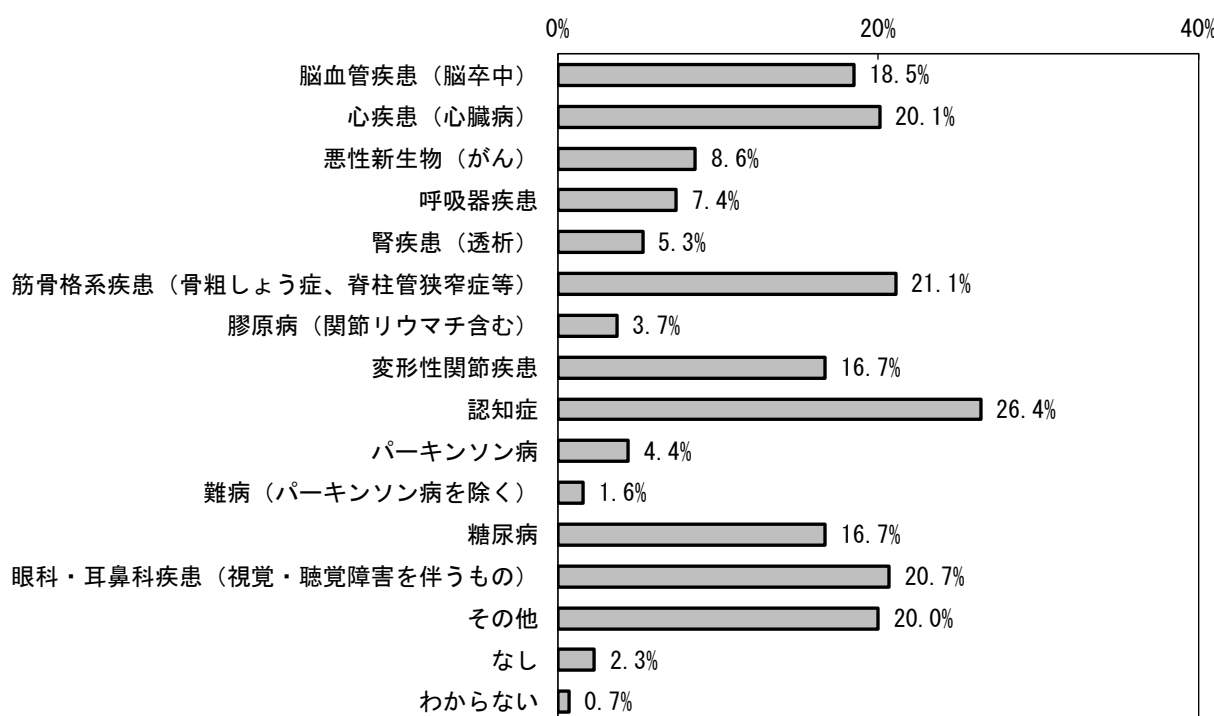


■性別・年代別、要介護度別、日常生活自立度別、介護保険サービス利用の組み合わせ別



問 11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください【複数選択可】

n=731



■性別・年代別 上位3位

順位	65～74歳 -男性(49人)	65～74歳 -女性(45人)	75～84歳 -男性(115人)	75～84歳 -女性(215人)	85歳～ -男性(91人)	85歳～ -女性(198人)
第1位	脳血管疾患 (脳卒中) (38.8%)	脳血管疾患 (脳卒中) (26.7%)	脳血管疾患 (脳卒中) (28.7%)	筋骨格系疾患 (骨粗しょう 症、脊柱管狭 窄症等) (29.8%)	心疾患(心臓 病) (31.9%)	認知症 (36.4%)
第2位	眼科・耳鼻科 疾患(視覚・ 聴覚障害を伴 うもの) (26.5%)	筋骨格系疾患 (骨粗しょう 症、脊柱管狭 窄症等)/変形 性関節疾患 (20.0%)	認知症 (27.8%)	認知症 (25.6%)	眼科・耳鼻科 疾患(視覚・ 聴覚障害を伴 うもの) (30.8%)	心疾患(心臓 病)/ 眼科・耳鼻科 疾患(視覚・ 聴覚障害を伴 うもの) (23.2%)
第3位	心疾患(心臓 病)、 認知症、 糖尿病 (14.3%)		糖尿病 (24.3%)	変形性関節疾 患 (23.3%)	脳血管疾患 (脳卒中)/ 認知症 (22.0%)	

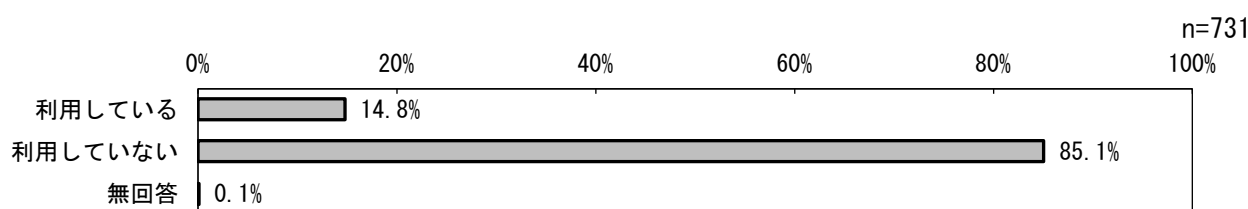
■要介護度別 上位3位

順位	要支援1・2(307人)	要介護1・2(318人)	要介護3以上(102人)
第1位	筋骨格系疾患(骨粗しょう症、 脊柱管狭窄症等)(25.7%)	認知症 (40.9%)	認知症 (48.0%)
第2位	心疾患(心臓病) (25.4%)	眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚 障害を伴うもの)(21.4%)	脳血管疾患(脳卒中) (22.5%)
第3位	変形性関節疾患 (21.5%)	脳血管疾患(脳卒中) (18.9%)	糖尿病 (19.6%)

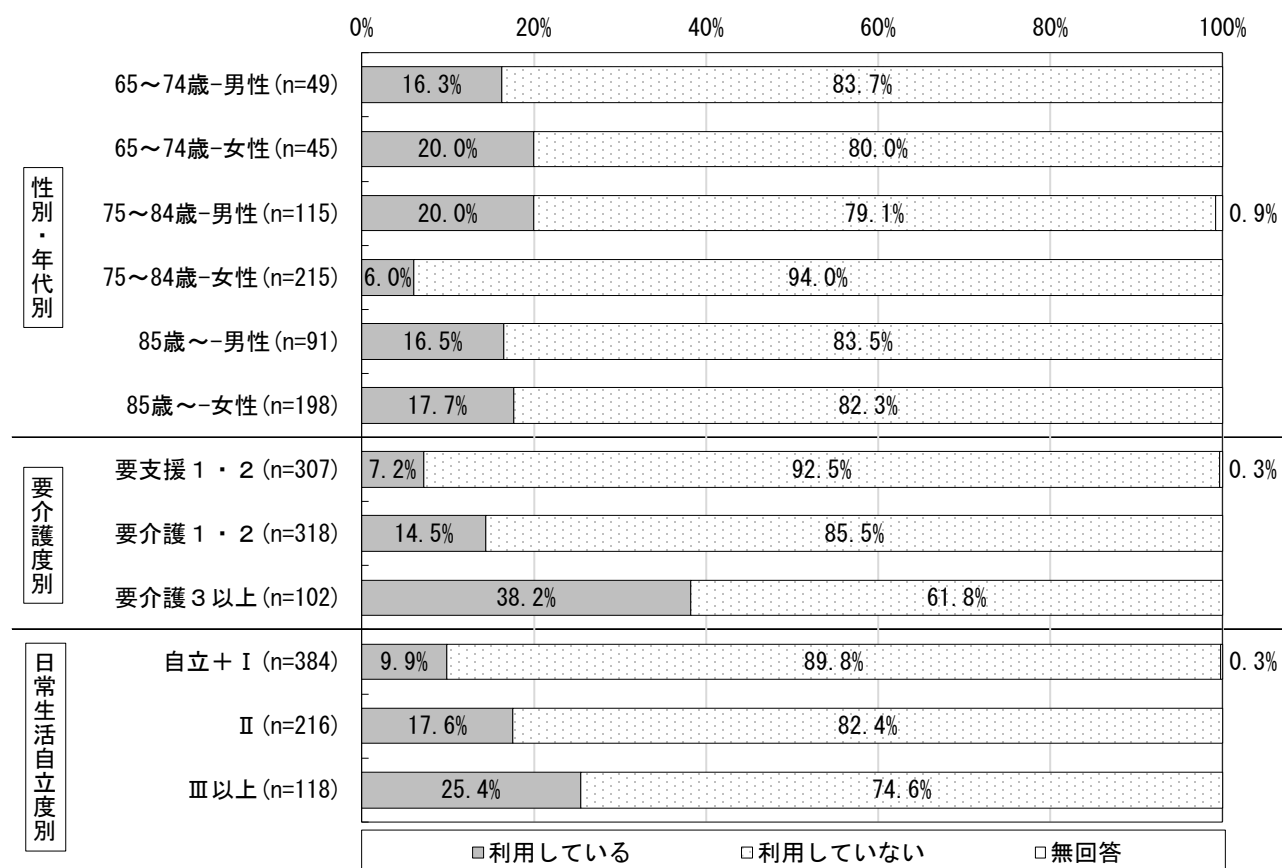
■訪問診療の利用状況別（問12とのクロス集計） 上位3位

順位	利用している(108人)	利用していない(622人)
第1位	認知症 (34.3%)	認知症 (25.1%)
第2位	筋骨格系疾患(骨粗しょう症、 脊柱管狭窄症等)(21.3%)	眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚 障害を伴うもの)(21.7%)
第3位	脳血管疾患(脳卒中) (20.4%)	筋骨格系疾患(骨粗しょう症、 脊柱管狭窄症等)(21.1%)

問12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか【1つを選択】

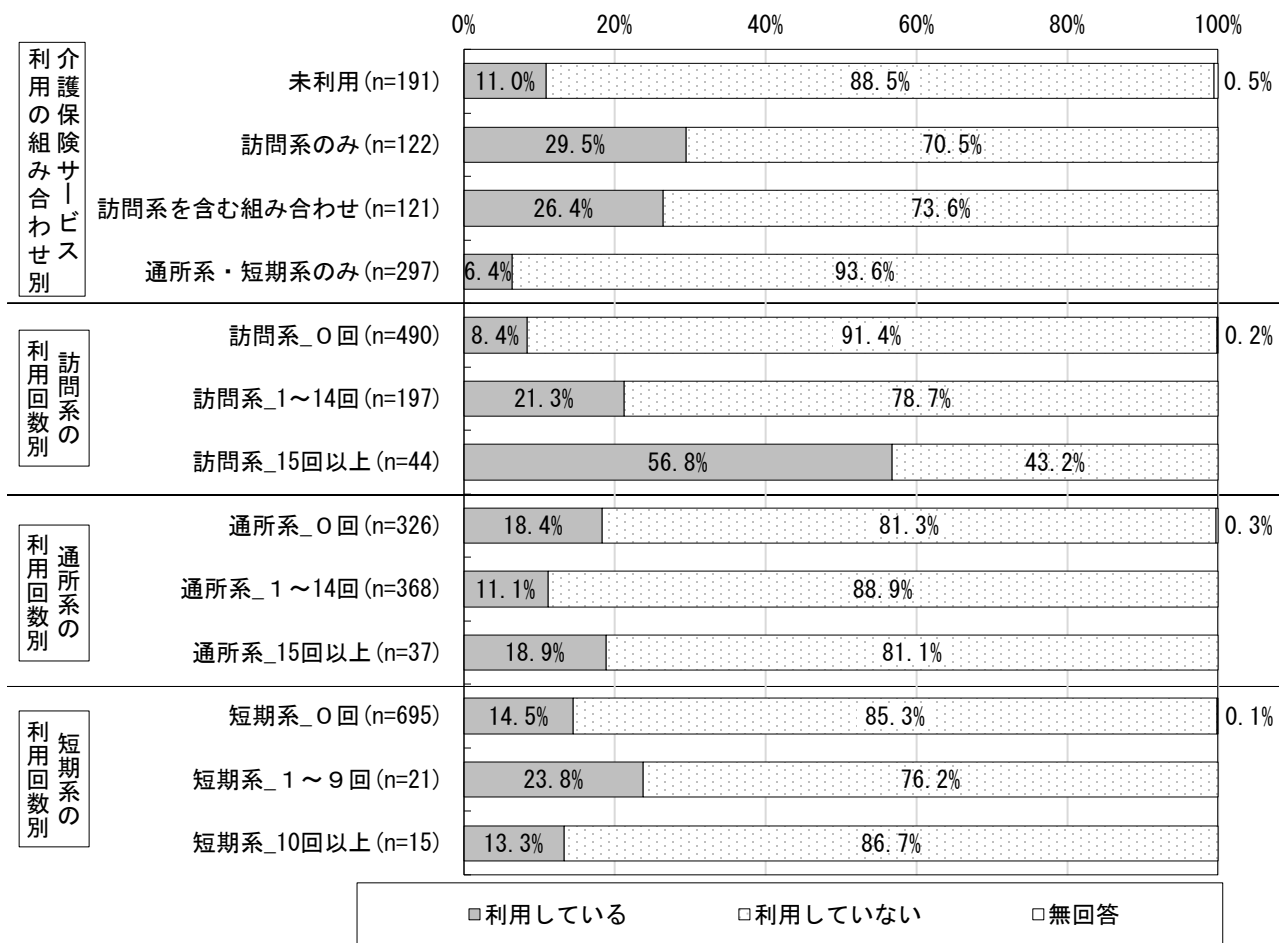


■性別・年代別、要介護度別、日常生活自立度別

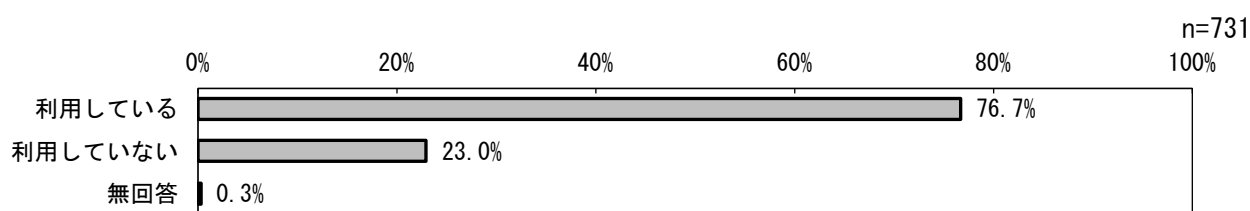


在宅介護実態調査結果

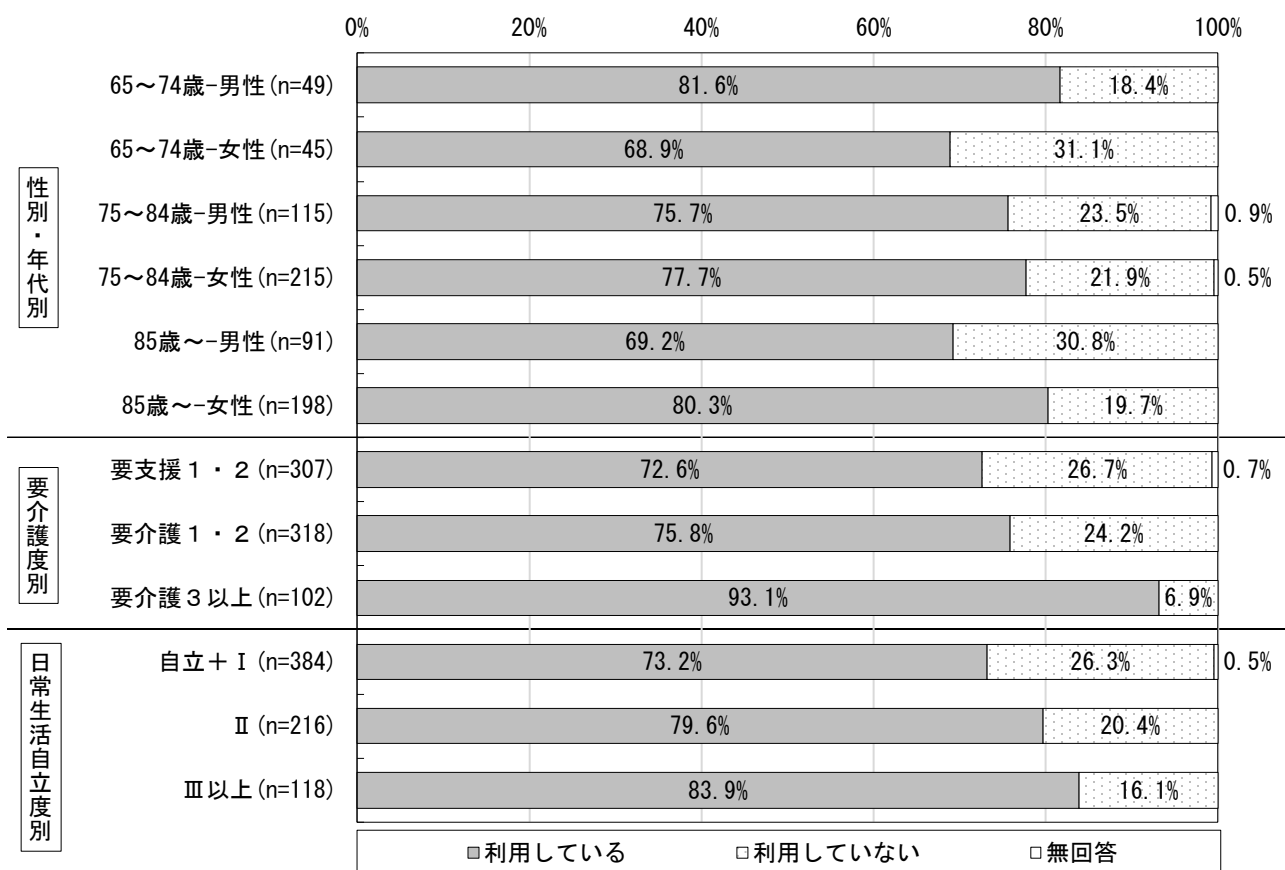
■介護保険サービス利用の組み合わせ別、訪問系・通所系・短期系の利用回数別



問 13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか【1つを選択】



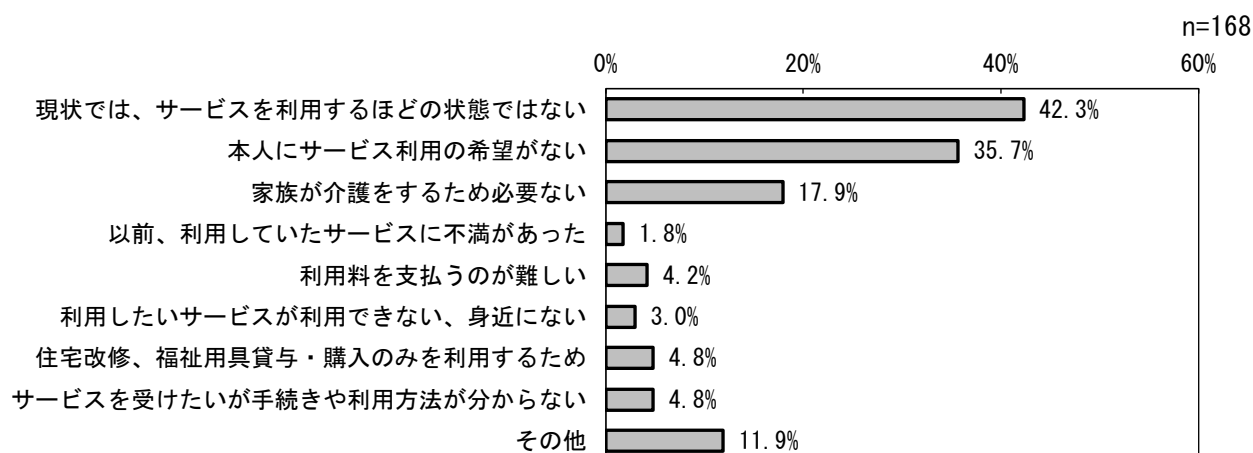
■性別・年代別、要介護度別、日常生活自立度別



在宅介護実態調査結果

《問 13 において「2. 利用していない」と回答した方のみ》

問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか【複数選択可】



■性別・年代別 上位3位

順位	65～74 歳 -男性(9 人)	65～74 歳 -女性(14 人)	75～84 歳 -男性(27 人)	75～84 歳 -女性(47 人)	85 歳～ -男性(28 人)	85 歳～ -女性(39 人)
第 1 位	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない (44.4%)	本人にサービス利用の希望がない (42.9%)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない (40.7%)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない (38.3%)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない (50.0%)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない/ 本人にサービス利用の希望がない
第 2 位	利用料を支払うのが難しい (22.2%)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない (35.7%)	本人にサービス利用の希望がない (29.6%)	本人にサービス利用の希望がない (31.9%)	本人にサービス利用の希望がない (39.3%)	本人にサービス利用の希望がない (43.6%)
第 3 位	本人にサービス利用の希望がない/家族が介護をするため必要ない (11.1%)	家族が介護をするため必要ない (21.4%)	家族が介護をするため必要ない (22.2%)	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため等 (10.6%)	家族が介護をするため必要ない (21.4%)	家族が介護をするため必要ない (28.2%)

■要介護度別 上位3位

順位	要支援1・2 (82人)	要介護1・2 (77人)	要介護3以上 (7人)
第1位	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない(56.1%)	本人にサービス利用の希望がない(35.1%)	本人にサービス利用の希望がない/ 家族が介護をするため必要ない(42.9%)
第2位	本人にサービス利用の希望がない(35.4%)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない(29.9%)	
第3位	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため(7.3%)	家族が介護をするため必要ない(28.6%)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない/ 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため/ サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない(14.3%)

■日常生活自立度別 上位3位

順位	自立+I (101人)	II (44人)	III以上 (19人)
第1位	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない(51.5%)	本人にサービス利用の希望がない(43.2%)	本人にサービス利用の希望がない(36.8%)
第2位	本人にサービス利用の希望がない(31.7%)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない(34.1%)	家族が介護をするため必要ない(31.6%)
第3位	家族が介護をするため必要ない(9.9%)	家族が介護をするため必要ない(31.8%)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない(15.8%)

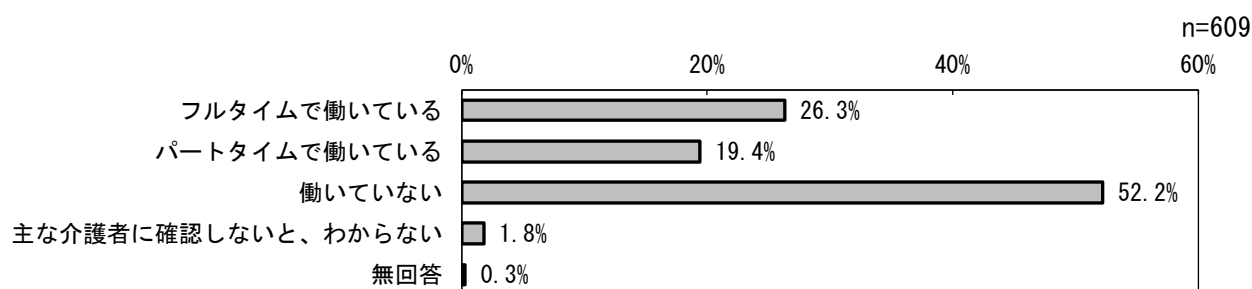
在宅介護実態調査結果

■介護者は今後も働きながら介護を続けていけそうか（B票 問4 とのクロス集計） 上位3位

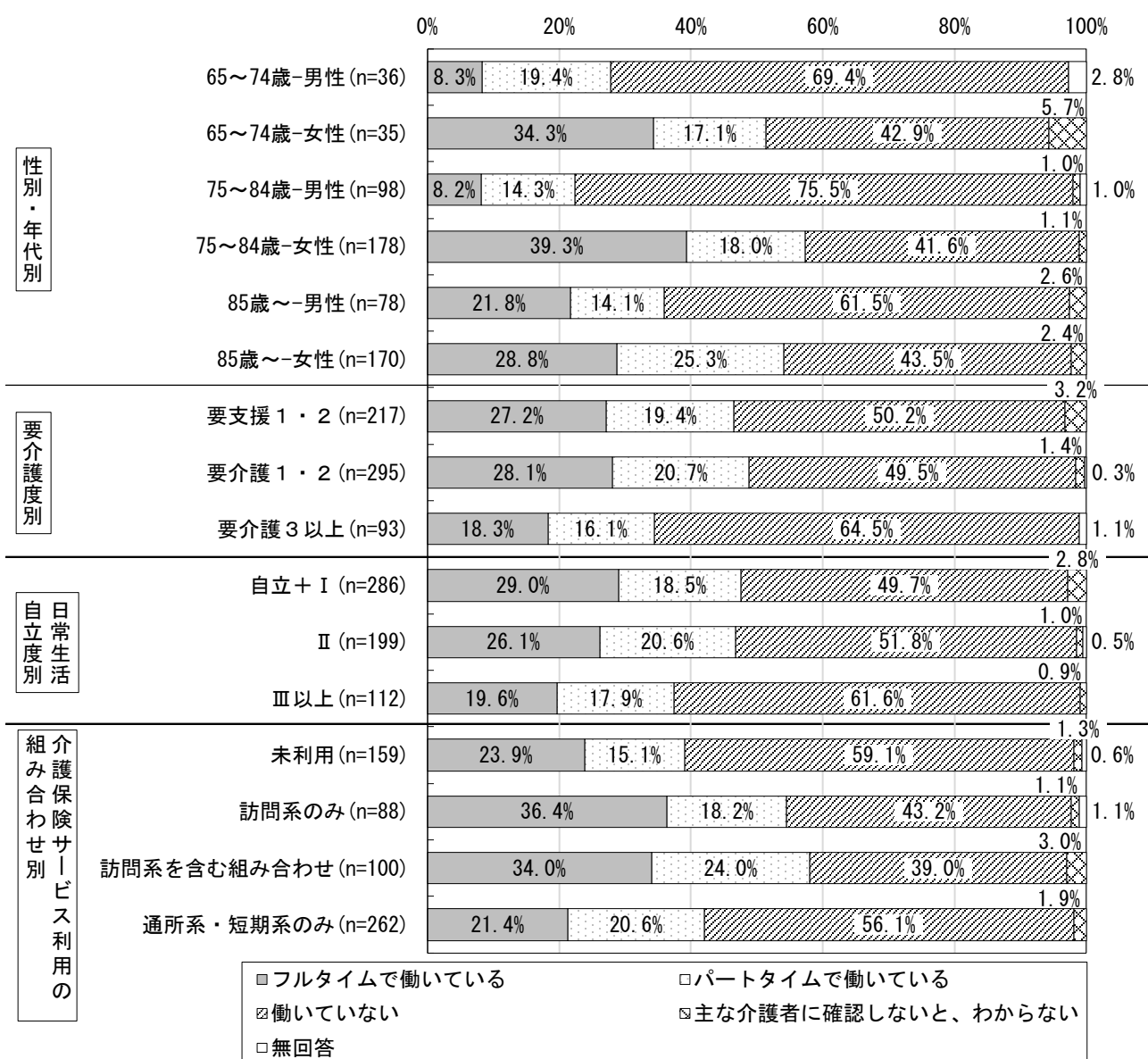
順位	問題なく、 続けていける (13人)	問題はあるが 何とか続けて いける(23人)	続けるのは やや難しい (8人)	続けるのは かなり難しい (3人)	わからない (5人)
第1位	本人にサービス利用の希望がない (38.5%)	本人にサービス利用の希望がない (47.8%)	本人にサービス利用の希望がない (50.0%)	本人にサービス利用の希望がない (33.3%)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない/ 家族が介護をするため必要ない (40.0%)
第2位	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない (30.8%)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない (43.5%)	家族が介護をするため必要ない/ 利用したいサービスが利用できない、身近にない/ サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない (25.0%)	—	
第3位	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため (23.1%)	家族が介護をするため必要ない (13.0%)			以前、利用していたサービスに不満があった (20.0%)

B票

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください【1つを選択】



■性別・年代別、要介護度別、日常生活自立度別、介護保険サービス利用の組み合わせ別



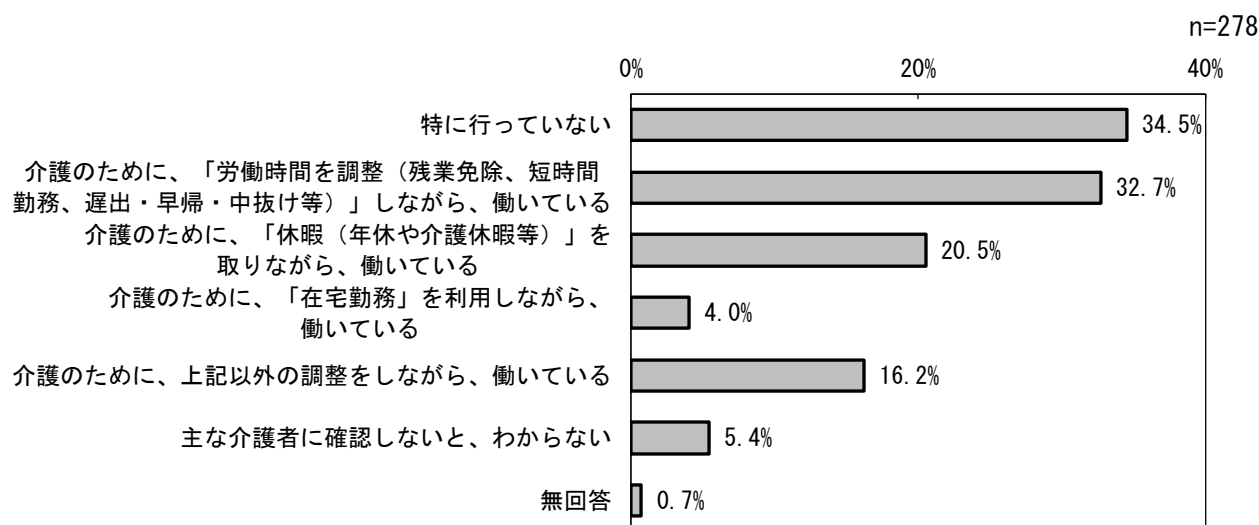
在宅介護実態調査結果

■世帯類型別、介護の頻度別、主な介護者別、主な介護者の性別、主な介護者の年代別、施設棟の入所・入居検討状況別、訪問診療の利用状況別、介護保険サービスの利用状況別



《問2～問4は、問1において「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方のみ》

問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか
【複数選択可】



■性別・年代別 上位3位

順位	65～74歳 -男性(10人)	65～74歳 -女性(18人)	75～84歳 -男性(22人)	75～84歳 -女性(102人)	85歳～ -男性(28人)	85歳～ -女性(92人)
第1位	特に行っていない、 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている (40.0%)	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている (38.9%)	特に行っていない (27.3%)	特に行っていない (45.1%)	特に行っていない/ 介護のために、「労働時間を調整（残業免除/ 短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている (32.1%)	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている (44.6%)
第2位	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている (30.0%)	介護のために、その他の調整をしながら、働いている (22.2%)	主な介護者に確認しないと、わからない (18.2%)	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている (23.5%)	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている (25.0%)	特に行っていない (27.2%)
第3位	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている (30.0%)	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている (22.2%)	主な介護者に確認しないと、わからない (18.2%)	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている (23.5%)	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている (25.0%)	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている (22.8%)

在宅介護実態調査結果

■主な介護者の勤務形態別（問1とのクロス集計） 上位3位

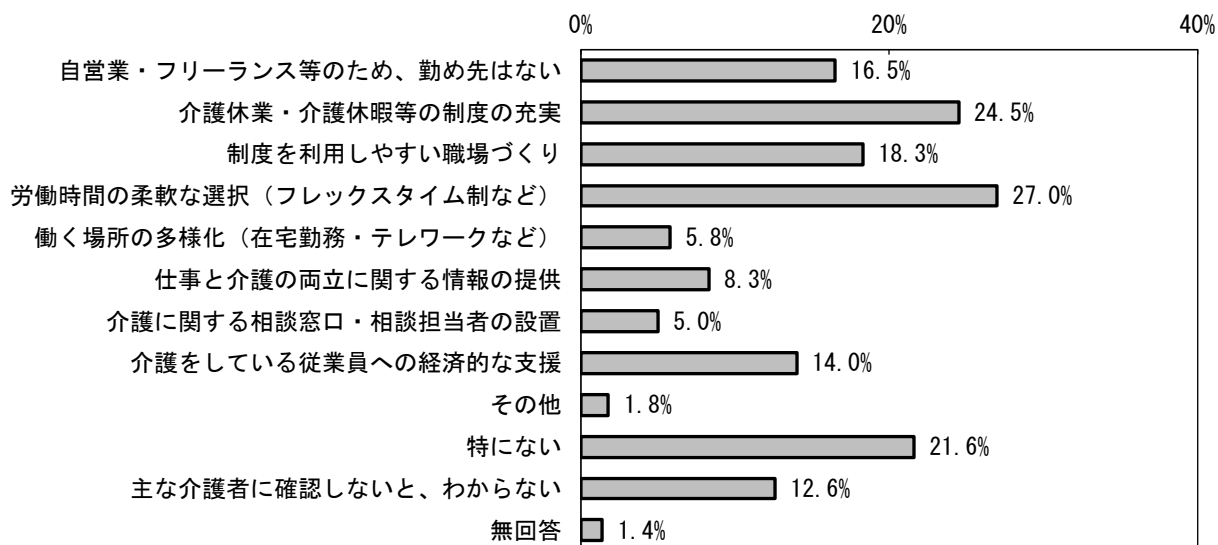
順位	フルタイムで働いている (160人)	パートタイムで働いている (118人)
第1位	特に行っていない (41.2%)	介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている (35.6%)
第2位	介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている (30.6%)	特に行っていない (25.4%)
第3位	介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている (25.0%)	介護のために、その他の調整をしながら、働いている (21.2%)

■介護者は今後も働きながら介護を続けていけそうか（問4とのクロス集計） 上位3位

順位	問題なく、 続けていける (77人)	問題はあるが何 とか続けていけ る(137人)	続けるのは やや難しい (21人)	続けるのは かなり難しい (13人)	主な介護者に確 認しないとわか らない(28人)
第1位	特に行っていない (61.0%)	介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている (42.3%)	介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている (38.1%)	介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている (76.9%)	主な介護者に確認しないと、わからない (46.4%)
第2位	介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている (18.2%)	特に行っていない (27.0%)	介護のために、その他の調整をしながら、働いている (23.8%)	介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている (69.2%)	特に行っていない (28.6%)
第3位	介護のために、その他の調整をしながら、働いている (13.0%)	介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている (23.4%)	特に行っていない、介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている (19.0%)	介護のために、その他の調整をしながら、働いている (23.1%)	介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている (17.9%)

問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか【3つまで選択可】

n=278



■性別・年代別 上位3位

順位	65～74歳 -男性(7人)	65～74歳 -女性(6人)	75～84歳 -男性(14人)	75～84歳 -女性(32人)	85歳～ -男性(11人)	85歳～ -女性(43人)
第1位	特にない (40.0%)	介護をしている従業員への経済的な支援 (33.3%)	労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) (31.8%)	労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) (25.5%)	特にない (28.6%)	介護休業・介護休暇等の制度の充実/ 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) (27.2%)
第2位	介護休業・介護休暇等の制度の充実 (30.0%)	労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) (27.8%)		介護休業・介護休暇等の制度の充実 (21.6%)	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない/ 介護休業・介護休暇等の制度の充実/ 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) (25.0%)	
第3位	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない/ 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)/ 介護をしている従業員への経済的な支援 (20.0%)	介護休業・介護休暇等の制度の充実 (22.2%)	介護休業・介護休暇等の制度の充実/ 主な介護者に確認しないと、わからない (22.7%)	特にない (20.6%)		制度を利用しやすい職場づくり (23.9%)

在宅介護実態調査結果

■主な介護者の勤務形態別（問1とのクロス集計） 上位3位

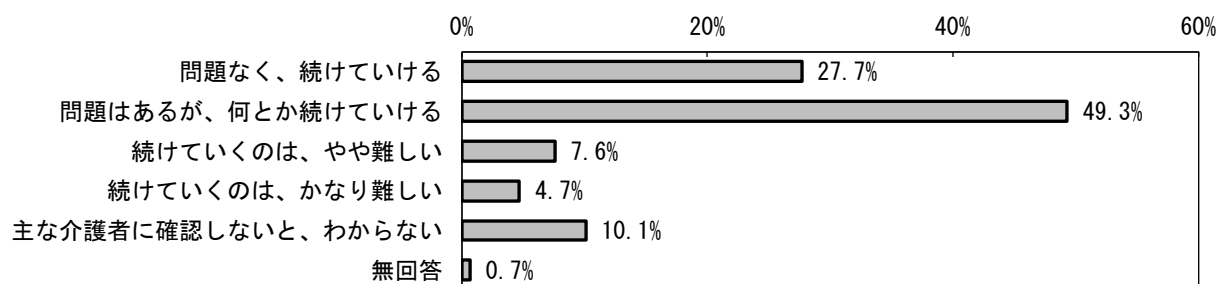
順位	フルタイムで働いている (160人)	パートタイムで働いている (118人)
第1位	労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) (27.5%)	特にな (28.0%)
第2位	介護休業・介護休暇等の制度の充実 (25.6%)	労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) (26.3%)
第3位	制度を利用しやすい職場づくり (21.9%)	介護休業・介護休暇等の制度の充実 (22.9%)

■介護者は今後も働きながら介護を続けていけそうか（問4とのクロス集計） 上位3位

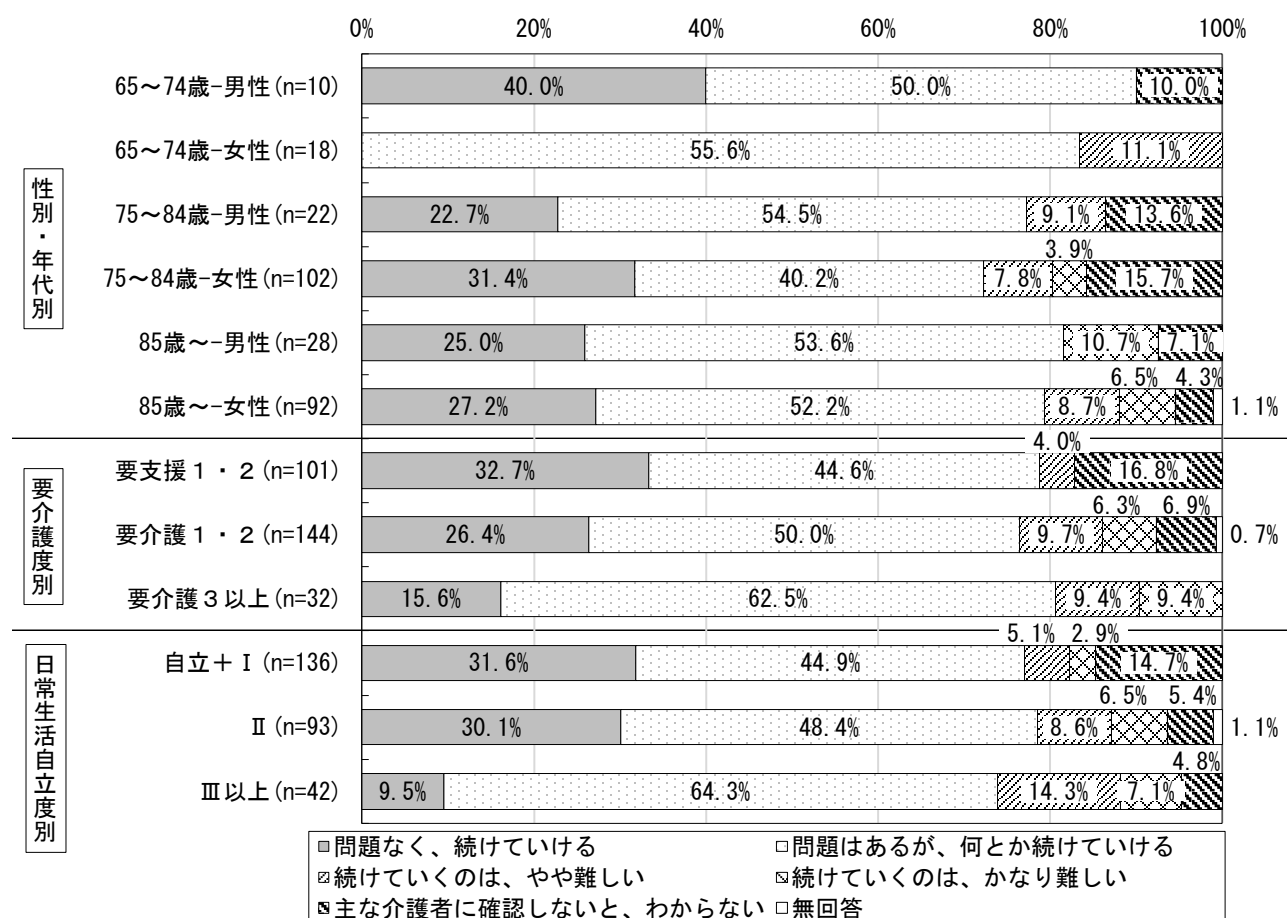
順位	問題なく、 続けていける (77人)	問題はあるが何 とか続けていけ る(137人)	続けるのは やや難しい (21人)	続けるのは かなり難しい (13人)	主な介護者に確 認しないとわか らない(28人)
第1位	特にな (46.8%)	労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) (30.7%)	労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) (42.9%)	介護休業・介護休暇等の制度の充実 (61.5%)	主な介護者に確認しないと、わからない (78.6%)
第2位	制度を利用しやすい職場づくり/ 労働時間の柔軟	介護休業・介護休暇等の制度の充実 (29.9%)	介護休業・介護休暇等の制度の充実 (33.3%)	労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) (53.8%)	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない/ 制度を利用しやすい職場づくり (7.1%)
第3位	な選択(フレックスタイム制など) (20.8%)	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない(22.6%)	介護をしている従業員への経済的な支援 (28.6%)	介護をしている従業員への経済的な支援 (30.8%)	

問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか【1つを選択】

n=278



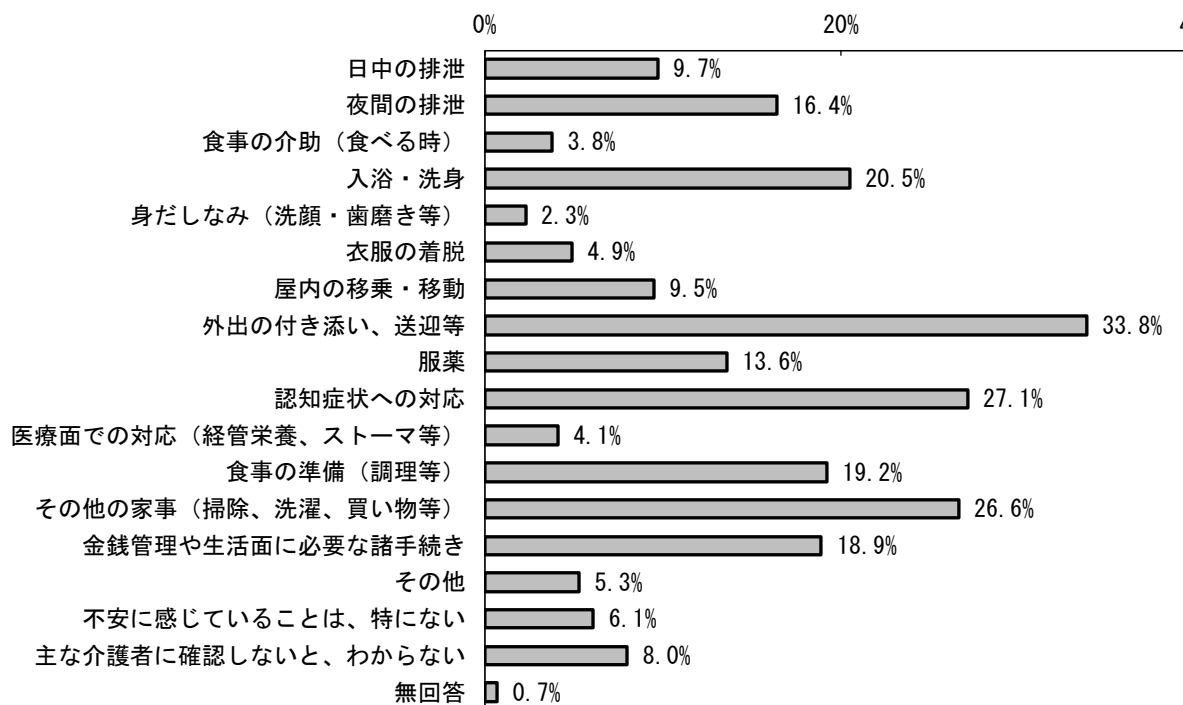
■性別・年代別、要介護度別、日常生活自立度別



在宅介護実態調査結果

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）【3つまで選択可】

n=609



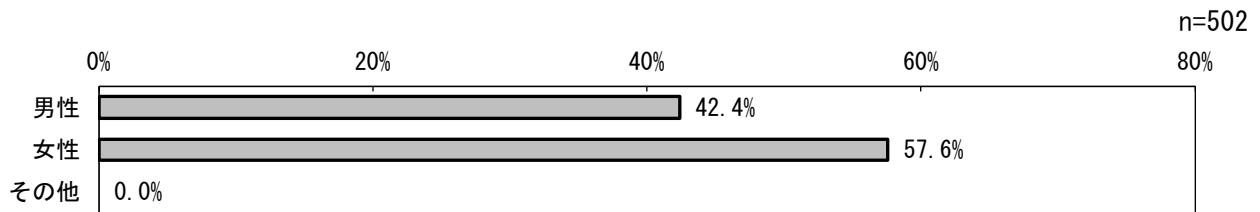
■性別・年代別 上位3位

順位	65～74歳 -男性(36人)	65～74歳 -女性(35人)	75～84歳 -男性(98人)	75～84歳 -女性(178人)	85歳～ -男性(78人)	85歳～ -女性(170人)
第1位	外出の付き添い、送迎等 (33.3%)	外出の付き添い、送迎等 (45.7%)	外出の付き添い、送迎等 (29.6%)	外出の付き添い、送迎等 (36.5%)	外出の付き添い、送迎等 (35.9%)	認知症状への対応 (35.3%)
第2位	入浴・洗身 (25.0%)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) (42.9%)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) (27.6%)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) (28.7%)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) (33.3%)	外出の付き添い、送迎等 (31.2%)
第3位	主な介護者に確認しないと、わからない (19.4%)	食事の準備 (調理等) (22.9%)	認知症状への対応 (25.5%)	認知症状への対応 (27.5%)	認知症状への対応 (26.9%)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) (22.4%)

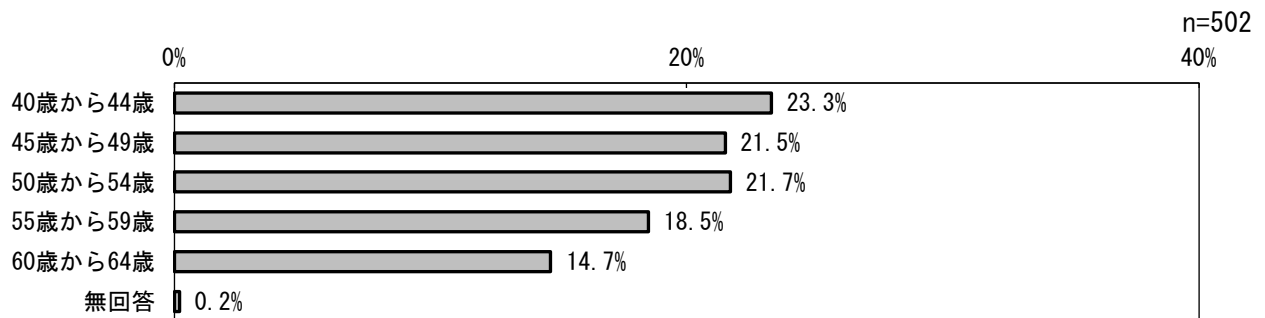
3 第2号被保険者に関するアンケート調査

【問1 あなたについて】

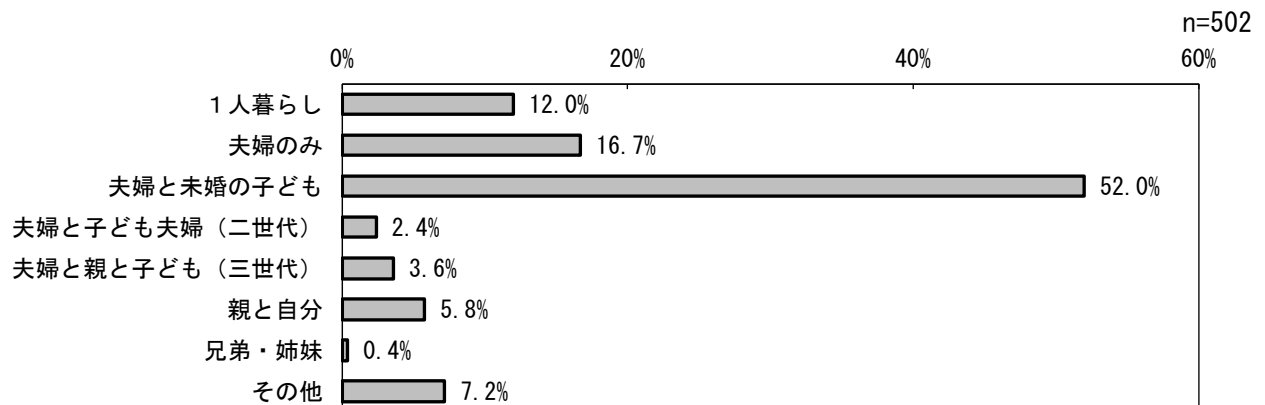
(1) あなたの性別をお答えください。(○は1つ)



(2) 令和2年1月1日現在のあなたの年齢をお答えください。(○1つ)

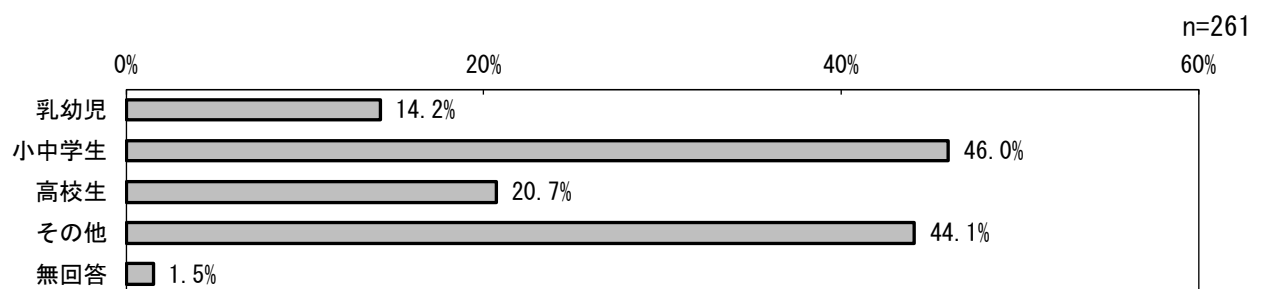


(3) 家族構成についてお答えください。(○は1つ)



《(3)で「夫婦と未婚の子ども」と回答した方のみ》

(3) ①同居している未婚の子どもの年代はどれですか。(いくつでも)

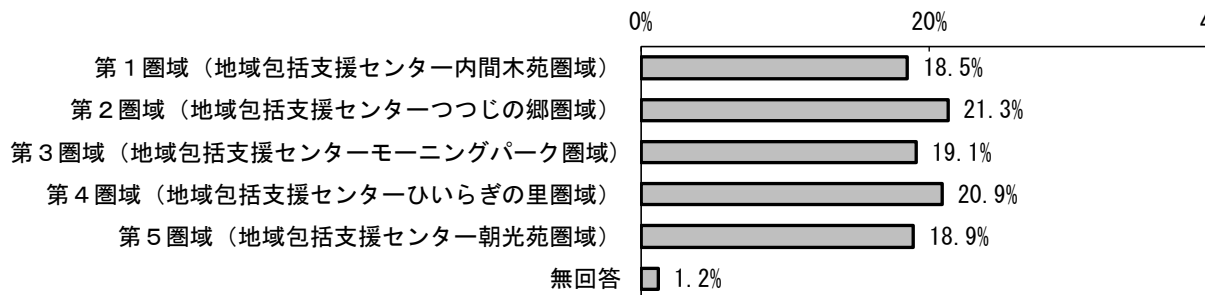


第2号被保険者に関するアンケート調査結果

【問2 あなたの生活状況について】

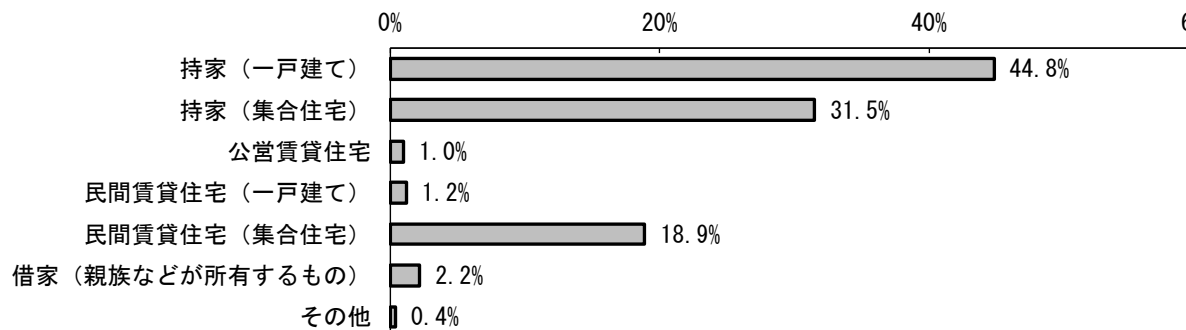
(1) お住まいはどの圏域ですか。(〇は1つ)

n=502



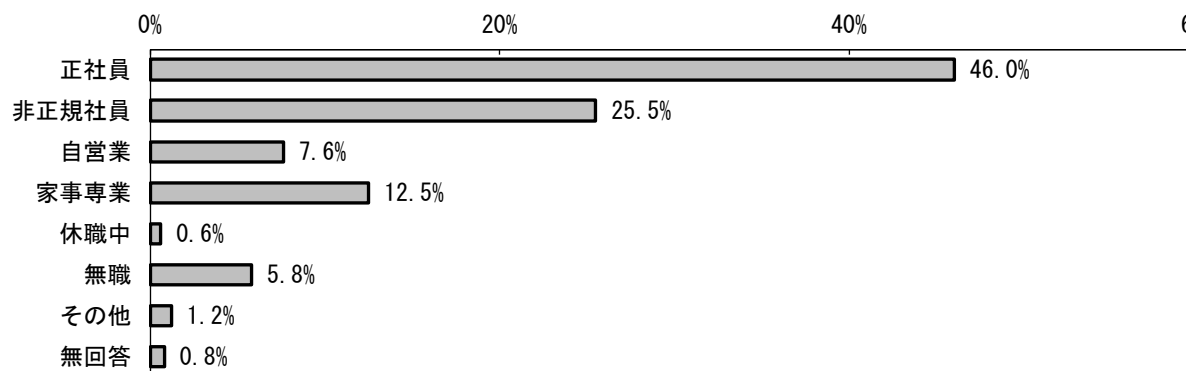
(2) お住まいは次のうちどれですか。(〇は1つ)

n=502



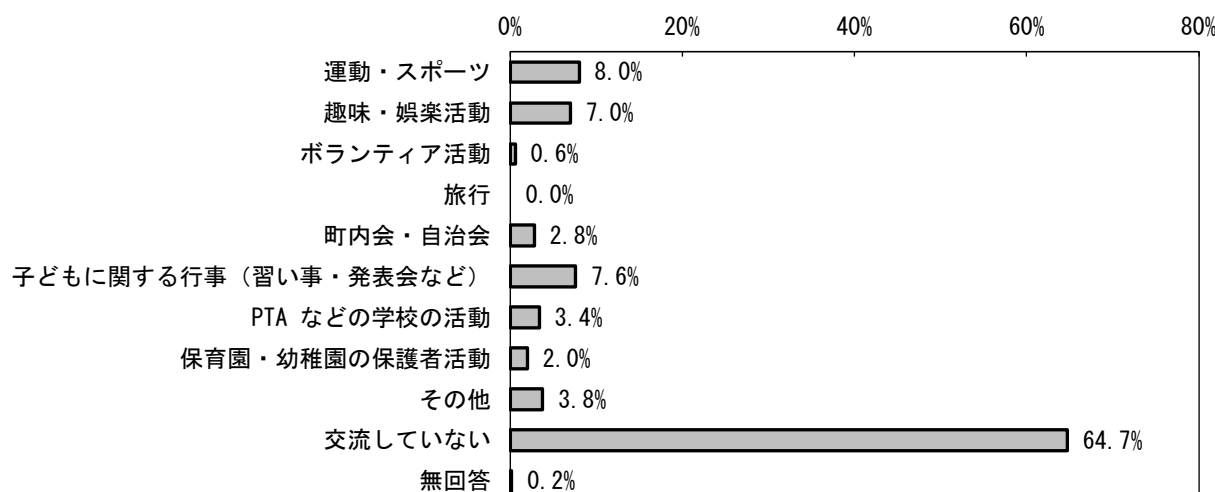
(3) お仕事は次のうちどれですか。(〇は1つ)

n=502



(4) 月1回以上、定期的に地域の人との交流はありますか。(〇は1つ)

n=502



■性別・年代別 上位3位

順位	40歳代 -男性(96人)	40歳代 -女性(129人)	50歳代 -男性(82人)	50歳代 -女性(120人)	60~64歳 -男性(34人)	60~64歳 -女性(40人)
第1位	交流していない(78.1%)	交流していない(38.8%)	交流していない(78.0%)	交流していない(69.2%)	交流していない(73.5%)	交流していない(67.5%)
第2位	子どもに関する行事(習い事・発表会など)(6.3%)	子どもに関する行事(習い事・発表会など)(24.8%)	運動・スポーツ(9.8%)	運動・スポーツ/ 趣味・娯楽活動(9.2%)	運動・スポーツ、 趣味・娯楽活動/ 町内会・自治会(8.8%)	趣味・娯楽活動(15.0%)
第3位	趣味・娯楽活動(5.2%)	運動・スポーツ(11.6%)	趣味・娯楽活動(3.7%)			町内会・自治会(7.5%)

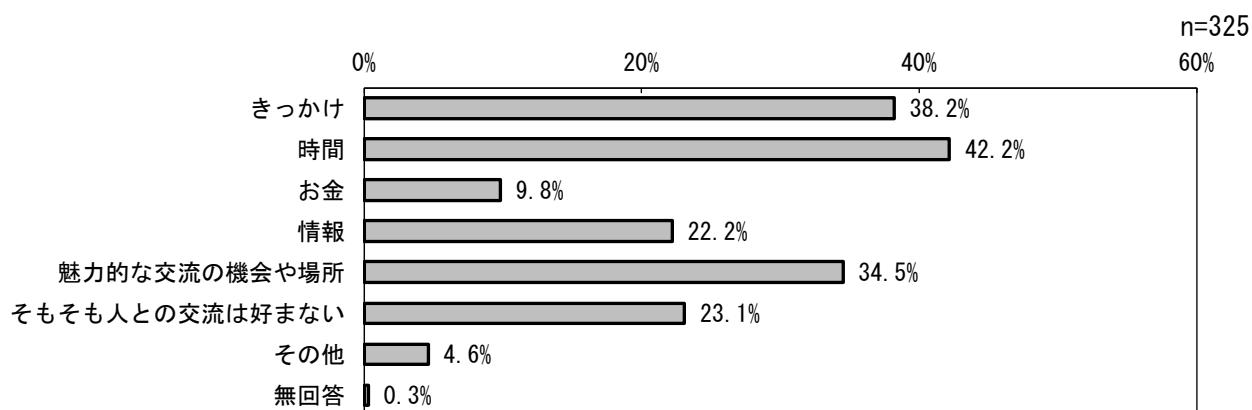
■生活圏域別 上位3位

順位	第1圏域 (93人)	第2圏域 (107人)	第3圏域 (96人)	第4圏域 (105人)	第5圏域 (95人)
第1位	交流していない(63.4%)	交流していない(69.2%)	交流していない(68.8%)	交流していない(61.0%)	交流していない(63.2%)
第2位	運動・スポーツ(10.8%)	趣味・娯楽活動(9.3%)	趣味・娯楽活動(6.3%)	子どもに関する行事(習い事・発表会など)(9.5%)	運動・スポーツ(9.5%)
第3位	子どもに関する行事(習い事・発表会など)(9.7%)	運動・スポーツ/ 子どもに関する行事(習い事・発表会など)(6.5%)	運動・スポーツ/ 子どもに関する行事(習い事・発表会など)(5.2%)	運動・スポーツ(8.6%)	子どもに関する行事(習い事・発表会など)(7.4%)

第2号被保険者に関するアンケート調査結果

《(4)で「交流していない」と回答した方のみ》

(4) ①地域の人と交流をするために、あなたにとって必要なことはなんですか。(いくつでも)



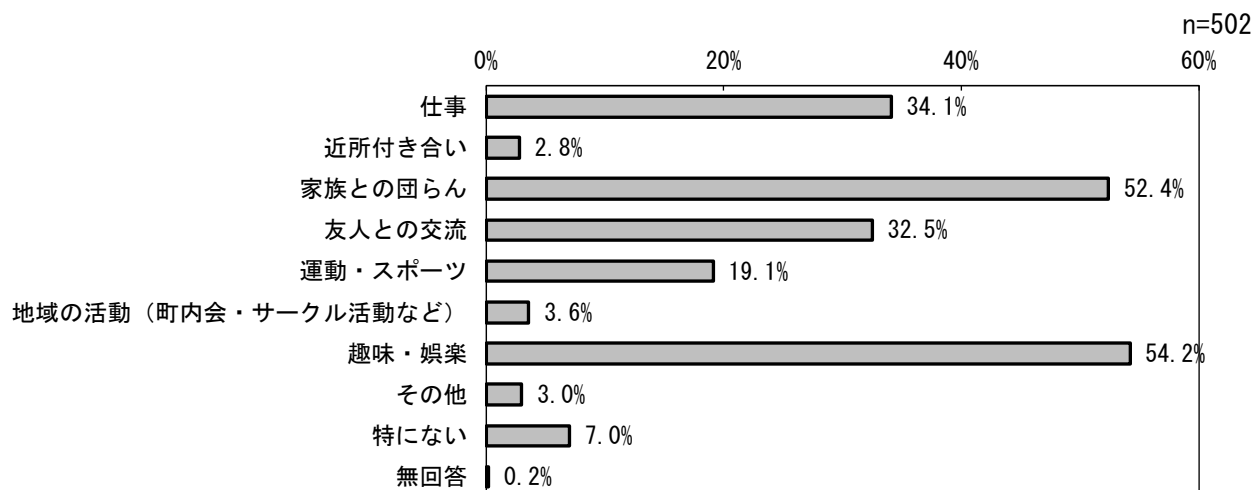
■性別・年代別 上位3位

順位	40歳代 -男性(75人)	40歳代 -女性(50人)	50歳代 -男性(64人)	50歳代 -女性(83人)	60~64歳 -男性(25人)	60~64歳 -女性(27人)
第1位	きっかけ (45.3%)	時間(54.0%)	きっかけ (39.1%)	時間(44.6%)	きっかけ (36.0%) / 時間(36.0%)	時間(40.7%)
第2位	時間(40.0%)	きっかけ (40.0%)	時間(35.9%)	魅力的な交流 の機会や場所 (36.1%)		きっかけ/ 魅力的な交流 の機会や場所 (37.0%)
第3位	魅力的な交流 の機会や場所 (37.3%)	魅力的な交流 の機会や場所 / そもそも人との 交流は好ま ない(28.0%)	魅力的な交流 の機会や場所 (34.4%)	きっかけ (31.3%)	情報/ 魅力的な交流 の機会や場所 / そもそも人との 交流は好ま ない(28.0%)	

■生活圏域別 上位3位

順位	第1圏域 (59人)	第2圏域 (74人)	第3圏域 (66人)	第4圏域 (64人)	第5圏域 (60人)
第1位	きっかけ (50.8%)	時間(45.9%)	時間(47.0%)	きっかけ (34.4%)	時間(50.0%)
第2位	時間(39.0%)	魅力的な交流 の機会や場所 (43.2%)	きっかけ (40.9%)	魅力的な交流 の機会や場所 (32.8%)	きっかけ (33.3%)
第3位	魅力的な交流 の機会や場所 (32.2%)	きっかけ (33.8%)	魅力的な交流 の機会や場所 (37.9%)	時間(28.1%)	魅力的な交流 の機会や場所 (25.0%)

(5) 日頃、どのようなことに生きがいを感じていますか。(いくつでも)



■性別・年代別 上位3位

順位	40歳代 -男性(96人)	40歳代 -女性(129人)	50歳代 -男性(82人)	50歳代 -女性(120人)	60~64歳 -男性(34人)	60~64歳 -女性(40人)
第1位	趣味・娯楽 (56.3%)	家族との団らん (59.7%)	趣味・娯楽 (62.2%)	趣味・娯楽 (53.3%)	趣味・娯楽 (47.1%)	趣味・娯楽 (57.5%)
第2位	家族との団らん (55.2%)	趣味・娯楽 (48.8%)	家族との団らん (47.6%)	家族との団らん (52.5%)	仕事(38.2%)	家族との団らん/ 友人との交流 (47.5%)
第3位	仕事(41.7%)	友人との交流 (44.2%)	仕事(39.0%)	友人との交流 (36.7%)	家族との団らん (35.3%)	

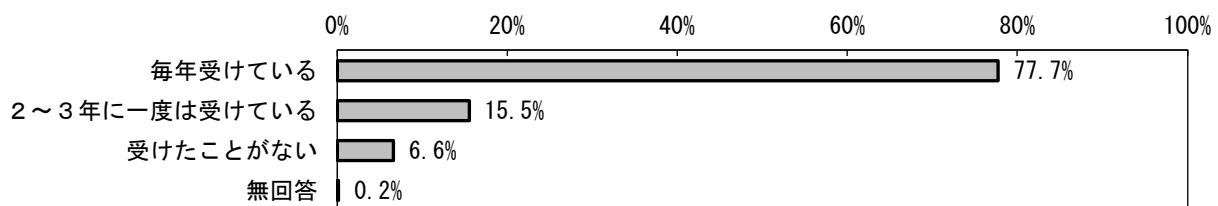
■生活圏域別 上位3位

順位	第1圏域 (93人)	第2圏域 (107人)	第3圏域 (96人)	第4圏域 (105人)	第5圏域 (95人)
第1位	趣味・娯楽 (57.0%)	趣味・娯楽 (59.8%)	家族との団らん (57.3%)	趣味・娯楽 (52.4%)	家族との団らん (60.0%)
第2位	家族との団らん (43.0%)	家族との団らん (56.1%)	趣味・娯楽 (52.1%)	家族との団らん (46.7%)	趣味・娯楽 (49.5%)
第3位	友人との交流 (38.7%)	仕事(39.3%)	仕事(30.2%)	仕事(33.3%)	仕事(34.7%)

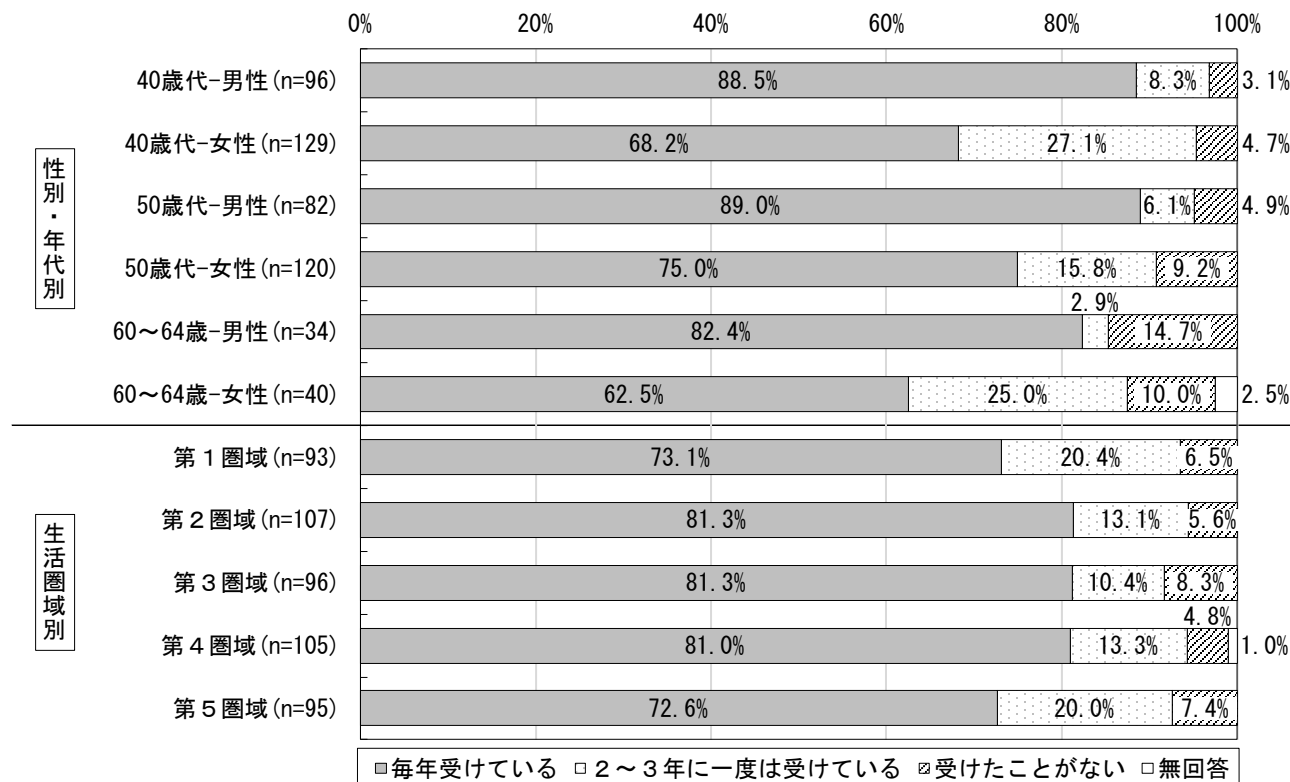
第2号被保険者に関するアンケート調査結果

(6) 健康診断を受けていますか。(〇は1つ)

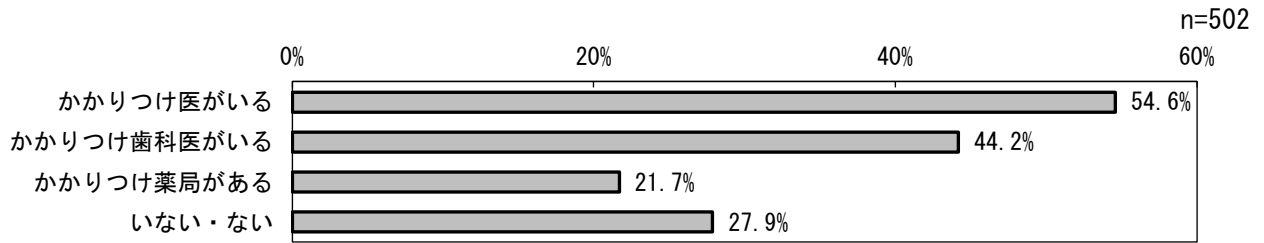
n=502



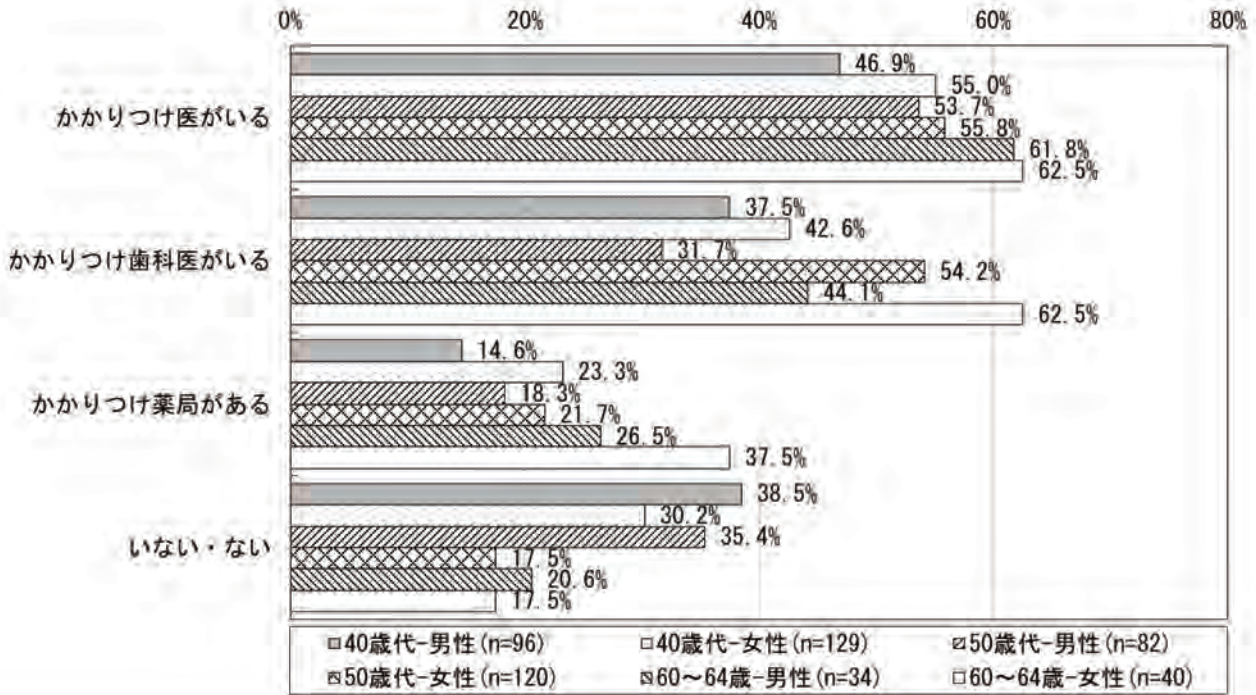
■性別・年代別、生活圏域別



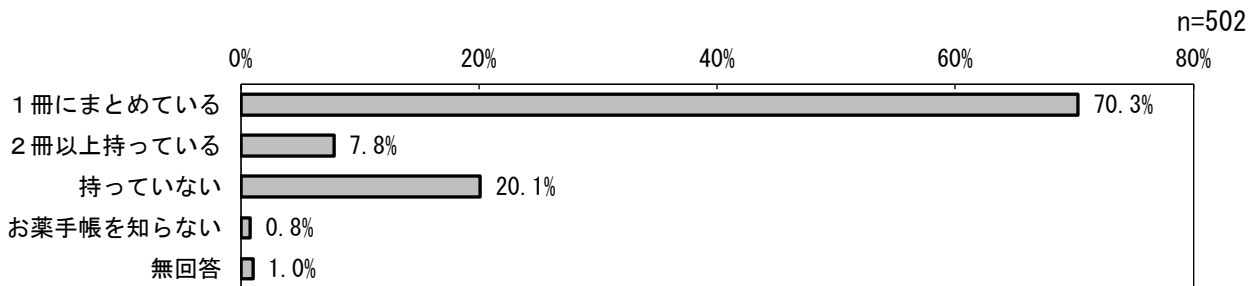
(7) かかりつけの医師・歯科医師はいますか。また、かかりつけ薬局はありますか。(いくつでも)



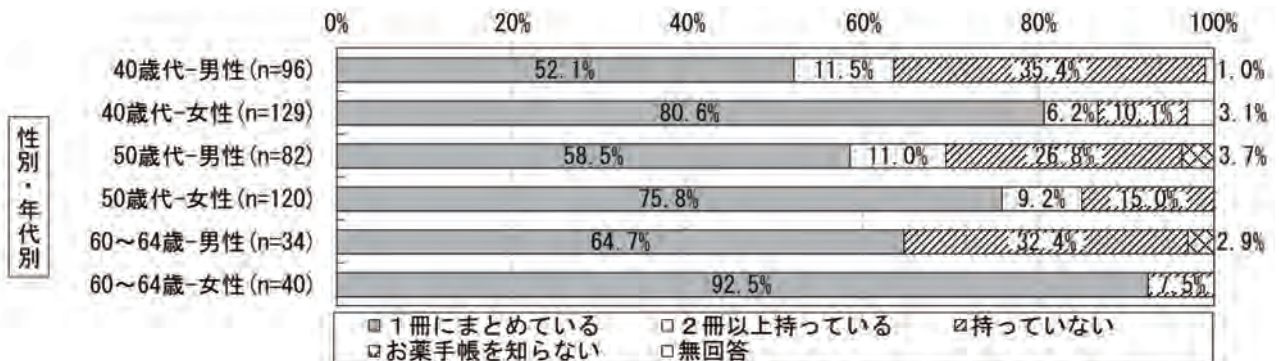
■性別・年代別



(8) お薬手帳は1冊にまとめていますか。(〇は1つ)



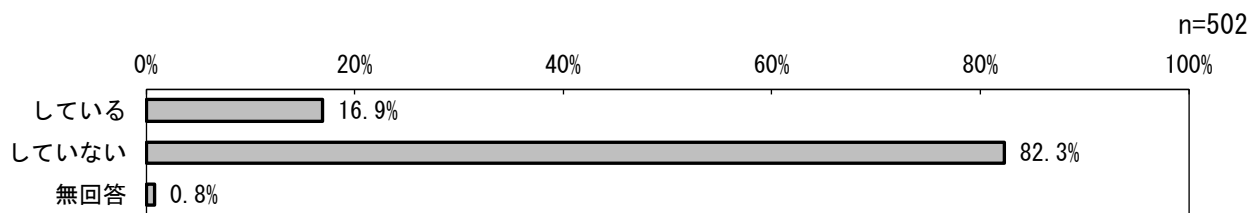
■性別・年代別



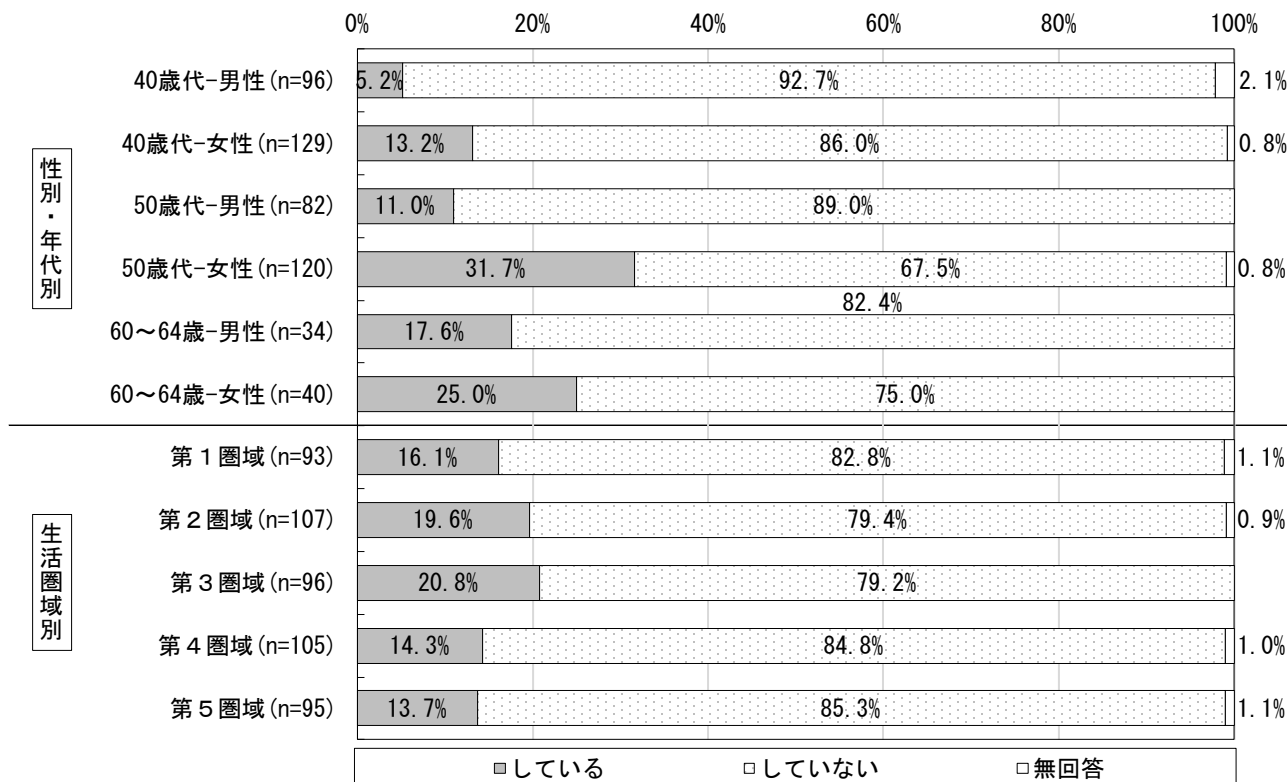
第2号被保険者に関するアンケート調査結果

【問3 あなたが介護や介助（サポート）をする場合について】

(1) 現在、誰かの介護や介助をしていますか。(〇は1つ) ※同居の有無に関わらず

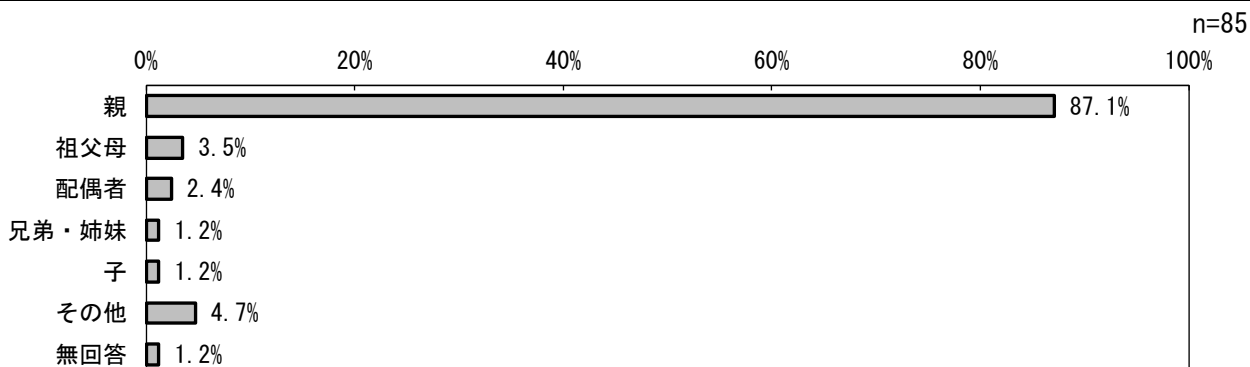


■性別・年代別、生活圏域別

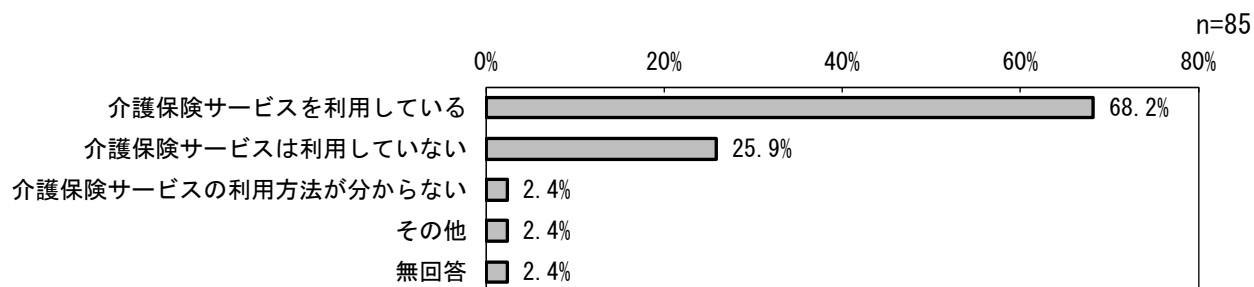


《(1) において「している」と回答した方のみ》

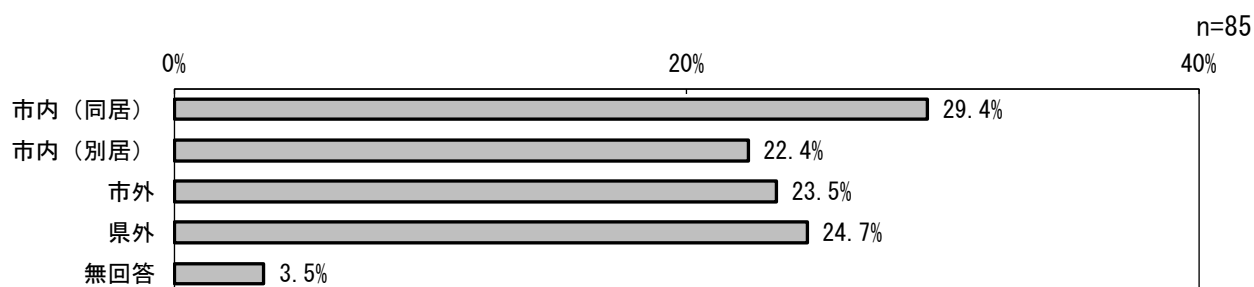
(1) ①介護や介助をしている相手はどなたですか。(いくつでも)



(1) ②介護や介助をしている相手は介護保険サービスを利用していますか。(いくつでも)

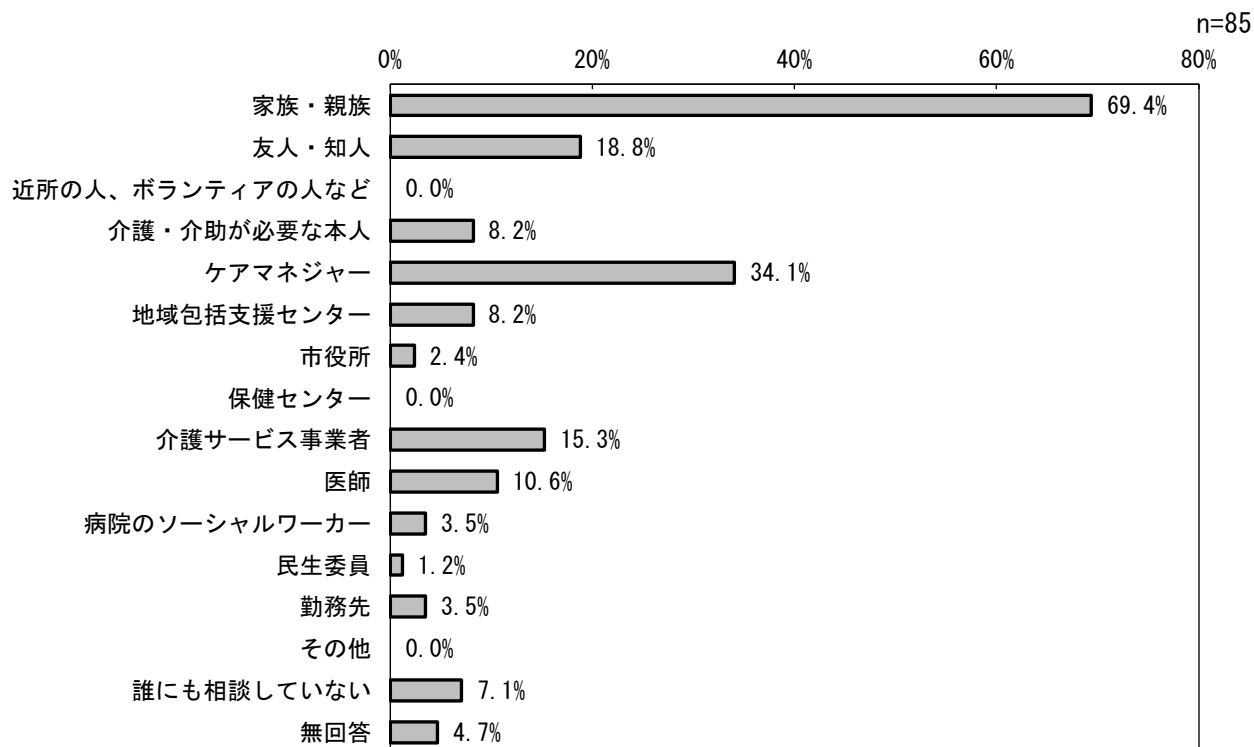


(1) ③介護や介助をしている相手はどこにお住まいですか。(いくつでも)

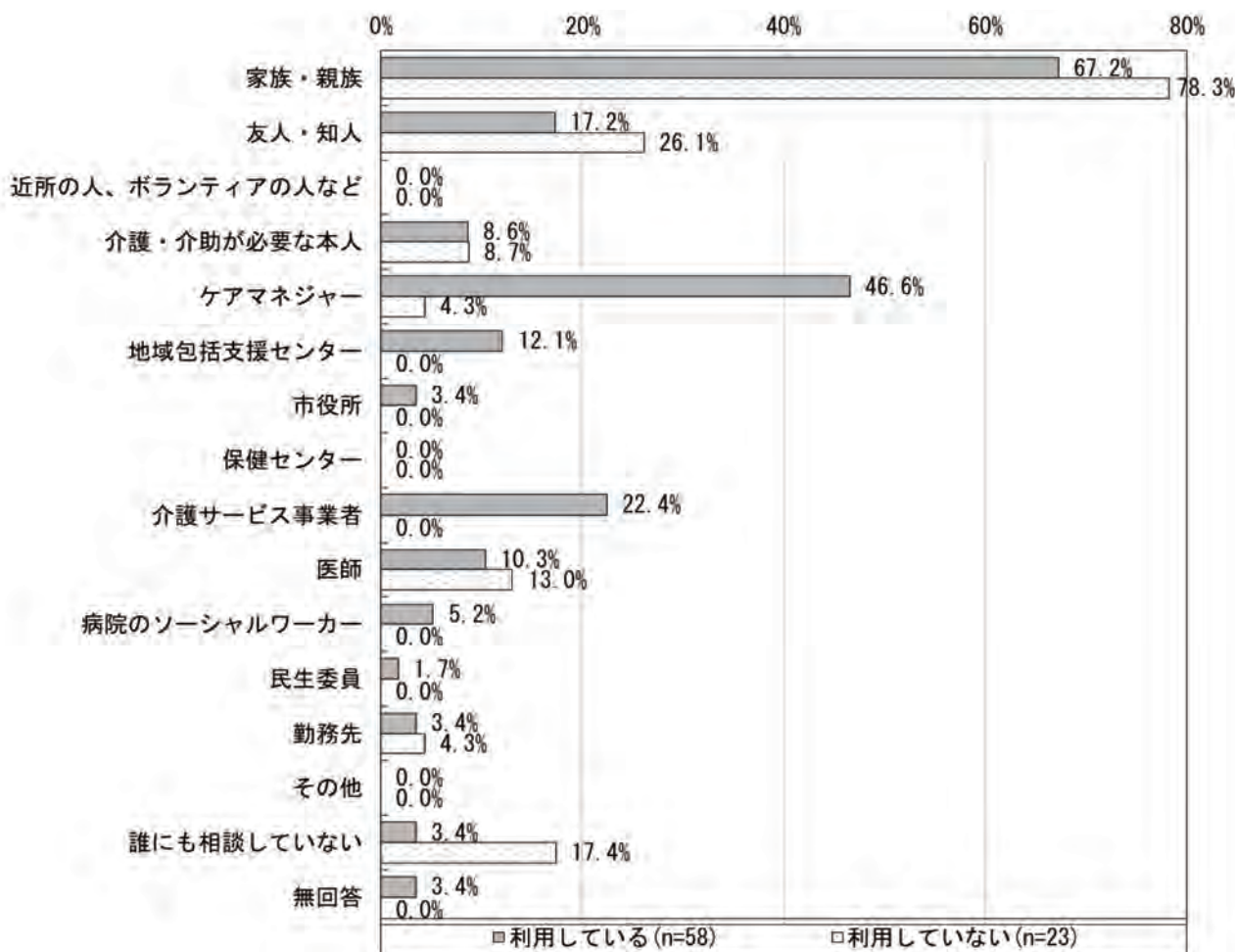


第2号被保険者に関するアンケート調査結果

(1) ④今後の介護や介助のことについて誰かに相談していますか。(いくつでも)

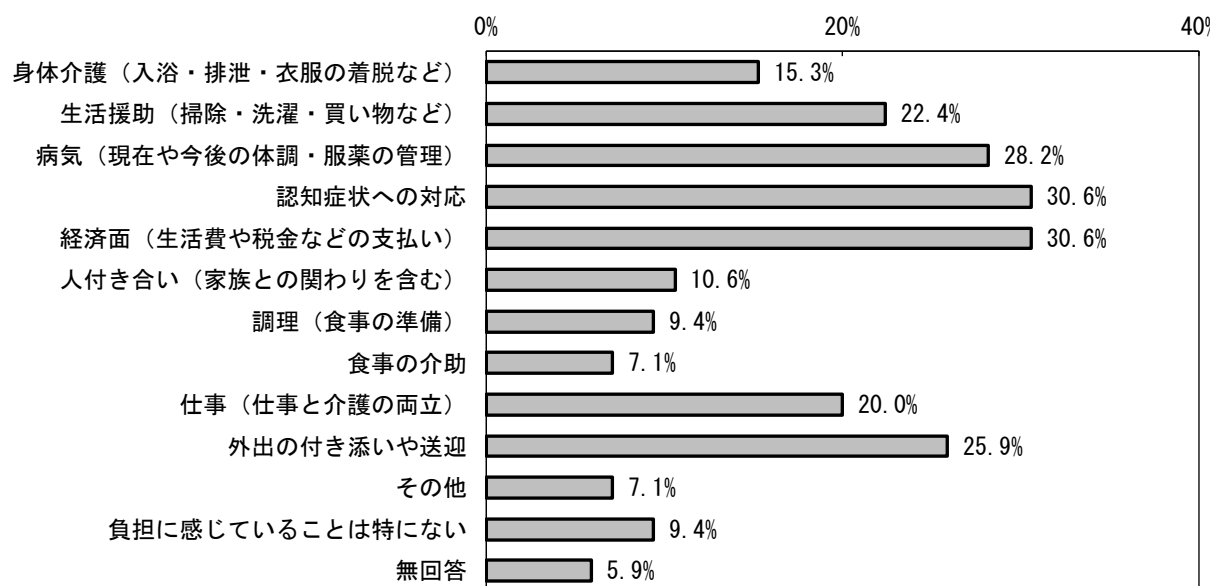


■介護保険サービスの利用の有無別（問3（1）②によるクロス集計）

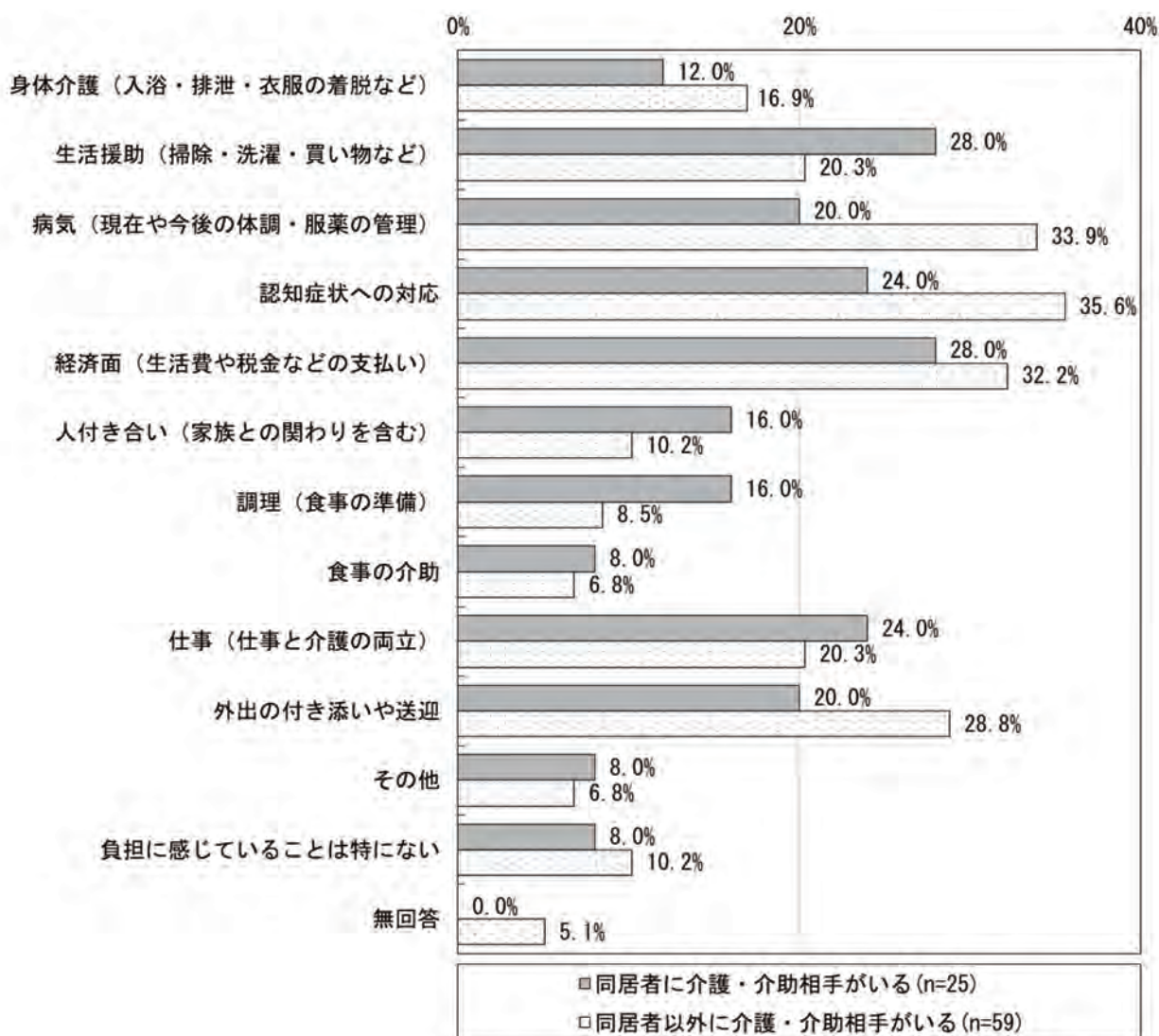


(1) ⑤現在、介護や介助をしているなかで、負担や心配に感じていることは何ですか。(いくつでも)

n=85



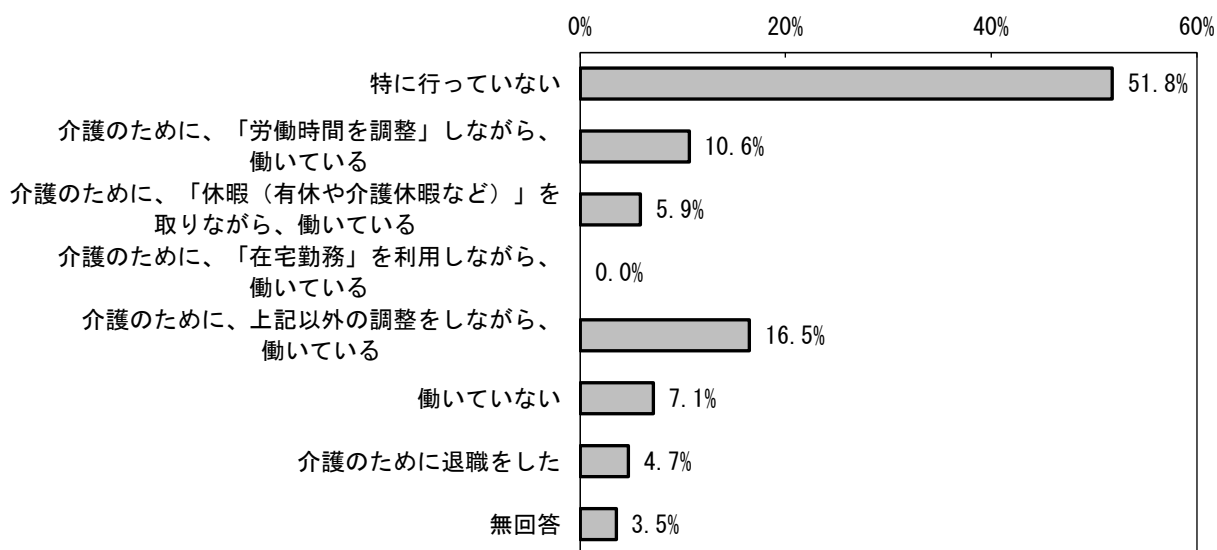
■同居の有無別



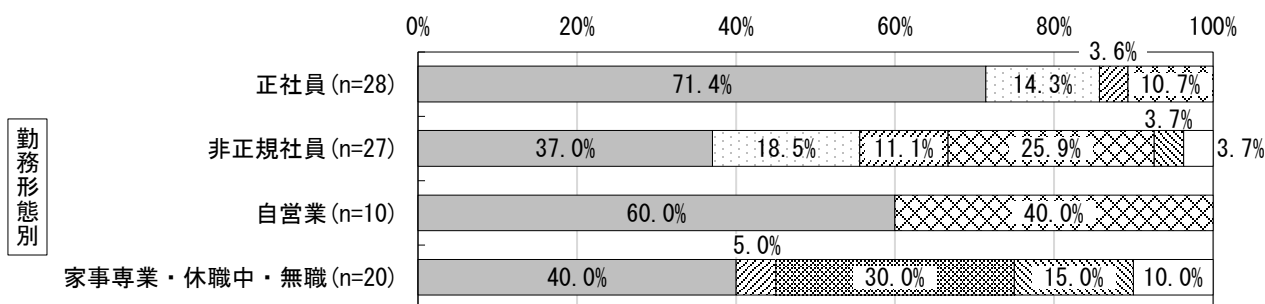
第2号被保険者に関するアンケート調査結果

(1) ⑥介護や介助をするにあたって、働き方について何か調整などをしていますか。(○は1つ)

n=85



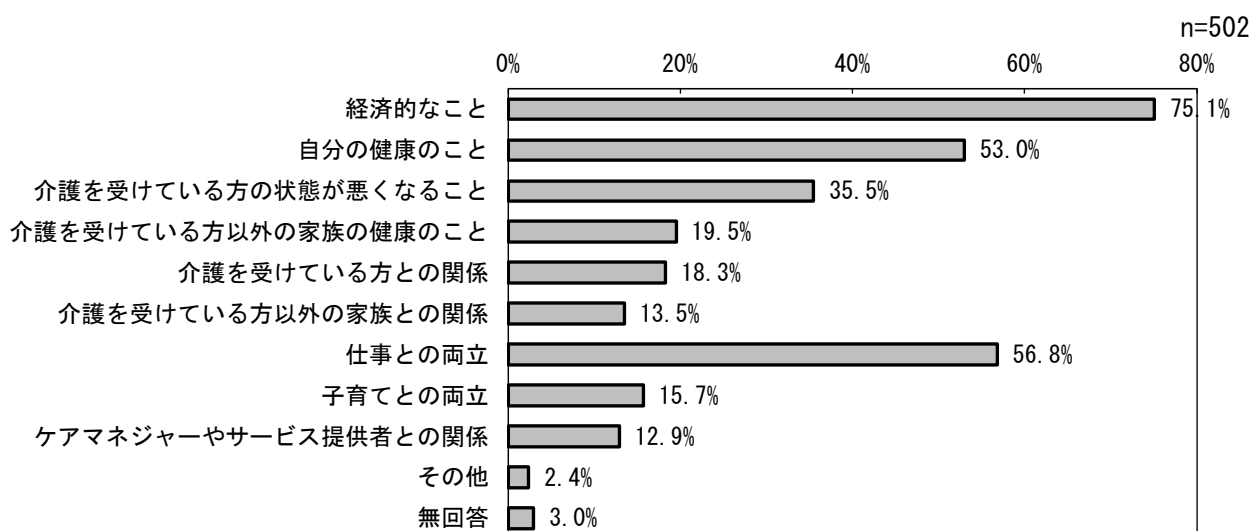
■勤務形態別



- 特に行っていない
- 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど）」しながら、働いている
- 介護のために、「休暇（有休や介護休暇など）」を取りながら、働いている
- 介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている
- 働いていない
- 介護のために退職をした
- 無回答

【問4 将来、あなたが介護をする立場になった場合について】

(1) この先の介護について不安に思うことは何ですか。(いくつでも)



■性別・年代別 上位3位

順位	40歳代 -男性(96人)	40歳代 -女性(129人)	50歳代 -男性(82人)	50歳代 -女性(120人)	60~64歳 -男性(34人)	60~64歳 -女性(40人)
第1位	経済的なこと (82.3%)	経済的なこと (84.5%)	経済的なこと (70.7%)	経済的なこと (70.8%)	経済的なこと / 自分の健康の こと(52.9%)	経済的なこと / 自分の健康の こと(67.5%)
第2位	仕事との両立 (66.7%)	仕事との両立 (60.5%)	仕事との両立 (69.5%)	自分の健康の こと(62.5%)		
第3位	自分の健康の こと(46.9%)	自分の健康の こと(46.5%)	自分の健康の こと(48.8%)	仕事との両立 (50.8%)	仕事との両立 (38.2%)	介護を受けて いる方の状態 が悪くなるこ と(42.5%)

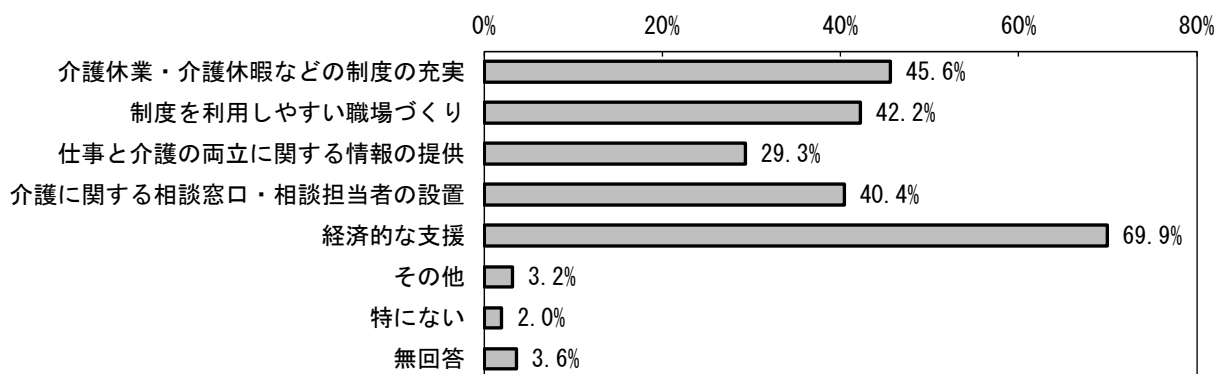
■勤務形態別 上位3位

順位	正社員 (231人)	非正規社員 (128人)	自営業 (38人)	家事専業・休 職中・無職 (95人)
第1位	経済的なこと (74.0%)	経済的なこと (80.5%)	経済的なこと (52.6%)	経済的なこと (78.9%)
第2位	仕事との両立 (70.6%)	仕事との両立 (67.2%)	仕事との両立 (50.0%)	自分の健康の こと(70.5%)
第3位	自分の健康の こと(45.9%)	自分の健康の こと(53.1%)	自分の健康の こと(47.4%)	介護を受けて いる方の状態 が悪くなるこ と(36.8%)

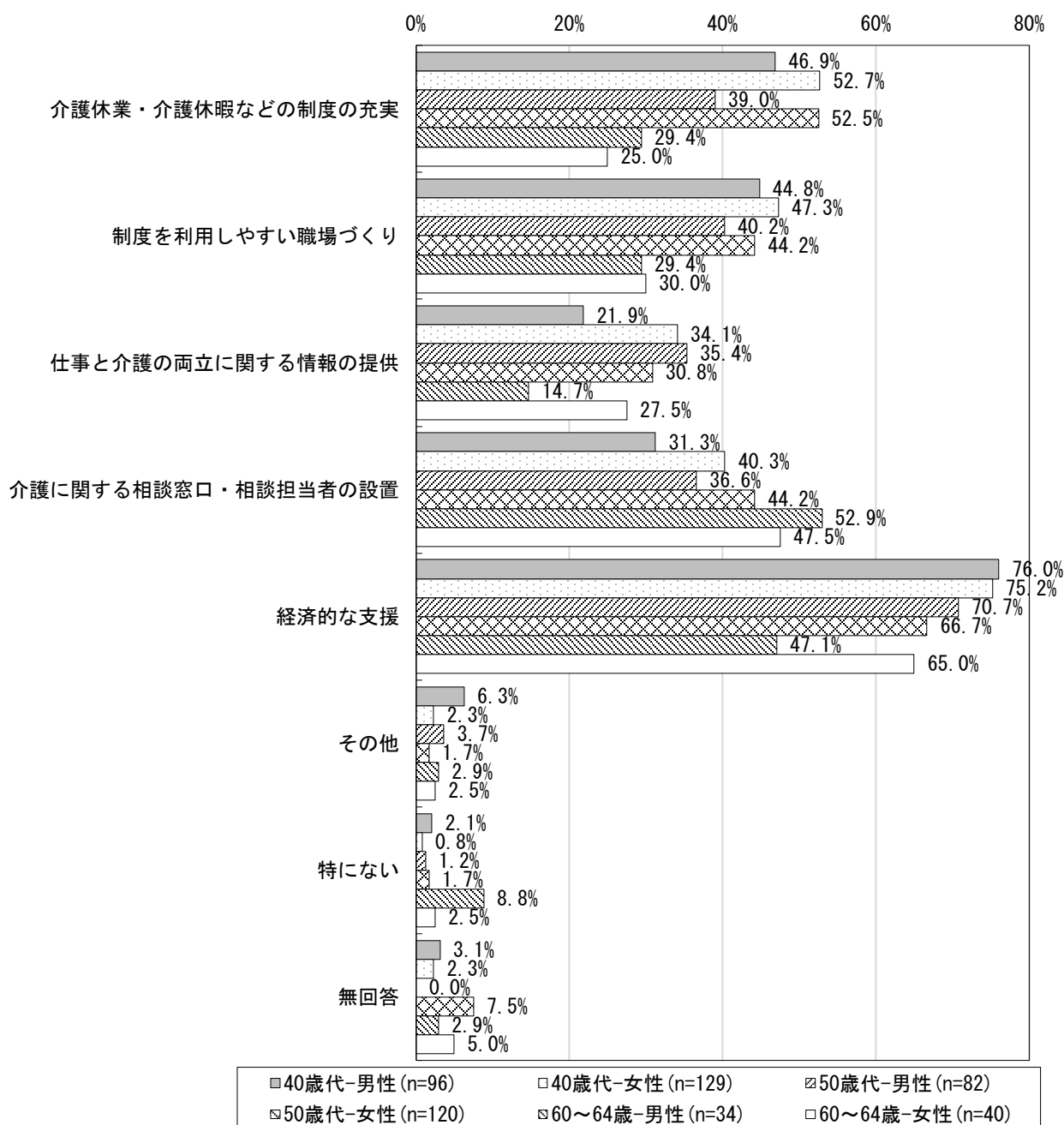
第2号被保険者に関するアンケート調査結果

(2) 仕事と介護の両立をするために、どのような支援があれば効果的だと思いますか。(いくつでも)

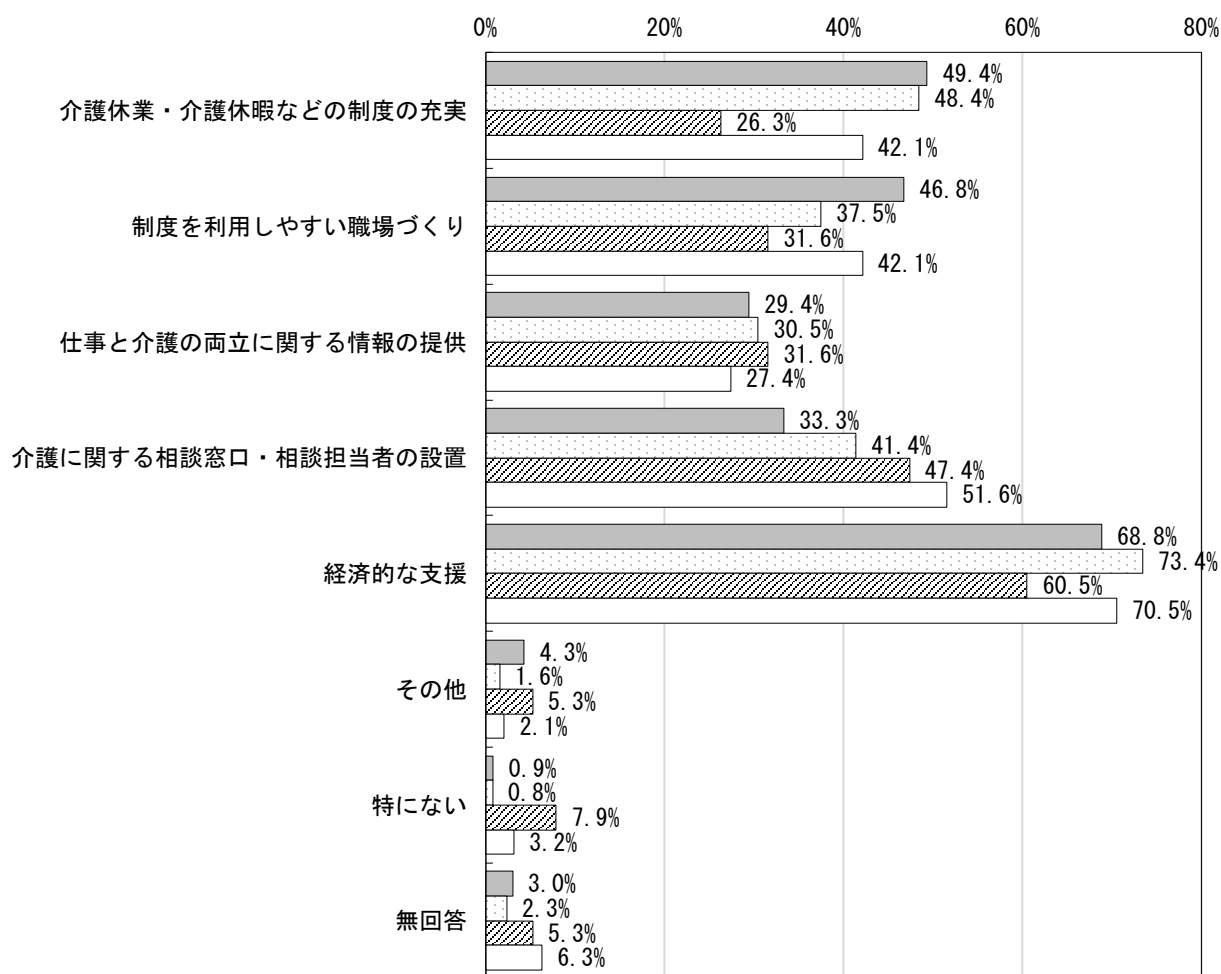
n=502



■性別・年代別



■勤務形態別



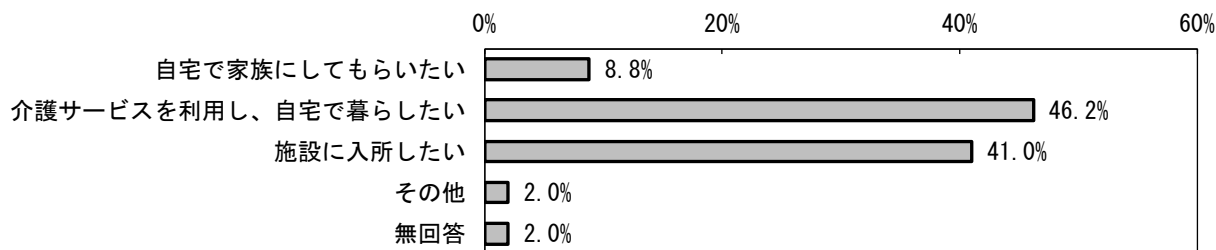
□ 正社員 (n=231) □ 非正規社員 (n=128) ▨ 自営業 (n=38) □ 家事専業・休職中・無職 (n=95)

第2号被保険者に関するアンケート調査結果

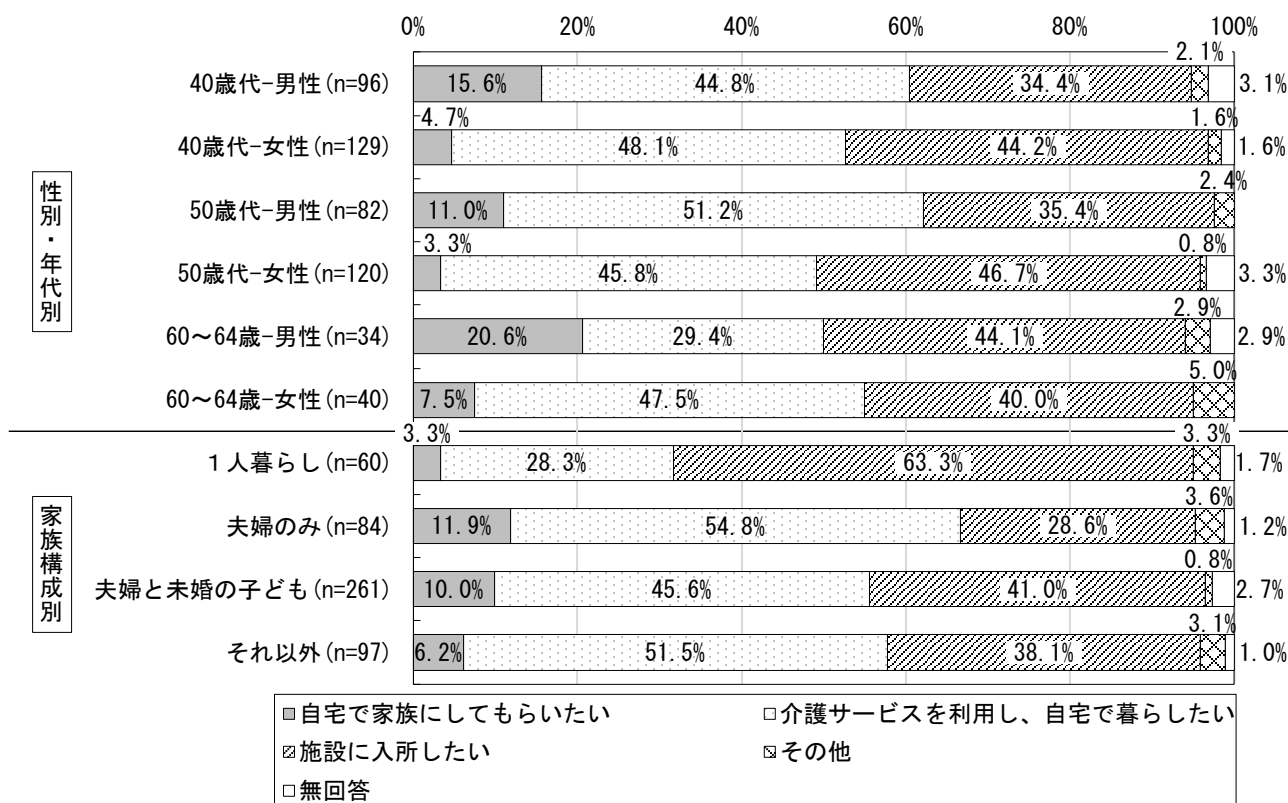
【問5 将来、あなたに介護が必要になった場合について】

(1) 介護が必要になった場合、どのような介護を希望しますか。(〇は1つ)

n=502

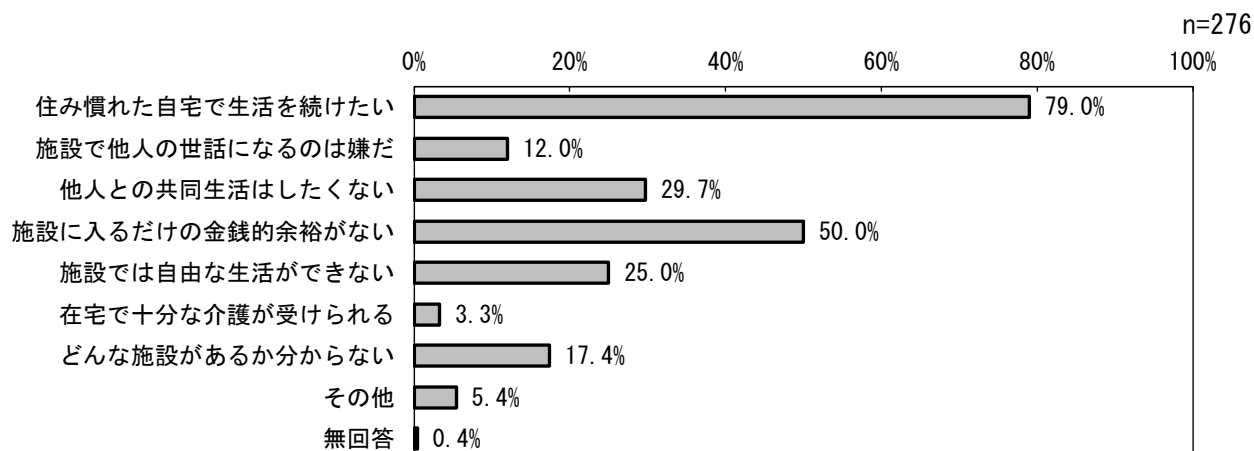


■性別・年代別、家族構成別



《(1)において「自宅で家族にしてもらいたい」または、「介護サービスを利用し、自宅で暮らしたい」と回答した方のみ》

(1) ①自宅で介護を受けたい理由は何ですか。(いくつでも)



■性別・年代別 上位3位

順位	40歳代 -男性(58人)	40歳代 -女性(68人)	50歳代 -男性(51人)	50歳代 -女性(59人)	60~64歳 -男性(17人)	60~64歳 -女性(22人)
第1位	住み慣れた自宅で生活を続けたい (82.8%)	住み慣れた自宅で生活を続けたい (75.0%)	住み慣れた自宅で生活を続けたい (80.4%)	住み慣れた自宅で生活を続けたい (79.7%)	住み慣れた自宅で生活を続けたい (76.5%)	住み慣れた自宅で生活を続けたい (77.3%)
第2位	施設に入るだけの金銭的余裕がない (46.6%)	施設に入るだけの金銭的余裕がない (51.5%)	施設に入るだけの金銭的余裕がない (41.2%)	施設に入るだけの金銭的余裕がない (54.2%)	施設で他人の世話になるのは嫌だ/ 施設に入るだけの金銭的余裕がない (35.3%)	施設に入るだけの金銭的余裕がない (72.7%)
第3位	施設では自由な生活ができない(20.7%)	他人との共同生活はしたくない(33.8%)	施設では自由な生活ができない(27.5%)	他人との共同生活はしたくない(37.3%)	施設では自由な生活ができない(45.5%)	施設では自由な生活ができない(45.5%)

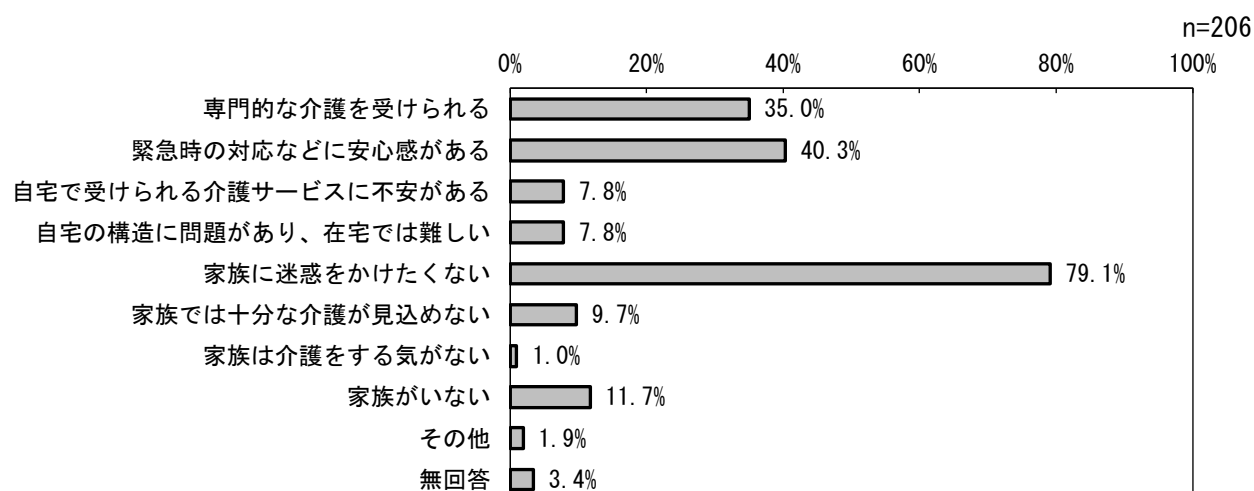
■家族構成別 上位3位

順位	1人暮らし (19人)	夫婦のみ (56人)	夫婦と未婚の子(145人)	それ以外 (56人)
第1位	住み慣れた自宅で生活を続けたい (73.7%)	住み慣れた自宅で生活を続けたい (78.6%)	住み慣れた自宅で生活を続けたい (82.1%)	住み慣れた自宅で生活を続けたい (73.2%)
第2位	他人との共同生活はしたくない(63.2%)	施設に入るだけの金銭的余裕がない (55.4%)	施設に入るだけの金銭的余裕がない (48.3%)	施設に入るだけの金銭的余裕がない (53.6%)
第3位	施設では自由な生活ができない(42.1%)	施設では自由な生活ができない(35.7%)	他人との共同生活はしたくない(24.8%)	他人との共同生活はしたくない(26.8%)

第2号被保険者に関するアンケート調査結果

《(1)において「施設に入所したい」と回答した方のみ》

(1) ②施設を利用したい理由は何ですか。(いくつでも)



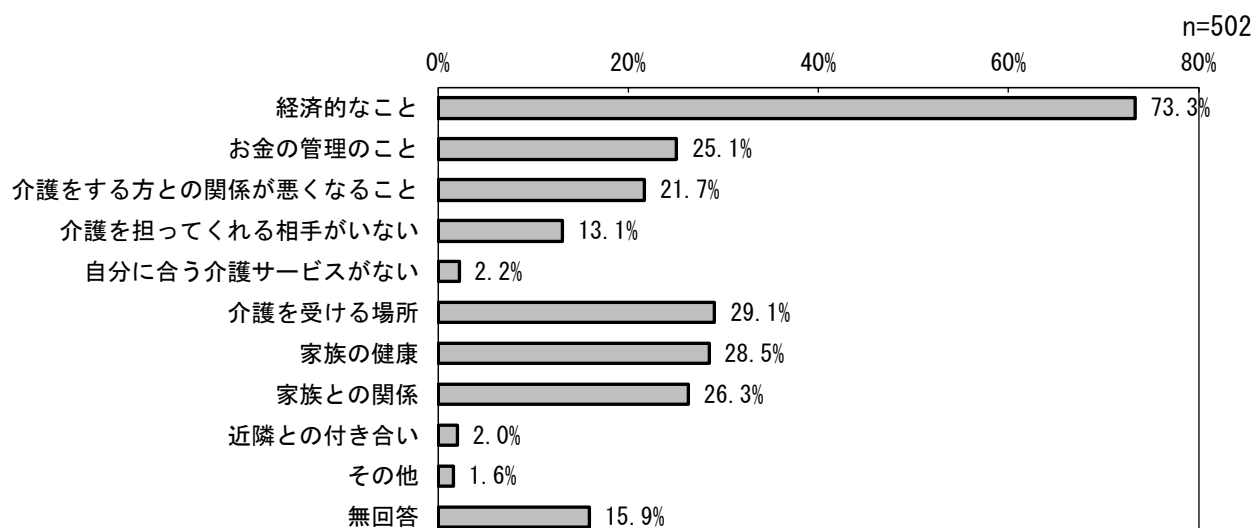
■性別・年代別 上位3位

順位	40歳代 -男性(33人)	40歳代 -女性(57人)	50歳代 -男性(29人)	50歳代 -女性(56人)	60~64歳 -男性(15人)	60~64歳 -女性(16人)
第1位	家族に迷惑をかけたくない (78.8%)	家族に迷惑をかけたくない (80.7%)	家族に迷惑をかけたくない (72.4%)	家族に迷惑をかけたくない (85.7%)	家族に迷惑をかけたくない (73.3%)	家族に迷惑をかけたくない (68.8%)
第2位	専門的な介護を受けられる (57.6%)	緊急時の対応などに安心感がある (36.8%)	専門的な介護を受けられる (34.5%)	緊急時の対応などに安心感がある (37.5%)	緊急時の対応などに安心感がある (60.0%)	緊急時の対応などに安心感がある (31.3%)
第3位	緊急時の対応などに安心感がある (54.5%)	専門的な介護を受けられる (28.1%)	緊急時の対応などに安心感がある (31.0%)	専門的な介護を受けられる (33.9%)	専門的な介護を受けられる (33.3%)	専門的な介護を受けられる他 (18.8%)

■家族構成別 上位3位

順位	1人暮らし (38人)	夫婦のみ (24人)	夫婦と未婚の子 (107人)	それ以外 (37人)
第1位	緊急時の対応などに安心感がある (47.4%)	家族に迷惑をかけたくない (70.8%)	家族に迷惑をかけたくない (94.4%)	家族に迷惑をかけたくない (75.7%)
第2位	家族に迷惑をかけたくない (44.7%)	緊急時の対応などに安心感がある (50.0%)	緊急時の対応などに安心感がある (40.2%)	緊急時の対応などに安心感がある (27.0%)
第3位	専門的な介護を受けられる (39.5%)	専門的な介護を受けられる (33.3%)	専門的な介護を受けられる (37.4%)	専門的な介護を受けられる (24.3%)

(2) 介護が必要になった場合、どのようなことが心配ですか。(いくつでも)



■性別・年代別 上位3位

順位	40歳代 -男性(96人)	40歳代 -女性(129人)	50歳代 -男性(82人)	50歳代 -女性(120人)	60~64歳 -男性(34人)	60~64歳 -女性(40人)
第1位	経済的なこと (75.0%)	経済的なこと (72.1%)	経済的なこと (74.4%)	経済的なこと (74.2%)	経済的なこと (58.8%)	経済的なこと (80.0%)
第2位	お金の管理のこと (29.2%)	介護をする方との関係が悪くなること/ 介護を受ける場所/ 家族との関係 (28.7%)	家族の健康 (31.7%)	介護を受ける場所 (35.8%)	家族の健康 (29.4%)	介護を受ける場所 (40.0%)
第3位	家族との関係 (28.1%)	お金の管理のこと (30.5%)	家族の健康 (33.3%)	介護を受ける場所 (23.5%)	家族の健康 (35.0%)	

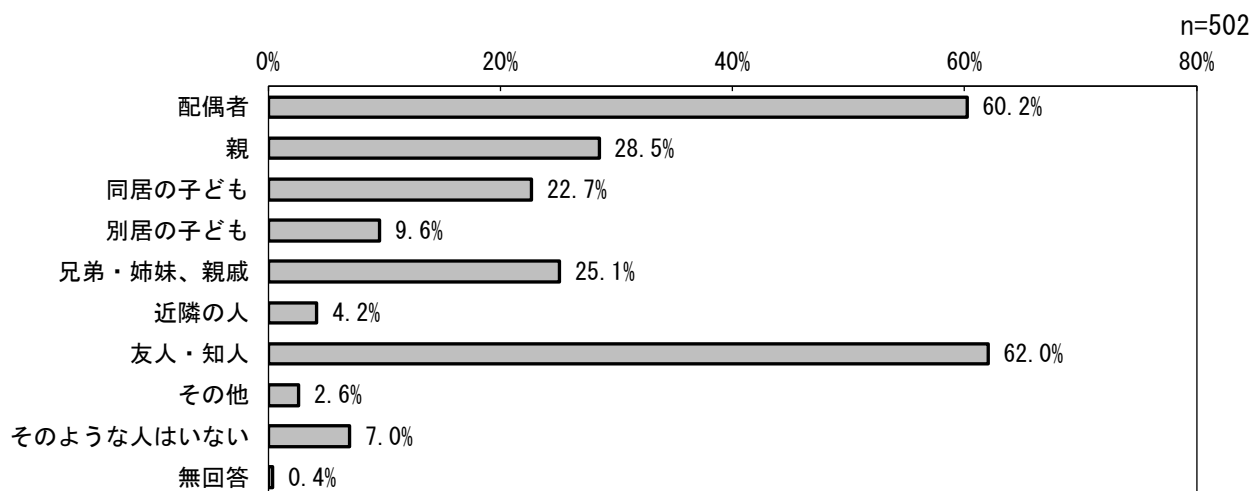
■家族構成別 上位3位

順位	1人暮らし (60人)	夫婦のみ (84人)	夫婦と未婚の子 (261人)	それ以外 (97人)
第1位	経済的なこと (65.0%)	経済的なこと (66.7%)	経済的なこと (74.7%)	経済的なこと (80.4%)
第2位	介護を受ける場所 (33.3%)	家族の健康 (36.9%)	家族との関係 (34.1%)	介護を受ける場所 (29.9%)
第3位	お金の管理のこと/ 介護を担ってくれる相手が いない (25.0%)	お金の管理のこと (32.1%)	家族の健康 (33.3%)	家族との関係 (27.8%)

第2号被保険者に関するアンケート調査結果

【問6 たすけあいについて】

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいますか。(いくつでも)



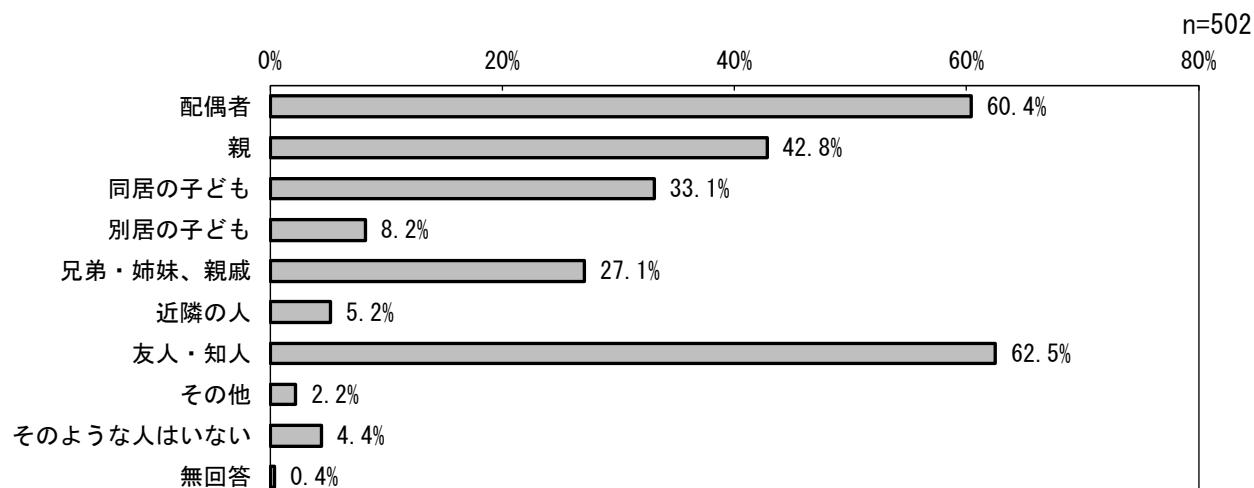
■性別・年代別 上位3位

順位	40歳代 -男性(96人)	40歳代 -女性(129人)	50歳代 -男性(82人)	50歳代 -女性(120人)	60~64歳 -男性(34人)	60~64歳 -女性(40人)
第1位	配偶者 (65.6%)	友人・知人 (77.5%)	配偶者 (63.4%)	友人・知人 (70.0%)	配偶者 (64.7%)	友人・知人 (72.5%)
第2位	友人・知人 (47.9%)	配偶者 (55.8%)	友人・知人 (43.9%)	配偶者 (55.0%)	友人・知人 (44.1%)	配偶者 (67.5%)
第3位	親(29.2%)	親(46.5%)	兄弟・姉妹、 親戚/ そのような人 はいない (12.2%)	同居の子ども (36.7%)	同居の子ども / 別居の子ども (14.7%)	同居の子ども (37.5%)

■家族構成別 上位3位

順位	1人暮らし (60人)	夫婦のみ (84人)	夫婦と未婚の 子(261人)	それ以外 (97人)
第1位	友人・知人 (65.0%)	配偶者 (88.1%)	配偶者 (74.3%)	友人・知人 (64.9%)
第2位	兄弟・姉妹、 親戚(26.7%)	友人・知人 (52.4%)	友人・知人 (63.2%)	親(37.1%)
第3位	そのような人 はいない (23.3%)	別居の子ども (22.6%)	同居の子ども (34.9%)	兄弟・姉妹、 親戚(34.0%)

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はいますか。(いくつでも)



■性別・年代別 上位3位

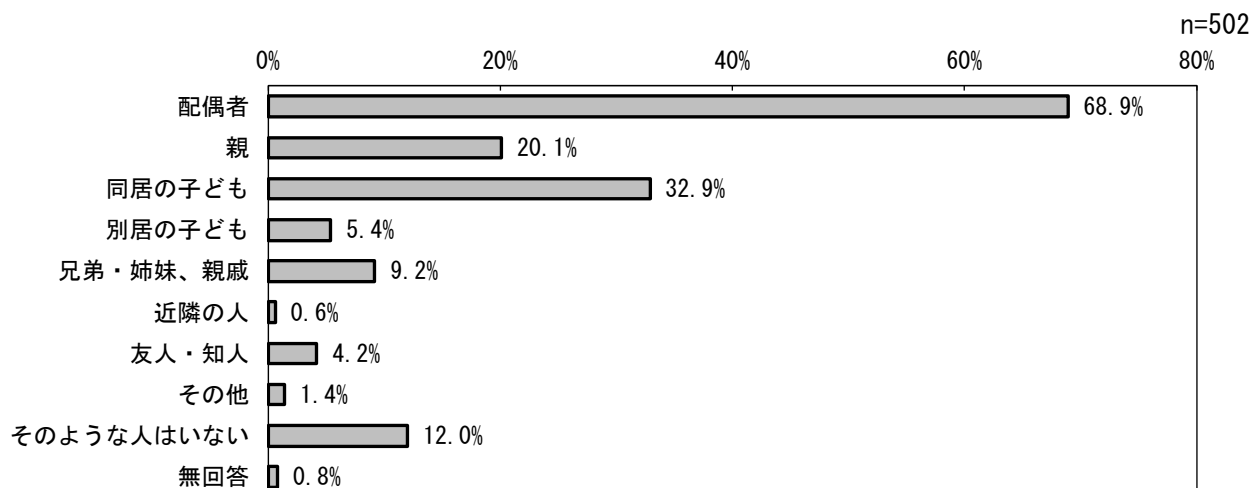
順位	40歳代 -男性(96人)	40歳代 -女性(129人)	50歳代 -男性(82人)	50歳代 -女性(120人)	60~64歳 -男性(34人)	60~64歳 -女性(40人)
第1位	配偶者 (70.8%)	友人・知人 (76.0%)	配偶者 (69.5%)	友人・知人 (73.3%)	配偶者 (67.6%)	友人・知人 (70.0%)
第2位	友人・知人 (52.1%)	親(64.3%)	友人・知人 (41.5%)	親(55.0%)	友人・知人 (44.1%)	配偶者 (55.0%)
第3位	親(33.3%)	配偶者 (52.7%)	親(28.0%)	配偶者 (54.2%)	同居の子ども (26.5%)	兄弟・姉妹、 親戚(32.5%)

■家族構成別 上位3位

順位	1人暮らし (60人)	夫婦のみ (84人)	夫婦と未婚の 子(261人)	それ以外 (97人)
第1位	友人・知人 (65.0%)	配偶者 (88.7%)	配偶者 (75.5%)	友人・知人 (70.1%)
第2位	兄弟・姉妹、 親戚(35.0%)	友人・知人 (57.1%)	友人・知人 (60.9%)	親(47.4%)
第3位	親(30.0%)	親(35.7%)	同居の子ども (53.3%)	兄弟・姉妹、 親戚(32.0%)

第2号被保険者に関するアンケート調査結果

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。(いくつでも)



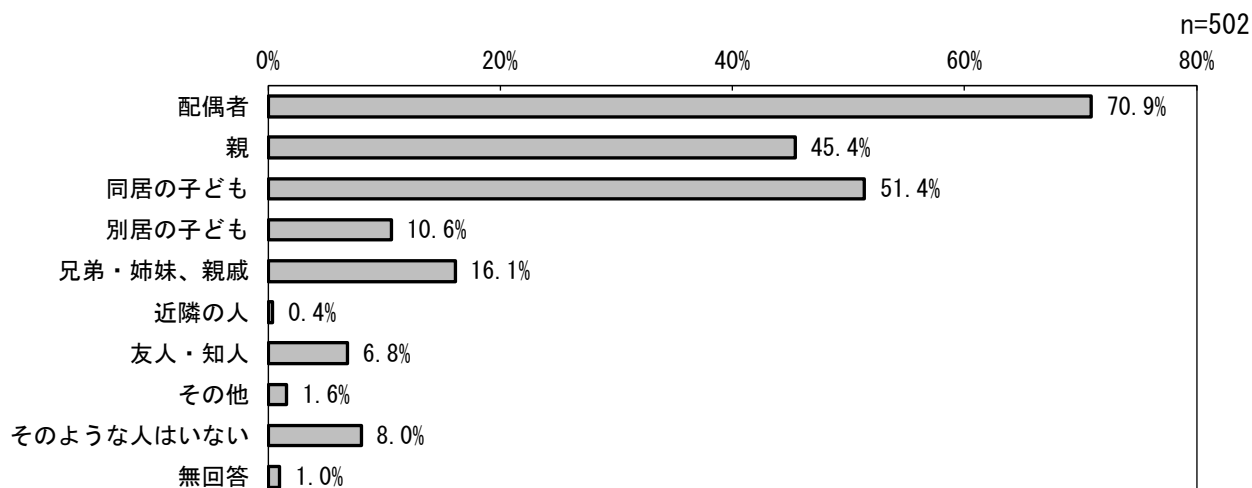
■性別・年代別 上位3位

順位	40歳代 -男性(96人)	40歳代 -女性(129人)	50歳代 -男性(82人)	50歳代 -女性(120人)	60~64歳 -男性(34人)	60~64歳 -女性(40人)
第1位	配偶者 (76.0%)	配偶者 (65.9%)	配偶者 (74.4%)	配偶者 (63.3%)	配偶者 (70.6%)	配偶者 (67.5%)
第2位	親/ 同居の子ども (17.7%)	親(45.0%)	同居の子ども (26.8%)	同居の子ども (43.3%)	同居の子ども (35.3%)	同居の子ども (47.5%)
第3位		同居の子ども (33.3%)	そのような人 はいない (12.2%)	親(15.0%)	そのような人 はいない (20.6%)	別居の子ども (17.5%)

■家族構成別 上位3位

順位	1人暮らし (60人)	夫婦のみ (84人)	夫婦と未婚の 子(261人)	それ以外 (97人)
第1位	そのような人 はいない (63.3%)	配偶者 (94.0%)	配偶者 (87.7%)	親(41.2%)
第2位	兄弟・姉妹、 親戚(16.7%)	別居の子ども (14.3%)	同居の子ども (49.8%)	配偶者 (36.1%)
第3位	別居の子ども / 友人・知人 (10.0%)	親/ 兄弟・姉妹、 親戚(7.1%)	親(19.2%)	同居の子ども (34.0%)

(4) 反対に、あなたが看病や世話をしあげて人はいませんか。(いくつでも)



■性別・年代別 上位3位

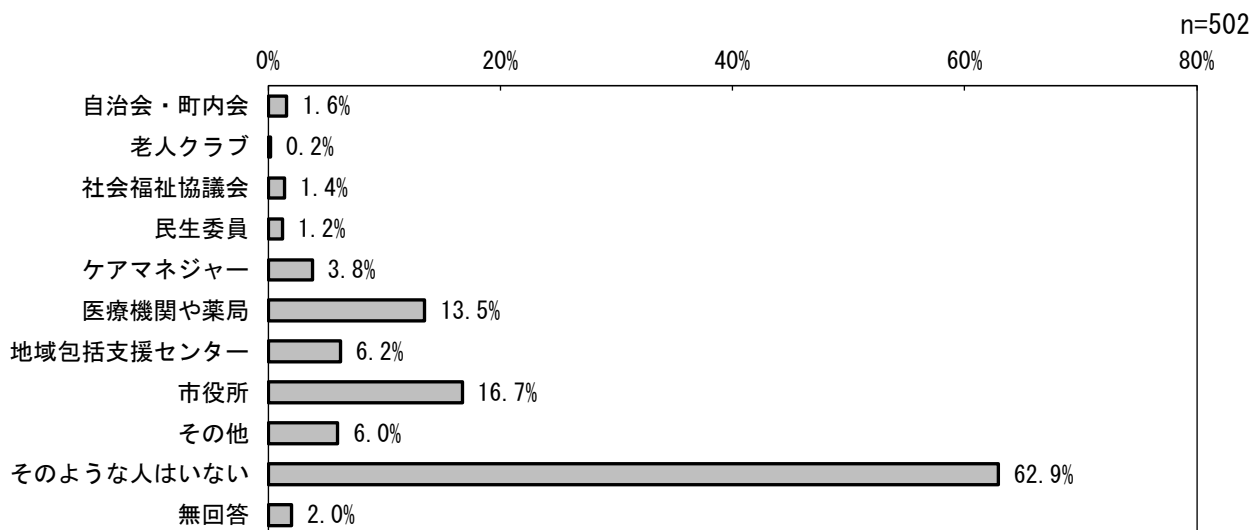
順位	40歳代 -男性(96人)	40歳代 -女性(129人)	50歳代 -男性(82人)	50歳代 -女性(120人)	60~64歳 -男性(34人)	60~64歳 -女性(40人)
第1位	配偶者 (70.8%)	同居の子ども (72.1%)	配偶者 (72.0%)	配偶者 (73.3%)	配偶者 (70.6%)	配偶者 (62.5%)
第2位	同居の子ども (44.8%)	配偶者 (71.3%)	同居の子ども (47.6%)	親(61.7%)	同居の子ども (23.5%)	同居の子ども (37.5%)
第3位	親(27.1%)	親(62.8%)	親(36.6%)	同居の子ども (50.0%)	別居の子ども (17.6%)	親/ 別居の子ども (27.5%)

■家族構成別 上位3位

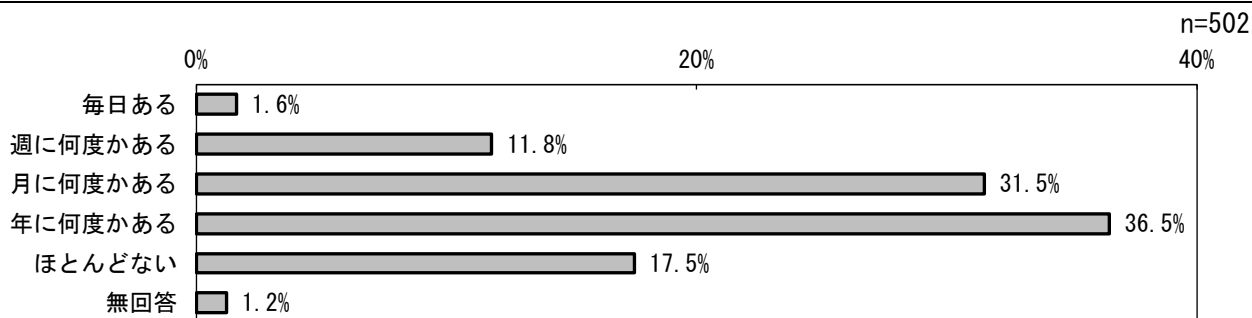
順位	1人暮らし (60人)	夫婦のみ (84人)	夫婦と未婚の 子(261人)	それ以外 (97人)
第1位	そのような人 はいない (40.0%)	配偶者 (92.9%)	配偶者 (92.0%)	親(62.9%)
第2位	親(36.7%)	親(42.9%)	同居の子ども (82.4%)	同居の子ども (42.3%)
第3位	兄弟・姉妹、 親戚(21.7%)	別居の子ども (23.8%)	親(41.8%)	配偶者 (35.1%)

第2号被保険者に関するアンケート調査結果

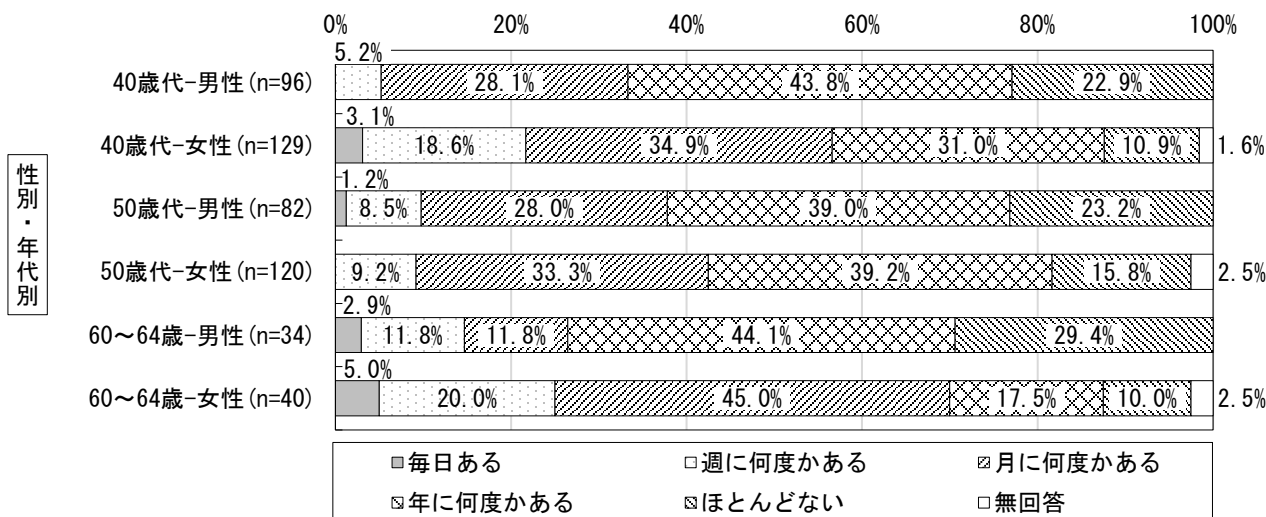
(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手(機関)はいますか。(いくつでも)



(6) 仕事以外で友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(〇は1つ)

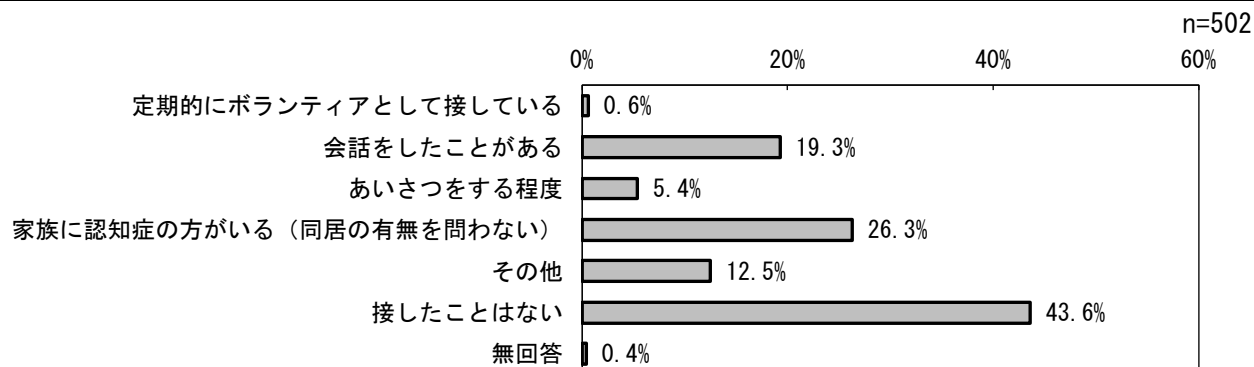


■性別・年代別

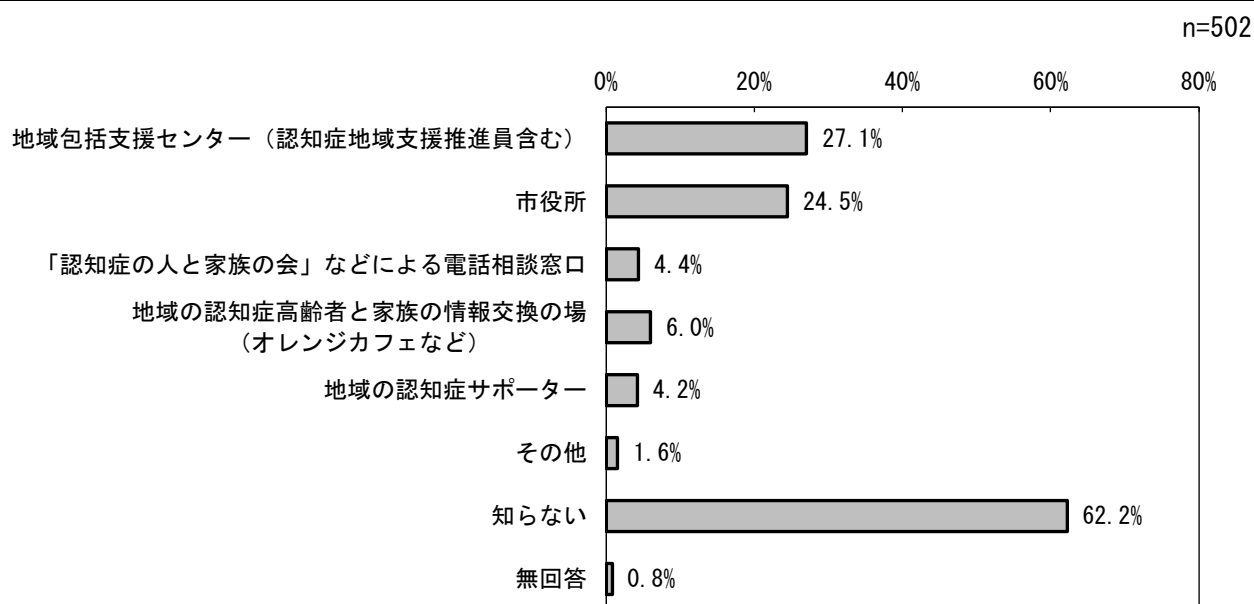


【問7 認知症について】

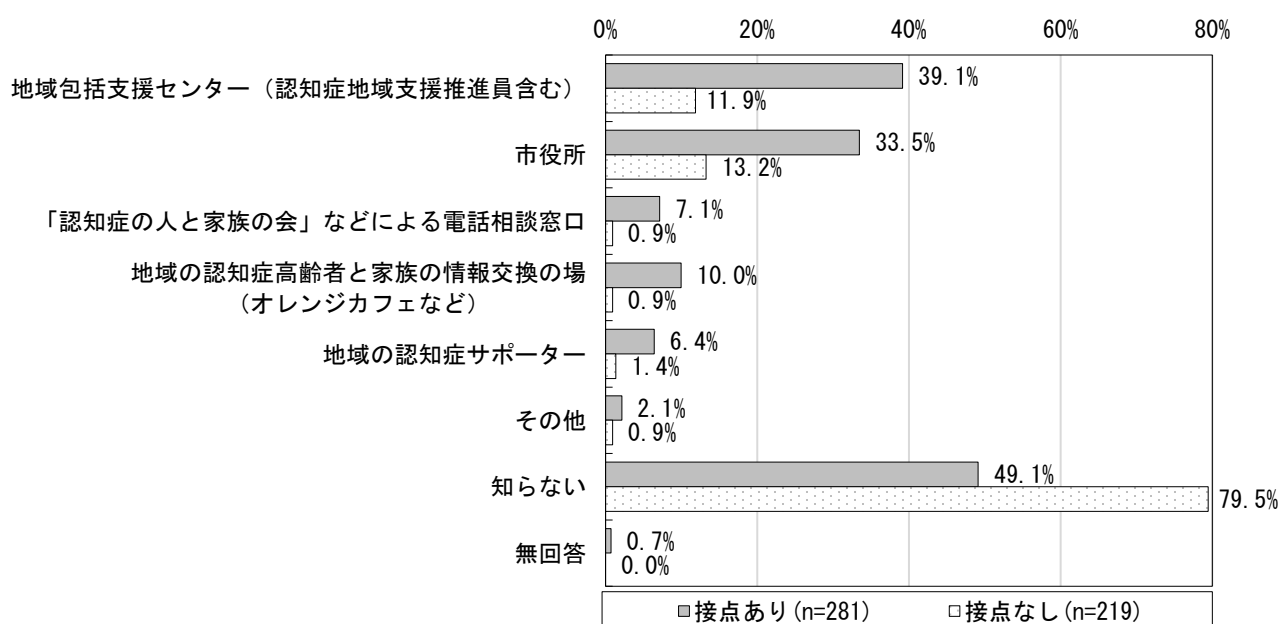
(1) 認知症は誰にでも起こりうることで、あなたは認知症の方と接したことはありますか。(いくつでも)



(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(いくつでも)



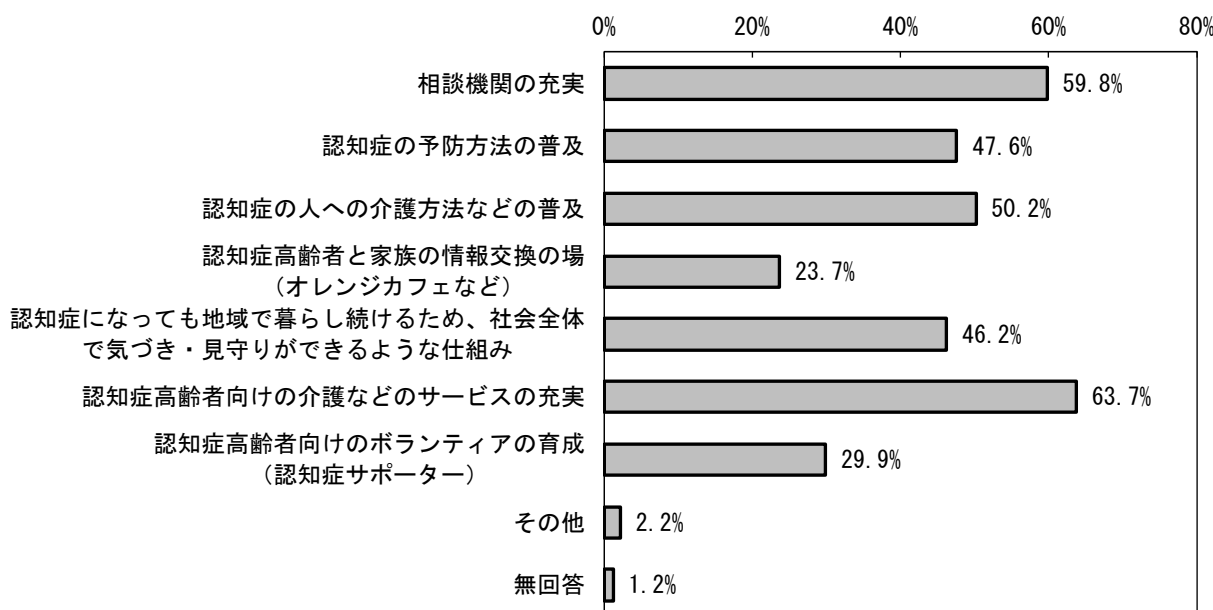
■ 認知症の方との接点の有無別 (問7 (1) によるクロス集計)



第2号被保険者に関するアンケート調査結果

(3) 認知症に対する取組として必要だと思われることはありますか。(いくつでも)

n=502



■性別・年代別 上位3位

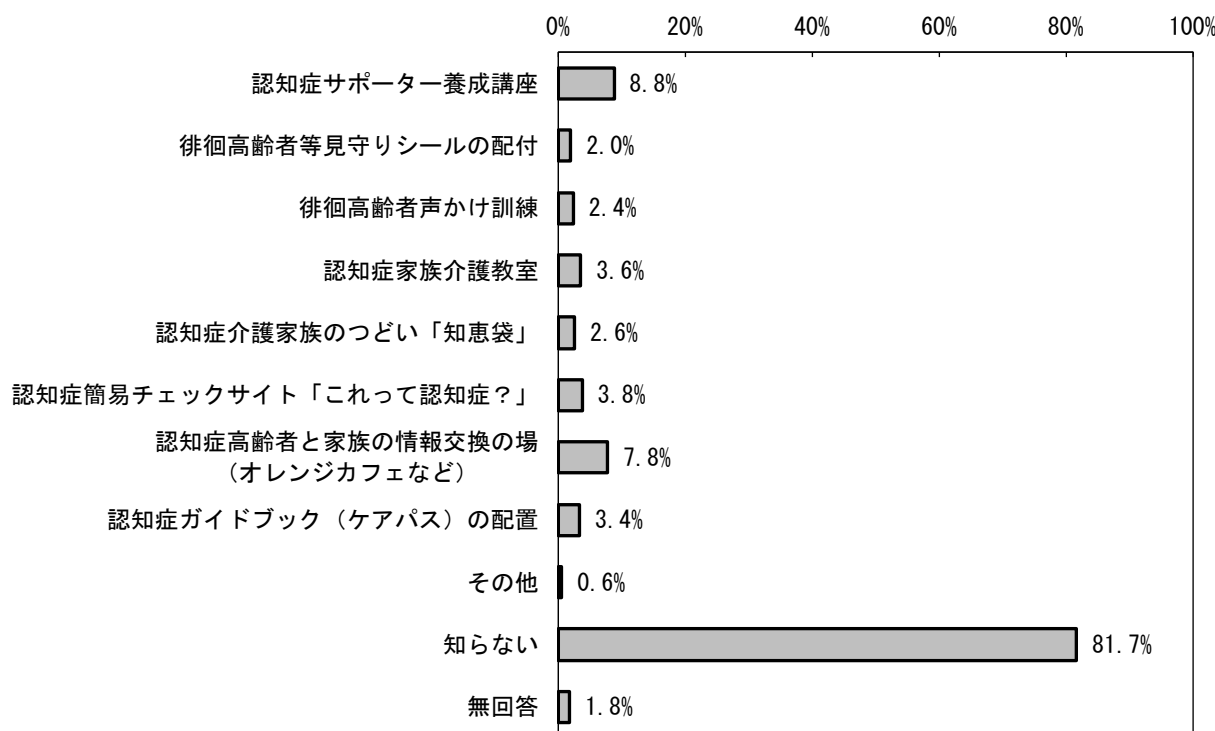
順位	40歳代 -男性(96人)	40歳代 -女性(129人)	50歳代 -男性(82人)	50歳代 -女性(120人)	60~64歳 -男性(34人)	60~64歳 -女性(40人)
第1位	相談機関の充実(54.2%)	認知症高齢者向けの介護などのサービスの充実(72.1%)	認知症高齢者向けの介護などのサービスの充実(56.1%)	認知症高齢者向けの介護などのサービスの充実(72.5%)	相談機関の充実(70.6%)	認知症高齢者向けの介護などのサービスの充実(75.0%)
第2位	認知症の予防方法の普及(52.1%)	相談機関の充実(60.5%)	相談機関の充実(54.9%)	相談機関の充実(61.7%)	認知症高齢者向けの介護などのサービスの充実(61.8%)	相談機関の充実(65.0%)
第3位	認知症高齢者向けの介護などのサービスの充実(43.8%)	認知症の人への介護方法などの普及(58.1%)	認知症の人への介護方法などの普及(53.7%)	認知症になっても地域で暮らし続けるため、社会全体で気づき・見守りができるような仕組み(53.3%)	認知症の予防方法の普及(44.1%)	認知症になっても地域で暮らし続けるため、社会全体で気づき・見守りができるような仕組み(55.0%)

■認知症の方との接点の有無別(問7(1)とのクロス集計) 上位3位

順位	接点あり(281人)	接点なし(219人)
第1位	認知症高齢者向けの介護などのサービスの充実(71.2%)	相談機関の充実(62.1%)
第2位	相談機関の充実(58.4%)	認知症高齢者向けの介護などのサービスの充実(54.8%)
第3位	認知症の人への介護方法などの普及(53.0%)	認知症の予防方法の普及(49.3%)

(4) 市の認知症に対する取組を知っていますか。(いくつでも)

n=502



■性別・年代別 上位3位

順位	40歳代 -男性(96人)	40歳代 -女性(129人)	50歳代 -男性(82人)	50歳代 -女性(120人)	60~64歳 -男性(34人)	60~64歳 -女性(40人)
第1位	知らない (91.7%)	知らない (77.5%)	知らない (86.6%)	知らない (75.8%)	知らない (85.3%)	知らない (75.0%)
第2位	認知症サポーター養成講座 (3.1%)	認知症高齢者と家族の情報交換の場 (12.4%)	認知症サポーター養成講座 (4.9%)	認知症サポーター養成講座 (13.3%)	認知症サポーター養成講座 / 認知症ガイドブックの配置 (5.9%)	認知症サポーター養成講座 (17.5%)
第3位	認知症高齢者と家族の情報交換の場 他 (2.1%)	認知症サポーター養成講座 (9.3%)	認知症ガイドブックの配置 (3.7%)	認知症高齢者と家族の情報交換の場 (11.7%)	認知症ガイドブックの配置 (5.9%)	認知症高齢者と家族の情報交換の場 (12.5%)

■生活圏域別 上位3位

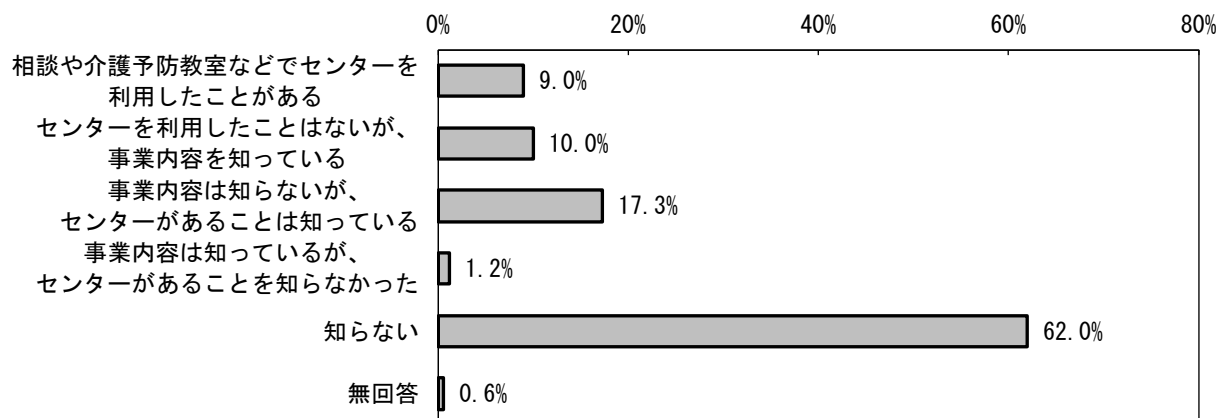
順位	第1圏域 (93人)	第2圏域 (107人)	第3圏域 (96人)	第4圏域 (105人)	第5圏域 (95人)
第1位	知らない(82.8%)	知らない(77.6%)	知らない(79.2%)	知らない(86.7%)	知らない(81.1%)
第2位	認知症高齢者と家族の情報交換の場(5.4%)	認知症サポーター養成講座 (15.0%)	認知症サポーター養成講座 (12.5%)	認知症高齢者と家族の情報交換の場(5.7%)	認知症サポーター養成講座 (9.5%)
第3位	認知症家族介護教室、 認知症簡易チェックサイト (4.3%)	認知症高齢者と家族の情報交換の場(11.2%)	認知症高齢者と家族の情報交換の場(10.4%)	認知症簡易チェックサイト「これって認知症？」(4.8%)	認知症高齢者と家族の情報交換の場(6.3%)

第2号被保険者に関するアンケート調査結果

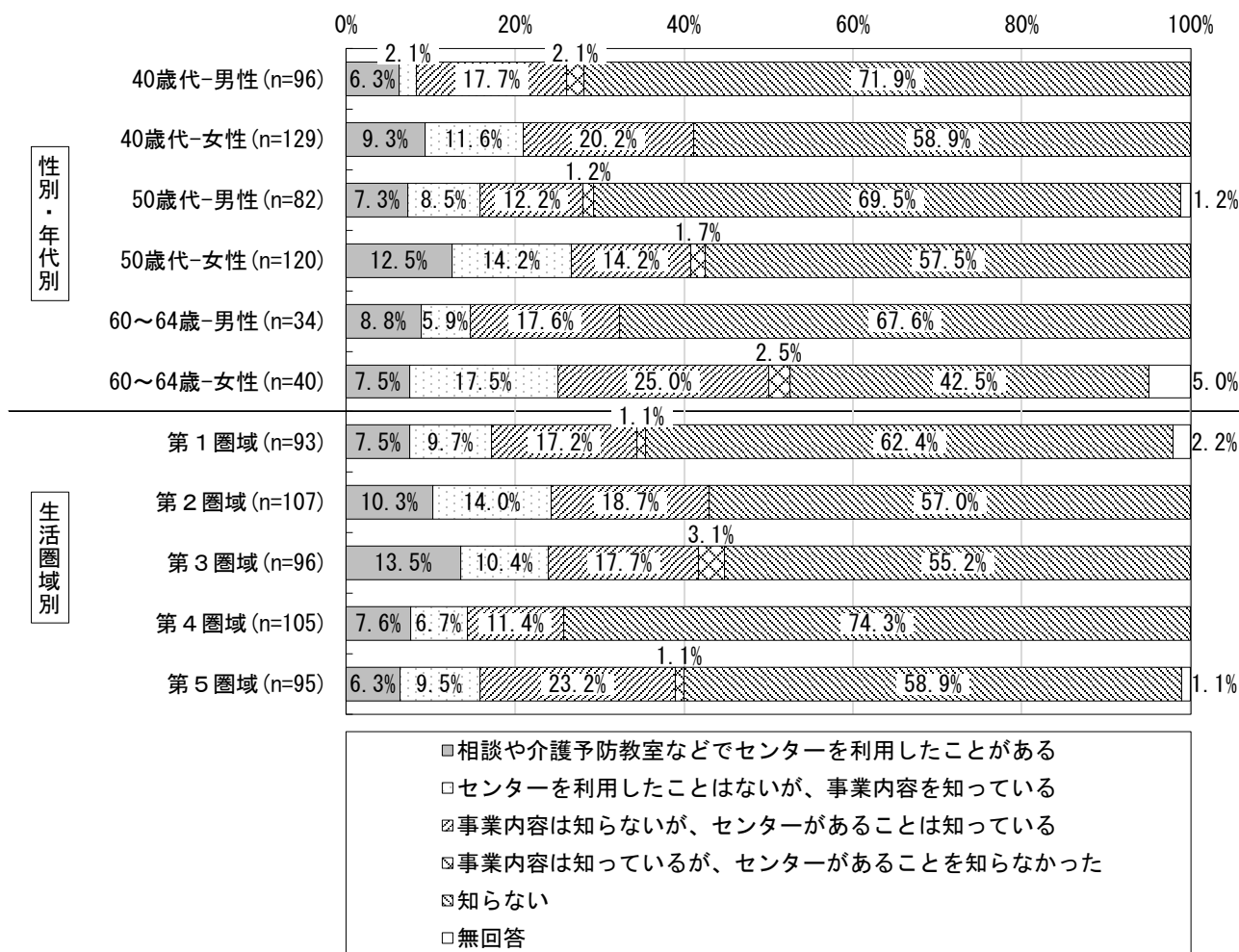
【問8 地域包括支援センターについて】

(1) 地域包括支援センターを知っていますか。(〇は1つ)

n=502



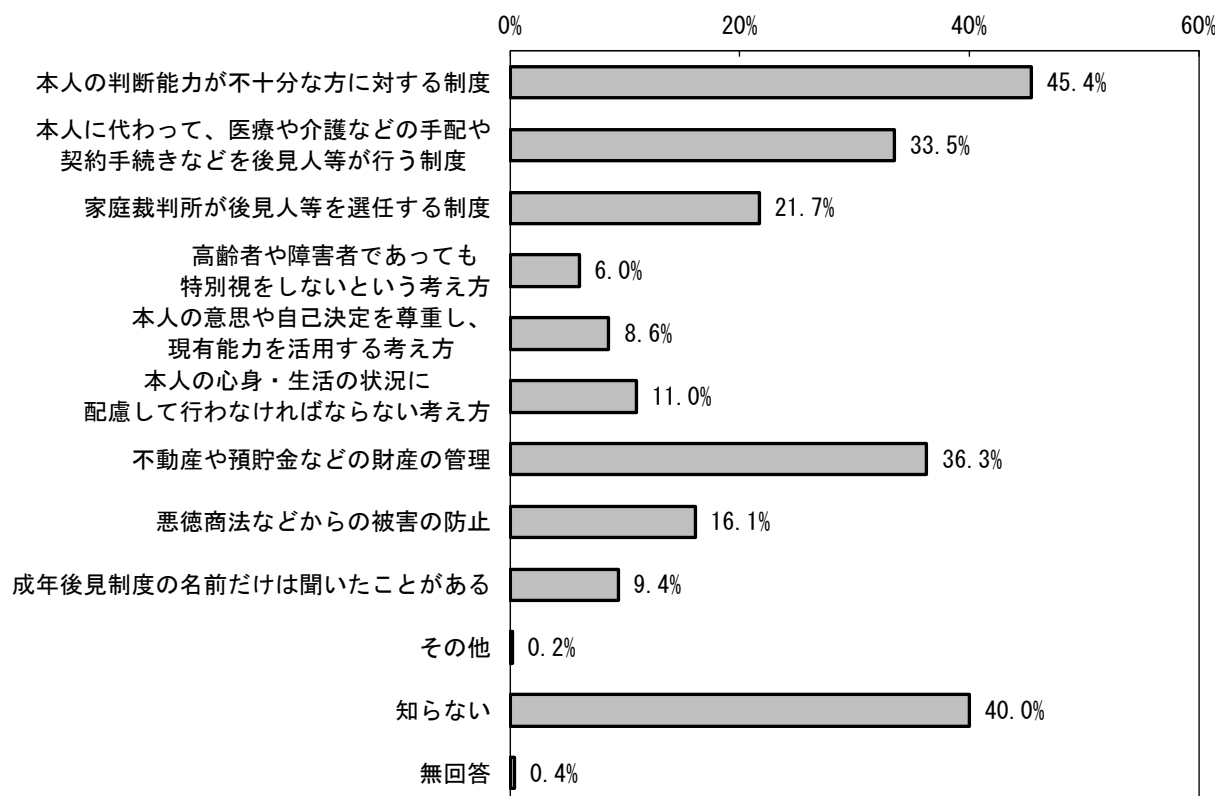
■性別・年代別、生活圏域別



【問9 成年後見制度について】

(1) 成年後見制度について、知っている内容があれば教えてください。(いくつでも)

n=502

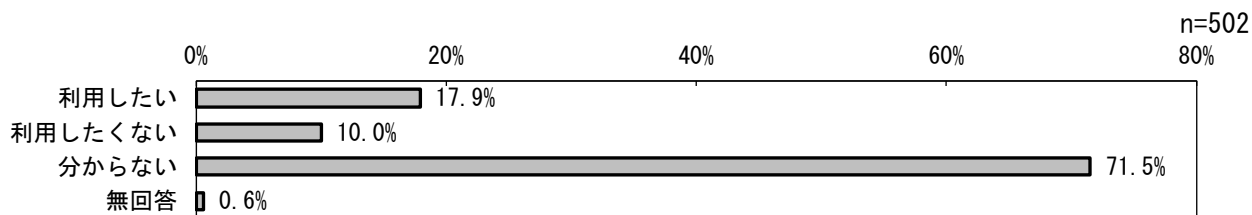


■性別・年代別 上位3位

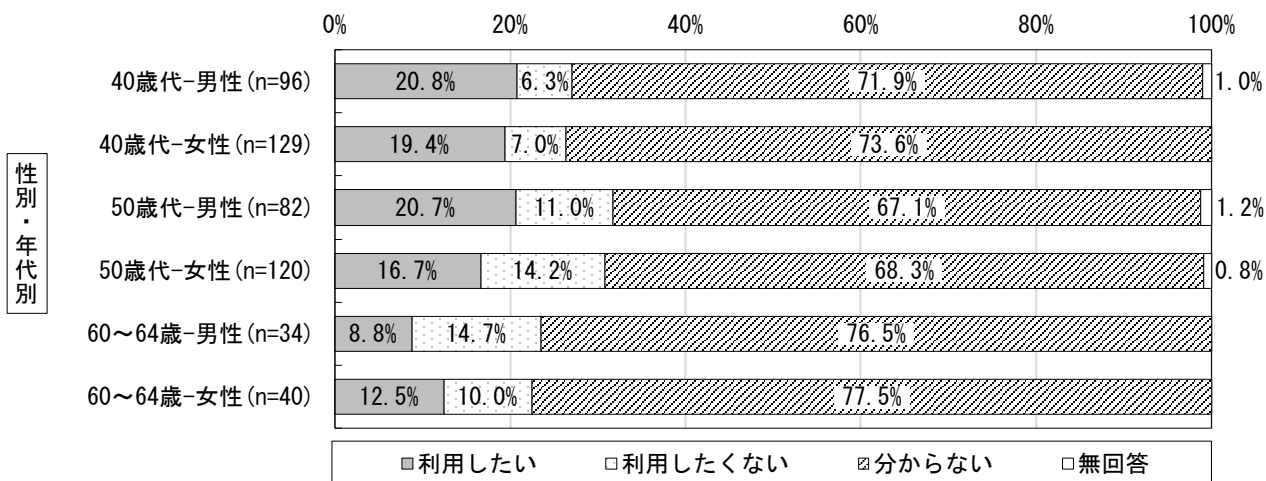
順位	40歳代 -男性(96人)	40歳代 -女性(129人)	50歳代 -男性(82人)	50歳代 -女性(120人)	60~64歳 -男性(34人)	60~64歳 -女性(40人)
第1位	知らない (55.2%)	本人の判断能力が不十分な方に対する制度 (41.9%)	本人の判断能力が不十分な方に対する制度 (42.7%)	本人の判断能力が不十分な方に対する制度 (54.2%)	本人の判断能力が不十分な方に対する制度 (52.9%)	本人の判断能力が不十分な方に対する制度 (52.5%)
第2位	本人の判断能力が不十分な方に対する制度 (36.5%)	知らない (40.3%)	不動産や預貯金などの財産の管理/ 知らない (37.8%)	不動産や預貯金などの財産の管理 (38.3%)	本人に代わって、医療や介護などの手配や契約手続きなどを後見人等が行う制度	不動産や預貯金などの財産の管理 (42.5%)
第3位	不動産や預貯金などの財産の管理 (27.1%)	不動産や預貯金などの財産の管理 (35.7%)		本人に代わって、医療や介護などの手配や契約手続きなどを後見人等が行う制度 (37.5%)	本人に代わって、医療や介護などの手配や契約手続きなどを後見人等が行う制度/ 不動産や預貯金などの財産の管理 (47.1%)	知らない (35.0%)

第2号被保険者に関するアンケート調査結果

(2) あなたは、将来成年後見制度を利用したいと思いますか。(〇は1つ)



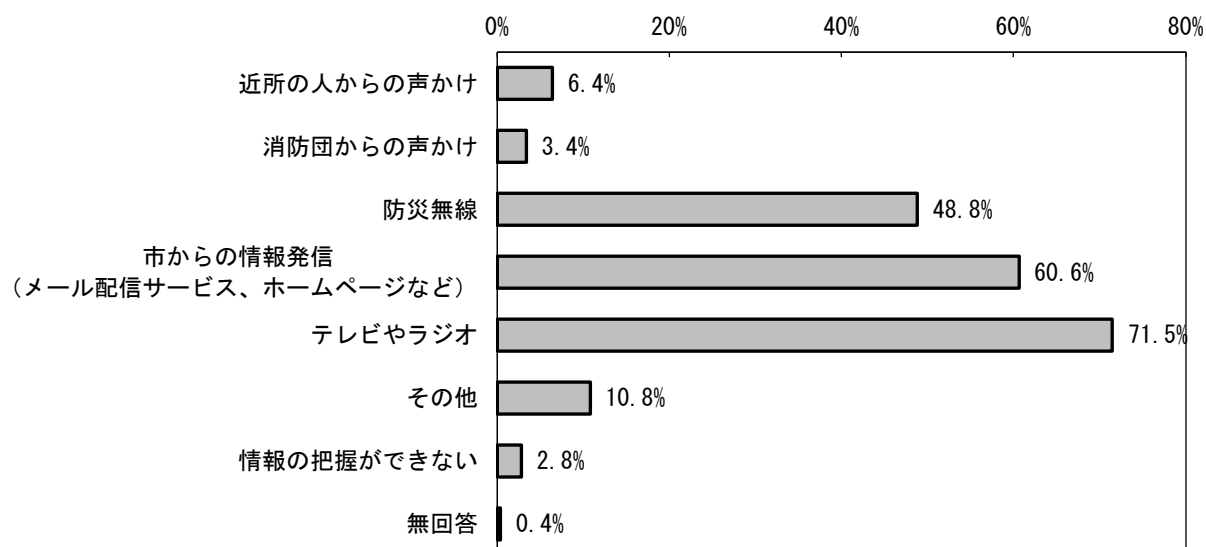
■性別・年代別



【問10 防災について】

(1) 避難準備情報などの防災情報をどのような方法で把握していますか。(いくつでも)

n=502



■性別・年代別 上位3位

順位	40歳代 -男性(96人)	40歳代 -女性(129人)	50歳代 -男性(82人)	50歳代 -女性(120人)	60~64歳 -男性(34人)	60~64歳 -女性(40人)
第1位	テレビやラジオ (75.0%)	テレビやラジオ (71.3%)	テレビやラジオ (68.3%)	市からの情報発信 (70.0%)	テレビやラジオ (82.4%)	テレビやラジオ (72.5%)
第2位	市からの情報発信 (54.2%)	市からの情報発信 (64.3%)	市からの情報発信 (51.2%)	テレビやラジオ (68.3%)	市からの情報発信 (58.8%)	市からの情報発信 (55.0%)
第3位	防災無線 (49.0%)	防災無線 (62.0%)	防災無線 (37.8%)	防災無線 (45.0%)	防災無線 (32.4%)	防災無線 (52.5%)

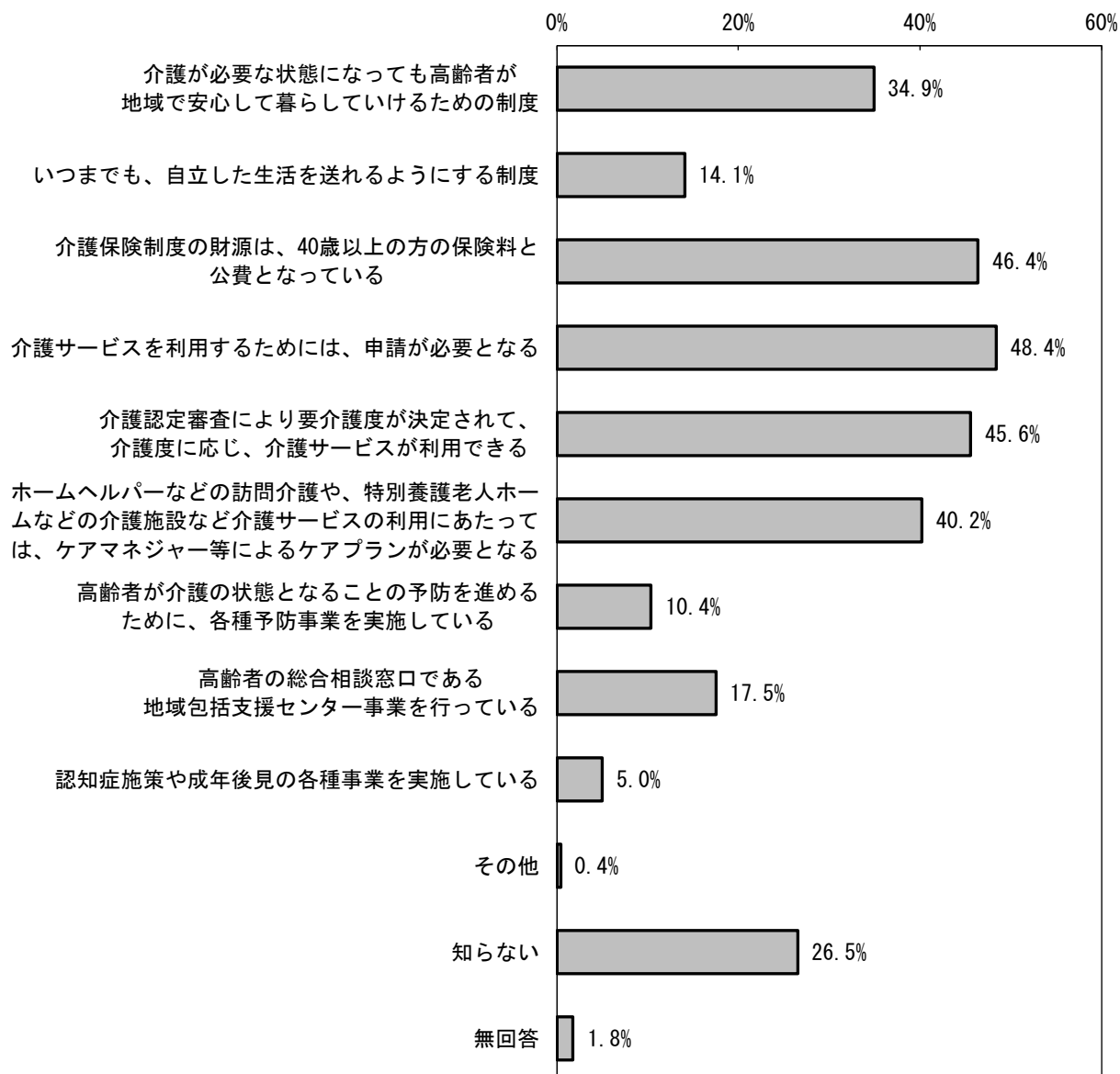
■生活圏域別 上位3位

順位	第1圏域 (93人)	第2圏域 (107人)	第3圏域 (96人)	第4圏域 (105人)	第5圏域 (95人)
第1位	テレビやラジオ (73.1%)	テレビやラジオ (73.8%)	テレビやラジオ (64.6%)	テレビやラジオ (76.2%)	テレビやラジオ (68.4%)
第2位	市からの情報発信 (63.4%)	市からの情報発信 (62.6%)	市からの情報発信 (62.5%)	市からの情報発信 (52.4%)	市からの情報発信 (62.1%)
第3位	防災無線 (47.3%)	防災無線 (53.3%)	防災無線 (47.9%)	防災無線 (50.5%)	防災無線 (44.2%)

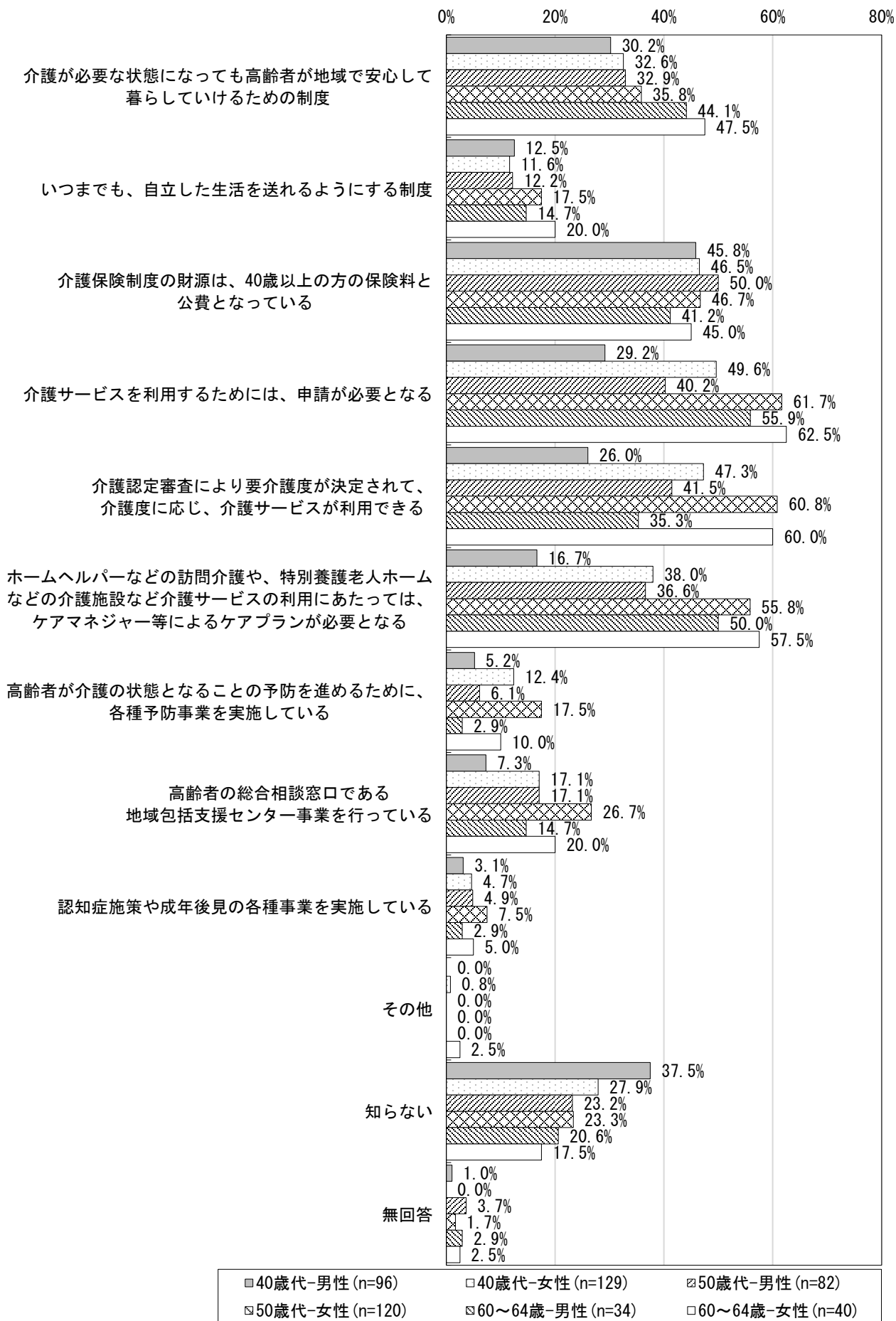
【問11 介護保険や高齢者福祉の支援について】

(1) 介護保険制度について、知っている内容があれば教えてください。(いくつでも)

n=502

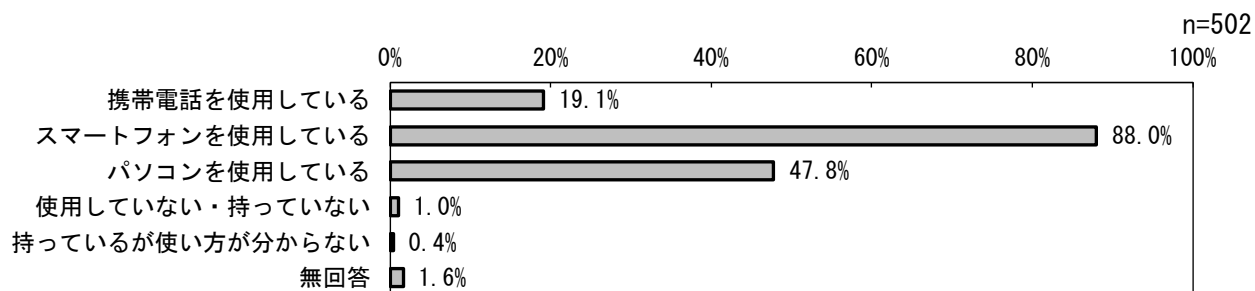


■性別・年代別

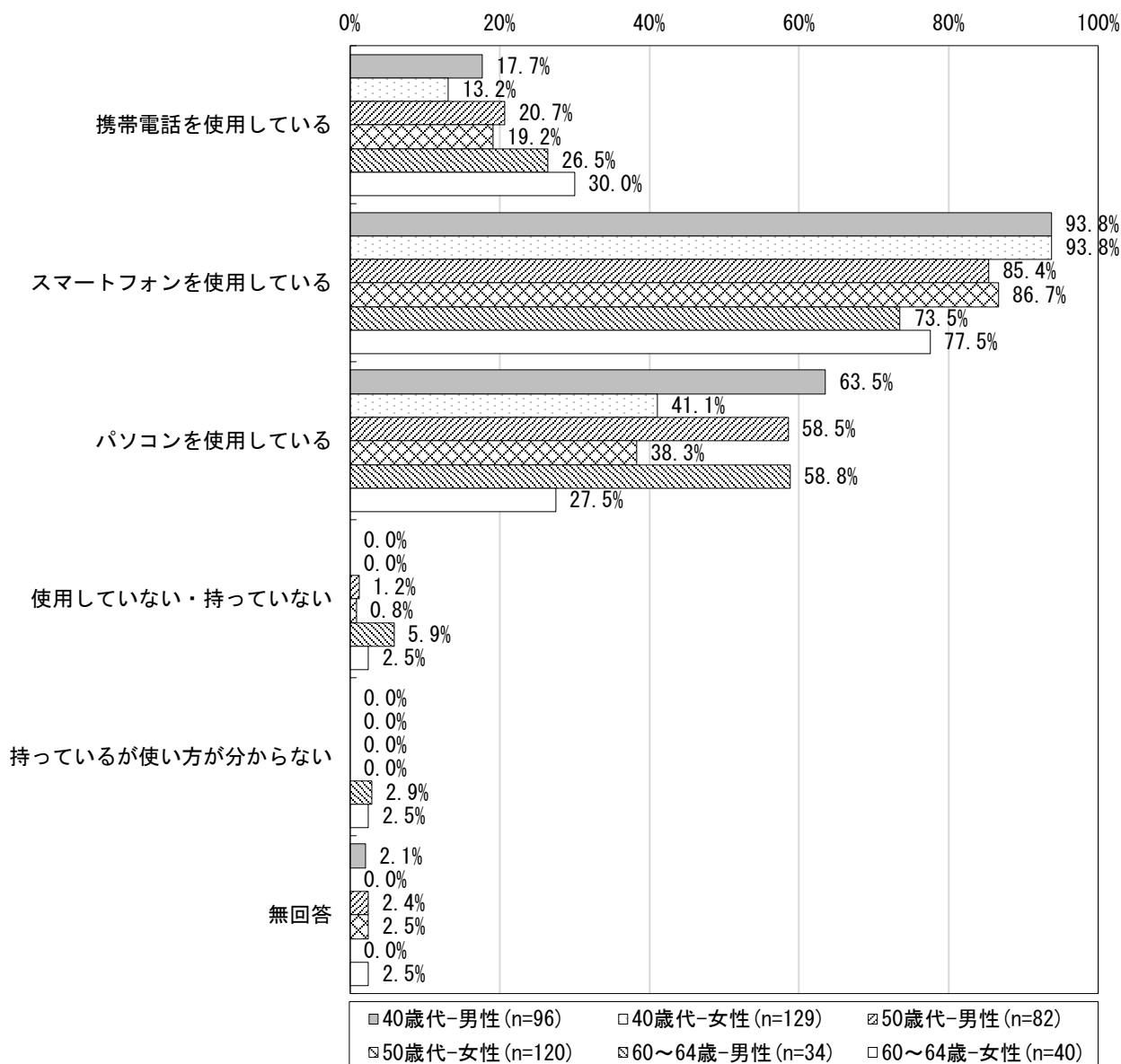


第2号被保険者に関するアンケート調査結果

(2) 携帯電話やスマートフォン、パソコンを日常的に使用していますか。(いくつでも)



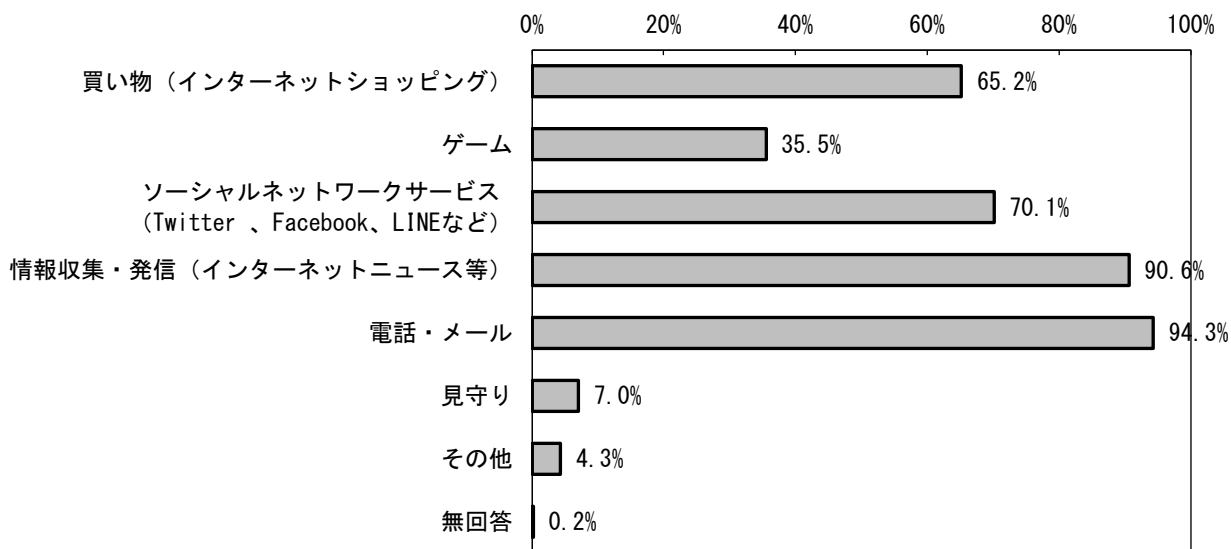
■性別・年代別



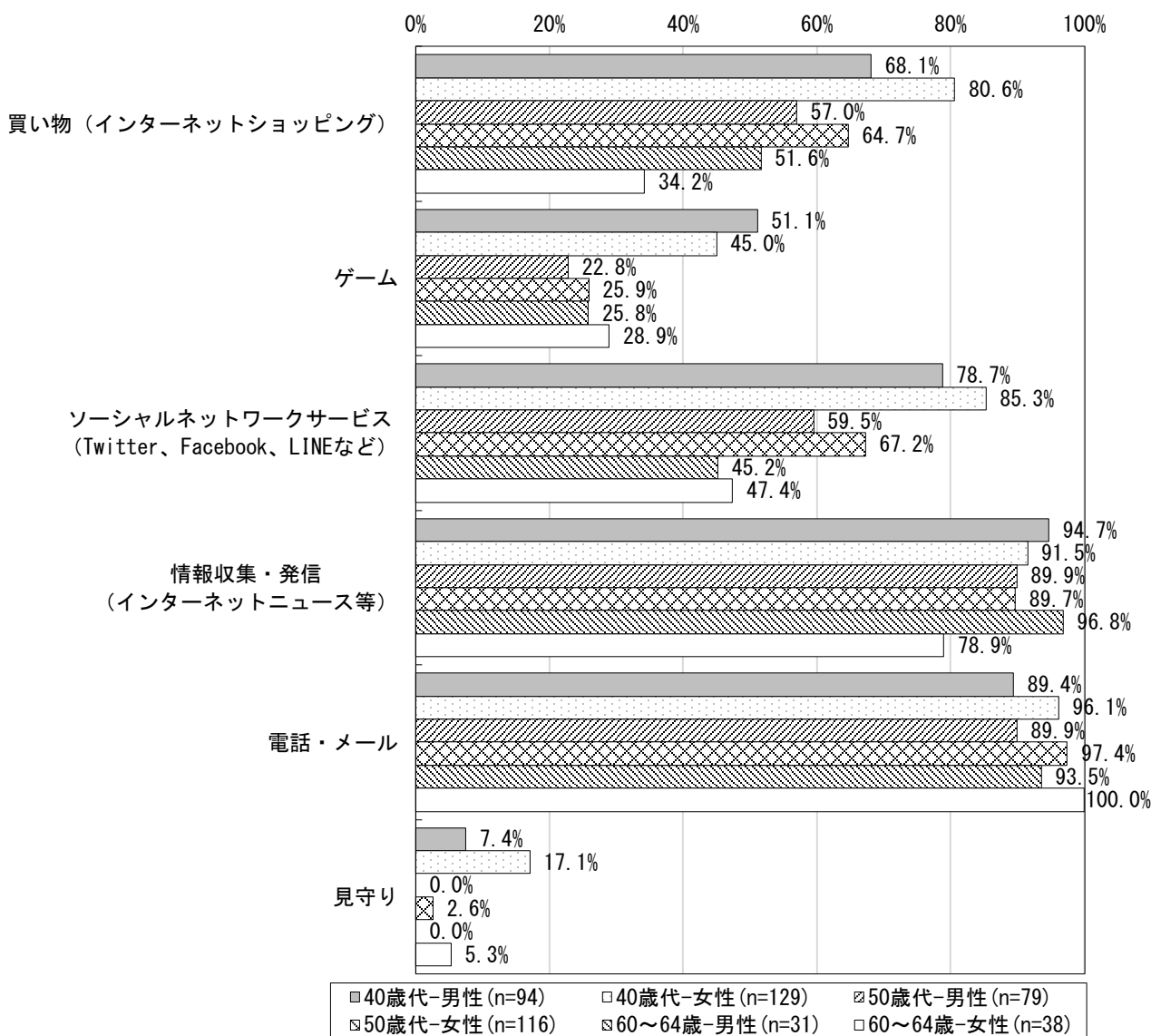
《(2) において「使用している」と回答した方のみ》

(2) ①どのようなことに活用していますか。(いくつでも)

n=488



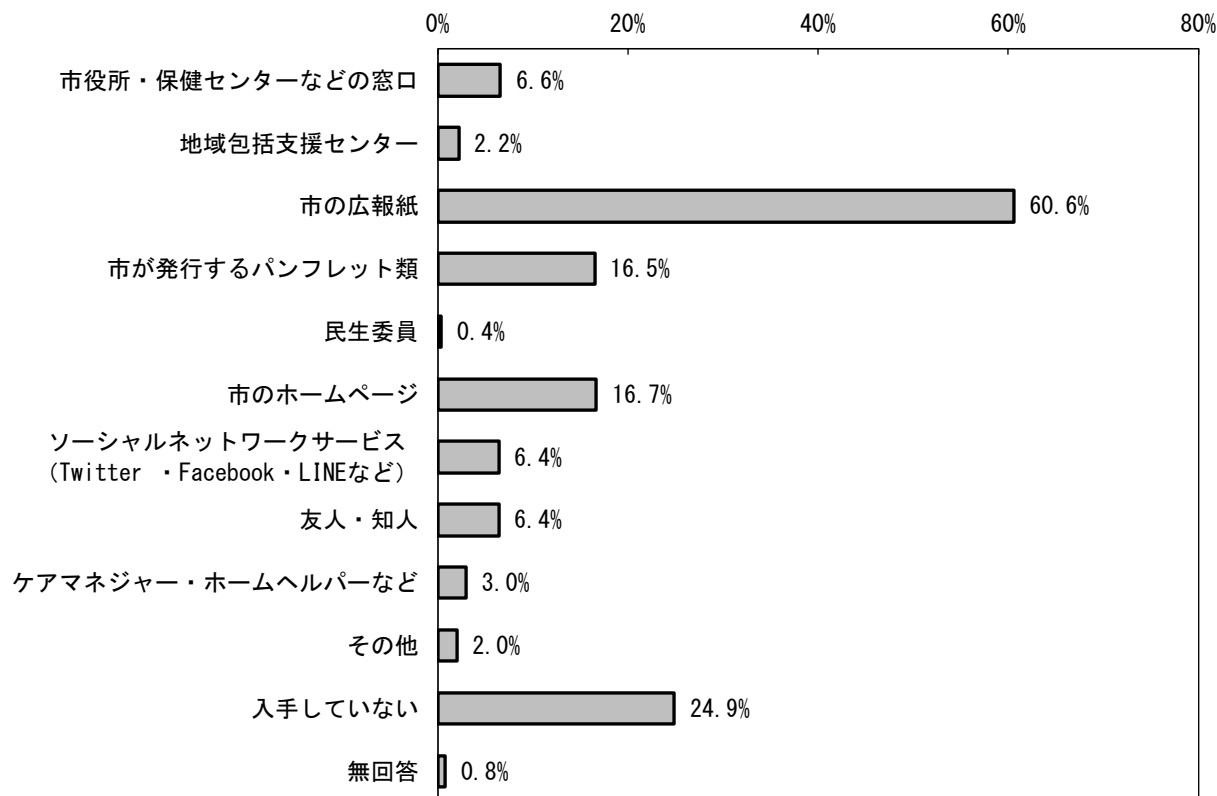
■性別・年代別 ※「その他」及び「無回答」を除く



第2号被保険者に関するアンケート調査結果

(3) 市のイベントや取組（高齢者福祉、介護保険）などの情報は主にどこから入手していますか。
(いくつでも)

n=502



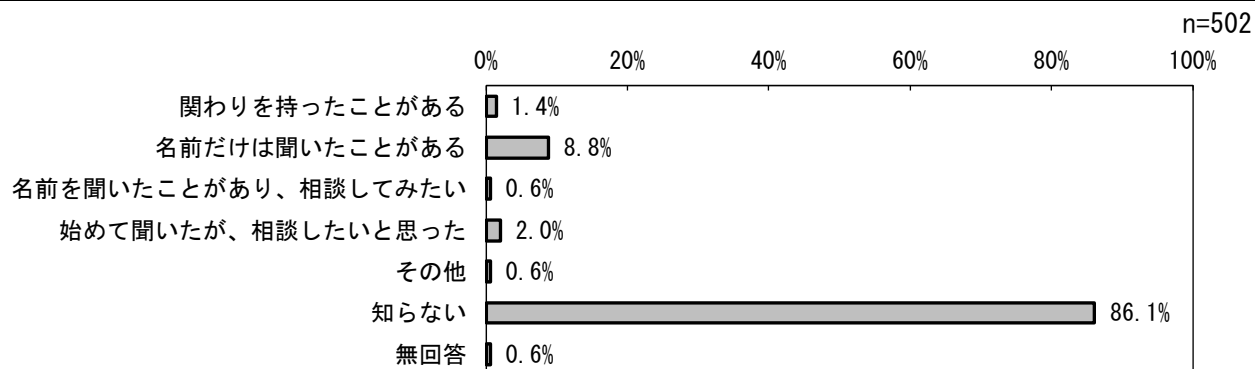
■性別・年代別 上位3位

順位	40歳代 -男性(96人)	40歳代 -女性(129人)	50歳代 -男性(82人)	50歳代 -女性(120人)	60~64歳 -男性(34人)	60~64歳 -女性(40人)
第1位	市の広報紙 (55.2%)	市の広報紙 (66.7%)	市の広報紙 (54.9%)	市の広報紙 (60.8%)	市の広報紙 (55.9%)	市の広報紙 (70.0%)
第2位	市のホームペ ージ/ 入手してい ない(26.0%)	市が発行する パンフレット 類/ 入手してい ない(20.9%)	入手してい ない(26.8%)	入手してい ない(25.0%)	入手してい ない(35.3%)	入手してい ない(22.5%)
第3位			市のホームペ ージ(17.1%)	市が発行する パンフレット 類、 市のホームペ ージ(15.0%)	市のホームペ ージ(17.6%)	市が発行する パンフレット 類(12.5%)

■生活圏域別 上位3位

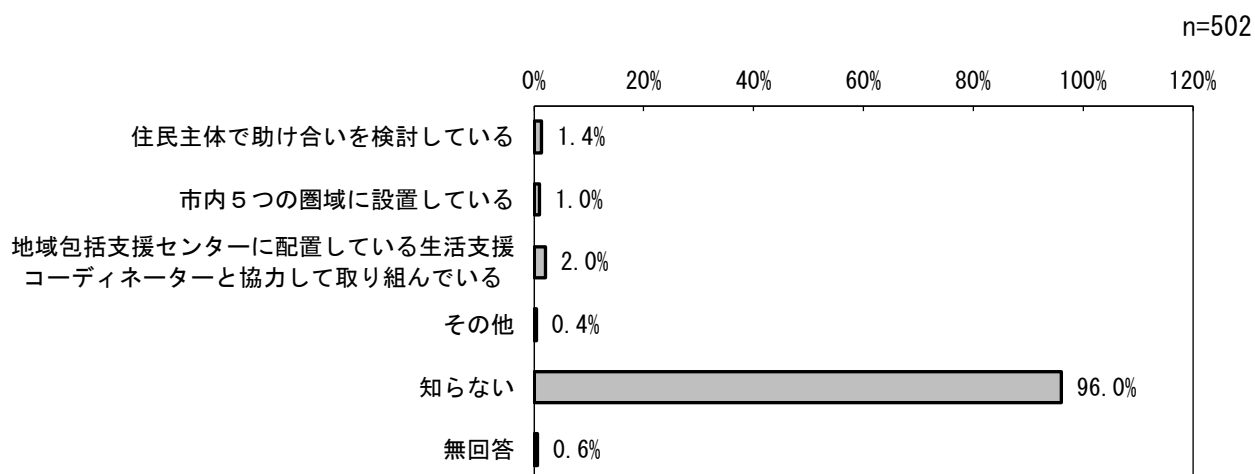
順位	第1圏域 (93人)	第2圏域 (107人)	第3圏域 (96人)	第4圏域 (105人)	第5圏域 (95人)
第1位	市の広報紙 (52.7%)	市の広報紙 (61.7%)	市の広報紙 (66.7%)	市の広報紙 (61.9%)	市の広報紙 (60.0%)
第2位	入手してい ない(31.2%)	市のホームペ ージ(25.2%)	市が発行する パンフレット 類(24.0%)	入手してい ない(30.5%)	入手してい ない(24.2%)
第3位	市が発行する パンフレット 類(15.1%)	市が発行する パンフレット 類(21.5%)	入手してい ない(18.8%)	市のホームペ ージ(15.2%)	市のホームペ ージ(16.8%)

(4) 生活支援コーディネーターを知っていますか。(〇は1つ)



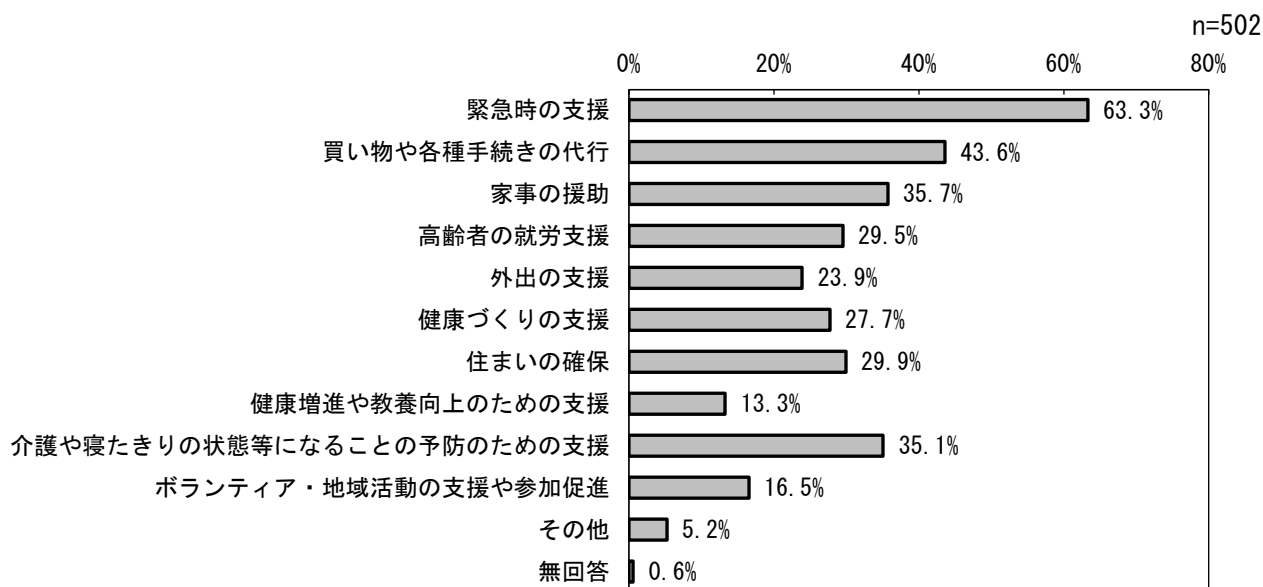
(5) 協議体※の主な取組を知っていますか。(いくつでも)

※市では地域のつながりや助け合い活動を普及するために、協議体を開催しています。



第2号被保険者に関するアンケート調査結果

(6) 高齢者にとって、住みやすい生活環境を整備するために、今後どのような支援が必要だと思いますか。(〇は3つまで)



■性別・年代別 上位3位

順位	40歳代 -男性(96人)	40歳代 -女性(129人)	50歳代 -男性(82人)	50歳代 -女性(120人)	60~64歳 -男性(34人)	60~64歳 -女性(40人)
第1位	緊急時の支援 (59.4%)	緊急時の支援 (66.7%)	緊急時の支援 (59.8%)	緊急時の支援 (61.7%)	緊急時の支援 (76.5%)	緊急時の支援 (62.5%)
第2位	買い物や各種 手続きの代行 / 高齢者の就労 支援(35.4%)	買い物や各種 手続きの代行 (53.5%)	介護や寝たき りの状態など になることの 予防のための 支援(41.5%)	買い物や各種 手続きの代行 (45.8%)	健康づくりの 支援(44.1%)	買い物や各種 手続きの代行 (55.0%)
第3位		家事の援助 (48.8%)	買い物や各種 手続きの代行 (36.6%)	家事の援助 (45.0%)	住まいの確保 他(35.3%)	住まいの確保 (30.0%)

■生活圏域別 上位3位

順位	第1圏域 (93人)	第2圏域 (107人)	第3圏域 (96人)	第4圏域 (105人)	第5圏域 (95人)
第1位	緊急時の支援 (61.3%)	緊急時の支援 (60.7%)	緊急時の支援 (65.6%)	緊急時の支援 (61.0%)	緊急時の支援 (68.4%)
第2位	買い物や各種 手続きの代行 (48.4%)	介護や寝たき りの状態など になることの 予防のための 支援(46.7%)	買い物や各種 手続きの代行 (43.8%)	買い物や各種 手続きの代行 (41.0%)	買い物や各種 手続きの代行 (38.9%)
第3位	家事の援助 (43.0%)	買い物や各種 手続きの代行 (45.8%)	住まいの確保 他(35.4%)	家事の援助、 介護や寝たき りの状態など になることの 予防のための 支援(34.3%)	家事の援助 (34.7%)

4 在宅生活改善調査

【事業者票】

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

(1) 所属するケアマネジャーの人数

■ケアマネジャーの人数（全27事業所）

総数	平均
75人	2.8人

(2) 「自宅等（(3)を除く）」にお住まいの利用者数

■「自宅等（(3)を除く）」にお住まいの利用者数（全27事業所）

総数	平均
1,786人	66.1人

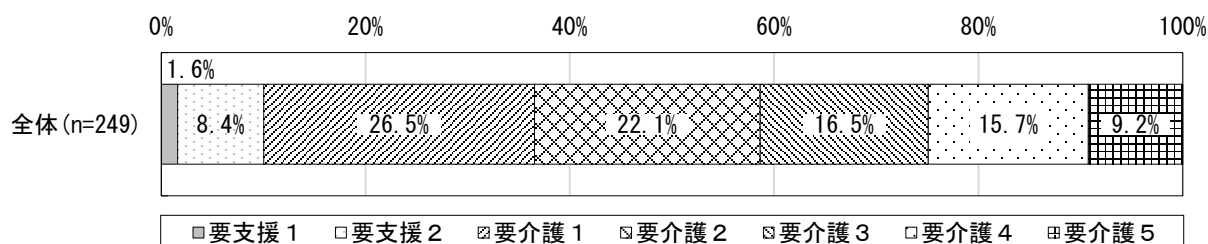
(3) 「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数

■「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数（全27事業所）

総数	平均
99人	3.7人

問2 貴事業所において、過去1年の間（平成31年1月1日～令和元年12月31日）に「自宅（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数（要介護度別）」をご記入ください。

※一時的に入院して自宅に戻った方、現在入院中の方は含めないでください。



在宅生活改善調査結果

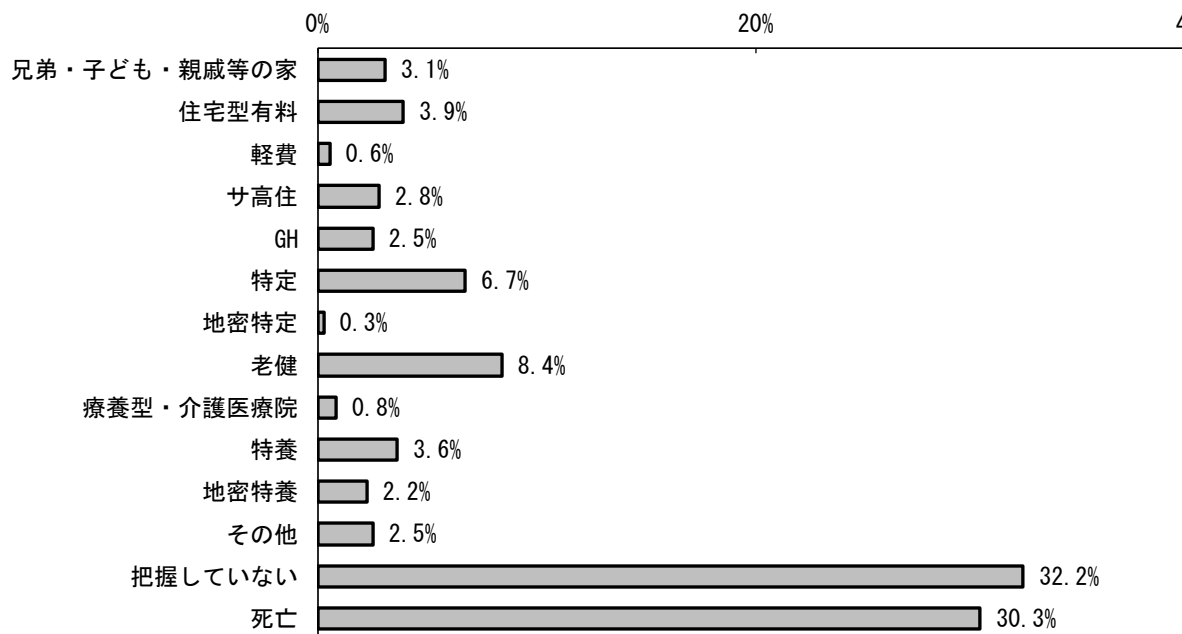
問3 貴事業所において、過去1年の間（平成31年1月1日～令和元年12月31日）に「自宅から居場所を変更した利用者数（行き先別）」をご記入ください。

※ 一時的に入院して自宅等以外の居場所に移った場合は退院後の居場所をご記入ください。

※ 現在、サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームに住民票を移して生活している方も含みます。

■ 自宅から居場所を変更した利用者数（死亡を含む）

n=357



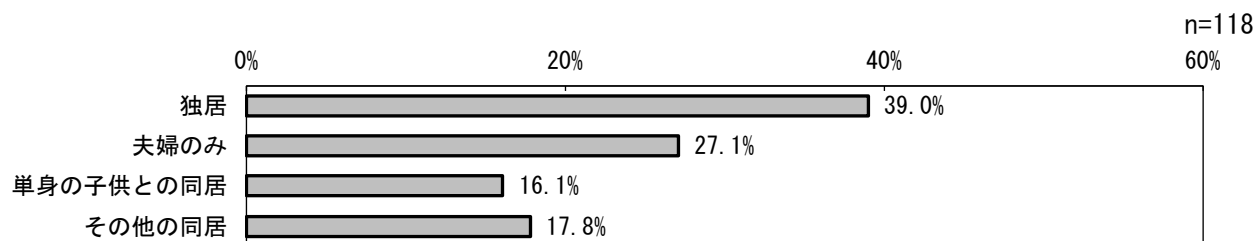
■ 自宅等から居場所を変更した利用者数（死亡を除く）

行先	市区町村内	市区町村外	合計
兄弟・子ども・親戚等の家	1人 0.4%	10人 4.0%	11人 4.4%
住宅型有料老人ホーム	4人 1.6%	10人 4.0%	14人 5.6%
軽費老人ホーム(特定施設除く)	1人 0.4%	1人 0.4%	2人 0.8%
サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	3人 1.2%	7人 2.8%	10人 4.0%
グループホーム	5人 2.0%	4人 1.6%	9人 3.6%
特定施設	5人 2.0%	19人 7.6%	24人 9.6%
地域密着型特定施設	0人 0.0%	1人 0.4%	1人 0.4%
介護老人保健施設	20人 8.0%	10人 4.0%	30人 12.0%
療養型・介護医療院	0人 0.0%	3人 1.2%	3人 1.2%
特別養護老人ホーム	8人 3.2%	5人 2.0%	13人 5.2%
地域密着型特別養護老人ホーム	7人 2.8%	1人 0.4%	8人 3.2%
その他	8人 3.2%	1人 0.4%	9人 3.6%
行先を把握していない			115人 46.2%
合計	62人 24.9%	72人 28.9%	249人 100.0%

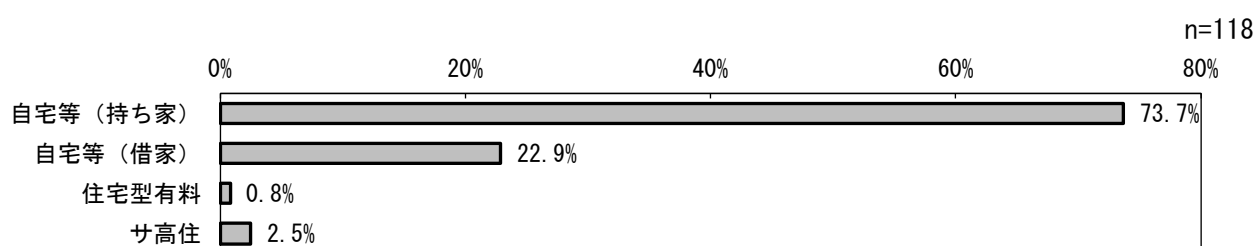
【利用者票】

1. 対象となる利用者の状況等について、お伺いします。

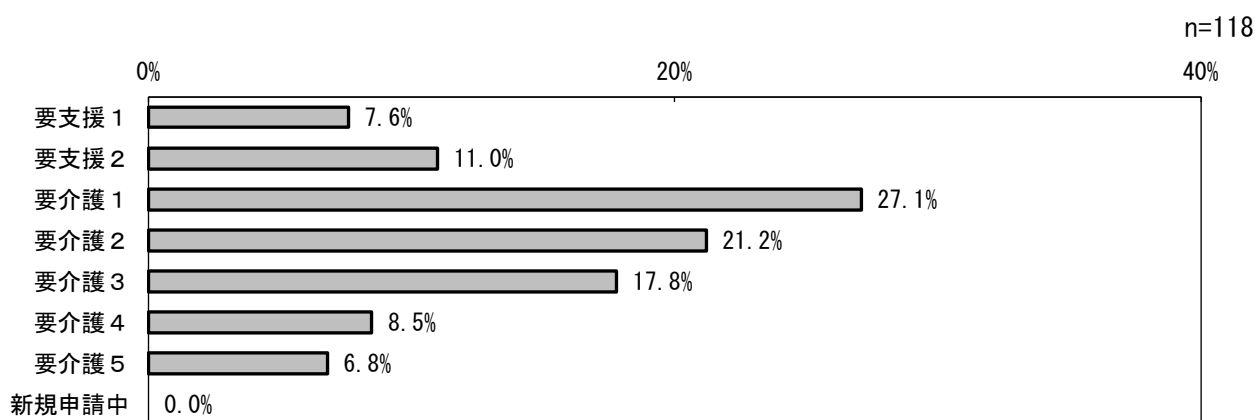
問 1 - 1 世帯類型



問 1 - 2 現在の居所



問 1 - 3 要支援・要介護度

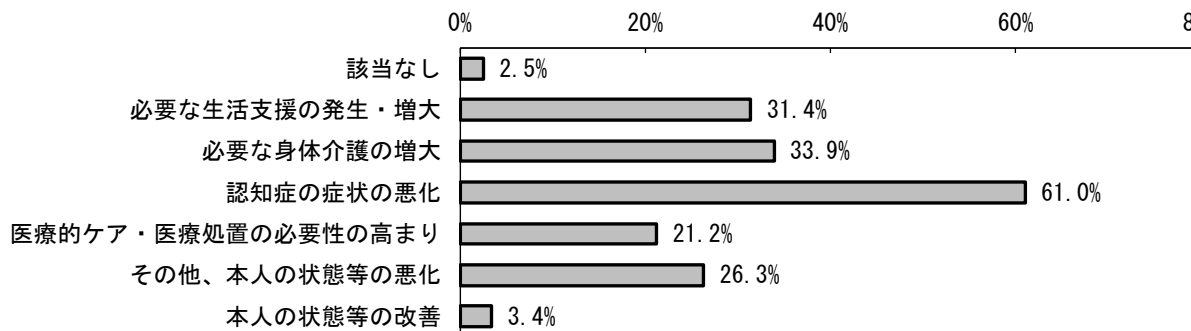


在宅生活改善調査結果

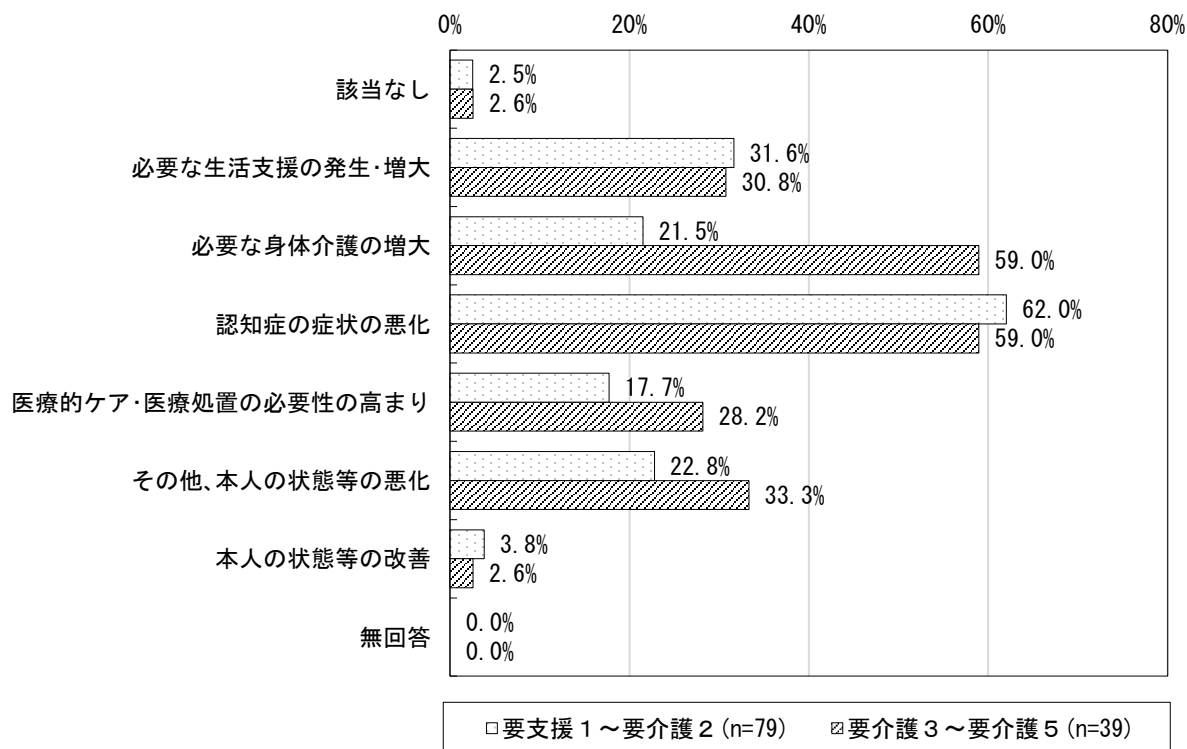
2. 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。

問2-1 本人の状態等に属する理由について、お答えください

n=118

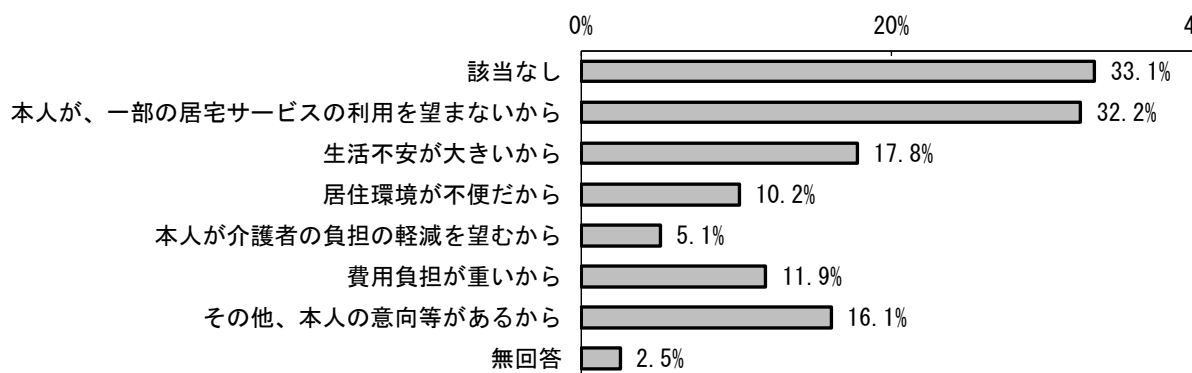


■要介護度別

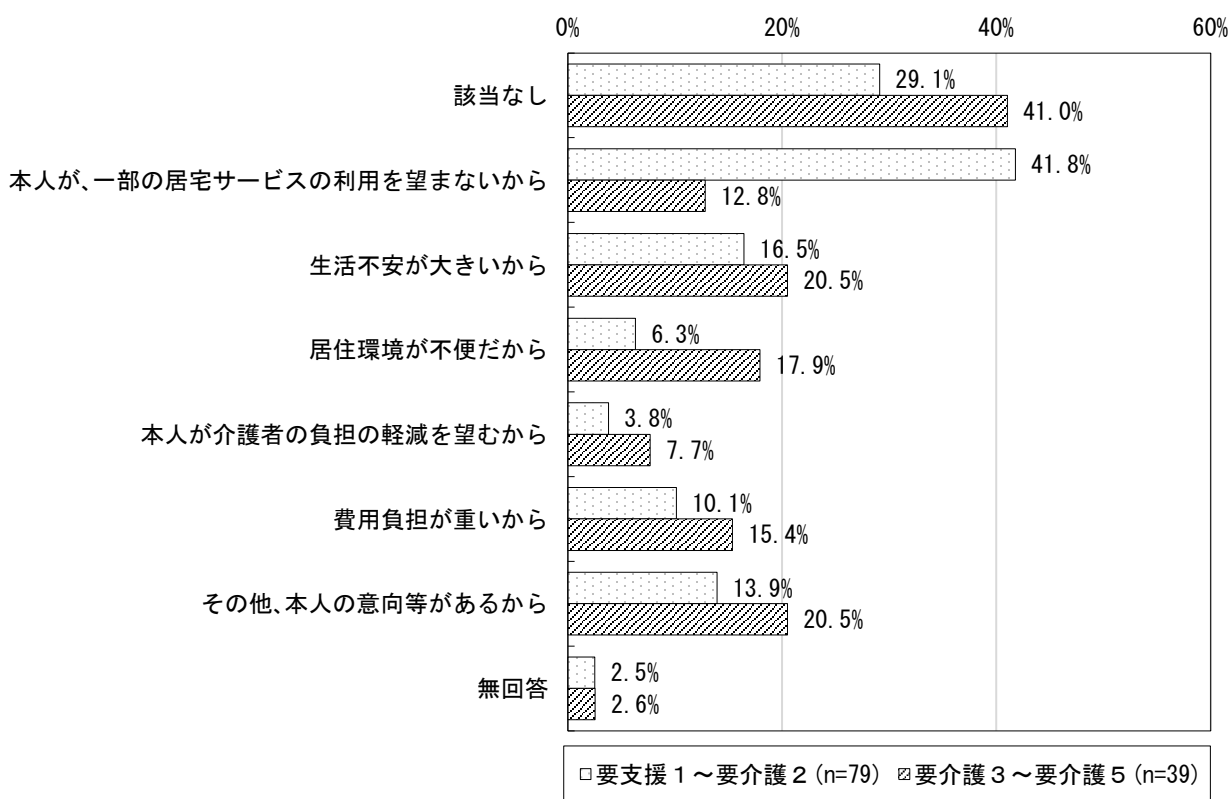


問2-2 主に本人の意向等に属する理由について、お答えください

n=118

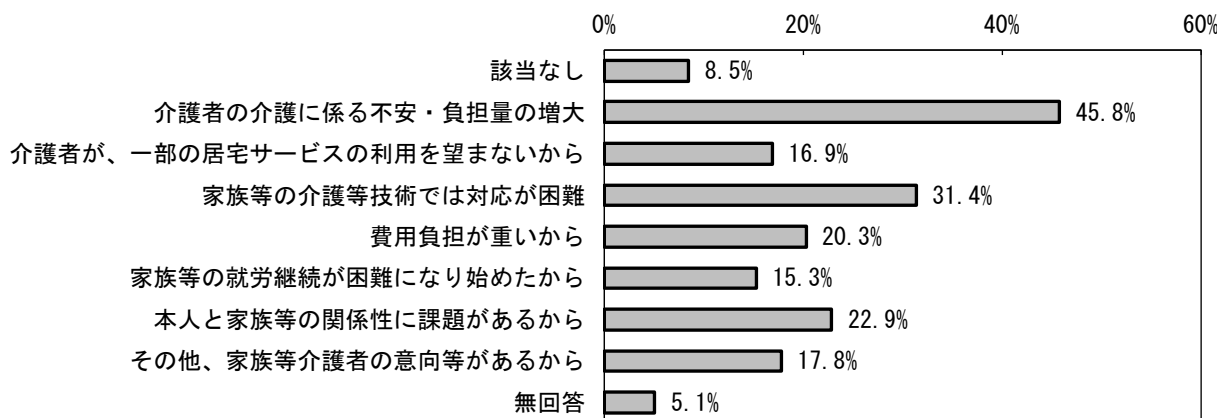


■要介護度別

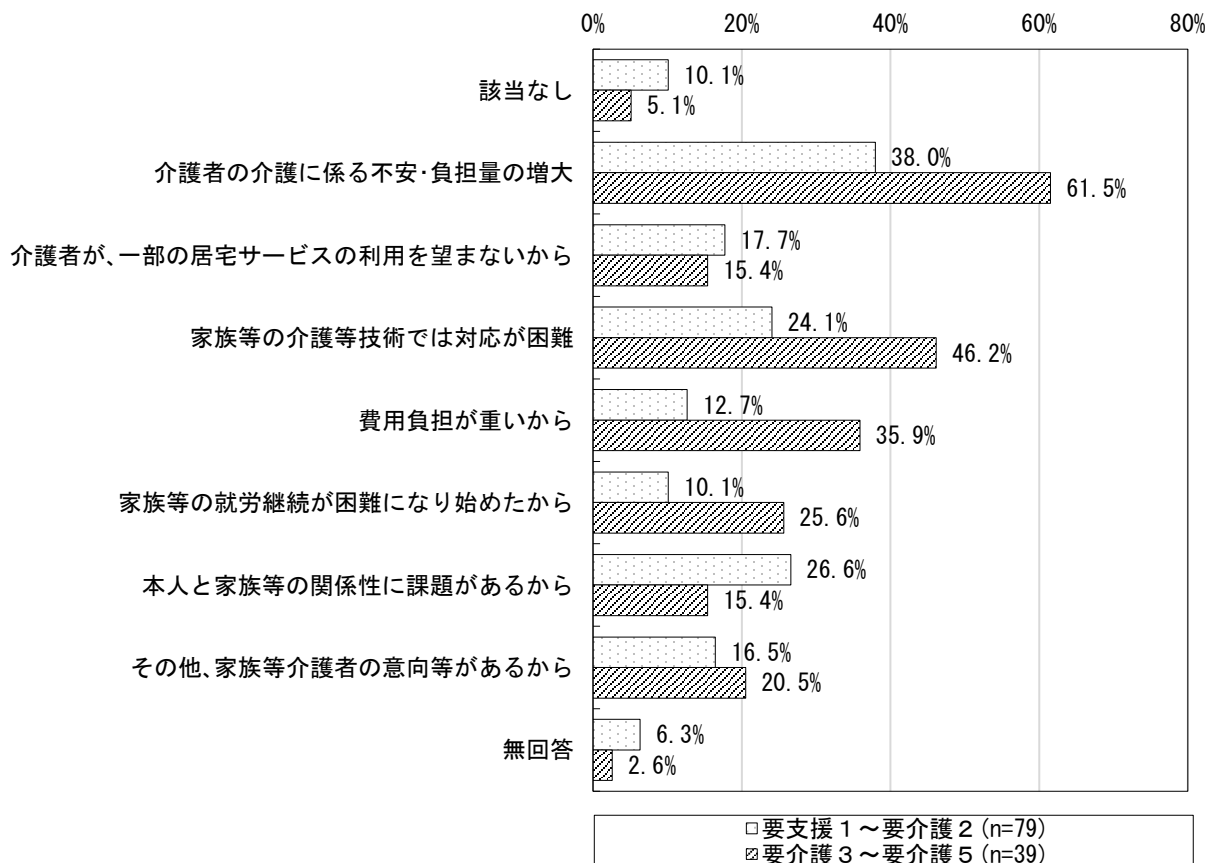


問2-3 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由について、お答えください

n=118



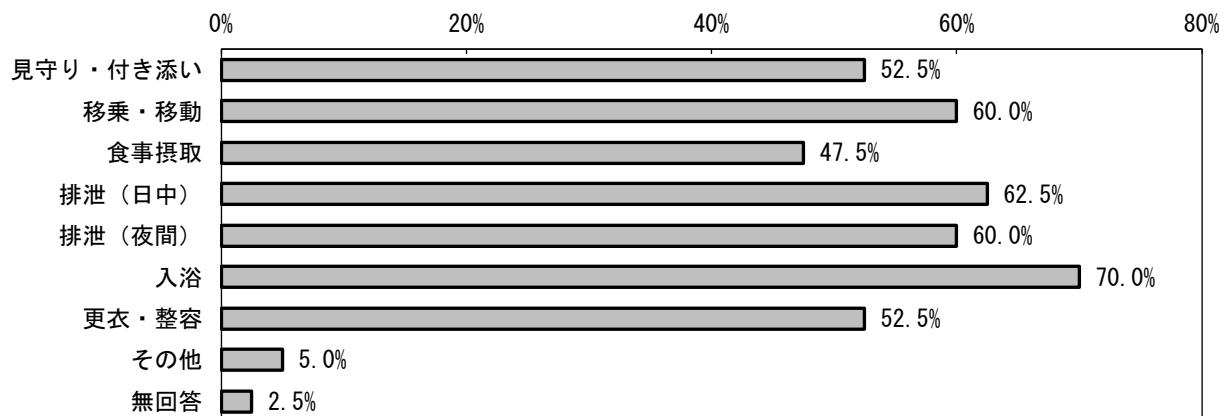
■要介護度別



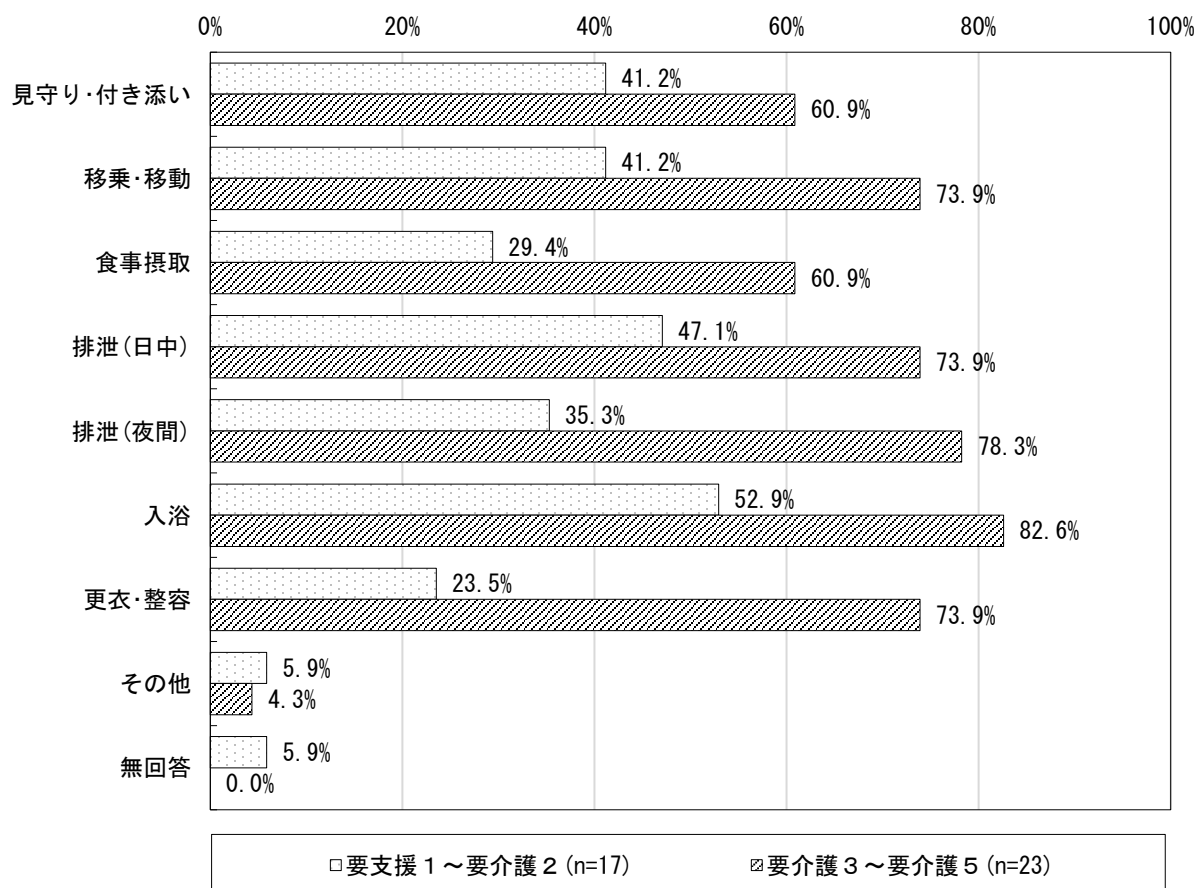
《問2-1で「必要な身体介護の増大」と回答した方のみ》

問2-4 理由となる、具体的な「身体介護」をお答えください

n=40



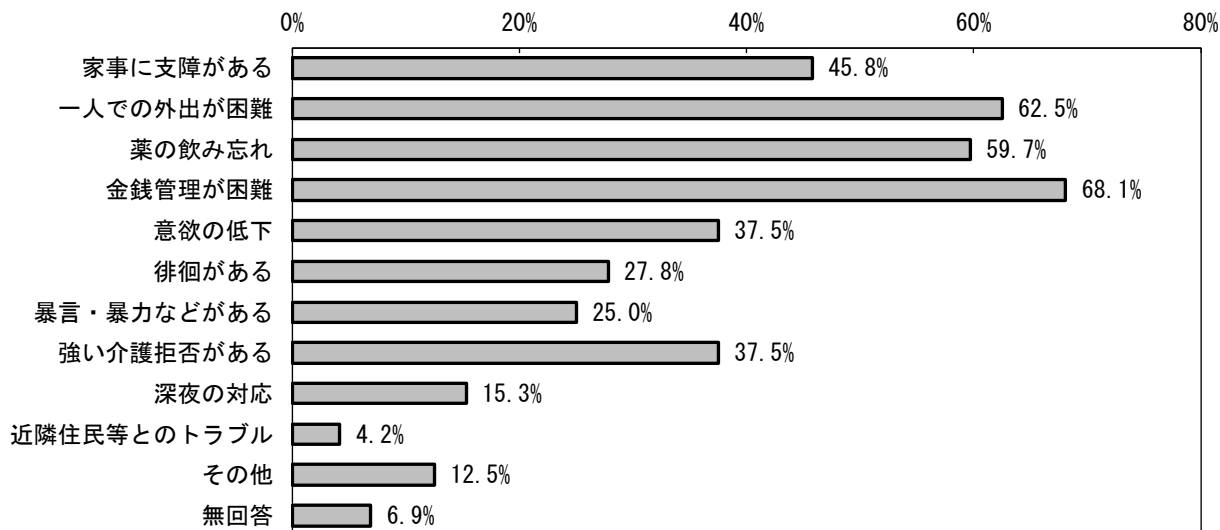
■要介護度別



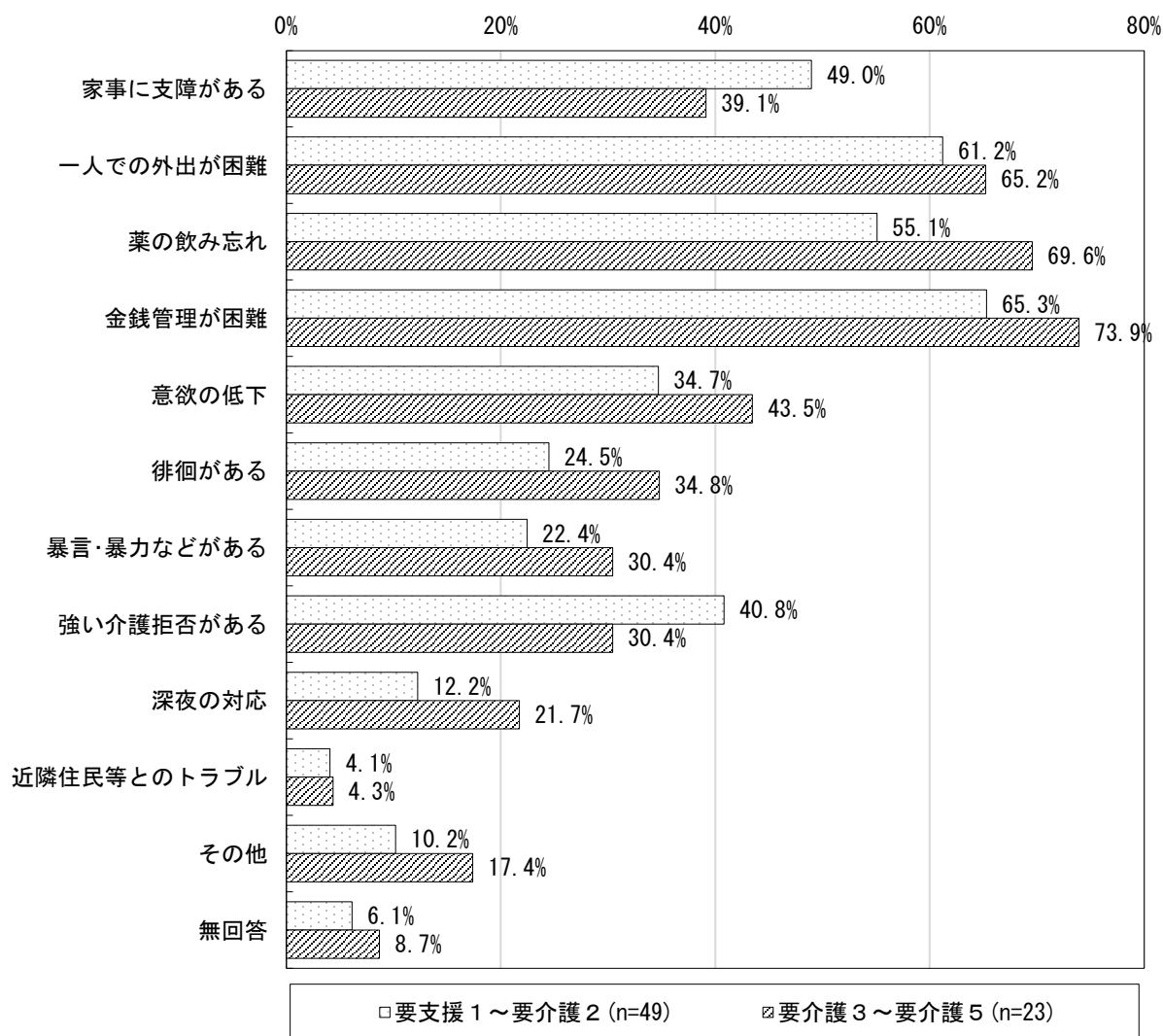
《問2-1で「認知症の症状の悪化」と回答した方のみ》

問2-5 理由となる、具体的な「認知症の症状」をお答えください

n=72



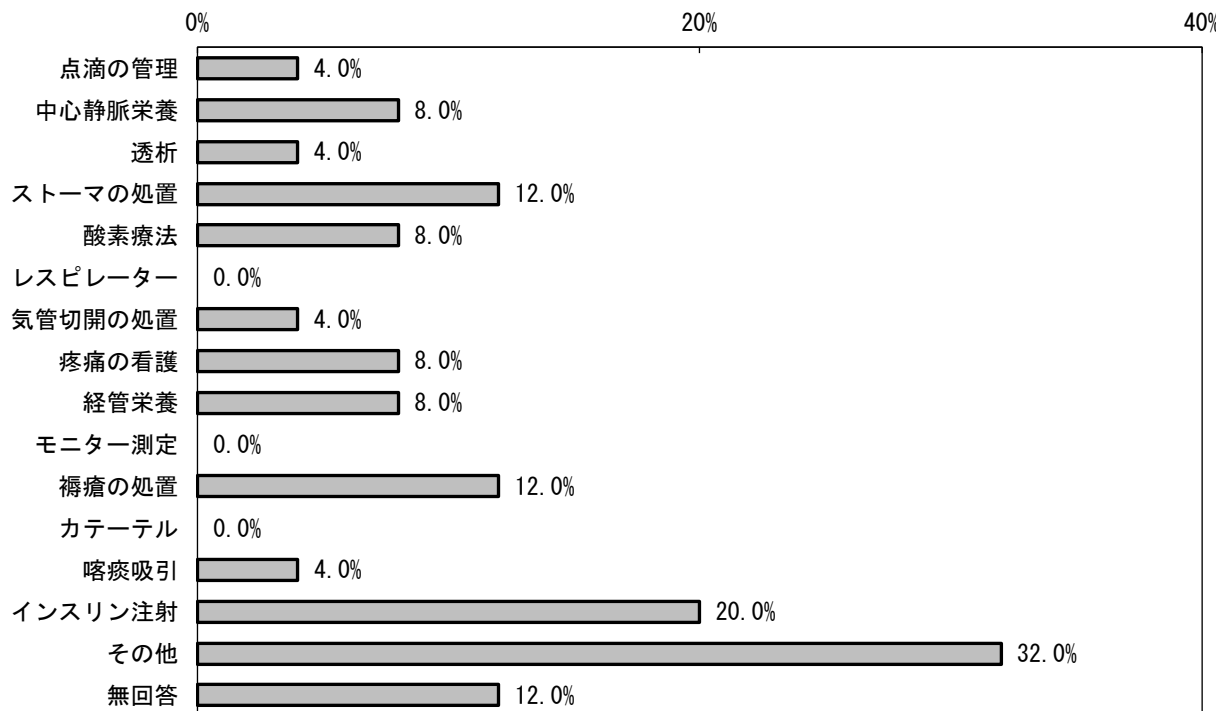
■要介護度別



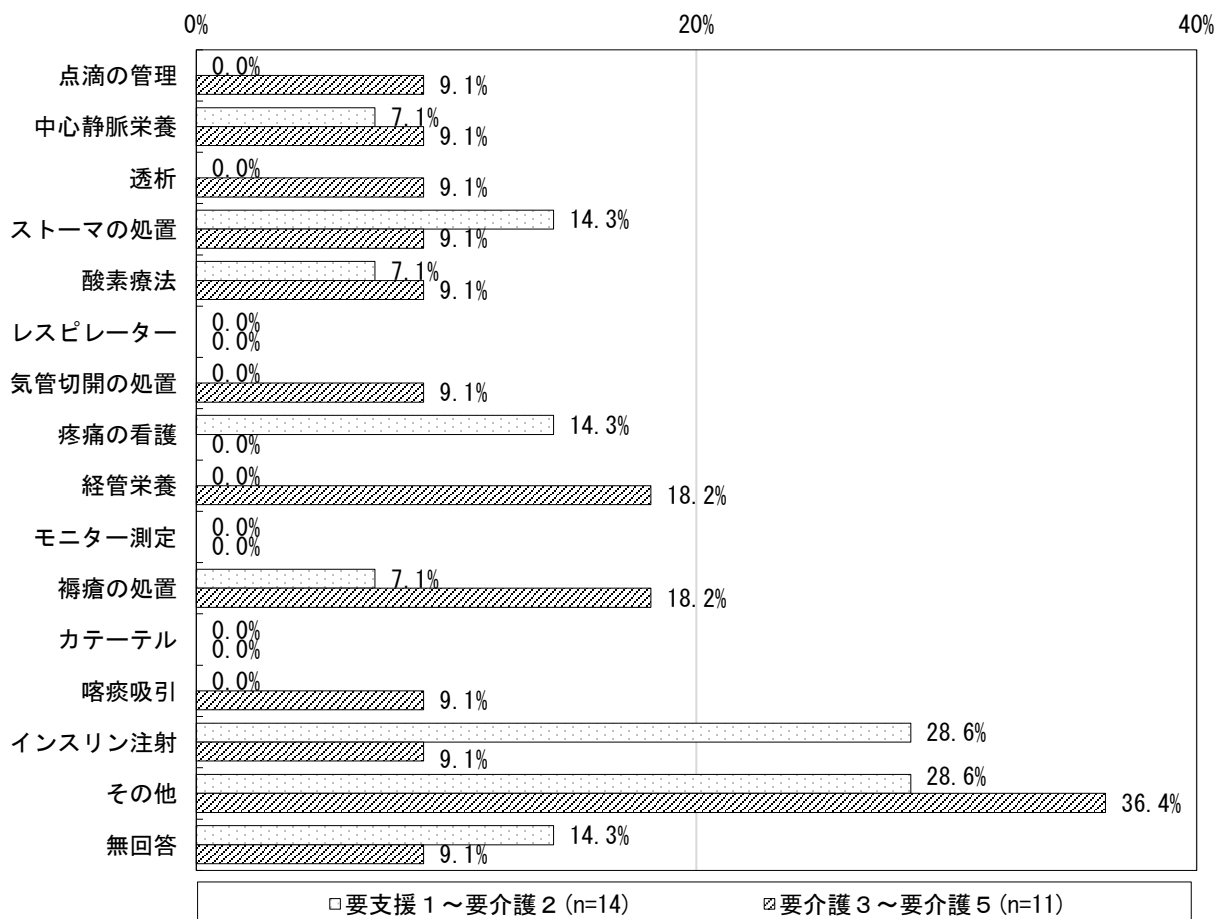
《問2-1で「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」と回答した方のみ》

問2-6 理由となる、具体的な「医療的ケア」、「医療処置」をお答えください

n=25



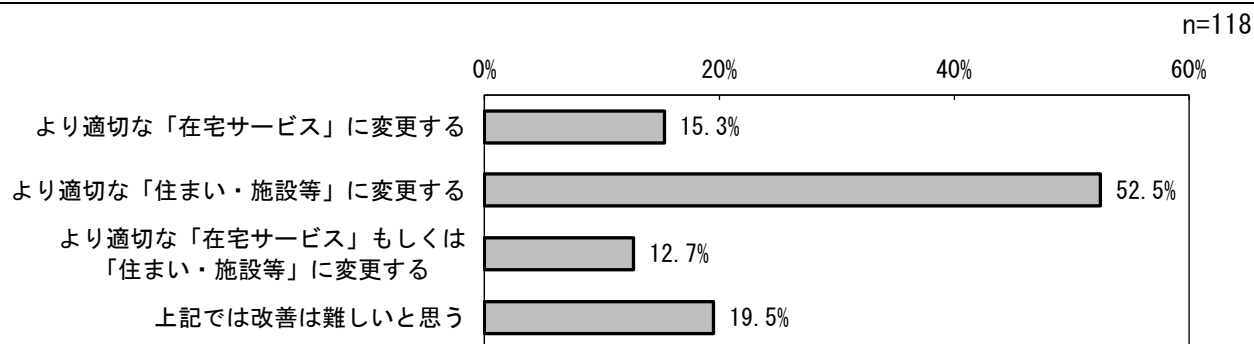
■要介護度別



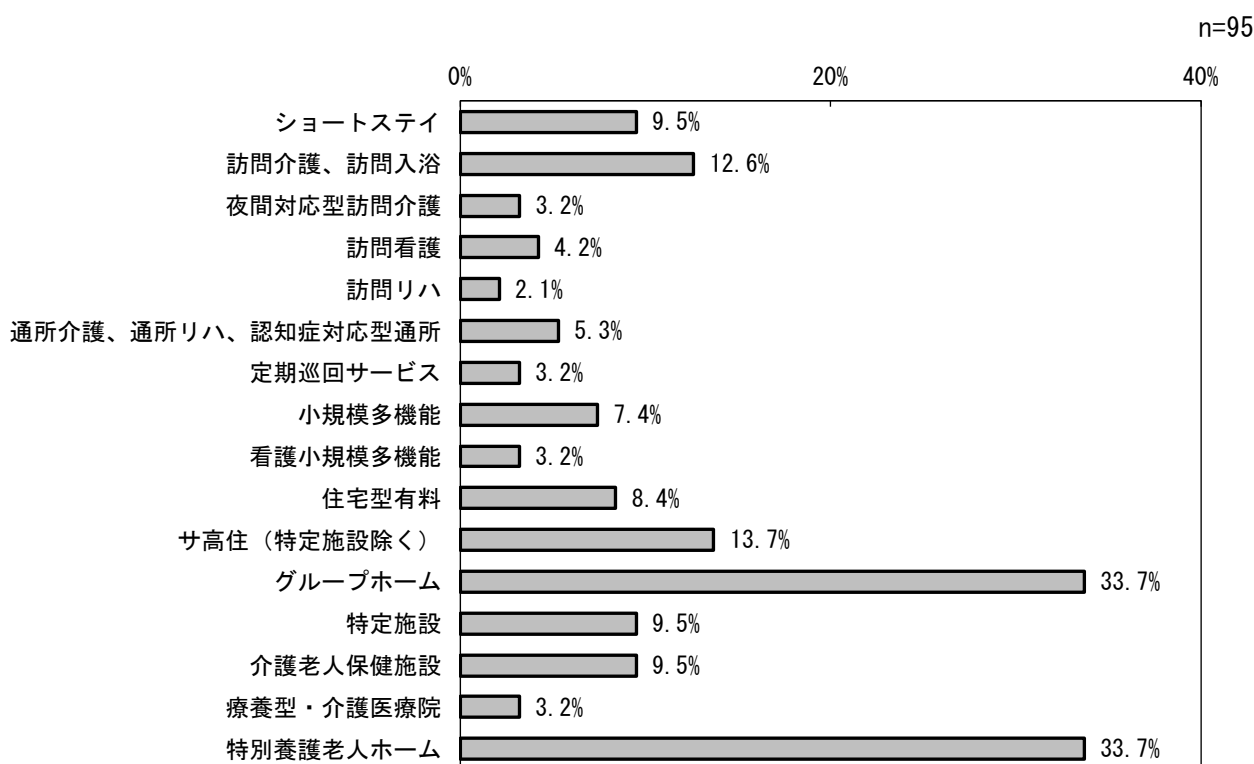
在宅生活改善調査結果

3. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お伺いします。

問3-1 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思いますか

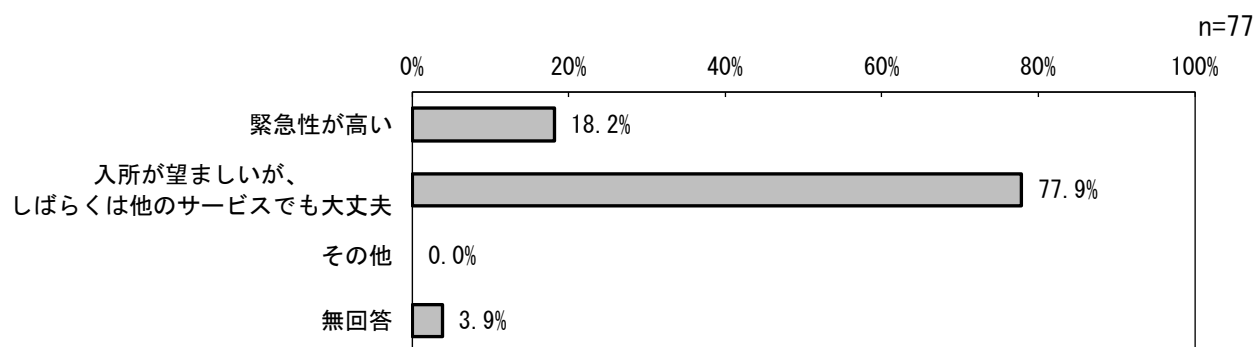


問3-2 問3-1で選択したサービス利用の変更について、本来であればより適切と思われる、具体的なサービスをお答えください



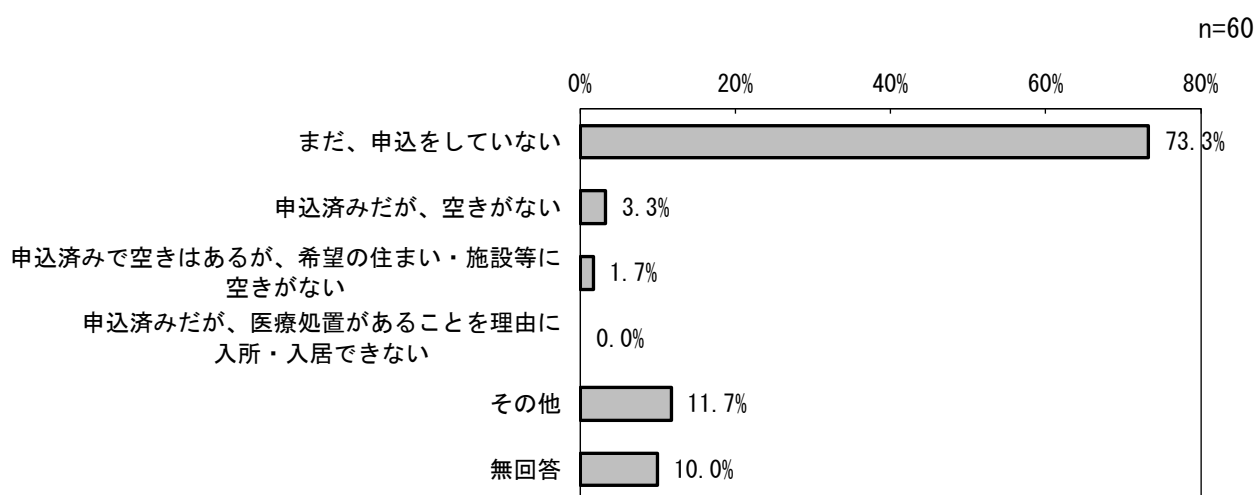
《問3-2で「看護小規模多機能」「住宅型有料」「サ高住」「グループホーム」「特定施設」「介護保険老人施設」「療養型・介護医療院」と回答した方のみ》

問3-3 利用者の入所・入居の緊急度をお答えください

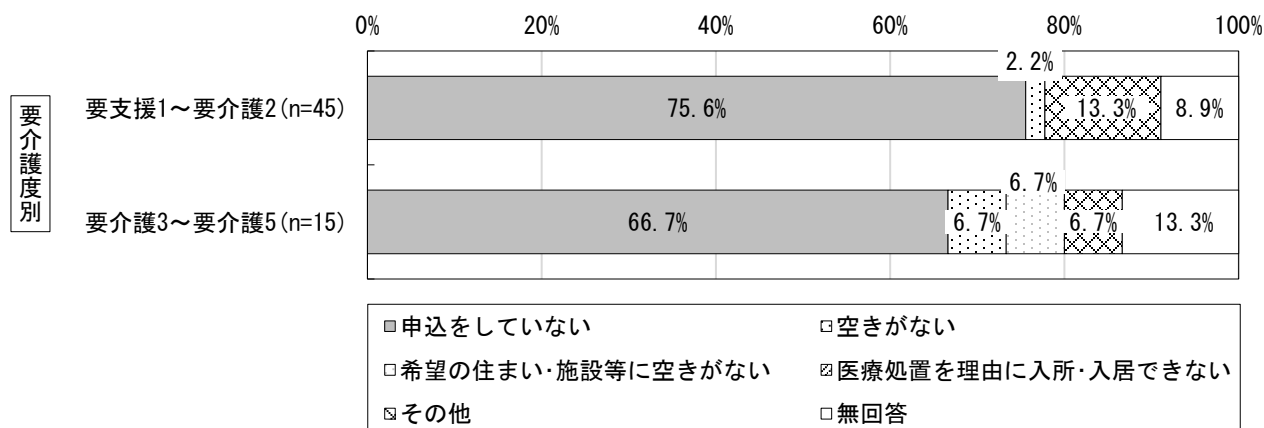


《問3-2で「看護小規模多機能」「住宅型有料」「サ高住」「グループホーム」「特定施設」「介護保険老人施設」と回答した方のみ》

問3-4 入所・入居できていない理由をお答えください



■要介護度別

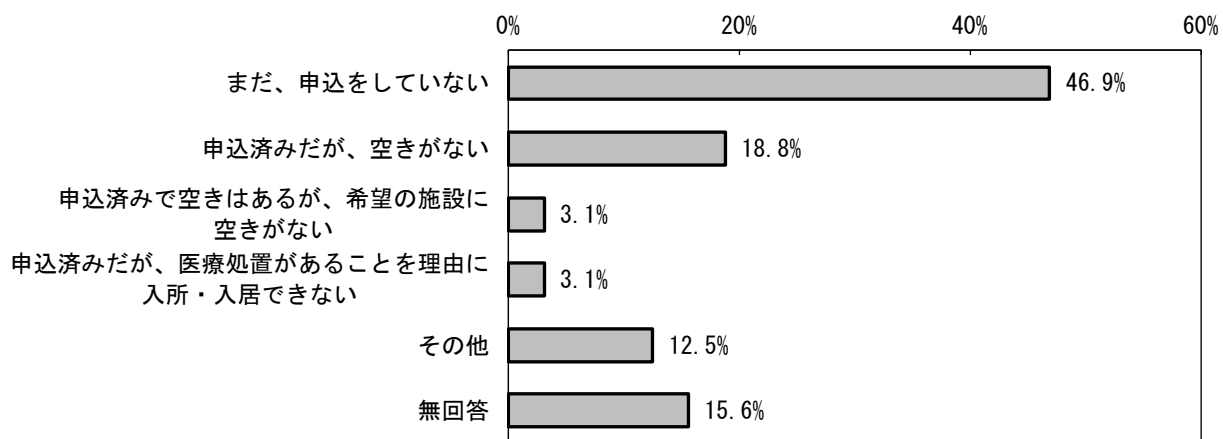


在宅生活改善調査結果

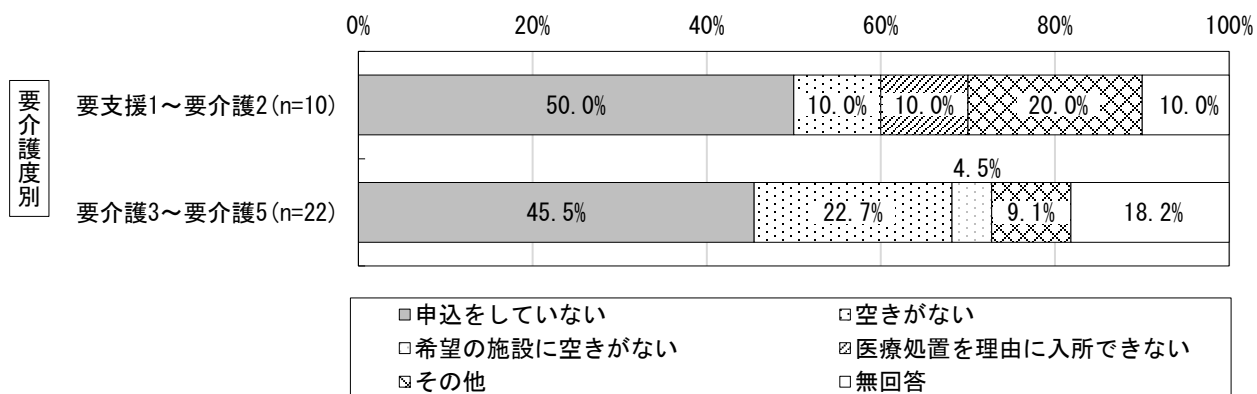
《問3-2で「特別養護老人ホーム」と回答した方のみ》

問3-5 特養に入所できていない理由をお答えください

n=32



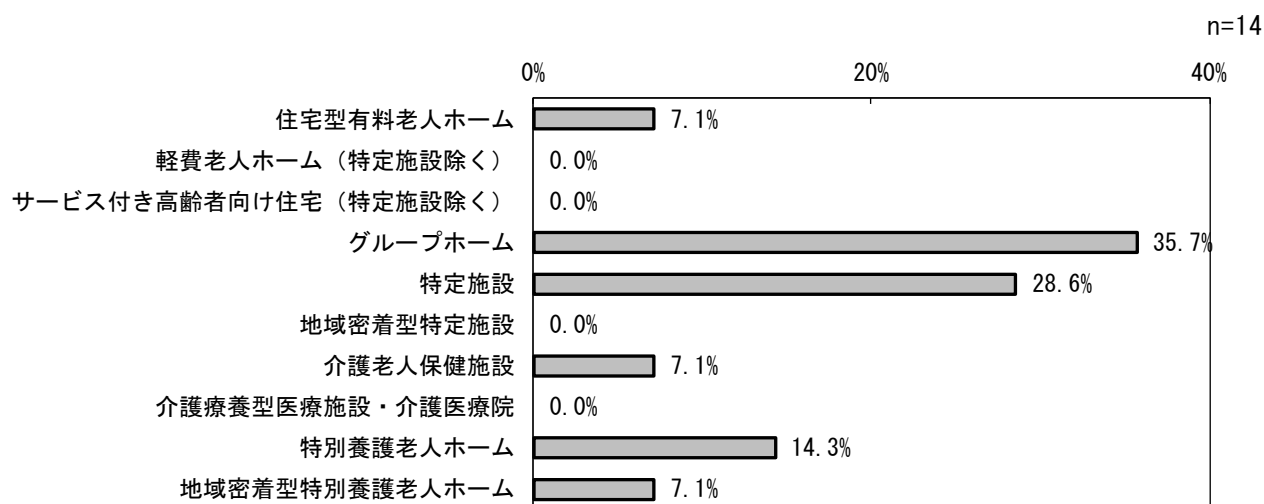
■要介護度別



5 居所変更実態調査

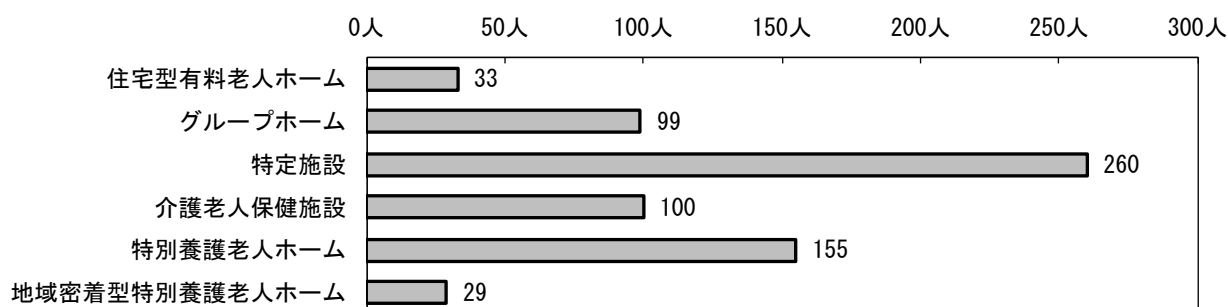
【令和2年3月1日現在の状況について】

問1 該当するサービス種別を、ご回答ください。(1つに○)

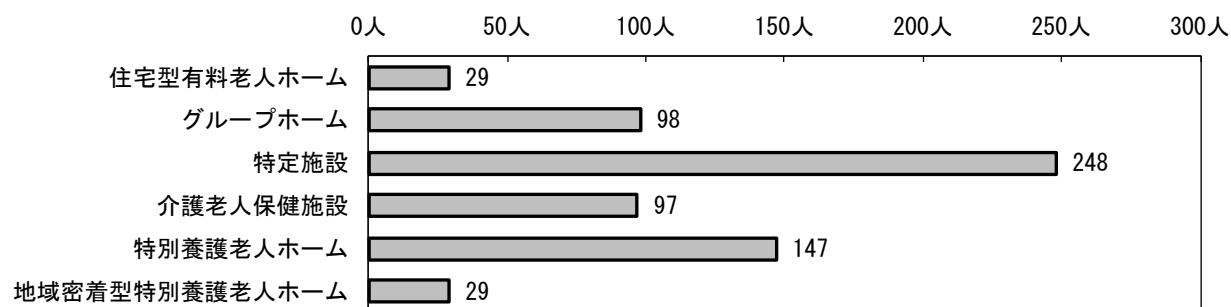


問2 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

(2) 定員数など

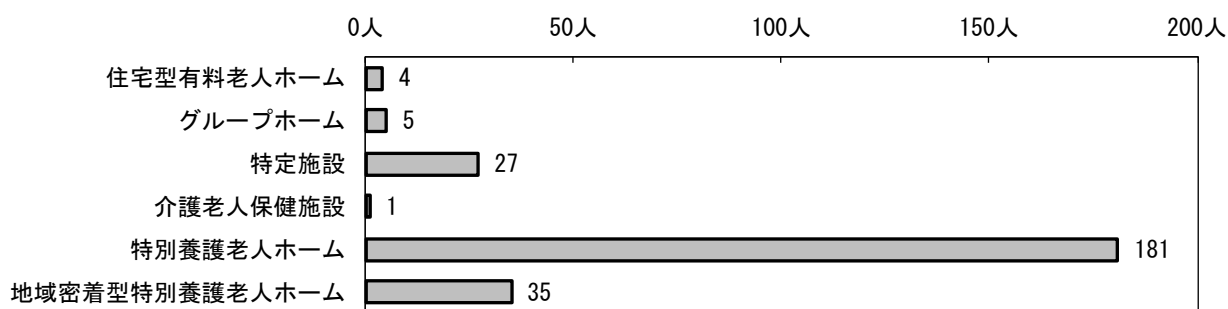


(3) 入所・入居者数

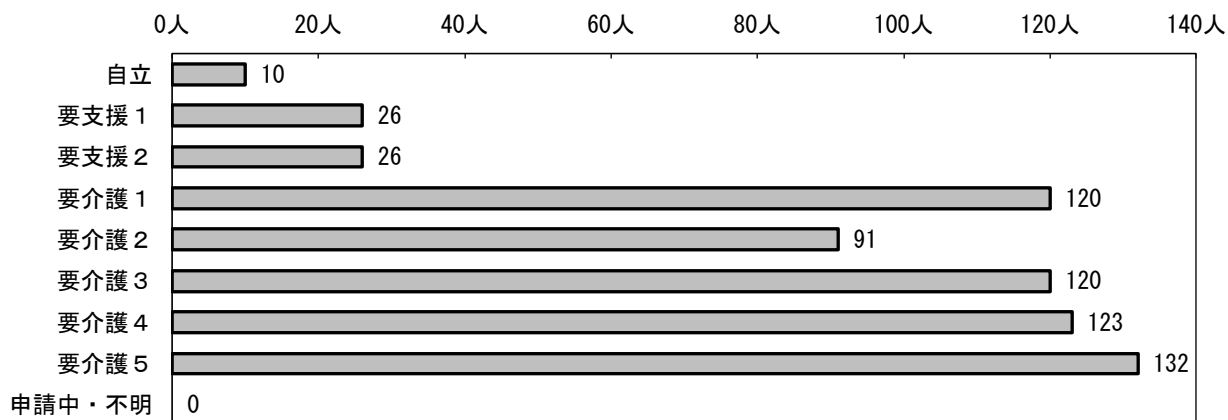


居所変更実態調査結果

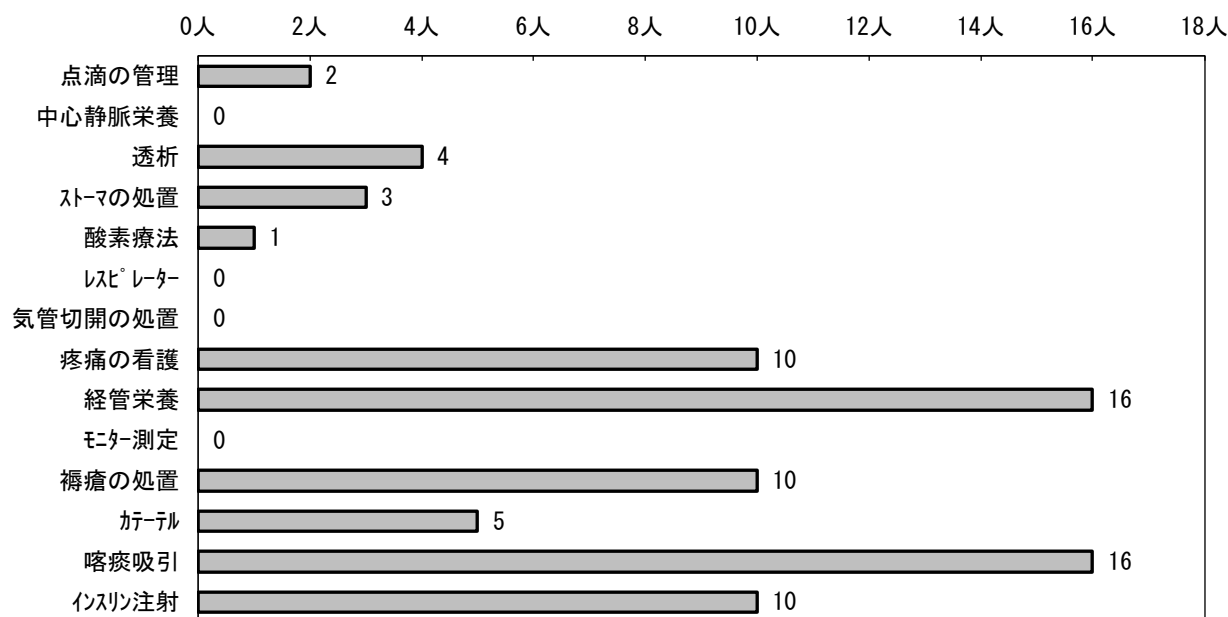
(4) (貴施設等の) 待機者数 (申込者数)



問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、ご記入ください。(数値を記入)



問4 以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。(数値を記入)

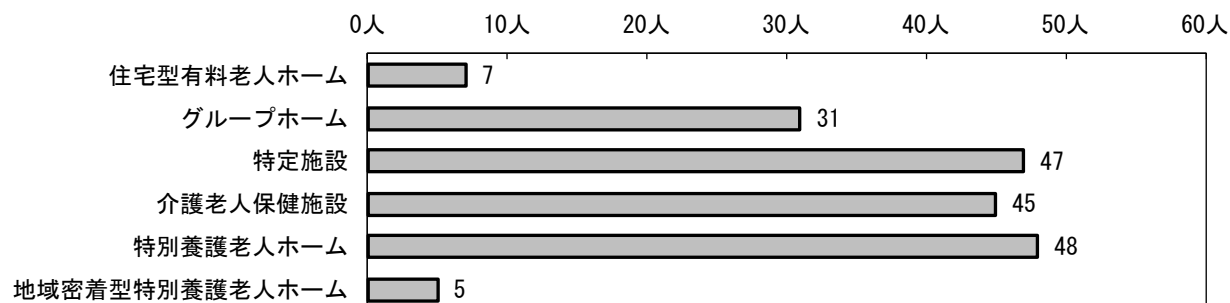


■ サービス種別

	点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストーマの処置	酸素療法	レスピレーター	気管切開の処置	疼痛の看護	経管栄養	モニター測定	褥瘡の処置	カテーテル	喀痰吸引	インスリン注射
住宅型有料老人ホーム (n=1)				1人 3.4%							1人 3.4%			
グループホーム (n=5)														
特定施設 (n=4)			2人 0.8%		1人 0.4%			10人 4.0%	3人 1.2%		5人 2.0%	2人 0.8%	1人 0.4%	5人 2.0%
介護老人保健施設 (n=1)	2人 2.1%		2人 2.1%	1人 1.0%				6人 6.2%			3人 3.1%		6人 6.2%	4人 4.1%
特別養護老人ホーム (n=2)				1人 0.7%				4人 2.7%			1人 0.7%	3人 2.0%	3人 2.0%	1人 0.7%
地域密着型特養 (n=1)								3人 10.3%					6人 20.7%	
合計 (n=14)	2人 0.3%		4人 0.6%	3人 0.5%	1人 0.2%			10人 1.5%	16人 2.5%		10人 1.5%	5人 0.8%	16人 2.5%	10人 1.5%

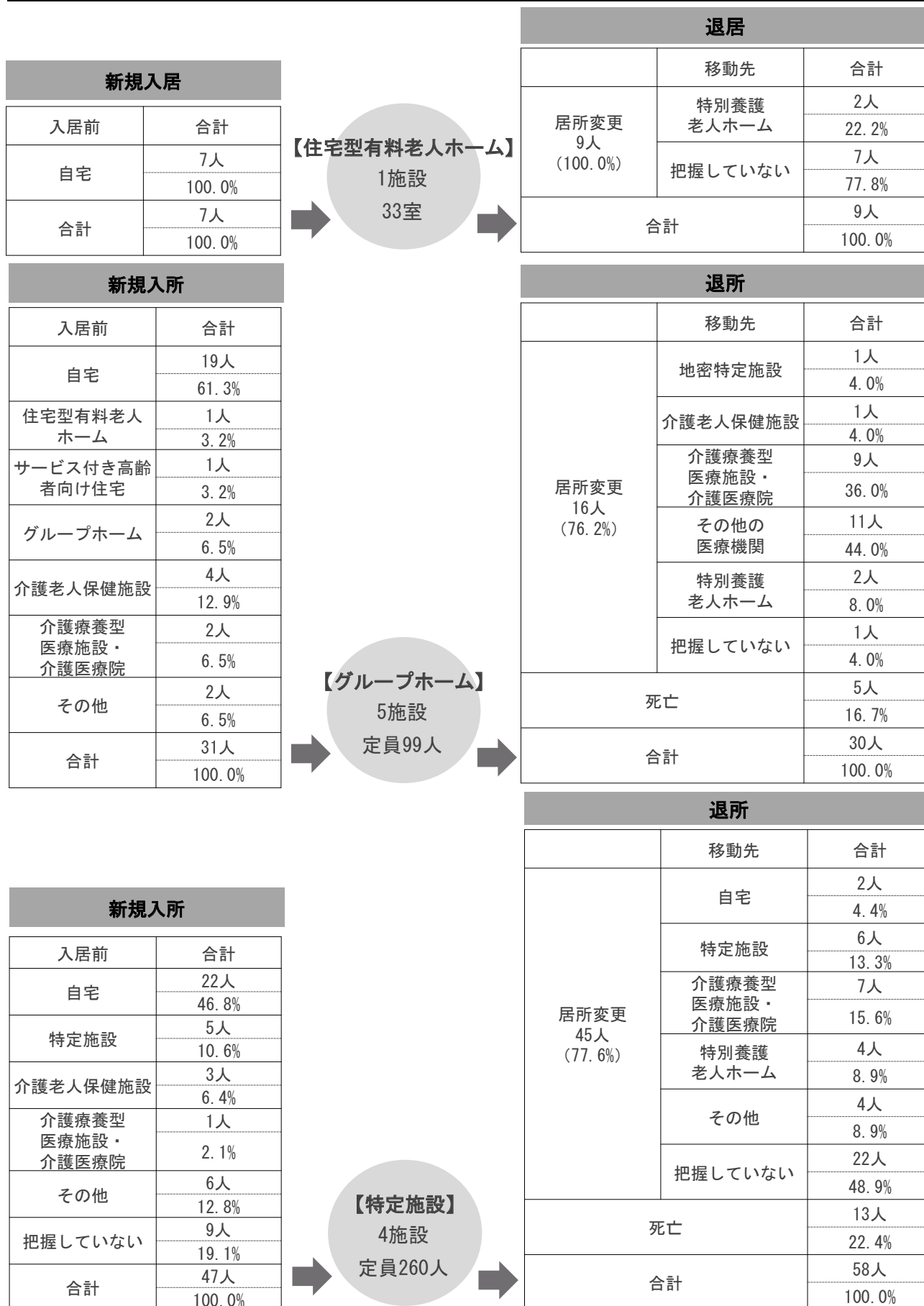
【過去1年間の新規の入所・入居者について】

問5 過去1年間（平成31年1月1日～令和元年12月31日）に、貴施設等に新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。



居所変更実態調査結果

問6 問5でご記入いただいた過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。



新規入所	
入居前	合計
自宅	21人 46.7%
その他	23人 51.1%
合計	45人 100.0%

【介護老人保健施設】
1施設
定員100人

退所		
	移動先	合計
居所変更 48人 (100.0%)	自宅	12人 25.0%
	住宅型有料老人ホーム	1人 2.1%
	特別養護老人ホーム	1人 2.1%
	把握していない	34人 70.8%
合計		48人 100.0%

新規入所	
入居前	合計
自宅	9人 18.8%
住宅型有料老人ホーム	1人 2.1%
介護老人保健施設	24人 50.0%
介護療養型医療施設・介護医療院	10人 20.8%
その他	4人 8.3%
合計	48人 100.0%

【特別養護老人ホーム】
2施設
定員155人

退所		
	移動先	合計
居所変更 37人 (86.0%)	介護療養型医療施設・介護医療院	2人 5.4%
	その他の医療機関	2人 5.4%
	特別養護老人ホーム	1人 2.7%
	把握していない	32人 86.5%
死亡		6人 14.0%
合計		37人 100.0%

新規入所	
入居前	合計
自宅	2人 40.0%
グループホーム	1人 20.0%
介護老人保健施設	1人 20.0%
介護療養型医療施設・介護医療院	1人 20.0%
合計	5人 100.0%

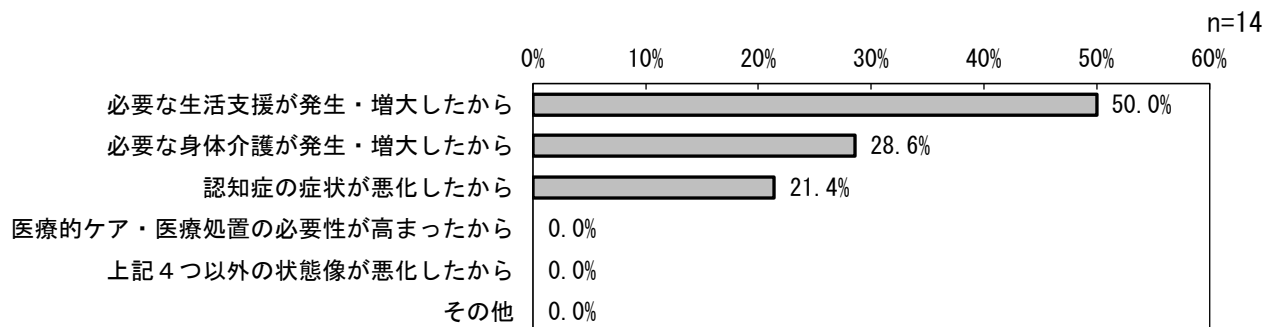
【地域密着型特養】
1施設
定員29人

退所		
	移動先	合計
居所変更 5人 (62.5%)	介護療養型医療施設・介護医療院	2人 25.0%
	把握していない	3人 37.5%
死亡		3人 37.5%
合計		8人 100.0%

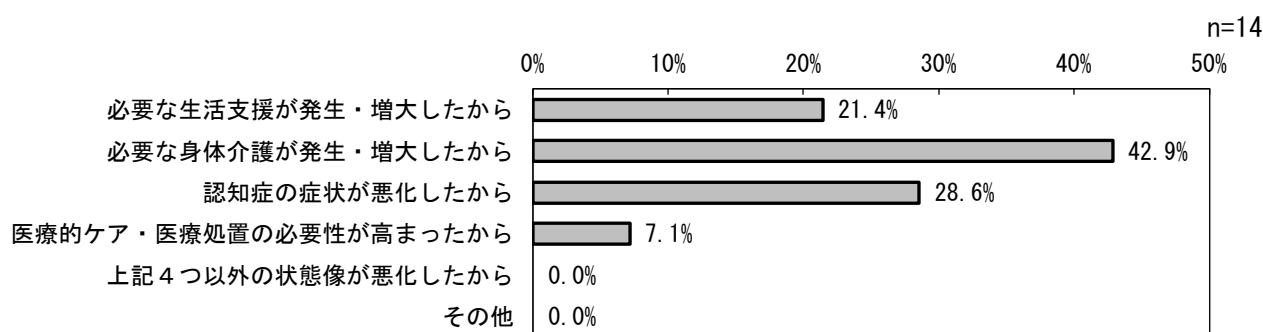
居所変更実態調査結果

問7 貴施設等の入居・入所者が、入居・入所した理由は何ですか。理由として多いものを上位3つまで選んで、該当する口に✓を付けてください

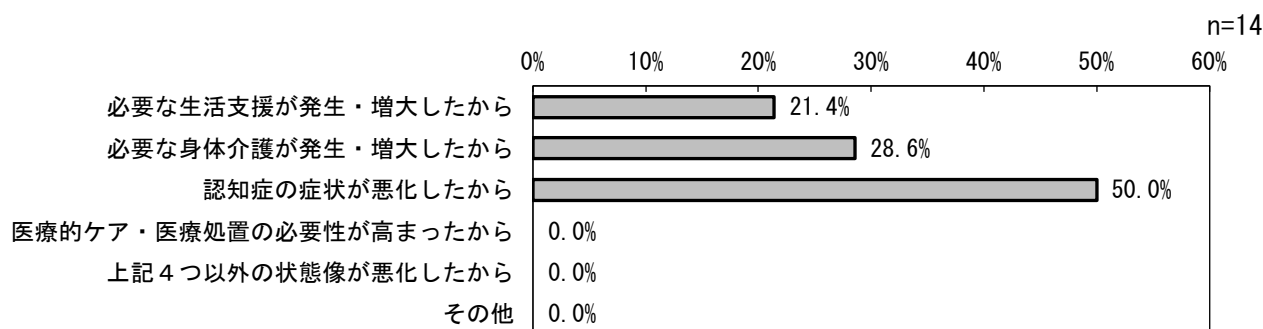
■第1位



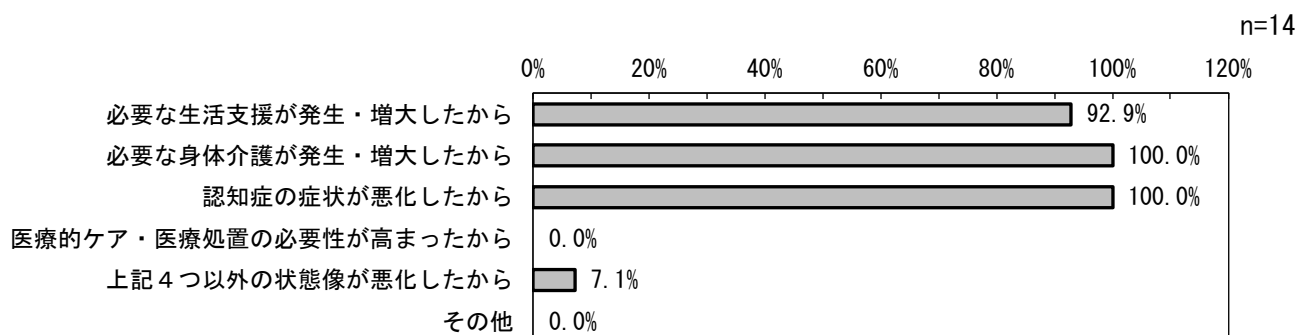
■第2位



■第3位

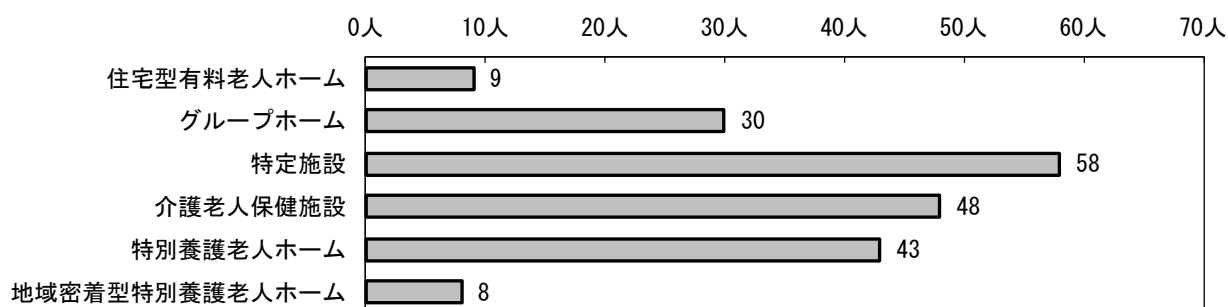


■総合

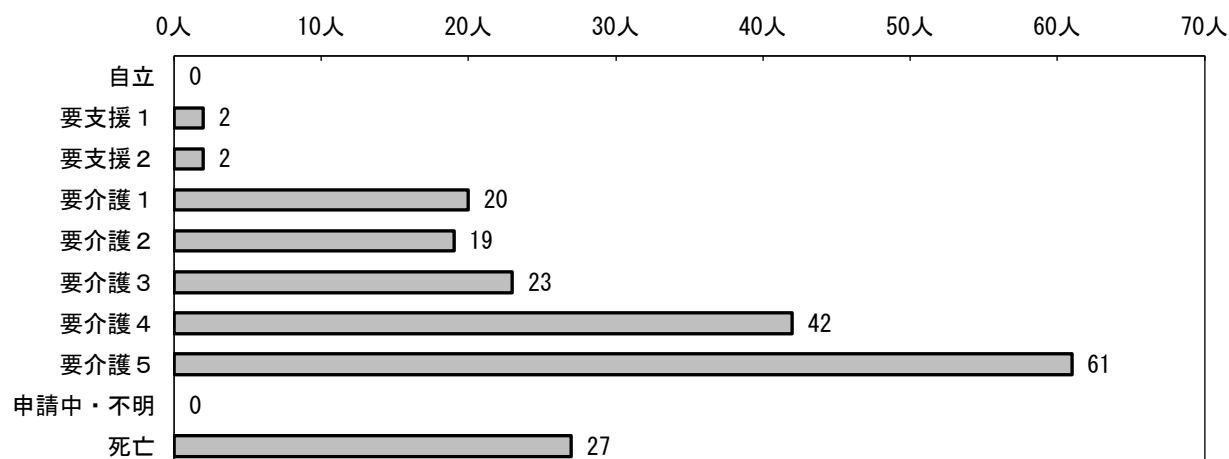


【過去1年間の退去者について】

問8 過去1年間（平成31年1月1日～令和元年12月31日）に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。



問9 問8でご記入いただいた過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。



居所変更実態調査結果

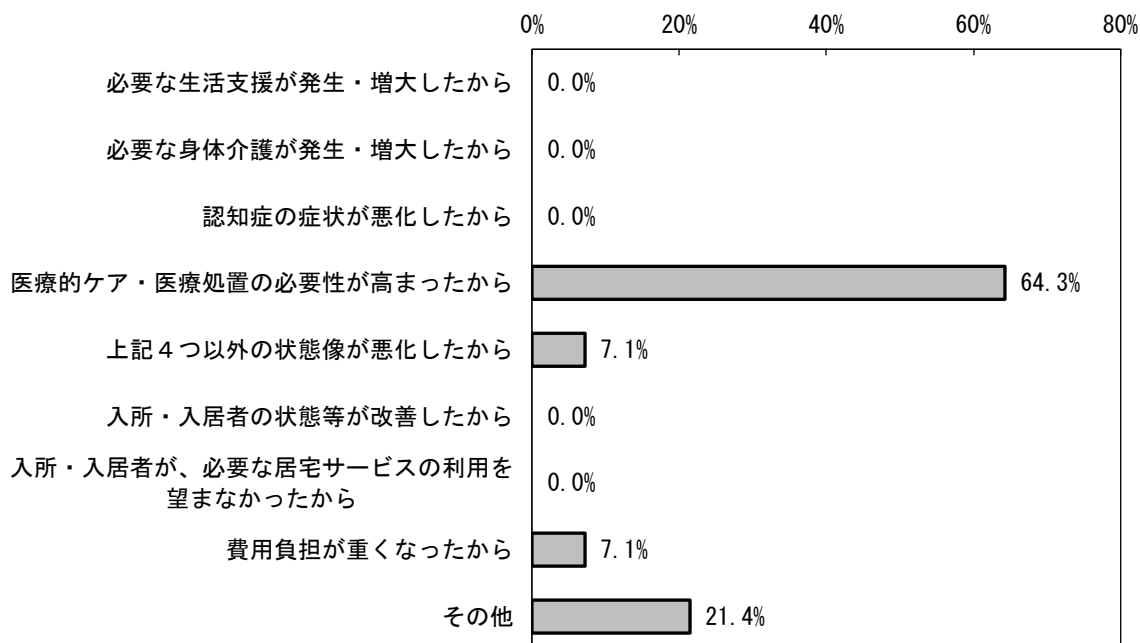
問 10 問 8 でご記入いただいた過去 1 年間の退居者について、退去先別の人数をご記入ください。

サービス種別	居所変更	死亡	合計
住宅型有料老人ホーム (n=1)	9人 100.0%		9人 100.0%
グループホーム (n=5)	25人 83.3%	5人 16.7%	30人 100.0%
特定施設 (n=4)	45人 77.6%	13人 22.4%	58人 100.0%
介護老人保健施設 (n=1)	48人 100.0%		48人 100.0%
特別養護老人ホーム (n=2)	37人 86.0%	6人 14.0%	43人 100.0%
地域密着型特養 (n=1)	5人 62.5%	3人 37.5%	8人 100.0%
合計 (n=14)	169人 86.2%	27人 13.8%	196人 100.0%

問 11 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位 3 つまで選んで、該当する口に✓を付けてください。

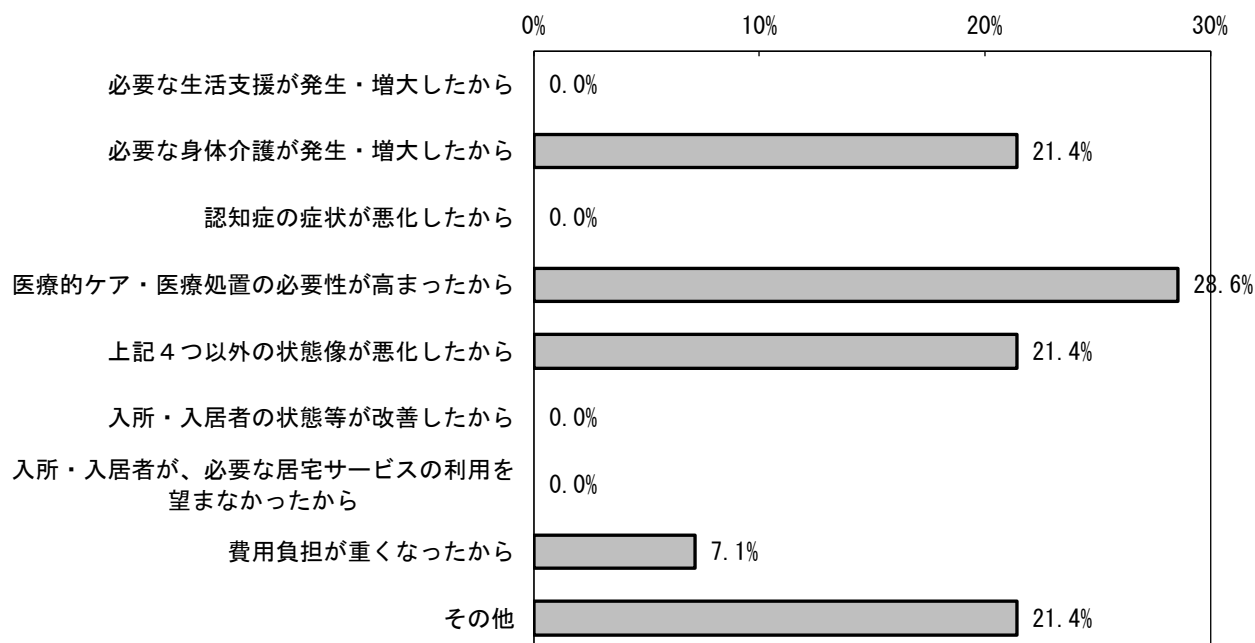
■ 第 1 位

n=14



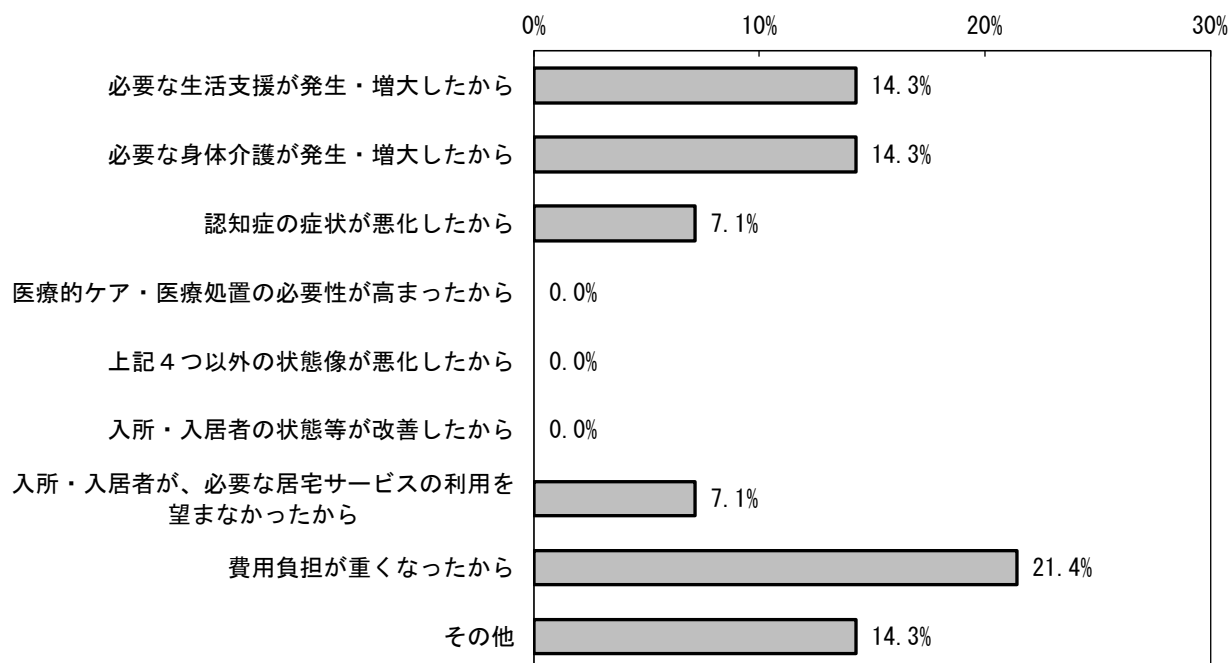
■第2位

n=14



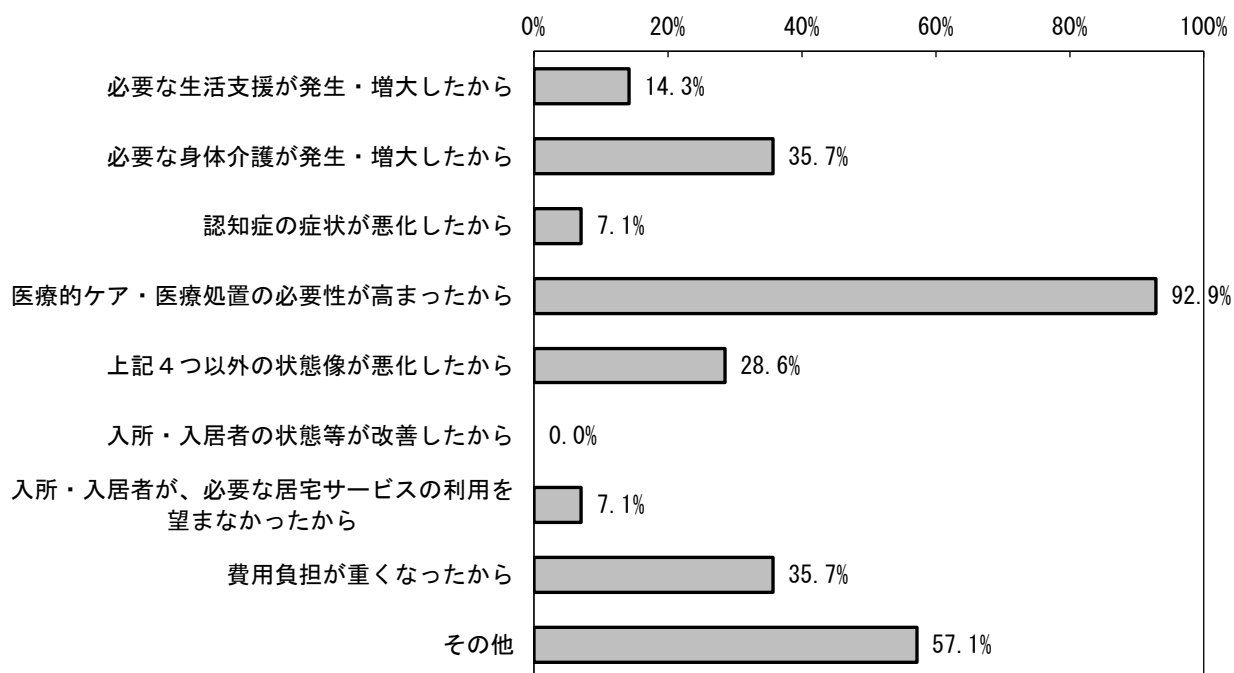
■第3位

n=14



■ 総合

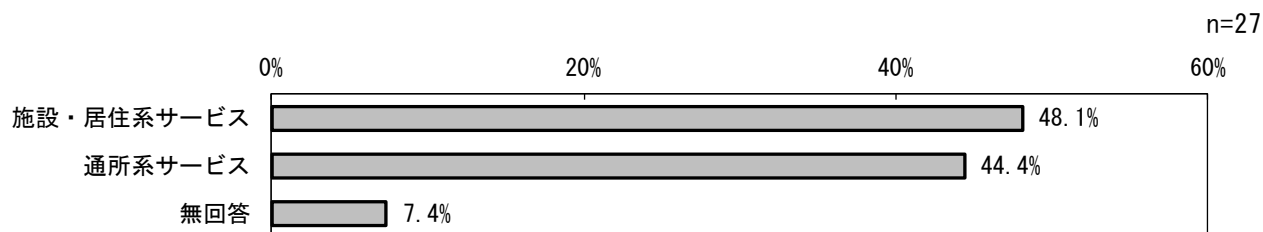
n=14



6 介護人材実態調査

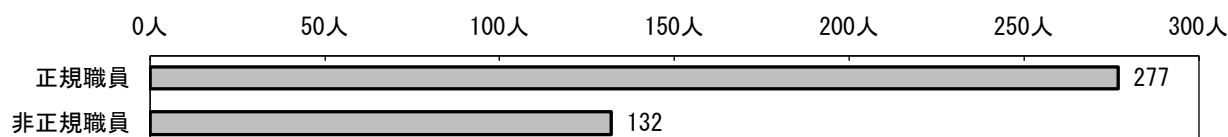
【事業所票（施設系・通所系サービス）】

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。



問2 貴施設等（問1で○をつけたサービス種別の施設等）に所属する介護職員について、お伺いします

問2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）



問2-2 貴施設等の開設時期について、ご記入ください。（数値を記入）

事業所数	2000年以前	2001～2010年	2011～2015年	2016年以降	無回答
通所系 (n=12)	1事業所	7事業所	1事業所	3事業所	-
施設・居住系 (n=13)	1事業所	2事業所	6事業所	3事業所	1事業所

問2-3 令和2年3月1日時点で、開設から1年以上を経過している施設等にお伺いします。過去1年間（平成31年1月1日～令和元年12月31日）の介護職員の採用者数と離職者数をご記入ください。

サービス系統 (該当事業所数)	職員総数			採用者数			離職者数			昨年比		
	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計
通所系 (n=12)	61人	46人	107人	10人	14人	24人	6人	12人	18人	107.0%	104.5%	105.9%
施設・居住系 (n=13)	202人	84人	286人	46人	16人	62人	30人	16人	46人	108.6%	100.0%	105.9%

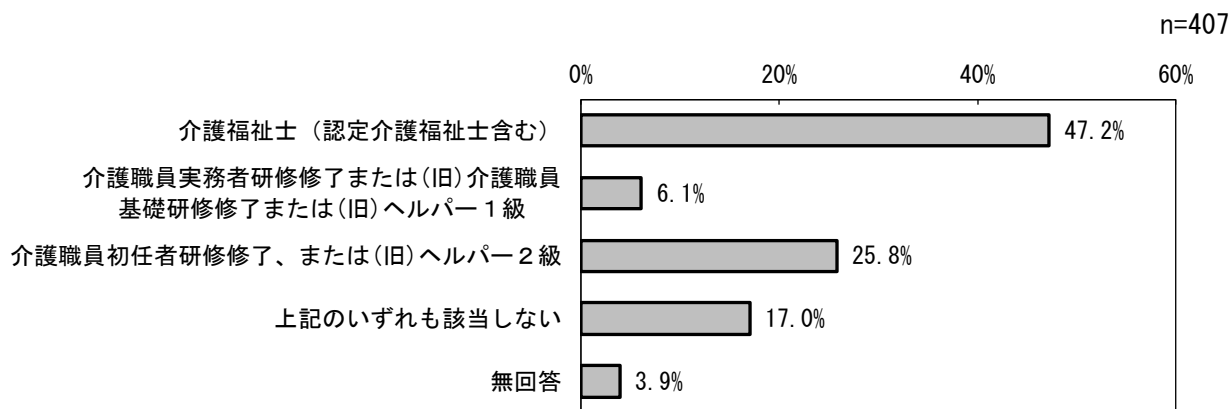
介護人材実態調査結果

問2-4 問2-3の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。(数値を記入)

年齢 (採用、離職当時)	採用者数		離職者数	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
20歳未満	2人	1人	0人	2人
20～29歳	9人	2人	9人	2人
30～39歳	5人	5人	8人	5人
40～49歳	21人	10人	8人	6人
50～59歳	14人	1人	9人	5人
60～69歳	4人	5人	3人	5人
70～79歳	0人	1人	0人	2人
年齢不明	2人	5人	0人	1人

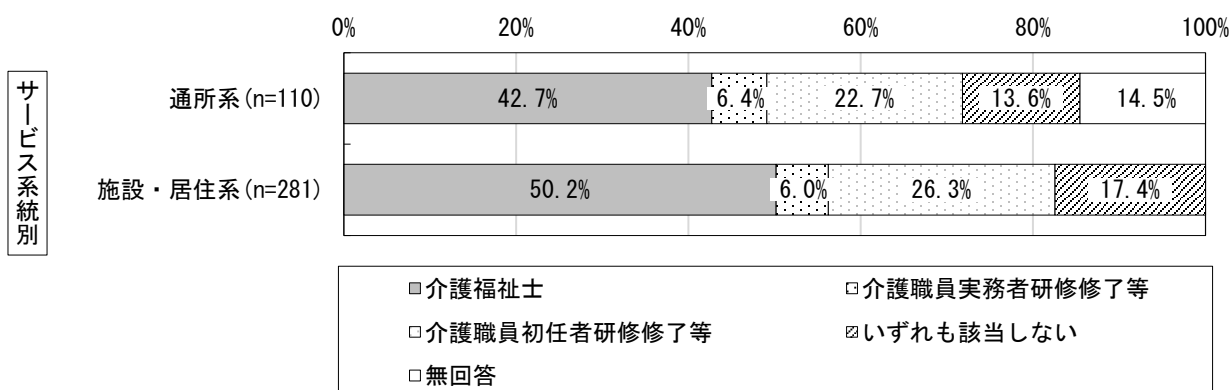
問3 貴施設等に所属している介護職員全員（非常勤含む。ボランティアの方を除く）について、お答えください。

(1) 資格の取得、研修の修了の状況

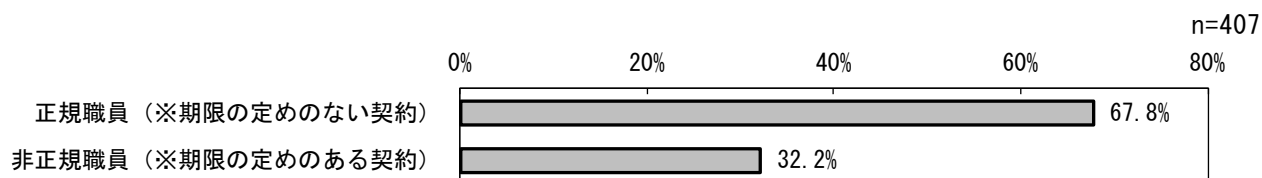


※サービス系統が不明なものを含む

■サービス系統別

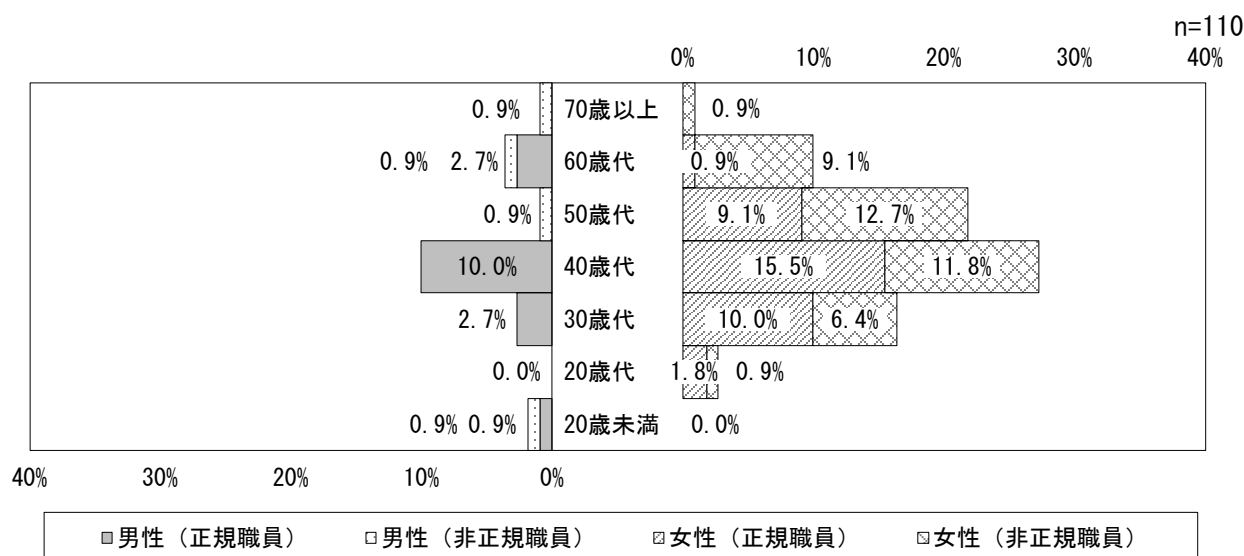


(2) 雇用形態

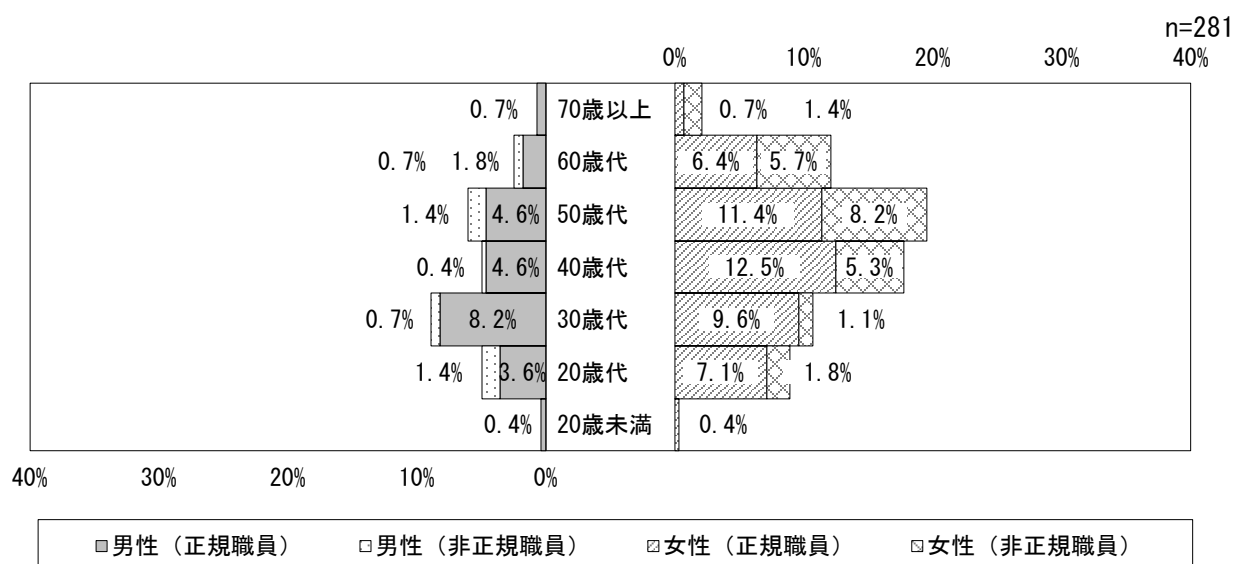


※サービス系統が不明なものを含む

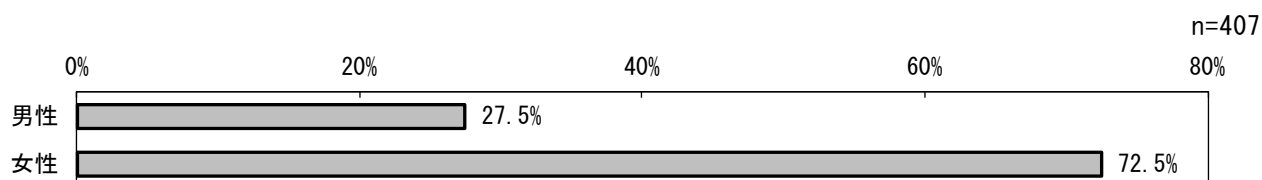
■性別・年齢別 (通所系)



■性別・年齢別 (施設・居住系)

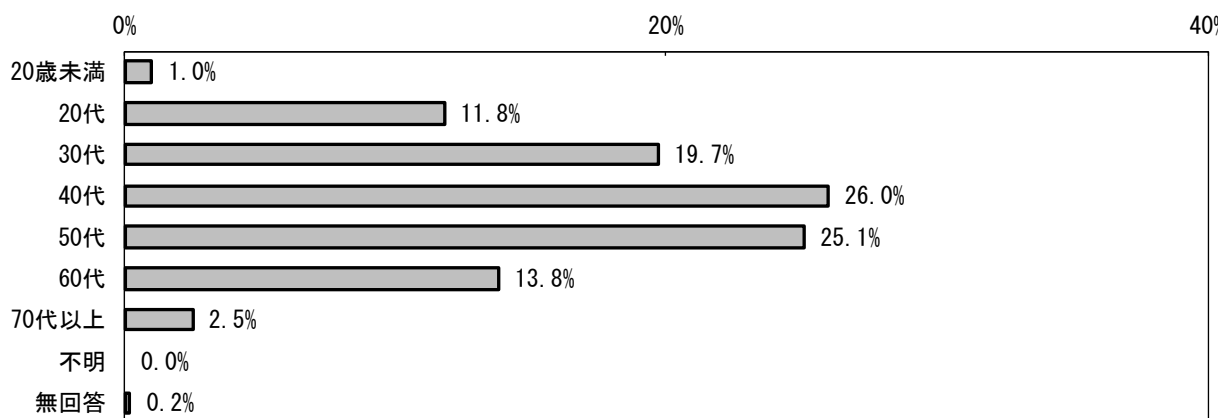


(3) 性別

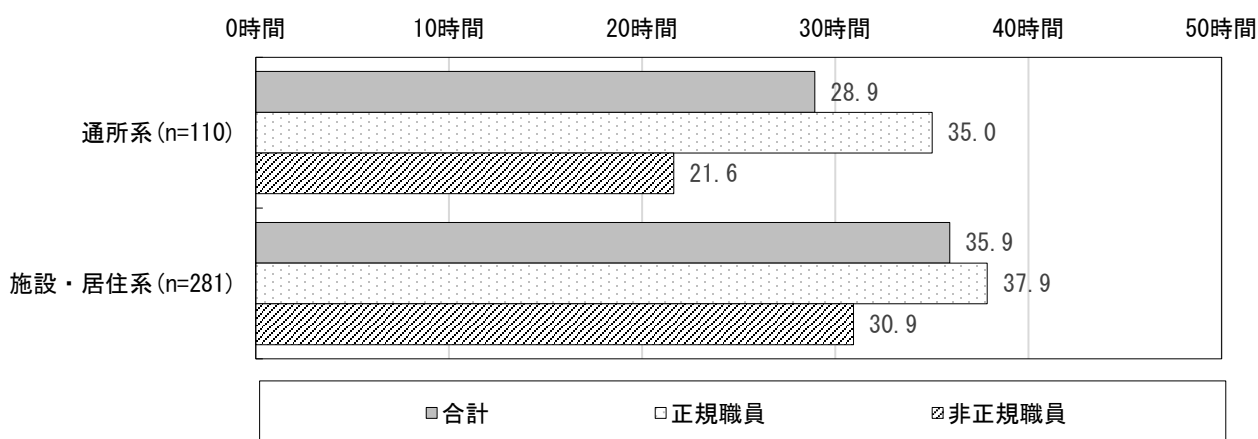


(4) 年齢

n=407

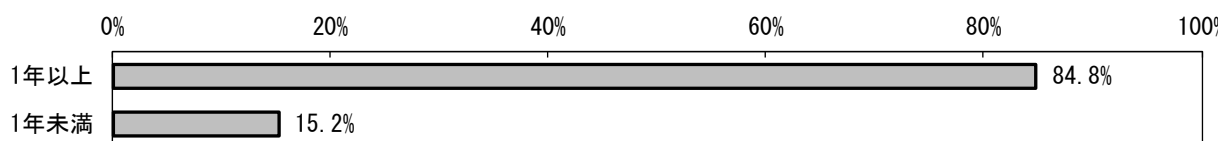


(5) 過去1週間の勤務時間



(6) 現在の施設等での勤務年数

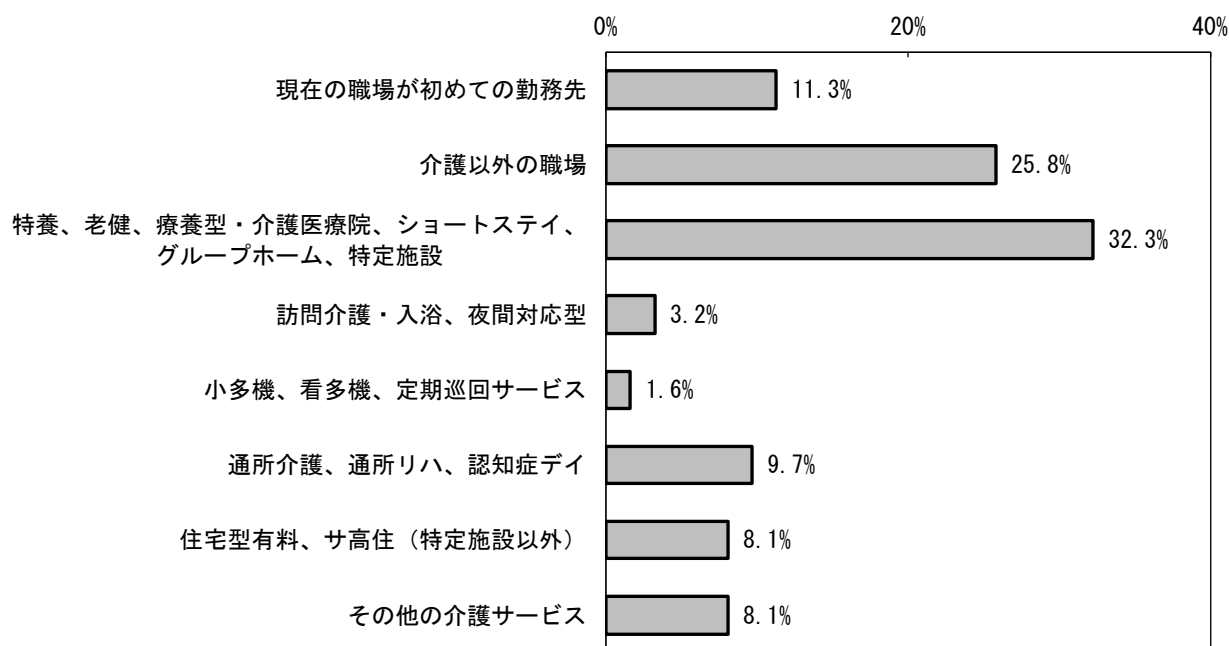
n=407



《(6)で「1年未満」と回答した方のみ》

(7) 現在の施設等に勤務する直前の職場 ※地域密着型を含む

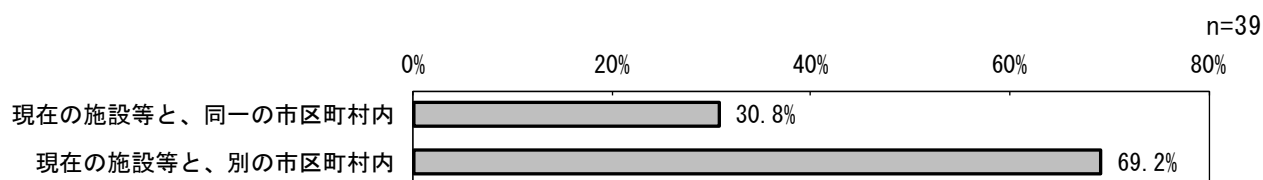
n=62



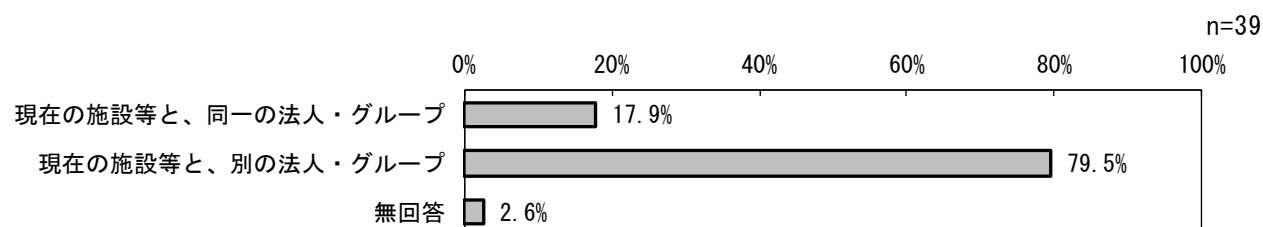
《(7)で「現在の職場が初めての勤務先」「介護以外の職場」以外と回答した方のみ》

(8) 直前の職場について

①場所



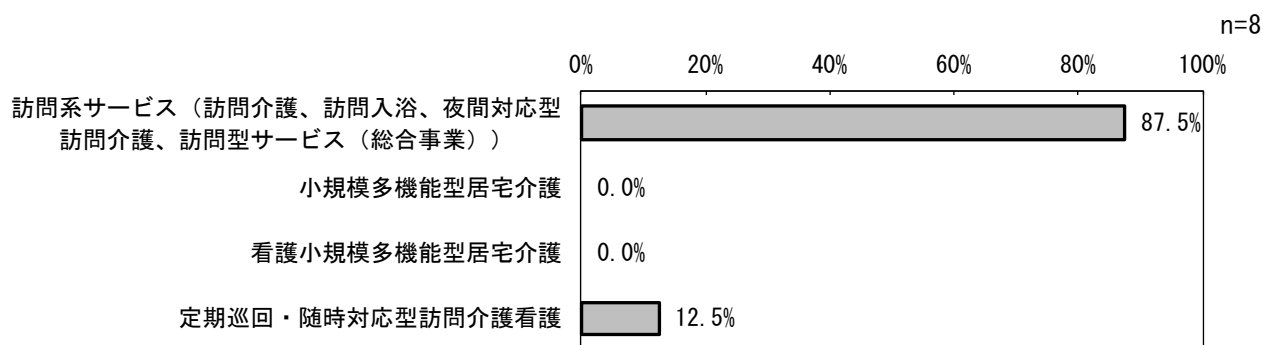
②法人



介護人材実態調査結果

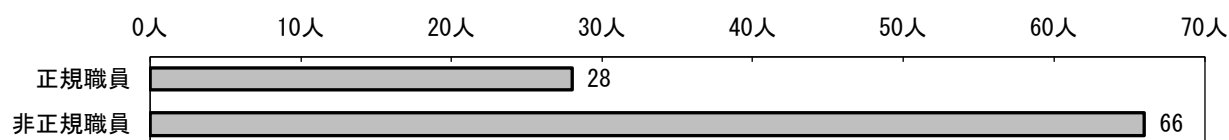
【事業所票（訪問系サービス）】

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。



問2 貴施設等（問1で○をつけたサービス種別の施設等）に所属する介護職員について、お伺いします

問2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）



問2-2 貴施設等の開設時期について、ご記入ください。（数値を記入）

事業所数	2000年以前	2001～2010年	2011～2015年	2016年以降	無回答
訪問系(n=8)	2事業所	3事業所	3事業所	-	-

問2-3 令和2年3月1日時点で、開設から1年以上を経過している施設等にお伺いします。

過去1年間（平成31年1月1日～令和元年12月31日）の介護職員の採用者数と離職者数をご記入ください。

サービス系統 (該当事業所数)	職員総数			採用者数			離職者数			昨年比		
	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計
訪問系(n=8)	28人	66人	94人	7人	23人	30人	3人	17人	20人	116.7%	110.0%	111.9%

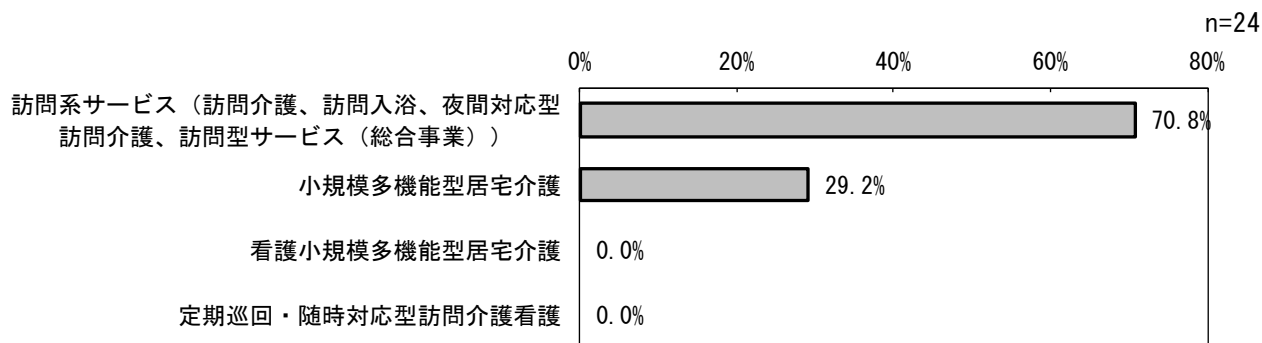
問2-4 問2-3の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。(数値を記入)

年齢 (採用、離職当時)	採用者数		離職者数	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
20歳未満	0人	0人	0人	0人
20～29歳	2人	5人	1人	4人
30～39歳	3人	2人	0人	5人
40～49歳	0人	3人	2人	4人
50～59歳	1人	1人	0人	2人
60～69歳	0人	1人	0人	2人
70～79歳	0人	0人	0人	0人
年齢不明	1人	11人	0人	0人

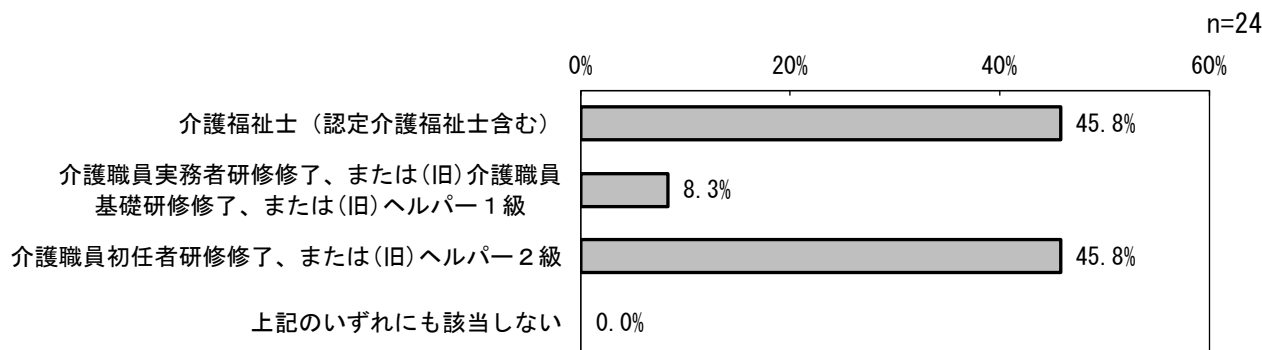
介護人材実態調査結果

【職員票（訪問系サービス）】

問1 あなたが、本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別（介護予防を含む）について、ご回答ください。（1つに○）

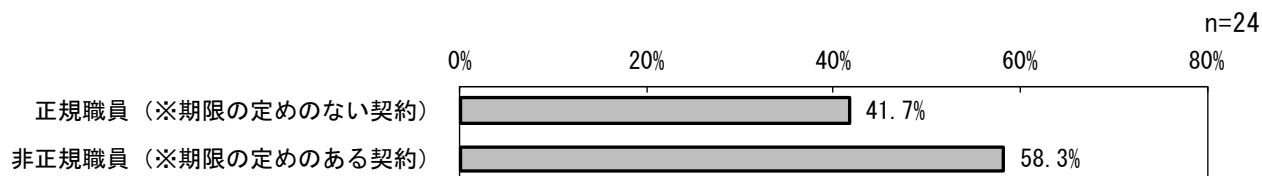


問2 あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください（1つに○）

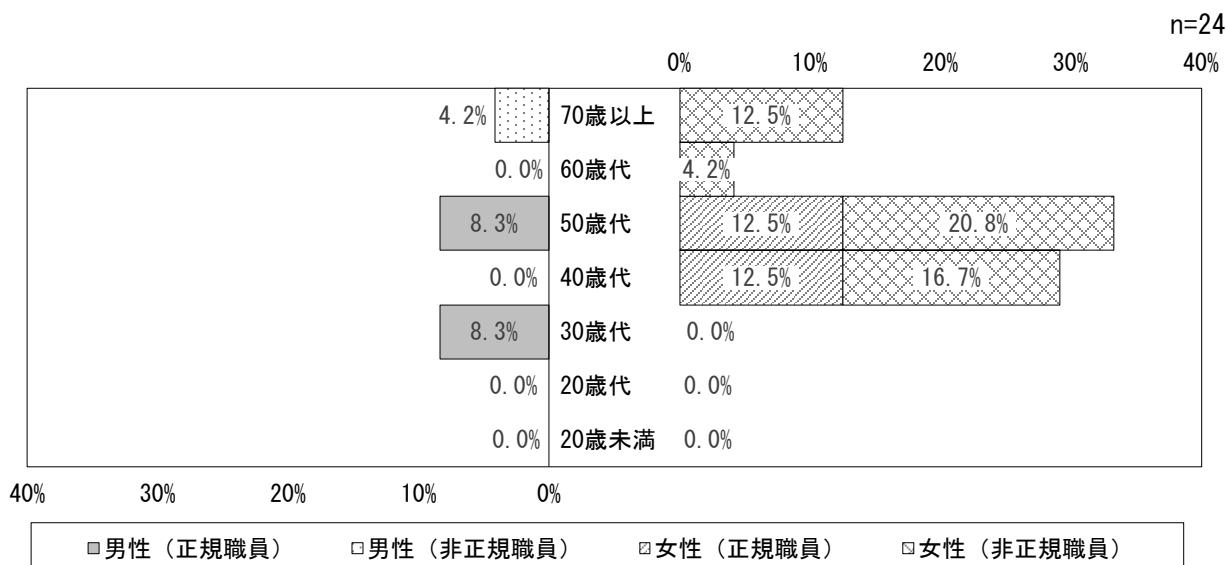


問3 あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。

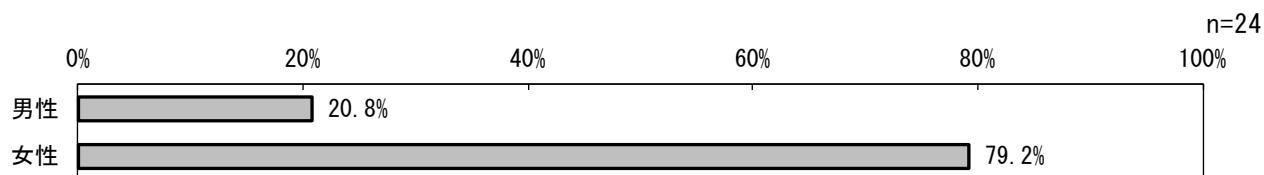
(1) 雇用形態



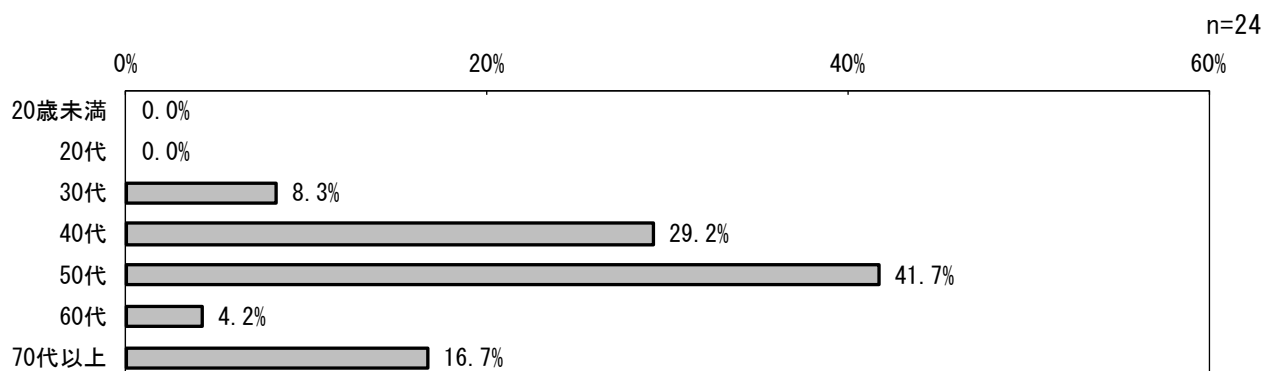
■性別・年齢別（訪問系）



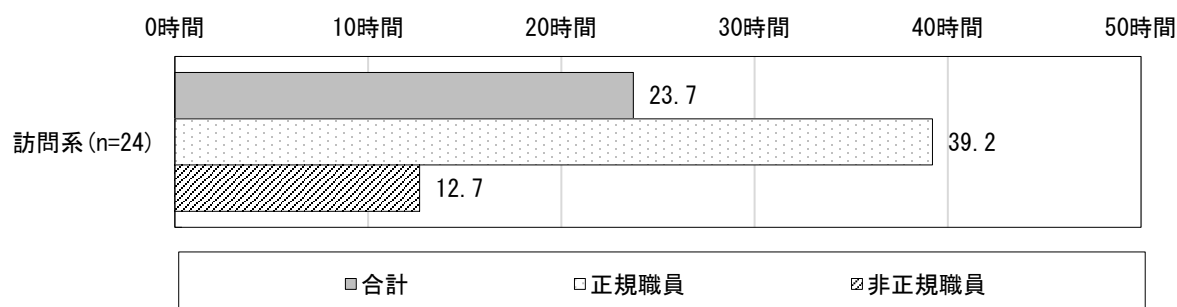
(2) 性別



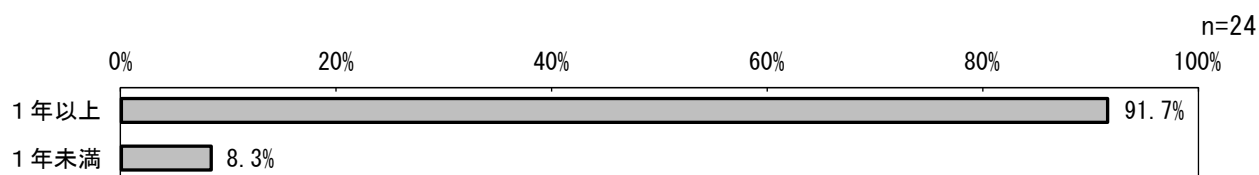
(3) 年齢



(4) 過去1週間の勤務時間



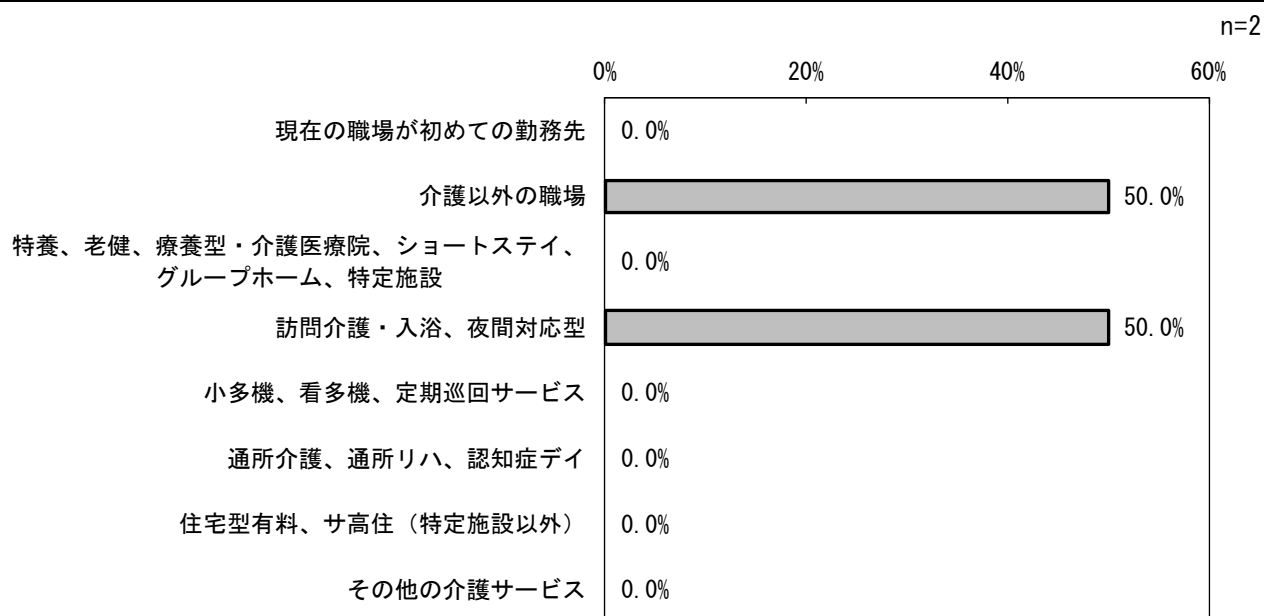
(5) 現在の事業所での勤務年数



介護人材実態調査結果

《問3（5）で「1年未満」と回答した方のみ》

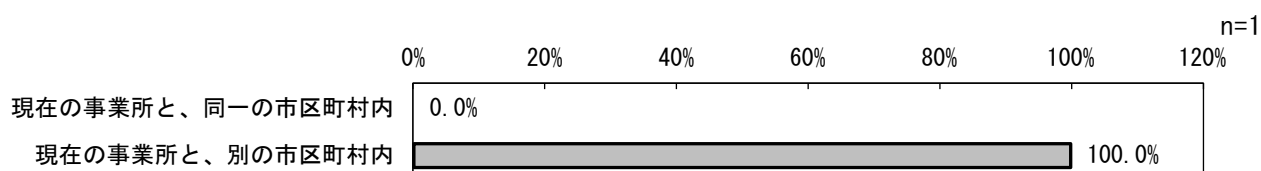
問4 現在の事業所に勤務する直前の職場について、以下にご回答ください（1つに○）



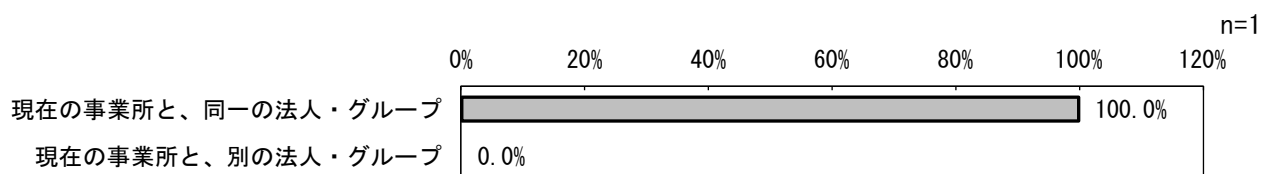
《問4で「現在の職場が初めての勤務先」「介護以外の職場」以外と回答した方のみ》

ご回答いただいた直前の職場について、以下にご回答ください。

①場所



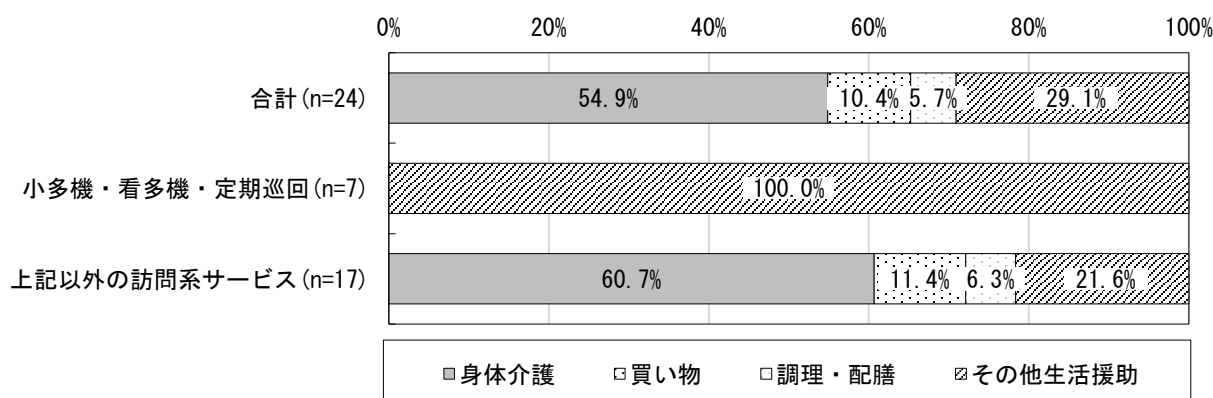
②法人



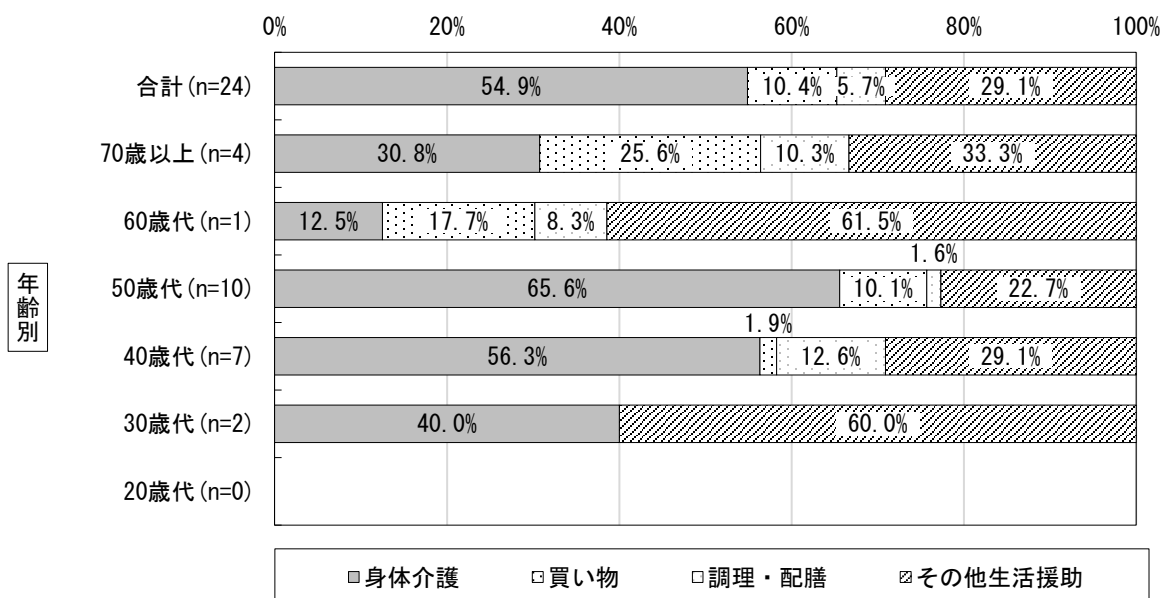
【職員票（訪問介護員向け）】

介護給付による訪問時間について入力してください

■サービス提供時間の内容別の内訳



■サービス提供時間の内容別の内訳（年齢別）

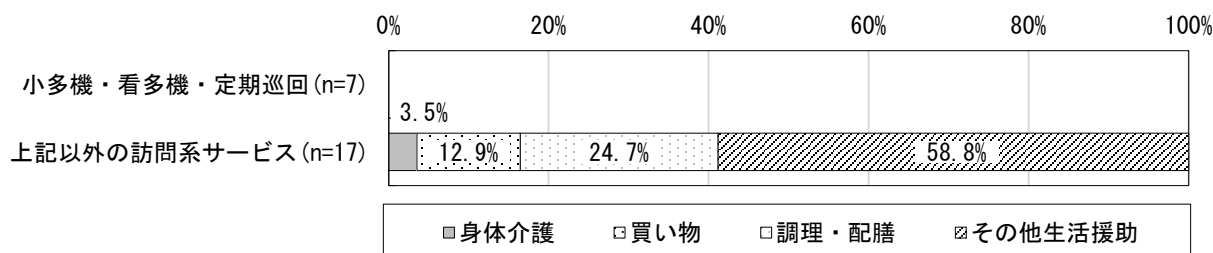


※無回答を除く

※※20歳代はすべて無回答

介護予防給付・総合事業による訪問時間について入力してください

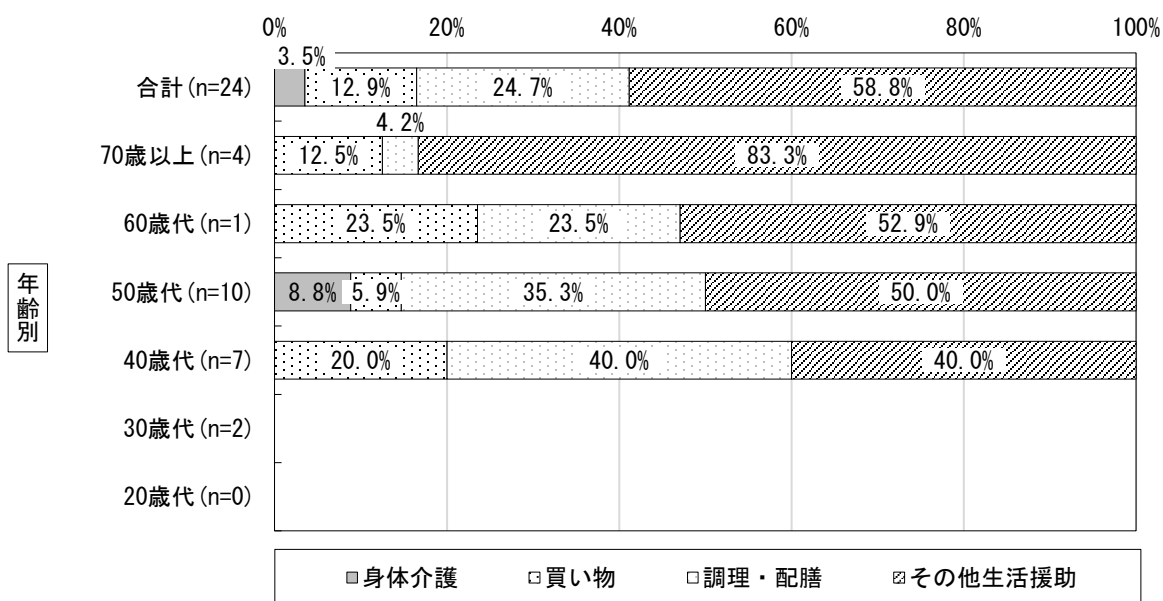
■サービス提供時間の内容別の内訳



※無回答を除く

※※小多機・看多機・定期巡回はすべて無回答

■ サービス提供時間の内容別の内訳（年齢別）



※無回答を除く

※※20歳代、30歳代はすべて無回答

